

令和4年度

埼玉県政世論調査

報告書



はじめに

この冊子は、令和4年7月に実施した県政世論調査^{よろん}の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和43年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「大地震に備えた取組について」、「受動喫煙防止対策について」、「県立図書館の将来像に関するニーズについて」の3つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

このたび調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、御支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和4年11月

埼玉県県民生活部長 真砂 和敏

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	15
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	20
(2)	生活程度	23
(3)	生活全体の満足度	28
(4)	各生活面に対する満足度	33
(5)	埼玉県に魅力を感じるか	50
(5-1)	埼玉県で魅力を感じるもの	54
2	日常生活	57
(1)	地域社会活動への参加経験	59
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	62
(2)	文化芸術活動の経験	65
(2-1)	文化芸術活動への不参加の理由	68
(3)	文化芸術活動の鑑賞	71
(3-1)	インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞	74
(4)	スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度	77
(4-1)	スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由	81
(5-1)	訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害	84
(5-2)	消費生活センターの認知度	87
(6-1)	「埼玉県エスカレーターのある安全な利用の促進に関する条例」の認知度	90
(6-2)	エスカレーターの利用実態	94
(7)	食品の安全性に対する意識	103
(8)	埼玉県に関する情報の入手先	106
(9-1)	県広報紙「彩の国だより」の閲覧状況	109
(9-2)	県広報紙「彩の国だより」に期待する記事	112
(9-3)	県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況	114
(9-4)	県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のYouTube動画の視聴状況	117
(9-5)	県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況	120
(9-6)	県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望	123

(10-1)	生物多様性の認知度	125
(10-2)	外来生物の認知度	128
(11-1)	光化学スモッグの認知度	131
(11-2)	揮発性有機化合物（VOC）の認知度	134
(11-3)	VOC削減の取組状況	137
(11-3-1)	VOC削減に取り組んでいない理由	140
(12-1)	新型コロナウイルス感染症への不安	142
(12-1-1)	不安を感じる理由	145
(12-1-2)	不安を感じない理由	148
(12-2)	新型コロナウイルス感染症に関する県の広報	151
3	県政への要望	155
4	大地震に備えた取組について	171
(1)	大地震に備えた取組の実施状況	173
(2)	家具転倒防止対策の実施状況	189
(2-1)	家具転倒防止対策を実施していない理由	192
(3)	自宅での家具類の転倒・落下・移動による危険防止対策の実施状況	195
(4)	災害時に利用可能な備蓄状況	215
(4-1)	3日以上の食料品を備蓄していない理由	221
(4-2)	3日以上の飲料水を備蓄していない理由	224
(5)	災害用伝言サービスの体験利用経験	227
(5-1)	災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由	230
(6)	災害時の家族や知人の安否確認手段	233
(7)	大地震に備えた自助の取組を進めるために必要な支援	236
5	受動喫煙防止対策について	239
(1)	喫煙状況	241
(1-1)	吸っているたばこ製品	244
(1-2)	禁煙意思	246
(1-3)	禁煙するための支援	249
(2)	健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度	252
(3)	各施設における受動喫煙の有無	255
(4)	不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策	276
(5)	飲食店における受動喫煙防止対策	279
(6)	屋外における受動喫煙防止対策	282
6	県立図書館の将来像に関するニーズについて	285
(1)	県立図書館の利用状況	287
(1-1-1)	県立図書館の利用頻度	290
(1-1-2)	県立図書館の利用の仕方	293
(1-2)	県立図書館を利用しない理由	296
(2)	知っている県立図書館のサービス	298

(3) 県立図書館で利用したいサービス	301
Ⅲ 調査票・単純集計結果	305
Ⅰ 生活意識について	308
Ⅱ 日常生活について	309
Ⅲ 県政への要望について	316
Ⅳ 大地震に備えた取組について	317
Ⅴ 受動喫煙防止対策について	320
Ⅵ 県立図書館の将来像に関するニーズについて	322
Ⅶ フェースシート	324
(参考資料) 世論調査実施状況	327

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、各生活面に対する満足度、埼玉県に魅力を感じるか）
 - (イ) 日常生活
 - (ウ) 県政への要望
 - (エ) 大地震に備えた取組について
 - (オ) 受動喫煙防止対策について
 - (カ) 県立図書館の将来像に関するニーズについて

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- (ア) 調査地域 埼玉県全域
- (イ) 調査対象 満18歳以上の個人
- (ウ) 標本数 5,000
- (エ) 抽出方法 住民基本台帳による層化二段無作為抽出法
- (オ) 調査方法 郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）
（令和元年度までは、調査員による個別面接聴取法）
- (カ) 調査時期 令和4年7月8日～7月29日
- (キ) 調査実施委託機関 株式会社サーベイリサーチセンター

(4) 回収結果

- (ア) 有効回収数（率） 2,524（50.5%）
- (イ) 調査不能数（率） 2,476（49.5%）

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人
 標本数：5,000
 地点数：市部 153地点 郡部（町村）12地点 合計 165地点
 抽出方法：層化二段無作為抽出法

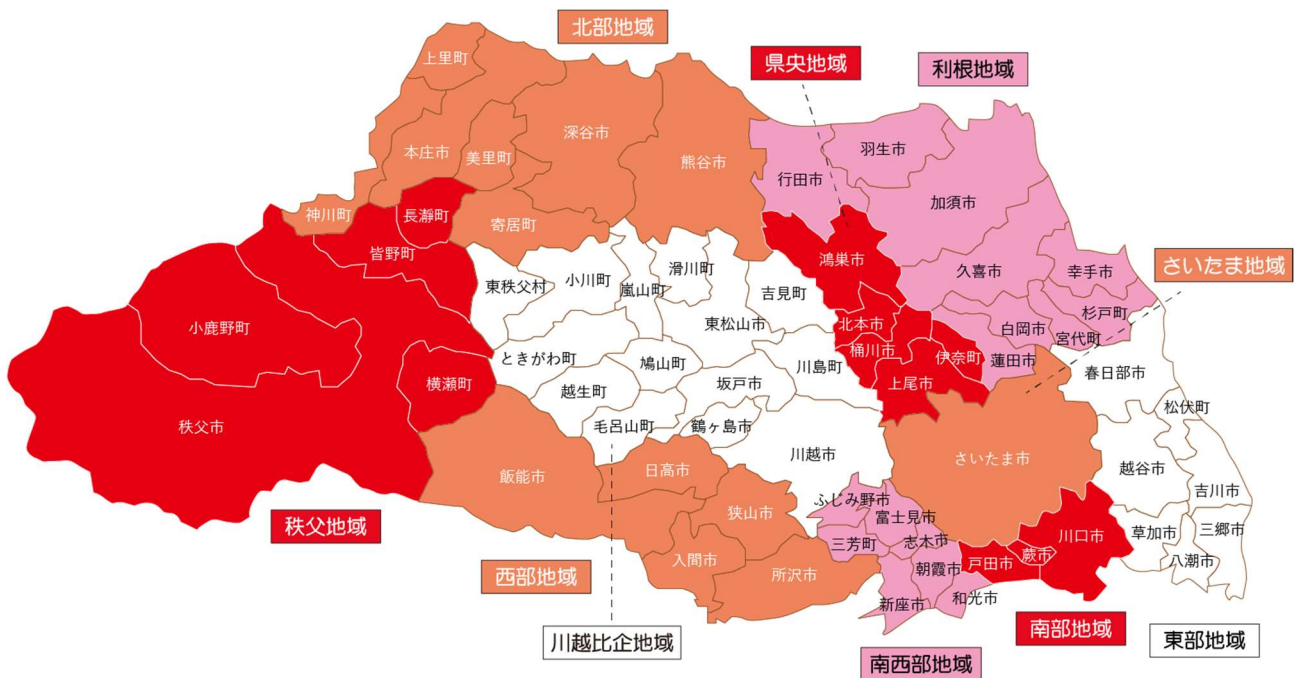
(1) 地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。

(本表及び下の「地域区分図」は、令和4年4月1日現在の市町村名により表示している。)

地域	該当市町村名	
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、令和4年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（2）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和4年1月1日現在の推定数）により、5,000の標本を各調査地点に配分した。

（3）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、令和2年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が30程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

抽出の基点は、層における筆頭調査区から任意に算出された数を持って数えた調査区とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地域	市郡規模			計
	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部（町村）	
県南	南部地域	634,615 494 (16)	65,903 51 (2)	700,518 545 (18)
	南西部地域	453,876 354 (12)	135,422 106 (3)	621,566 485 (16)
	東部地域	832,128 658 (22)	139,265 110 (3)	996,122 788 (26)
	さいたま地域	1,124,579 879 (29)		1,124,579 879 (29)
圏央道	圏央地域	298,946 237 (8)	122,052 97 (3)	458,293 364 (12)
	川越比企地域	301,648 242 (8)	223,765 179 (6)	679,893 545 (18)
	西部地域	552,622 451 (15)	115,534 94 (3)	668,156 545 (18)
	利根地域	228,277 187 (6)	258,064 212 (7)	554,040 455 (15)
県北	北部地域	289,030 223 (7)	66,778 51 (2)	431,772 333 (11)
	秩父地域		52,233 38 (1)	82,960 61 (2)
計		4,715,721 3,725 (123)	1,179,016 938 (30)	6,317,899 5,000 (165)

（注）上段…推定母集団数（満18歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：%、以下同)

(1) 地域別 (3区分)

総数	県南圏	中央道	県北	無回答
2,524	1,316	983	196	29
100.0	52.1	38.9	7.8	1.1

(2) 地域別

総数	南部地域	南西部地域	東部地域	さいたま地域
2,524	242	224	399	451
100.0	9.6	8.9	15.8	17.9

県央地域	川越比企地域	西部地域	利根地域
192	288	259	244
7.6	11.4	10.3	9.7

北部地域	秩父地域	無回答
159	37	29
6.3	1.5	1.1

(3) 性別

総数	男性	女性	無回答
2,524	1,092	1,369	63
100.0	43.3	54.2	2.5

(4) 年代別

総数	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
2,524	35	201	300	378	456	492	636	26
100.0	1.4	8.0	11.9	15.0	18.1	19.5	25.2	1.0

(5) 職業別

総数	自営業・家族従業 (計)		雇用者 (計)			無職 (計)		
	自営業主	家族従業 (家業手伝い)	勤め (全日)	勤め (パートタイム)	無職の主婦・主夫	学生	その他の無職	無回答
2,524	135	49	942	394	421	78	459	46
100.0	5.3	1.9	37.3	15.6	16.7	3.1	18.2	1.8

(6) 県内居住年数別

総 数	5 年未 満	5 年～ 10 年未 満	10 年～ 20 年未 満	20 年～ 30 年未 満	30 年 以上	無 回 答
2,524	155	121	252	409	1,556	31
100.0	6.1	4.8	10.0	16.2	61.6	1.2

(7) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,524	1,135	1,316	73
100.0	45.0	52.1	2.9

(8) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人 以上	無 回 答
2,524	323	825	633	465	160	51	33	34
100.0	12.8	32.7	25.1	18.4	6.3	2.0	1.3	1.3

(9) 未既婚別

総 数	未 婚	既 婚 ・ 有 配 偶	既 婚 ・ 離 死 別	無 回 答
2,524	589	1,636	261	38
100.0	23.3	64.8	10.3	1.5

(10-1) 子供の有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以上	い な い	無 回 答
1,897	377	935	291	45	8	220	21
100.0	19.9	49.3	15.3	2.4	0.4	11.6	1.1

(10-2) 子供の段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳 以上 で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,656	128	99	210	130	122
100.0	7.7	6.0	12.7	7.9	7.4

短 大 生 ・ 専 門 学 校 生	大 学 生 ・ 大 学 院 生	学 校 教 育 終 了 ・ 未 婚	学 校 教 育 終 了 ・ 既 婚	そ の 他	無 回 答
33	138	653	739	61	40
2.0	8.3	39.4	44.6	3.7	2.4

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,524	341	654	1,268	173	53	35
100.0	13.5	25.9	50.2	6.9	2.1	1.4

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 居住形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,524	1,662	402	308	98
100.0	65.8	15.9	12.2	3.9

社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み、寮、寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
18	6	11	19
0.7	0.2	0.4	0.8

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,524	305	175	203	164	459	586	632
100.0	12.1	6.9	8.0	6.5	18.2	23.2	25.0

※ ライフステージの分類

「年齢」「結婚」「子供の有無」「子供の成長段階」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子供がいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子供がおり、かつ、学校教育を終えた子供はいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子供がおり、かつ、既婚の子供がいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子供全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子供がいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子供のいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,524であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,524}} \doteq 0.023$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.3の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分	基 数	回 答 率					
		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%前後	
全 体	2,524	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.8%	
性 別	男性	1,092	± 2.6%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.2%	± 4.3%
	女性	1,369	± 2.3%	± 3.1%	± 3.5%	± 3.7%	± 3.8%
年 代 別	18・19歳	35	± 14.3%	± 19.1%	± 21.9%	± 23.4%	± 23.9%
	20歳代	201	± 6.0%	± 8.0%	± 9.1%	± 9.8%	± 10.0%
	30歳代	300	± 4.9%	± 6.5%	± 7.5%	± 8.0%	± 8.2%
	40歳代	378	± 4.4%	± 5.8%	± 6.7%	± 7.1%	± 7.3%
	50歳代	456	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%	± 6.6%
	60歳代	492	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.4%
	70歳以上	636	± 3.4%	± 4.5%	± 5.1%	± 5.5%	± 5.6%
地 域 別	南部	242	± 5.5%	± 7.3%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.1%
	南西部	224	± 5.7%	± 7.6%	± 8.7%	± 9.3%	± 9.4%
	東部	399	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
	さいたま	451	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%	± 6.7%
	県央	192	± 6.1%	± 8.2%	± 9.4%	± 10.0%	± 10.2%
	川越比企	288	± 5.0%	± 6.7%	± 7.6%	± 8.2%	± 8.3%
	西部	259	± 5.3%	± 7.0%	± 8.1%	± 8.6%	± 8.8%
	利根	244	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.9%	± 9.1%
	北部	159	± 6.7%	± 9.0%	± 10.3%	± 11.0%	± 11.2%
秩父	37	± 13.9%	± 18.6%	± 21.3%	± 22.8%	± 23.2%	

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 問1「昨年と比べた暮らし向き」における『楽になった(計)』のように、「楽になった」と「少し楽になった」等の2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢への回答者の実数値を合計して、比率を再計算したものを使用しているため、内訳となるそれぞれの選択肢の比率の合計と合致しないことがある。
- ウ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- エ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者(n)で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.(Multiple Totalの略)として表示した。
- オ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。
- カ 年代別、性別・年代別の集計に当たっては、18・19歳の標本数が少ないため、20歳代と合わせて10歳代・20歳代として集計したうえで、他の年代と比較している。
- キ 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施されていたが、令和2年度より「郵送法(郵送配布、郵送返送・インターネット回収併用)」に変更したので、令和元年度以前の結果と比較する場合には留意が必要となる。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識 (問1～問5)

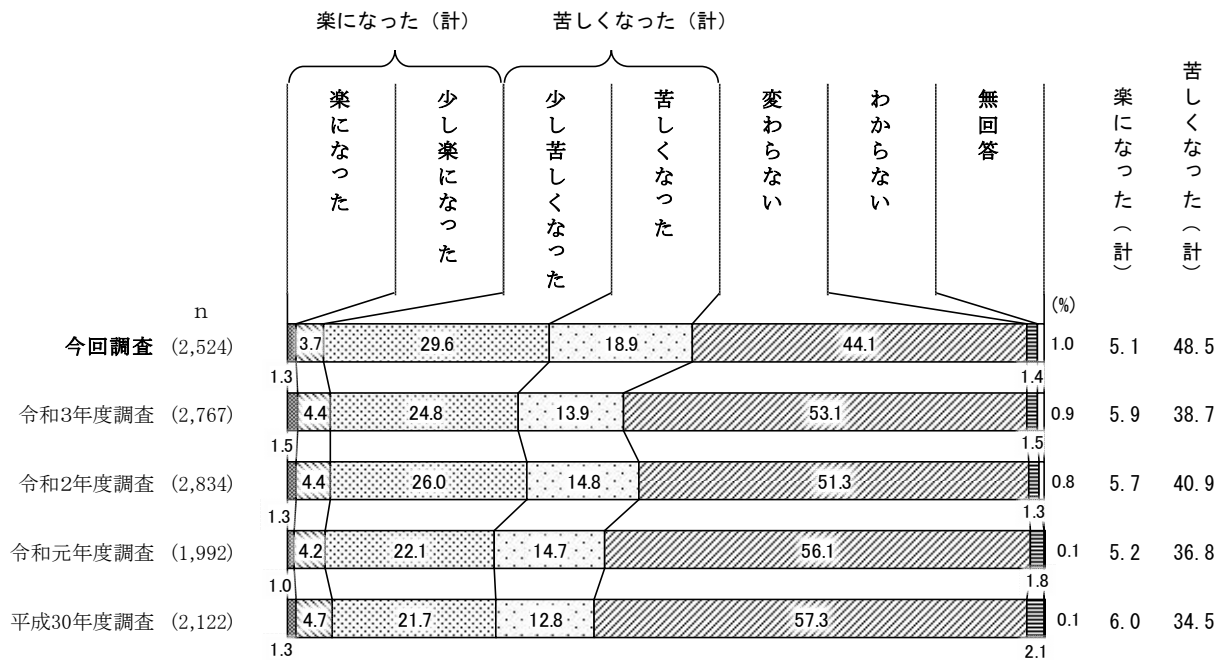
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年度実施しています。
- 問1-1「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が15回目となります。
- 問4「各生活面に対する満足度」は、平成4年度以降は3年ごとに実施しています。
- 問5「埼玉県に魅力を感じるか」と問5-1「埼玉県で魅力を感じるもの」は、今回が5回目となります。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

1. 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった(計)』は48.5%、「変わらない」は44.1%、『楽になった(計)』は5.1%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。
お宅の暮らし向きは、今年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

暮らし向きが「楽になった」(1.3%)と「少し楽になった」(3.7%)を合わせた『楽になった(計)』は5.1%となっている。一方で、「苦しくなった」(18.9%)と「少し苦しくなった」(29.6%)を合わせた『苦しくなった(計)』(48.5%)は5割弱となっている。「変わらない」(44.1%)は4割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

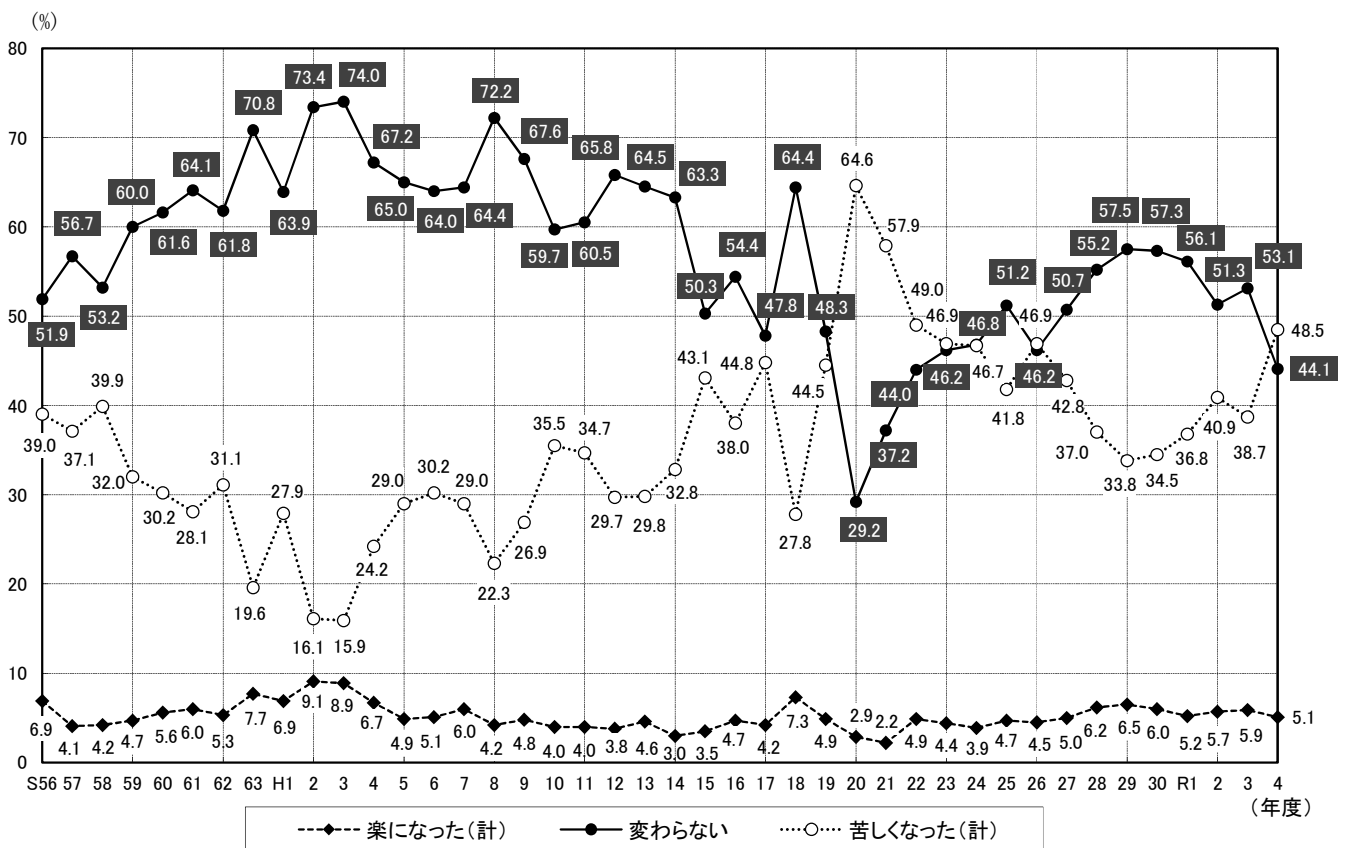
令和3年度調査と比べて、『苦しくなった(計)』が9.8ポイント増加している。一方で、「変わらない」は9.0ポイント減少している。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年度以降の推移をみると、『苦しくなった(計)』は、最も高かった平成20年度(64.6%)を境におおむね減少傾向が続き、平成30年度調査から再び増加傾向にあり、今回調査では「変わらない」を上回っている。

『楽になった(計)』は平成2年度が9.1%で最も高く、平成21年度が2.2%で最も低くなっており、調査開始から41年間、この範囲内で推移している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

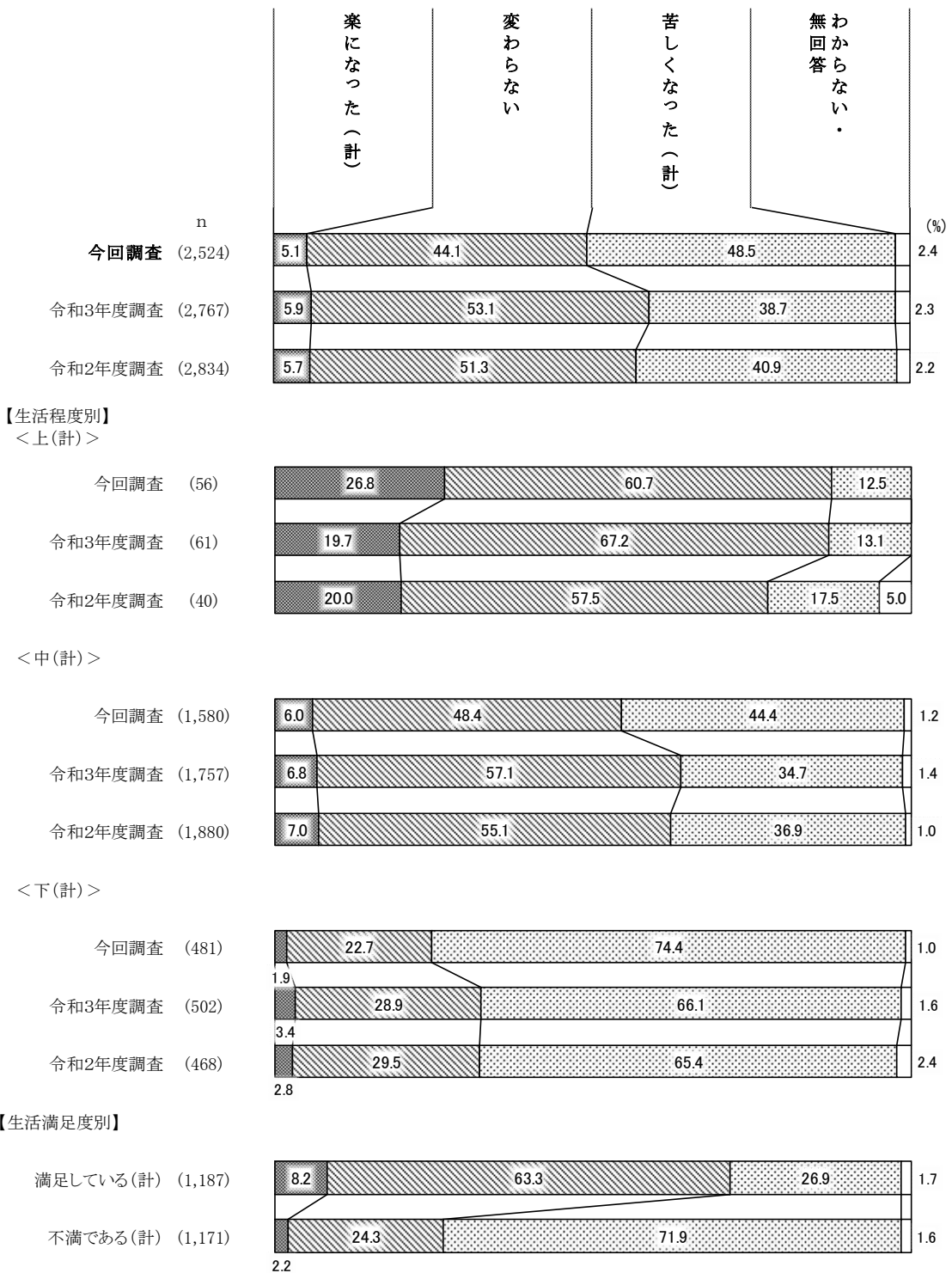
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、下（計）で最も高く74.4%、中（計）で44.4%、上（計）で12.5%と差がみられる。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）で26.9%に対して、不満である（計）では71.9%と大きく差がある。一方で、「変わらない」は、満足している（計）で63.3%と不満である（計）の24.3%を大きく上回っている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

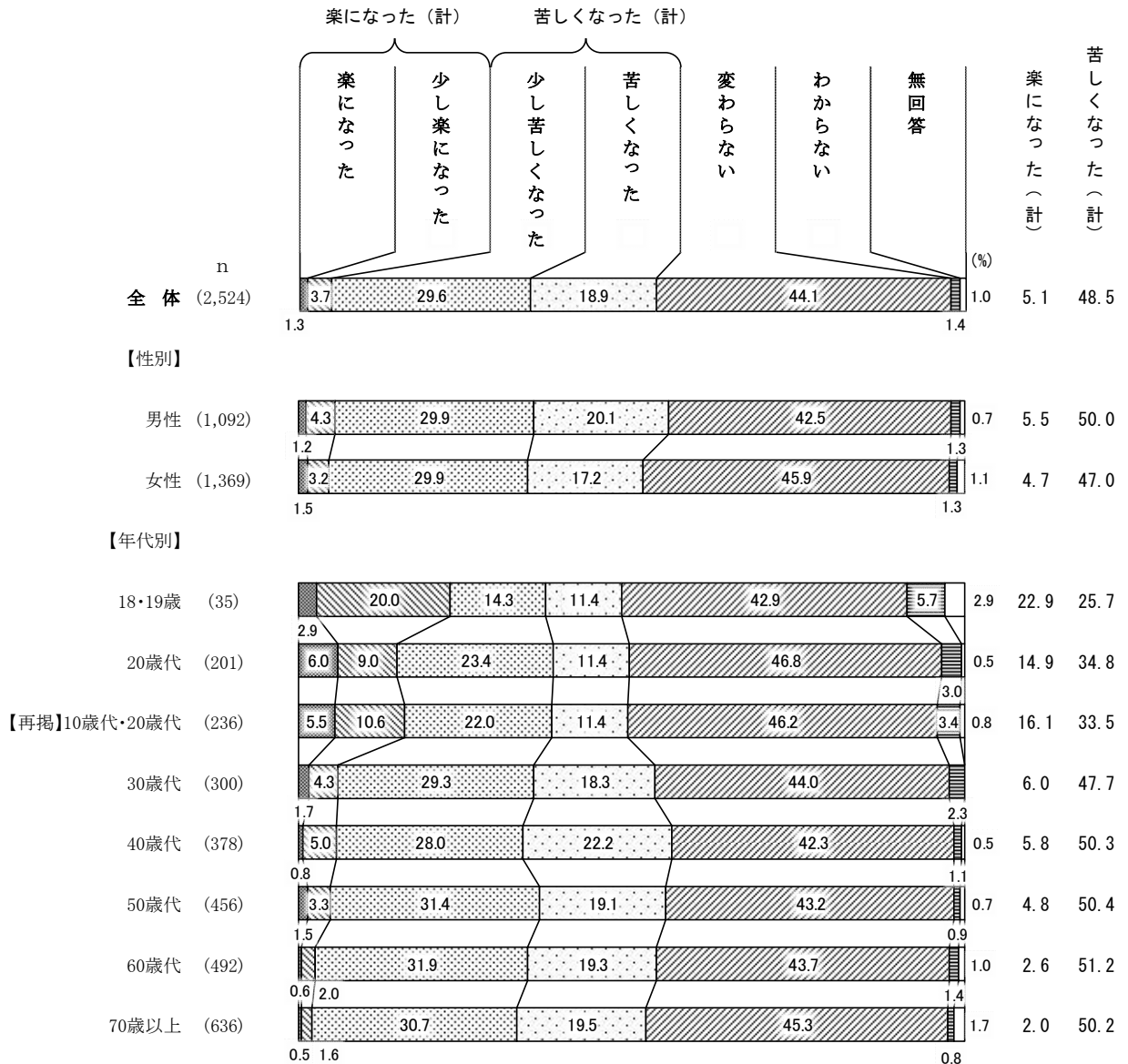
① 性別

『苦しくなった（計）』は男性（50.0%）の方が女性（47.0%）よりも3.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代以上で5割を超えて高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③ 地域別

『苦しくなった（計）』は秩父地域（54.1%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、「変わらない」はさいたま地域（47.9%）で4割台半ばを超えて最も高く、『楽になった（計）』は南西部地域（6.7%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性70歳以上（55.8%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は男性10歳代・20歳代（20.0%）で2割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（53.3%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長後期（62.8%）で6割強と最も高くなっている。

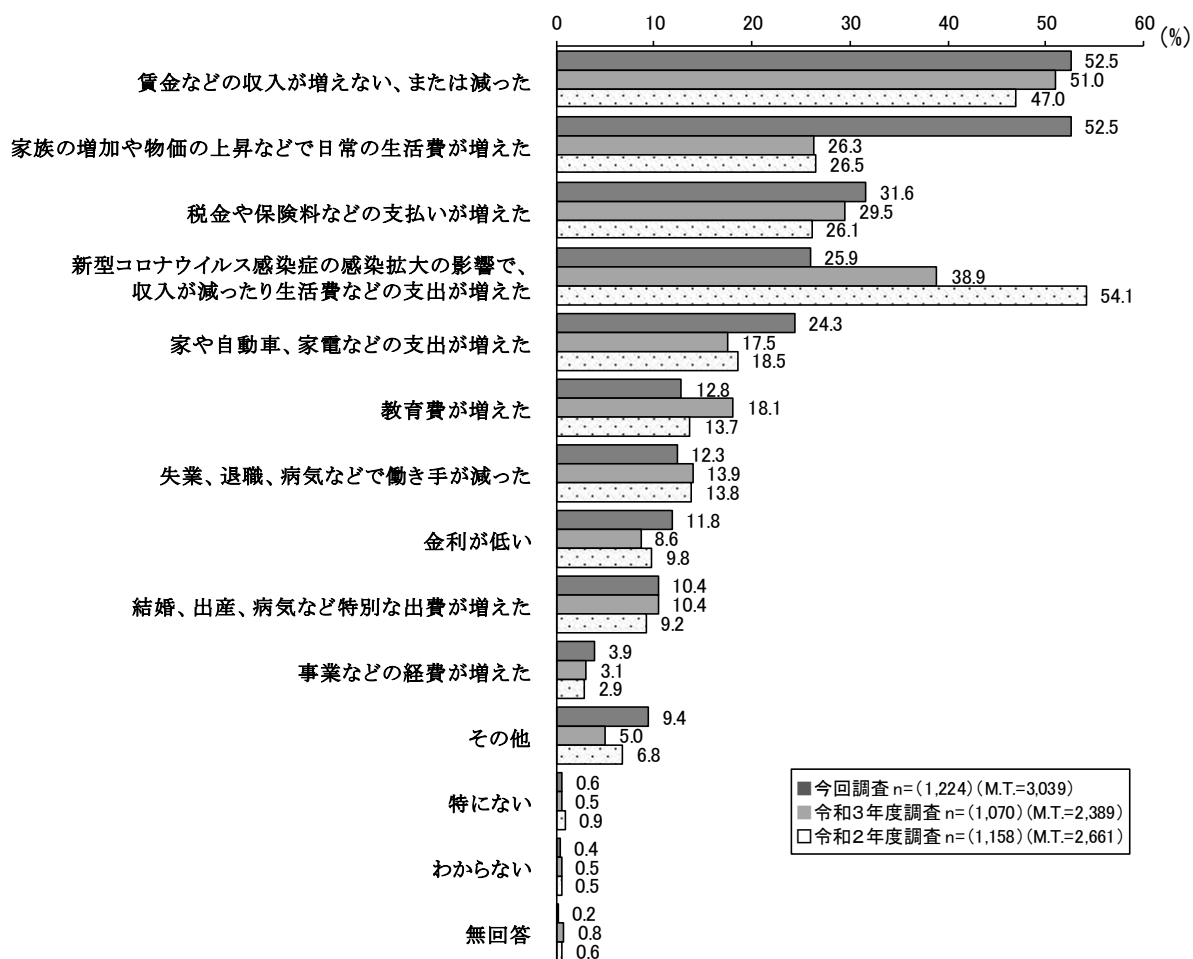
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	（%）	
									楽になった（計）	苦しくなった（計）
全体	2,524	1.3	3.7	29.6	18.9	44.1	1.4	1.0	5.1	48.5
地域別										
南部地域	242	1.7	4.1	33.1	19.4	40.1	1.2	0.4	5.8	52.5
南西部地域	224	2.7	4.0	29.0	14.3	47.8	0.9	1.3	6.7	43.3
東部地域	399	0.8	3.5	29.6	19.3	44.1	1.3	1.5	4.3	48.9
さいたま地域	451	1.1	4.4	25.5	18.4	47.9	1.6	1.1	5.5	43.9
県央地域	192	1.6	2.6	33.9	18.8	39.1	3.1	1.0	4.2	52.6
川越比企地域	288	1.7	4.2	28.5	19.4	44.4	1.0	0.7	5.9	47.9
西部地域	259	1.2	2.7	34.4	18.1	40.9	1.5	1.2	3.9	52.5
利根地域	244	0.8	3.3	28.3	19.3	45.9	1.6	0.8	4.1	47.5
北部地域	159	1.9	4.4	30.8	21.4	40.9	0.6	-	6.3	52.2
秩父地域	37	-	2.7	24.3	29.7	43.2	-	-	2.7	54.1
性・年代別										
男性／18・19歳	9	-	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	-	33.3	22.2
20歳代	86	4.7	14.0	25.6	10.5	44.2	1.2	-	18.6	36.0
【再掲】10歳代・20歳代	95	4.2	15.8	24.2	10.5	43.2	2.1	-	20.0	34.7
30歳代	127	3.1	4.7	24.4	20.5	45.7	1.6	-	7.9	44.9
40歳代	158	0.6	6.3	23.4	23.4	44.9	-	1.3	7.0	46.8
50歳代	206	1.5	3.4	29.1	22.3	41.7	1.5	0.5	4.9	51.5
60歳代	220	-	2.3	32.3	20.9	41.8	2.3	0.5	2.3	53.2
70歳以上	285	0.4	1.1	36.5	19.3	40.7	0.7	1.4	1.4	55.8
女性／18・19歳	24	4.2	16.7	16.7	8.3	50.0	-	4.2	20.8	25.0
20歳代	107	6.5	4.7	23.4	10.3	51.4	2.8	0.9	11.2	33.6
【再掲】10歳代・20歳代	131	6.1	6.9	22.1	9.9	51.1	2.3	1.5	13.0	32.1
30歳代	172	0.6	4.1	33.1	16.3	43.0	2.9	-	4.7	49.4
40歳代	213	0.9	4.2	31.0	20.2	41.8	1.9	-	5.2	51.2
50歳代	246	1.6	3.3	33.3	15.9	44.7	0.4	0.8	4.9	49.2
60歳代	269	1.1	1.9	32.0	17.8	45.4	0.7	1.1	3.0	49.8
70歳以上	336	0.6	1.8	26.2	19.0	49.4	0.9	2.1	2.4	45.2
職業別										
自営業・家族従業（計）	184	2.7	8.7	28.8	24.5	32.6	1.6	1.1	11.4	53.3
雇用者（計）	1,336	1.6	4.3	29.0	17.2	45.8	1.5	0.4	6.0	46.3
無職（計）	958	0.7	2.0	30.9	20.1	43.4	1.1	1.7	2.7	51.0
ライフステージ別										
独身期	305	3.9	8.2	21.3	15.4	47.2	3.3	0.7	12.1	36.7
家族形成期	175	1.7	6.9	34.3	14.9	40.6	1.7	-	8.6	49.1
家族成長前期	203	2.0	4.4	29.6	19.7	42.9	1.0	0.5	6.4	49.3
家族成長後期	164	1.2	1.8	39.6	23.2	32.3	1.2	0.6	3.0	62.8
家族成熟期	459	0.9	3.1	27.9	21.1	45.3	0.9	0.9	3.9	49.0
高齢期	586	1.0	1.7	34.1	15.5	45.2	0.9	1.5	2.7	49.7
その他	632	0.5	3.3	26.7	21.8	44.9	1.4	1.3	3.8	48.6

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」と「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(52.5%)が最も高い

(問1で「3. 少し苦しくなった」または「4. 苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。)
 問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」と「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(各52.5%)が5割強と最も高く、次いで「税金や保険料などの支払いが増えた」(31.6%)が3割強、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」(25.9%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(24.3%)などとなっている。

【過去調査との比較】

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は令和3年度調査(26.3%)では、2割台半ばを超えて4位であったが、26.2ポイント増加し、「賃金などの収入が増えない、または減った」と並び、1位となった。

【属性別比較】

① 地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は川越比企地域（58.0%）で6割弱と最も高く、東部地域（49.2%）で最も低くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は南西部地域（54.6%）で5割台半ばと最も高く、北部地域（45.8%）で最も低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は西部地域（39.7%）で約4割と最も高く、県央地域（24.8%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=20）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（55.7%）の方が女性（50.8%）よりも4.9ポイント高くなっている。一方で、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性（54.2%）の方が男性（51.1%）よりも3.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は50歳代（67.4%）で6割台半ばを超えて最も高く、次いで40歳代（60.5%）で6割を超えている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（68.5%）で7割弱と最も高く、70歳以上（37.6%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性40歳代から60歳代までで6割以上と高く、特に男性50歳代（74.5%）で7割台半ばと最も高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性30歳代（72.9%）で7割強と最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性30歳代（38.6%）で4割弱と最も高く、女性50歳代（18.2%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は雇用者（計）（64.1%）で6割台半ばと最も高く、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」も雇用者（計）（59.9%）で約6割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は家族成長前期（63.0%）で6割強と最も高く、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」も家族成長前期（76.0%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は独身期（40.2%）で4割を超えて最も高くなっている。

【生活程度別】

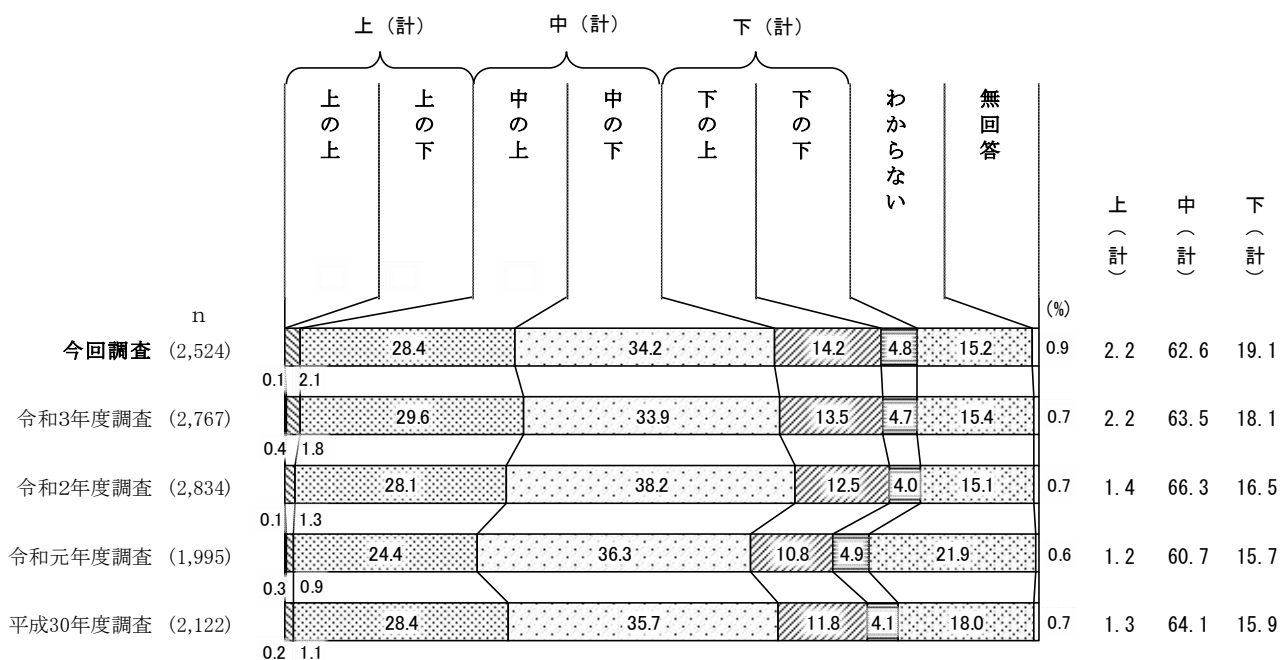
問2の生活程度別にみると、「賃金などの収入が増えない、または減った」は下（計）（60.3%）の方が中（計）（51.7%）よりも8.6ポイント高くなっている。一方で、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は中（計）（56.7%）の方が下（計）（44.1%）よりも12.6ポイント高くなっている。

※上（計）（n=7）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

(2) 生活程度

◇『中(計)』が62.6%、一方『下(計)』は19.1%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。
(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

世間一般からみた生活程度は、「中の下」(34.2%)が3割台半ばで最も高く、次いで「中の上」(28.4%)となっている。両者を合わせた『中(計)』(62.6%)は6割強となっている。同様に、「下の上」(14.2%)と「下の下」(4.8%)を合わせた『下(計)』(19.1%)は約2割、「上の下」(2.1%)と「上の上」(0.1%)を合わせた『上(計)』は2.2%となっている。

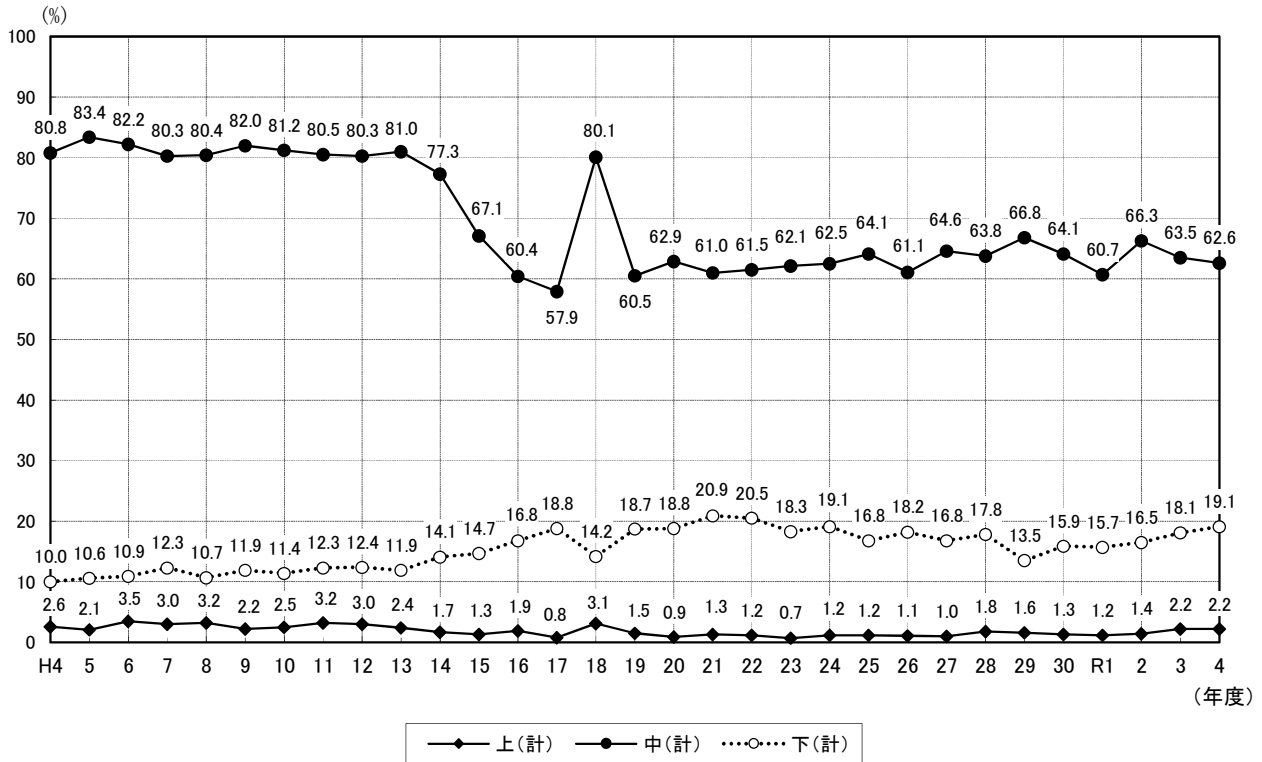
【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【経年比較】

平成19年度以降、『中（計）』は6割台で推移しており、今回調査では前回調査から減少した。また、『下（計）』は平成29年度調査以降、おおむね増加傾向となっている。

○生活程度・平成4年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

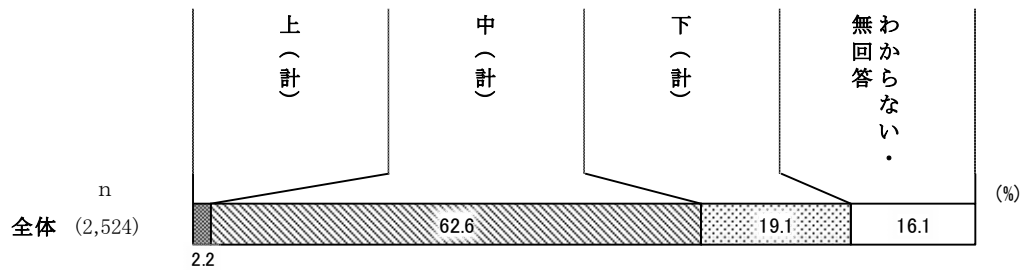
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、いずれの層でも生活程度を『中(計)』と回答した人が半数以上となっているが、楽になった(計)(74.2%)では7割台半ばと最も高く、次いで変わらない(68.7%)、苦しくなった(計)(57.4%)となっており、『中(計)』の割合に大きく差がある。また、『下(計)』は苦しくなった(計)(29.2%)で最も高くなっている。

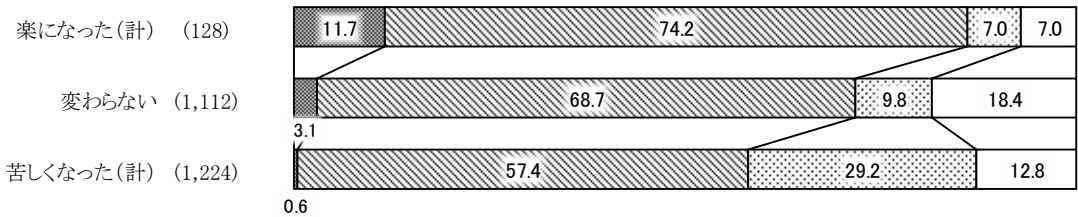
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、生活程度を『中(計)』と回答した割合は、満足している(計)(76.4%)が、不満である(計)(53.0%)よりも23.4ポイント高く、一方で、『下(計)』と回答した割合は不満である(計)(34.0%)が、満足している(5.1%)よりも28.9ポイント高くなっている。

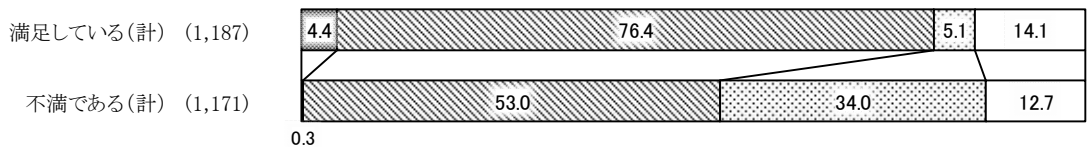
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

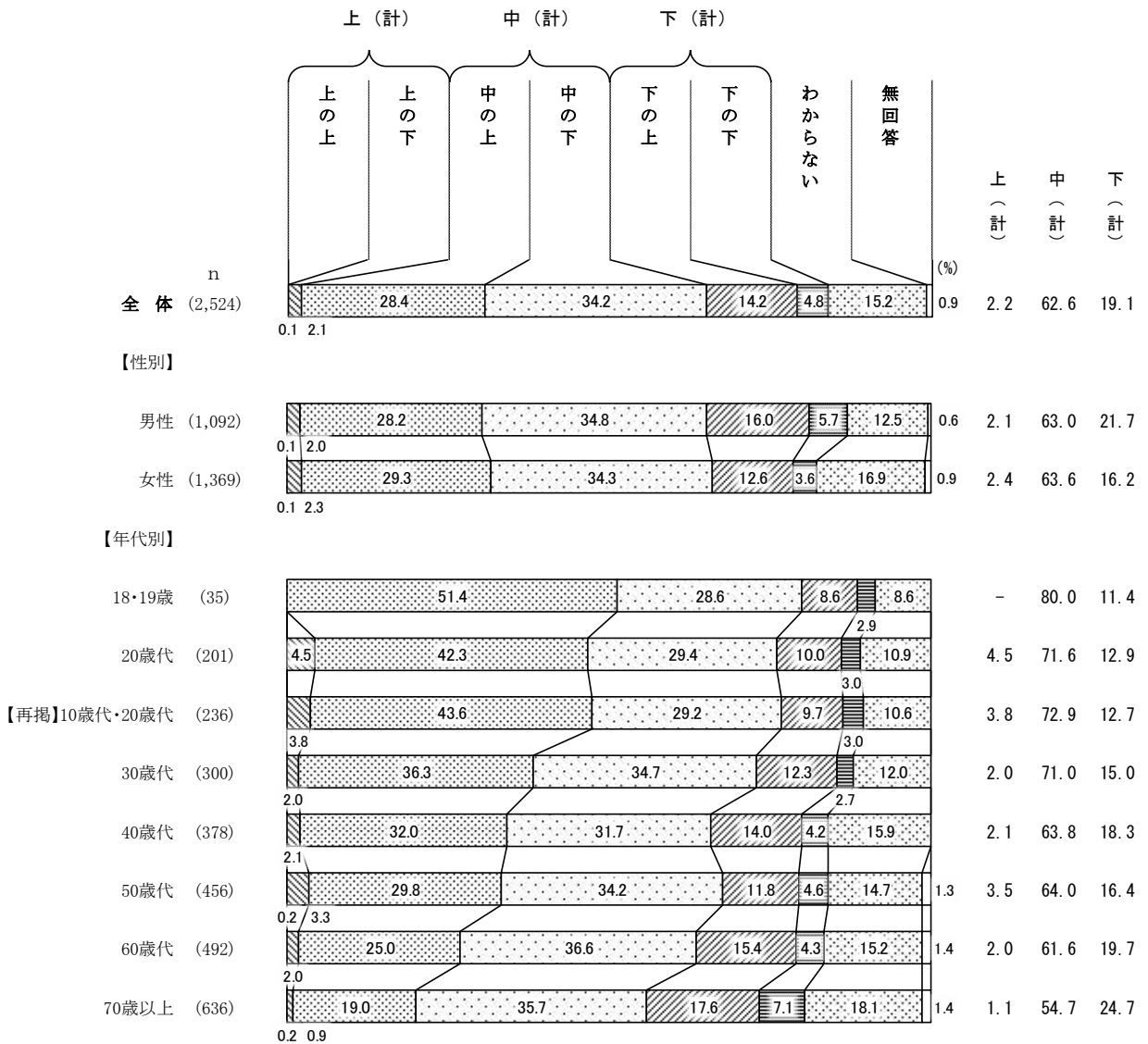
① 性別

『下（計）』は男性（21.7%）の方が女性（16.2%）よりも5.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『中（計）』は10歳代・20歳代（72.9%）で最も高くなっている。一方で、『下（計）』は70歳以上（24.7%）で2割台半ばと最も高く、『上（計）』は10歳代・20歳代（3.8%）で最も高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③ 地域別

『中（計）』はすべての地域で約6割以上となっており、南西部地域（70.5%）が7割を超えて最も高くなっている。一方で、『下（計）』は利根地域（24.2%）が2割台半ばと最も高く、『上（計）』は南西部地域（3.6%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『中（計）』は女性10歳代・20歳代（78.6%）で8割弱と最も高くなっている。一方で、『下（計）』は男性60歳代（25.5%）が2割台半ばで最も高く、『上（計）』は男性10歳代・20歳代（6.3%）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

『中（計）』は雇用者（計）（67.0%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『中（計）』は家族形成期（81.1%）で8割強と最も高く、『下（計）』はその他（25.9%）で2割台半ばと最も高くなっている。

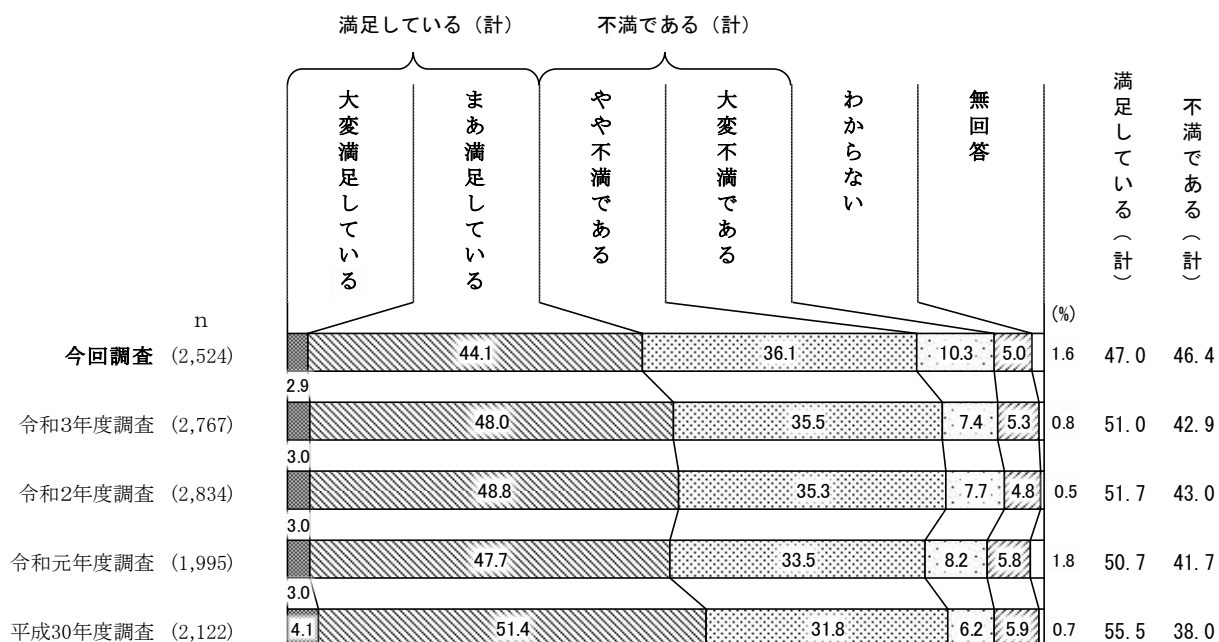
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	（%）		
										上（計）	中（計）	下（計）
全体	2,524	0.1	2.1	28.4	34.2	14.2	4.8	15.2	0.9	2.2	62.6	19.1
地域別												
南部地域	242	-	1.7	31.4	35.5	12.4	5.0	14.0	-	1.7	66.9	17.4
南西部地域	224	-	3.6	40.2	30.4	11.6	2.2	11.2	0.9	3.6	70.5	13.8
東部地域	399	-	0.8	26.3	33.8	14.5	6.0	17.0	1.5	0.8	60.2	20.6
さいたま地域	451	0.2	3.3	35.3	27.5	14.2	3.1	15.7	0.7	3.5	62.7	17.3
県央地域	192	-	2.6	27.1	37.5	13.0	4.2	15.1	0.5	2.6	64.6	17.2
川越比企地域	288	-	1.7	25.0	37.2	15.6	4.2	14.9	1.4	1.7	62.2	19.8
西部地域	259	0.4	1.9	25.1	37.5	11.6	6.9	16.2	0.4	2.3	62.5	18.5
利根地域	244	-	2.9	23.0	36.5	18.0	6.1	12.3	1.2	2.9	59.4	24.2
北部地域	159	-	1.3	20.1	39.6	18.9	5.0	13.8	1.3	1.3	59.7	23.9
秩父地域	37	-	-	16.2	45.9	2.7	5.4	29.7	-	-	62.2	8.1
性・年代別												
男性／18・19歳	9	-	-	66.7	11.1	11.1	-	11.1	-	-	77.8	11.1
20歳代	86	-	7.0	44.2	24.4	12.8	2.3	9.3	-	7.0	68.6	15.1
【再掲】10歳代・20歳代	95	-	6.3	46.3	23.2	12.6	2.1	9.5	-	6.3	69.5	14.7
30歳代	127	-	1.6	37.8	29.9	16.5	3.9	10.2	-	1.6	67.7	20.5
40歳代	158	-	1.9	32.3	34.2	12.7	7.0	12.0	-	1.9	66.5	19.6
50歳代	206	0.5	1.9	29.6	34.5	13.1	5.8	14.1	0.5	2.4	64.1	18.9
60歳代	220	-	2.7	23.2	35.9	20.0	5.5	11.8	0.9	2.7	59.1	25.5
70歳以上	285	-	0.4	18.2	40.7	17.9	7.0	14.4	1.4	0.4	58.9	24.9
女性／18・19歳	24	-	-	50.0	37.5	8.3	-	4.2	-	-	87.5	8.3
20歳代	107	-	2.8	42.1	34.6	7.5	1.9	11.2	-	2.8	76.6	9.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	-	2.3	43.5	35.1	7.6	1.5	9.9	-	2.3	78.6	9.2
30歳代	172	-	2.3	35.5	37.8	9.3	1.7	13.4	-	2.3	73.3	11.0
40歳代	213	-	2.3	32.9	30.0	13.6	2.3	18.8	-	2.3	62.9	16.0
50歳代	246	-	4.5	29.7	34.6	11.0	3.7	14.6	2.0	4.5	64.2	14.6
60歳代	269	-	1.5	26.8	37.2	11.5	3.3	18.2	1.5	1.5	63.9	14.9
70歳以上	336	0.3	1.5	20.2	32.1	17.6	6.3	20.8	1.2	1.8	52.4	23.8
職業別												
自営業・家族従業（計）	184	0.5	5.4	27.2	29.9	17.4	5.4	13.0	1.1	6.0	57.1	22.8
雇用者（計）	1,336	0.1	2.5	31.7	35.3	12.9	3.3	13.5	0.7	2.6	67.0	16.2
無職（計）	958	-	0.9	24.4	33.9	15.8	6.4	17.4	1.1	0.9	58.4	22.1
ライフステージ別												
独身期	305	-	2.3	37.0	29.5	13.1	4.3	13.8	-	2.3	66.6	17.4
家族形成期	175	-	2.9	44.6	36.6	8.0	1.1	6.9	-	2.9	81.1	9.1
家族成長前期	203	-	3.0	35.5	40.4	8.9	0.5	11.8	-	3.0	75.9	9.4
家族成長後期	164	0.6	4.3	40.2	27.4	9.1	-	17.7	0.6	4.9	67.7	9.1
家族成熟期	459	0.2	3.1	28.1	34.6	14.2	3.7	14.8	1.3	3.3	62.7	17.9
高齢期	586	-	0.9	23.4	36.5	17.2	5.3	15.5	1.2	0.9	59.9	22.5
その他	632	-	1.6	19.1	33.2	16.8	9.2	18.7	1.4	1.6	52.4	25.9

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は47.0%、『不満である（計）』は46.4%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。
 (○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」（44.1%）が4割台半ばで最も高く、次いで「やや不満である」（36.1%）となっている。「大変満足している」（2.9%）と「まあ満足している」（44.1%）を合わせた『満足している（計）』（47.0%）は4割台半ばを超え、「大変不満である」（10.3%）と「やや不満である」（36.1%）を合わせた『不満である（計）』（46.4%）は4割台半ばを超えている。

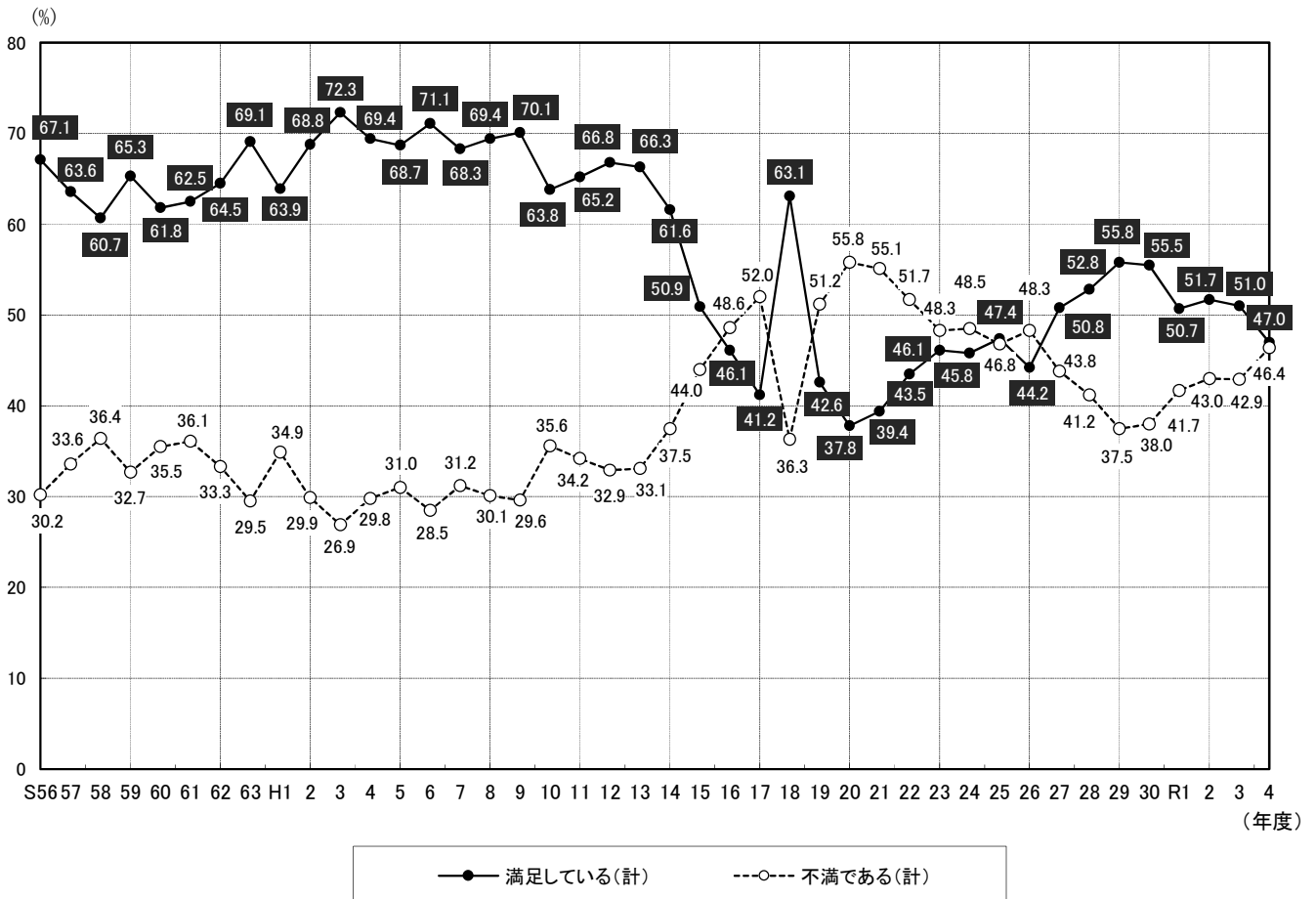
【過去調査との比較】

『満足している（計）』は令和3年度調査までは5割台で推移していたが、今回調査（47.0%）では5割を下回った。

【経年比較】

昭和56年度以降の推移をみると、平成19年度以降『不満である(計)』の割合が『満足している(計)』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している(計)』の割合が平成27年度調査(50.8%)で5割を超えて逆転した。今回調査は、『満足している(計)』(47.0%)が『不満である(計)』(46.4%)を上回っているものの、『満足している(計)』が5割を下回っている。

○生活全体の満足度・昭和56年度以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

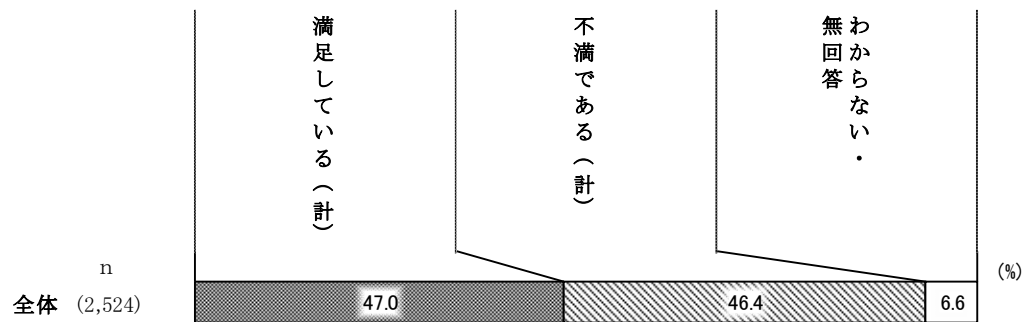
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は楽になった（計）では75.8%、変わらないでは67.5%と高くなっている。一方で、苦しくなった（計）では26.1%と低くなっている。

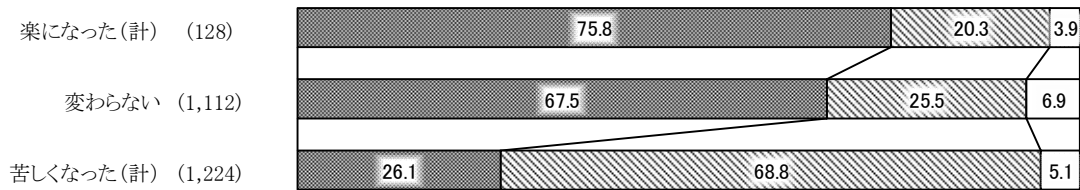
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は上（計）では92.9%と高く、中（計）でも57.4%と5割台半ばを超えて高くなっている。一方で、下（計）では12.7%と低くなっている。

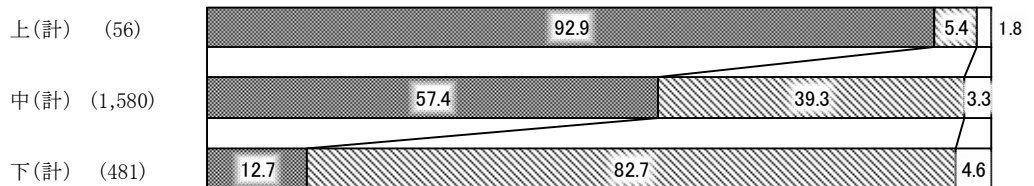
○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【属性別比較】

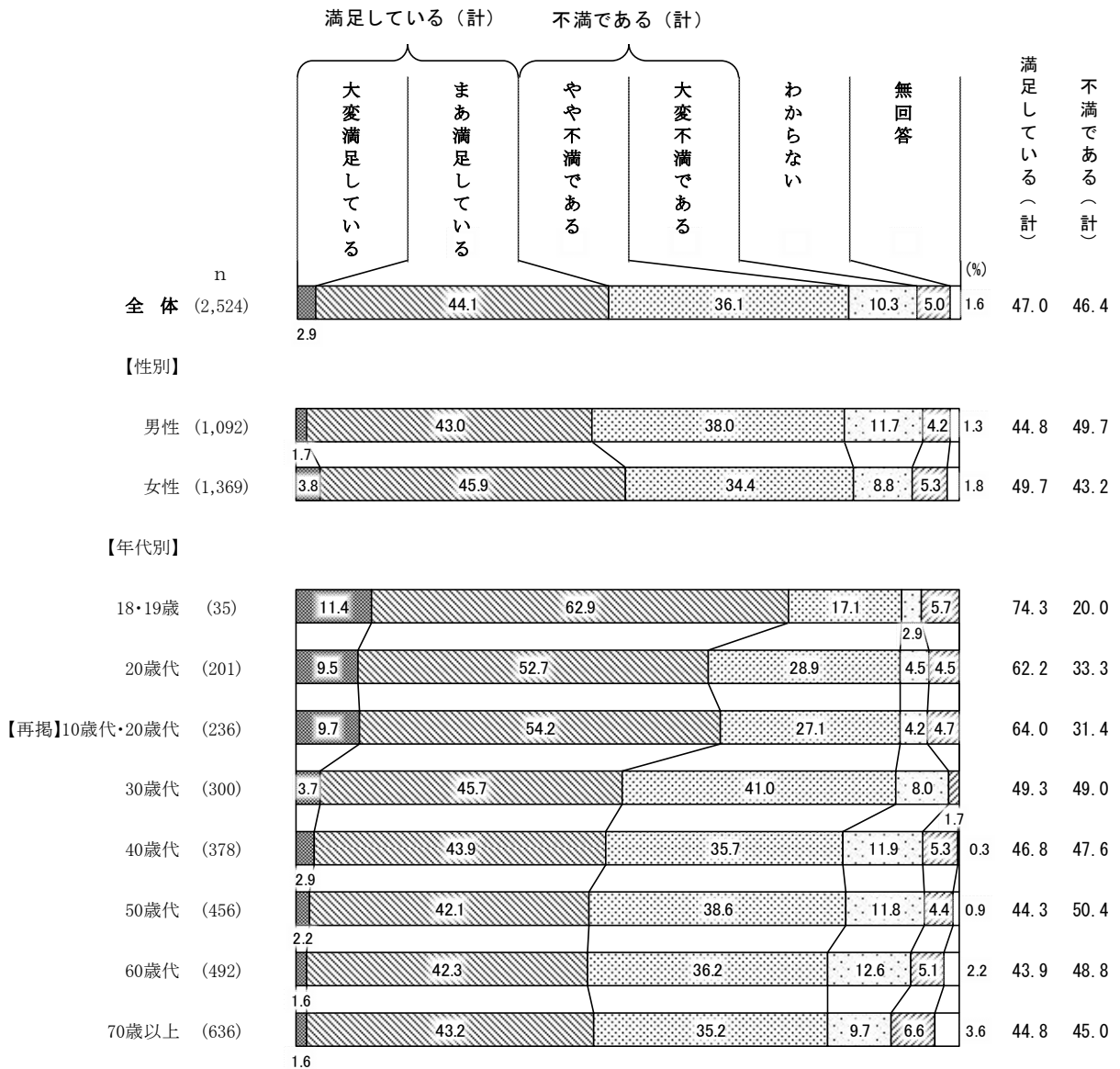
① 性別

『満足している（計）』は女性（49.7%）の方が男性（44.8%）よりも4.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（64.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は50歳代（50.4%）で5割を超えて最も高くなっている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は南西部地域（53.1％）で5割強と最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は北部地域（57.9％）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（66.3％）で6割台半ばを超えて、女性10歳代・20歳代（64.1％）で6割台半ばと高くなっている。一方で、『不満である（計）』は男性30歳代から70歳以上まで、女性60歳代で『満足している（計）』を上回って高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（49.0％）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は自営業・家族従業（計）（49.5％）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（56.6％）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』はその他（51.7％）と家族成熟期（47.7％）で『満足している（計）』よりも高くなっている。

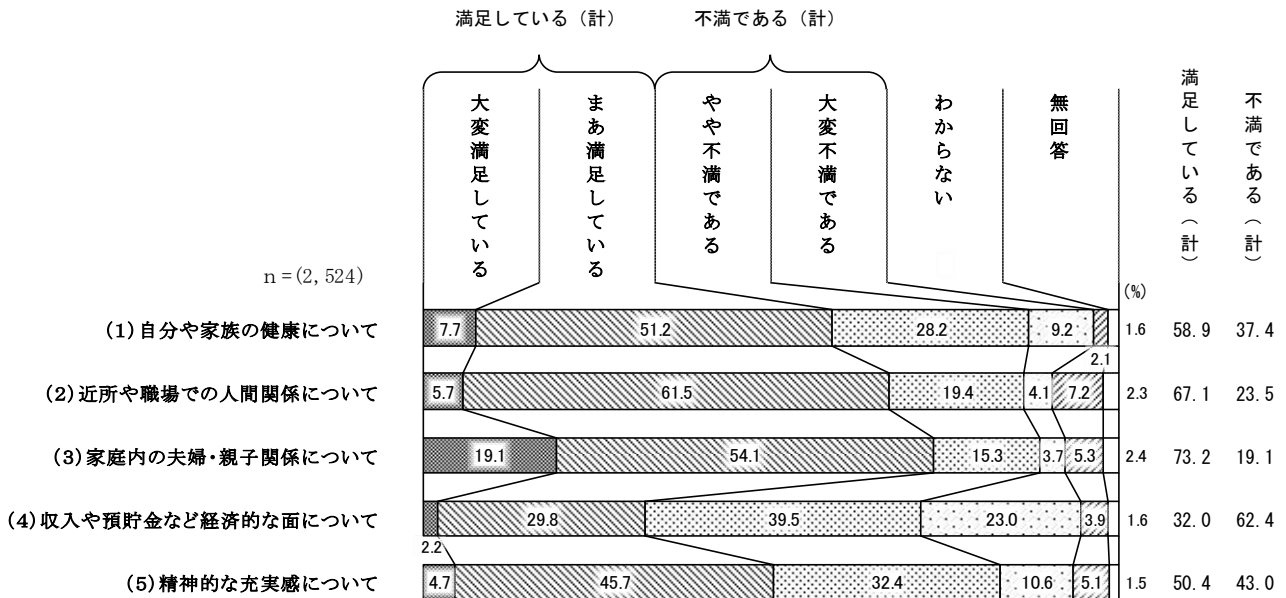
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	2.9	44.1	36.1	10.3	5.0	1.6	47.0	46.4
地域別									
南部地域	242	3.7	47.1	34.3	9.9	4.1	0.8	50.8	44.2
南西部地域	224	4.5	48.7	32.6	7.6	4.9	1.8	53.1	40.2
東部地域	399	2.5	44.1	35.6	9.0	6.5	2.3	46.6	44.6
さいたま地域	451	3.3	47.9	34.1	8.0	5.1	1.6	51.2	42.1
県央地域	192	3.1	49.0	32.8	10.4	3.1	1.6	52.1	43.2
川越比企地域	288	1.7	44.4	37.5	11.1	3.5	1.7	46.2	48.6
西部地域	259	5.0	35.9	41.3	12.0	4.2	1.5	40.9	53.3
利根地域	244	1.6	39.8	37.3	12.3	7.4	1.6	41.4	49.6
北部地域	159	-	39.0	41.5	16.4	2.5	0.6	39.0	57.9
秩父地域	37	2.7	40.5	35.1	13.5	8.1	-	43.2	48.6
性・年代別									
男性／18・19歳	9	11.1	77.8	11.1	-	-	-	88.9	11.1
20歳代	86	7.0	57.0	26.7	5.8	3.5	-	64.0	32.6
【再掲】10歳代・20歳代	95	7.4	58.9	25.3	5.3	3.2	-	66.3	30.5
30歳代	127	3.9	43.3	40.2	11.8	0.8	-	47.2	52.0
40歳代	158	0.6	44.3	36.7	12.7	5.1	0.6	44.9	49.4
50歳代	206	1.0	38.8	39.3	16.0	4.4	0.5	39.8	55.3
60歳代	220	1.4	41.8	36.4	14.5	4.5	1.4	43.2	50.9
70歳以上	285	0.4	40.7	42.5	8.1	5.3	3.2	41.1	50.5
女性／18・19歳	24	8.3	58.3	20.8	4.2	8.3	-	66.7	25.0
20歳代	107	12.1	51.4	29.0	2.8	4.7	-	63.6	31.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	11.5	52.7	27.5	3.1	5.3	-	64.1	30.5
30歳代	172	3.5	47.7	41.3	5.2	2.3	-	51.2	46.5
40歳代	213	4.7	45.1	34.7	9.9	5.6	-	49.8	44.6
50歳代	246	2.8	45.5	38.2	8.1	4.1	1.2	48.4	46.3
60歳代	269	1.9	42.4	36.4	11.2	5.6	2.6	44.2	47.6
70歳以上	336	2.7	46.4	28.9	11.0	7.1	3.9	49.1	39.9
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	6.0	38.0	35.9	13.6	4.3	2.2	44.0	49.5
雇用者（計）	1,336	2.5	46.4	37.1	9.7	3.7	0.6	49.0	46.8
無職（計）	958	2.8	42.3	35.2	10.2	6.7	2.8	45.1	45.4
ライフステージ別									
独身期	305	6.9	46.9	33.8	8.5	3.9	-	53.8	42.3
家族形成期	175	6.9	49.7	37.7	3.4	2.3	-	56.6	41.1
家族成長前期	203	2.5	51.7	35.0	7.4	3.0	0.5	54.2	42.4
家族成長後期	164	2.4	46.3	32.9	11.6	6.1	0.6	48.8	44.5
家族成熟期	459	2.4	43.8	36.4	11.3	3.9	2.2	46.2	47.7
高齢期	586	1.2	44.9	35.7	9.6	5.8	2.9	46.1	45.2
その他	632	2.1	37.8	38.0	13.8	6.5	1.9	39.9	51.7

(4) 各生活面に対する満足度

◇『満足している（計）』は家庭内の夫婦・親子関係についてが73.2%

問4 次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

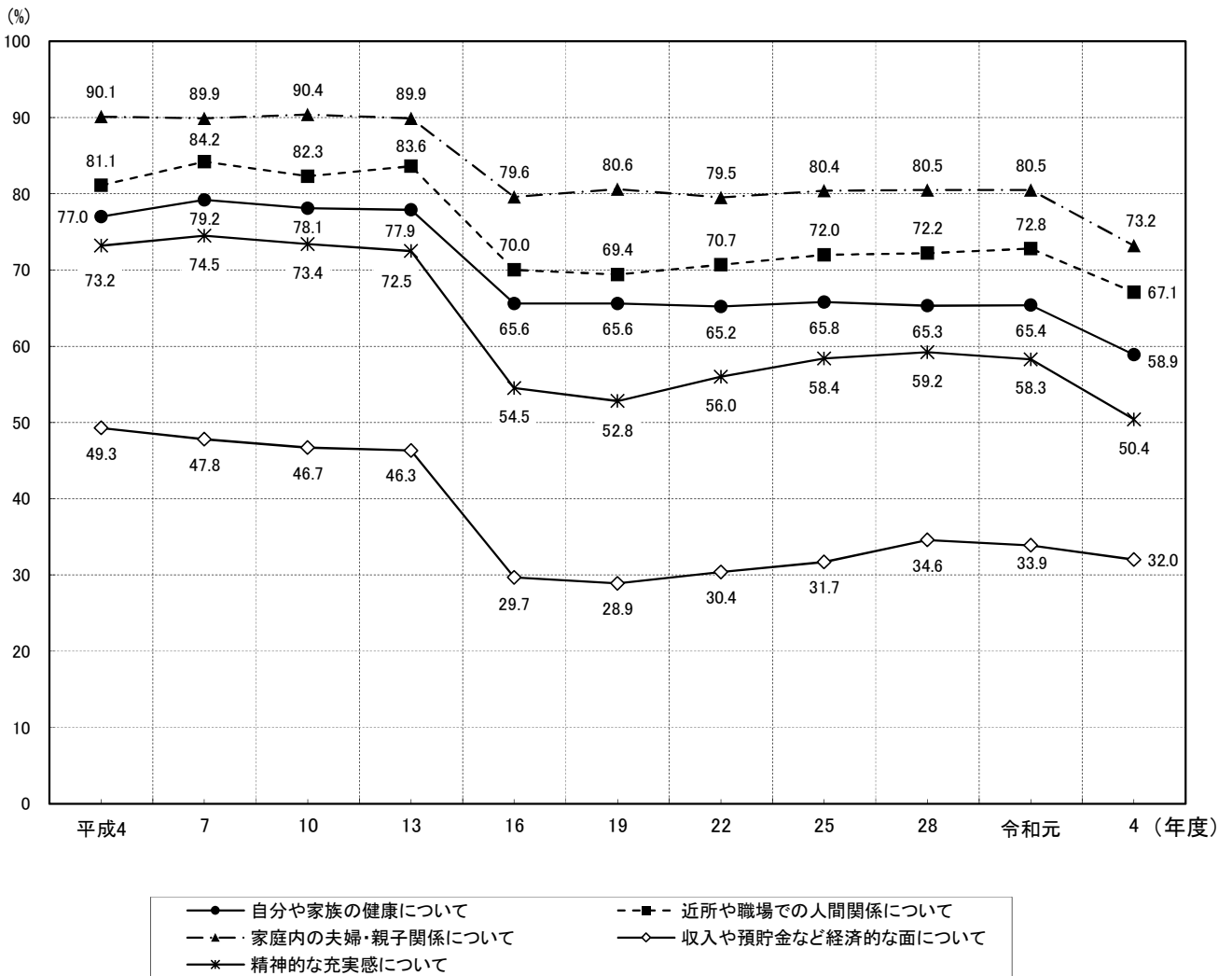


各生活面に対する満足度は、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している（計）』は（3）家庭内の夫婦・親子関係について（73.2%）が7割強と最も高く、次いで（2）近所や職場での人間関係について（67.1%）が6割台半ばを超えて高くなっている。一方で、「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である（計）』は（4）収入や預貯金など経済的な面について（62.4%）が6割強と最も高く、『満足している（計）』を上回っている。

【経年比較】

平成4年度以降の満足度の推移（3年ごと）をみると、各項目とも平成4年度から13年度までは大きな変化はないが、平成16年度にいずれも大きく減少し、今回調査では「収入や預貯金などの経済的な面について」は横ばい、その他の項目では減少している。

○各生活面に対する満足度・平成4年度以降の満足層の推移



(1) 自分や家族の健康について

自分や家族の健康についての満足度は、『満足している(計)』(58.9%)は6割弱、『不満である(計)』(37.4%)は3割台半ばを超えている。『満足している(計)』が『不満である(計)』を21.5ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『満足している(計)』は5.6ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している(計)』は楽になった(計)(74.2%)が7割台半ば、変わらない(67.5%)が6割台半ばを超え、苦しくなった(計)(50.4%)が5割を超えている。

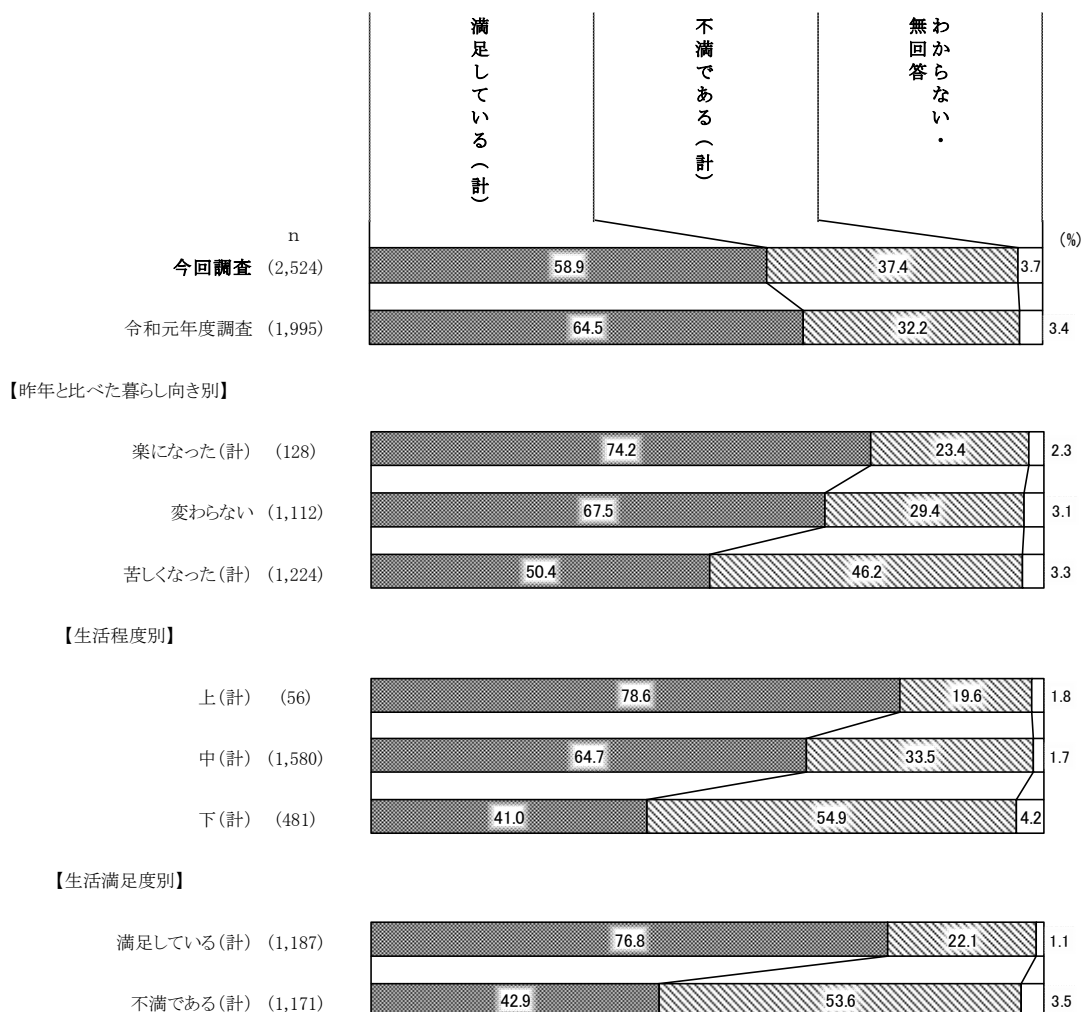
【生活程度別】

『満足している(計)』は上(計)(78.6%)が8割弱、中(計)(64.7%)が6割台半ば、下(計)(41.0%)では4割強と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

『満足している(計)』は満足している(計)(76.8%)が不満である(計)(42.9%)を33.9ポイント上回っている。

○「(1) 自分や家族の健康について」・令和元年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

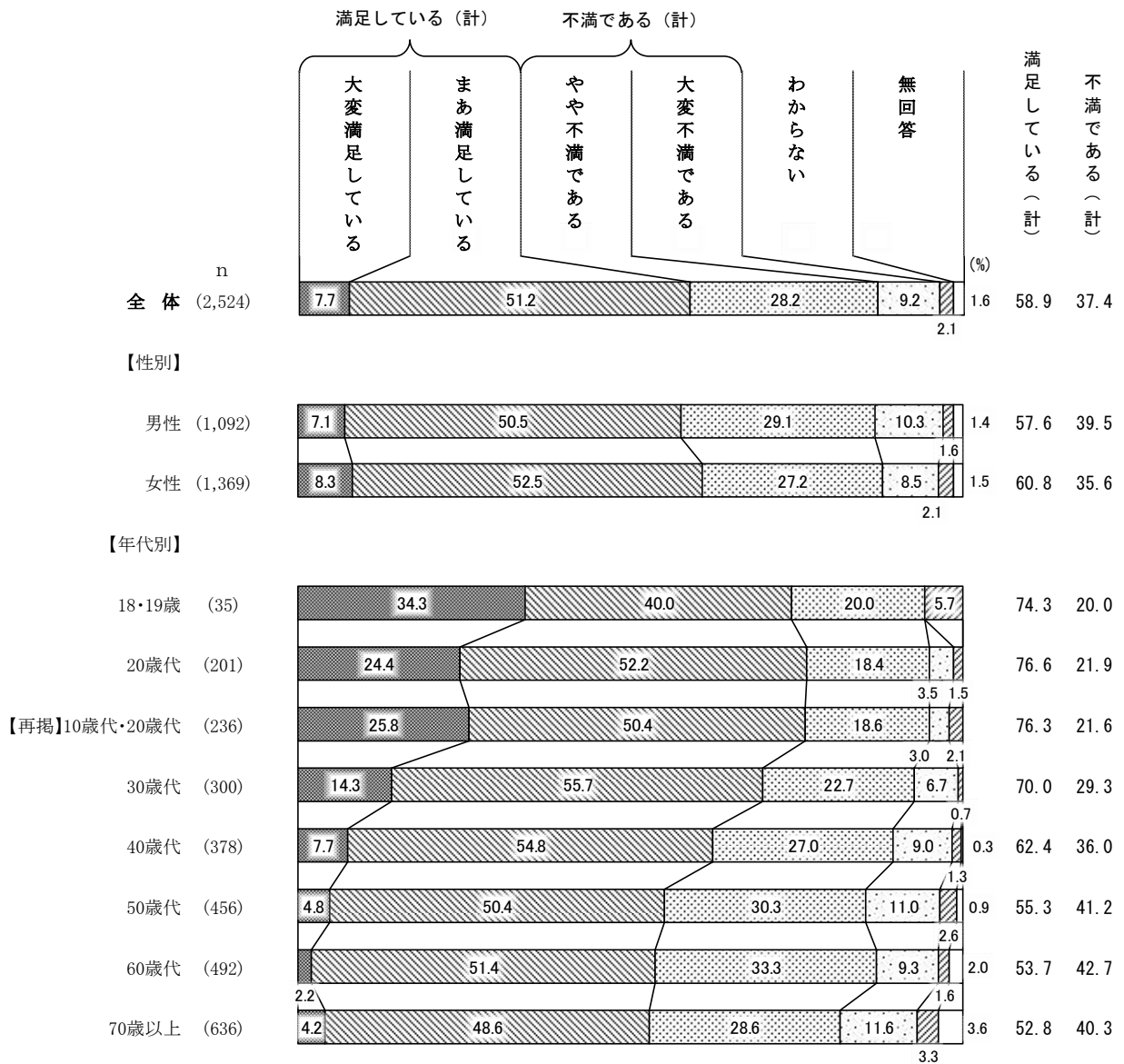
① 性別

『満足している（計）』は女性（60.8%）の方が男性（57.6%）よりも3.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（76.3%）で7割台半ばを超えて最も高く、いずれの年代でも半数を超えている。

○ 「（1）自分や家族の健康について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は県央地域（64.6%）で6割台半ばと最も高く、いずれの地域でも半数を超えている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（81.1%）で8割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（63.3%）で6割強と最も高く、いずれの職業でも半数を超えている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（78.3%）で8割弱と最も高く、一方で、その他は『不満である（計）』が『満足している（計）』を上回っている。

○ 「(1) 自分や家族の健康について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	
								満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	7.7	51.2	28.2	9.2	2.1	1.6	58.9	37.4
地域別									
南部地域	242	6.2	53.3	29.8	8.7	0.8	1.2	59.5	38.4
南西部地域	224	11.6	48.2	25.9	9.8	3.1	1.3	59.8	35.7
東部地域	399	6.8	53.1	27.3	8.5	1.8	2.5	59.9	35.8
さいたま地域	451	7.5	55.0	25.5	8.6	2.2	1.1	62.5	34.1
県央地域	192	12.5	52.1	21.9	9.9	3.1	0.5	64.6	31.8
川越比企地域	288	8.0	50.3	28.8	6.6	3.5	2.8	58.3	35.4
西部地域	259	6.6	47.5	30.1	12.7	1.9	1.2	54.1	42.9
利根地域	244	3.7	47.1	34.4	11.9	1.2	1.6	50.8	46.3
北部地域	159	10.1	51.6	32.1	5.0	0.6	0.6	61.6	37.1
秩父地域	37	2.7	51.4	24.3	13.5	5.4	2.7	54.1	37.8
性・年代別									
男性／18・19歳	9	44.4	44.4	11.1	-	-	-	88.9	11.1
20歳代	86	25.6	54.7	15.1	4.7	-	-	80.2	19.8
【再掲】10歳代・20歳代	95	27.4	53.7	14.7	4.2	-	-	81.1	18.9
30歳代	127	14.2	55.1	22.8	7.9	-	-	69.3	30.7
40歳代	158	5.7	54.4	29.1	8.9	1.3	0.6	60.1	38.0
50歳代	206	4.4	51.0	29.6	12.1	2.4	0.5	55.3	41.7
60歳代	220	1.4	47.7	35.9	10.5	2.3	2.3	49.1	46.4
70歳以上	285	4.6	47.0	30.9	13.0	1.8	2.8	51.6	43.9
女性／18・19歳	24	29.2	41.7	25.0	-	4.2	-	70.8	25.0
20歳代	107	24.3	52.3	18.7	2.8	1.9	-	76.6	21.5
【再掲】10歳代・20歳代	131	25.2	50.4	19.8	2.3	2.3	-	75.6	22.1
30歳代	172	14.5	55.8	22.7	5.8	1.2	-	70.3	28.5
40歳代	213	9.4	55.4	25.4	8.9	0.9	-	64.8	34.3
50歳代	246	5.3	50.0	30.9	10.2	2.4	1.2	55.3	41.1
60歳代	269	3.0	54.6	31.2	8.6	1.1	1.5	57.6	39.8
70歳以上	336	4.2	50.3	27.1	10.7	3.9	3.9	54.5	37.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	8.7	53.3	21.7	12.5	2.2	1.6	62.0	34.2
雇用者（計）	1,336	9.1	54.3	28.4	6.4	1.4	0.4	63.3	34.8
無職（計）	958	5.7	46.7	29.2	12.5	2.9	2.9	52.4	41.8
ライフステージ別									
独身期	305	19.0	49.5	24.3	4.9	2.3	-	68.5	29.2
家族形成期	175	17.7	60.6	16.6	5.1	-	-	78.3	21.7
家族成長前期	203	13.3	58.1	21.2	7.4	-	-	71.4	28.6
家族成長後期	164	9.8	65.2	18.9	3.0	3.0	-	75.0	22.0
家族成熟期	459	3.7	51.4	32.2	9.6	1.7	1.3	55.1	41.8
高齢期	586	3.6	53.1	29.7	9.7	1.5	2.4	56.7	39.4
その他	632	3.8	41.6	33.5	13.9	4.0	3.2	45.4	47.5

(2) 近所や職場での人間関係について

近所や職場での人間関係についての満足度は、『満足している(計)』(67.1%)は6割台半ばを超え、『不満である(計)』(23.5%)は2割強となっている。『満足している(計)』が『不満である(計)』を43.6ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『満足している(計)』は5.7ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している(計)』は楽になった(計)(78.1%)が8割弱、変わらない(74.0%)が7割台半ばで、苦しくなった(計)(60.4%)では6割を超えている。

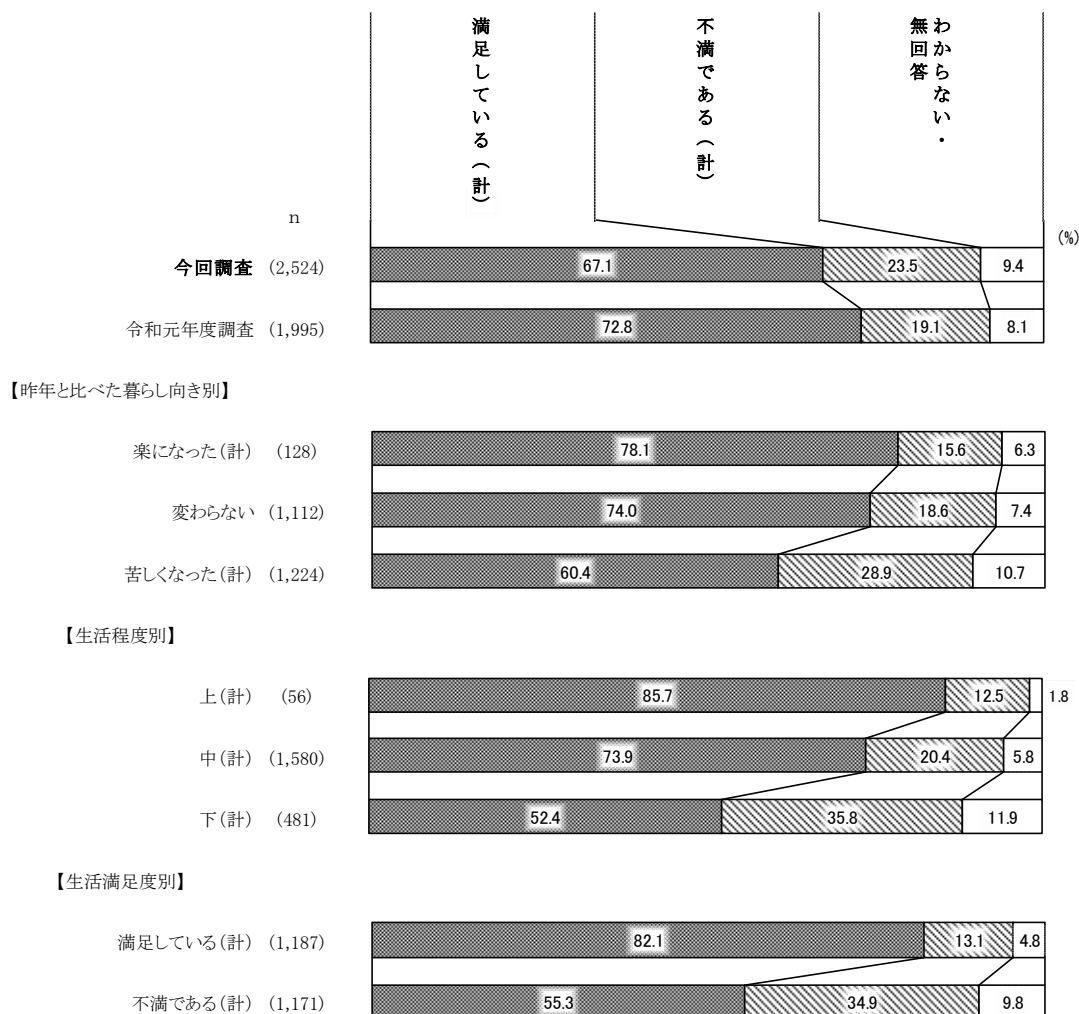
【生活程度別】

『満足している(計)』は上(計)(85.7%)が8割台半ば、中(計)(73.9%)が7割強で、下(計)(52.4%)では5割強と大きな差が出ている。

【生活満足度別】

『満足している(計)』は満足している(計)(82.1%)が不満である(計)(55.3%)を26.8ポイント上回っている。

○「(2) 近所や職場での人間関係について」・令和元年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

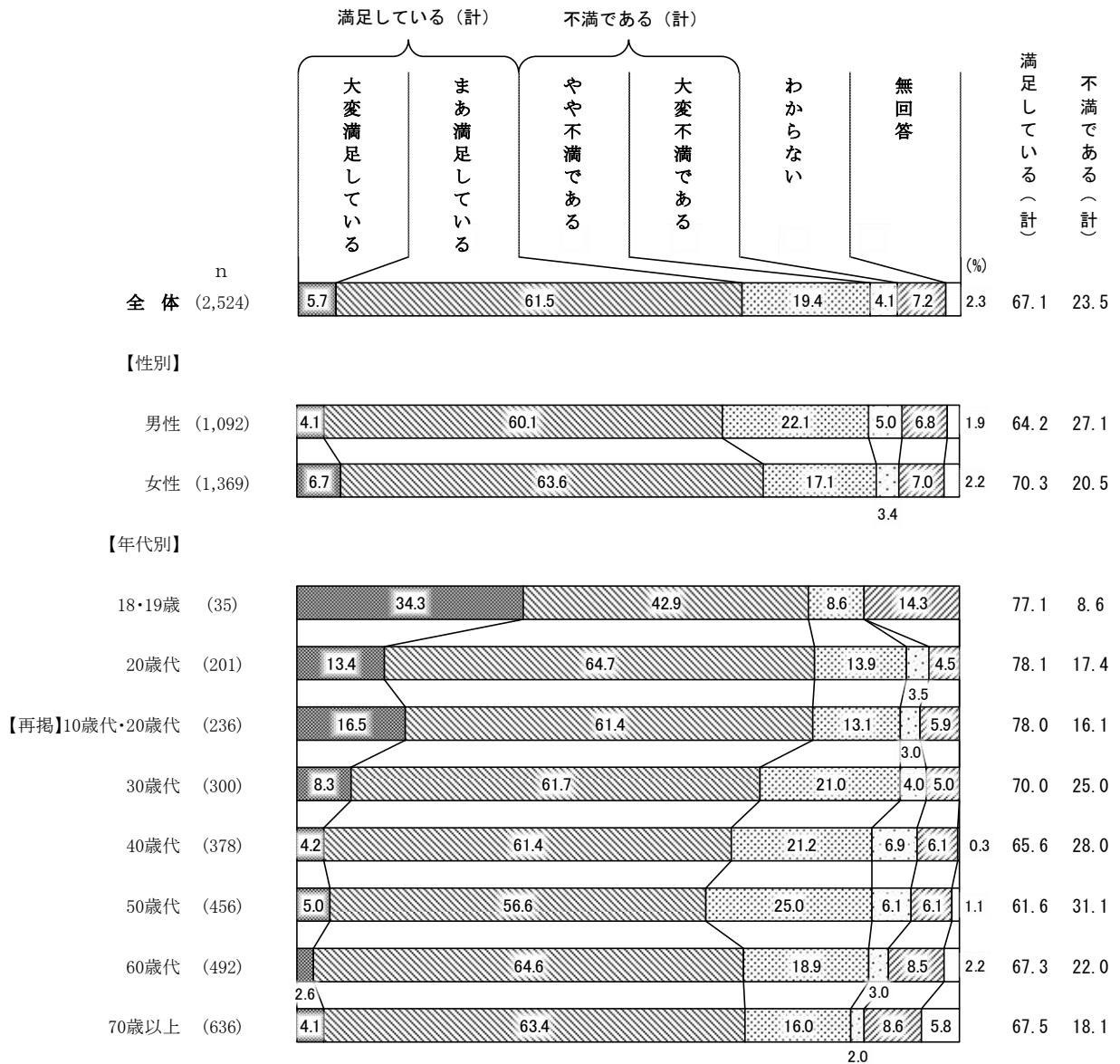
① 性別

『満足している（計）』は女性（70.3%）の方が男性（64.2%）よりも6.1ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（78.0%）で8割弱と最も高く、いずれの年代でも6割を超えている。

○ 「（2）近所や職場での人間関係について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は南西部地域（72.3%）で7割強と最も高く、いずれの地域でも半数を超えている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（80.0%）で8割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（76.6%）で7割台半ばを超えて最も高く、いずれの職業でも6割台半ばを超えている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（74.9%）で7割台半ばと最も高く、いずれのライフステージでも半数を超えている。

○「（2）近所や職場での人間関係について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	
								満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	5.7	61.5	19.4	4.1	7.2	2.3	67.1	23.5
地域別									
南部地域	242	4.5	62.8	19.4	3.3	8.3	1.7	67.4	22.7
南西部地域	224	6.3	66.1	14.7	3.1	8.5	1.3	72.3	17.9
東部地域	399	7.5	58.6	20.6	5.0	5.0	3.3	66.2	25.6
さいたま地域	451	6.0	65.4	17.5	2.9	7.1	1.1	71.4	20.4
県央地域	192	8.3	56.8	18.8	3.6	10.9	1.6	65.1	22.4
川越比企地域	288	3.8	66.3	17.7	3.5	5.9	2.8	70.1	21.2
西部地域	259	5.4	58.3	21.6	5.4	6.6	2.7	63.7	27.0
利根地域	244	4.5	57.0	22.5	5.7	7.4	2.9	61.5	28.3
北部地域	159	4.4	62.9	20.8	4.4	5.7	1.9	67.3	25.2
秩父地域	37	-	54.1	27.0	5.4	8.1	5.4	54.1	32.4
性・年代別									
男性／18・19歳	9	22.2	55.6	-	-	22.2	-	77.8	-
20歳代	86	11.6	68.6	12.8	3.5	3.5	-	80.2	16.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	12.6	67.4	11.6	3.2	5.3	-	80.0	14.7
30歳代	127	6.3	53.5	29.1	5.5	5.5	-	59.8	34.6
40歳代	158	2.5	56.3	24.1	11.4	5.1	0.6	58.9	35.4
50歳代	206	3.4	51.0	31.1	7.3	6.8	0.5	54.4	38.3
60歳代	220	2.7	64.5	19.5	3.6	7.3	2.3	67.3	23.2
70歳以上	285	2.8	65.6	16.8	1.4	8.4	4.9	68.4	18.2
女性／18・19歳	24	33.3	41.7	12.5	-	12.5	-	75.0	12.5
20歳代	107	15.9	62.6	15.0	2.8	3.7	-	78.5	17.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	19.1	58.8	14.5	2.3	5.3	-	77.9	16.8
30歳代	172	9.9	67.4	15.1	2.9	4.7	-	77.3	18.0
40歳代	213	5.6	65.3	19.2	3.8	6.1	-	70.9	23.0
50歳代	246	6.1	62.2	19.1	5.3	5.7	1.6	68.3	24.4
60歳代	269	2.6	65.1	18.2	2.6	9.7	1.9	67.7	20.8
70歳以上	336	4.8	62.5	15.5	2.7	8.3	6.3	67.3	18.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	10.3	66.3	14.1	2.2	5.4	1.6	76.6	16.3
雇用者（計）	1,336	5.8	60.9	23.8	5.7	3.3	0.5	66.7	29.5
無職（計）	958	4.5	61.8	14.4	2.3	12.7	4.3	66.3	16.7
ライフステージ別									
独身期	305	13.1	59.3	16.7	4.6	6.2	-	72.5	21.3
家族形成期	175	8.6	66.3	19.4	1.1	4.6	-	74.9	20.6
家族成長前期	203	9.4	63.1	19.7	4.9	3.0	-	72.4	24.6
家族成長後期	164	3.7	65.2	20.1	7.3	3.7	-	68.9	27.4
家族成熟期	459	3.5	60.1	21.6	4.4	8.7	1.7	63.6	25.9
高齢期	586	3.8	68.6	17.1	1.5	5.8	3.2	72.4	18.6
その他	632	4.0	54.0	20.9	5.7	10.8	4.7	57.9	26.6

（3）家庭内の夫婦・親子関係について

家庭内の夫婦・親子関係についての満足度は、『満足している（計）』（73.2%）は7割強、『不満である（計）』（19.1%）は約2割となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を54.1ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『満足している（計）』は7.3ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（80.5%）が8割を超え、変わらない（79.2%）が約8割で、苦しくなった（計）（67.5%）では6割台半ばを超えている。

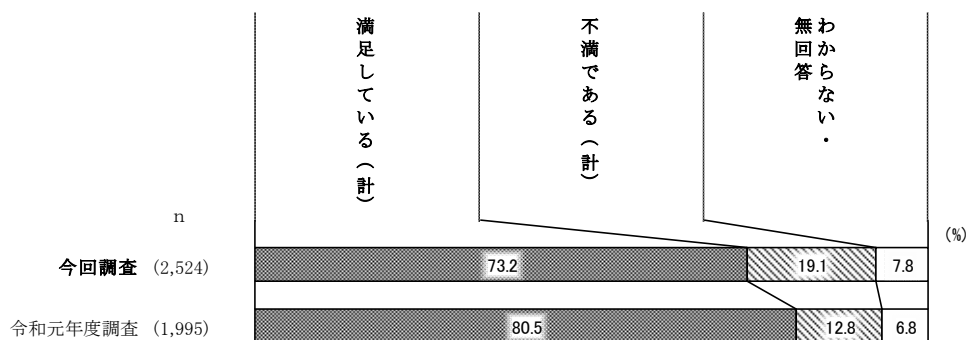
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（92.9%）が9割強、中（計）（78.8%）が8割弱で、下（計）（58.2%）では6割弱と大きな差が出ている。

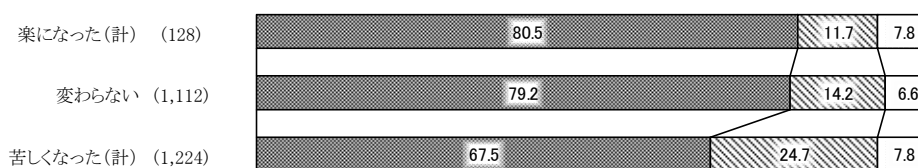
【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（87.4%）が不満である（計）（62.1%）を25.3ポイント上回っている。

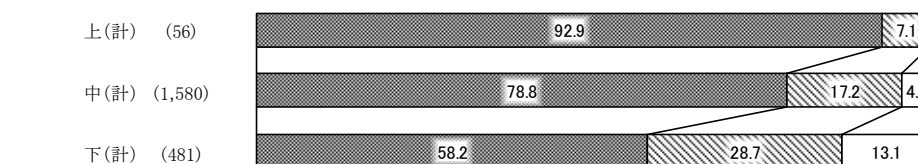
○「（3）家庭内の夫婦・親子関係について」・令和元年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



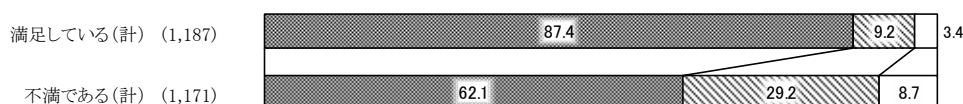
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

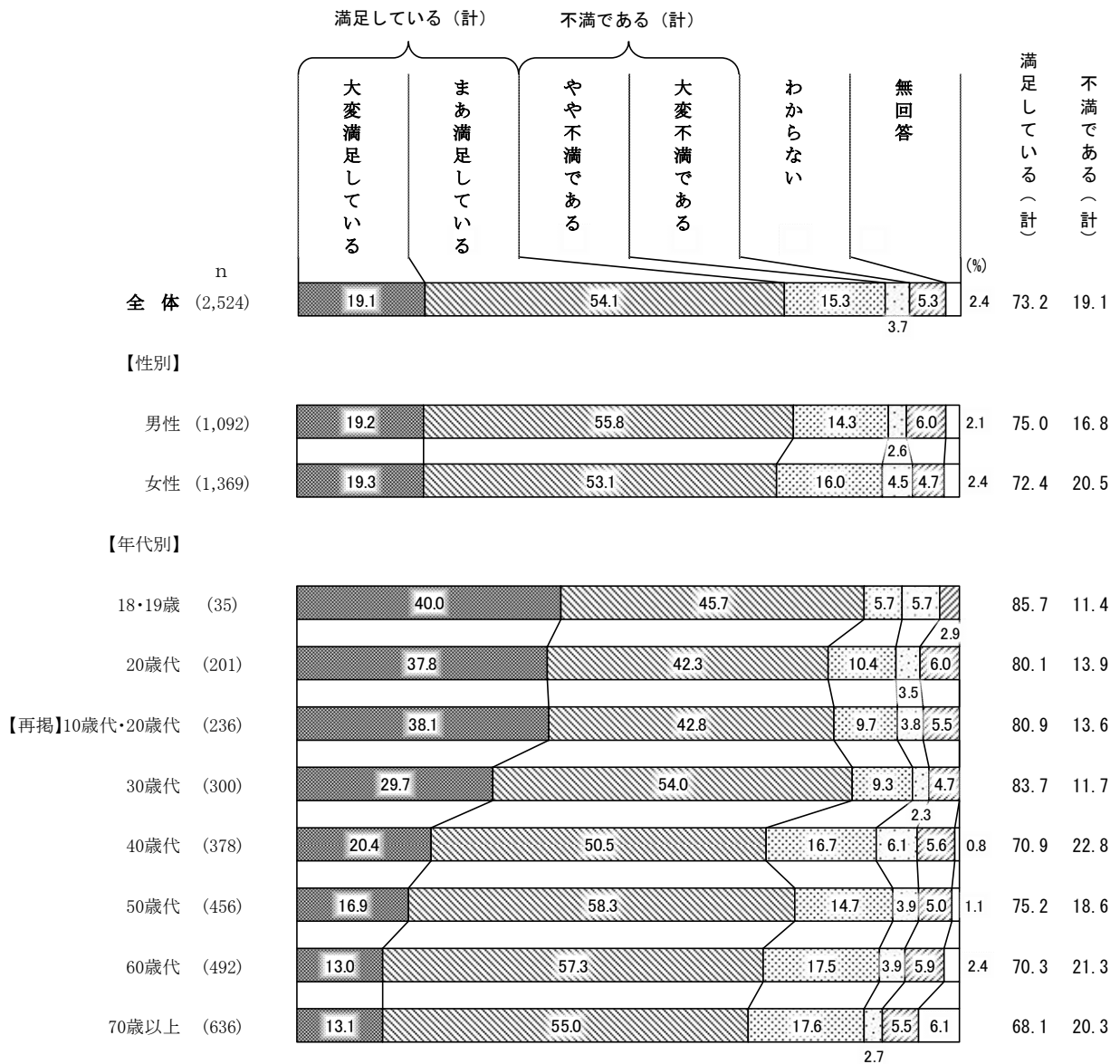
① 性別

『満足している（計）』は男性（75.0%）の方が女性（72.4%）よりも2.6ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は30歳代（83.7%）で8割強と最も高く、いずれの年代でも6割台後半以上となっている。

○ 「（3）家庭内の夫婦・親子関係について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は県央地域（80.2%）で8割を超えて最も高く、いずれの地域でも6割台後半以上となっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（84.2%）で8割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（76.6%）で7割台半ばを超えて最も高く、いずれの職業でも6割台後半以上となっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（91.4%）で9割強と最も高く、いずれのライフステージでも6割を超えている。

○ 「(3) 家庭内の夫婦・親子関係について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	
								満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	19.1	54.1	15.3	3.7	5.3	2.4	73.2	19.1
地域別									
南部地域	242	22.3	51.2	12.0	5.0	7.9	1.7	73.6	16.9
南西部地域	224	25.0	53.1	12.1	3.6	4.5	1.8	78.1	15.6
東部地域	399	17.5	54.6	17.3	2.0	6.0	2.5	72.2	19.3
さいたま地域	451	19.5	52.8	15.3	3.8	6.2	2.4	72.3	19.1
県央地域	192	28.1	52.1	10.9	3.1	4.2	1.6	80.2	14.1
川越比企地域	288	18.1	56.6	13.9	4.5	4.2	2.8	74.7	18.4
西部地域	259	13.9	55.6	18.1	3.9	5.4	3.1	69.5	22.0
利根地域	244	15.2	52.9	19.7	4.9	4.5	2.9	68.0	24.6
北部地域	159	15.1	59.7	16.4	3.1	3.8	1.9	74.8	19.5
秩父地域	37	16.2	56.8	10.8	5.4	8.1	2.7	73.0	16.2
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	55.6	11.1	-	-	-	88.9	11.1
20歳代	86	38.4	45.3	5.8	2.3	8.1	-	83.7	8.1
【再掲】10歳代・20歳代	95	37.9	46.3	6.3	2.1	7.4	-	84.2	8.4
30歳代	127	29.1	54.3	10.2	0.8	5.5	-	83.5	11.0
40歳代	158	18.4	50.6	19.6	5.1	5.1	1.3	69.0	24.7
50歳代	206	13.6	60.7	14.6	3.9	6.8	0.5	74.3	18.4
60歳代	220	18.2	57.3	12.7	2.3	7.3	2.3	75.5	15.0
70歳以上	285	14.0	57.5	16.8	1.4	4.9	5.3	71.6	18.2
女性／18・19歳	24	41.7	45.8	4.2	4.2	4.2	-	87.5	8.3
20歳代	107	39.3	39.3	14.0	3.7	3.7	-	78.5	17.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	39.7	40.5	12.2	3.8	3.8	-	80.2	16.0
30歳代	172	30.2	53.5	8.7	3.5	4.1	-	83.7	12.2
40歳代	213	22.5	50.7	14.1	6.6	5.6	0.5	73.2	20.7
50歳代	246	19.1	56.5	15.0	4.1	3.7	1.6	75.6	19.1
60歳代	269	8.9	57.2	21.6	5.2	4.8	2.2	66.2	26.8
70歳以上	336	12.2	53.6	18.5	3.9	5.4	6.5	65.8	22.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	19.0	54.3	15.2	4.3	5.4	1.6	73.4	19.6
雇用者（計）	1,336	22.3	54.3	13.6	3.8	5.1	0.9	76.6	17.4
無職（計）	958	14.7	54.0	17.5	3.4	5.9	4.4	68.7	21.0
ライフステージ別									
独身期	305	29.5	46.6	11.1	3.9	8.9	-	76.1	15.1
家族形成期	175	39.4	52.0	8.0	0.6	-	-	91.4	8.6
家族成長前期	203	25.1	58.6	10.8	5.4	-	-	83.7	16.3
家族成長後期	164	20.1	52.4	21.3	4.3	1.8	-	72.6	25.6
家族成熟期	459	18.3	59.0	16.3	3.7	1.3	1.3	77.3	20.0
高齢期	586	13.0	59.7	19.8	2.6	1.9	3.1	72.7	22.4
その他	632	12.5	48.4	14.4	4.9	13.9	5.9	60.9	19.3

(4) 収入や預貯金など経済的な面について

収入や預貯金など経済的な面についての満足度は、『満足している(計)』(32.0%)は3割強、『不満である(計)』(62.4%)は6割強となっている。『不満である(計)』が『満足している(計)』を30.4ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『満足している(計)』は1.9ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している(計)』は楽になった(計)(59.4%)が約6割、変わらない(52.4%)が5割強、苦しくなった(計)では『不満である(計)』(84.6%)が8割台半ばとなっている。

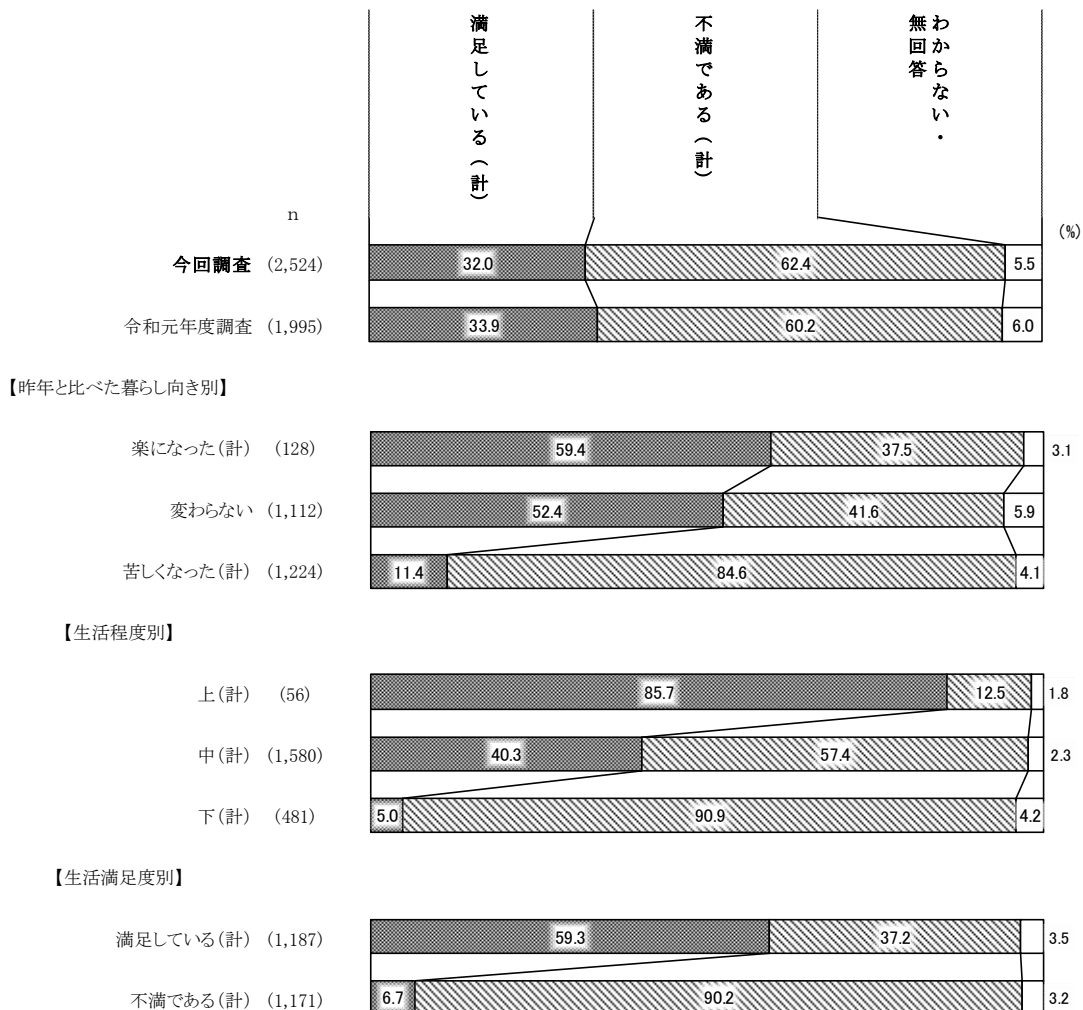
【生活程度別】

『満足している(計)』は上(計)(85.7%)が8割台半ば、『不満である(計)』は下(計)(90.9%)が9割を超えている。

【生活満足度別】

『満足している(計)』は満足している(計)(59.3%)が不満である(計)(6.7%)を52.6ポイント上回っている。

○「(4) 収入や預貯金など経済的な面について」・令和元年度調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

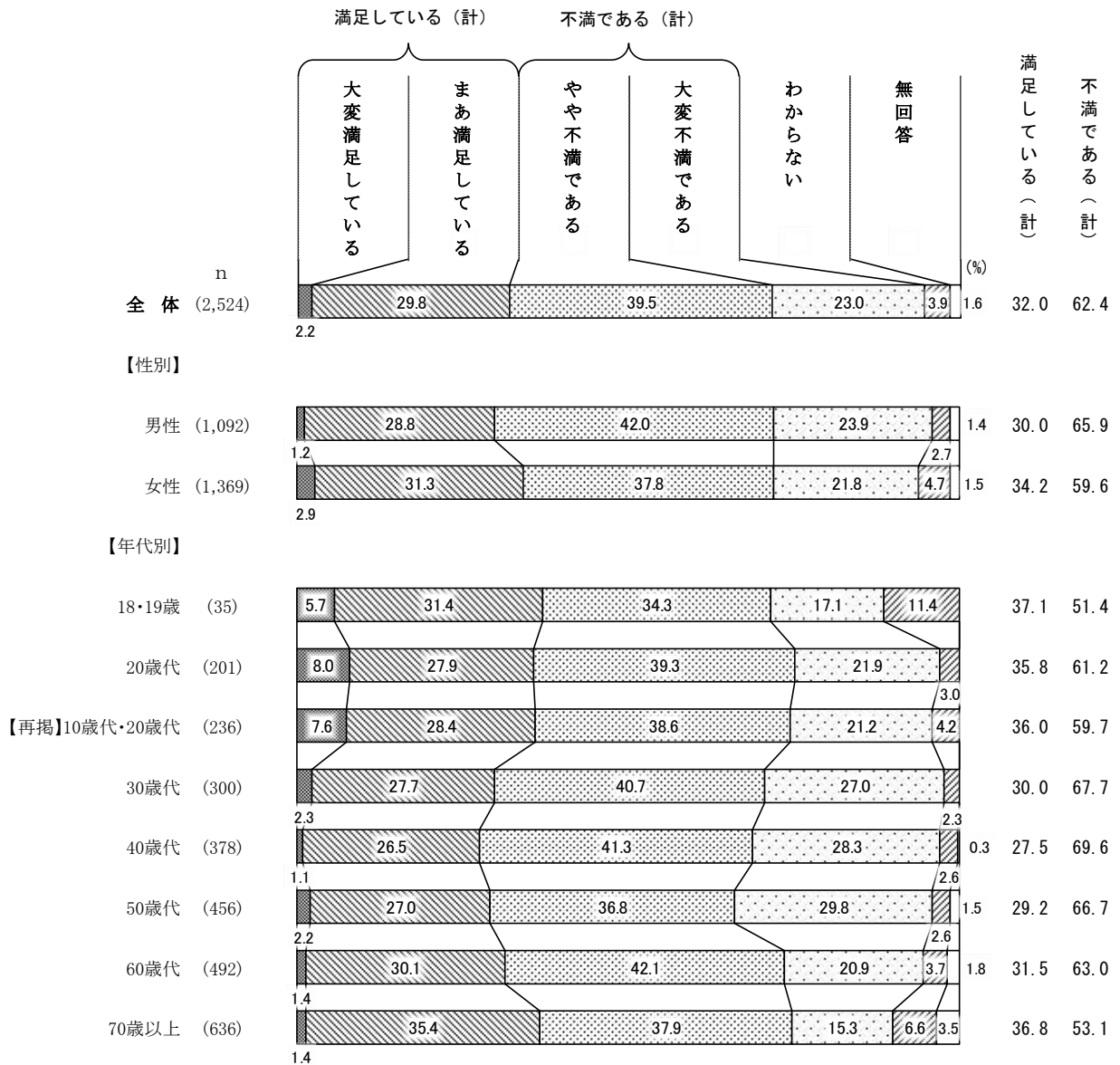
① 性別

『満足している（計）』は女性（34.2%）の方が男性（30.0%）よりも4.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は70歳以上（36.8%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「（４）収入や預貯金など経済的な面について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は南西部地域（37.5%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は女性70歳以上（39.6%）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（35.9%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（37.4%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「（4）収入や預貯金など経済的な面について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	
								満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	2.2	29.8	39.5	23.0	3.9	1.6	32.0	62.4
地域別									
南部地域	242	3.3	28.9	38.4	25.2	3.3	0.8	32.2	63.6
南西部地域	224	4.0	33.5	36.2	21.0	4.5	0.9	37.5	57.1
東部地域	399	2.5	28.8	39.3	22.8	4.0	2.5	31.3	62.2
さいたま地域	451	2.2	31.5	40.6	19.3	5.1	1.3	33.7	59.9
県央地域	192	2.1	29.7	39.1	25.0	3.1	1.0	31.8	64.1
川越比企地域	288	1.0	31.6	39.2	21.2	4.9	2.1	32.6	60.4
西部地域	259	1.2	27.0	42.9	23.2	4.2	1.5	28.2	66.0
利根地域	244	2.9	25.8	39.8	27.9	2.5	1.2	28.7	67.6
北部地域	159	0.6	31.4	37.1	26.4	1.9	2.5	32.1	63.5
秩父地域	37	-	24.3	48.6	24.3	2.7	-	24.3	73.0
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	33.3	44.4	11.1	11.1	-	33.3	55.6
20歳代	86	4.7	31.4	40.7	20.9	2.3	-	36.0	61.6
【再掲】10歳代・20歳代	95	4.2	31.6	41.1	20.0	3.2	-	35.8	61.1
30歳代	127	2.4	28.3	37.0	32.3	-	-	30.7	69.3
40歳代	158	1.3	22.8	41.8	31.6	1.9	0.6	24.1	73.4
50歳代	206	1.0	24.8	37.9	32.0	2.9	1.5	25.7	69.9
60歳代	220	0.9	29.5	44.5	20.9	2.3	1.8	30.5	65.5
70歳以上	285	-	34.0	45.6	13.7	4.2	2.5	34.0	59.3
女性／18・19歳	24	8.3	33.3	33.3	16.7	8.3	-	41.7	50.0
20歳代	107	11.2	27.1	37.4	22.4	1.9	-	38.3	59.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	10.7	28.2	36.6	21.4	3.1	-	38.9	58.0
30歳代	172	2.3	27.3	43.6	22.7	4.1	-	29.7	66.3
40歳代	213	0.9	30.0	40.8	25.4	2.8	-	31.0	66.2
50歳代	246	2.8	29.3	36.2	27.6	2.4	1.6	32.1	63.8
60歳代	269	1.9	30.9	39.8	21.2	4.8	1.5	32.7	61.0
70歳以上	336	2.4	37.2	32.7	15.5	8.3	3.9	39.6	48.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	3.3	32.6	37.0	22.3	3.3	1.6	35.9	59.2
雇用者（計）	1,336	2.4	27.7	41.1	25.9	2.2	0.7	30.1	67.0
無職（計）	958	1.7	32.0	38.0	19.2	6.5	2.6	33.7	57.2
ライフステージ別									
独身期	305	5.6	23.9	38.4	27.5	4.6	-	29.5	65.9
家族形成期	175	4.0	32.6	43.4	18.9	1.1	-	36.6	62.3
家族成長前期	203	1.5	30.5	40.9	25.1	2.0	-	32.0	66.0
家族成長後期	164	-	26.2	45.1	24.4	3.0	1.2	26.2	69.5
家族成熟期	459	2.6	31.4	37.7	25.3	2.0	1.1	34.0	63.0
高齢期	586	1.0	36.3	39.9	15.9	4.9	1.9	37.4	55.8
その他	632	1.7	25.3	37.8	25.8	5.7	3.6	27.1	63.6

(5) 精神的な充実感について

精神的な充実感についての満足度は、『満足している(計)』(50.4%)は5割を超え、『不満である(計)』(43.0%)は4割強となっている。『満足している(計)』が『不満である(計)』を7.4ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『不満である(計)』は8.2ポイント増加し、『満足している(計)』は7.9ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している(計)』は楽になった(計)(77.3%)が7割台半ばを超え、変わらない(63.4%)が6割強で、苦しくなった(計)(36.8%)では3割台後半にとどまっている。

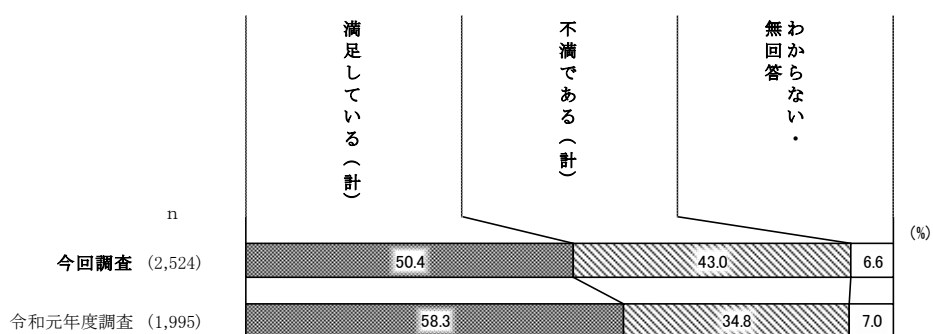
【生活程度別】

『満足している(計)』は上(計)(82.1%)が8割強、中(計)(58.3%)が6割弱で、下(計)(27.7%)では2割台後半と大きな差が出ている。

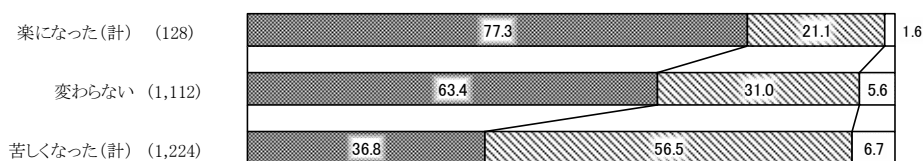
【生活満足度別】

『満足している(計)』は満足している(計)(76.7%)が不満である(計)(26.7%)を50.0ポイント上回っている。

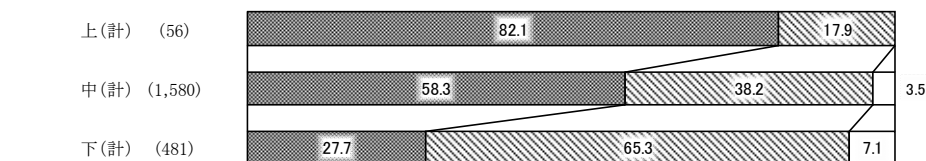
○「(5) 精神的な充実感について」・令和元年度調査との比較／ 昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



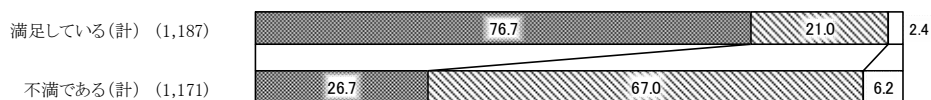
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

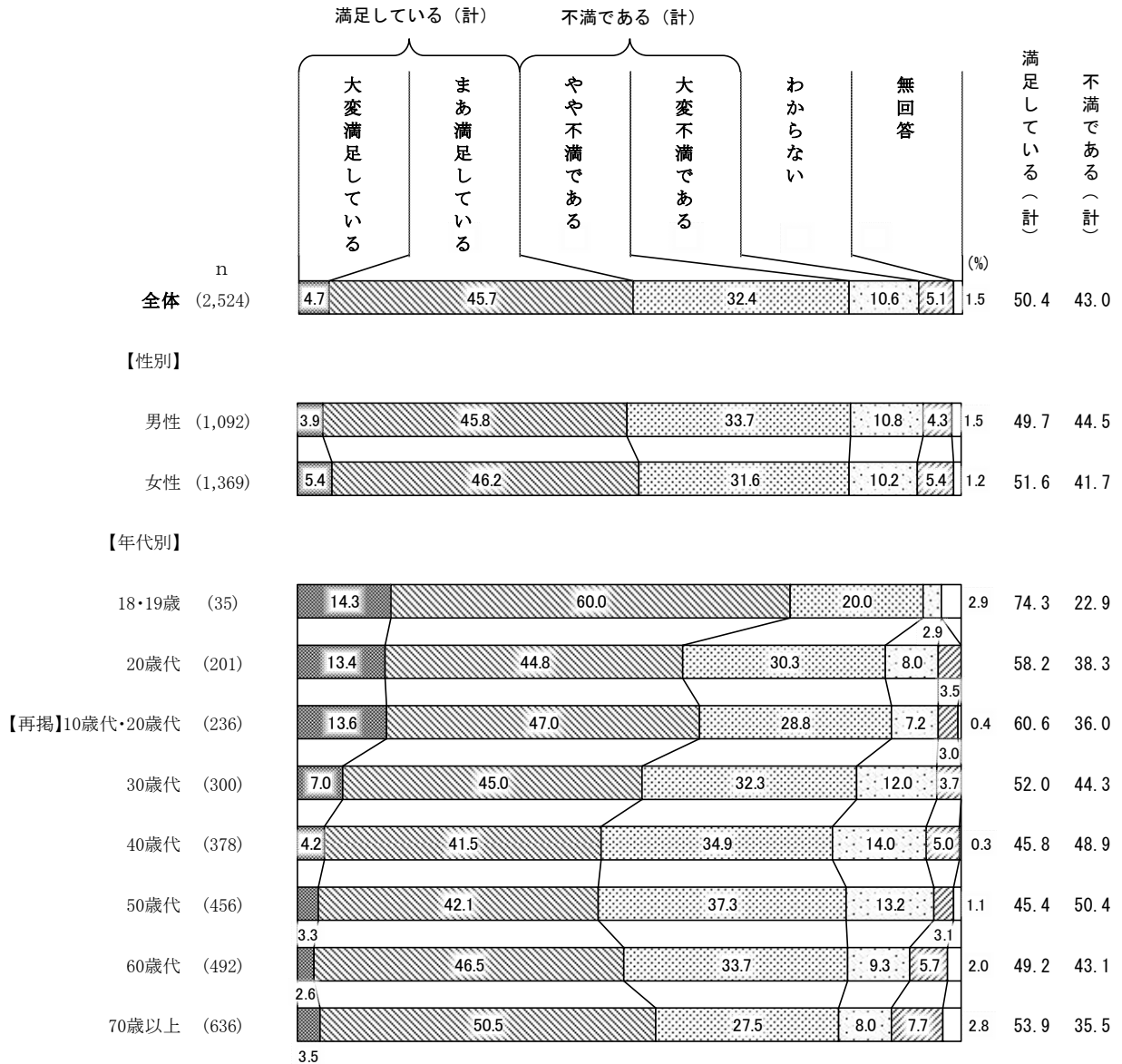
① 性別

『満足している（計）』は女性（51.6％）の方が男性（49.7％）よりも1.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（60.6％）で6割を超えて最も高くなっている。

○ 「（5）精神的な充実感について」・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は県央地域（57.3%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は男性10歳代・20歳代（70.5%）で7割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（51.5%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（57.7%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

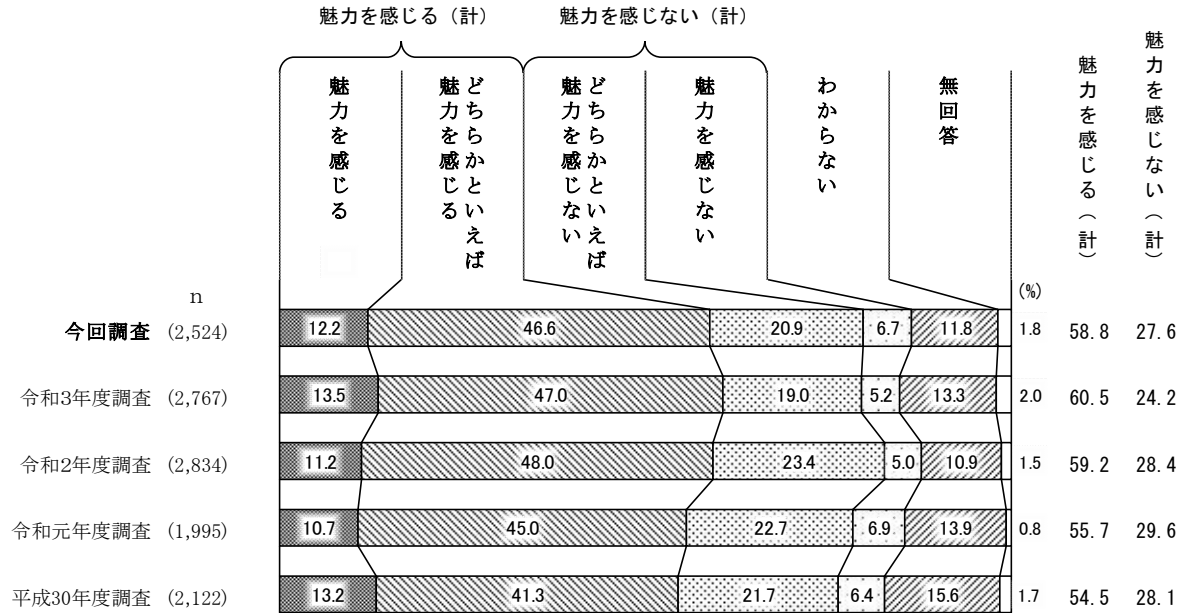
○ 「(5) 精神的な充実感について」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	（%）	
								満足している（計）	不満である（計）
全体	2,524	4.7	45.7	32.4	10.6	5.1	1.5	50.4	43.0
地域別									
南部地域	242	4.5	46.7	36.0	9.9	2.1	0.8	51.2	45.9
南西部地域	224	7.1	45.1	32.1	9.8	4.9	0.9	52.2	42.0
東部地域	399	4.8	47.4	30.8	9.8	5.3	2.0	52.1	40.6
さいたま地域	451	4.7	49.7	30.8	9.3	4.4	1.1	54.3	40.1
県央地域	192	8.3	49.0	27.1	9.4	4.7	1.6	57.3	36.5
川越比企地域	288	5.9	46.2	29.9	9.7	6.9	1.4	52.1	39.6
西部地域	259	3.5	44.8	32.8	12.0	5.0	1.9	48.3	44.8
利根地域	244	2.0	38.9	36.5	14.8	6.6	1.2	41.0	51.2
北部地域	159	1.9	40.3	40.3	10.7	5.7	1.3	42.1	50.9
秩父地域	37	-	37.8	32.4	18.9	8.1	2.7	37.8	51.4
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	88.9	-	-	-	11.1	88.9	-
20歳代	86	14.0	54.7	23.3	7.0	1.2	-	68.6	30.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	12.6	57.9	21.1	6.3	1.1	1.1	70.5	27.4
30歳代	127	6.3	45.7	31.5	14.2	2.4	-	52.0	45.7
40歳代	158	3.2	38.0	37.3	15.2	5.7	0.6	41.1	52.5
50歳代	206	1.5	35.4	41.3	17.0	3.9	1.0	36.9	58.3
60歳代	220	3.6	46.8	36.4	7.3	3.6	2.3	50.5	43.6
70歳以上	285	2.5	52.6	29.5	6.7	6.3	2.5	55.1	36.1
女性／18・19歳	24	16.7	50.0	29.2	4.2	-	-	66.7	33.3
20歳代	107	14.0	38.3	36.4	7.5	3.7	-	52.3	43.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	14.5	40.5	35.1	6.9	3.1	-	55.0	42.0
30歳代	172	7.6	44.2	33.1	10.5	4.7	-	51.7	43.6
40歳代	213	5.2	44.6	33.3	12.7	4.2	-	49.8	46.0
50歳代	246	4.5	48.0	34.1	9.8	2.4	1.2	52.4	43.9
60歳代	269	1.9	46.8	31.2	11.2	7.4	1.5	48.7	42.4
70歳以上	336	4.5	49.1	26.2	9.2	8.0	3.0	53.6	35.4
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	8.7	38.0	38.0	8.7	4.9	1.6	46.7	46.7
雇用者（計）	1,336	4.4	47.1	34.1	10.1	3.7	0.5	51.5	44.2
無職（計）	958	4.5	45.3	29.5	11.5	6.8	2.4	49.8	41.0
ライフステージ別									
独身期	305	10.8	42.6	30.5	11.5	4.3	0.3	53.4	42.0
家族形成期	175	9.7	47.4	34.3	6.3	2.3	-	57.1	40.6
家族成長前期	203	4.9	49.8	34.0	8.4	3.0	-	54.7	42.4
家族成長後期	164	4.3	43.3	36.6	10.4	5.5	-	47.6	47.0
家族成熟期	459	3.1	44.9	34.4	10.9	5.9	0.9	47.9	45.3
高齢期	586	3.2	54.4	28.7	7.3	4.4	1.9	57.7	36.0
その他	632	3.0	38.4	33.2	14.9	7.0	3.5	41.5	48.1

(5) 埼玉県に魅力を感じるか

◇『魅力を感じる（計）』は58.8%、『魅力を感じない（計）』は27.6%

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県に魅力を感じるかについては、「どちらかといえば魅力を感じる」(46.6%)が4割台半ばを超えて最も高く、「魅力を感じる」(12.2%)と合わせた『魅力を感じる(計)』(58.8%)は6割弱となっている。一方で、「魅力を感じない」(6.7%)と「どちらかといえば魅力を感じない」(20.9%)を合わせた『魅力を感じない(計)』(27.6%)は2割台後半となっており、『魅力を感じる(計)』が『魅力を感じない(計)』よりも31.2ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、楽になった（計）で75.0%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、苦しくなった（計）で32.3%と最も高くなっている。

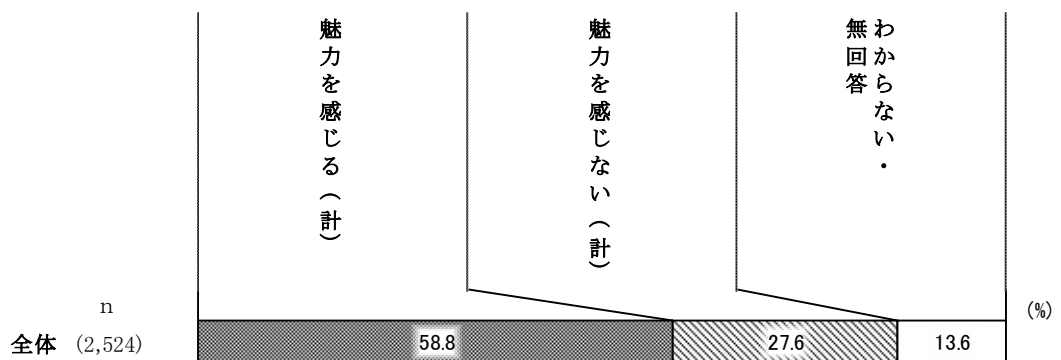
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、上（計）で78.6%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、下（計）で36.8%と最も高くなっている。

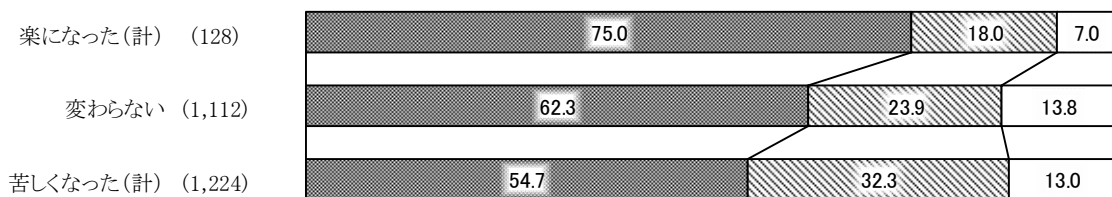
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、満足している（計）（69.7%）が、不満である（計）（50.8%）よりも18.9ポイント高く、一方で『魅力を感じない（計）』と回答した割合は不満である（計）（35.5%）が、満足している（20.6%）よりも14.9ポイント高くなっている。

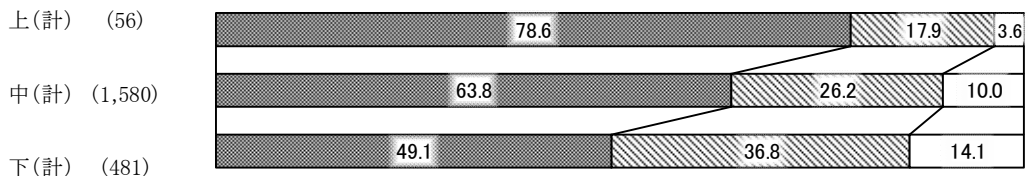
○埼玉県に魅力を感じるか・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



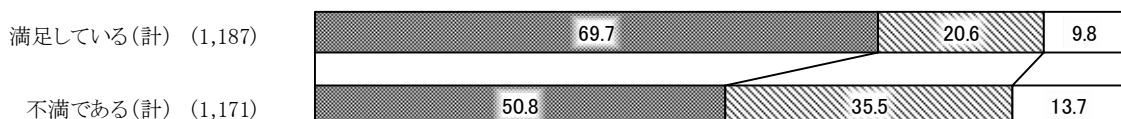
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

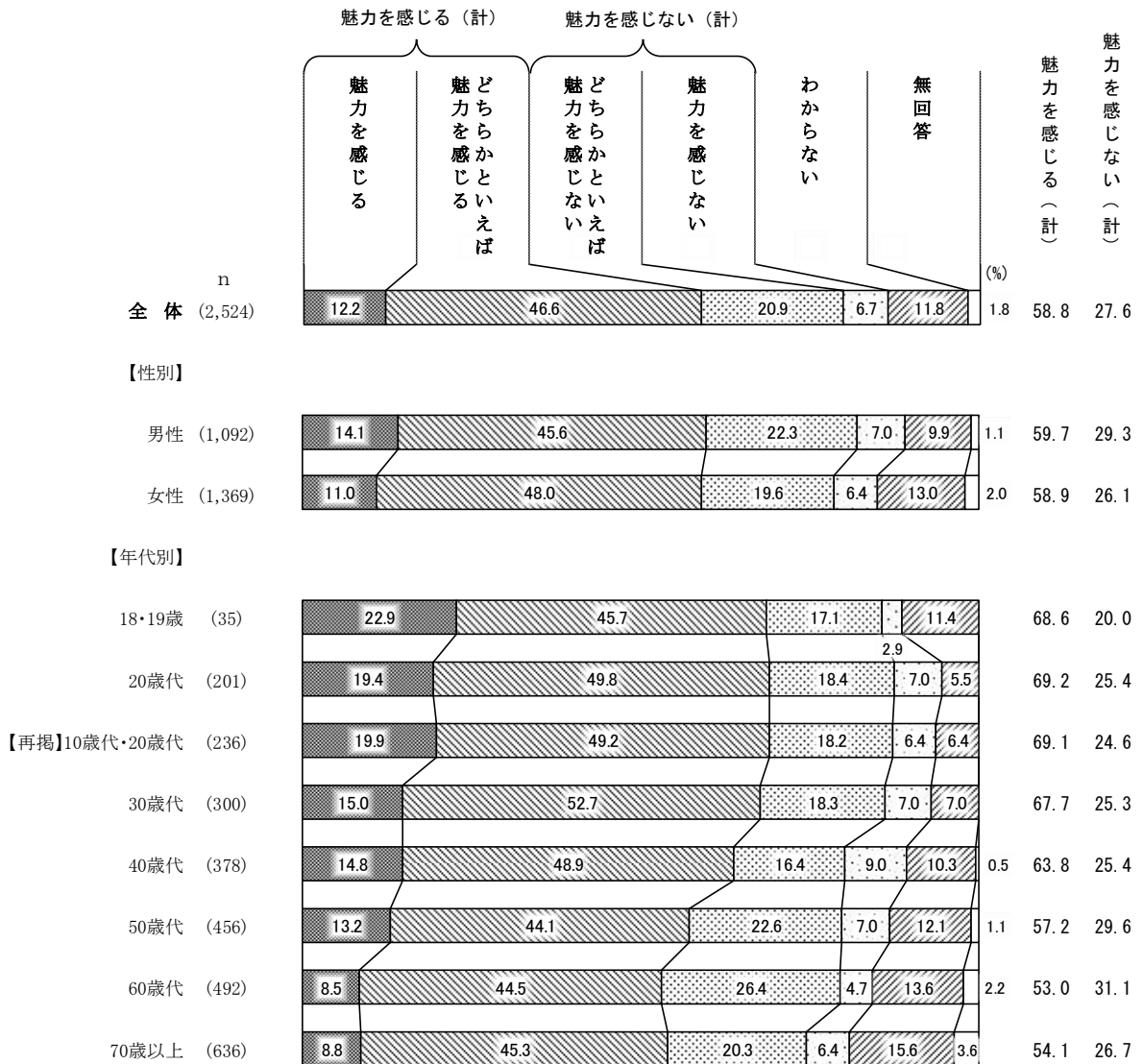
① 性別

『魅力を感じる（計）』は男性（59.7%）と女性（58.9%）はともに5割台後半と大きな差はない。

② 年代別

『魅力を感じる（計）』は10歳代・20歳代（69.1%）で約7割と最も高く、おおむね年代が上がるにつれ割合が減少し、60歳代以上で5割台前半となっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は60歳代（31.1%）で3割強と最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・性別／年代別



③ 地域別

『魅力を感じる(計)』はさいたま地域(71.6%)で7割強と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は北部地域(37.7%)で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『魅力を感じる(計)』は女性30歳代(70.9%)で7割を超えて最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は男性50歳代(34.5%)で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『魅力を感じる(計)』は雇用者(計)(61.1%)で6割強と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は無職(計)(28.4%)で3割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『魅力を感じる(計)』は家族形成期(72.6%)で7割強と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない(計)』は家族成熟期(30.1%)で3割を超えて最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

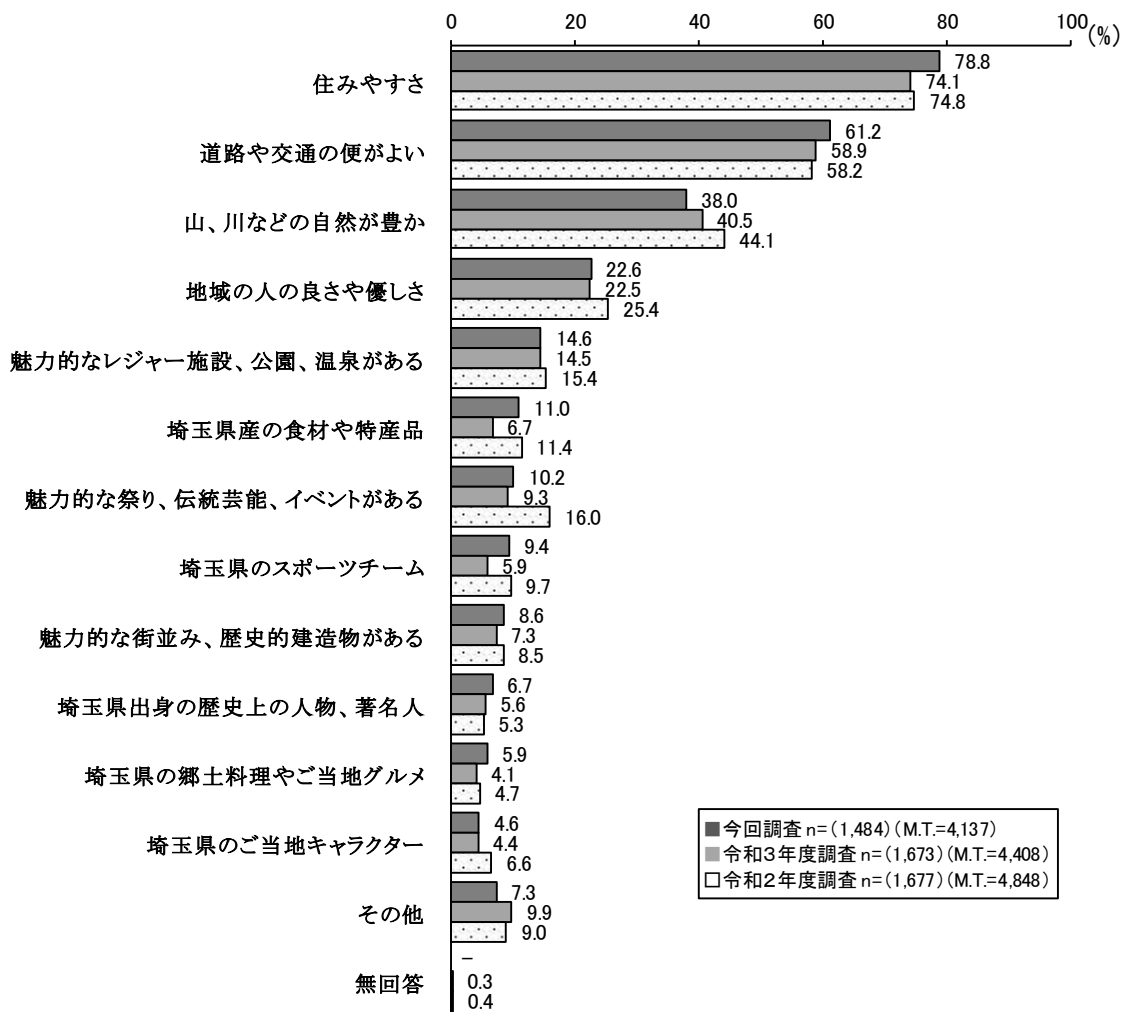
	調査数 n	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない	わからない	無回答	(%)	
								魅力を感じる(計)	魅力を感じない(計)
全体	2,524	12.2	46.6	20.9	6.7	11.8	1.8	58.8	27.6
地域別									
南部地域	242	11.6	48.3	20.7	5.4	13.2	0.8	59.9	26.0
南西部地域	224	13.4	45.5	20.5	8.5	11.2	0.9	58.9	29.0
東部地域	399	7.8	41.6	25.8	7.8	14.3	2.8	49.4	33.6
さいたま地域	451	17.5	54.1	14.9	4.2	8.0	1.3	71.6	19.1
県央地域	192	13.0	48.4	20.3	7.8	9.9	0.5	61.5	28.1
川越比企地域	288	10.8	52.8	17.4	5.6	10.8	2.8	63.5	22.9
西部地域	259	12.0	47.5	18.9	7.3	12.0	2.3	59.5	26.3
利根地域	244	12.3	40.2	24.2	8.6	13.5	1.2	52.5	32.8
北部地域	159	10.1	34.0	30.8	6.9	16.4	1.9	44.0	37.7
秩父地域	37	10.8	40.5	27.0	8.1	13.5	-	51.4	35.1
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	-	66.7	22.2
20歳代	86	25.6	43.0	20.9	8.1	2.3	-	68.6	29.1
【再掲】10歳代・20歳代	95	26.3	42.1	20.0	8.4	3.2	-	68.4	28.4
30歳代	127	16.5	46.5	22.8	9.4	4.7	-	63.0	32.3
40歳代	158	17.1	52.5	13.3	7.6	8.9	0.6	69.6	20.9
50歳代	206	14.6	42.7	25.2	9.2	7.8	0.5	57.3	34.5
60歳代	220	10.5	42.7	28.6	3.6	13.2	1.4	53.2	32.3
70歳以上	285	9.8	46.7	21.1	6.0	14.0	2.5	56.5	27.0
女性／18・19歳	24	16.7	50.0	20.8	-	12.5	-	66.7	20.8
20歳代	107	15.9	54.2	15.9	5.6	8.4	-	70.1	21.5
【再掲】10歳代・20歳代	131	16.0	53.4	16.8	4.6	9.2	-	69.5	21.4
30歳代	172	14.0	57.0	15.1	5.2	8.7	-	70.9	20.3
40歳代	213	13.6	46.9	17.8	10.3	10.8	0.5	60.6	28.2
50歳代	246	12.2	44.7	20.3	5.3	15.9	1.6	56.9	25.6
60歳代	269	7.1	46.1	24.9	5.6	13.8	2.6	53.2	30.5
70歳以上	336	8.0	45.8	19.6	6.8	15.2	4.5	53.9	26.5
職業別									
自営業・家族従業(計)	184	16.3	42.9	23.4	4.3	9.8	3.3	59.2	27.7
雇用者(計)	1,336	13.5	47.6	20.2	6.7	11.1	1.0	61.1	26.9
無職(計)	958	9.9	46.3	21.4	7.0	13.0	2.3	56.3	28.4
ライフステージ別									
独身期	305	18.4	50.2	17.4	6.9	7.2	-	68.5	24.3
家族形成期	175	14.3	58.3	18.9	5.1	3.4	-	72.6	24.0
家族成長前期	203	16.3	48.3	19.7	5.4	9.4	1.0	64.5	25.1
家族成長後期	164	12.8	42.7	19.5	9.1	14.0	1.8	55.5	28.7
家族成熟期	459	12.0	43.6	22.7	7.4	13.1	1.3	55.6	30.1
高齢期	586	8.0	48.6	22.4	5.1	13.1	2.7	56.7	27.5
その他	632	11.1	42.6	21.4	7.8	14.4	2.8	53.6	29.1

(5-1) 埼玉県で魅力を感じるもの

◇「住みやすさ」が78.8%で第1位、次いで「道路や交通の便がよい」が61.2%

(問5で「1. 魅力を感じる」または「2. どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問5-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県で魅力を感じるものは、「住みやすさ」(78.8%)が8割弱と最も高く、次いで「道路や交通の便がよい」(61.2%)、「山、川などの自然が豊か」(38.0%)、「地域の人の良さや優しさ」(22.6%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(14.6%)、「埼玉県産の食材や特産品」(11.0%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、ほとんどの項目で割合が増加しており、「住みやすさ」が4.7ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「住みやすさ」はさいたま地域（86.1%）で8割台半ばを超えて最も高く、「道路や交通の便がよい」は南部地域（78.6%）で8割弱と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」は西部地域（66.2%）で6割台半ばを超えて最も高く、「地域の人々の良さや優しさ」は利根地域（29.7%）で約3割と最も高くなっている。

※秩父地域（n=19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

回答分布に大きな差はみられない。

③ 年代別

「住みやすさ」は10歳代・20歳代（84.7%）が8割台半ばで最も高く、「道路や交通の便がよい」は30歳代（65.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人々の良さや優しさ」はともに70歳以上で最も高い割合となっている。

④ 性・年代別

「住みやすさ」は男性10歳代・20歳代（89.2%）が約9割で最も高く、「道路や交通の便がよい」は男性30歳代（70.0%）で7割と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人々の良さや優しさ」はともに男性70歳以上で最も高くなっている。

⑤ 職業別

「住みやすさ」は雇用者（計）（80.8%）が8割を超えて最も高く、「道路や交通の便がよい」は自営業・家族従業（計）（62.4%）で6割強と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人々の良さや優しさ」は無職（計）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「住みやすさ」は独身期（84.2%）で8割台半ばと最も高く、「道路や交通の便がよい」は家族成長後期（69.2%）で約7割と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人々の良さや優しさ」はともに高齢期で最も高くなっている。

2 日常生活 (問6～問15)

- 問6について
 - (1)と(2)は平成13年度の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しています。
 - (1)－1は、平成21年度から実施しており、(3)は、平成22年度から実施しています。(3)－1は令和3年度から実施しています。(2)－1は今回が初めての実施となります。
 - * 県民意識調査：「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年度に埼玉県が実施した県民意識調査
- 問7について
 - 問7は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度に選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。令和2年度から問7を分岐設問にしましたが、結果では問7－1に組み込む形にしてこれまでの調査と比較できるようにしています。
 - 問7－2は平成21年度における調査項目を継続実施したものです。
- 問8について
 - (1)は平成24年度から実施しており、(2)は平成22年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問9について
 - 令和3年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問10について
 - 平成15年度における課題調査項目を継続実施したものです。
- 問11と問12について
 - 問11と問12の(1)は、平成21年度から実施しています。
 - 問12の(3)は平成30年度から、(5)は令和元年度から実施しており、問12の(2)(6)は令和2年度から実施しています。問12の(4)は今回が初めての実施となります。
- 問13は、平成30年度から実施しています。
- 問14は、今回が初めての実施となります。
- 問15(1)は、令和2年度から継続実施しています。問15(2)は、令和3年度から継続実施しています。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和2年度から「郵送法(郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用)」で実施しています。

2. 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇「ある」が35.8%、「ない」が62.6%

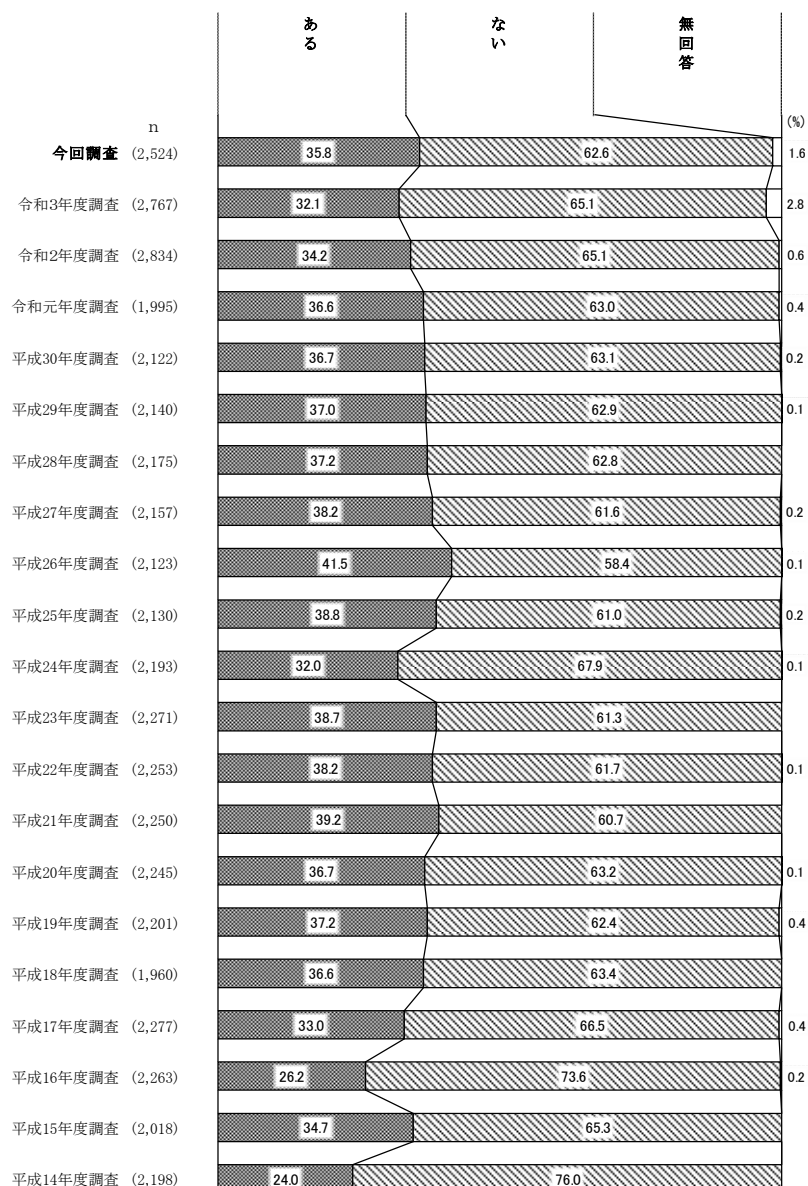
問6 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、地域社会活動(※)に参加したことがありますか。

(○は1つだけ)

※地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含まれます。

- 防犯パトロールや清掃活動等、町内会や自治会の活動
- 地域のイベント・祭事等への参加
- PTA活動や子供会の活動
- 障がい者や高齢者のための活動
- 青少年健全育成のための活動
- みどりと川の再生活動など環境保全の活動
- 子ども食堂やフードバンクへの寄付、募金などの活動
- SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動
- 子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加
- 趣味や経験を通じた地域のクラブ・サークル活動への参加
- 生涯学習や市(町)民大学への参加
- その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に地域社会活動に参加したことが「ある」(35.8%)は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査(32.1%)に比べて、「ある」は平成26年度調査以降減少傾向にあったが、今回調査(35.8%)は3.7ポイントの増加となっている。

【属性別比較】

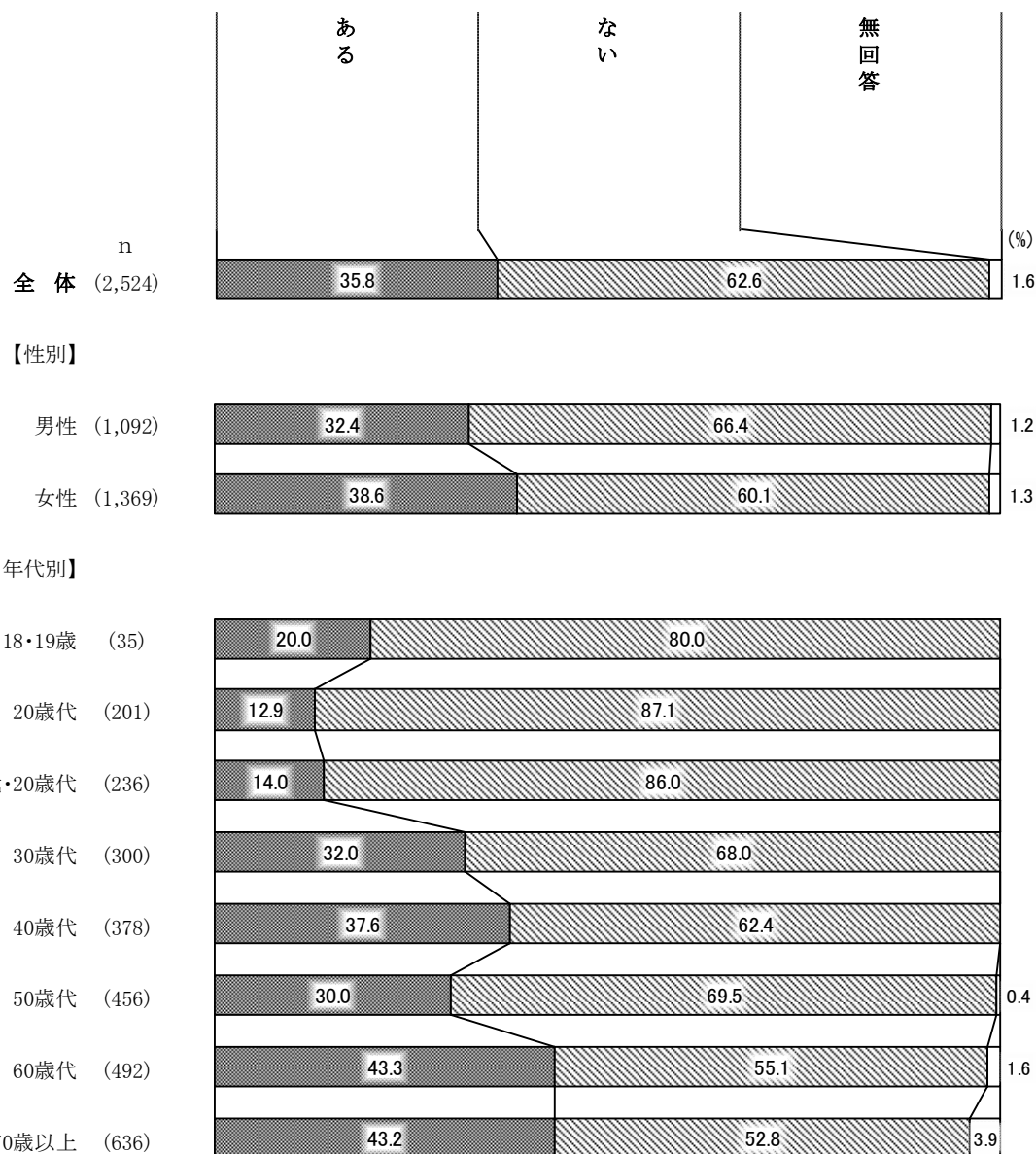
① 性別

「ある」は女性(38.6%)の方が男性(32.4%)よりも6.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は60歳代(43.3%)で最も高く、次いで70歳以上(43.2%)でも4割強となっている。一方で、10歳代・20歳代(14.0%)で最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は川越比企地域（45.5%）で4割台半ばと最も高く、南西部地域（28.1%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性60歳代（46.8%）で4割台半ばを超えて最も高く、女性10歳代・20歳代（10.7%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（41.8%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は家族成長前期（57.6%）が5割台半ばを超えて最も高く、独身期（12.1%）で最も低くなっている。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,524	35.8	62.6	1.6
地域別				
南部地域	242	30.6	68.2	1.2
南西部地域	224	28.1	71.0	0.9
東部地域	399	29.6	67.9	2.5
さいたま地域	451	34.4	64.5	1.1
県央地域	192	33.3	64.1	2.6
川越比企地域	288	45.5	52.8	1.7
西部地域	259	41.3	58.3	0.4
利根地域	244	38.9	59.8	1.2
北部地域	159	45.3	54.1	0.6
秩父地域	37	43.2	56.8	-
性・年代別				
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	-
20歳代	86	17.4	82.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	18.9	81.1	-
30歳代	127	24.4	75.6	-
40歳代	158	30.4	69.6	-
50歳代	206	24.8	75.2	-
60歳代	220	39.1	59.5	1.4
70歳以上	285	42.1	54.4	3.5
女性／18・19歳	24	12.5	87.5	-
20歳代	107	10.3	89.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	10.7	89.3	-
30歳代	172	37.2	62.8	-
40歳代	213	42.7	57.3	-
50歳代	246	35.0	64.6	0.4
60歳代	269	46.8	51.7	1.5
70歳以上	336	43.8	52.4	3.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	184	41.8	57.1	1.1
雇用者（計）	1,336	31.8	67.7	0.4
無職（計）	958	40.3	57.2	2.5
ライフステージ別				
独身期	305	12.1	87.9	-
家族形成期	175	33.1	66.9	-
家族成長前期	203	57.6	42.4	-
家族成長後期	164	43.3	56.7	-
家族成熟期	459	39.0	59.3	1.7
高齢期	586	48.0	49.5	2.6
その他	632	25.3	72.0	2.7

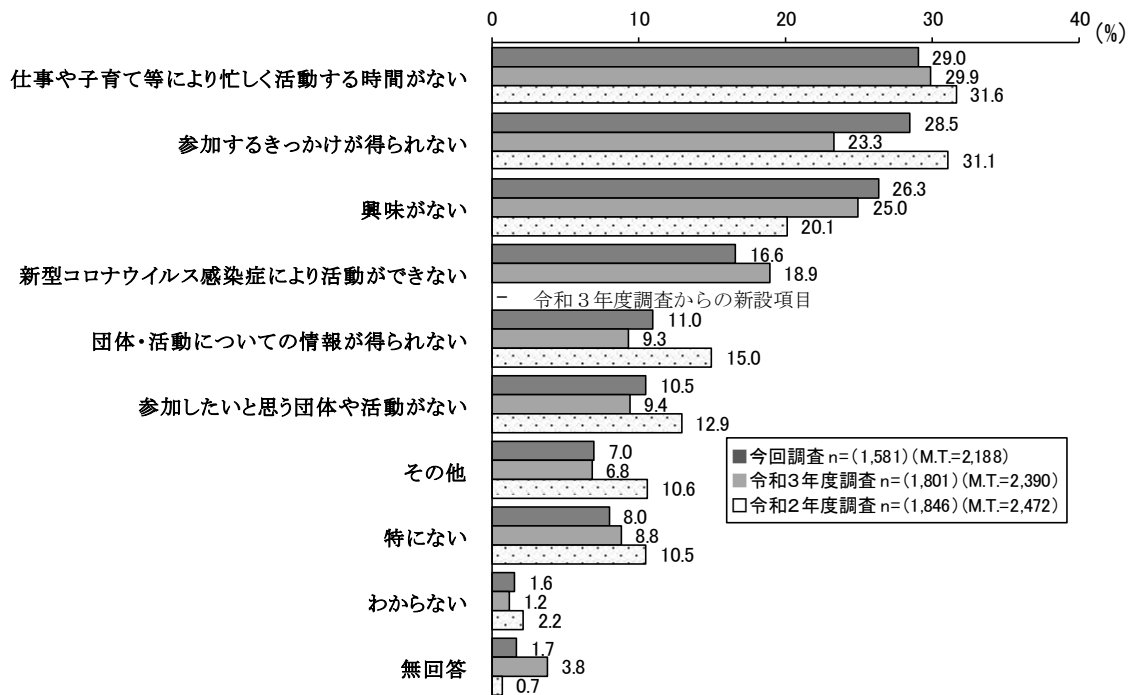
(1-1) 地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が29.0%

(問6(1)で「2. ない」とお答えの方にお伺いします。)

問6(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

(〇は2つまで)



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」(29.0%)が約3割で最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」(28.5%)、「興味がない」(26.3%)、「新型コロナウイルス感染症により活動ができない」(16.6%)、「団体・活動についての情報が得られない」(11.0%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、「参加するきっかけが得られない」(28.5%)が5.2ポイント増加し、第2位となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」はさいたま地域と北部地域（各33.7%）で3割強と最も高く、「参加するきっかけが得られない」は南西部地域（38.4%）、「興味がない」は県央地域（31.7%）で最も高くなっている。

※秩父地域（n=21）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「興味がない」は男性（30.5%）の方が女性（22.6%）よりも7.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は30歳代（47.5%）が4割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「参加するきっかけが得られない」は10歳代・20歳代（36.9%）、「興味がない」は30歳代と40歳代（各30.9%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性30歳代（50.0%）が5割と最も高くなっている。「参加するきっかけが得られない」は男性10歳代・20歳代（39.0%）が約4割で最も高く、「興味がない」は男性40歳代（40.9%）が4割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は雇用者（計）（40.9%）で4割を超えて最も高くなっている。「参加するきっかけが得られない」も雇用者（計）（30.2%）で3割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族形成期（58.1%）で6割弱と最も高く、「参加するきっかけが得られない」と「興味がない」は独身期（各34.7%）で最も高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数 n	忙しい 仕事や 子育て 等に 時間 が か け が 得 ない	参加 する き つ か け が 得 ない	興味 が ない	新型コロナウイルス により 活動 が でき ない	新型コロナウイルス により 活動 が でき ない	情報 が 得 られ ない とい う の	参加 したい と思 う 団 体 が ない	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体	1,581	29.0	28.5	26.3	16.6	11.0	10.5	7.0	8.0	1.6	1.7	
地域別												
南部地域	165	28.5	33.9	29.1	10.9	17.6	9.1	7.9	5.5	0.6	0.6	
南西部地域	159	28.3	38.4	22.6	14.5	14.5	15.1	9.4	5.7	0.6	2.5	
東部地域	271	26.9	30.6	25.8	16.6	12.5	9.6	5.5	10.3	1.5	1.5	
さいたま地域	291	33.7	27.5	22.7	11.7	10.0	12.0	7.2	9.6	2.1	1.0	
県央地域	123	32.5	23.6	31.7	13.8	10.6	10.6	4.1	8.9	0.8	2.4	
川越比企地域	152	24.3	28.9	28.3	19.1	8.6	7.9	6.6	9.2	2.6	1.3	
西部地域	151	27.2	27.2	25.8	17.2	10.6	10.6	7.9	8.6	0.7	2.6	
利根地域	146	26.0	24.0	28.8	23.3	8.2	8.2	8.2	4.8	2.7	2.1	
北部地域	86	33.7	18.6	27.9	25.6	3.5	9.3	5.8	7.0	1.2	2.3	
秩父地域	21	33.3	14.3	23.8	33.3	-	14.3	4.8	9.5	9.5	-	
性別												
男性	725	28.4	29.0	30.5	16.1	12.6	10.8	5.1	6.5	1.7	1.7	
女性	823	29.8	28.6	22.6	16.8	9.7	10.3	8.6	9.2	1.5	1.5	
年代別												
18・19歳	28	17.9	35.7	10.7	10.7	32.1	14.3	3.6	14.3	-	7.1	
20歳代	175	34.9	37.1	33.7	5.7	14.9	9.7	1.1	6.3	1.7	1.7	
【再掲】10歳代・20歳代	203	32.5	36.9	30.5	6.4	17.2	10.3	1.5	7.4	1.5	2.5	
30歳代	204	47.5	29.4	30.9	9.8	10.8	10.8	2.9	5.9	0.5	2.0	
40歳代	236	41.1	30.5	30.9	12.3	11.9	11.4	1.7	7.6	0.8	-	
50歳代	317	37.2	31.9	23.3	17.0	10.1	9.1	6.3	5.7	0.9	0.9	
60歳代	271	20.7	24.7	24.0	22.9	12.5	12.2	7.0	9.2	2.6	1.5	
70歳以上	336	6.0	21.4	22.3	24.1	6.3	9.8	17.0	11.3	2.7	3.3	
性・年代別												
男性／18・19歳	6	-	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	
20歳代	71	33.8	39.4	32.4	4.2	18.3	9.9	1.4	5.6	2.8	1.4	
【再掲】10歳代・20歳代	77	31.2	39.0	31.2	5.2	18.2	11.7	1.3	6.5	2.6	2.6	
30歳代	96	44.8	28.1	34.4	6.3	12.5	10.4	2.1	4.2	-	1.0	
40歳代	110	40.0	29.1	40.9	14.5	14.5	9.1	-	5.5	-	-	
50歳代	155	39.4	32.9	24.5	14.2	13.5	10.3	4.5	3.2	1.3	0.6	
60歳代	131	19.8	26.7	28.2	22.1	14.5	12.2	6.1	8.4	3.1	0.8	
70歳以上	155	4.5	22.6	28.4	25.8	5.8	11.0	12.3	10.3	2.6	4.5	
女性／18・19歳	21	19.0	38.1	9.5	9.5	38.1	9.5	4.8	14.3	-	4.8	
20歳代	96	36.5	36.5	33.3	7.3	13.5	10.4	-	7.3	-	1.0	
【再掲】10歳代・20歳代	117	33.3	36.8	29.1	7.7	17.9	10.3	0.9	8.5	-	1.7	
30歳代	108	50.0	30.6	27.8	13.0	9.3	11.1	3.7	7.4	0.9	2.8	
40歳代	122	42.6	32.0	22.1	9.8	9.0	13.1	3.3	9.8	1.6	-	
50歳代	159	35.8	31.4	22.6	20.1	6.9	8.2	8.2	6.9	0.6	0.6	
60歳代	139	21.6	23.0	20.1	23.0	10.8	12.2	7.9	10.1	2.2	2.2	
70歳以上	176	7.4	21.0	17.0	22.2	6.8	8.5	21.6	11.9	2.8	1.7	
職業別												
自営業・家族従業（計）	105	31.4	26.7	22.9	24.8	12.4	7.6	2.9	6.7	2.9	1.9	
雇用者（計）	905	40.9	30.2	26.3	14.1	12.4	10.5	3.3	6.2	1.1	1.1	
無職（計）	548	9.1	26.8	26.6	19.0	8.6	11.1	13.7	11.1	2.2	2.6	
ライフステージ別												
独身期	268	32.1	34.7	34.7	7.8	16.0	9.3	2.2	8.2	1.1	2.6	
家族形成期	117	58.1	33.3	20.5	9.4	11.1	10.3	2.6	1.7	0.9	0.9	
家族成長前期	86	53.5	26.7	26.7	20.9	9.3	8.1	1.2	7.0	-	1.2	
家族成長後期	93	48.4	26.9	24.7	16.1	8.6	6.5	4.3	6.5	1.1	-	
家族成熟期	272	26.1	25.0	26.5	19.9	12.1	10.7	6.6	8.5	1.1	1.8	
高齢期	290	11.7	25.2	21.4	23.4	9.3	10.3	16.2	10.3	1.4	2.1	
その他	455	23.7	28.4	26.2	16.5	9.2	12.5	6.8	8.4	2.9	1.5	

(2) 文化芸術活動の経験

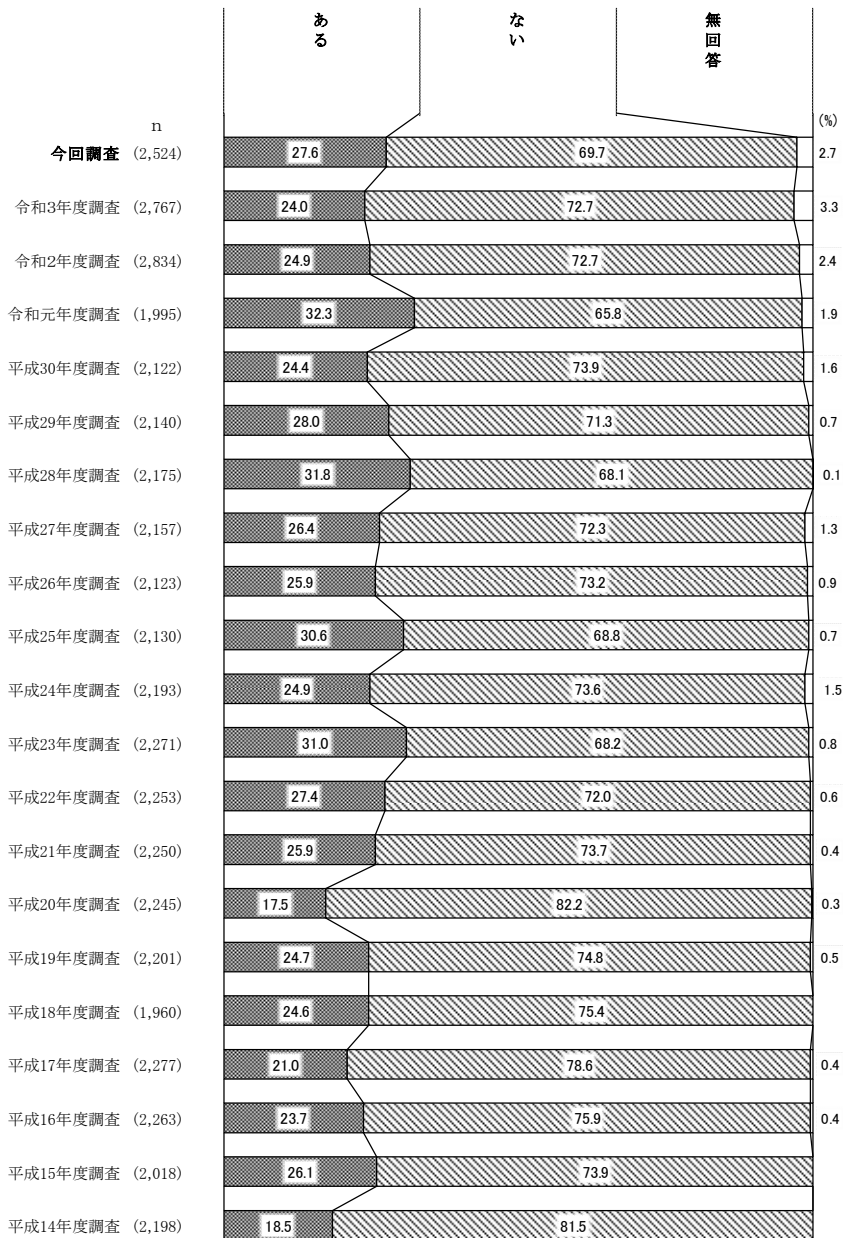
◇「ある」が27.6%、「ない」が69.7%

問6(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動(※)を行ったことがありますか。
(〇は1つだけ)

(趣味、クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などで行う活動も含まれます。)

※文化芸術活動とは、例えば以下のような分野での活動です。インターネット上で行う活動も対象です。

- ・音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など)
- ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ・写真(風景、人物写真など)
- ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など)
- ・生活文化(書道、茶道、華道、盆栽など)
- ・国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ・舞踊(バレエ、ダンス、よさこいなど)
- ・伝統芸能(和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど)
- ・演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ・演芸(落語、漫談、漫才など)
- ・伝統工芸、文化財の継承・保存
- ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に文化芸術活動を行ったことが「ある」(27.6%)は2割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、「ある」は3.6ポイントの増加となっている。

【属性別比較】

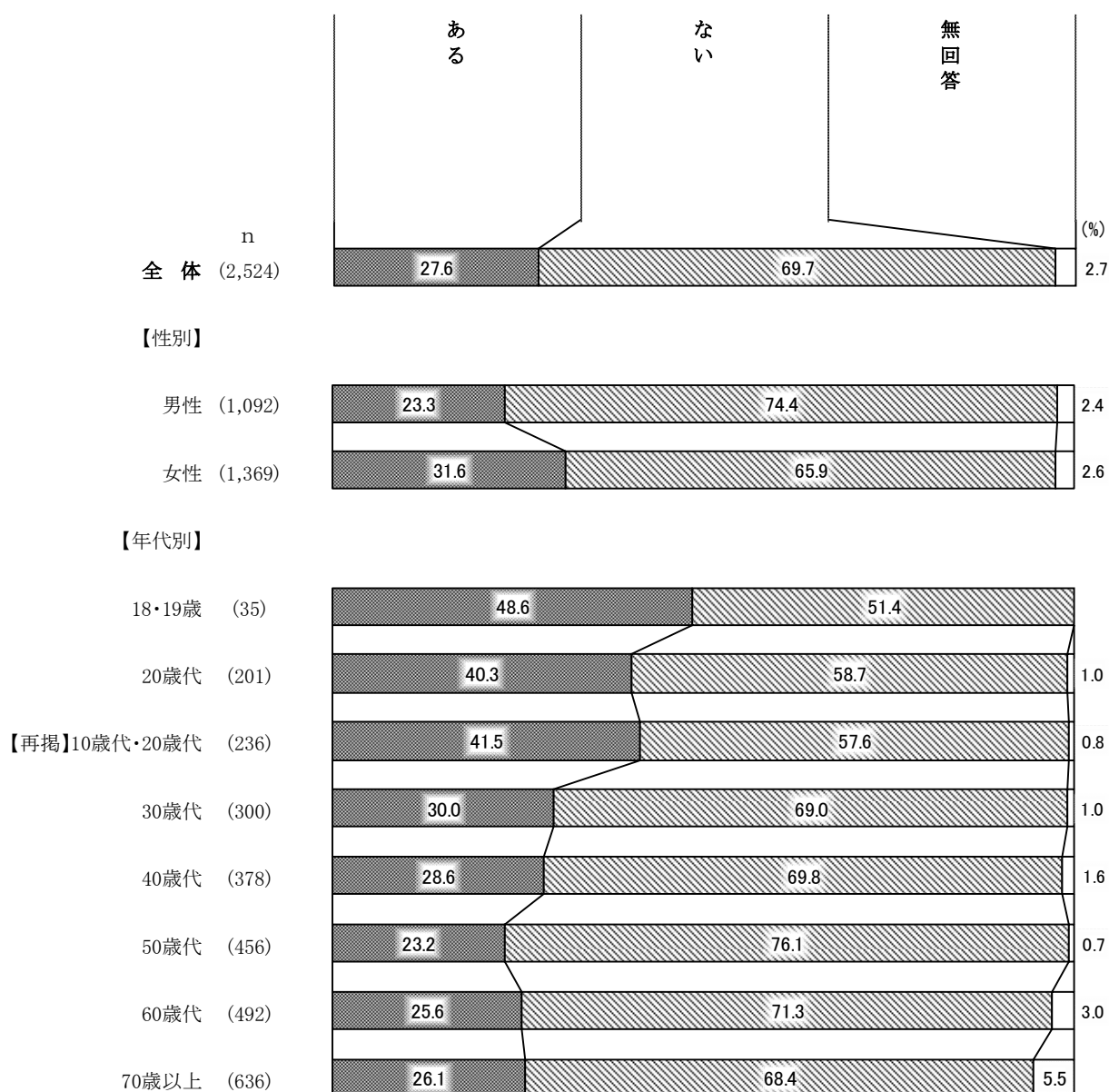
① 性別

「ある」は女性(31.6%)の方が男性(23.3%)よりも8.3ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代(41.5%)で4割強と最も高く、50歳代(23.2%)で最も低くなっている。

○文化芸術活動の経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は南部地域（33.5%）で3割強と最も高く、秩父地域（18.9%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性10歳代・20歳代（45.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で、男性50歳代と60歳代は1割台と特に低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（32.1%）で3割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（40.3%）で4割を超えて最も高くなっている。

○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

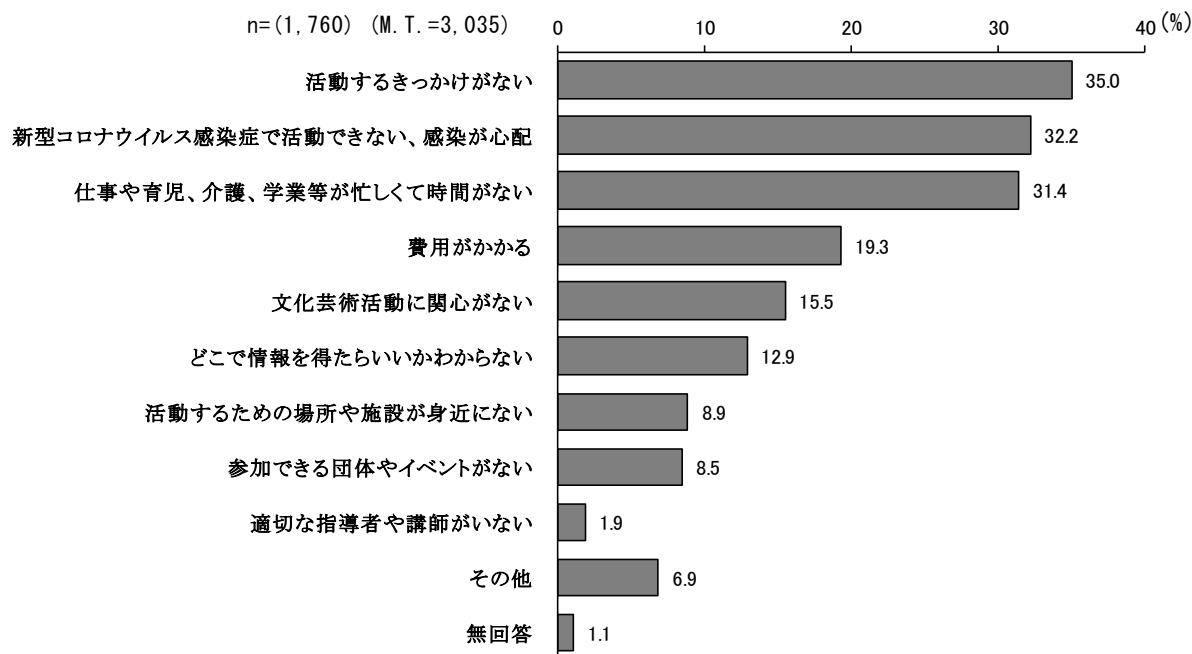
	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,524	27.6	69.7	2.7
地域別				
南部地域	242	33.5	64.5	2.1
南西部地域	224	27.7	70.5	1.8
東部地域	399	24.1	71.2	4.8
さいたま地域	451	28.4	70.1	1.6
県央地域	192	27.1	70.8	2.1
川越比企地域	288	30.2	66.7	3.1
西部地域	259	30.9	67.2	1.9
利根地域	244	21.7	74.6	3.7
北部地域	159	29.6	69.2	1.3
秩父地域	37	18.9	78.4	2.7
性・年代別				
男性／18・19歳	9	55.6	44.4	-
20歳代	86	33.7	65.1	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	35.8	63.2	1.1
30歳代	127	29.9	68.5	1.6
40歳代	158	27.8	70.9	1.3
50歳代	206	13.6	85.4	1.0
60歳代	220	19.5	78.2	2.3
70歳以上	285	23.5	71.6	4.9
女性／18・19歳	24	45.8	54.2	-
20歳代	107	45.8	53.3	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	45.8	53.4	0.8
30歳代	172	30.2	69.2	0.6
40歳代	213	29.6	68.5	1.9
50歳代	246	31.7	67.9	0.4
60歳代	269	30.5	65.8	3.7
70歳以上	336	28.6	66.1	5.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	184	32.1	64.1	3.8
雇用者（計）	1,336	27.1	71.5	1.4
無職（計）	958	28.2	68.2	3.7
ライフステージ別				
独身期	305	40.3	59.0	0.7
家族形成期	175	31.4	68.0	0.6
家族成長前期	203	24.1	73.9	2.0
家族成長後期	164	25.6	72.0	2.4
家族成熟期	459	23.5	74.1	2.4
高齢期	586	29.9	66.0	4.1
その他	632	22.9	73.7	3.3

(2-1) 文化芸術活動への不参加の理由

◇「活動するきっかけがない」が35.0%

(問6(2)で「2.ない」とお答えの方にお伺いします。)

問6(2)-1 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)



文化芸術活動への不参加の理由は、「活動するきっかけがない」(35.0%)が3割台半ばで最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」(32.2%)、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」(31.4%)、「費用がかかる」(19.3%)、「文化芸術活動に関心がない」(15.5%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「活動するきっかけがない」は県央地域（41.9%）で4割強と最も高く、「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」は利根地域（37.4%）、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は北部地域（37.3%）で最も高くなっている。

※秩父地域（n=29）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「活動するきっかけがない」は男性（38.4%）の方が女性（32.9%）よりも5.5ポイント高くなっている。一方で、「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」と「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は女性の方が男性よりも高くなっている。

③ 年代別

「活動するきっかけがない」は10歳代・20歳代（41.9%）が4割強と最も高くなっている。「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」は60歳代（40.5%）、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は30歳代（57.5%）と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「活動するきっかけがない」は男性10歳代・20歳代（48.3%）が5割弱と最も高くなっている。「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」は女性60歳代（48.0%）が5割弱で最も高く、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は女性30歳代（58.0%）が6割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「活動するきっかけがない」は雇用者（計）（36.6%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」は無職（計）（39.2%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「活動するきっかけがない」は独身期（42.2%）で4割強と最も高く、「新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配」は高齢期（41.3%）、「仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない」は家族形成期（65.5%）で最も高くなっている。

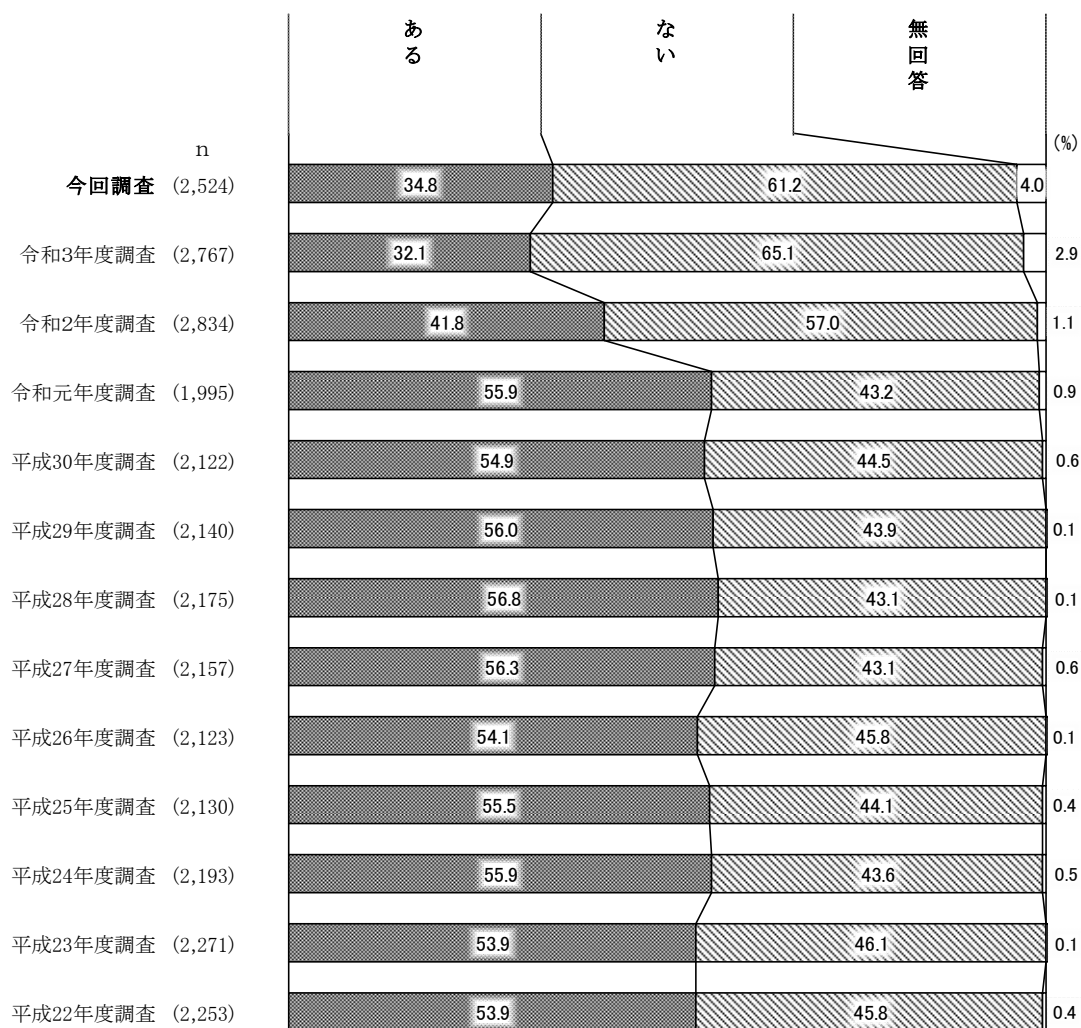
○文化芸術活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	い活動するきっかけがない	感染症で活動できない、感染が心配	新型コロナウイルス	ない業等が忙しくて時間が取れない	仕事や育児、介護、学業	費用がかかる	ない文化芸術活動に関心が	いどこで情報を得たらい	施設が身近にない	活動するための場所や	参加できない団体やイベントがない	適切な指導者や講師がいない	その他	無回答	
全体	1,760	35.0	32.2	31.4	19.3	15.5	12.9	8.9	8.5	1.9	6.9	1.1				
地域別																
南部地域	156	35.3	26.9	26.9	14.1	14.7	17.9	8.3	10.9	2.6	5.8	1.3				
南西部地域	158	33.5	28.5	32.3	21.5	20.9	15.2	8.2	10.8	3.2	10.1	-				
東部地域	284	34.9	31.7	30.3	16.5	14.4	14.8	7.0	7.0	1.1	7.0	1.1				
さいたま地域	316	37.3	29.1	35.4	17.4	16.5	11.1	8.2	9.2	0.3	5.7	0.6				
県央地域	136	41.9	33.8	36.0	26.5	14.0	12.5	13.2	8.1	2.9	4.4	0.7				
川越比企地域	192	34.9	32.8	28.1	18.2	14.6	11.5	10.9	9.4	3.6	8.9	1.0				
西部地域	174	33.9	36.8	29.3	20.7	15.5	11.5	9.8	9.2	1.1	9.2	1.7				
利根地域	182	31.3	37.4	26.9	20.9	14.8	8.8	8.8	6.6	2.2	7.1	1.6				
北部地域	110	30.9	30.0	37.3	23.6	17.3	10.0	6.4	6.4	0.9	4.5	2.7				
秩父地域	29	41.4	34.5	34.5	10.3	10.3	20.7	13.8	3.4	-	-	-				
性別																
男性	812	38.4	28.1	28.6	16.1	20.2	12.2	8.7	9.6	1.0	5.9	1.4				
女性	902	32.9	35.4	33.9	21.3	11.6	13.5	9.0	7.6	2.5	7.4	0.9				
年代別																
18・19歳	18	38.9	11.1	22.2	11.1	22.2	27.8	27.8	11.1	-	-	-				
20歳代	118	42.4	12.7	39.8	21.2	17.8	19.5	11.0	8.5	0.8	2.5	-				
【再掲】10歳代・20歳代	136	41.9	12.5	37.5	19.9	18.4	20.6	13.2	8.8	0.7	2.2	-				
30歳代	207	37.7	24.2	57.5	21.7	15.5	14.0	8.2	6.8	1.4	2.4	1.4				
40歳代	264	35.6	29.2	48.1	23.5	18.2	14.4	8.3	7.6	1.9	2.7	0.4				
50歳代	347	32.9	28.2	41.2	21.6	16.1	11.2	5.2	9.2	1.4	2.9	0.6				
60歳代	351	35.9	40.5	23.1	20.2	15.1	12.5	12.0	8.3	3.1	6.6	0.3				
70歳以上	435	32.9	39.8	5.1	12.4	13.3	10.1	8.7	9.4	1.4	16.6	2.8				
性・年代別																
男性／18・19歳	4	75.0	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-				
20歳代	56	46.4	12.5	28.6	14.3	19.6	17.9	10.7	14.3	-	1.8	-				
【再掲】10歳代・20歳代	60	48.3	11.7	26.7	13.3	21.7	18.3	10.0	13.3	-	1.7	-				
30歳代	87	42.5	24.1	57.5	25.3	13.8	12.6	8.0	5.7	1.1	4.6	1.1				
40歳代	112	35.7	25.9	42.9	20.5	25.9	15.2	8.0	7.1	-	2.7	-				
50歳代	176	33.5	21.6	42.0	21.0	21.0	11.4	5.7	11.9	1.1	2.8	1.1				
60歳代	172	37.8	32.6	20.9	13.4	22.1	12.8	13.4	9.3	1.7	7.0	0.6				
70歳以上	204	39.7	37.7	3.4	8.8	17.2	8.8	7.8	9.8	1.0	11.3	3.4				
女性／18・19歳	13	30.8	15.4	30.8	15.4	15.4	23.1	30.8	15.4	-	-	-				
20歳代	57	42.1	12.3	52.6	24.6	15.8	22.8	12.3	3.5	1.8	1.8	-				
【再掲】10歳代・20歳代	70	40.0	12.9	48.6	22.9	15.7	22.9	15.7	5.7	1.4	1.4	-				
30歳代	119	34.5	24.4	58.0	19.3	16.8	15.1	7.6	7.6	1.7	0.8	1.7				
40歳代	146	35.6	31.5	52.1	26.0	11.6	14.4	8.9	7.5	3.4	2.7	0.7				
50歳代	167	32.9	34.7	40.7	21.6	11.4	11.4	4.8	6.6	1.8	2.4	-				
60歳代	177	33.9	48.0	25.4	26.6	8.5	12.4	10.2	7.3	4.5	6.2	-				
70歳以上	222	27.5	41.4	6.3	14.4	9.9	11.7	9.9	9.5	1.8	20.7	2.3				
職業別																
自営業・家族従業（計）	118	31.4	34.7	37.3	16.1	17.8	8.5	10.2	7.6	3.4	5.9	0.8				
雇用者（計）	955	36.6	26.8	44.8	20.9	15.3	14.0	9.5	7.6	1.3	3.8	0.5				
無職（計）	653	33.7	39.2	10.6	17.2	15.9	11.8	8.0	10.0	2.1	11.5	2.0				
ライフステージ別																
独身期	180	42.2	16.1	35.6	21.1	16.1	21.7	11.7	6.7	1.1	2.2	1.1				
家族形成期	119	36.1	23.5	65.5	18.5	20.2	14.3	10.9	11.8	1.7	3.4	0.8				
家族成長前期	150	33.3	27.3	63.3	26.7	14.7	9.3	6.7	7.3	2.0	3.3	-				
家族成長後期	118	33.1	32.2	50.8	24.6	11.0	9.3	3.4	5.9	-	4.2	-				
家族成熟期	340	33.8	32.6	30.3	16.2	16.5	9.1	6.5	10.0	1.2	6.8	0.9				
高齢期	387	35.1	41.3	9.6	14.7	15.8	11.6	10.3	7.8	1.6	12.1	1.3				
その他	466	33.7	34.1	24.9	21.2	14.6	15.0	10.1	8.8	3.4	7.1	1.9				

(3) 文化芸術活動の鑑賞

◇「ある」が34.8%、「ない」が61.2%

問6(3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがありますか。
(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」(34.8%)は3割台半ばとなっており、「ない」(61.2%)を26.4ポイント下回っている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、「ある」は2.7ポイント増加しているが、2年前の令和2年度調査(41.8%)と比べると7.0ポイント減少している。

【属性別比較】

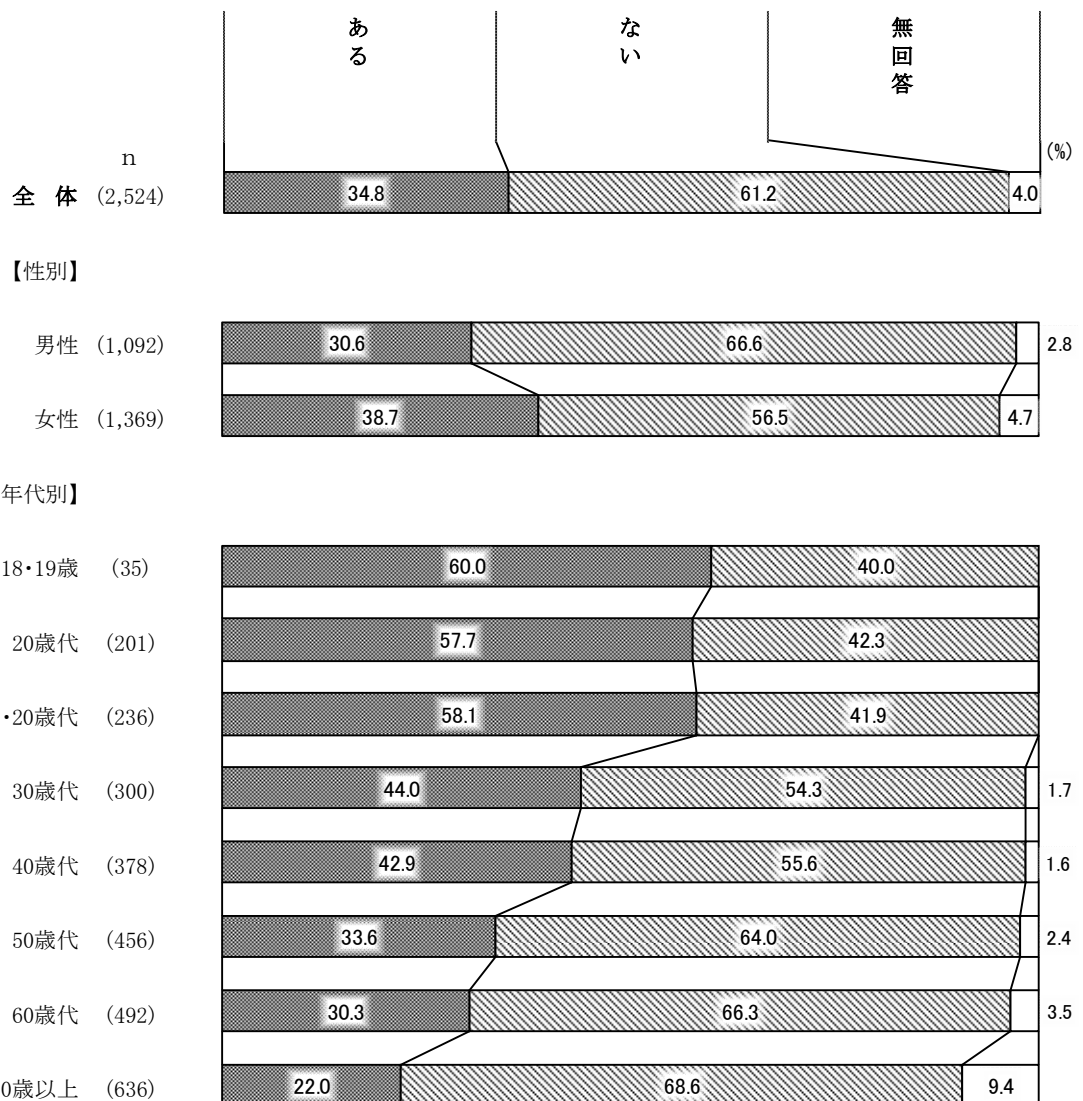
① 性別

「ある」は女性（38.7%）の方が男性（30.6%）よりも8.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代（58.1%）で6割弱と最も高く、年代が上がるほど低くなる傾向にあり、70歳以上（22.0%）で2割強となっている。

○文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は南部地域（39.7%）で約4割と最も高く、秩父地域（18.9%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性10歳代・20歳代（64.9%）で6割台半ばと最も高く、女性70歳以上（20.2%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は雇用者（計）（39.8%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（56.7%）で5割台半ばを超えて最も高く、高齢期（27.3%）で最も低くなっている。

○文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

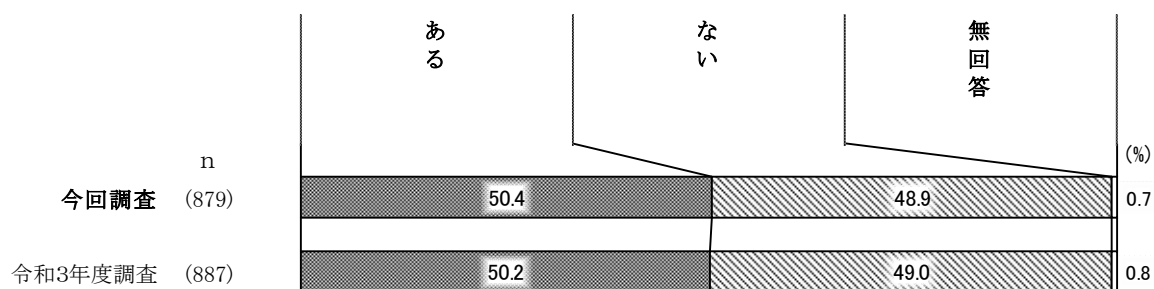
	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	2,524	34.8	61.2	4.0
地域別				
南部地域	242	39.7	56.6	3.7
南西部地域	224	38.8	56.7	4.5
東部地域	399	32.1	61.9	6.0
さいたま地域	451	38.6	57.2	4.2
県央地域	192	35.9	62.5	1.6
川越比企地域	288	35.1	61.5	3.5
西部地域	259	35.1	60.6	4.2
利根地域	244	25.4	71.3	3.3
北部地域	159	36.5	60.4	3.1
秩父地域	37	18.9	81.1	-
性・年代別				
男性／18・19歳	9	55.6	44.4	-
20歳代	86	50.0	50.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	50.5	49.5	-
30歳代	127	40.9	56.7	2.4
40歳代	158	39.9	59.5	0.6
50歳代	206	24.3	75.7	-
60歳代	220	23.2	74.1	2.7
70歳以上	285	24.2	68.4	7.4
女性／18・19歳	24	62.5	37.5	-
20歳代	107	65.4	34.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	64.9	35.1	-
30歳代	172	46.5	52.3	1.2
40歳代	213	45.5	52.1	2.3
50歳代	246	41.9	54.1	4.1
60歳代	269	36.1	59.9	4.1
70歳以上	336	20.2	68.8	11.0
職業別				
自営業・家族従業（計）	184	33.7	63.6	2.7
雇用者（計）	1,336	39.8	57.8	2.4
無職（計）	958	28.8	65.1	6.1
ライフステージ別				
独身期	305	56.7	42.3	1.0
家族形成期	175	48.0	51.4	0.6
家族成長前期	203	34.0	64.5	1.5
家族成長後期	164	43.9	55.5	0.6
家族成熟期	459	30.9	64.1	5.0
高齢期	586	27.3	65.0	7.7
その他	632	28.3	67.7	4.0

(3-1) インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞

◇「ある」が50.4%、「ない」が48.9%

(問6(3)で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。)

問6(3)-1 あなたは、この1年間に、インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞を行ったことがありますか。(〇は1つだけ)



この1年間に、インターネット配信による文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」は50.4%で、「ない」(48.9%)をわずかに上回っている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

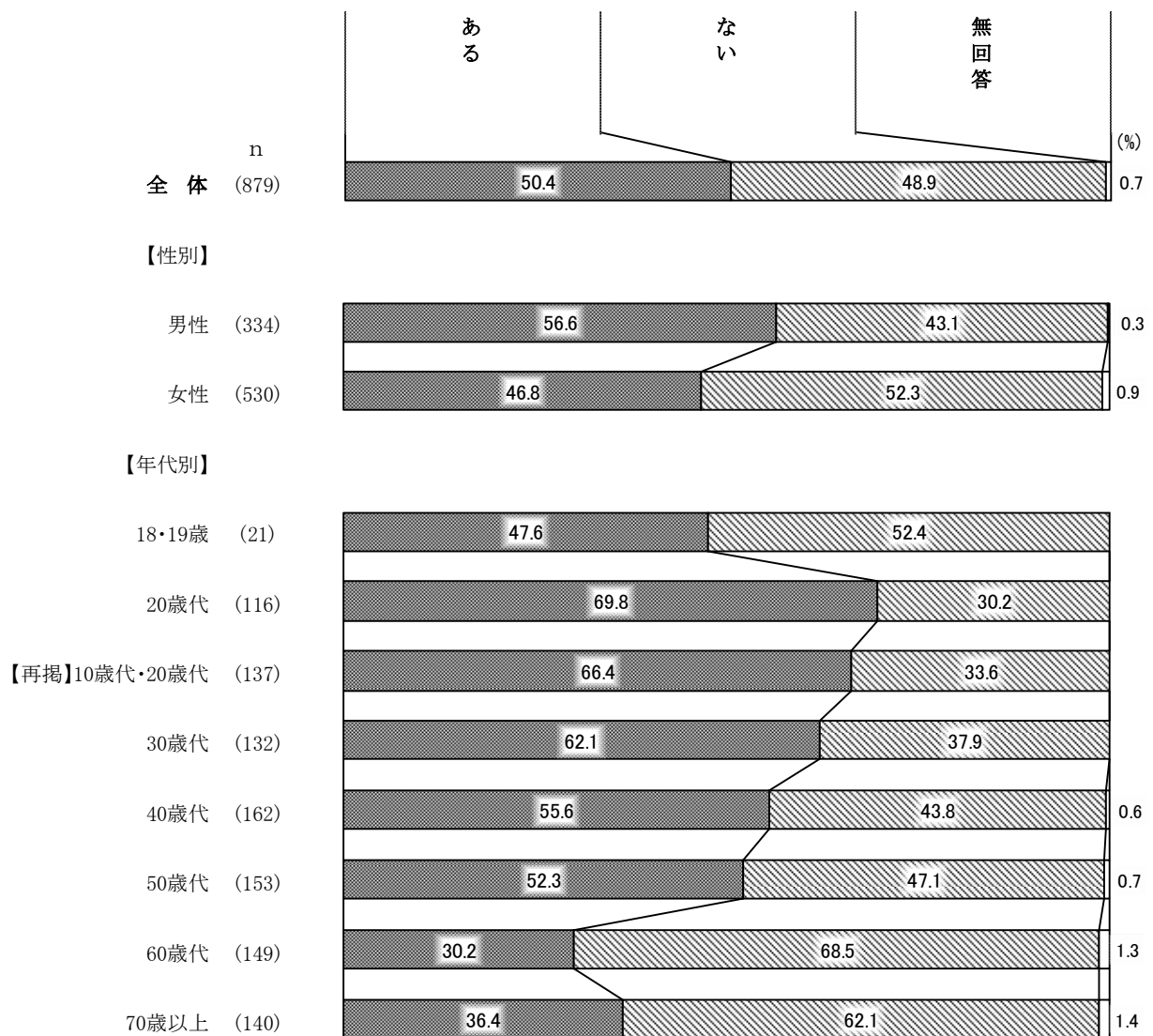
① 性別

「ある」は男性（56.6%）の方が女性（46.8%）よりも9.8ポイント高くなっている。

② 年代別

「ある」は10歳代・20歳代（66.4%）で6割台半ばを超えて最も高く、60歳代（30.2%）で最も低くなっている。

○インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は南部地域（54.2%）で5割台半ばと最も高く、西部地域（46.2%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=7）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

「ある」は男性10歳代・20歳代（77.1%）で7割台半ばを超えて最も高く、男女ともに年代が上がるほど低くなる傾向にあり、女性70歳以上（29.4%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「ある」は雇用者（計）（52.4%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は独身期（67.1%）で6割台半ばを超えて最も高く、高齢期（32.5%）で最も低くなっている。

○インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	ある	ない	無回答
全体	879	50.4	48.9	0.7
地域別				
南部地域	96	54.2	44.8	1.0
南西部地域	87	50.6	49.4	-
東部地域	128	48.4	50.8	0.8
さいたま地域	174	51.1	48.9	-
県央地域	69	52.2	47.8	-
川越比企地域	101	46.5	52.5	1.0
西部地域	91	46.2	51.6	2.2
利根地域	62	50.0	48.4	1.6
北部地域	58	53.4	46.6	-
秩父地域	7	85.7	14.3	-
性・年代別				
男性／18・19歳	5	80.0	20.0	-
20歳代	43	76.7	23.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	48	77.1	22.9	-
30歳代	52	67.3	32.7	-
40歳代	63	65.1	34.9	-
50歳代	50	58.0	42.0	-
60歳代	51	31.4	68.6	-
70歳以上	69	43.5	55.1	1.4
女性／18・19歳	15	40.0	60.0	-
20歳代	70	65.7	34.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	85	61.2	38.8	-
30歳代	80	58.8	41.3	-
40歳代	97	50.5	48.5	1.0
50歳代	103	49.5	49.5	1.0
60歳代	97	29.9	68.0	2.1
70歳以上	68	29.4	69.1	1.5
職業別				
自営業・家族従業（計）	62	51.6	46.8	1.6
雇用者（計）	532	52.4	47.2	0.4
無職（計）	276	46.0	52.9	1.1
ライフステージ別				
独身期	173	67.1	32.9	-
家族形成期	84	63.1	36.9	-
家族成長前期	69	44.9	55.1	-
家族成長後期	72	54.2	44.4	1.4
家族成熟期	142	43.7	56.3	-
高齢期	160	32.5	65.6	1.9
その他	179	50.3	48.6	1.1

(4) スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度

◇『週に1回程度以上(計)』は全体の57.9%

問7 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

あなたは、この1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどをはじめ、スポーツ・レクリエーション活動(※)をしましたか。

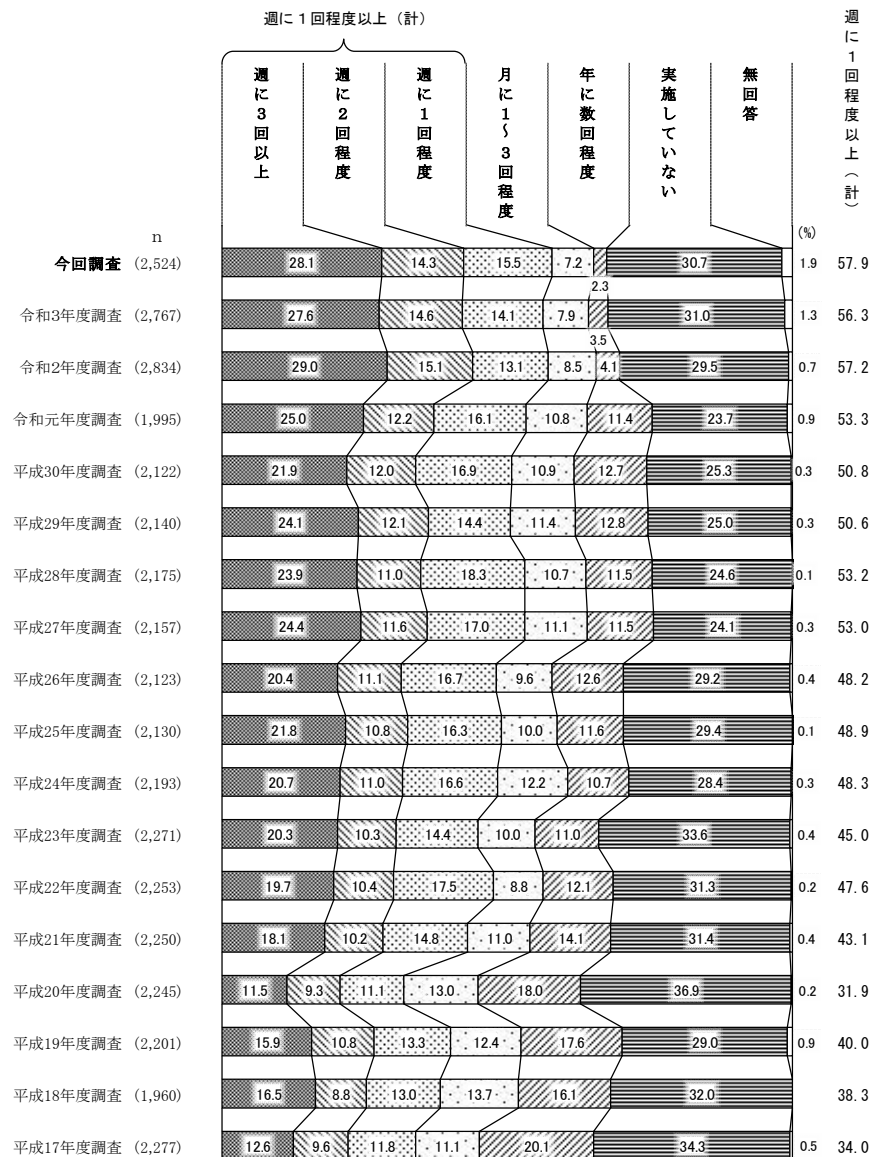
(〇は1つだけ)

問7-1 (問7で「1. した」場合に)それはどのくらいの頻度でしましたか。

(〇は1つだけ)

※スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング(ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む)、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、ヨガ・バレエ、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング(筋力・その他運動器具を使った運動)、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス(フォークダンス、民謡踊りを含む)、バーチャルスポーツ(体の動きを伴うコンピューターゲーム) など



※選択肢「月に1~3回程度」は、平成22年度から平成26年度調査までは「月に1~2回程度」としていた。
 ※平成24年度調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。
 ※令和2年度調査からは「実施していない」は問7の「していない」を問7-1に組み込んだものである。
 ※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施機会は、「実施していない」(30.7%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで「週に3回以上」(28.1%)となっており、「週に2回程度」(14.3%)、「週に1回程度」(15.5%)を合わせた『週に1回程度以上(計)』(57.9%)は5割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、『週に1回程度以上(計)』の割合に特に大きな差は見られないが、令和元年度調査(53.3%)と比べると4.6ポイント増加している。一方で、「実施していない」を令和元年度調査(23.7%)と比べると7.0ポイント増加している。

【属性別比較】

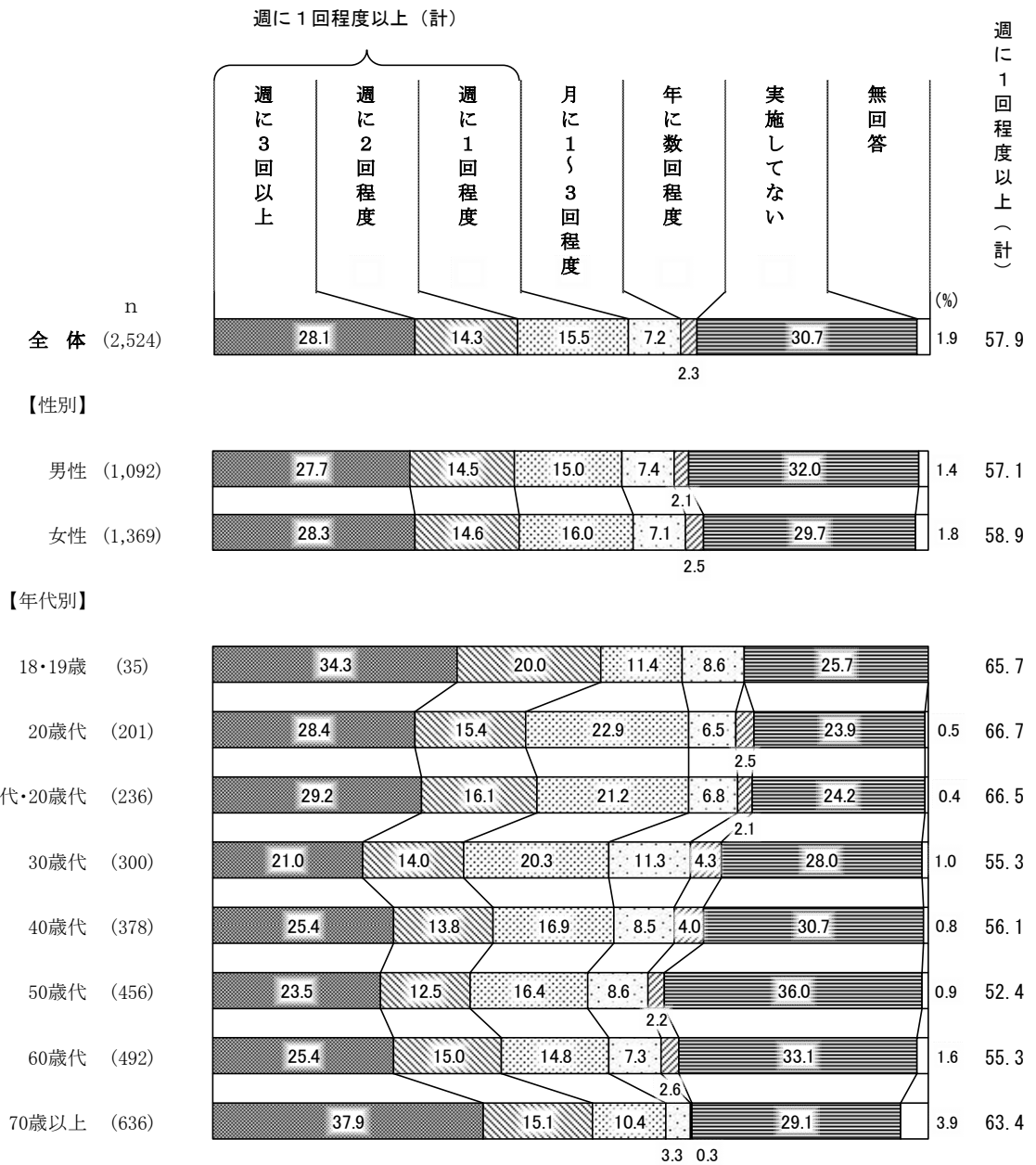
① 性別

回答分布に大きな差はみられない。

② 年代別

『週に1回程度以上（計）』は10歳代・20歳代（66.5%）が6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「実施していない」は50歳代（36.0%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・性別／年代別



③ 地域別

『週に1回程度以上(計)』は南部地域(63.2%)が6割強と最も高く、秩父地域(48.6%)が5割弱で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『週に1回程度以上(計)』は男性10歳代・20歳代(76.8%)が7割台半ばを超えて最も高く、男性60歳代(47.3%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『週に1回程度以上(計)』は無職(計)(63.7%)で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『週に1回程度以上(計)』は高齢期(65.5%)で6割台半ばと最も高くなっている。

○スポーツ・レクリエーション活動の実施とその頻度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

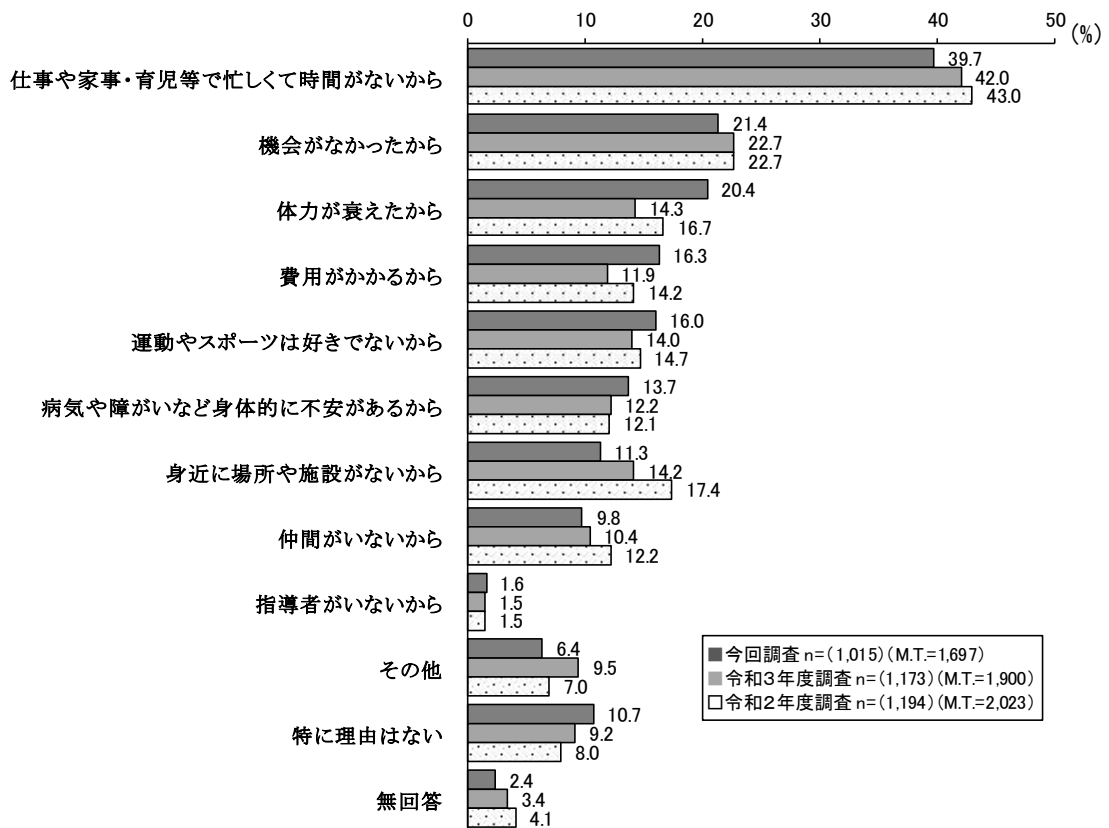
	調査数 n	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1〜3回程度	年に数回程度	実施していない	無回答	(%) 週に1回程度以上
全体	2,524	28.1	14.3	15.5	7.2	2.3	30.7	1.9	57.9
地域別									
南部地域	242	26.4	15.7	21.1	5.8	1.7	26.9	2.5	63.2
南西部地域	224	27.2	16.1	14.3	11.2	1.3	28.6	1.3	57.6
東部地域	399	28.8	14.3	12.8	6.5	2.8	32.3	2.5	55.9
さいたま地域	451	27.7	15.7	17.7	8.0	1.6	27.9	1.3	61.2
県央地域	192	29.2	12.5	14.6	6.3	3.1	31.8	2.6	56.3
川越比企地域	288	29.9	11.1	14.6	9.4	2.8	30.6	1.7	55.6
西部地域	259	29.0	15.4	17.0	6.6	3.9	26.3	1.9	61.4
利根地域	244	28.3	13.1	11.1	4.1	1.2	40.6	1.6	52.5
北部地域	159	25.8	14.5	17.6	5.0	3.1	33.3	0.6	57.9
秩父地域	37	18.9	13.5	16.2	13.5	2.7	35.1	-	48.6
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	44.4	22.2	-	-	-	-	100.0
20歳代	86	29.1	19.8	25.6	2.3	2.3	20.9	-	74.4
【再掲】10歳代・20歳代	95	29.5	22.1	25.3	2.1	2.1	18.9	-	76.8
30歳代	127	18.1	15.7	19.7	13.4	3.1	29.1	0.8	53.5
40歳代	158	24.7	15.8	15.2	10.1	3.2	30.4	0.6	55.7
50歳代	206	24.3	8.7	18.0	7.8	2.9	37.4	1.0	51.0
60歳代	220	19.5	14.1	13.6	8.6	2.3	40.5	1.4	47.3
70歳以上	285	41.8	15.1	8.1	3.9	0.4	28.1	2.8	64.9
女性／18・19歳	24	29.2	12.5	8.3	12.5	-	37.5	-	50.0
20歳代	107	29.0	13.1	20.6	9.3	2.8	24.3	0.9	62.6
【再掲】10歳代・20歳代	131	29.0	13.0	18.3	9.9	2.3	26.7	0.8	60.3
30歳代	172	23.3	12.8	20.9	9.9	5.2	26.7	1.2	57.0
40歳代	213	24.9	12.2	18.3	7.5	4.7	31.5	0.9	55.4
50歳代	246	23.2	15.4	15.4	9.3	1.2	34.6	0.8	54.1
60歳代	269	30.5	16.0	15.2	6.3	3.0	27.1	1.9	61.7
70歳以上	336	34.8	15.8	12.2	3.0	0.3	30.1	3.9	62.8
職業別									
自営業・家族従業(計)	184	30.4	10.3	14.1	8.7	1.6	31.5	3.3	54.9
雇用者(計)	1,336	22.2	13.9	18.5	8.9	3.4	32.2	0.9	54.6
無職(計)	958	35.9	16.0	11.8	4.5	1.0	28.3	2.5	63.7
ライフステージ別									
独身期	305	24.6	16.4	20.3	7.2	3.6	27.9	-	61.3
家族形成期	175	24.0	12.6	22.9	13.1	1.7	24.6	1.1	59.4
家族成長前期	203	24.6	9.9	17.2	8.9	5.4	32.5	1.5	51.7
家族成長後期	164	22.6	14.6	15.9	9.8	5.5	29.9	1.8	53.0
家族成熟期	459	27.7	13.3	13.3	8.1	2.0	34.0	1.7	54.2
高齢期	586	35.5	17.6	12.5	6.1	1.0	25.1	2.2	65.5
その他	632	26.9	12.8	14.9	4.6	1.6	36.2	3.0	54.6

(4-1) スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が39.7%

(問7で「2. していない」とお答えの方、または問7-1で「4. 月に1~3回程度」もしくは「5. 年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問7-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



週に1回以上スポーツ・レクリエーション活動をする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」(39.7%)が約4割で最も高く、次いで「機会がなかったから」(21.4%)が2割強で続き、以下「体力が衰えたから」(20.4%)、「費用がかかるから」(16.3%)、「運動やスポーツは好きではないから」(16.0%)、「病気や障がいなど身体的に不安があるから」(13.7%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、「体力が衰えたから」(20.4%)が6.1ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は県央地域（46.8%）で4割台半ばを超えて最も高く、「機会がなかったから」も県央地域（27.8%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。「体力が衰えたから」は利根地域（26.8%）で最も高くなっている。

※秩父地域（n=19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「運動やスポーツは好きでないから」は女性（19.3%）の方が男性（11.5%）よりも7.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は30歳代（67.2%）で6割台半ばを超えて最も高く、70歳以上（6.7%）で最も低くなっている。「機会がなかったから」は50歳代（26.3%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「体力が衰えたから」と「病気や障がいなど身体的に不安があるから」はともに70歳以上で他の年代を大きく上回って最も高くなっている。

④ 性・年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性30歳代（68.1%）で7割弱と最も高くなっている。「機会がなかったから」は男性50歳代（30.3%）で3割を超えて最も高くなっている。

※男性10歳代・20歳代（n=22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

⑤ 職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は自営業・家族従業（計）（55.8%）で5割台半ばと最も高く、「機会がなかったから」は雇用者（計）（24.6%）で2割台半ばと最も高く、「体力が衰えたから」は無職（計）（31.5%）で最も高くなっている。

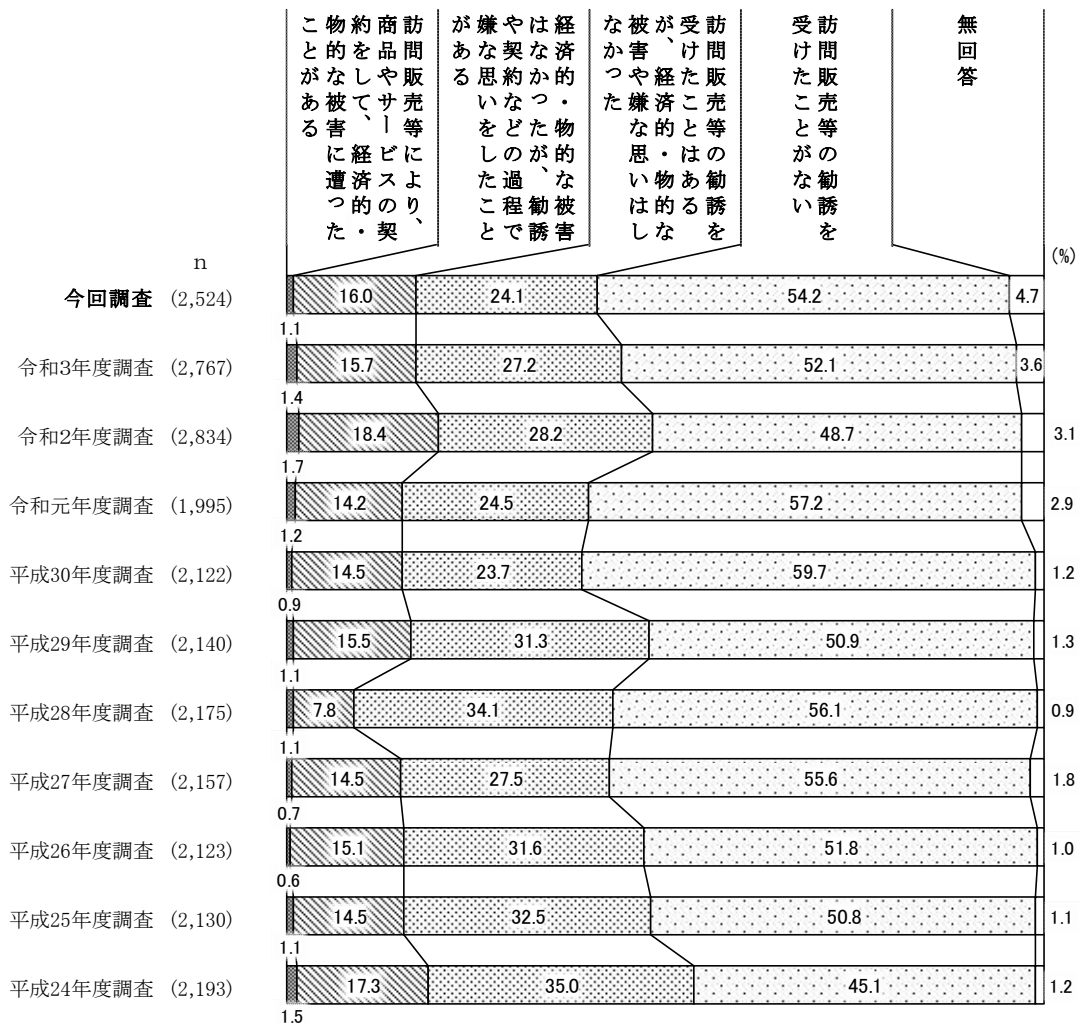
⑥ ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族形成期（81.2%）で8割強と最も高くなっている。「機会がなかったから」は独身期（25.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。「体力が衰えたから」は高齢期（31.7%）で3割強と最も高くなっている。

(5-1) 訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が54.2%

問8 消費生活についておたずねします。
 (1) あなたは、この1年間に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」(54.2%)が5割台半ばで最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」(24.1%)が2割台半ばと最も高くなっており、次いで、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」(16.0%)、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」(1.1%)となっている。

【過去調査との比較】

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は令和2年度調査(48.7%)から増加傾向にある。

【属性別比較】

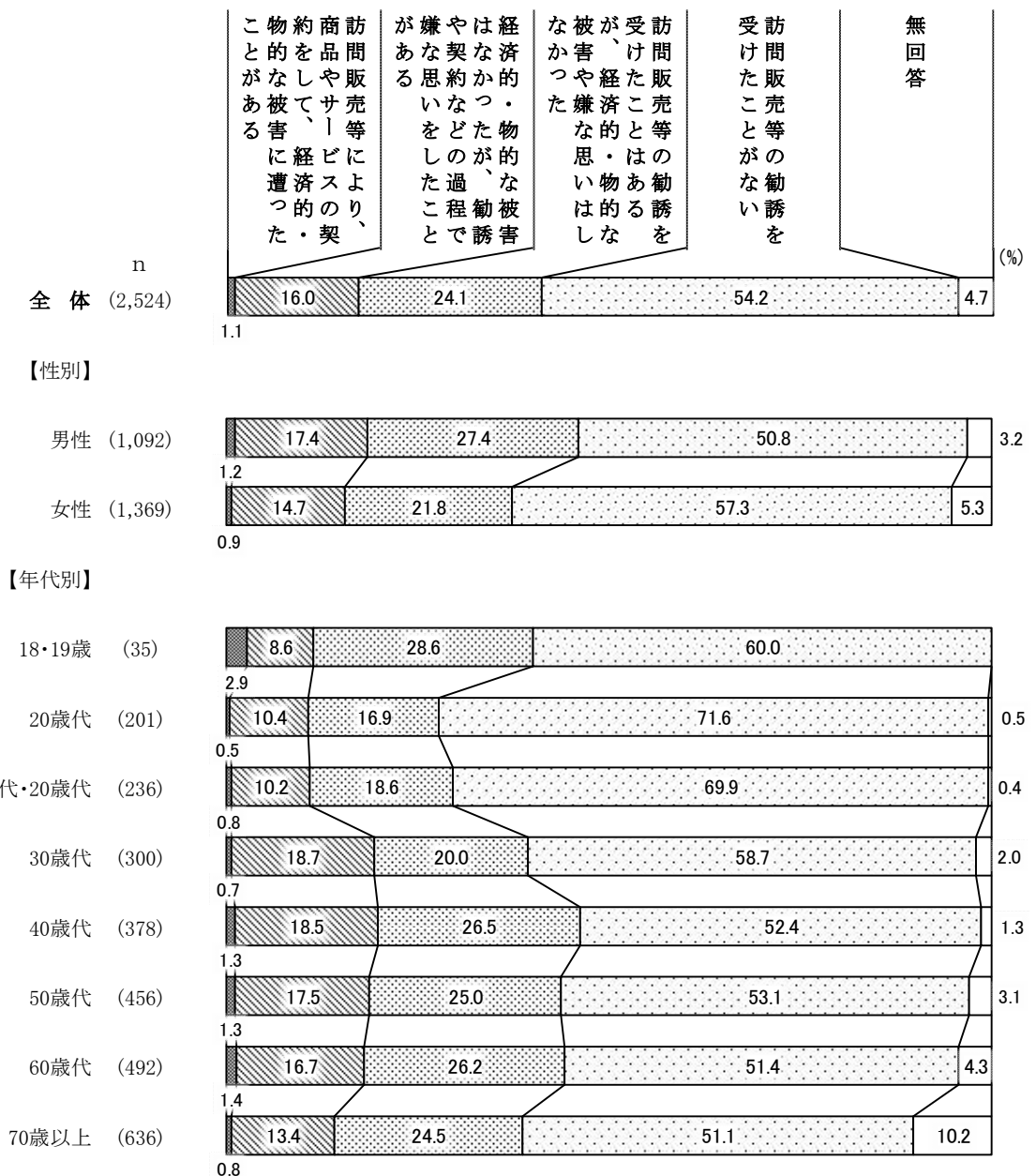
① 性別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」は男性（27.4%）の方が女性（21.8%）よりも5.6ポイント高く、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」も男性（17.4%）の方が女性（14.7%）よりも2.7ポイント高くなっている。

② 年代別

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は10歳代・20歳代（69.9%）で約7割と最も高くなっており、年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向がみられる。一方で、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は30歳代（18.7%）で2割弱と最も高くなっている。

○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害・性別／年代別



③ 地域別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は秩父地域（18.9%）で2割弱と最も高く、次いで東部地域（18.3%）となっている。

④ 性・年代別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は男性40歳代（24.7%）で2割台半ばと最も高く、次いで男性30歳代（22.8%）となっている。

⑤ 職業別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は自営業・家族従業（計）（18.5%）で2割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」は家族成長後期（21.3%）で2割強と最も高くなっている。

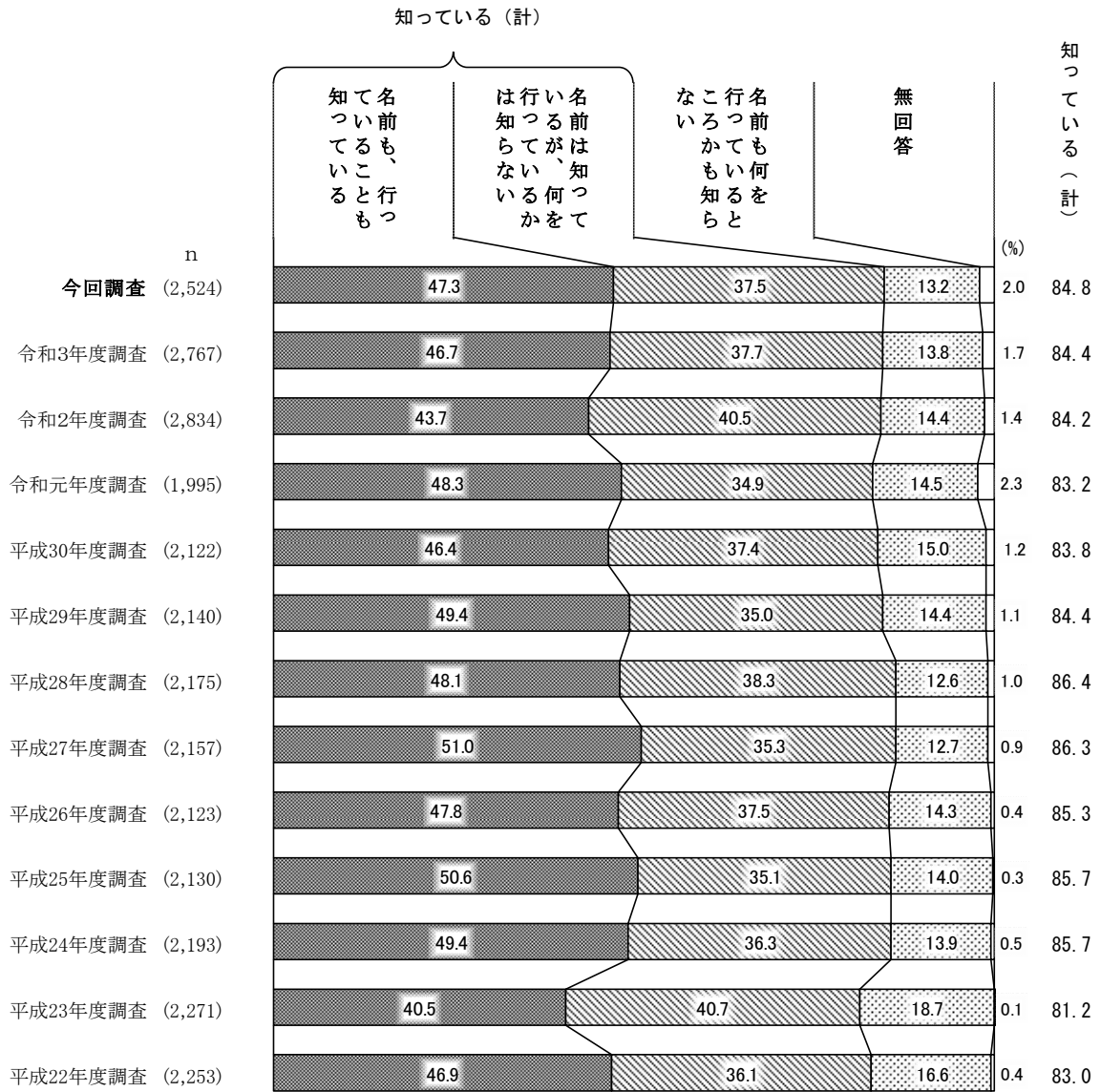
○訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	に遭つた経済的・物的な被害	訪問販売等による被害	勧誘や契約を しな	経済的・物的な被害 を	いしなかつた た	訪問販売等 の勧誘を受け た	訪問販売等 の勧誘を受け た	無回答
全体	2,524	1.1	16.0	24.1	54.2	4.7			
地域別									
南部地域	242	0.4	14.0	25.2	55.4	5.0			
南西部地域	224	1.8	15.6	19.2	60.3	3.1			
東部地域	399	0.3	18.3	19.3	57.6	4.5			
さいたま地域	451	1.6	16.4	23.3	54.3	4.4			
県央地域	192	1.6	15.1	19.8	58.9	4.7			
川越比企地域	288	1.0	17.7	30.9	45.1	5.2			
西部地域	259	1.2	15.4	30.5	49.4	3.5			
利根地域	244	2.0	11.5	24.2	56.1	6.1			
北部地域	159	-	17.0	24.5	55.3	3.1			
秩父地域	37	-	18.9	37.8	40.5	2.7			
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	11.1	44.4	44.4	-			
20歳代	86	1.2	9.3	23.3	65.1	1.2			
【再掲】10歳代・20歳代	95	1.1	9.5	25.3	63.2	1.1			
30歳代	127	1.6	22.8	21.3	53.5	0.8			
40歳代	158	0.6	24.7	27.2	46.2	1.3			
50歳代	206	0.5	17.0	30.6	48.5	3.4			
60歳代	220	1.8	18.2	26.4	51.4	2.3			
70歳以上	285	1.4	13.3	29.5	49.1	6.7			
女性／18・19歳	24	-	8.3	25.0	66.7	-			
20歳代	107	-	11.2	13.1	75.7	-			
【再掲】10歳代・20歳代	131	-	10.7	15.3	74.0	-			
30歳代	172	-	15.1	19.2	62.8	2.9			
40歳代	213	1.4	14.1	26.3	56.8	1.4			
50歳代	246	2.0	17.5	20.3	57.3	2.8			
60歳代	269	1.1	15.6	26.0	51.3	5.9			
70歳以上	336	0.3	13.4	20.2	53.6	12.5			
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	1.1	18.5	27.7	47.8	4.9			
雇用者（計）	1,336	1.4	16.3	23.5	56.7	2.0			
無職（計）	958	0.6	14.6	24.7	52.5	7.5			
ライフステージ別									
独身期	305	1.0	12.1	18.0	68.2	0.7			
家族形成期	175	-	20.6	20.6	56.6	2.3			
家族成長前期	203	2.0	13.8	27.6	55.2	1.5			
家族成長後期	164	-	21.3	28.0	50.0	0.6			
家族成熟期	459	1.5	15.7	25.9	51.4	5.4			
高齢期	586	0.9	14.2	26.1	52.6	6.3			
その他	632	1.3	17.7	22.6	50.9	7.4			

(5-2) 消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が84.8%

問8（2） あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または、消費生活相談窓口）を知っていますか。（〇は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

消費生活センター（または、消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」（47.3%）が4割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「名前は知っているが、何を行っているかは知らない」（37.5%）となっており、これらを合わせた『知っている（計）』（84.8%）は8割台半ばを占めている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」（13.2%）は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

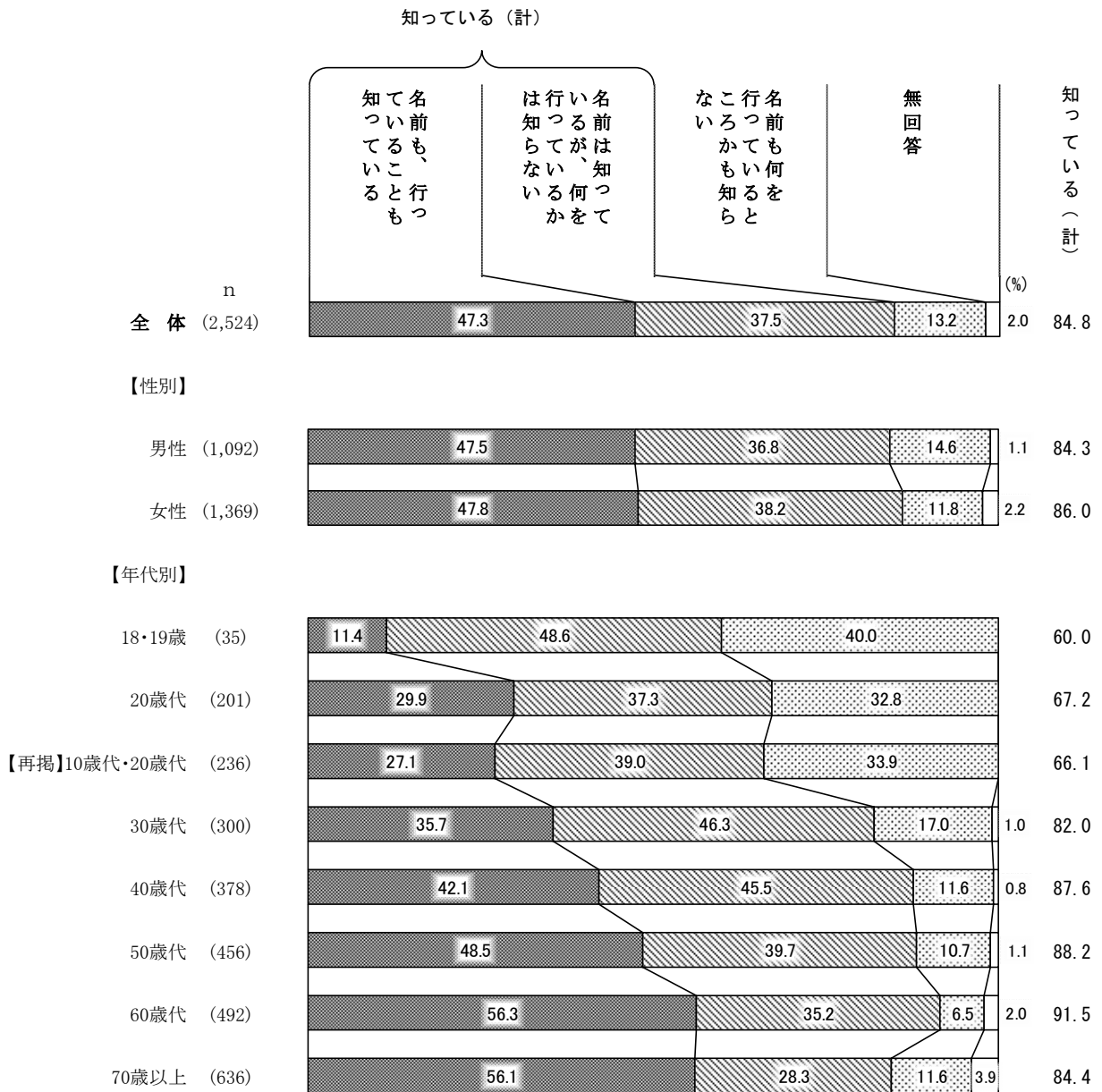
① 性別

『知っている（計）』は女性（86.0%）の方が男性（84.3%）よりも1.7ポイント高くなっている、一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」は男性（14.6%）の方が女性（11.8%）よりも2.8ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は60歳代（91.5%）で9割強と最も高くなっている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」は10歳代・20歳代（33.9%）で3割強と最も高くなっている。

○消費生活センターの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』はいずれの地域でも8割台となっており、さいたま地域（88.5%）で9割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は女性では60歳代（94.1%）と50歳代（91.5%）で9割を超えて高く、女性10歳代・20歳代（65.6%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は自営業・家族従業（計）（88.6%）で9割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は高齢期（91.1%）と家族成熟期（90.4%）で9割を超えて高くなっている。

○消費生活センターの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

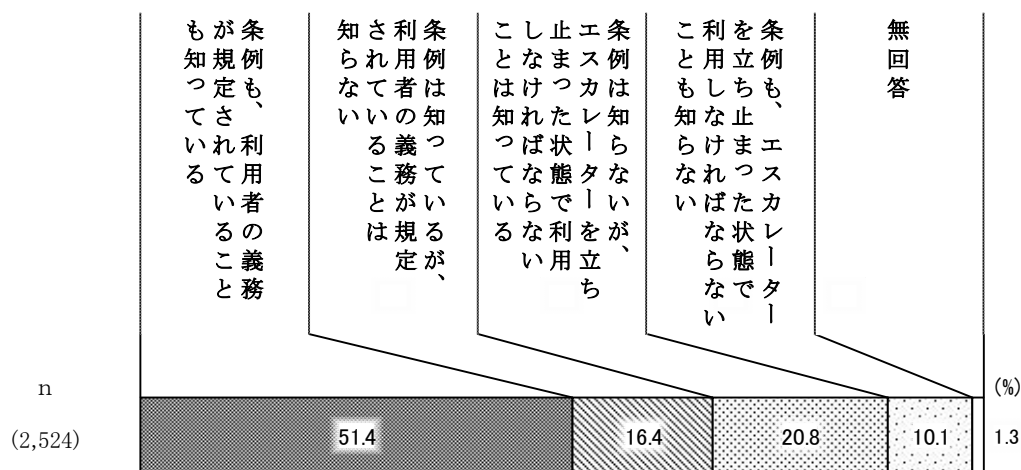
	調査数 n	名前も、知らない とも知っている 47.3	名前も知らない 何を行っていない 37.5	名前も知らない どこか知っている 13.2	無回答 2.0	知っている（計） (%)
全体	2,524	47.3	37.5	13.2	2.0	84.8
地域別						
南部地域	242	51.2	34.3	11.6	2.9	85.5
南西部地域	224	48.2	37.5	12.9	1.3	85.7
東部地域	399	46.4	36.1	16.0	1.5	82.5
さいたま地域	451	49.9	38.6	10.4	1.1	88.5
県央地域	192	45.3	38.5	13.5	2.6	83.9
川越比企地域	288	46.9	36.1	13.9	3.1	83.0
西部地域	259	46.7	38.2	13.5	1.5	84.9
利根地域	244	50.0	35.7	13.1	1.2	85.7
北部地域	159	39.0	45.3	13.8	1.9	84.3
秩父地域	37	45.9	35.1	16.2	2.7	81.1
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	33.3	44.4	-	55.6
20歳代	86	30.2	37.2	32.6	-	67.4
【再掲】10歳代・20歳代	95	29.5	36.8	33.7	-	66.3
30歳代	127	40.9	43.3	15.0	0.8	84.3
40歳代	158	41.1	47.5	10.8	0.6	88.6
50歳代	206	48.1	36.9	14.6	0.5	85.0
60歳代	220	52.3	36.4	10.0	1.4	88.6
70歳以上	285	55.8	28.4	13.7	2.1	84.2
女性／18・19歳	24	8.3	54.2	37.5	-	62.5
20歳代	107	29.9	36.4	33.6	-	66.4
【再掲】10歳代・20歳代	131	26.0	39.7	34.4	-	65.6
30歳代	172	32.0	48.8	18.0	1.2	80.8
40歳代	213	43.2	43.7	12.2	0.9	86.9
50歳代	246	49.6	41.9	6.9	1.6	91.5
60歳代	269	59.9	34.2	3.3	2.6	94.1
70歳以上	336	56.5	29.2	9.8	4.5	85.7
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	53.3	35.3	9.2	2.2	88.6
雇用者（計）	1,336	45.0	40.3	13.9	0.8	85.3
無職（計）	958	49.7	34.3	12.8	3.1	84.0
ライフステージ別						
独身期	305	29.2	41.6	29.2	-	70.8
家族形成期	175	33.1	49.7	16.0	1.1	82.9
家族成長前期	203	41.9	42.4	14.8	1.0	84.2
家族成長後期	164	45.1	40.2	13.4	1.2	85.4
家族成熟期	459	51.6	38.8	8.1	1.5	90.4
高齢期	586	59.6	31.6	6.1	2.7	91.1
その他	632	47.9	34.3	14.4	3.3	82.3

(6-1) 「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度

◇「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」が51.4%

問9 エスカレーターの利用についておたずねします。

(1) あなたは、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」で、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定していることを知っていますか。（○は1つだけ）



「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度は、「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」（51.4%）が5割強と最も高く、次いで「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」（20.8%）、「条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」（16.4%）、「条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない」（10.1%）となっている。

【属性別比較】

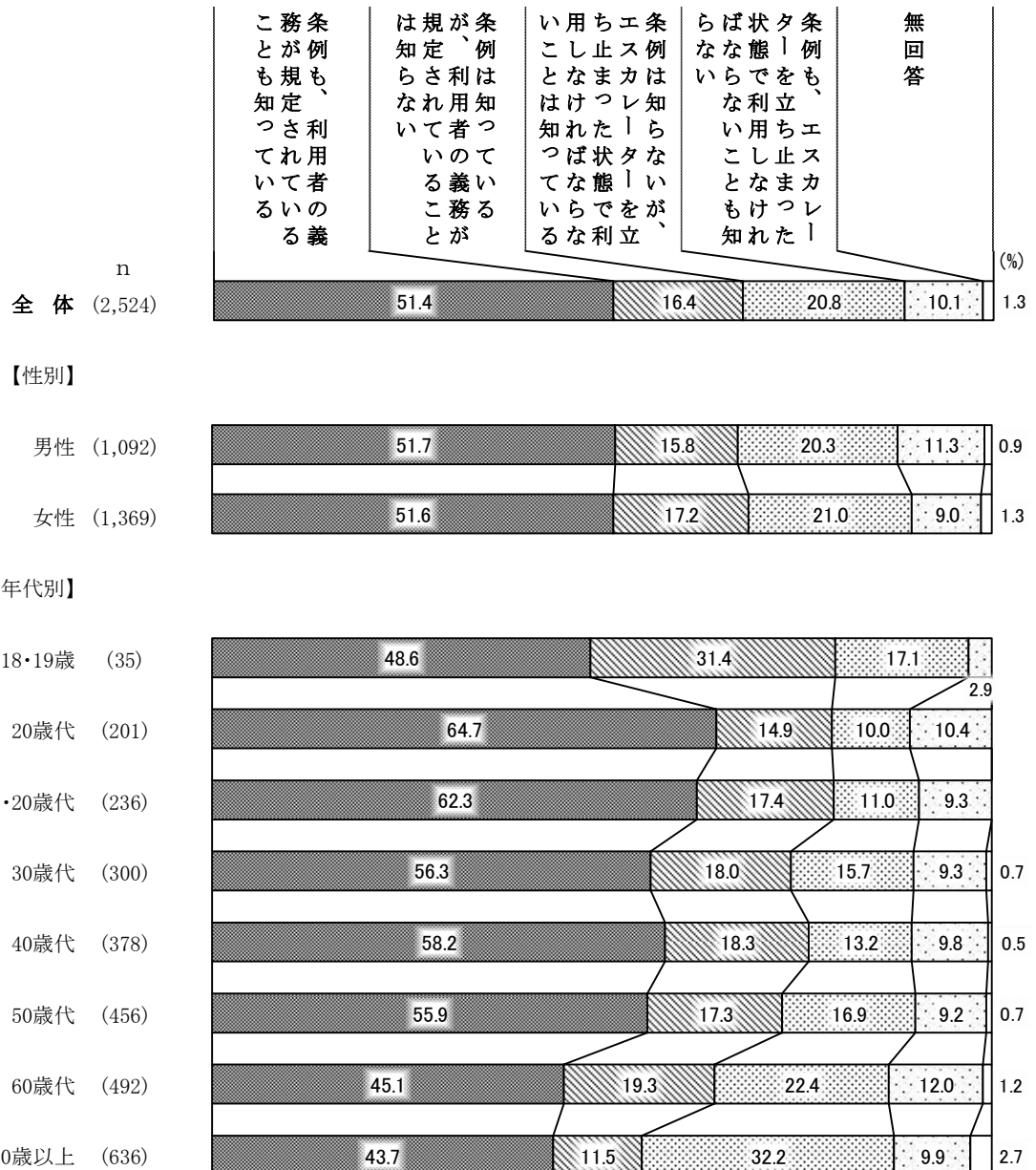
① 性別

「条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」は女性（17.2%）の方が男性（15.8%）よりも1.4ポイント高くなっている。一方で、「条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない」は男性（11.3%）の方が女性（9.0%）よりも2.3ポイント高くなっている。

② 年代別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は10歳代・20歳代（62.3%）で6割強と最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は70歳以上（32.2%）で3割強と最も高くなっている。

○「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・性別／年代別



③ 地域別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」はさいたま地域（59.2%）で約6割と最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は秩父地域（37.8%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は女性10歳代・20歳代（64.1%）で6割台半ばと最も高く、「条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている」は女性70歳以上（34.2%）で3割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は雇用者（計）（56.1%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている」は家族成長前期（64.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。

○「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

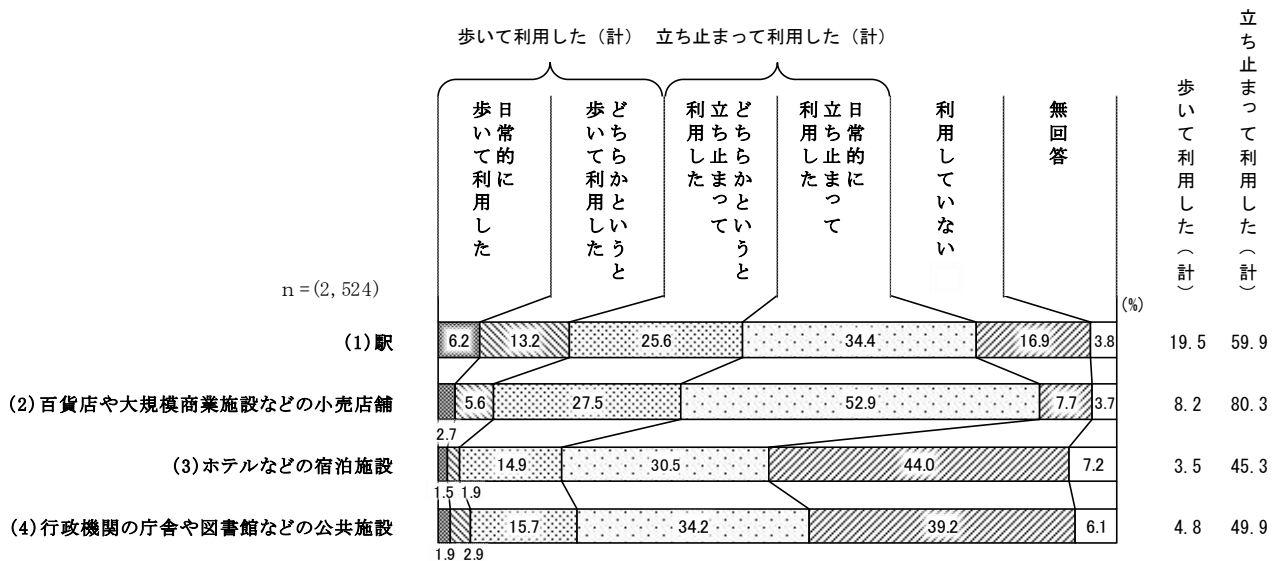
	調査数 n	定例も、利用者の義務が規定されている	条例は知らない	条例は知らないが、エスカレーターを利用している	条例は知らないが、エスカレーターを利用しない	条例も、エスカレーターを利用しない	無回答
全体	2,524	51.4	16.4	20.8	10.1	1.3	
地域別							
南部地域	242	57.0	14.0	19.8	7.4	1.7	
南西部地域	224	58.0	15.2	14.7	11.2	0.9	
東部地域	399	47.4	18.8	22.1	10.5	1.3	
さいたま地域	451	59.2	18.2	15.3	6.4	0.9	
県央地域	192	54.2	16.7	19.3	7.8	2.1	
川越比企地域	288	51.0	16.0	20.5	10.8	1.7	
西部地域	259	44.8	15.4	27.8	10.8	1.2	
利根地域	244	48.4	15.6	23.4	11.5	1.2	
北部地域	159	40.9	15.7	22.6	19.5	1.3	
秩父地域	37	37.8	10.8	37.8	13.5	-	
性・年代別							
男性／18・19歳	9	44.4	44.4	11.1	-	-	
20歳代	86	61.6	15.1	11.6	11.6	-	
【再掲】10歳代・20歳代	95	60.0	17.9	11.6	10.5	-	
30歳代	127	56.7	15.0	16.5	11.0	0.8	
40歳代	158	58.9	17.1	13.3	10.1	0.6	
50歳代	206	52.9	18.4	18.0	10.2	0.5	
60歳代	220	50.0	15.5	21.4	12.7	0.5	
70歳以上	285	43.5	13.0	29.8	11.6	2.1	
女性／18・19歳	24	50.0	29.2	20.8	-	-	
20歳代	107	67.3	15.0	9.3	8.4	-	
【再掲】10歳代・20歳代	131	64.1	17.6	11.5	6.9	-	
30歳代	172	56.4	20.3	14.5	8.1	0.6	
40歳代	213	56.8	19.2	13.6	9.9	0.5	
50歳代	246	58.5	16.7	15.9	8.1	0.8	
60歳代	269	41.6	22.7	23.0	10.8	1.9	
70歳以上	336	44.0	10.1	34.2	8.9	2.7	
職業別							
自営業・家族従業（計）	184	46.7	20.7	19.0	12.0	1.6	
雇用者（計）	1,336	56.1	16.8	16.2	10.3	0.5	
無職（計）	958	46.6	15.2	26.9	9.2	2.1	
ライフステージ別							
独身期	305	56.4	19.0	14.4	10.2	-	
家族形成期	175	62.3	17.1	10.9	9.1	0.6	
家族成長前期	203	64.0	13.3	13.8	7.9	1.0	
家族成長後期	164	54.3	25.6	13.4	6.1	0.6	
家族成熟期	459	51.2	16.8	20.5	10.5	1.1	
高齢期	586	44.5	13.0	29.9	10.8	1.9	
その他	632	47.6	16.6	22.5	11.4	1.9	

(6-2) エスカレーターの利用実態

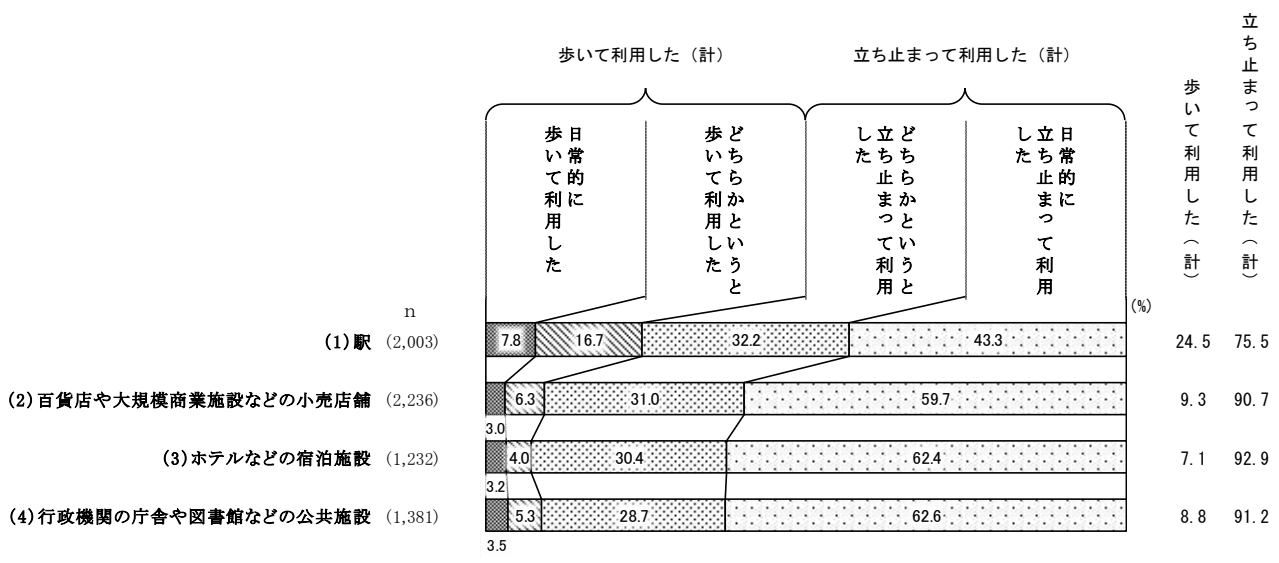
◇駅での利用は、『歩いて利用した（計）』が19.5%、『立ち止まって利用した（計）』が59.9%

問9(2) あなたは、この1年間に、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。
(各施設それぞれ〇は1つずつ)

※「利用していない」の回答割合を含めた全体グラフ



エスカレーターの施設別の利用状況については、施設そのものの利用実態(割合)で上記のグラフにあるように大きな差異があるため、「利用していない」と「無回答」を除いたものをn数(回答者)として、利用形態を比較した。



(1) 駅

駅での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(43.3%)で4割強と最も高く、「どちらかという
と立ち止まって利用した」(32.2%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(75.5%)は7割台
半ばとなっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(7.8%)と「どちらかというと歩いて利用し
た」(16.7%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(24.5%)は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『立ち止まって利用した(計)』(75.5%)は10.6ポイント増加している。

【属性別比較】

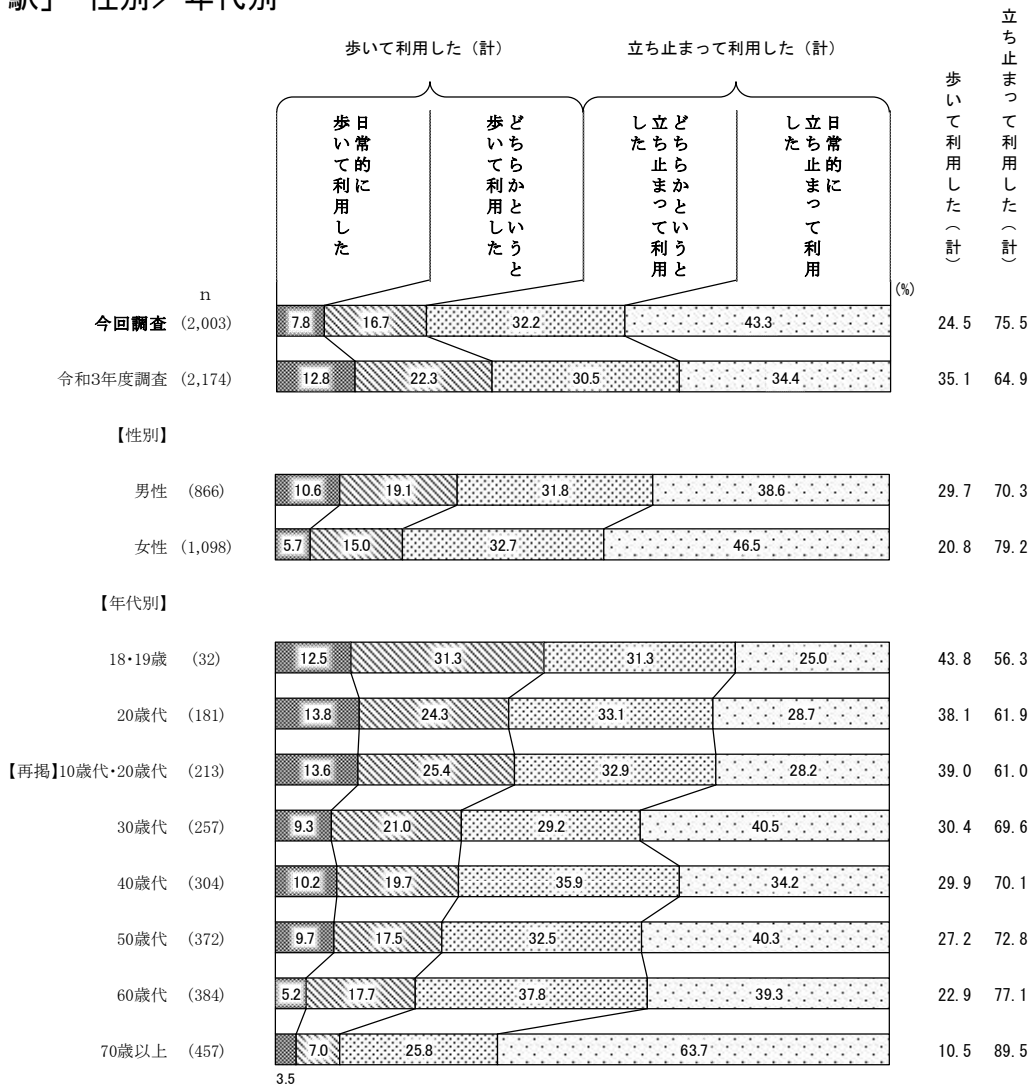
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(79.2%)の方が男性(70.3%)よりも8.9ポイント高くな
っている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(89.5%)で約9割と最も高く、年代が下がるほど割合
が低くなり、10歳代・20歳代(61.0%)で最も低くなっている。

○ 「(1) 駅」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した(計)』は川越比企地域(83.8%)で8割強と最も高く、南西部地域(69.5%)で最も低くなっている。

※秩父地域(n=18)はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した(計)』は女性70歳以上(93.1%)で9割強と最も高く、男性40歳代(59.8%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した(計)』は無職(計)(85.0%)で8割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した(計)』は高齢期(86.2%)で8割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「(1) 駅」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた	歩いて利用した	どちらかというど ちらかというど ちらかというど ちらかというど	日常的に立ち止まって	(%)	
						歩いて利用した(計)	立ち止まって利用した(計)
全体	2,003	7.8	16.7	32.2	43.3	24.5	75.5
地域別							
南部地域	218	9.2	15.6	32.1	43.1	24.8	75.2
南西部地域	190	11.1	19.5	33.7	35.8	30.5	69.5
東部地域	330	9.7	17.3	34.2	38.8	27.0	73.0
さいたま地域	384	6.5	18.8	27.9	46.9	25.3	74.7
県央地域	161	7.5	16.1	31.1	45.3	23.6	76.4
川越比企地域	210	5.2	11.0	36.2	47.6	16.2	83.8
西部地域	203	8.4	16.3	36.9	38.4	24.6	75.4
利根地域	166	7.8	14.5	28.3	49.4	22.3	77.7
北部地域	103	3.9	23.3	23.3	49.5	27.2	72.8
秩父地域	18	11.1	16.7	55.6	16.7	27.8	72.2
性・年代別							
男性／18・19歳	8	12.5	25.0	37.5	25.0	37.5	62.5
20歳代	73	15.1	23.3	35.6	26.0	38.4	61.6
【再掲】10歳代・20歳代	81	14.8	23.5	35.8	25.9	38.3	61.7
30歳代	113	12.4	23.0	29.2	35.4	35.4	64.6
40歳代	127	16.5	23.6	32.3	27.6	40.2	59.8
50歳代	170	12.9	22.9	28.8	35.3	35.9	64.1
60歳代	168	6.0	20.2	39.9	33.9	26.2	73.8
70歳以上	206	6.3	8.3	26.7	58.7	14.6	85.4
女性／18・19歳	22	9.1	36.4	31.8	22.7	45.5	54.5
20歳代	102	12.7	25.5	31.4	30.4	38.2	61.8
【再掲】10歳代・20歳代	124	12.1	27.4	31.5	29.0	39.5	60.5
30歳代	143	7.0	18.9	29.4	44.8	25.9	74.1
40歳代	171	5.8	17.5	38.6	38.0	23.4	76.6
50歳代	199	7.0	12.6	36.2	44.2	19.6	80.4
60歳代	214	4.7	15.9	36.4	43.0	20.6	79.4
70歳以上	245	1.2	5.7	25.3	67.8	6.9	93.1
職業別							
自営業・家族従業(計)	136	9.6	13.2	35.3	41.9	22.8	77.2
雇用者(計)	1,121	10.2	21.1	34.4	34.3	31.2	68.8
無職(計)	718	4.0	11.0	28.1	56.8	15.0	85.0
ライフステージ別							
独身期	275	11.3	26.2	33.8	28.7	37.5	62.5
家族形成期	157	10.2	21.0	29.9	38.9	31.2	68.8
家族成長前期	156	12.2	20.5	25.6	41.7	32.7	67.3
家族成長後期	140	10.7	20.0	34.3	35.0	30.7	69.3
家族成熟期	359	7.0	17.3	32.9	42.9	24.2	75.8
高齢期	450	2.9	10.9	32.2	54.0	13.8	86.2
その他	466	8.2	12.4	33.0	46.4	20.6	79.4

(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗

百貨店や大規模商業施設などの小売店舗での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(59.7%)で約6割と最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(31.0%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(90.7%)は9割を超えている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.0%)と「どちらかという歩いて利用した」(6.3%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(9.3%)は約1割となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『立ち止まって利用した(計)』(90.7%)は6.1ポイント増加している。

【属性別比較】

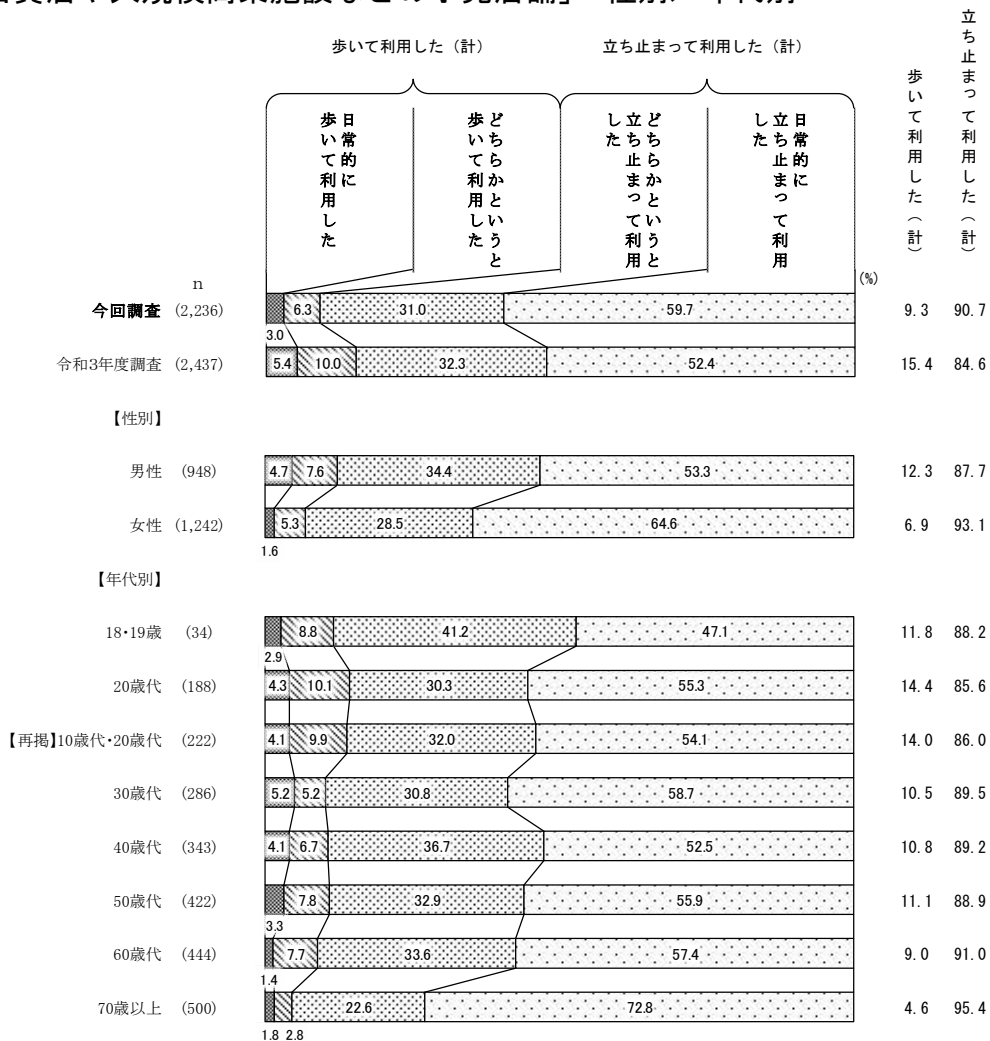
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(93.1%)の方が男性(87.7%)よりも5.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(95.4%)で9割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代(86.0%)で最も低くなっている。

○ 「(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（93.2%）で9割強と最も高く、秩父地域（87.1%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（97.4%）で9割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（80.5%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（93.9%）で9割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（95.6%）で9割台半ばと最も高くなっている。

○ 「(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いている	どちらかという歩いている	どちらかという歩いている	日常的に立ち止まって利用した	歩いている利用した（計）	
						（計）	立ち止まって利用した
全体	2,236	3.0	6.3	31.0	59.7	9.3	90.7
地域別							
南部地域	222	3.2	8.6	31.5	56.8	11.7	88.3
南西部地域	202	4.5	6.4	36.6	52.5	10.9	89.1
東部地域	353	3.7	5.9	32.9	57.5	9.6	90.4
さいたま地域	416	2.4	5.8	24.5	67.3	8.2	91.8
県央地域	171	2.3	6.4	29.8	61.4	8.8	91.2
川越比企地域	254	2.4	7.9	31.5	58.3	10.2	89.8
西部地域	228	3.9	3.5	35.5	57.0	7.5	92.5
利根地域	205	2.9	6.8	30.2	60.0	9.8	90.2
北部地域	133	2.3	4.5	33.1	60.2	6.8	93.2
秩父地域	31	-	12.9	19.4	67.7	12.9	87.1
性・年代別							
男性／18・19歳	9	-	22.2	33.3	44.4	22.2	77.8
20歳代	78	5.1	14.1	32.1	48.7	19.2	80.8
【再掲】10歳代・20歳代	87	4.6	14.9	32.2	48.3	19.5	80.5
30歳代	118	9.3	4.2	39.0	47.5	13.6	86.4
40歳代	143	8.4	7.0	38.5	46.2	15.4	84.6
50歳代	186	4.3	10.8	33.9	51.1	15.1	84.9
60歳代	193	1.6	7.8	37.3	53.4	9.3	90.7
70歳以上	220	3.2	4.1	27.7	65.0	7.3	92.7
女性／18・19歳	23	-	4.3	47.8	47.8	4.3	95.7
20歳代	103	2.9	6.8	30.1	60.2	9.7	90.3
【再掲】10歳代・20歳代	126	2.4	6.3	33.3	57.9	8.7	91.3
30歳代	167	2.4	5.4	25.1	67.1	7.8	92.2
40歳代	193	1.0	6.7	35.8	56.5	7.8	92.2
50歳代	233	2.6	5.2	32.6	59.7	7.7	92.3
60歳代	248	1.2	7.7	30.2	60.9	8.9	91.1
70歳以上	273	0.7	1.8	18.3	79.1	2.6	97.4
職業別							
自営業・家族従業（計）	159	3.1	8.2	36.5	52.2	11.3	88.7
雇用者（計）	1,243	3.6	7.5	35.4	53.5	11.1	88.9
無職（計）	800	1.9	4.3	23.4	70.5	6.1	93.9
ライフステージ別							
独身期	283	3.2	10.6	35.0	51.2	13.8	86.2
家族形成期	169	6.5	3.6	29.6	60.4	10.1	89.9
家族成長前期	190	4.2	3.2	32.6	60.0	7.4	92.6
家族成長後期	156	7.1	5.1	36.5	51.3	12.2	87.8
家族成熟期	416	1.9	7.7	32.9	57.5	9.6	90.4
高齢期	517	1.2	3.3	27.9	67.7	4.4	95.6
その他	505	2.8	8.3	28.5	60.4	11.1	88.9

(3) ホテルなどの宿泊施設

ホテルなどの宿泊施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(62.4%)で6割強と最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(30.4%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(92.9%)は9割強となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.2%)と「どちらかという歩いて利用した」(4.0%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(7.1%)は1割未満となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『立ち止まって利用した(計)』(92.9%)は4.9ポイント増加している。

【属性別比較】

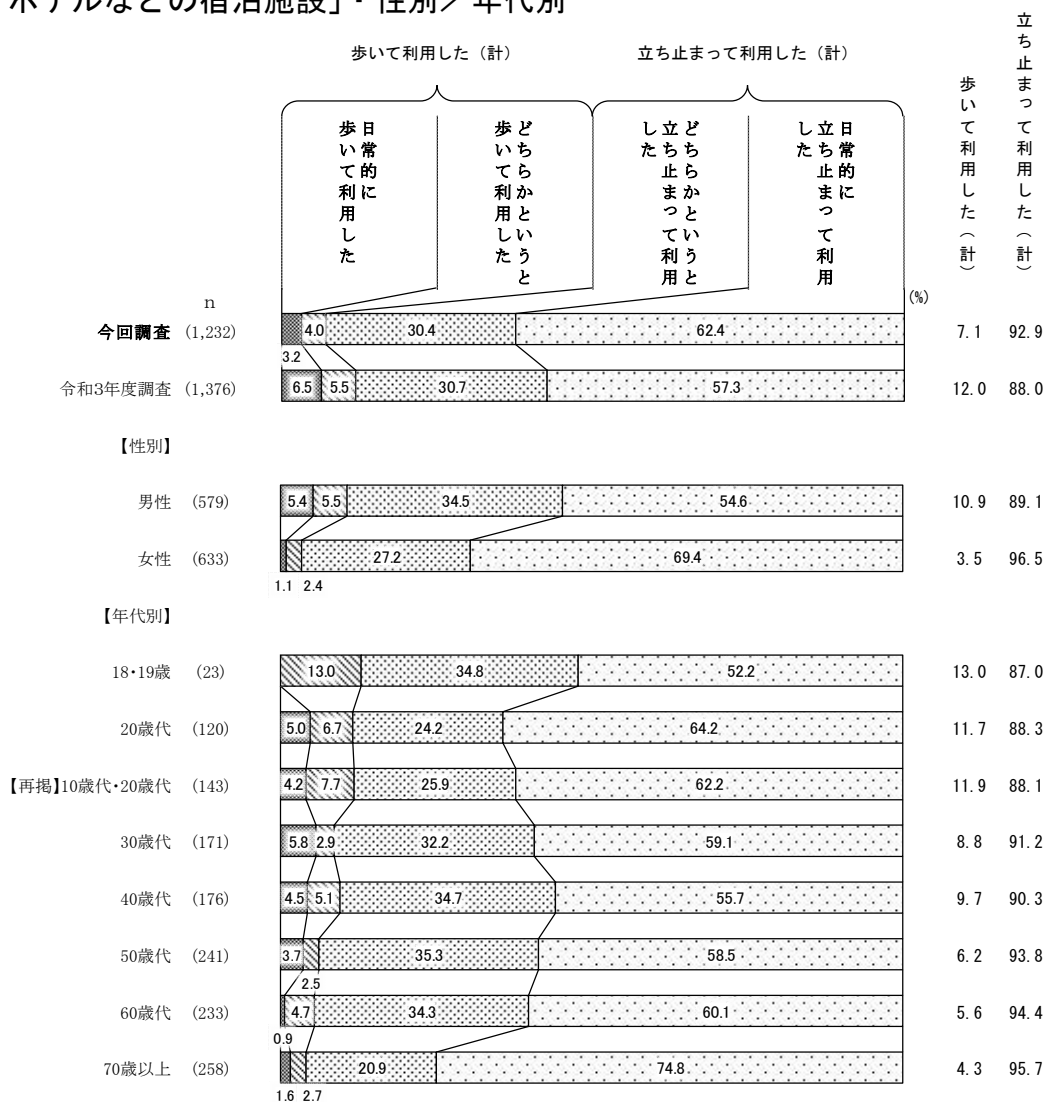
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(96.5%)の方が男性(89.1%)よりも7.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(95.7%)で9割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代(88.1%)で最も低くなっている。

○ 「(3) ホテルなどの宿泊施設」・性別/年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（96.9%）で9割台半ばを超えて最も高く、南西部地域（88.5%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=11）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（98.4%）で9割台後半と最も高く、男性10歳代・20歳代（78.9%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（95.5%）で9割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（96.2%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「（3）ホテルなどの宿泊施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた	どちらかという歩いている	どちらかという歩いている	日常的に立ち止まって利用した	（%）	
						歩いて利用した（計）	立ち止まって利用した（計）
全体	1,232	3.2	4.0	30.4	62.4	7.1	92.9
地域別							
南部地域	149	2.7	4.0	28.9	64.4	6.7	93.3
南西部地域	122	5.7	5.7	32.8	55.7	11.5	88.5
東部地域	203	3.0	3.4	31.5	62.1	6.4	93.6
さいたま地域	231	2.6	1.7	28.1	67.5	4.3	95.7
県央地域	89	3.4	4.5	24.7	67.4	7.9	92.1
川越比企地域	131	2.3	7.6	34.4	55.7	9.9	90.1
西部地域	125	4.0	2.4	34.4	59.2	6.4	93.6
利根地域	95	5.3	2.1	30.5	62.1	7.4	92.6
北部地域	64	-	3.1	29.7	67.2	3.1	96.9
秩父地域	11	-	27.3	18.2	54.5	27.3	72.7
性・年代別							
男性／18・19歳	7	-	28.6	14.3	57.1	28.6	71.4
20歳代	50	6.0	14.0	26.0	54.0	20.0	80.0
【再掲】10歳代・20歳代	57	5.3	15.8	24.6	54.4	21.1	78.9
30歳代	78	11.5	2.6	39.7	46.2	14.1	85.9
40歳代	85	9.4	7.1	38.8	44.7	16.5	83.5
50歳代	122	5.7	2.5	38.5	53.3	8.2	91.8
60歳代	108	-	6.5	40.7	52.8	6.5	93.5
70歳以上	128	3.1	3.9	23.4	69.5	7.0	93.0
女性／18・19歳	16	-	6.3	43.8	50.0	6.3	93.8
20歳代	65	3.1	1.5	24.6	70.8	4.6	95.4
【再掲】10歳代・20歳代	81	2.5	2.5	28.4	66.7	4.9	95.1
30歳代	92	1.1	2.2	26.1	70.7	3.3	96.7
40歳代	88	-	3.4	30.7	65.9	3.4	96.6
50歳代	117	1.7	1.7	32.5	64.1	3.4	96.6
60歳代	125	1.6	3.2	28.8	66.4	4.8	95.2
70歳以上	128	-	1.6	18.8	79.7	1.6	98.4
職業別							
自営業・家族従業（計）	105	1.9	4.8	39.0	54.3	6.7	93.3
雇用者（計）	712	4.2	4.5	33.8	57.4	8.7	91.3
無職（計）	401	1.5	3.0	22.4	73.1	4.5	95.5
ライフステージ別							
独身期	180	3.3	7.8	27.8	61.1	11.1	88.9
家族形成期	106	7.5	0.9	34.0	57.5	8.5	91.5
家族成長前期	110	4.5	2.7	33.6	59.1	7.3	92.7
家族成長後期	75	5.3	2.7	40.0	52.0	8.0	92.0
家族成熟期	219	1.8	3.2	32.0	63.0	5.0	95.0
高齢期	265	1.5	2.3	27.2	69.1	3.8	96.2
その他	277	2.9	5.8	28.9	62.5	8.7	91.3

(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設

行政機関の庁舎や図書館などの公共施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」(62.6%)で6割強と最も高く、「どちらかという立ち止まって利用した」(28.7%)を合わせた『立ち止まって利用した(計)』(91.2%)は9割強となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」(3.5%)と「どちらかという歩いて利用した」(5.3%)を合わせた『歩いて利用した(計)』(8.8%)は1割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『立ち止まって利用した(計)』(91.2%)は4.8ポイント増加している。

【属性別比較】

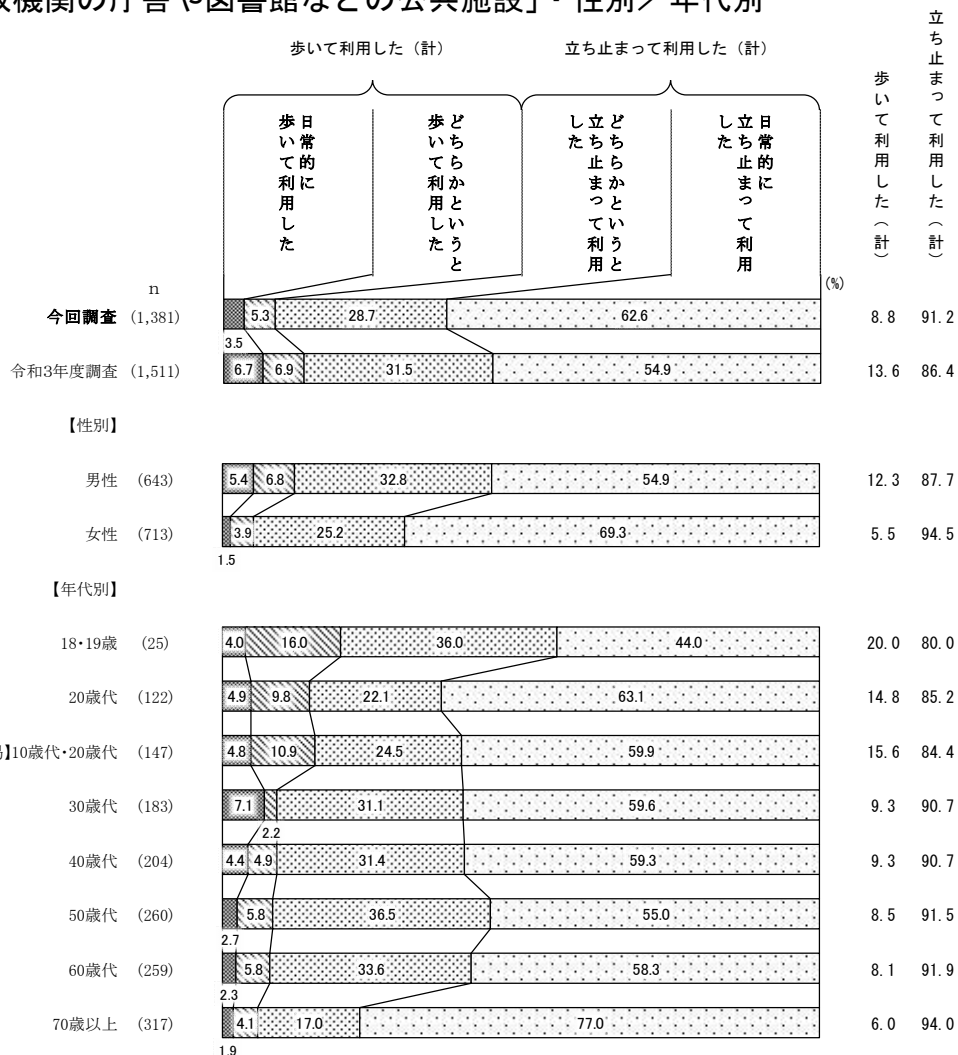
① 性別

『立ち止まって利用した(計)』は女性(94.5%)の方が男性(87.7%)よりも6.8ポイント高くなっている。

② 年代別

『立ち止まって利用した(計)』は70歳以上(94.0%)で9割台半ばと最も高く、10歳代・20歳代(84.4%)で最も低くなっている。

○ 「(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・性別／年代別



③ 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は南部地域（93.6%）で9割強と最も高く、南西部地域（87.9%）で最も低くなっている。

※秩父地域（n=11）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

④ 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性40歳代（96.3%）で9割台半ばを超えて最も高く、男性10歳代・20歳代（80.0%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（93.3%）で9割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（94.6%）で9割台半ばと最も高くなっている。

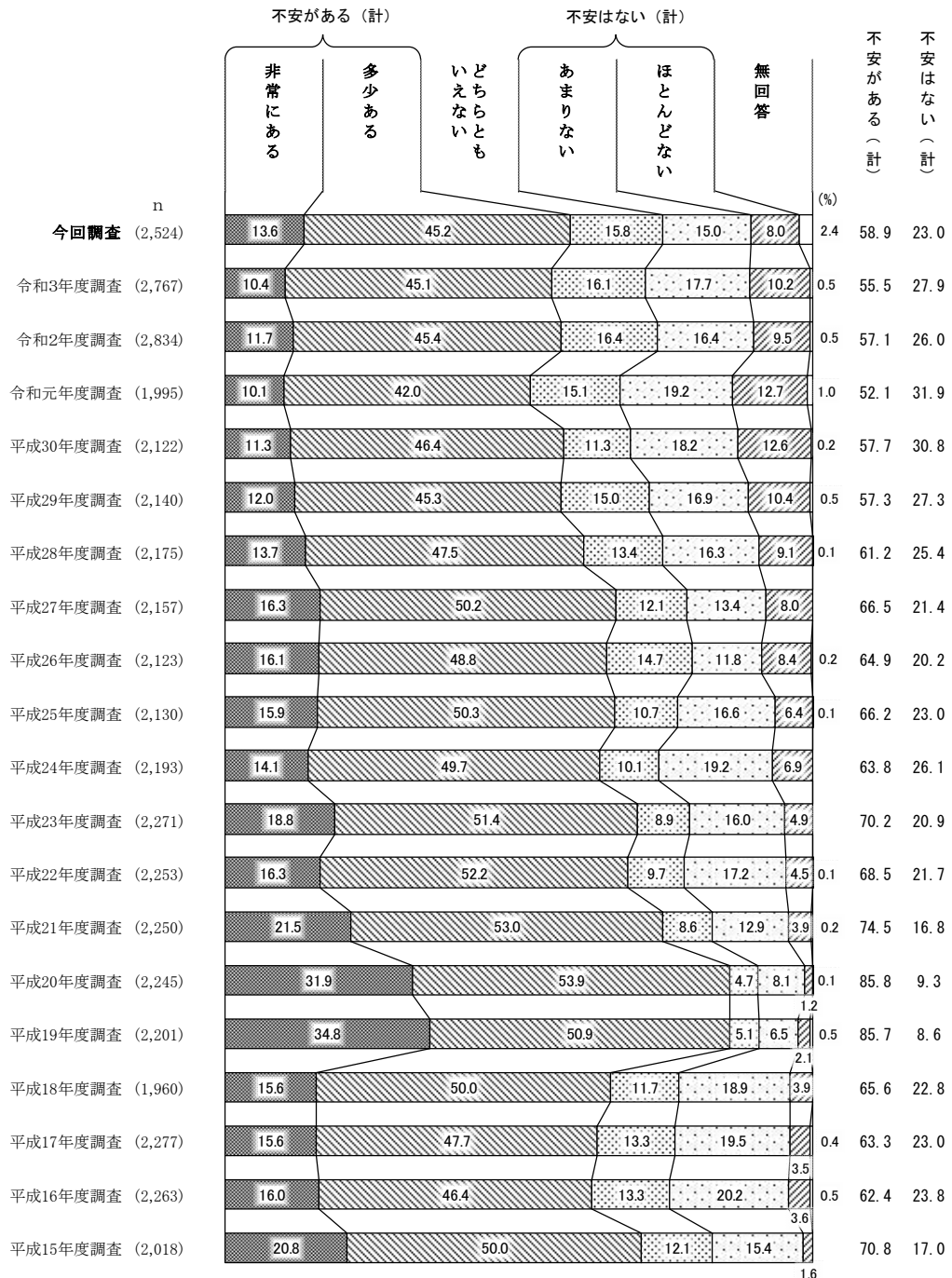
○ 「（4）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	日常的に歩いた	どちらかというど 歩いて利用した	どちらかというど 立ち止まって利用した	日常的に立ち止まって	（％）	
						歩いて利用した（計）	立ち止まって利用した（計）
全体	1,381	3.5	5.3	28.7	62.6	8.8	91.2
地域別							
南部地域	173	2.3	4.0	32.4	61.3	6.4	93.6
南西部地域	124	5.6	6.5	34.7	53.2	12.1	87.9
東部地域	217	3.2	6.5	30.9	59.4	9.7	90.3
さいたま地域	287	2.4	4.2	22.3	71.1	6.6	93.4
県央地域	108	2.8	7.4	24.1	65.7	10.2	89.8
川越比企地域	146	4.1	5.5	31.5	58.9	9.6	90.4
西部地域	134	5.2	3.7	32.8	58.2	9.0	91.0
利根地域	111	6.3	3.6	27.0	63.1	9.9	90.1
北部地域	57	-	7.0	24.6	68.4	7.0	93.0
秩父地域	11	-	18.2	27.3	54.5	18.2	81.8
性・年代別							
男性／18・19歳	7	-	28.6	28.6	42.9	28.6	71.4
20歳代	58	5.2	13.8	24.1	56.9	19.0	81.0
【再掲】10歳代・20歳代	65	4.6	15.4	24.6	55.4	20.0	80.0
30歳代	87	11.5	2.3	39.1	47.1	13.8	86.2
40歳代	94	9.6	6.4	38.3	45.7	16.0	84.0
50歳代	125	4.0	8.0	36.8	51.2	12.0	88.0
60歳代	121	2.5	7.4	39.7	50.4	9.9	90.1
70歳以上	150	3.3	4.7	20.0	72.0	8.0	92.0
女性／18・19歳	17	-	11.8	41.2	47.1	11.8	88.2
20歳代	60	3.3	6.7	21.7	68.3	10.0	90.0
【再掲】10歳代・20歳代	77	2.6	7.8	26.0	63.6	10.4	89.6
30歳代	95	3.2	2.1	23.2	71.6	5.3	94.7
40歳代	107	-	3.7	25.2	71.0	3.7	96.3
50歳代	133	1.5	3.0	36.8	58.6	4.5	95.5
60歳代	137	2.2	4.4	28.5	65.0	6.6	93.4
70歳以上	162	0.6	3.7	14.2	81.5	4.3	95.7
職業別							
自営業・家族従業（計）	112	3.6	5.4	36.6	54.5	8.9	91.1
雇用者（計）	756	4.2	5.8	33.5	56.5	10.1	89.9
無職（計）	494	2.2	4.5	19.8	73.5	6.7	93.3
ライフステージ別							
独身期	184	4.3	9.2	28.8	57.6	13.6	86.4
家族形成期	120	7.5	2.5	30.0	60.0	10.0	90.0
家族成長前期	122	4.1	4.1	27.9	63.9	8.2	91.8
家族成長後期	81	6.2	4.9	37.0	51.9	11.1	88.9
家族成熟期	243	2.5	5.8	31.3	60.5	8.2	91.8
高齢期	317	1.9	3.5	24.0	70.7	5.4	94.6
その他	314	2.9	6.1	29.0	62.1	8.9	91.1

(7) 食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が58.9%

問10 食品の安全性についておたずねします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

食品の安全性について、不安が「多少ある」（45.2%）が4割台半ばと最も高く、これに「非常にある」（13.6%）を合わせた『不安がある（計）』（58.9%）は6割弱となっている。一方で、不安が「ほとんどない」（8.0%）と「あまりない」（15.0%）を合わせた『不安はない（計）』（23.0%）は2割強となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『不安がある（計）』の割合は3.4ポイント増加している。

【属性別比較】

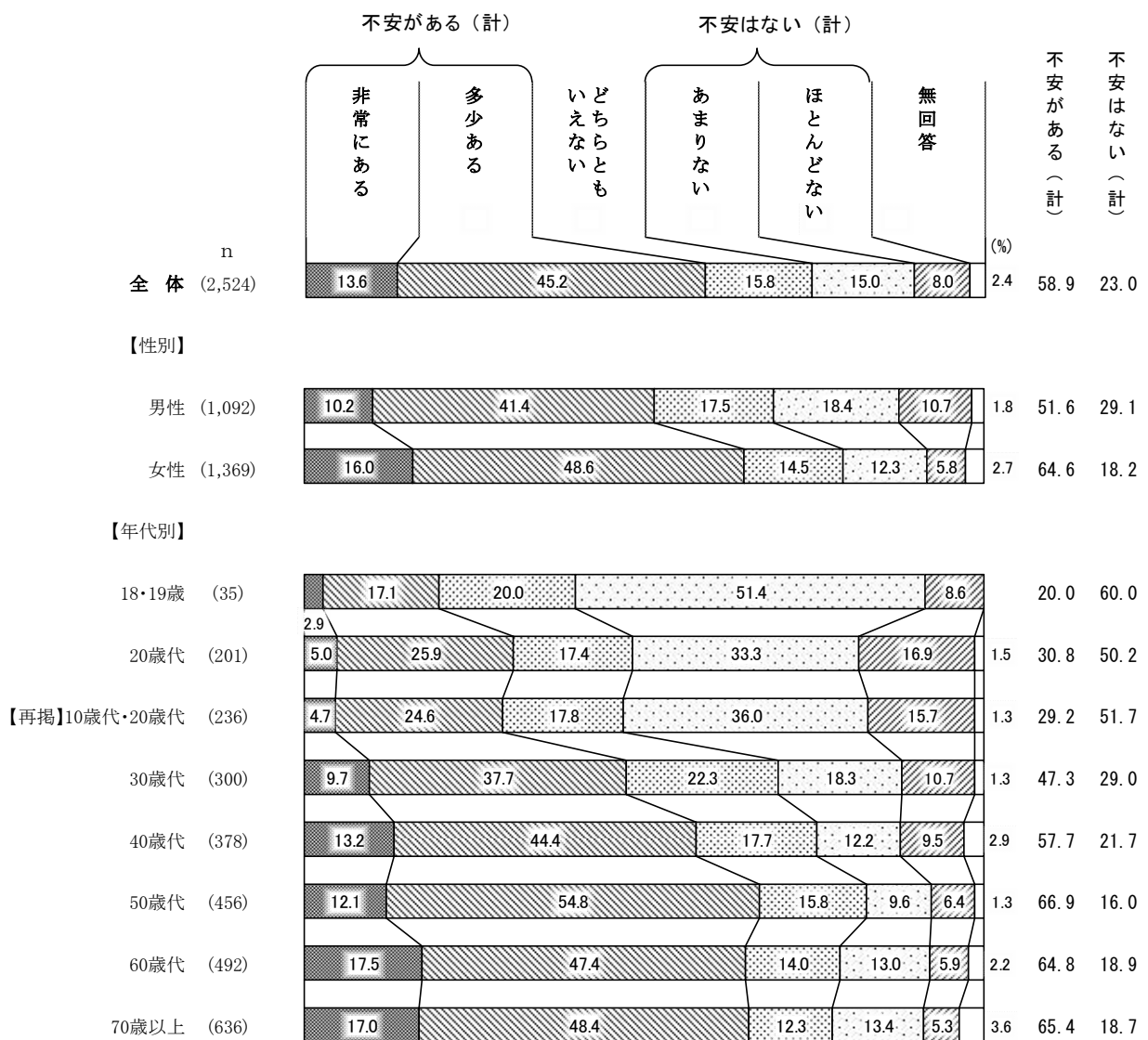
① 性別

『不安がある（計）』は女性（64.6%）の方が男性（51.6%）よりも13.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『不安がある（計）』は50歳代（66.9%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『不安はない（計）』は10歳代・20歳代（51.7%）で5割強と最も高くなっている。

○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



③ 地域別

『不安がある(計)』は秩父地域(64.9%)で6割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『不安がある(計)』は女性60歳代(74.0%)で7割台半ばと最も高く、男性10歳代・20歳代(26.3%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『不安がある(計)』は無職(計)(62.4%)で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『不安がある(計)』は家族成熟期(68.4%)で7割弱と最も高くなっている。

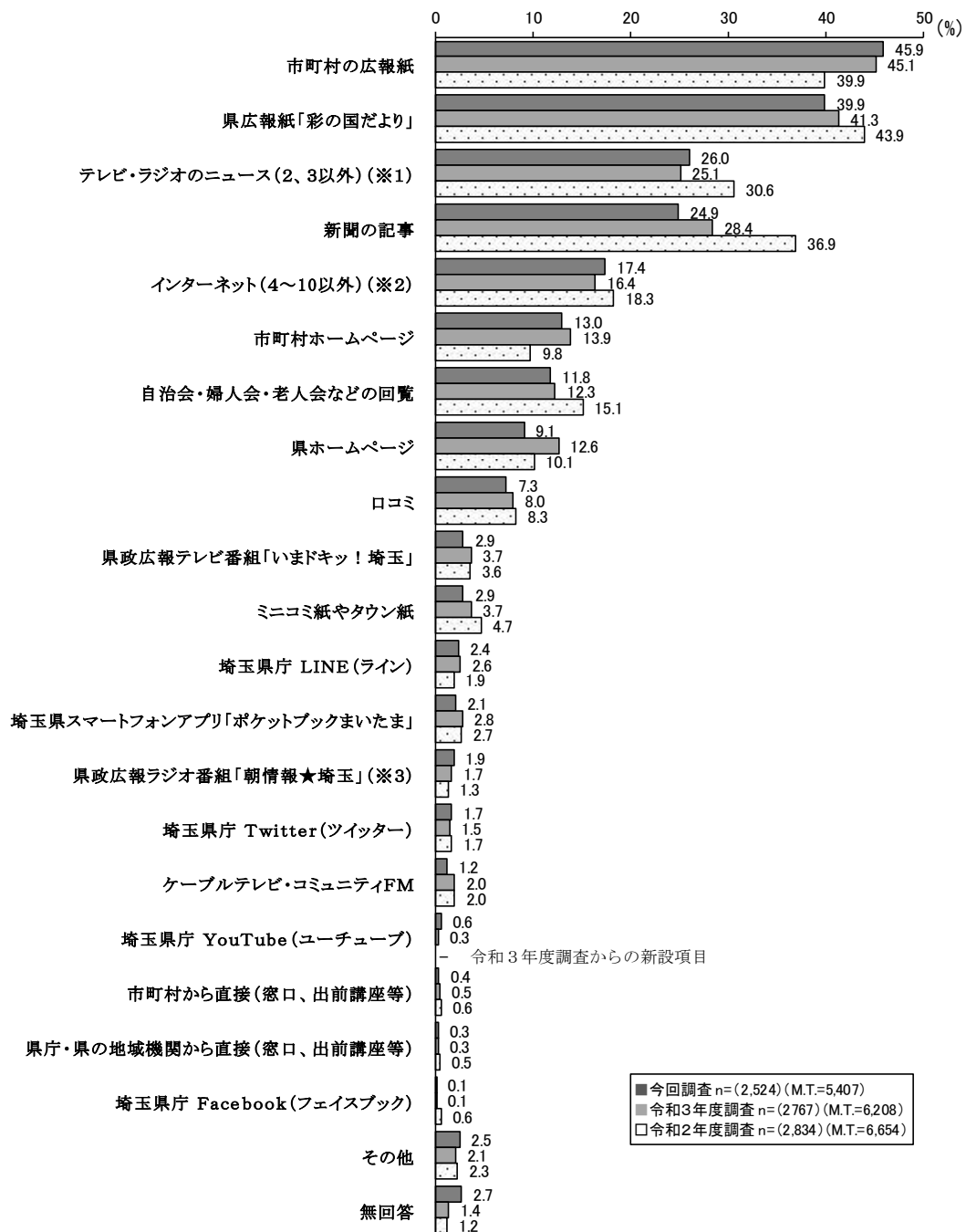
○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	非常に ある	多少 ある	い ど ち ら も	あ ま り な い	ほ と ん ど な い	無 回 答	(%)	
								不安 がある (計)	不安 はない (計)
全 体	2,524	13.6	45.2	15.8	15.0	8.0	2.4	58.9	23.0
地域別									
南部地域	242	12.4	44.2	15.7	16.9	8.3	2.5	56.6	25.2
南西部地域	224	14.7	46.0	12.9	17.0	6.7	2.7	60.7	23.7
東部地域	399	11.8	43.6	14.5	19.5	7.8	2.8	55.4	27.3
さいたま地域	451	14.0	45.0	14.6	16.0	7.8	2.7	59.0	23.7
県央地域	192	15.6	42.2	19.3	13.0	7.8	2.1	57.8	20.8
川越比企地域	288	12.5	50.3	12.5	12.5	9.7	2.4	62.8	22.2
西部地域	259	16.6	42.5	18.1	12.7	8.1	1.9	59.1	20.8
利根地域	244	13.1	43.4	18.4	14.3	9.0	1.6	56.6	23.4
北部地域	159	10.7	50.9	19.5	9.4	6.3	3.1	61.6	15.7
秩父地域	37	16.2	48.6	16.2	13.5	5.4	-	64.9	18.9
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	33.3	11.1	44.4	11.1	-	33.3	55.6
20歳代	86	3.5	22.1	16.3	34.9	20.9	2.3	25.6	55.8
【再掲】10歳代・20歳代	95	3.2	23.2	15.8	35.8	20.0	2.1	26.3	55.8
30歳代	127	7.9	29.9	24.4	23.6	12.6	1.6	37.8	36.2
40歳代	158	9.5	44.3	15.8	17.1	10.8	2.5	53.8	27.8
50歳代	206	8.7	50.0	19.9	11.7	8.7	1.0	58.7	20.4
60歳代	220	12.7	40.9	18.2	17.7	10.5	-	53.6	28.2
70歳以上	285	13.0	45.3	13.3	16.5	8.4	3.5	58.2	24.9
女性／18・19歳	24	-	12.5	20.8	58.3	8.3	-	12.5	66.7
20歳代	107	5.6	28.0	18.7	31.8	15.0	0.9	33.6	46.7
【再掲】10歳代・20歳代	131	4.6	25.2	19.1	36.6	13.7	0.8	29.8	50.4
30歳代	172	11.0	43.6	20.3	14.5	9.3	1.2	54.7	23.8
40歳代	213	15.5	44.6	19.7	8.5	8.5	3.3	60.1	16.9
50歳代	246	14.2	59.3	12.6	8.1	4.1	1.6	73.6	12.2
60歳代	269	21.6	52.4	10.8	8.9	2.2	4.1	74.0	11.2
70歳以上	336	20.2	52.1	11.0	10.1	3.0	3.6	72.3	13.1
職業別									
自営業・家族従業(計)	184	16.8	42.9	18.5	10.3	8.7	2.7	59.8	19.0
雇用者(計)	1,336	12.1	43.9	17.4	16.5	8.7	1.5	55.9	25.2
無職(計)	958	15.1	47.3	13.4	14.2	6.7	3.3	62.4	20.9
ライフステージ別									
独身期	305	7.2	26.6	21.0	28.5	16.1	0.7	33.8	44.6
家族形成期	175	8.0	38.3	19.4	23.4	8.0	2.9	46.3	31.4
家族成長前期	203	10.3	45.8	20.7	12.3	7.4	3.4	56.2	19.7
家族成長後期	164	18.9	43.3	17.1	11.0	8.5	1.2	62.2	19.5
家族成熟期	459	12.6	55.8	13.5	10.9	6.3	0.9	68.4	17.2
高齢期	586	18.1	49.3	10.9	14.0	4.3	3.4	67.4	18.3
その他	632	14.6	45.1	16.5	12.0	8.7	3.2	59.7	20.7

(8) 埼玉県に関する情報の入手先

◇『市町村の広報紙』が45.9%

問11 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



※1 テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)は、「2. 県政広報テレビ番組『いまドキッ！埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝 8:30～9:00)」、「3. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月～金曜朝 8:15～8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。
 ※2 インターネット(4～10以外)は、「4. 県ホームページ」、「5. 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)」、「6. 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)」、「7. 埼玉県庁 Twitter(ツイッター)」、「8. 埼玉県庁 LINE(ライン)」、「9. 埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」、「10. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。
 ※3 番組変更に伴い、令和2年度から「県政広報ラジオ番組『FM NACK5 モーニングスクエア』」を「県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』」へ変更した

埼玉県に関する情報の入手先は、「市町村の広報紙」（45.9%）が4割台半ばと最も高く、次いで「県広報紙『彩の国だより』（39.9%）」、「テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）」（26.0%）」、「新聞の記事」（24.9%）」、「インターネット（4～10以外）」（17.4%）」、「市町村ホームページ」（13.0%）」、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」（11.8%）」などとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、「新聞の記事」と「県ホームページ」が3.5ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「市町村の広報紙」は川越比企地域（51.4%）で5割強と最も高く、「県広報紙『彩の国だより』」はさいたま地域（45.5%）で4割台半ばと最も高くなっている。「テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）」は秩父地域（40.5%）で4割を超えて最も高くなっている。

② 性別

「市町村の広報紙」は女性（49.3%）の方が男性（41.9%）よりも7.4ポイント高くなっている。一方、「新聞の記事」は男性（27.2%）の方が女性（23.1%）よりも4.1ポイント高く、「インターネット（4～10以外）」も男性（19.5%）の方が女性（16.0%）よりも3.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』」は70歳以上（61.3%・59.7%）が6割前後で最も高く、「テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）」は60歳代（30.5%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』」はおおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、女性70歳以上（64.0%・61.3%）でそれぞれ6割台と最も高くなっている。「新聞の記事」は男性70歳以上（47.7%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「インターネット（4～10以外）」は女性10歳代・20歳代（40.5%）で4割を超えて他の層に比べて特に高くなっている。

⑤ 職業別

「市町村の広報紙」と「県広報紙『彩の国だより』」は無職（計）（52.5%・50.8%）が5割を超えて最も高くなっている。

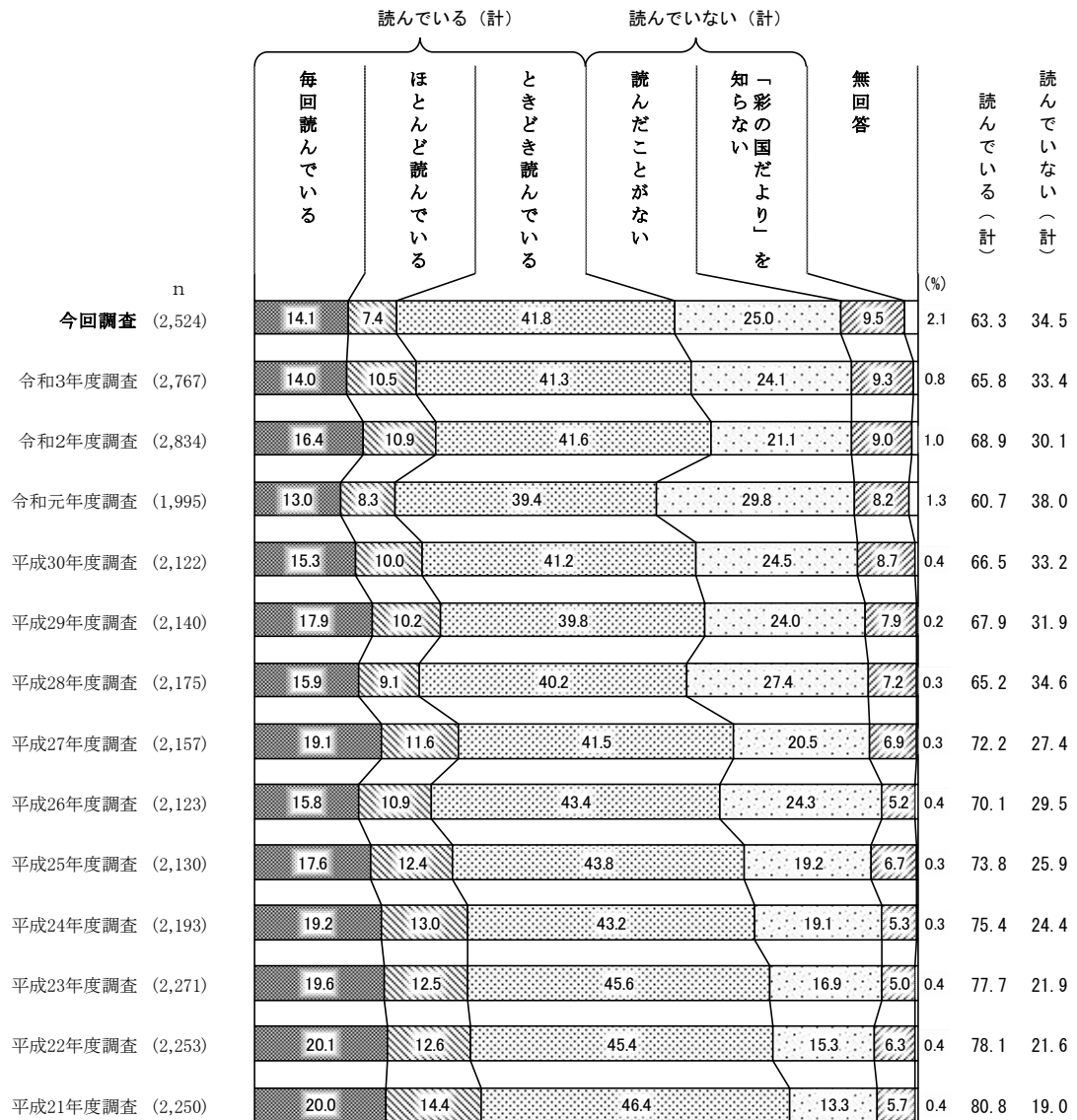
⑥ ライフステージ別

「市町村の広報紙」、「県広報紙『彩の国だより』」、「テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）」、「新聞の記事」の上位4項目は高齢期で最も高くなっている。

(9-1) 県広報紙「彩の国だより」の閲覧状況

◇『読んでいる(計)』が63.3%

問12 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。
 (1) あなたは、県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県広報紙「彩の国だより」の閲覧状況は、「ときどき読んでいる」(41.8%)が4割強と最も高く、これに「毎回読んでいる」(14.1%)と「ほとんど読んでいる」(7.4%)を合わせた『読んでいる(計)』(63.3%)は6割強と高くなっている。一方で、「読んだことがない」(25.0%)と「『彩の国だより』を知らない」(9.5%)を合わせた『読んでいない(計)』(34.5%)は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

『読んでいる(計)』は、令和3年度調査より2.5ポイント減少している。

【属性別比較】

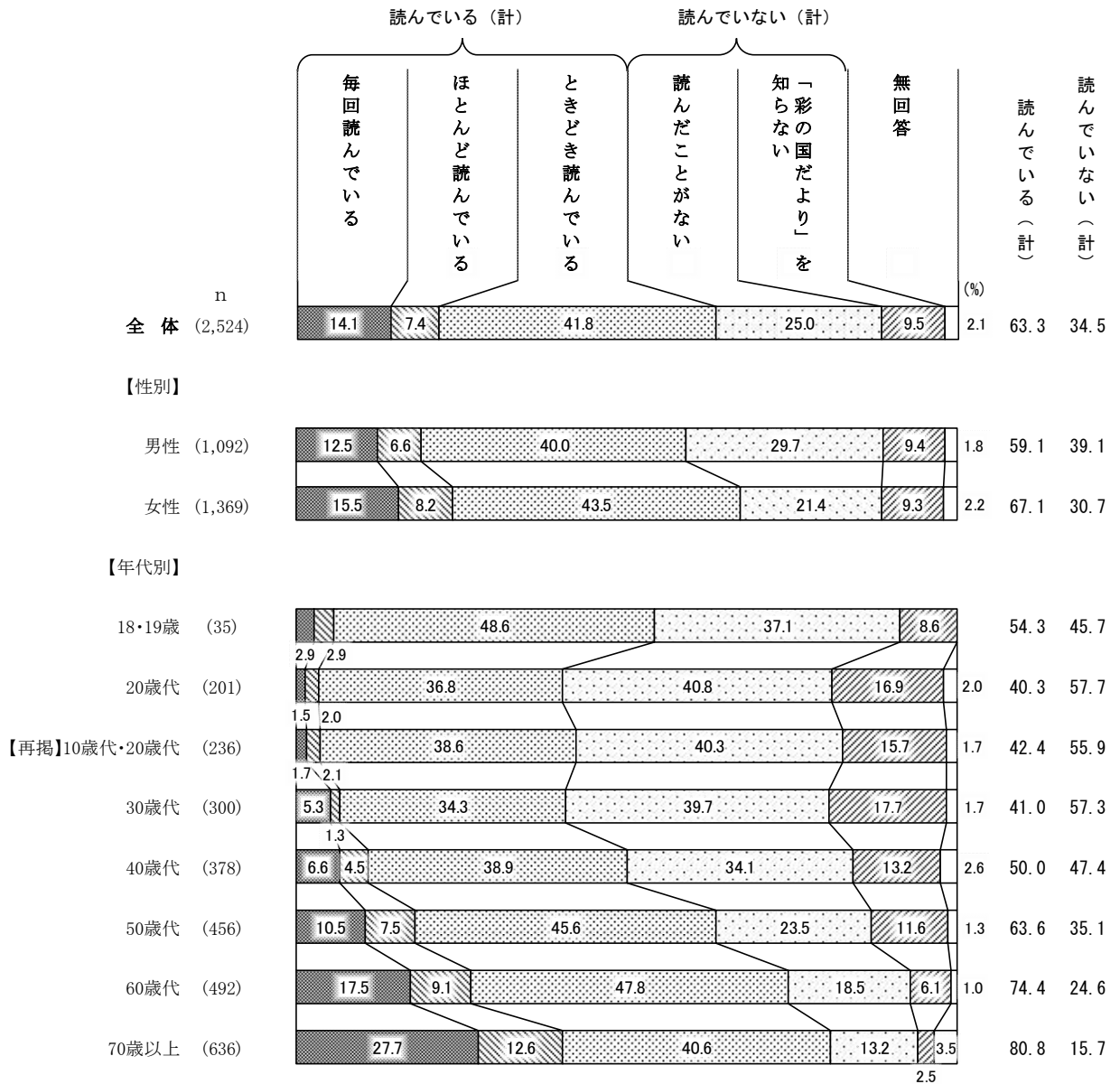
① 性別

『読んでいる（計）』は女性（67.1%）の方が男性（59.1%）よりも8.0ポイント高くなっている。

② 年代別

『読んでいる（計）』はおおむね年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上（80.8%）で8割を超えて最も高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲覧状況・性別／年代別



③ 地域別

『読んでいる（計）』はさいたま地域（73.4%）で7割強と最も高く、一方で、『読んでいない（計）』は南西部地域（48.2%）で5割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『読んでいる（計）』は女性70歳以上（84.8%）と女性60歳代（80.3%）で8割台前半と高く、男性30歳代（39.4%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（72.8%）で7割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『読んでいる（計）』は、高齢期（80.4%）で8割を超えて最も高く、独身期（38.7%）で最も低くなっている。

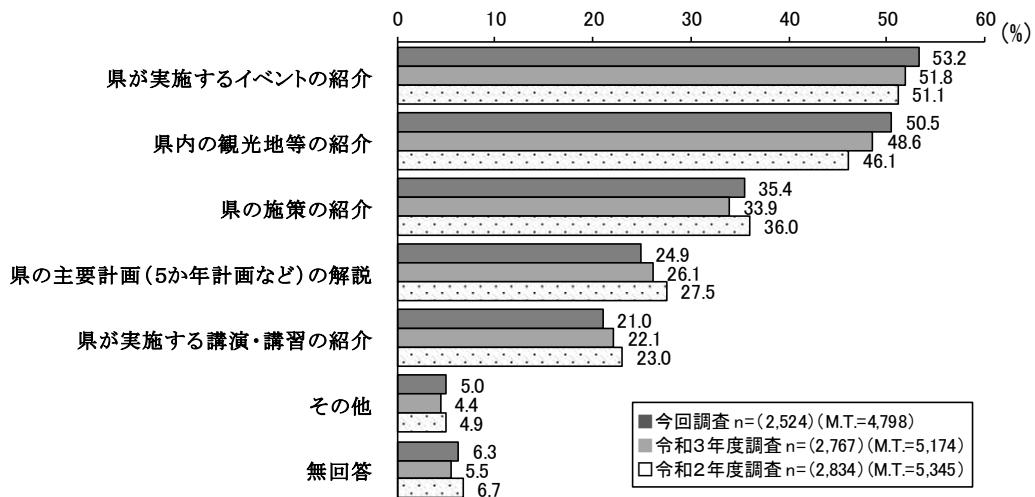
○県広報紙「彩の国だより」の閲覧状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回読んでいる	ほとんど読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	知らない 「彩の国だより」を	無回答	（%）	
								読んでいる（計）	読んでいない（計）
全体	2,524	14.1	7.4	41.8	25.0	9.5	2.1	63.3	34.5
地域別									
南部地域	242	8.3	6.6	44.6	26.9	11.6	2.1	59.5	38.4
南西部地域	224	10.7	6.7	30.8	31.3	17.0	3.6	48.2	48.2
東部地域	399	12.8	8.5	41.1	25.8	9.0	2.8	62.4	34.8
さいたま地域	451	18.6	7.8	47.0	19.5	4.7	2.4	73.4	24.2
県央地域	192	15.1	5.7	40.6	26.6	9.9	2.1	61.5	36.5
川越比企地域	288	13.5	6.3	39.6	28.1	10.4	2.1	59.4	38.5
西部地域	259	14.7	6.6	45.9	22.0	9.7	1.2	67.2	31.7
利根地域	244	19.3	10.2	35.7	25.0	9.0	0.8	65.2	34.0
北部地域	159	11.9	6.3	45.3	25.2	9.4	1.9	63.5	34.6
秩父地域	37	5.4	10.8	43.2	32.4	8.1	-	59.5	40.5
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	11.1	55.6	33.3	-	-	66.7	33.3
20歳代	86	1.2	3.5	38.4	45.3	9.3	2.3	43.0	54.7
【再掲】10歳代・20歳代	95	1.1	4.2	40.0	44.2	8.4	2.1	45.3	52.6
30歳代	127	3.9	0.8	34.6	44.1	15.0	1.6	39.4	59.1
40歳代	158	3.8	2.5	41.1	38.6	12.0	1.9	47.5	50.6
50歳代	206	6.8	4.9	41.7	31.6	13.6	1.5	53.4	45.1
60歳代	220	12.7	9.1	45.0	24.1	9.1	-	66.8	33.2
70歳以上	285	28.8	11.6	36.5	16.5	3.2	3.5	76.8	19.6
女性／18・19歳	24	4.2	-	45.8	41.7	8.3	-	50.0	50.0
20歳代	107	1.9	0.9	38.3	36.4	20.6	1.9	41.1	57.0
【再掲】10歳代・20歳代	131	2.3	0.8	39.7	37.4	18.3	1.5	42.7	55.7
30歳代	172	6.4	1.7	33.7	36.6	19.8	1.7	41.9	56.4
40歳代	213	8.0	6.1	37.6	31.0	14.1	3.3	51.6	45.1
50歳代	246	13.4	9.8	49.6	16.7	9.3	1.2	72.8	26.0
60歳代	269	21.2	9.3	49.8	14.1	3.7	1.9	80.3	17.8
70歳以上	336	27.1	13.7	44.0	10.4	1.8	3.0	84.8	12.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	15.8	7.6	41.3	27.2	6.0	2.2	64.7	33.2
雇用者（計）	1,336	8.9	5.1	42.4	29.7	12.4	1.5	56.4	42.1
無職（計）	958	21.0	10.4	41.3	18.2	6.5	2.6	72.8	24.6
ライフステージ別									
独身期	305	1.6	2.0	35.1	44.6	15.4	1.3	38.7	60.0
家族形成期	175	8.0	1.7	34.9	32.6	20.0	2.9	44.6	52.6
家族成長前期	203	6.9	3.4	35.5	35.0	16.7	2.5	45.8	51.7
家族成長後期	164	11.0	8.5	39.0	29.9	10.4	1.2	58.5	40.2
家族成熟期	459	17.6	8.7	48.6	16.3	7.4	1.3	74.9	23.7
高齢期	586	25.1	13.1	42.2	14.5	2.7	2.4	80.4	17.2
その他	632	12.3	6.2	44.5	25.0	9.2	2.8	63.0	34.2

(9-2) 県広報紙「彩の国だより」に期待する記事

◇「県が実施するイベントの紹介」が53.2%と最も高い

問12(2) あなたは、「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。
(〇はいくつでも)



県広報紙「彩の国だより」に期待する記事は、「県が実施するイベントの紹介」(53.2%)が5割強で最も高く、次いで「県内の観光地等の紹介」(50.5%)が5割を超えて続き、以下「県の施策の紹介」(35.4%)、「県の主要計画(5か年計画など)の解説」(24.9%)、「県が実施する講演・講習の紹介」(21.0%)の順となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、「県が実施するイベントの紹介」、「県内の観光地等の紹介」、「県の施策の紹介」の上位3項目で増加がみられる。

【属性別比較】

① 地域別

「県が実施するイベントの紹介」は県央地域(59.4%)で約6割と最も高く、「県内の観光地等の紹介」は秩父地域(70.3%)で7割を超えて最も高くなっている。

② 性別

「県が実施するイベントの紹介」は女性(55.7%)の方が男性(50.7%)よりも5.0ポイント高く、「県内の観光地等の紹介」も女性(55.5%)の方が男性(45.0%)よりも10.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「県が実施するイベントの紹介」は40歳代(59.0%)で約6割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「県が実施するイベントの紹介」は女性50歳代(64.6%)と女性40歳代(64.3%)で6割台半ばと最も高く、「県内の観光地等の紹介」は女性50歳代(62.2%)で6割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「県が実施するイベントの紹介」は雇用者（計）（55.4%）で5割台半ばと最も高く、「県内の観光地等の紹介」は自営業・家族従業（計）（54.3%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「県が実施するイベントの紹介」は家族成長前期（70.4%）で7割を超えて最も高く、「県内の観光地等の紹介」は高齢期（57.8%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

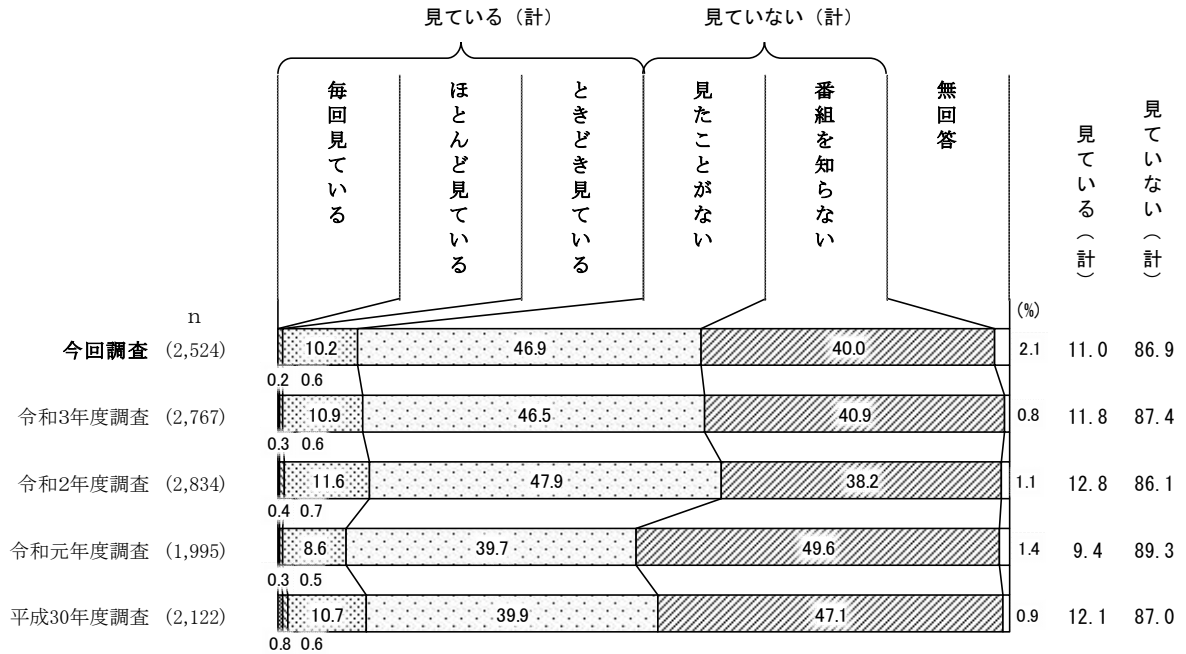
○県広報紙「彩の国だより」に期待する記事・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	県が実施するイベントの紹介	県内の観光地等の紹介	県の施策の紹介	観光の計画（5）の5	県が実施する講習の紹介	その他	無回答
全体	2,524	53.2	50.5	35.4	24.9	21.0	5.0	6.3
地域別								
南部地域	242	55.8	45.5	42.1	23.1	23.6	7.9	7.0
南西部地域	224	54.0	56.3	35.7	25.4	23.2	4.0	4.9
東部地域	399	50.6	45.9	32.6	25.6	16.8	5.5	7.3
さいたま地域	451	57.0	45.0	37.3	24.6	24.6	4.4	6.0
県央地域	192	59.4	49.5	35.9	22.4	24.0	3.1	5.7
川越比企地域	288	51.4	55.2	35.1	27.4	24.0	5.2	4.5
西部地域	259	47.1	55.6	33.6	25.9	17.8	6.2	8.1
利根地域	244	49.6	55.7	34.0	28.7	19.3	5.7	5.7
北部地域	159	57.2	52.2	32.7	20.8	16.4	2.5	6.3
秩父地域	37	40.5	70.3	32.4	13.5	10.8	5.4	2.7
性別								
男性	1,092	50.7	45.0	38.6	29.0	16.8	6.0	5.2
女性	1,369	55.7	55.5	33.1	21.5	24.6	4.2	6.5
年代別								
18・19歳	35	65.7	34.3	5.7	17.1	20.0	5.7	-
20歳代	201	48.3	44.3	29.4	27.4	13.4	4.5	4.0
【再掲】10歳代・20歳代	236	50.8	42.8	25.8	25.8	14.4	4.7	3.4
30歳代	300	58.7	55.3	35.0	25.7	15.3	5.0	3.3
40歳代	378	59.0	45.5	32.5	23.5	23.0	6.3	4.8
50歳代	456	57.2	54.8	37.1	23.5	19.7	5.5	4.8
60歳代	492	52.8	53.0	40.2	25.6	25.2	3.9	6.3
70歳以上	636	45.3	50.0	36.5	25.3	22.8	5.0	10.1
性・年代別								
男性／18・19歳	9	77.8	44.4	11.1	22.2	22.2	-	-
20歳代	86	40.7	34.9	31.4	39.5	4.7	2.3	3.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	44.2	35.8	29.5	37.9	6.3	2.1	3.2
30歳代	127	57.5	53.5	40.2	35.4	10.2	3.9	2.4
40歳代	158	52.5	43.0	38.0	27.2	17.7	8.2	3.2
50歳代	206	49.0	46.1	38.8	25.7	15.5	8.3	4.4
60歳代	220	55.9	46.8	38.2	24.1	22.3	5.0	4.1
70歳以上	285	46.0	43.2	41.8	30.2	19.3	6.3	9.8
女性／18・19歳	24	62.5	33.3	4.2	16.7	20.8	4.2	-
20歳代	107	54.2	51.4	27.1	16.8	18.7	5.6	3.7
【再掲】10歳代・20歳代	131	55.7	48.1	22.9	16.8	19.1	5.3	3.1
30歳代	172	59.9	56.4	31.4	18.6	19.2	5.8	4.1
40歳代	213	64.3	47.4	28.6	21.1	27.2	4.2	6.1
50歳代	246	64.6	62.2	35.8	21.5	23.2	3.3	4.5
60歳代	269	50.9	58.0	42.4	27.1	27.9	3.0	7.8
70歳以上	336	45.5	56.3	31.5	20.8	26.5	4.2	9.8
職業別								
自営業・家族従業（計）	184	52.2	54.3	37.5	33.7	22.3	4.3	7.6
雇用者（計）	1,336	55.4	51.0	35.1	24.3	20.7	5.2	4.5
無職（計）	958	50.9	49.8	35.9	24.2	21.4	5.1	7.8
ライフステージ別								
独身期	305	47.2	47.2	30.5	25.6	15.7	6.6	3.0
家族形成期	175	62.3	50.3	32.0	33.7	15.4	2.9	5.1
家族成長前期	203	70.4	55.7	35.0	20.2	19.2	3.4	2.5
家族成長後期	164	57.3	47.0	32.3	23.8	21.3	7.3	2.4
家族成熟期	459	59.9	52.5	37.9	23.1	22.0	4.4	4.1
高齢期	586	50.0	57.8	40.1	26.3	25.8	3.6	7.2
その他	632	45.1	43.2	33.4	24.1	20.6	6.6	11.1

(9-3) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況

◇『見ている（計）』は11.0%、『見ていない（計）』は86.9%

問12(3) あなたは、県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00）」を見たことがありますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況は、「見たことがない」（46.9%）が4割台半ばを超えて最も高く、これに「番組を知らない」（40.0%）を合わせた『見ていない（計）』（86.9%）は8割台半ばを超えている。一方で、「毎回見ている」（0.2%）、「ほとんど見ている」（0.6%）、「ときどき見ている」（10.2%）を合わせた『見ている（計）』（11.0%）は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

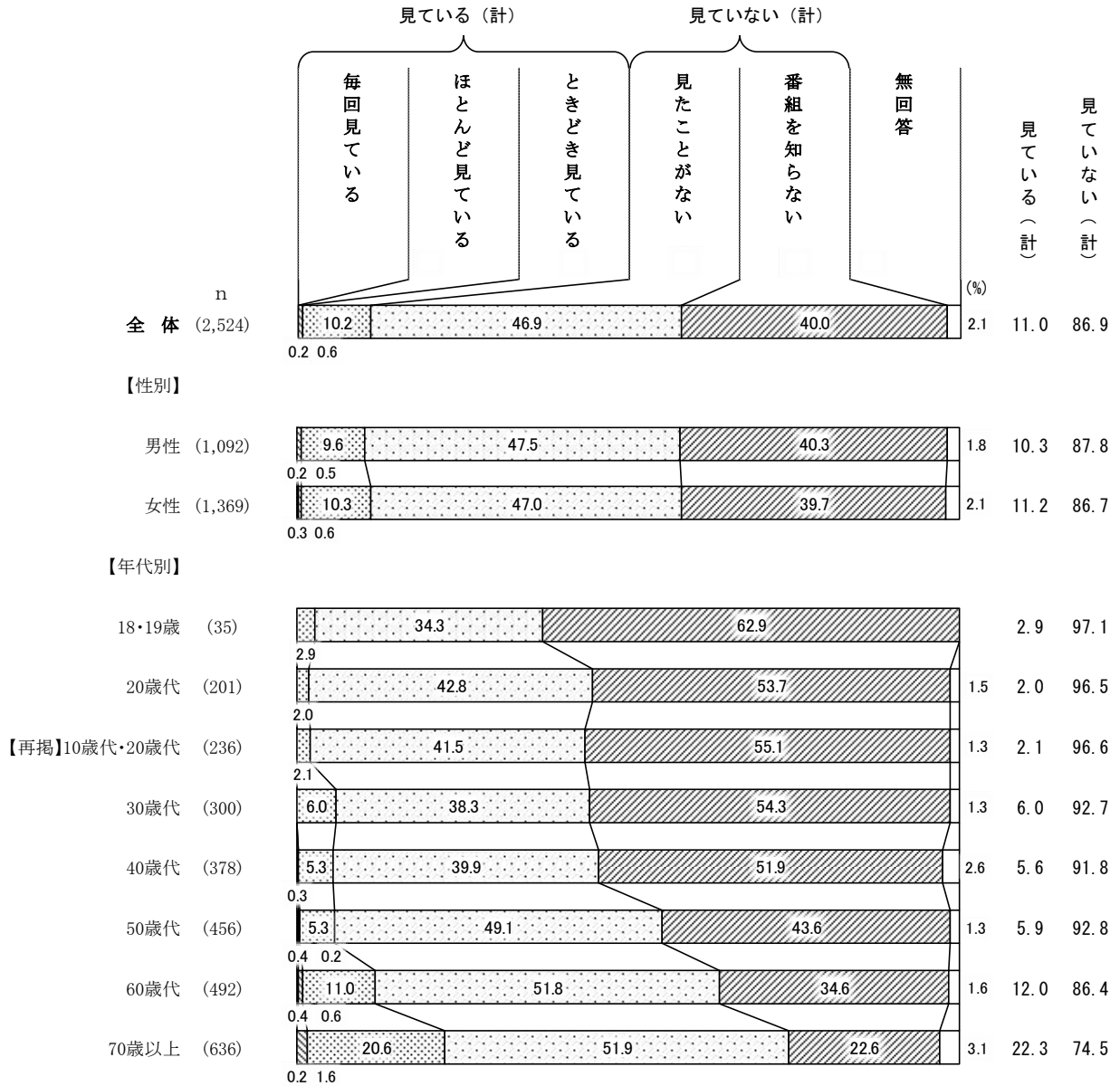
① 性別

『見ている（計）』は女性（11.2%）の方が男性（10.3%）よりも0.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『見ている（計）』はおおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、70歳以上（22.3%）で最も高く、10歳代・20歳代（2.1%）で最も低くなっている。

○県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」の視聴状況・性別／年代別



③ 地域別

『見ている(計)』は川越比企地域(14.2%)で1割台半ばと最も高く、秩父地域(2.7%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『見ている(計)』は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高くなり、女性70歳以上(22.9%)と男性70歳以上(21.4%)で2割強と高くなっている。

⑤ 職業別

『見ている(計)』は無職(計)(17.5%)で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『見ている(計)』は高齢期(17.2%)で1割台半ばを超えて最も高く、独身期(3.6%)で最も低くなっている。

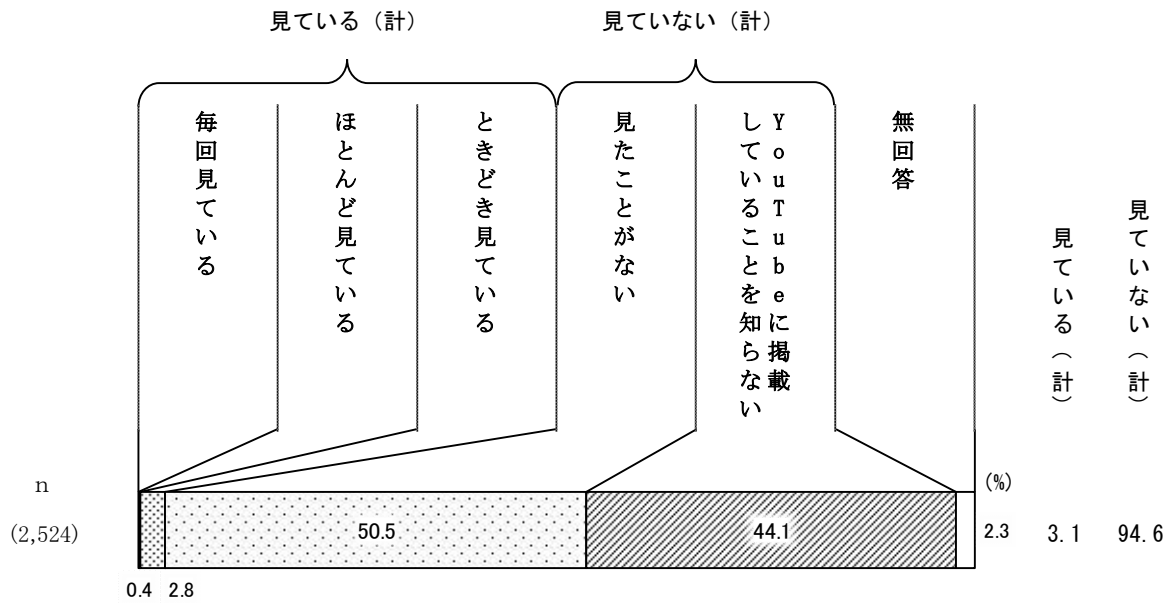
○県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉」の視聴状況・地域別/性・年代別/職業別/ライフステージ別

	調査数 n	毎回見ている	ほとんど見ている	ときどき見ている	見たことがない	番組を知らない	無回答	(%)	
								見ている(計)	見えていない(計)
全体	2,524	0.2	0.6	10.2	46.9	40.0	2.1	11.0	86.9
地域別									
南部地域	242	0.4	0.4	8.7	50.4	38.0	2.1	9.5	88.4
南西部地域	224	0.4	-	6.7	40.6	49.6	2.7	7.1	90.2
東部地域	399	0.3	0.5	9.3	46.9	39.8	3.3	10.0	86.7
さいたま地域	451	0.7	0.7	10.4	45.0	40.8	2.4	11.8	85.8
県央地域	192	-	0.5	11.5	45.3	40.6	2.1	12.0	85.9
川越比企地域	288	-	0.3	13.9	45.8	38.5	1.4	14.2	84.4
西部地域	259	-	0.8	12.0	46.7	39.0	1.5	12.7	85.7
利根地域	244	-	1.2	8.2	55.7	33.6	1.2	9.4	89.3
北部地域	159	-	0.6	9.4	45.3	42.8	1.9	10.1	88.1
秩父地域	37	-	-	2.7	56.8	40.5	-	2.7	97.3
性・年代別									
男性/18・19歳	9	-	-	-	44.4	55.6	-	-	100.0
20歳代	86	-	-	2.3	39.5	55.8	2.3	2.3	95.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	-	-	2.1	40.0	55.8	2.1	2.1	95.8
30歳代	127	-	-	5.5	33.1	59.8	1.6	5.5	92.9
40歳代	158	0.6	-	6.3	40.5	50.6	1.9	7.0	91.1
50歳代	206	0.5	0.5	3.9	53.4	40.8	1.0	4.9	94.2
60歳代	220	-	0.5	9.5	51.4	38.2	0.5	10.0	89.5
70歳以上	285	-	1.4	20.0	53.3	21.8	3.5	21.4	75.1
女性/18・19歳	24	-	-	4.2	33.3	62.5	-	4.2	95.8
20歳代	107	-	-	-	47.7	51.4	0.9	-	99.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	-	-	0.8	45.0	53.4	0.8	0.8	98.5
30歳代	172	-	-	6.4	41.9	50.6	1.2	6.4	92.4
40歳代	213	-	-	4.7	39.9	52.1	3.3	4.7	92.0
50歳代	246	0.4	-	6.5	45.9	45.9	1.2	6.9	91.9
60歳代	269	0.7	0.7	11.9	52.8	31.2	2.6	13.4	84.0
70歳以上	336	0.3	1.8	20.8	51.2	23.2	2.7	22.9	74.4
職業別									
自営業・家族従業(計)	184	-	0.5	10.3	49.5	36.4	3.3	10.9	85.9
雇用者(計)	1,336	0.2	0.2	5.7	45.8	46.6	1.4	6.1	92.4
無職(計)	958	0.3	1.0	16.2	48.0	31.9	2.5	17.5	80.0
ライフステージ別									
独身期	305	-	-	3.6	40.0	55.7	0.7	3.6	95.7
家族形成期	175	-	-	4.0	37.1	56.0	2.9	4.0	93.1
家族成長前期	203	-	0.5	6.4	42.4	48.3	2.5	6.9	90.6
家族成長後期	164	-	-	8.5	45.1	45.1	1.2	8.5	90.2
家族成熟期	459	0.4	0.2	8.7	51.0	38.1	1.5	9.4	89.1
高齢期	586	0.3	1.0	15.9	54.9	25.4	2.4	17.2	80.4
その他	632	0.3	0.9	12.5	44.6	38.8	2.8	13.8	83.4

(9-4) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のYouTube動画の視聴状況

◇『見ている（計）』は3.1%、『見ていない（計）』は94.6%

問12(4) 県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉（テレビ埼玉/土曜朝8:30～9:00）」は、放送後、埼玉県庁YouTubeに掲載しています。
あなたは、番組のYouTube動画を見たことがありますか。（○は1つだけ）



県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のYouTube動画の視聴状況は、「見たことがない」(50.5%)が5割を超えて最も高く、これに「YouTubeに掲載していることを知らない」(44.1%)を合わせた『見ていない(計)』(94.6%)は9割台半ばとなっている。一方で、「ほとんど見ている」(0.4%)、「ときどき見ている」(2.8%)を合わせた『見ている(計)』は3.1%となっている。

【属性別比較】

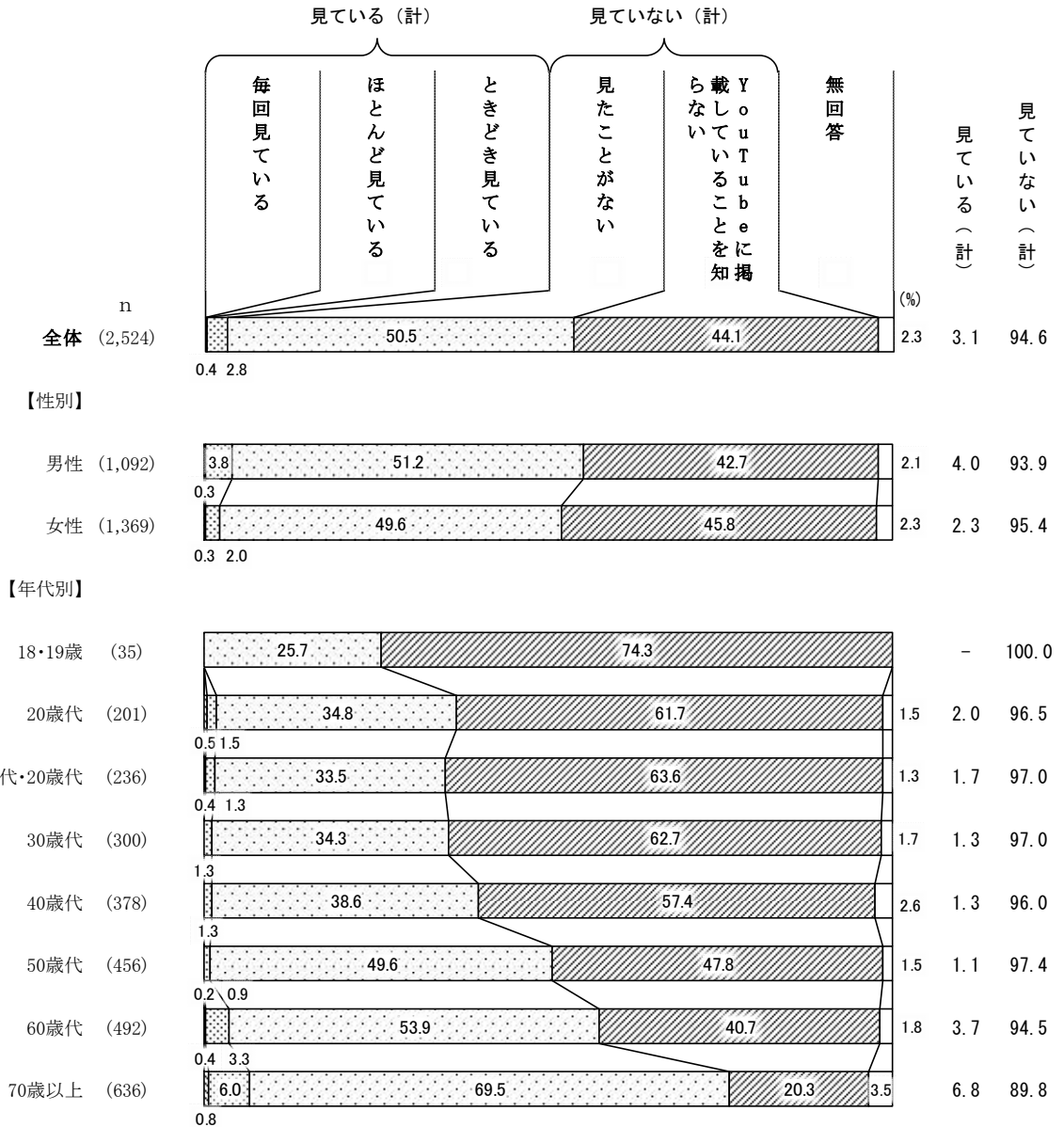
① 性別

『見ている（計）』は男性（4.0%）の方が女性（2.3%）よりも1.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『見ている（計）』は70歳以上（6.8%）で最も高く、50歳代（1.1%）で最も低くなっている。

○県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のYouTube動画の視聴状況・性別／年代別



③ 地域別

『見ている（計）』は秩父地域（5.4％）で最も高く、南部地域と県央地域（各2.1％）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『見ている（計）』は男性70歳以上（7.7％）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

『見ている（計）』は無職（計）（5.3％）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『見ている（計）』はその他（4.9％）で最も高く、家族形成期（0.6％）で最も低くなっている。

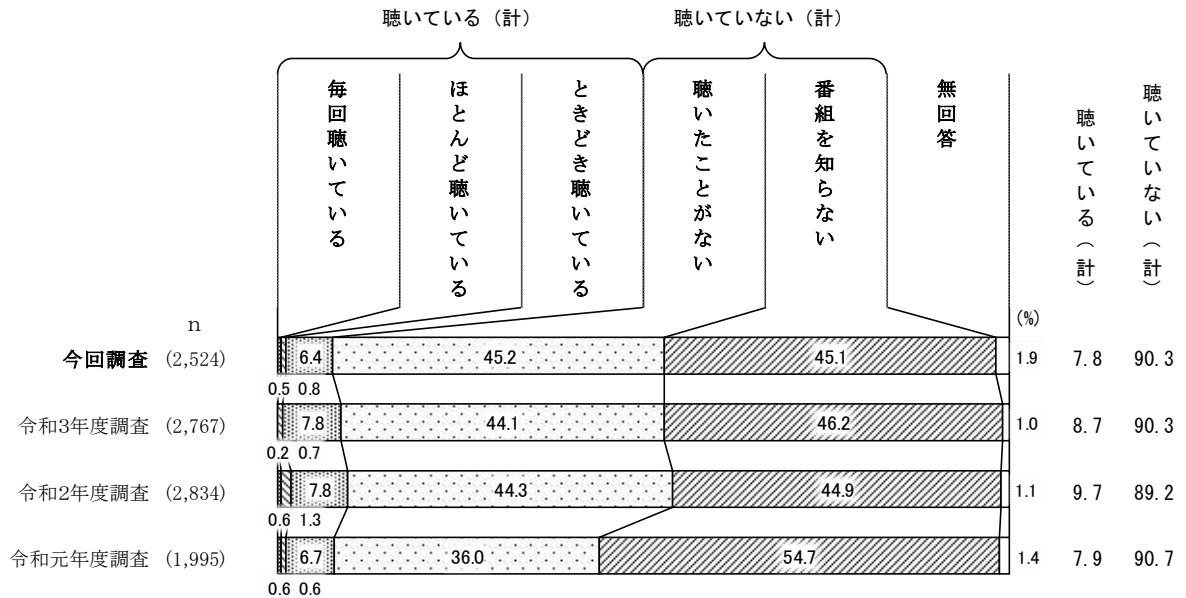
○県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のYouTube動画の視聴状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回見ている	ほとんど見ている	ときどき見ている	見たことがない	YouTubeに掲載していることを知らない	無回答	（％）	
								見ている（計）	見えない（計）
全体	2,524	-	0.4	2.8	50.5	44.1	2.3	3.1	94.6
地域別									
南部地域	242	-	-	2.1	53.7	42.1	2.1	2.1	95.9
南西部地域	224	-	0.9	2.2	44.6	50.0	2.2	3.1	94.6
東部地域	399	-	-	2.5	53.6	41.4	2.5	2.5	95.0
さいたま地域	451	-	0.4	3.1	44.6	49.0	2.9	3.5	93.6
県央地域	192	-	0.5	1.6	47.4	47.4	3.1	2.1	94.8
川越比企地域	288	-	0.3	2.4	54.2	40.6	2.4	2.8	94.8
西部地域	259	-	0.8	2.7	51.7	42.9	1.9	3.5	94.6
利根地域	244	-	-	3.3	56.1	38.9	1.6	3.3	95.1
北部地域	159	-	0.6	3.1	47.8	46.5	1.9	3.8	94.3
秩父地域	37	-	-	5.4	48.6	45.9	-	5.4	94.6
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	-	-	44.4	55.6	-	-	100.0
20歳代	86	-	-	2.3	31.4	64.0	2.3	2.3	95.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	-	-	2.1	32.6	63.2	2.1	2.1	95.8
30歳代	127	-	-	2.4	37.0	59.1	1.6	2.4	96.1
40歳代	158	-	-	2.5	40.5	55.1	1.9	2.5	95.6
50歳代	206	-	0.5	-	54.4	44.2	1.0	0.5	98.5
60歳代	220	-	0.5	5.0	52.3	41.4	0.9	5.5	93.6
70歳以上	285	-	0.4	7.4	66.7	21.4	4.2	7.7	88.1
女性／18・19歳	24	-	-	-	20.8	79.2	-	-	100.0
20歳代	107	-	-	-	38.3	60.7	0.9	-	99.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	-	-	-	35.1	64.1	0.8	-	99.2
30歳代	172	-	-	0.6	32.0	65.7	1.7	0.6	97.7
40歳代	213	-	-	0.5	36.2	60.1	3.3	0.5	96.2
50歳代	246	-	-	1.6	45.1	51.2	2.0	1.6	96.3
60歳代	269	-	-	1.9	55.4	40.1	2.6	1.9	95.5
70歳以上	336	-	1.2	5.1	71.7	19.6	2.4	6.3	91.4
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	-	-	3.3	57.1	37.0	2.7	3.3	94.0
雇用者（計）	1,336	-	0.1	1.5	45.3	51.5	1.6	1.6	96.8
無職（計）	958	-	0.7	4.6	55.8	35.8	3.0	5.3	91.6
ライフステージ別									
独身期	305	-	0.3	1.6	34.8	62.3	1.0	2.0	97.0
家族形成期	175	-	-	0.6	32.6	64.0	2.9	0.6	96.6
家族成長前期	203	-	-	1.0	37.9	58.6	2.5	1.0	96.6
家族成長後期	164	-	-	2.4	43.3	53.0	1.2	2.4	96.3
家族成熟期	459	-	0.4	2.0	54.0	41.4	2.2	2.4	95.4
高齢期	586	-	0.5	3.6	65.0	28.3	2.6	4.1	93.3
その他	632	-	0.5	4.4	53.0	39.2	2.8	4.9	92.2

(9-5) 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況

◇『聴いている(計)』は7.8%、『聴いていない(計)』は90.3%

問12(5) あなたは、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉 (FM NACK5/月～金曜朝8:15～8:25)」を聴いたことがありますか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況は、「聴いたことがない」(45.2%)が最も高く、これに「番組を知らない」(45.1%)を合わせた『聴いていない(計)』(90.3%)は9割を超えている。一方で、「毎回聴いている」(0.5%)、「ほとんど聴いている」(0.8%)、「ときどき聴いている」(6.4%)を合わせた『聴いている(計)』(7.8%)は1割未満となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査の聴取状況と比べると、『聴いている(計)』は0.9ポイント減少している。

【属性別比較】

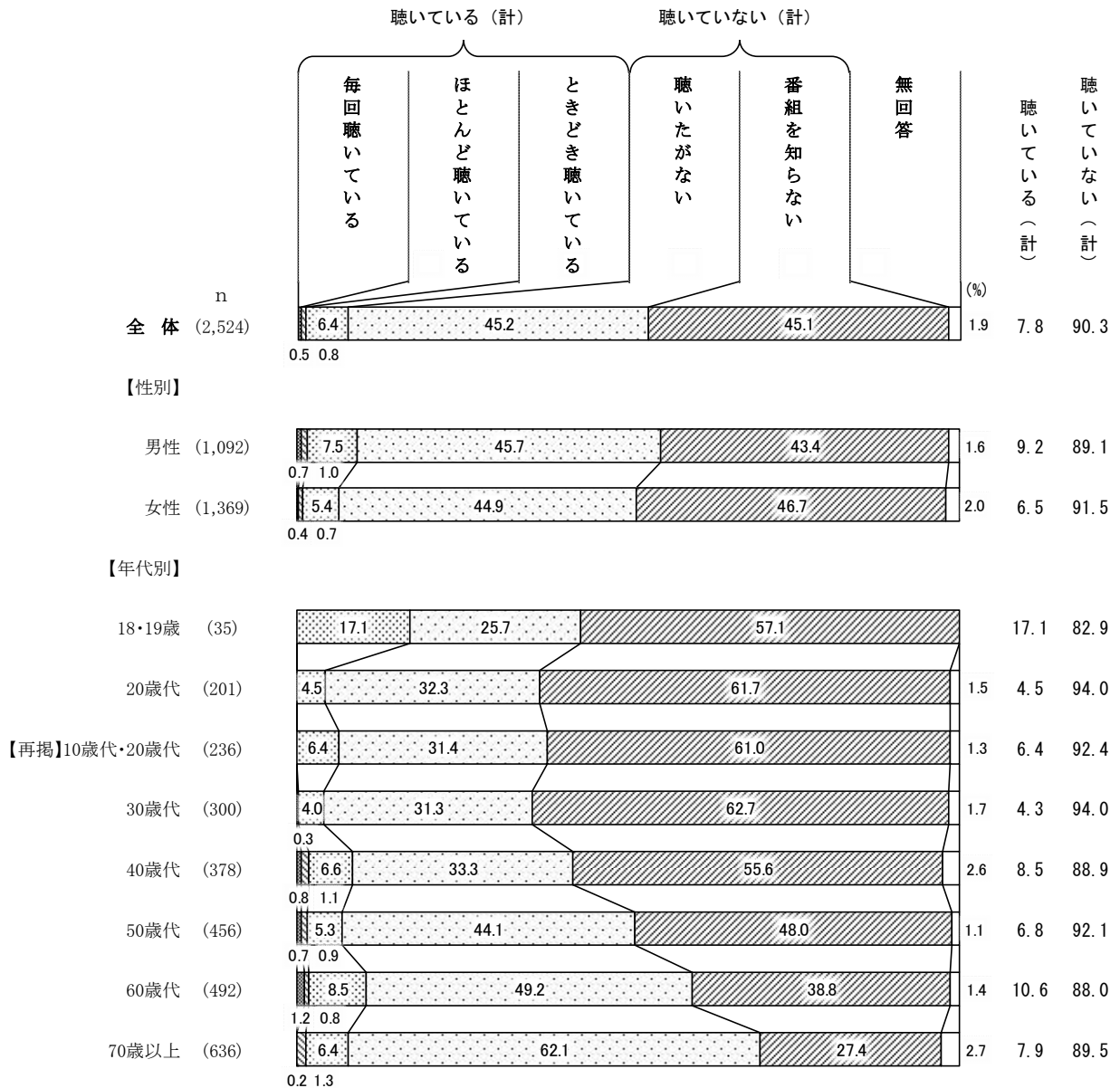
① 性別

『聴いている（計）』は男性（9.2％）の方が女性（6.5％）よりも2.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『聴いている（計）』は60歳代（10.6％）で1割を超えて最も高くなっている。なお、「番組を知らない」の割合は年代が上がるほど低くなる傾向にある。

○県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況・性別／年代別



③ 地域別

『聴いている（計）』は川越比企地域（13.2％）で1割強と最も高く、秩父地域（2.7％）が最も低くなっている。

④ 性・年代別

『聴いている（計）』は男性40歳代（12.7％）で1割強と最も高く、女性30歳代（4.1％）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『聴いている（計）』は自営業・家族従業（計）（11.4％）で1割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『聴いている（計）』は家族成熟期（8.9％）で1割弱と最も高く、家族形成期（3.4％）で最も低くなっている。

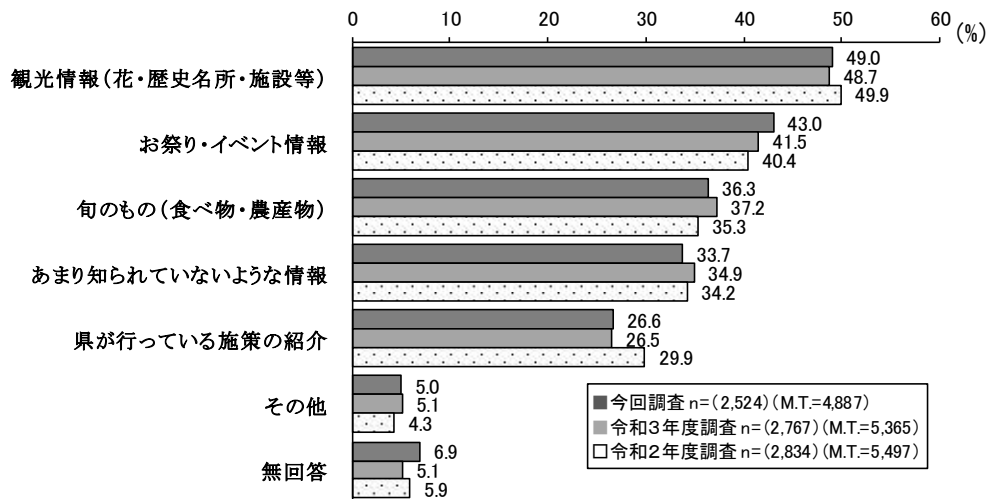
○県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」の聴取状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	毎回聴いている	ほとんど聴いている	ときどき聴いている	聴いたことがない	番組を知らない	無回答	（％）	
								聴いている（計）	聴いていない（計）
全体	2,524	0.5	0.8	6.4	45.2	45.1	1.9	7.8	90.3
地域別									
南部地域	242	0.4	-	3.7	47.5	46.3	2.1	4.1	93.8
南西部地域	224	0.9	-	4.9	35.7	55.8	2.7	5.8	91.5
東部地域	399	0.3	0.5	4.8	46.4	45.9	2.3	5.5	92.2
さいたま地域	451	0.7	2.0	5.3	41.5	48.1	2.4	8.0	89.6
県央地域	192	-	0.5	4.7	44.3	47.9	2.6	5.2	92.2
川越比企地域	288	-	2.1	11.1	45.8	39.2	1.7	13.2	85.1
西部地域	259	-	-	9.3	46.7	42.9	1.2	9.3	89.6
利根地域	244	1.6	0.4	6.1	52.5	38.5	0.8	8.2	91.0
北部地域	159	1.3	0.6	8.8	45.9	41.5	1.9	10.7	87.4
秩父地域	37	-	-	2.7	56.8	40.5	-	2.7	97.3
性・年代別									
男性／18・19歳	9	-	-	11.1	44.4	44.4	-	11.1	88.9
20歳代	86	-	-	5.8	27.9	64.0	2.3	5.8	91.9
【再掲】10歳代・20歳代	95	-	-	6.3	29.5	62.1	2.1	6.3	91.6
30歳代	127	-	-	4.7	33.1	60.6	1.6	4.7	93.7
40歳代	158	1.3	1.3	10.1	31.6	53.8	1.9	12.7	85.4
50歳代	206	1.0	1.5	6.3	45.6	44.7	1.0	8.7	90.3
60歳代	220	1.8	0.9	9.1	46.4	41.8	-	11.8	88.2
70歳以上	285	-	1.4	7.4	64.2	23.9	3.2	8.8	88.1
女性／18・19歳	24	-	-	20.8	20.8	58.3	-	20.8	79.2
20歳代	107	-	-	2.8	36.4	59.8	0.9	2.8	96.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	-	-	6.1	33.6	59.5	0.8	6.1	93.1
30歳代	172	-	0.6	3.5	29.7	64.5	1.7	4.1	94.2
40歳代	213	0.5	0.9	4.2	33.8	57.3	3.3	5.6	91.1
50歳代	246	0.4	0.4	4.5	42.3	51.2	1.2	5.3	93.5
60歳代	269	0.7	0.7	7.8	51.7	36.4	2.6	9.3	88.1
70歳以上	336	0.3	1.2	5.7	60.7	30.4	1.8	7.1	91.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	1.6	-	9.8	48.4	37.5	2.7	11.4	85.9
雇用者（計）	1,336	0.5	1.0	5.6	40.7	50.8	1.3	7.1	91.5
無職（計）	958	0.3	0.8	6.9	50.5	39.0	2.4	8.0	89.6
ライフステージ別									
独身期	305	-	-	6.6	31.8	61.0	0.7	6.6	92.8
家族形成期	175	-	-	3.4	30.3	63.4	2.9	3.4	93.7
家族成長前期	203	1.0	1.0	6.4	34.5	54.2	3.0	8.4	88.7
家族成長後期	164	-	0.6	6.7	43.3	48.2	1.2	7.3	91.5
家族成熟期	459	1.3	1.3	6.3	48.8	41.4	0.9	8.9	90.2
高齢期	586	0.3	0.9	6.5	59.0	30.9	2.4	7.7	89.9
その他	632	0.5	1.1	7.1	44.3	44.5	2.5	8.7	88.8

(9-6) 県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望

◇「観光情報」が49.0%で第1位、次いで「お祭り・イベント情報」が43.0%

問12(6) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(〇はいくつでも)



県の広報テレビ・ラジオ番組に求める内容では、「観光情報(花・歴史名所・施設等)」(49.0%)が約5割で最も高く、以下、「お祭り・イベント情報」(43.0%)、「旬のもの(食べ物・農産物)」(36.3%)、「あまり知られていないような情報」(33.7%)、「県が行っている施策の紹介」(26.6%)の順となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

① 地域別

「観光情報(花・歴史名所・施設等)」は川越比企地域(57.6%)で5割台半ばを超えて最も高く、東部地域(44.6%)で最も低くなっている。「お祭り・イベント情報」は南西部地域(50.4%)で5割を超えて最も高く、「旬のもの(食べ物・農産物)」は秩父地域(45.9%)が最も高くなっている。

② 性別

「観光情報(花・歴史名所・施設等)」は女性(52.4%)の方が男性(45.5%)よりも6.9ポイント高く、「旬のもの(食べ物・農産物)」も女性(40.1%)の方が男性(31.5%)よりも8.6ポイント高くなっている。一方で、「県が行っている施策の紹介」は男性(31.1%)の方が女性(23.2%)よりも7.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「観光情報(花・歴史名所・施設等)」は60歳代(54.1%)で5割台半ばと最も高く、「お祭り・イベント情報」は30歳代(66.0%)で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は女性60歳代（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高く、「お祭り・イベント情報」は男性30歳代（66.1%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「観光情報（花・歴史名所・施設等）」は自営業・家族従業（計）（52.7%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「お祭り・イベント情報」は家族成長前期（67.0%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

○県の広報テレビ・ラジオ番組の内容への要望・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

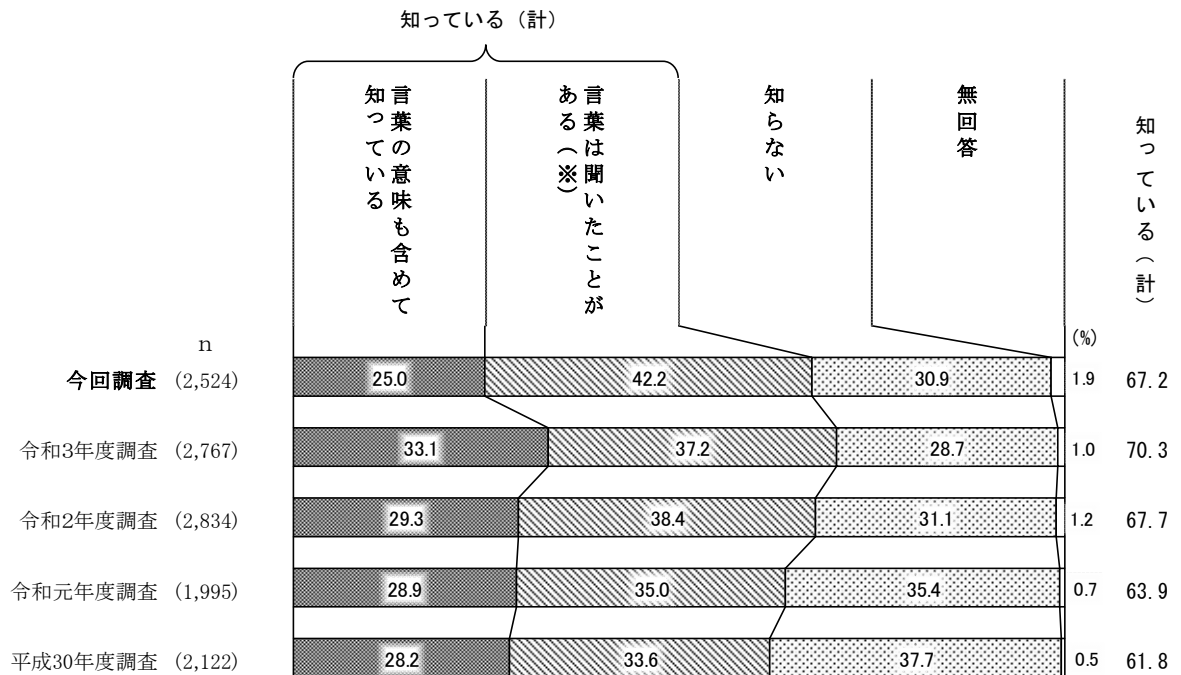
	調査数 n	観光情報（花・歴史名所・施設等）	お祭り・イベント情報	旬のもの（食べ物・農産物）	あまり知られていないような情報	県が行っている施策の紹介	その他	無回答
全体	2,524	49.0	43.0	36.3	33.7	26.6	5.0	6.9
地域別								
南部地域	242	48.8	47.1	33.5	33.1	28.1	5.8	6.2
南西部地域	224	47.8	50.4	37.5	33.5	27.2	5.4	6.7
東部地域	399	44.6	39.1	33.8	37.6	25.1	5.0	6.8
さいたま地域	451	46.1	44.3	32.6	32.6	25.7	5.5	7.5
県央地域	192	50.5	48.4	35.9	35.4	30.2	3.1	8.3
川越比企地域	288	57.6	44.8	39.2	34.4	26.4	3.1	4.5
西部地域	259	48.6	39.4	39.0	30.5	25.9	7.3	8.1
利根地域	244	51.6	36.1	37.7	28.3	24.6	7.0	6.6
北部地域	159	51.6	39.0	39.6	35.8	27.0	1.3	8.2
秩父地域	37	51.4	45.9	45.9	35.1	35.1	5.4	-
性別								
男性	1,092	45.5	42.7	31.5	30.3	31.1	5.4	6.8
女性	1,369	52.4	44.0	40.1	36.2	23.2	4.5	6.6
年代別								
18・19歳	35	25.7	57.1	22.9	31.4	5.7	8.6	-
20歳代	201	36.3	54.7	31.8	34.8	18.9	3.5	2.5
【再掲】10歳代・20歳代	236	34.7	55.1	30.5	34.3	16.9	4.2	2.1
30歳代	300	51.3	66.0	41.0	31.7	26.0	4.3	3.7
40歳代	378	47.4	53.7	38.1	37.3	23.3	5.8	3.4
50歳代	456	48.7	47.1	41.2	38.2	27.0	5.0	4.4
60歳代	492	54.1	34.8	35.6	37.0	31.7	4.7	5.5
70歳以上	636	51.1	25.2	31.8	25.8	27.8	5.5	14.6
性・年代別								
男性／18・19歳	9	33.3	77.8	11.1	22.2	-	-	-
20歳代	86	34.9	44.2	29.1	27.9	25.6	3.5	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	34.7	47.4	27.4	27.4	23.2	3.2	2.1
30歳代	127	48.8	66.1	40.2	33.9	34.6	2.4	3.1
40歳代	158	42.4	54.4	35.4	31.0	32.3	6.3	1.9
50歳代	206	45.1	43.7	35.4	35.0	29.6	5.8	4.9
60歳代	220	50.0	37.3	30.0	31.4	33.6	5.0	3.2
70歳以上	285	46.3	27.4	25.3	25.3	30.5	7.0	16.8
女性／18・19歳	24	20.8	50.0	29.2	37.5	8.3	8.3	-
20歳代	107	37.4	64.5	34.6	39.3	14.0	2.8	2.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	34.4	61.8	33.6	38.9	13.0	3.8	2.3
30歳代	172	53.5	65.7	41.9	30.2	19.8	5.8	4.1
40歳代	213	51.2	54.5	40.8	41.8	16.0	4.7	4.7
50歳代	246	52.0	50.4	45.9	41.1	24.8	4.1	4.1
60歳代	269	57.6	33.1	40.1	41.3	30.5	4.5	7.4
70歳以上	336	55.4	23.5	36.9	26.8	26.5	4.5	11.9
職業別								
自営業・家族従業（計）	184	52.7	41.3	34.8	36.4	32.1	3.3	8.2
雇用者（計）	1,336	49.0	49.6	39.1	35.3	25.1	4.9	4.3
無職（計）	958	49.2	34.8	32.8	31.0	27.6	5.4	9.8
ライフステージ別								
独身期	305	39.0	55.1	31.8	33.1	18.4	4.9	2.0
家族形成期	175	52.6	66.3	45.1	32.0	30.3	4.0	5.1
家族成長前期	203	54.2	67.0	35.5	34.5	28.1	3.0	3.0
家族成長後期	164	45.7	45.7	43.3	43.9	21.3	6.7	3.7
家族成熟期	459	53.2	41.6	39.9	32.9	28.5	4.1	4.8
高齢期	586	57.3	29.0	36.0	31.6	28.3	4.9	10.4
その他	632	41.3	36.4	32.0	34.2	27.4	6.3	10.0

(10-1) 生物多様性の認知度

◇『知っている（計）』が67.2%

問13 現在、「生物多様性」の保全という、地球上のさまざまな生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の「外来生物」により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

(1) あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意
 ※令和3年度調査までは「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」

「生物多様性」という言葉の認知度は、「言葉は聞いたことがある」(42.2%)が4割強と最も高く、これに「言葉の意味も含めて知っている」(25.0%)を合わせた『知っている(計)』(67.2%)は6割台半ばを超えている。一方で、「知らない」(30.9%)は3割を超えている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『知っている(計)』が3.1ポイント減少している。

【属性別比較】

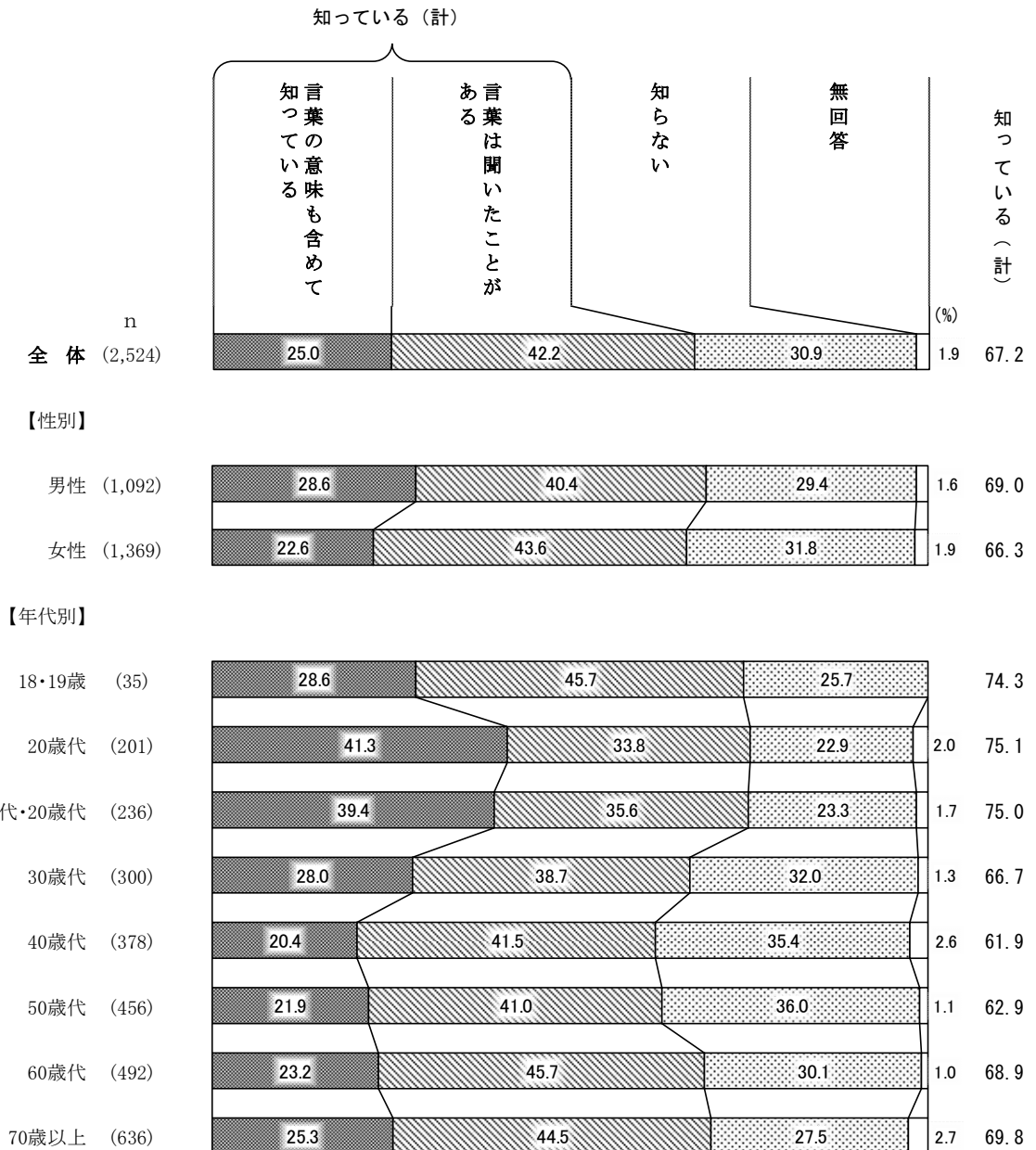
① 性別

『知っている（計）』は男性（69.0%）の方が女性（66.3%）よりも2.7ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は10歳代・20歳代（75.0%）で7割台半ばと最も高くなっている。「知らない」は50歳代（36.0%）で最も高くなっている。

○生物多様性の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は、南部地域（72.7%）で7割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は、男性10歳代・20歳代（75.8%）で7割台半ばと最も高く、女性40歳代（60.6%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は無職（計）（69.6%）と自営業・家族従業（計）（69.0%）で約7割と高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は独身期（75.4%）で7割台半ばと最も高くなっている。

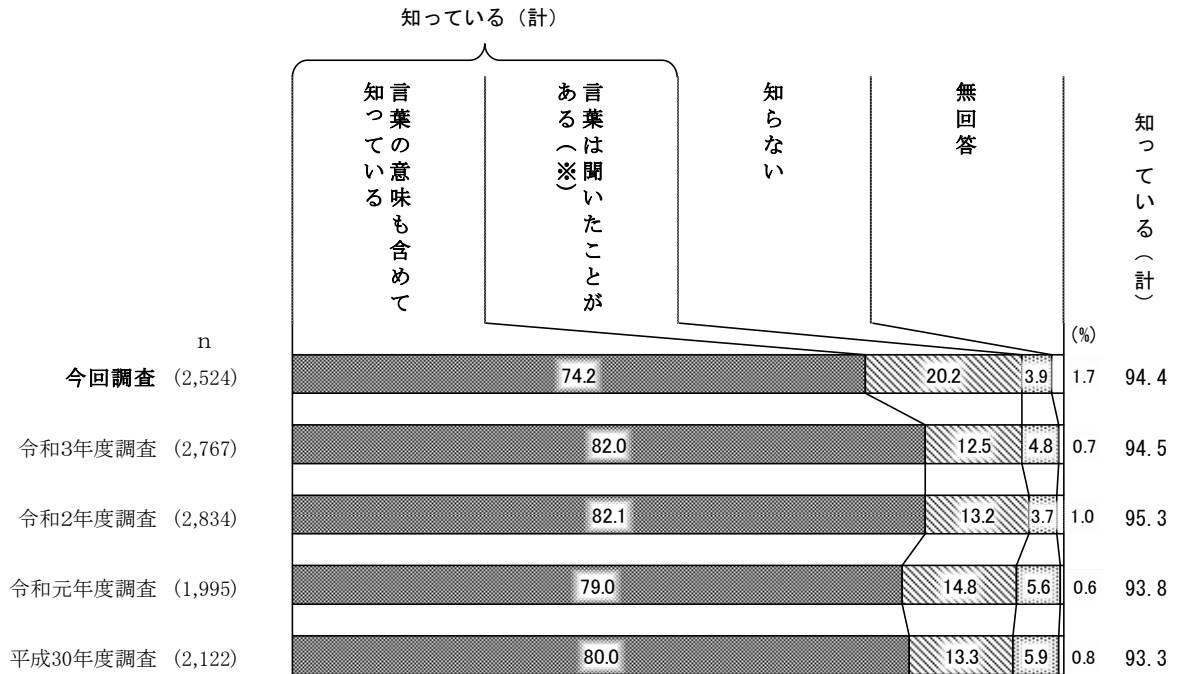
○生物多様性の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	て言葉の 意味も 含め	が言葉 は聞 いた こと	知 ら な い	無 回 答	(%) 知 っ て い る （ 計 ）
全 体	2,524	25.0	42.2	30.9	1.9	67.2
地域別						
南部地域	242	28.1	44.6	25.6	1.7	72.7
南西部地域	224	26.8	41.5	29.5	2.2	68.3
東部地域	399	23.1	43.1	31.6	2.3	66.2
さいたま地域	451	29.7	40.8	26.8	2.7	70.5
県央地域	192	18.8	40.1	38.5	2.6	58.9
川越比企地域	288	25.0	41.3	32.3	1.4	66.3
西部地域	259	26.3	43.6	29.0	1.2	69.9
利根地域	244	23.4	38.9	36.9	0.8	62.3
北部地域	159	22.6	42.1	33.3	1.9	64.8
秩父地域	37	18.9	51.4	29.7	-	70.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	55.6	33.3	-	66.7
20歳代	86	40.7	36.0	20.9	2.3	76.7
【再掲】10歳代・20歳代	95	37.9	37.9	22.1	2.1	75.8
30歳代	127	35.4	37.0	26.0	1.6	72.4
40歳代	158	27.2	36.7	34.2	1.9	63.9
50歳代	206	25.2	39.3	34.5	1.0	64.6
60歳代	220	27.3	43.6	29.1	-	70.9
70歳以上	285	26.3	43.2	27.4	3.2	69.5
女性／18・19歳	24	33.3	45.8	20.8	-	79.2
20歳代	107	41.1	33.6	23.4	1.9	74.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	39.7	35.9	22.9	1.5	75.6
30歳代	172	22.7	39.5	36.6	1.2	62.2
40歳代	213	16.0	44.6	36.2	3.3	60.6
50歳代	246	19.5	41.9	37.4	1.2	61.4
60歳代	269	20.1	47.2	30.9	1.9	67.3
70歳以上	336	24.4	46.4	27.1	2.1	70.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	22.8	46.2	28.3	2.7	69.0
雇用者（計）	1,336	25.7	40.0	33.1	1.2	65.7
無職（計）	958	25.3	44.4	28.0	2.4	69.6
ライフステージ別						
独身期	305	38.0	37.4	23.6	1.0	75.4
家族形成期	175	30.9	38.3	28.0	2.9	69.1
家族成長前期	203	25.6	36.0	36.0	2.5	61.6
家族成長後期	164	20.1	39.6	39.0	1.2	59.8
家族成熟期	459	22.2	45.8	31.2	0.9	68.0
高齢期	586	24.1	47.1	27.0	1.9	71.2
その他	632	21.2	41.1	35.0	2.7	62.3

(10-2) 外来生物の認知度

◇『知っている（計）』が94.4%

問13（2） あなたは、「外来生物」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意
 ※令和3年度調査までは「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」

「外来生物」という言葉の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」（74.2%）が7割台半ばと最も高く、これに「言葉は聞いたことがある」（20.2%）を合わせた『知っている（計）』（94.4%）は9割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、『知っている（計）』が0.1ポイント減少している。

【属性別比較】

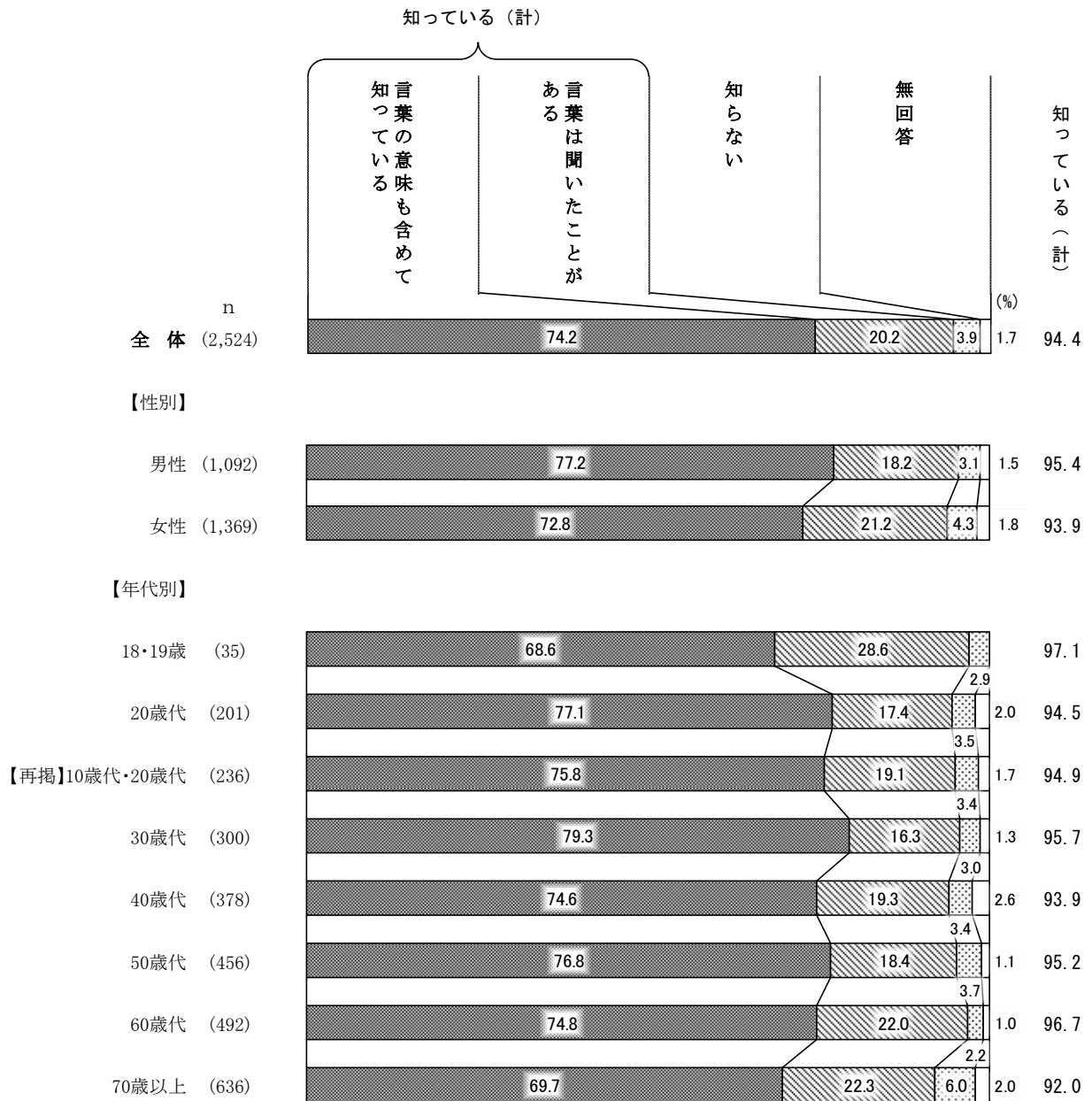
① 性別

『知っている（計）』では回答割合に大きな差はないが、「言葉の意味も含めて知っている」は男性（77.2%）の方が女性（72.8%）よりも4.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は60歳代（96.7%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。また、「言葉の意味も含めて知っている」は30歳代（79.3%）が約8割と最も高くなっている。

○外来生物の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は秩父地域（100.0%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性60歳代（97.7%）で9割台半ばを超えて最も高く、女性70歳以上（90.2%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』はいずれの職業でもおおむね9割台半ばとなっており、大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』はその他を除くすべての段階で9割台半ばとなっている。

○外来生物の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

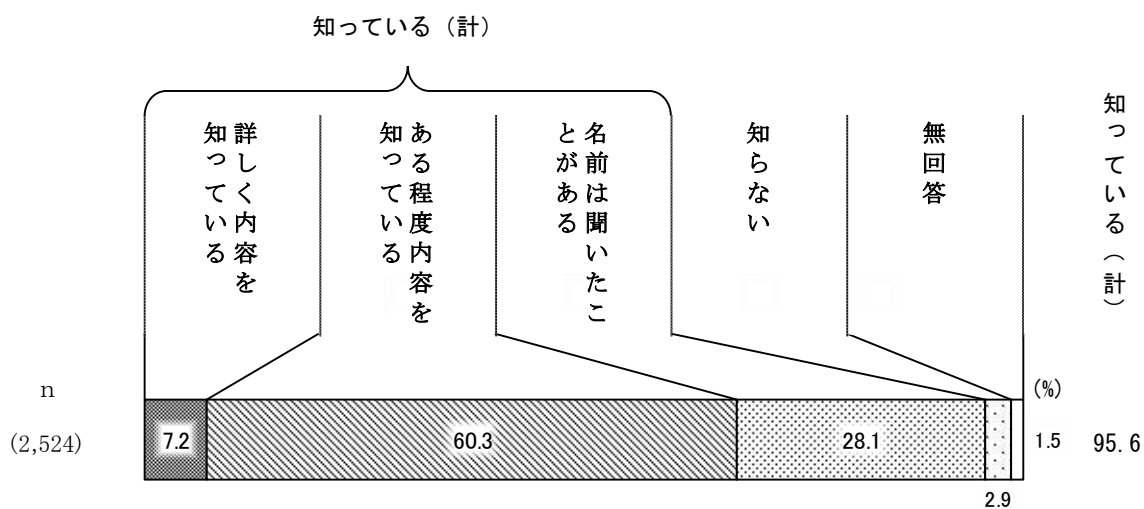
	調査数 n	て言葉 知つて いる 意味 も含め	が言葉 はある は 聞いた こと	知らない	無回答	(%) 知っている (計)
全体	2,524	74.2	20.2	3.9	1.7	94.4
地域別						
南部地域	242	71.1	24.4	2.9	1.7	95.5
南西部地域	224	75.0	21.0	1.8	2.2	96.0
東部地域	399	69.9	23.3	5.0	1.8	93.2
さいたま地域	451	79.6	15.5	2.4	2.4	95.1
県央地域	192	76.0	16.7	5.2	2.1	92.7
川越比企地域	288	75.3	18.4	4.9	1.4	93.8
西部地域	259	76.8	18.5	3.5	1.2	95.4
利根地域	244	73.4	19.7	6.1	0.8	93.0
北部地域	159	71.7	22.6	3.8	1.9	94.3
秩父地域	37	70.3	29.7	-	-	100.0
性・年代別						
男性／18・19歳	9	88.9	11.1	-	-	100.0
20歳代	86	77.9	16.3	3.5	2.3	94.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	78.9	15.8	3.2	2.1	94.7
30歳代	127	84.3	11.8	2.4	1.6	96.1
40歳代	158	79.7	15.2	3.2	1.9	94.9
50歳代	206	75.7	19.4	3.9	1.0	95.1
60歳代	220	77.3	20.5	2.3	-	97.7
70歳以上	285	73.0	21.1	3.5	2.5	94.0
女性／18・19歳	24	62.5	33.3	4.2	-	95.8
20歳代	107	76.6	19.6	1.9	1.9	96.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	74.0	22.1	2.3	1.5	96.2
30歳代	172	76.2	19.2	3.5	1.2	95.3
40歳代	213	71.4	21.6	3.8	3.3	93.0
50歳代	246	78.5	17.1	3.3	1.2	95.5
60歳代	269	72.5	23.4	2.2	1.9	95.9
70歳以上	336	67.6	22.6	8.3	1.5	90.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	75.0	19.0	3.8	2.2	94.0
雇用者（計）	1,336	77.3	18.2	3.3	1.2	95.5
無職（計）	958	71.0	22.7	4.3	2.1	93.6
ライフステージ別						
独身期	305	76.4	19.3	3.3	1.0	95.7
家族形成期	175	80.6	14.9	1.7	2.9	95.4
家族成長前期	203	80.8	14.3	2.5	2.5	95.1
家族成長後期	164	76.2	19.5	3.0	1.2	95.7
家族成熟期	459	75.6	20.3	3.3	0.9	95.9
高齢期	586	72.9	22.4	3.1	1.7	95.2
その他	632	68.8	22.2	6.8	2.2	91.0

(11-1) 光化学スモッグの認知度

◇『知っている（計）』が95.6%

問14 気温が高く日差しが強い日に「光化学スモッグ」という現象が発生することがあります。光化学スモッグに触れると、喉が痛い、目がチカチカするなどの健康被害を引き起こすおそれがあります。光化学スモッグの発生を抑制するためには、原因物質のひとつである「揮発性有機化合物（VOC）」の削減が必要です。

(1) あなたは「光化学スモッグ」について知っていますか。（〇は1つだけ）



「光化学スモッグ」という言葉の認知度は、「ある程度内容を知っている」（60.3%）が6割を超えて最も高く、これに「詳しく内容を知っている」（7.2%）と「名前はあるが聞いたことがある」（28.1%）を合わせた『知っている（計）』（95.6%）は9割台半ばとなっている。

【属性別比較】

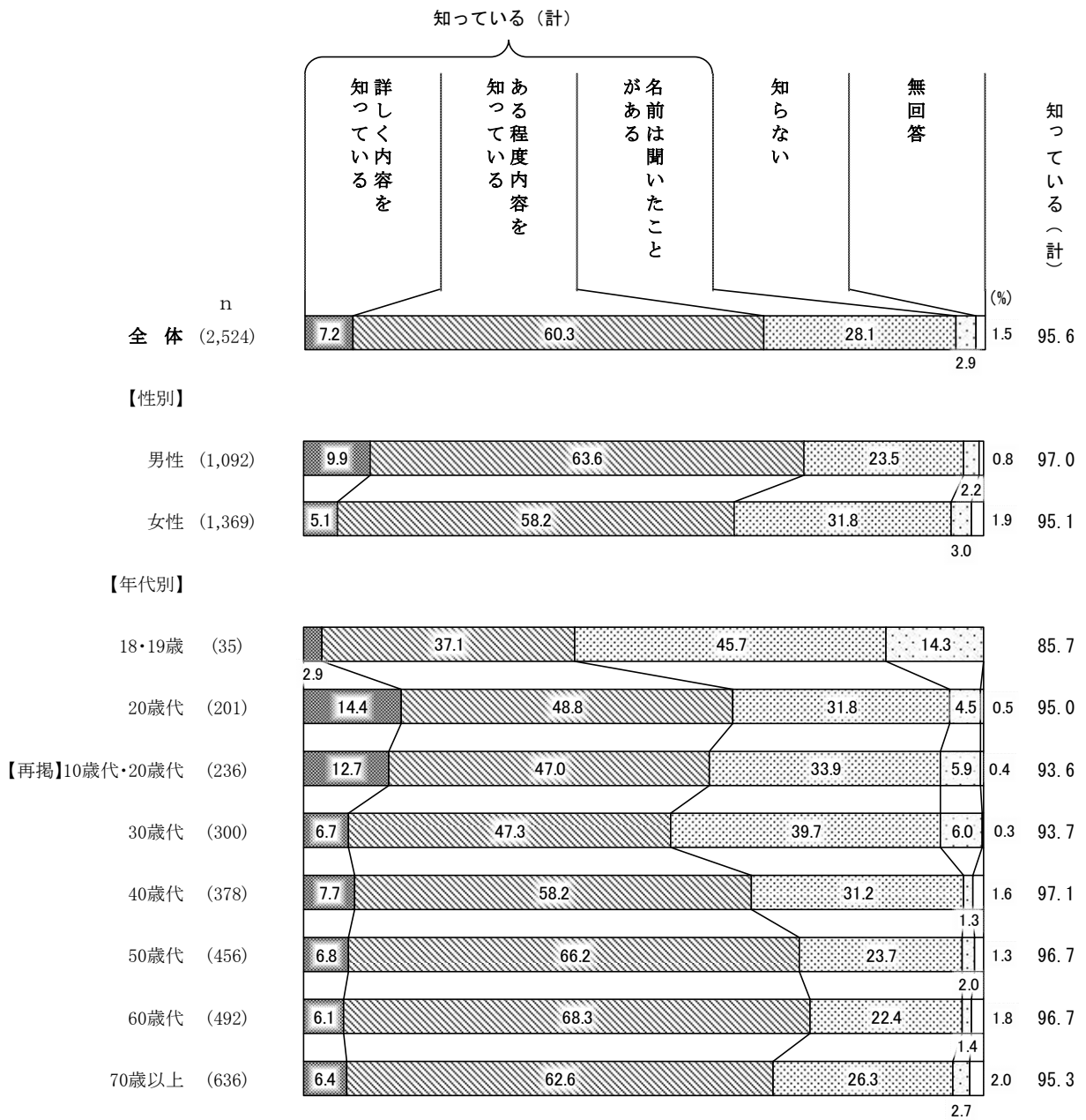
① 性別

『知っている（計）』は男性（97.0%）の方が女性（95.1%）よりも1.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は40歳代（97.1%）で9割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「詳しく内容を知っている」は10歳代・20歳代（12.7%）が1割強と最も高くなっている。

○光化学スモッグの認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は南西部地域（98.2%）で9割台後半と最も高く、県央地域（92.2%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性40歳代（98.7%）で9割台後半と最も高く、女性30歳代（91.3%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』はいずれの職業でもおおむね9割台半ばとなっており、大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成長前期（98.0%）で9割台後半と最も高く、独身期（93.4%）で最も低くなっている。

○光化学スモッグの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

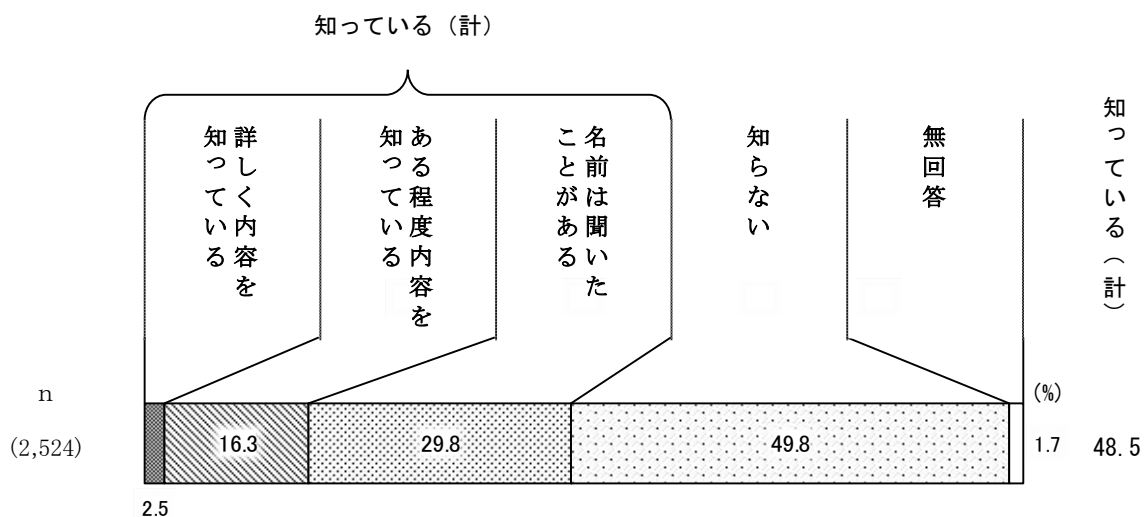
	調査数 n	知 詳 し く 内 容 を 知 っ て い る	あ る 程 度 内 容 を 知 っ て い る	名 前 は 聞 い た こ と あ る	知 ら な い	無 回 答	(%) 知 っ て い る (計)
全 体	2,524	7.2	60.3	28.1	2.9	1.5	95.6
地域別							
南部地域	242	11.6	55.0	29.3	3.7	0.4	95.9
南西部地域	224	12.1	59.4	26.8	0.9	0.9	98.2
東部地域	399	5.3	58.1	31.6	2.8	2.3	95.0
さいたま地域	451	7.3	63.9	25.3	2.2	1.3	96.5
県央地域	192	5.7	58.3	28.1	6.8	1.0	92.2
川越比企地域	288	6.9	62.2	27.4	2.1	1.4	96.5
西部地域	259	6.9	66.8	22.4	1.9	1.9	96.1
利根地域	244	5.7	55.7	33.6	2.5	2.5	95.1
北部地域	159	3.8	64.2	25.8	5.0	1.3	93.7
秩父地域	37	5.4	54.1	35.1	2.7	2.7	94.6
性・年代別							
男性／18・19歳	9	-	55.6	33.3	11.1	-	88.9
20歳代	86	16.3	57.0	23.3	3.5	-	96.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	14.7	56.8	24.2	4.2	-	95.8
30歳代	127	11.0	49.6	36.2	3.1	-	96.9
40歳代	158	10.1	62.0	26.6	1.3	-	98.7
50歳代	206	10.2	65.5	21.4	1.9	1.0	97.1
60歳代	220	10.0	69.5	19.1	0.5	0.9	98.6
70歳以上	285	7.4	66.7	21.1	3.2	1.8	95.1
女性／18・19歳	24	4.2	33.3	45.8	16.7	-	83.3
20歳代	107	12.1	43.0	40.2	3.7	0.9	95.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	10.7	41.2	41.2	6.1	0.8	93.1
30歳代	172	3.5	45.9	41.9	8.1	0.6	91.3
40歳代	213	6.1	55.4	34.3	1.4	2.8	95.8
50歳代	246	4.1	66.7	25.6	2.0	1.6	96.3
60歳代	269	3.0	67.7	24.9	1.9	2.6	95.5
70歳以上	336	5.7	59.2	31.3	1.8	2.1	96.1
職業別							
自営業・家族従業（計）	184	9.8	60.9	24.5	1.6	3.3	95.1
雇用者（計）	1,336	8.2	59.8	28.2	2.5	1.2	96.3
無職（計）	958	5.5	61.3	28.5	3.2	1.5	95.3
ライフステージ別							
独身期	305	11.5	46.9	35.1	5.9	0.7	93.4
家族形成期	175	6.3	45.1	42.3	6.3	-	93.7
家族成長前期	203	6.4	63.5	28.1	1.5	0.5	98.0
家族成長後期	164	6.7	67.1	22.6	1.8	1.8	96.3
家族成熟期	459	7.2	65.6	23.3	1.7	2.2	96.1
高齢期	586	5.5	67.1	24.9	1.2	1.4	97.4
その他	632	7.4	57.9	28.8	3.5	2.4	94.1

(11-2) 揮発性有機化合物 (VOC) の認知度

◇『知っている (計)』が 48.5%

問14 (2) あなたは「揮発性有機化合物 (VOC)」について知っていますか。

(○は1つだけ)



「揮発性有機化合物 (VOC)」という言葉の認知度は、「知らない」(49.8%) が約5割と最も高くなっている。一方で、「詳しく内容を知っている」(2.5%) と「ある程度内容を知っている」(16.3%) と「名前が聞いたことがある」(29.8%) を合わせた『知っている (計)』(48.5%) は5割弱となっている。

【属性別比較】

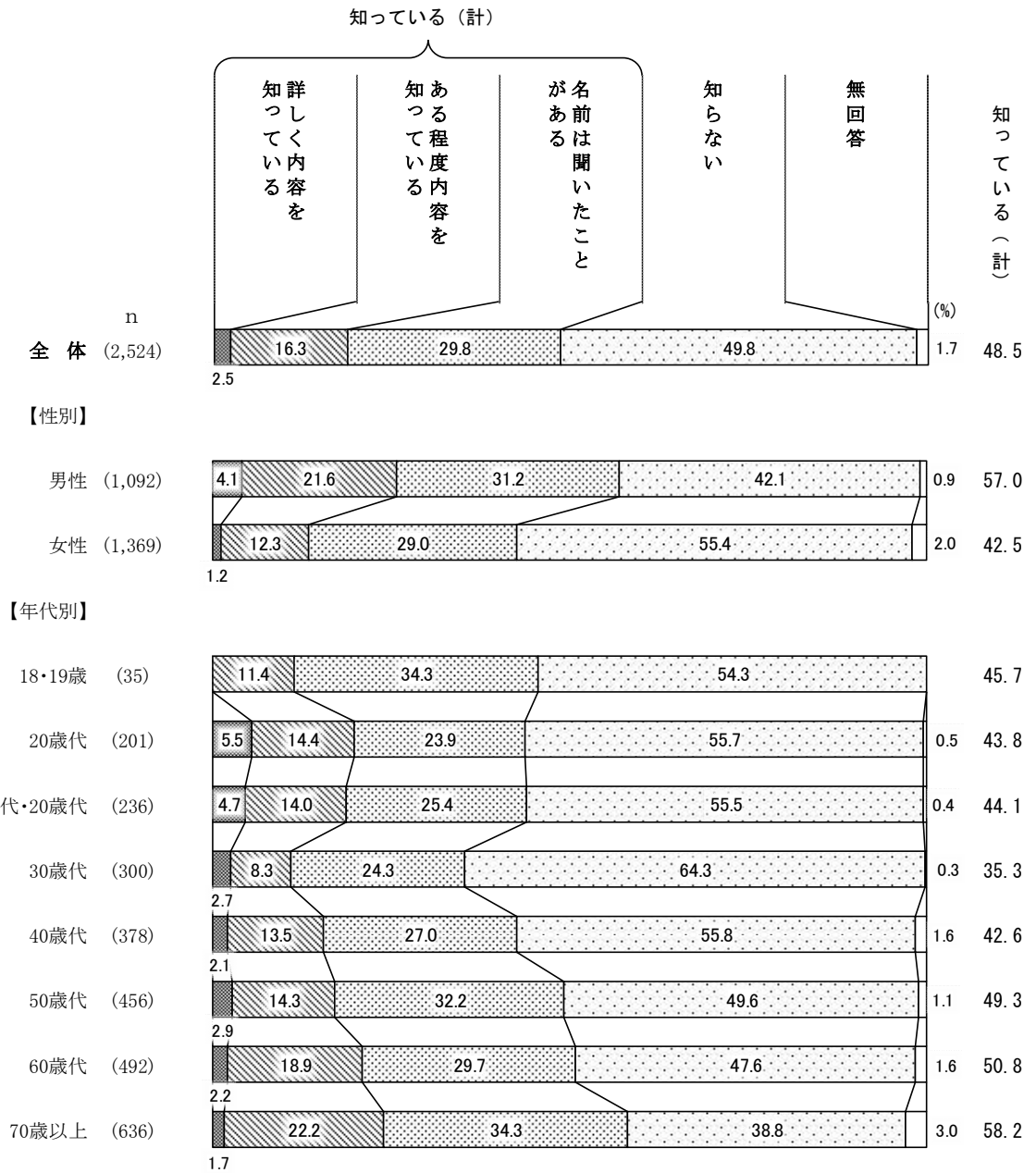
① 性別

『知っている（計）』は男性（57.0%）の方が女性（42.5%）よりも14.5ポイント高くなっている。

② 年代別

『知っている（計）』は70歳以上（58.2%）で6割弱と最も高く、30歳代（35.3%）で最も低くなっている。

○揮発性有機化合物（VOC）の認知度・性別／年代別



③ 地域別

『知っている（計）』は秩父地域（64.9%）で6割台半ばと最も高く、県央地域（42.2%）で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『知っている（計）』は男性70歳以上（61.1%）で6割強と最も高く、女性30歳代（23.3%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『知っている（計）』は自営業・家族従業（計）（55.4%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成熟期（53.6%）で5割強と最も高く、家族成長前期（36.9%）で最も低くなっている。

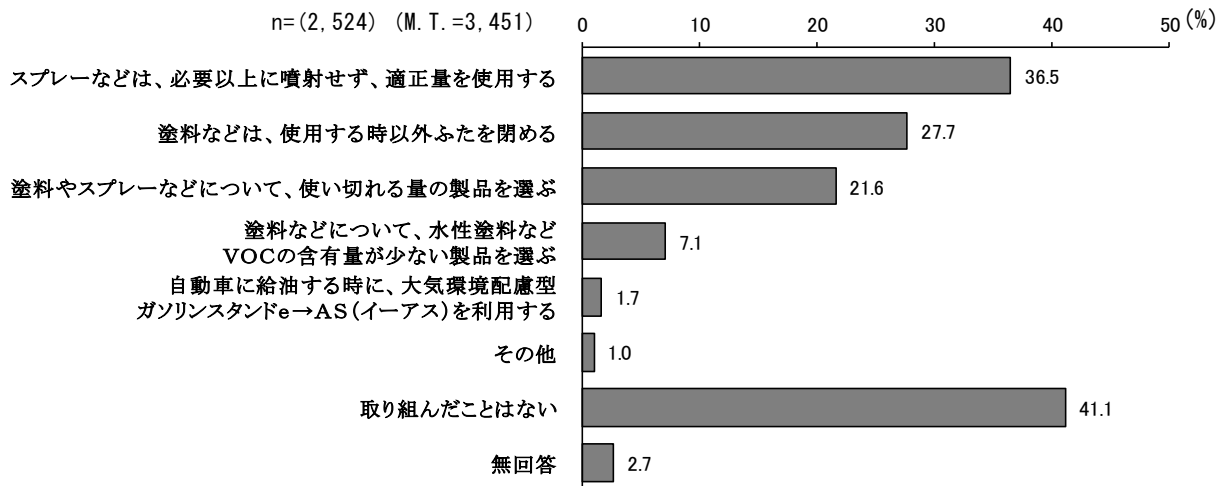
○揮発性有機化合物（VOC）の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	知 詳 つ て い る 内 容 を	知 あ る 程 度 内 容 を	が 名 前 は 開 いた こ と あ る	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る （ 計 ） （ % ）
全 体	2,524	2.5	16.3	29.8	49.8	1.7	48.5
地域別							
南部地域	242	2.9	16.9	30.2	49.2	0.8	50.0
南西部地域	224	5.4	16.5	29.5	47.8	0.9	51.3
東部地域	399	1.8	16.5	31.6	47.4	2.8	49.9
さいたま地域	451	2.2	18.0	27.5	51.0	1.3	47.7
県央地域	192	2.1	13.0	27.1	56.8	1.0	42.2
川越比企地域	288	2.1	16.0	29.5	50.7	1.7	47.6
西部地域	259	3.1	15.8	33.2	45.9	1.9	52.1
利根地域	244	2.0	16.4	25.4	53.7	2.5	43.9
北部地域	159	1.3	15.1	33.3	49.1	1.3	49.7
秩父地域	37	2.7	16.2	45.9	35.1	-	64.9
性・年代別							
男性／18・19歳	9	-	11.1	55.6	33.3	-	66.7
20歳代	86	8.1	20.9	26.7	44.2	-	55.8
【再掲】10歳代・20歳代	95	7.4	20.0	29.5	43.2	-	56.8
30歳代	127	4.7	14.2	33.1	48.0	-	52.0
40歳代	158	3.2	19.0	31.6	46.2	-	53.8
50歳代	206	4.9	19.4	29.1	45.6	1.0	53.4
60歳代	220	4.1	25.0	30.9	39.1	0.9	60.0
70歳以上	285	2.8	26.0	32.3	36.8	2.1	61.1
女性／18・19歳	24	-	12.5	25.0	62.5	-	37.5
20歳代	107	3.7	8.4	22.4	64.5	0.9	34.6
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.1	9.2	22.9	64.1	0.8	35.1
30歳代	172	1.2	4.1	18.0	76.2	0.6	23.3
40歳代	213	1.4	9.9	23.9	62.0	2.8	35.2
50歳代	246	1.2	10.2	35.0	52.4	1.2	46.3
60歳代	269	0.7	14.1	28.6	54.3	2.2	43.5
70歳以上	336	0.9	19.3	36.0	40.5	3.3	56.3
職業別							
自営業・家族従業（計）	184	3.3	16.3	35.9	41.3	3.3	55.4
雇用者（計）	1,336	3.0	15.4	27.8	52.7	1.1	46.2
無職（計）	958	1.7	17.6	31.6	47.1	2.0	50.9
ライフステージ別							
独身期	305	3.9	13.1	25.9	56.4	0.7	43.0
家族形成期	175	2.9	9.1	27.4	60.6	-	39.4
家族成長前期	203	2.5	13.3	21.2	62.6	0.5	36.9
家族成長後期	164	3.0	17.7	28.7	48.8	1.8	49.4
家族成熟期	459	3.1	15.3	35.3	44.2	2.2	53.6
高齢期	586	0.9	21.7	30.9	45.1	1.5	53.4
その他	632	2.5	16.1	30.4	48.1	2.8	49.1

(11-3) VOC削減の取組状況

◇「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」が36.5%

問14(3) VOCは、シンナーのように常温で蒸発しやすい有機化合物の総称で、スプレー、塗料、接着剤、芳香剤、防虫剤、化粧品、ガソリンなど、多くの身近な製品に含まれています。この1年間に、家庭でのVOC削減に取り組んだことはありますか。次の中から取り組んだことがあるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



VOC削減の取組状況は、「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」(36.5%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「塗料などは、使用する時以外ふたを閉める」(27.7%)、「塗料やスプレーなどについて、使い切れる量の製品を選ぶ」(21.6%)、「塗料などについて、水性塗料などVOCの含有量が少ない製品を選ぶ」(7.1%)、「自動車に給油する時に、大気環境配慮型ガソリンスタンドe→AS(イーアス)を利用する」(1.7%)と続いている。一方で、「取り組んだことはない」(41.1%)が4割強となっている。

【属性別比較】

① 地域別

「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」は県央地域（41.7%）が4割強と最も高く、「塗料などは、使用する時以外ふたを閉める」は西部地域（33.2%）が3割強と最も高く、「塗料やスプレーなどについて、使い切れる量の製品を選ぶ」は南部地域（25.2%）が2割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「塗料などは、使用する時以外ふたを閉める」は男性（30.9%）の方が女性（25.3%）よりも5.6ポイント高くなっている。一方で、「塗料やスプレーなどについて、使い切れる量の製品を選ぶ」は女性（24.6%）の方が男性（17.8%）よりも6.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

いずれの項目でも70歳以上が最も高く、「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」は70歳以上（51.6%）が5割強と最も高く、30歳代（23.0%）が最も低くなっている。

④ 性・年代別

「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」は女性70歳以上（54.5%）が5割台半ばと最も高く、女性30歳代（21.5%）が最も低くなっている。「塗料などは、使用する時以外ふたを閉める」は男性70歳以上（43.5%）が4割強と最も高く、女性30歳代（16.3%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」は無職（計）（44.4%）が4割台半ば、自営業・家族従業（計）（43.5%）が4割強となっている。一方で、「取り組んだことはない」は雇用者（計）（49.3%）が約5割と他の職業より高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する」は高齢期（50.0%）が5割と最も高くなっている。一方で、「取り組んだことはない」は独身期（58.0%）が6割弱と最も高くなっている。

○VOC削減の取組状況・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

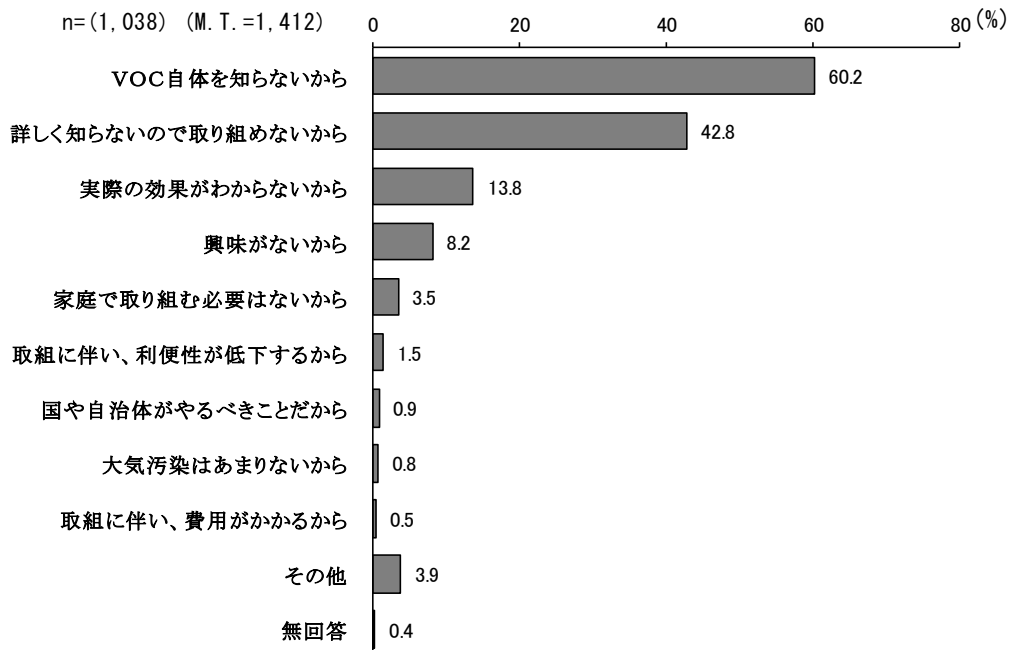
(%)

	調査数 n	スプレーなど、必要以上 に噴射せず、適正量を使用 する	塗料などは、使用する時以 外ふたを閉める	塗料やスプレーなどについ て、使い切れる量の製品を 選ぶ	塗料などVOCの含有量が少 ない製品を選ぶ	塗料などについて、水性塗 料などVOCの含有量が少 ない製品を選ぶ	自動車に給油する時に、大 気環境配慮型ガソリンスタ ンドe↓AS(イーアス) を利用する	その他	取り組んだことはない	無回答
全体	2,524	36.5	27.7	21.6	7.1	1.7	1.0	41.1	2.7	
地域別										
南部地域	242	34.3	30.6	25.2	8.7	1.7	2.1	38.4	2.1	
南西部地域	224	36.2	24.1	24.1	7.1	0.9	-	43.8	1.3	
東部地域	399	36.1	29.1	23.1	5.8	2.3	0.8	40.9	2.8	
さいたま地域	451	37.7	24.6	20.4	5.8	0.7	1.1	45.9	2.0	
県央地域	192	41.7	30.7	20.3	6.8	3.1	-	39.6	2.1	
川越比企地域	288	39.9	26.7	21.9	6.6	1.7	1.4	37.2	2.4	
西部地域	259	35.1	33.2	20.5	8.5	2.7	1.5	35.9	4.2	
利根地域	244	33.2	25.4	21.3	8.2	2.0	0.8	42.2	3.7	
北部地域	159	33.3	25.2	19.5	8.2	0.6	1.3	44.7	3.1	
秩父地域	37	29.7	27.0	8.1	5.4	2.7	2.7	43.2	5.4	
性別										
男性	1,092	35.4	30.9	17.8	9.1	2.5	0.4	42.5	1.6	
女性	1,369	37.5	25.3	24.6	5.3	1.1	1.5	40.3	3.4	
年代別										
18・19歳	35	31.4	25.7	11.4	-	-	-	57.1	-	
20歳代	201	27.4	19.4	20.4	1.5	-	0.5	56.2	0.5	
【再掲】10歳代・20歳代	236	28.0	20.3	19.1	1.3	-	0.4	56.4	0.4	
30歳代	300	23.0	19.3	16.7	3.0	1.0	1.3	59.0	0.3	
40歳代	378	28.3	22.8	19.0	5.6	0.3	1.1	52.4	1.6	
50歳代	456	30.5	23.2	18.4	4.8	0.7	1.1	46.5	2.2	
60歳代	492	41.1	31.1	21.7	10.0	2.8	1.0	33.9	2.8	
70歳以上	636	51.6	37.9	28.8	11.2	3.5	1.1	22.0	5.3	
性・年代別										
男性／18・19歳	9	33.3	22.2	11.1	-	-	-	55.6	-	
20歳代	86	29.1	17.4	18.6	1.2	-	-	53.5	-	
【再掲】10歳代・20歳代	95	29.5	17.9	17.9	1.1	-	-	53.7	-	
30歳代	127	25.2	23.6	17.3	3.9	1.6	0.8	55.1	-	
40歳代	158	27.8	24.7	13.3	9.5	0.6	0.6	56.3	-	
50歳代	206	28.2	21.8	17.0	4.9	1.0	-	50.5	1.9	
60歳代	220	38.2	37.3	12.7	13.2	3.6	0.9	35.5	1.4	
70歳以上	285	49.1	43.5	24.9	13.7	4.9	-	25.3	3.5	
女性／18・19歳	24	33.3	29.2	12.5	-	-	-	54.2	-	
20歳代	107	25.2	18.7	20.6	1.9	-	0.9	60.7	0.9	
【再掲】10歳代・20歳代	131	26.7	20.6	19.1	1.5	-	0.8	59.5	0.8	
30歳代	172	21.5	16.3	16.3	2.3	0.6	1.7	61.6	0.6	
40歳代	213	28.6	21.6	23.9	2.8	-	0.9	49.3	2.8	
50歳代	246	32.9	24.8	19.5	4.9	0.4	1.6	43.1	2.4	
60歳代	269	43.5	26.4	28.6	7.4	2.2	1.1	33.1	4.1	
70歳以上	336	54.5	33.9	32.1	8.6	2.1	2.1	19.6	6.3	
職業別										
自営業・家族従業(計)	184	43.5	32.1	16.8	10.3	5.4	1.1	32.6	4.3	
雇用者(計)	1,336	29.9	22.9	19.4	5.4	0.8	1.0	49.3	1.6	
無職(計)	958	44.4	33.6	25.5	8.5	2.2	0.9	31.9	3.5	
ライフステージ別										
独身期	305	27.2	20.3	16.1	2.0	-	0.7	58.0	0.7	
家族形成期	175	28.0	21.1	21.7	4.0	0.6	1.7	51.4	-	
家族成長前期	203	26.1	20.2	15.3	2.5	1.5	0.5	56.7	0.5	
家族成長後期	164	26.8	22.0	17.7	6.7	-	0.6	52.4	1.8	
家族成熟期	459	36.2	29.4	21.1	7.6	1.3	1.1	38.3	2.8	
高齢期	586	50.0	37.0	27.8	10.2	2.6	0.9	26.5	3.9	
その他	632	36.7	27.1	22.0	8.5	3.0	1.4	37.8	4.3	

(11-3-1) VOC削減に取り組んでいない理由

◇「VOC自体を知らないから」が60.2%

(問14(3)で「7. 取り組んだことはない」とお答えの方にお伺いします。)
問14(3)-1 家庭でのVOC削減に取り組んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



VOC削減に取り組んでいない理由は、「VOC自体を知らないから」(60.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「詳しく知らないので取り組めないから」(42.8%)が4割強、「実際の効果がわからないから」(13.8%)、「興味がないから」(8.2%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「VOC自体を知らないから」は利根地域(68.0%)が7割弱と最も高く、「詳しく知らないので取り組めないから」は県央地域(57.9%)が5割台半ばを超えて最も高くなっている。

※秩父地域(n=16)はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「VOC自体を知らないから」は女性(66.8%)の方が男性(52.6%)よりも14.2ポイント高くなっている。一方で、「実際の効果がわからないから」は男性(19.4%)の方が女性(9.1%)よりも10.3ポイント高くなっている。

③ 年代別

「VOC自体を知らないから」は30歳代(67.2%)が6割台半ばを超えて最も高くなっている。「詳しく知らないので取り組めないから」は70歳以上(50.0%)が5割と最も高く、「実際の効果がわからないから」は60歳代(22.8%)が2割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「VOC自体を知らないから」は女性30歳代(78.3%)が8割弱と最も高くなっている。「詳しく知らないので取り組めないから」は女性50歳代(58.5%)が6割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「VOC自体を知らないから」は雇用者（計）（62.5%）が6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「VOC自体を知らないから」は家族形成期（73.3%）が7割強と最も高く、「詳しく知らないから」は高齢期（50.3%）が5割を超えて最も高くなっている。

○VOC削減に取り組んでいない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

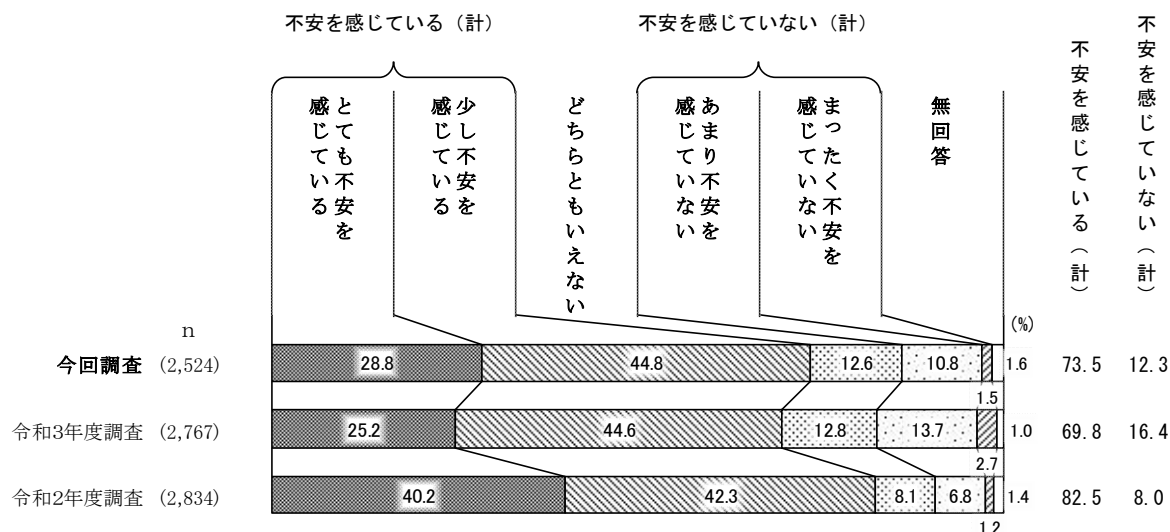
	調査数 n	いV から O C 自 体 を 知 ら な い	取 り し く 組 め な い の か ら	実 際 の 効 果 が わ か ら な い	興 味 が な い の か ら	家 庭 で 取 り 組 む 必 要 は な い の か ら	取 組 に 伴 う 利 便 性 が 低 下 す る の か ら	国 や 自 治 体 が や る べ き こ と だ か ら	大 気 汚 染 は あ ま り な い の か ら	取 組 に 伴 い 、 費 用 が か か る の か ら	そ の 他	無 回 答	(%)
全体	1,038	60.2	42.8	13.8	8.2	3.5	1.5	0.9	0.8	0.5	3.9	0.4	
地域別													
南部地域	93	59.1	38.7	11.8	8.6	5.4	2.2	2.2	1.1	2.2	6.5	-	
南西部地域	98	53.1	40.8	12.2	4.1	4.1	3.1	1.0	1.0	2.0	5.1	-	
東部地域	163	56.4	37.4	14.7	10.4	4.3	0.6	0.6	0.6	-	1.8	-	
さいたま地域	207	56.5	40.6	15.0	5.8	3.4	1.9	1.4	1.0	-	5.8	0.5	
県央地域	76	64.5	57.9	11.8	13.2	5.3	-	-	-	-	-	-	
川越比企地域	107	67.3	46.7	16.8	5.6	4.7	-	0.9	-	-	3.7	0.9	
西部地域	93	65.6	49.5	12.9	7.5	1.1	3.2	-	1.1	-	4.3	-	
利根地域	103	68.0	40.8	10.7	12.6	1.9	1.9	-	1.0	1.0	3.9	-	
北部地域	71	57.7	43.7	9.9	8.5	-	1.4	1.4	-	-	4.2	1.4	
秩父地域	16	56.3	43.8	37.5	6.3	-	-	-	6.3	-	-	-	
性別													
男性	464	52.6	44.0	19.4	12.7	5.2	1.9	1.7	1.3	0.4	4.3	-	
女性	552	66.8	42.2	9.1	4.0	2.2	1.3	-	0.4	0.5	3.4	0.5	
年代別													
18・19歳	20	65.0	35.0	5.0	15.0	-	-	-	-	-	-	-	
20歳代	113	61.1	36.3	9.7	8.0	7.1	1.8	-	0.9	-	4.4	-	
【再掲】10歳代・20歳代	133	61.7	36.1	9.0	9.0	6.0	1.5	-	0.8	-	3.8	-	
30歳代	177	67.2	39.5	8.5	10.2	1.7	1.1	-	-	-	1.1	-	
40歳代	198	64.6	35.9	9.1	10.1	1.5	2.0	0.5	2.0	0.5	4.0	-	
50歳代	212	55.7	49.5	17.5	7.5	3.8	2.8	1.4	1.4	1.4	4.7	-	
60歳代	167	61.1	45.5	22.8	6.6	2.4	-	1.8	-	0.6	3.0	1.2	
70歳以上	140	50.7	50.0	14.3	5.0	7.1	1.4	0.7	-	-	7.9	0.7	
性・年代別													
男性／18・19歳	5	40.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	
20歳代	46	41.3	43.5	13.0	10.9	8.7	2.2	-	-	-	8.7	-	
【再掲】10歳代・20歳代	51	41.2	43.1	13.7	11.8	7.8	2.0	-	-	-	7.8	-	
30歳代	70	51.4	42.9	14.3	14.3	4.3	1.4	-	-	-	1.4	-	
40歳代	89	58.4	38.2	13.5	16.9	2.2	2.2	1.1	4.5	-	3.4	-	
50歳代	104	51.9	41.3	25.0	14.4	6.7	2.9	2.9	1.9	1.9	4.8	-	
60歳代	78	56.4	48.7	29.5	10.3	2.6	-	3.8	-	-	6.4	-	
70歳以上	72	51.4	51.4	16.7	6.9	8.3	2.8	1.4	-	-	2.8	-	
女性／18・19歳	13	69.2	30.8	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	
20歳代	65	73.8	32.3	7.7	4.6	6.2	1.5	-	1.5	-	1.5	-	
【再掲】10歳代・20歳代	78	73.1	32.1	6.4	6.4	5.1	1.3	-	1.3	-	1.3	-	
30歳代	106	78.3	36.8	4.7	6.6	-	0.9	-	-	-	0.9	-	
40歳代	105	70.5	33.3	5.7	3.8	1.0	1.9	-	-	1.0	3.8	-	
50歳代	106	58.5	58.5	10.4	0.9	0.9	2.8	-	0.9	0.9	4.7	-	
60歳代	89	65.2	42.7	16.9	3.4	2.2	-	-	-	1.1	-	2.2	
70歳以上	66	51.5	50.0	10.6	3.0	6.1	-	-	-	-	12.1	1.5	
職業別													
自営業・家族従業（計）	60	50.0	43.3	11.7	3.3	5.0	-	5.0	-	-	1.7	-	
雇用者（計）	658	62.5	42.2	14.1	9.6	2.7	1.8	0.6	1.1	0.5	3.5	0.2	
無職（計）	306	57.8	44.4	13.1	5.9	4.9	1.3	0.3	0.3	0.7	5.2	0.7	
ライフステージ別													
独身期	177	60.5	36.7	10.7	10.2	5.6	1.1	-	0.6	-	3.4	-	
家族形成期	90	73.3	36.7	5.6	10.0	-	1.1	-	-	-	-	-	
家族成長前期	115	64.3	42.6	7.0	7.8	1.7	1.7	0.9	2.6	-	1.7	-	
家族成長後期	86	55.8	34.9	9.3	5.8	2.3	3.5	2.3	-	2.3	5.8	-	
家族成熟期	176	56.3	47.2	19.3	8.0	4.0	1.1	-	1.1	-	5.1	0.6	
高齢期	155	59.4	50.3	16.8	2.6	3.2	1.3	0.6	-	-	4.5	1.3	
その他	239	58.2	44.4	18.0	10.9	4.2	1.7	2.1	0.8	1.3	5.0	0.4	

(12-1) 新型コロナウイルス感染症への不安

◇『不安を感じている（計）』は73.5%

問15 新型コロナウイルス感染症についておたずねします。

(1) あなたは、御自分が新型コロナウイルス感染症に感染するのではないかという不安を感じていますか。(〇は1つだけ)



新型コロナウイルス感染症に感染することへの不安は、「少し不安を感じている」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、これに「とても不安を感じている」(28.8%)を合わせた『不安を感じている(計)』(73.5%)は7割強となっている。一方で、「あまり不安を感じていない」(10.8%)と「まったく不安を感じていない」(1.5%)を合わせた『不安を感じていない(計)』(12.3%)は1割強となっている。また、「どちらともいえない」(12.6%)は1割強となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べると、『不安を感じている(計)』は3.7ポイント増加し、『不安を感じていない(計)』は4.1ポイント減少している。

【属性別比較】

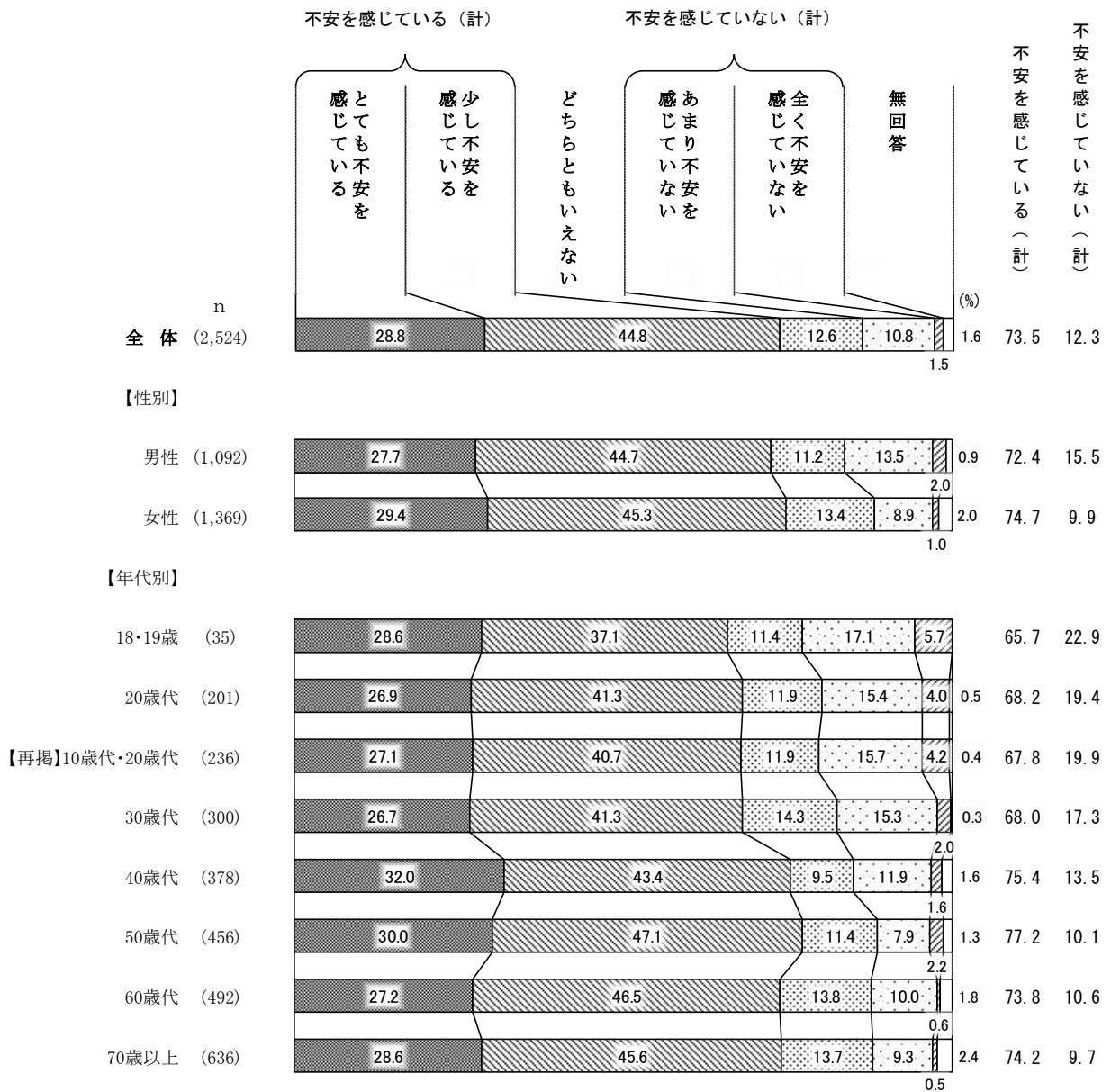
① 性別

『不安を感じている（計）』は女性（74.7%）の方が男性（72.4%）よりも2.3ポイント高くなっている。

② 年代別

『不安を感じている（計）』は50歳代（77.2%）が7割台半ばを超えて最も高く、10歳代・20歳代（67.8%）で最も低くなっている。

○新型コロナウイルス感染症への不安・性別／年代別



③ 地域別

『不安を感じている(計)』は秩父地域(86.5%)で8割台半ばを超えて最も高く、東部地域(67.9%)で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『不安を感じている(計)』は女性50歳代(78.0%)で8割弱と最も高く、男性10歳代・20歳代(62.1%)で最も低くなっている。

⑤ 職業別

『不安を感じている(計)』は無職(計)(75.5%)で7割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『不安を感じている(計)』は高齢期(77.0%)で7割台半ばを超えて最も高くなっている。

○新型コロナウイルス感染症への不安・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

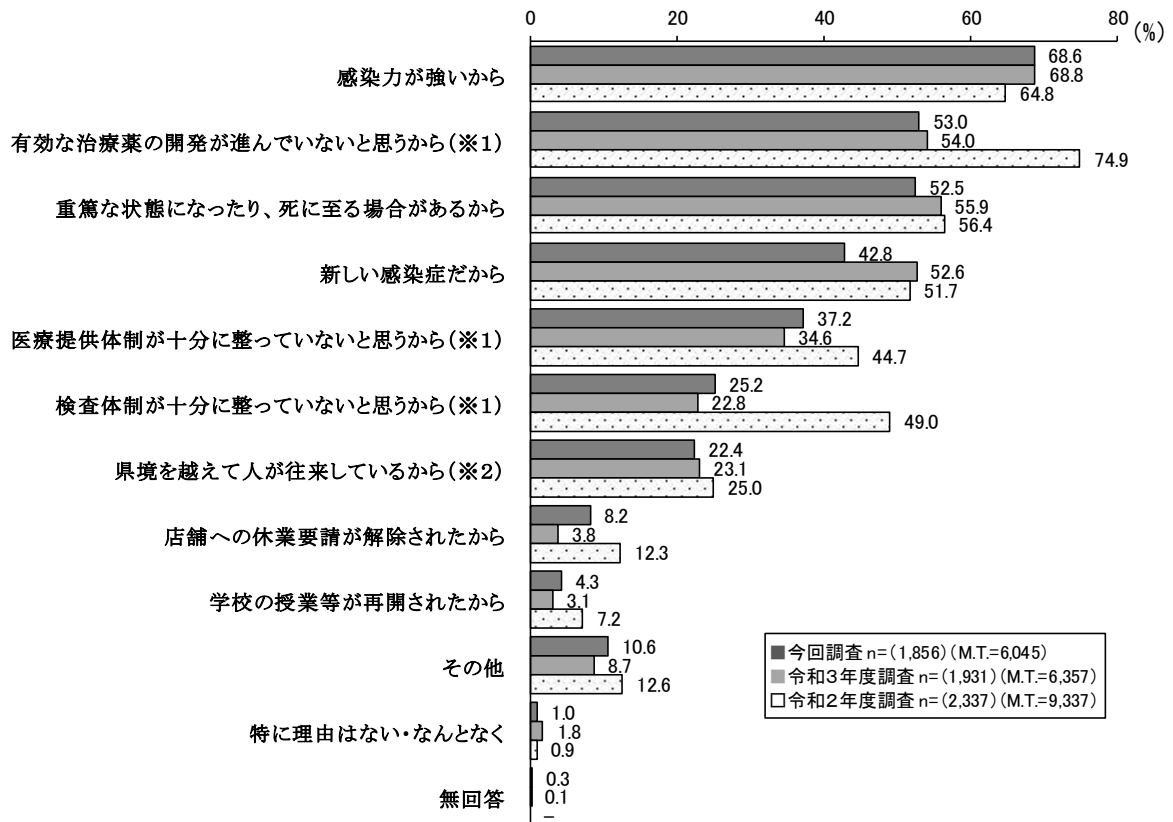
	調査数 n	感じて も不安 を	少し 不安 を	ど ちら とも いえ ない	あ ま り 不 安 を	ま つ た く 不 安 を	無 回 答	(%)	
								不安 を 感 じ て い る (計)	不安 を 感 じ て い な い (計)
全 体	2,524	28.8	44.8	12.6	10.8	1.5	1.6	73.5	12.3
地域別									
南部地域	242	26.0	44.2	12.8	14.9	1.7	0.4	70.2	16.5
南西部地域	224	29.5	42.9	11.2	14.3	1.3	0.9	72.3	15.6
東部地域	399	25.8	42.1	14.5	13.3	1.5	2.8	67.9	14.8
さいたま地域	451	28.4	44.6	11.8	12.6	1.6	1.1	72.9	14.2
県央地域	192	28.6	44.8	13.0	9.4	3.1	1.0	73.4	12.5
川越比企地域	288	28.5	46.2	13.5	9.4	1.0	1.4	74.7	10.4
西部地域	259	30.5	50.6	10.8	4.2	1.5	2.3	81.1	5.8
利根地域	244	28.7	43.4	12.7	10.7	1.6	2.9	72.1	12.3
北部地域	159	32.1	46.5	13.2	6.3	0.6	1.3	78.6	6.9
秩父地域	37	45.9	40.5	10.8	2.7	-	-	86.5	2.7
性・年代別									
男性／18・19歳	9	22.2	11.1	11.1	44.4	11.1	-	33.3	55.6
20歳代	86	20.9	44.2	11.6	17.4	5.8	-	65.1	23.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	21.1	41.1	11.6	20.0	6.3	-	62.1	26.3
30歳代	127	22.0	40.2	16.5	18.9	2.4	-	62.2	21.3
40歳代	158	36.7	36.1	7.0	17.7	2.5	-	72.8	20.3
50歳代	206	29.6	46.1	11.7	8.3	3.4	1.0	75.7	11.7
60歳代	220	25.0	48.2	11.8	13.2	0.5	1.4	73.2	13.6
70歳以上	285	28.4	49.1	9.8	10.5	0.4	1.8	77.5	10.9
女性／18・19歳	24	33.3	45.8	12.5	8.3	-	-	79.2	8.3
20歳代	107	32.7	41.1	11.2	12.1	1.9	0.9	73.8	14.0
【再掲】10歳代・20歳代	131	32.8	42.0	11.5	11.5	1.5	0.8	74.8	13.0
30歳代	172	29.7	42.4	12.8	12.8	1.7	0.6	72.1	14.5
40歳代	213	28.2	48.8	11.3	8.0	0.9	2.8	77.0	8.9
50歳代	246	30.5	47.6	11.4	7.7	1.2	1.6	78.0	8.9
60歳代	269	29.4	45.0	15.2	7.4	0.7	2.2	74.3	8.2
70歳以上	336	28.0	44.0	16.1	8.6	0.6	2.7	72.0	9.2
職業別									
自営業・家族従業(計)	184	20.1	44.6	12.0	16.3	2.7	4.3	64.7	19.0
雇用者(計)	1,336	29.9	43.5	12.8	10.9	1.8	1.2	73.4	12.6
無職(計)	958	28.5	47.0	12.3	9.9	0.8	1.5	75.5	10.8
ライフステージ別									
独身期	305	29.5	38.4	13.8	13.4	4.3	0.7	67.9	17.7
家族形成期	175	22.9	46.9	12.0	17.1	1.1	-	69.7	18.3
家族成長前期	203	32.0	44.3	10.3	12.3	0.5	0.5	76.4	12.8
家族成長後期	164	31.1	45.1	13.4	5.5	2.4	2.4	76.2	7.9
家族成熟期	459	27.7	43.8	12.9	11.1	2.4	2.2	71.5	13.5
高齢期	586	26.1	50.9	13.0	8.0	0.2	1.9	77.0	8.2
その他	632	31.6	42.4	12.2	10.9	0.9	1.9	74.1	11.9

(12-1-1) 不安を感じる理由

◇「感染力が強いから」が68.6%

(問15(1)で「1. とても不安を感じている」または「2. 少し不安を感じている」とお答えの方にお伺いします。)

問15(1)-1 あなたは、なぜ、不安を感じるのですか。(〇はいくつでも)



※1 令和3年度調査までは「有効な治療薬の開発が進んでいないから」、「医療提供体制が十分に整っていないから」、「検査体制が十分に整っていないから」

※2 令和2年度調査は「県境を越えた人の往来が自由になったから」

新型コロナウイルス感染症に感染の不安を感じる理由は、「感染力が強いから」(68.6%)が7割弱で最も高く、次いで「有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから」(53.0%)、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」(52.5%)が5割強で続き、以下「新しい感染症だから」(42.8%)、「医療提供体制が十分に整っていないと思うから」(37.2%)、「検査体制が十分に整っていないと思うから」(25.2%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて「新しい感染症だから」は9.8ポイント減少し、「店舗への休業要請が解除されたから」が4.4ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「感染力が強いから」は川越比企地域（75.8%）7割台半ばと高く、「有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから」は北部地域（60.0%）で6割と最も高くなっている。また、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」は秩父地域（68.8%）で7割弱と最も高くなっている。

② 性別

「感染力が強いから」は女性（69.4%）の方が男性（67.8%）よりも1.6ポイント高く、「有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから」も女性（54.7%）の方が男性（51.7%）よりも3.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「感染力が強いから」は60歳代（71.6%）で7割強と最も高くなっている。また、「有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから」と「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」も60歳代（61.2%・63.1%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「感染力が強いから」は男性60歳代（73.9%）で7割強と最も高く、男性30歳代（50.6%）で最も低くなっている。「有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから」と「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」は女性60歳代（各64.5%）で6割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「感染力が強いから」は無職（計）（70.7%）で7割を超えて最も高く、「重篤な状態になったり、死に至る場合があるから」も無職（計）（58.6%）で6割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「感染力が強いから」は高齢期（71.0%）で7割強と最も高く、家族形成期（57.4%）で最も低くなっている。

○不安を感じる理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

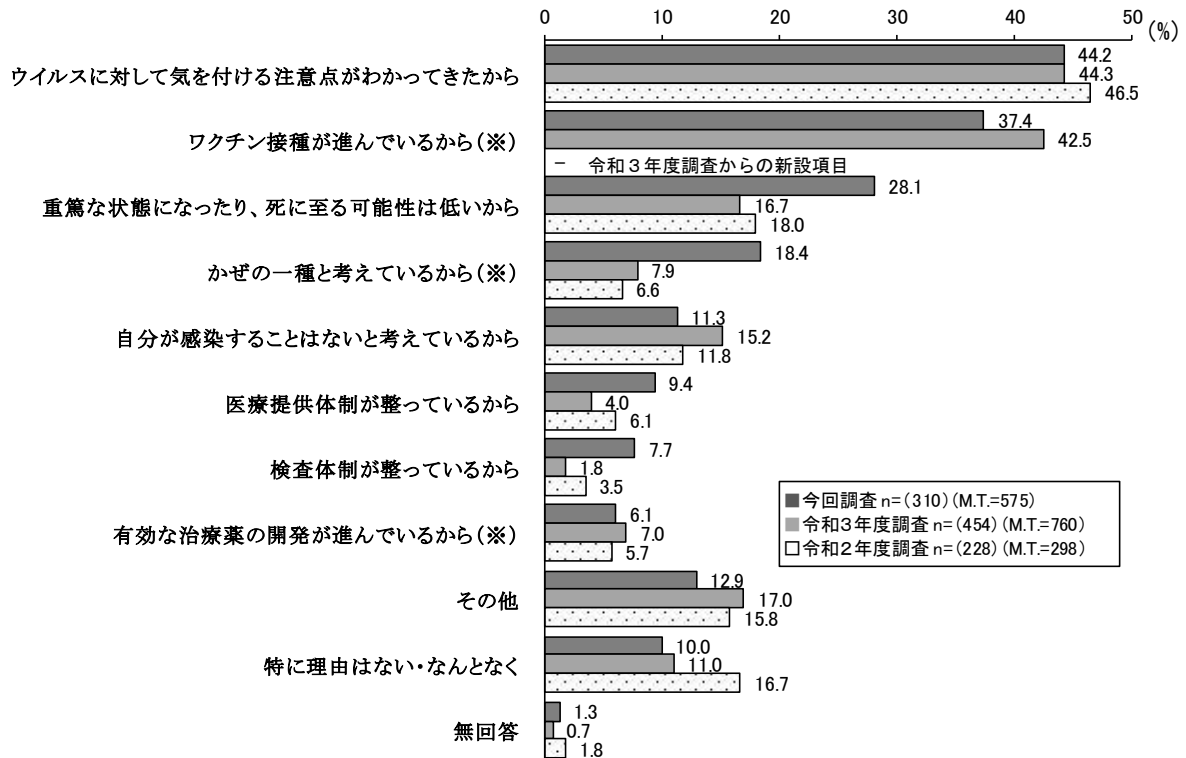
	調査数 n	感染力が強いから	有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから	重症な状態になったり、死に至る場合があるから	新しい感染症だから	整っていないと思うから	医療提供体制が十分から	検査体制が十分に整っていないと思うから	県境を越えて人が往来しているから	店舗からの休業要請が解除されたから	学校からの授業等が再開されたから	その他	・特に理由はない	無回答
全体	1,856	68.6	53.0	52.5	42.8	37.2	25.2	22.4	8.2	4.3	10.6	1.0	0.3	
地域別														
南部地域	170	74.7	52.4	51.2	41.8	38.2	25.3	20.0	8.8	2.4	8.8	-	0.6	
南西部地域	162	67.3	55.6	55.6	45.1	35.8	25.9	24.1	13.0	8.0	11.1	-	0.6	
東部地域	271	66.8	52.8	51.7	41.3	33.6	22.1	20.7	10.0	4.4	8.9	1.8	-	
さいたま地域	329	64.4	51.7	51.7	41.3	40.1	27.4	16.7	6.4	4.6	12.2	1.2	-	
県央地域	141	68.1	52.5	50.4	44.0	40.4	25.5	23.4	12.1	6.4	8.5	1.4	0.7	
川越比企地域	215	75.8	55.8	51.6	43.3	33.0	24.2	27.9	8.8	3.3	12.6	0.9	-	
西部地域	210	71.4	51.0	51.9	44.3	41.4	30.5	22.4	6.2	5.7	12.4	1.0	0.5	
利根地域	176	65.9	52.3	55.7	45.5	34.7	20.5	23.9	3.4	2.3	9.1	-	1.1	
北部地域	125	65.6	60.0	49.6	36.8	40.0	28.0	24.0	5.6	3.2	11.2	1.6	-	
秩父地域	32	59.4	43.8	68.8	46.9	25.0	6.3	25.0	6.3	-	9.4	-	-	
性別														
男性	791	67.8	51.7	51.3	42.5	36.0	25.9	21.5	7.6	3.3	8.7	0.9	0.5	
女性	1,022	69.4	54.7	53.7	43.1	38.1	24.8	23.0	8.3	5.0	12.0	1.0	0.1	
年代別														
18・19歳	23	73.9	30.4	60.9	21.7	21.7	4.3	26.1	-	26.1	13.0	-	-	
20歳代	137	69.3	40.1	46.7	33.6	27.0	15.3	19.0	8.8	10.2	12.4	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	160	70.0	38.8	48.8	31.9	26.3	13.8	20.0	7.5	12.5	12.5	-	-	
30歳代	204	59.8	45.1	40.2	35.3	25.0	16.7	16.2	4.4	2.9	19.6	1.5	-	
40歳代	285	68.1	46.7	42.5	30.5	29.1	18.2	21.1	8.8	5.3	15.1	1.4	-	
50歳代	352	66.5	57.1	51.4	39.8	37.5	30.7	17.0	7.4	4.3	11.1	1.1	0.3	
60歳代	363	71.6	61.2	63.1	46.6	45.7	28.9	26.2	8.0	3.9	8.5	0.6	0.3	
70歳以上	472	71.2	56.6	57.8	56.1	44.1	29.7	27.3	10.2	2.1	4.4	0.8	0.8	
性・年代別														
男性／18・19歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	66.7	-	33.3	33.3	-	-	
20歳代	56	69.6	37.5	46.4	39.3	26.8	16.1	12.5	8.9	5.4	3.6	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	59	67.8	37.3	45.8	37.3	25.4	15.3	15.3	8.5	6.8	5.1	-	-	
30歳代	79	50.6	45.6	40.5	34.2	29.1	17.7	16.5	3.8	3.8	17.7	2.5	-	
40歳代	115	64.3	47.0	38.3	27.8	28.7	16.5	20.9	7.0	4.3	17.4	0.9	-	
50歳代	156	64.7	55.1	47.4	38.5	32.1	32.7	19.2	9.0	5.1	7.1	1.3	0.6	
60歳代	161	73.9	57.8	61.5	45.3	42.9	25.5	20.5	7.5	2.5	7.5	-	0.6	
70歳以上	221	73.3	53.4	58.8	55.2	43.0	32.1	27.6	8.1	0.9	4.1	0.9	0.9	
女性／18・19歳	19	84.2	31.6	63.2	26.3	26.3	5.3	15.8	-	21.1	10.5	-	-	
20歳代	79	68.4	41.8	45.6	30.4	27.8	15.2	24.1	8.9	13.9	17.7	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	98	71.4	39.8	49.0	29.6	27.6	13.3	22.4	7.1	15.3	16.3	-	-	
30歳代	124	65.3	44.4	40.3	35.5	21.8	16.1	16.1	4.8	2.4	21.0	0.8	-	
40歳代	164	72.0	46.3	46.3	32.3	29.3	20.1	21.3	9.8	5.5	13.4	1.8	-	
50歳代	192	68.2	59.9	55.7	41.1	42.2	29.2	15.6	6.3	3.1	14.1	1.0	-	
60歳代	200	69.5	64.5	64.5	48.0	48.5	32.0	31.0	8.5	5.0	9.5	1.0	-	
70歳以上	242	69.4	59.9	57.4	57.0	45.0	27.7	27.3	11.2	3.3	5.0	0.8	0.4	
職業別														
自営業・家族従業（計）	119	68.9	54.6	47.1	47.1	35.3	25.2	20.2	10.9	4.2	8.4	1.7	-	
雇用者（計）	980	67.2	52.2	48.5	37.0	34.7	23.1	21.6	6.6	3.9	13.5	0.7	0.1	
無職（計）	723	70.7	54.6	58.6	49.2	40.9	28.1	23.5	9.5	5.0	7.1	1.0	0.7	
ライフステージ別														
独身期	207	70.5	44.0	46.9	35.7	27.1	16.9	22.7	7.2	9.7	13.5	-	-	
家族形成期	122	57.4	41.8	39.3	32.8	23.0	15.6	11.5	5.7	4.1	21.3	1.6	-	
家族成長前期	155	67.1	47.1	44.5	30.3	29.0	18.7	20.0	9.0	6.5	17.4	1.9	-	
家族成長後期	125	60.8	46.4	44.8	36.0	27.2	18.4	13.6	7.2	5.6	12.8	0.8	-	
家族成熟期	328	70.7	57.0	54.3	43.0	40.5	24.7	17.1	7.3	2.1	7.9	1.5	-	
高齢期	451	71.0	57.4	59.4	52.3	43.7	29.5	28.2	8.4	2.9	5.8	0.2	0.2	
その他	468	69.7	56.4	55.1	45.3	42.3	31.4	26.3	9.6	3.8	10.0	1.3	1.1	

(12-1-2) 不安を感じない理由

◇「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」が44.2%

(問15(1)で「4. あまり不安を感じていない」または「5. まったく不安を感じていない」とお答えの方にお伺いします。)

問15(1)-2 あなたは、なぜ、不安を感じないのですか。(〇はいくつでも)



※令和3年度調査は、「ワクチン接種が始まったから」、「かぜの一種だから」、「有効な治療薬の開発が進みそうだから」

新型コロナウイルス感染症に感染の不安を感じていない理由は、「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」(44.2%)が4割台半ばと最も高く、次いで「ワクチン接種が進んでいるから」(37.4%)、「重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから」(28.1%)、「かぜの一種と考えているから」(18.4%)などとなっている。一方で、「特に理由はない・なんとなく」(10.0%)が1割となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、「重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから」が11.4ポイント、「かぜの一種と考えているから」が10.5ポイント増加している。

【属性別比較】

※下記の「不安を感じていない」理由の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は南部地域（52.5%）とさいたま地域（50.0%）で5割台と高くなっている。「ワクチン接種が進んでいるから」は利根地域（50.0%）で5割と最も高くなっている。

② 性別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は女性（47.1%）の方が男性（42.6%）よりも4.5ポイント高く、「ワクチン接種が進んでいるから」も女性（40.4%）の方が男性（36.1%）よりも4.3ポイント高くなっている。

③ 年代別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は60歳代（53.8%）で5割強と最も高くなっている。また、「ワクチン接種が進んでいるから」は70歳以上（56.5%）で5割台半ばを超えて最も高く、60歳代（51.9%）でも5割強と他の年代層に比べて特に高くなっている。また、「重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから」は30歳代（50.0%）で5割と他の年代層に比べて特に高くなっている。

④ 性・年代別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」は男性60歳代（53.3%）で5割強と最も高く、「ワクチン接種が進んでいるから」は女性70歳以上（61.3%）で6割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」と「ワクチン接種が進んでいるから」は無職（計）（47.6%・43.7%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから」と「ワクチン接種が進んでいるから」は高齢期（52.1%・66.7%）で最も高くなっている。

○不安を感じない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

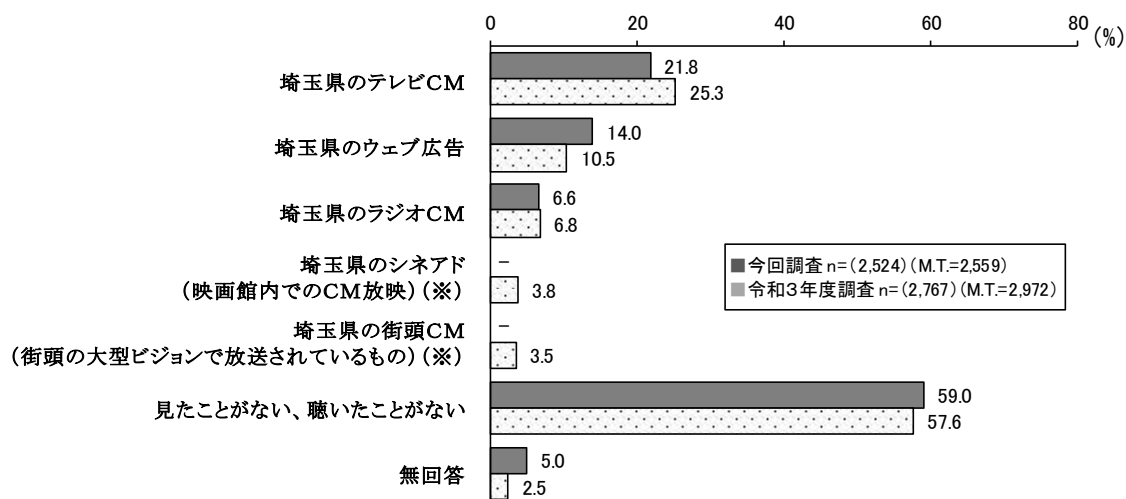
	調査数 n	たける から注 意点 がわ かっ てき を付	ウイ ルス に 対 し て 気 を 付	る ク チ ン 接 種 が 進 ん で い	ら 死 に 至 る 可 能 性 は 低 い か	重 篤 な 状 態 に な つ た り 、 か	か ぜ の 一 種 と 考 え て い る	自 分 が 感 染 す る こ と は な い と 考 え て い る か	医 療 提 供 体 制 が 整 つ て い る か	検 査 体 制 が 整 つ て い る か	有 効 な 治 療 薬 の 開 発 が 進 ん で い る か	そ の 他	特 に 理 由 は な い ・ な ん と	無 回 答
全体	310	44.2	37.4	28.1	18.4	11.3	9.4	7.7	6.1	12.9	10.0	1.3		
地域別														
南部地域	40	52.5	45.0	32.5	27.5	20.0	12.5	10.0	2.5	7.5	10.0	-		
南西部地域	35	37.1	20.0	37.1	25.7	8.6	5.7	5.7	5.7	17.1	17.1	-		
東部地域	59	40.7	39.0	27.1	16.9	5.1	11.9	10.2	6.8	13.6	8.5	1.7		
さいたま地域	64	50.0	35.9	29.7	14.1	4.7	9.4	12.5	10.9	18.8	7.8	1.6		
県央地域	24	50.0	33.3	37.5	25.0	16.7	8.3	-	-	8.3	8.3	-		
川越比企地域	30	26.7	33.3	30.0	16.7	23.3	6.7	10.0	3.3	10.0	6.7	3.3		
西部地域	15	40.0	20.0	6.7	13.3	6.7	13.3	-	-	20.0	13.3	6.7		
利根地域	30	46.7	50.0	10.0	13.3	16.7	3.3	3.3	6.7	6.7	16.7	-		
北部地域	11	54.5	72.7	27.3	9.1	-	9.1	-	9.1	9.1	-	-		
秩父地域	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-		
性別														
男性	169	42.6	36.1	30.2	18.3	11.8	9.5	7.7	3.6	13.0	10.7	0.6		
女性	136	47.1	40.4	25.7	19.1	9.6	9.6	8.1	9.6	11.0	9.6	2.2		
年代別														
18・19歳	8	50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	-	25.0	12.5	-		
20歳代	39	43.6	28.2	28.2	10.3	15.4	15.4	10.3	5.1	15.4	10.3	-		
【再掲】10歳代・20歳代	47	44.7	27.7	27.7	12.8	14.9	14.9	10.6	4.3	17.0	10.6	-		
30歳代	52	36.5	26.9	50.0	38.5	7.7	5.8	5.8	-	17.3	3.8	1.9		
40歳代	51	49.0	25.5	33.3	23.5	5.9	5.9	9.8	7.8	9.8	19.6	-		
50歳代	46	39.1	30.4	21.7	19.6	6.5	2.2	4.3	6.5	10.9	10.9	-		
60歳代	52	53.8	51.9	21.2	9.6	15.4	15.4	7.7	5.8	11.5	3.8	1.9		
70歳以上	62	41.9	56.5	16.1	8.1	16.1	11.3	8.1	11.3	11.3	11.3	3.2		
性・年代別														
男性／18・19歳	5	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-		
20歳代	20	60.0	25.0	40.0	10.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	5.0	-		
【再掲】10歳代・20歳代	25	60.0	28.0	36.0	16.0	12.0	20.0	16.0	8.0	20.0	4.0	-		
30歳代	27	29.6	22.2	44.4	29.6	11.1	3.7	3.7	-	14.8	3.7	3.7		
40歳代	32	46.9	25.0	40.6	28.1	6.3	9.4	12.5	6.3	9.4	18.8	-		
50歳代	24	33.3	37.5	20.8	20.8	12.5	-	4.2	-	12.5	8.3	-		
60歳代	30	53.3	50.0	26.7	10.0	6.7	13.3	3.3	-	13.3	6.7	-		
70歳以上	31	32.3	51.6	12.9	6.5	22.6	9.7	6.5	6.5	9.7	19.4	-		
女性／18・19歳	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-		
20歳代	15	26.7	40.0	13.3	13.3	13.3	13.3	6.7	-	-	20.0	-		
【再掲】10歳代・20歳代	17	29.4	35.3	17.6	11.8	11.8	11.8	5.9	-	-	23.5	-		
30歳代	25	44.0	32.0	56.0	48.0	4.0	8.0	8.0	-	20.0	4.0	-		
40歳代	19	52.6	26.3	21.1	15.8	5.3	-	5.3	10.5	10.5	21.1	-		
50歳代	22	45.5	22.7	22.7	18.2	-	4.5	4.5	13.6	9.1	13.6	-		
60歳代	22	54.5	54.5	13.6	9.1	27.3	18.2	13.6	13.6	9.1	-	4.5		
70歳以上	31	51.6	61.3	19.4	9.7	9.7	12.9	9.7	16.1	12.9	3.2	6.5		
職業別														
自営業・家族従業（計）	35	37.1	34.3	31.4	25.7	5.7	2.9	5.7	8.6	20.0	5.7	5.7		
雇用者（計）	169	43.8	34.3	31.4	21.3	8.9	7.7	7.1	4.1	13.0	10.7	0.6		
無職（計）	103	47.6	43.7	22.3	11.7	17.5	14.6	8.7	7.8	10.7	8.7	1.0		
ライフステージ別														
独身期	54	38.9	24.1	25.9	24.1	16.7	11.1	7.4	1.9	16.7	11.1	-		
家族形成期	32	40.6	31.3	43.8	21.9	3.1	6.3	9.4	6.3	28.1	3.1	3.1		
家族成長前期	26	46.2	23.1	69.2	42.3	3.8	11.5	7.7	-	-	-	-		
家族成長後期	13	46.2	30.8	38.5	15.4	7.7	-	7.7	-	15.4	23.1	-		
家族成熟期	62	46.8	41.9	21.0	12.9	11.3	4.8	6.5	6.5	8.1	12.9	1.6		
高齢期	48	52.1	66.7	12.5	12.5	14.6	18.8	10.4	12.5	8.3	4.2	-		
その他	75	41.3	33.3	22.7	13.3	12.0	8.0	6.7	8.0	14.7	14.7	2.7		

(12-2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報

◇「見たことがない、聞いたことがない」が59.0%

問15(2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報についておたずねします。

あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する次の県のCM等の広報を見たり聴いたりしたことがありますか。見たり聴いたりしたことがあるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



※「埼玉県のシネアド(映画館内でのCM放映)」、「埼玉県の街頭CM(街頭の大型ビジョンで放送されているもの)」は令和3年度調査のみの項目

新型コロナウイルス感染症に関する県の広報は、「見たことがない、聞いたことがない」が59.0%で約6割と最も高くなっている。

見たり聴いたりしたことがある広報では、「埼玉県のテレビCM」(21.8%)が2割強で最も高く、次いで「埼玉県のウェブ広告」(14.0%)、「埼玉県のラジオCM」(6.6%)となっている。

【過去調査との比較】

令和3年度調査と比べて、「埼玉県のテレビCM」が3.5ポイント減少し、「埼玉県のウェブ広告」が3.5ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「見たことがない、聞いたことがない」は南西部地域（69.2%）で約7割と最も高くなっている。「埼玉県のテレビCM」は川越比企地域（28.1%）で3割弱と最も高く、南西部地域（15.2%）で最も低くなっている。

② 性別

「埼玉県のラジオCM」は男性（8.9%）の方が女性（4.9%）よりも4.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「見たことがない、聞いたことがない」は30歳代（67.3%）と10歳代・20歳代（66.9%）で6割台半ばを超えて高く、年代が上がるほど割合が低くなっている。「埼玉県のテレビCM」は70歳以上（28.6%）で3割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「見たことがない、聞いたことがない」は男性30歳代（72.4%）で7割強と最も高く、女性60歳代（49.8%）で低くなっている。「埼玉県のテレビCM」は女性70歳以上（29.8%）で約3割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「見たことがない、聞いたことがない」は雇用者（計）（63.6%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「見たことがない、聞いたことがない」は家族成長前期（70.9%）で7割を超えて最も高くなっている。「埼玉県のテレビCM」は高齢期（26.5%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○新型コロナウイルス感染症に関する県の広報・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	埼玉県 の テレビ CM	埼玉県 の ウェブ 広告	埼玉県 の ラジオ CM	聞いた ことが ない、 聞いた ことが ない	無 回 答
全体	2,524	21.8	14.0	6.6	59.0	5.0
地域別						
南部地域	242	22.3	14.0	3.7	60.7	3.3
南西部地域	224	15.2	11.2	4.5	69.2	4.0
東部地域	399	19.0	11.8	3.8	63.9	6.0
さいたま地域	451	21.3	17.3	6.0	56.8	5.8
県央地域	192	19.8	16.7	4.2	60.9	3.1
川越比企地域	288	28.1	17.7	10.1	49.3	3.5
西部地域	259	20.5	10.0	9.7	61.0	5.4
利根地域	244	25.8	10.7	8.6	56.6	7.8
北部地域	159	23.3	16.4	10.7	56.0	1.9
秩父地域	37	18.9	13.5	10.8	54.1	10.8
性別						
男性	1,092	21.0	12.8	8.9	59.8	4.5
女性	1,369	22.3	15.3	4.9	58.4	5.1
年代別						
18・19歳	35	17.1	17.1	8.6	62.9	-
20歳代	201	20.4	13.4	3.0	67.7	2.0
【再掲】10歳代・20歳代	236	19.9	14.0	3.8	66.9	1.7
30歳代	300	14.7	16.0	6.0	67.3	1.7
40歳代	378	17.2	13.5	6.9	65.6	2.4
50歳代	456	16.7	16.9	5.9	63.2	4.2
60歳代	492	26.2	15.9	9.3	51.8	4.9
70歳以上	636	28.6	10.2	6.4	50.8	9.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	33.3	11.1	44.4	-
20歳代	86	23.3	16.3	3.5	65.1	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	22.1	17.9	4.2	63.2	1.1
30歳代	127	10.2	11.8	7.9	72.4	1.6
40歳代	158	19.6	13.3	9.5	63.3	0.6
50歳代	206	15.5	14.1	7.8	64.6	4.4
60歳代	220	24.1	12.3	11.8	54.5	5.5
70歳以上	285	27.7	10.9	9.1	51.6	8.4
女性／18・19歳	24	20.8	12.5	8.3	66.7	-
20歳代	107	17.8	11.2	1.9	70.1	2.8
【再掲】10歳代・20歳代	131	18.3	11.5	3.1	69.5	2.3
30歳代	172	18.0	19.2	4.7	63.4	1.7
40歳代	213	15.0	14.1	4.7	67.1	3.8
50歳代	246	17.9	19.1	4.5	61.8	4.1
60歳代	269	27.5	19.0	7.1	49.8	4.5
70歳以上	336	29.8	9.8	4.5	50.3	10.1
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	23.4	16.8	10.3	52.7	6.5
雇用者（計）	1,336	18.2	14.5	6.8	63.6	3.1
無職（計）	958	26.1	13.0	5.9	54.0	7.1
ライフステージ別						
独身期	305	18.4	14.8	4.3	67.2	2.0
家族形成期	175	14.9	14.3	5.1	68.6	1.1
家族成長前期	203	13.8	11.3	6.4	70.9	2.0
家族成長後期	164	17.1	21.3	3.7	59.1	4.9
家族成熟期	459	21.4	16.6	8.9	57.1	4.6
高齢期	586	26.5	12.1	6.7	53.8	7.0
その他	632	25.2	12.3	7.3	54.7	7.1

3 県政への要望 (問 16)

- 「県政への要望」は、昭和 43 年度の第 1 回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきています。

平成 16 年度において社会状況等の変化を踏まえ、平成 7 年度から平成 15 年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成 15 年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

- 令和 2 年度において社会状況等の変化を踏まえ、選択肢を一部追加しました。
- 平成 27 年度までは、満 20 歳以上の方を調査対象として実施しており、平成 28 年度以降は満 18 歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和 2 年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

3. 県政への要望について

◇「災害から県民をまもる」が25.6%

問16 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)

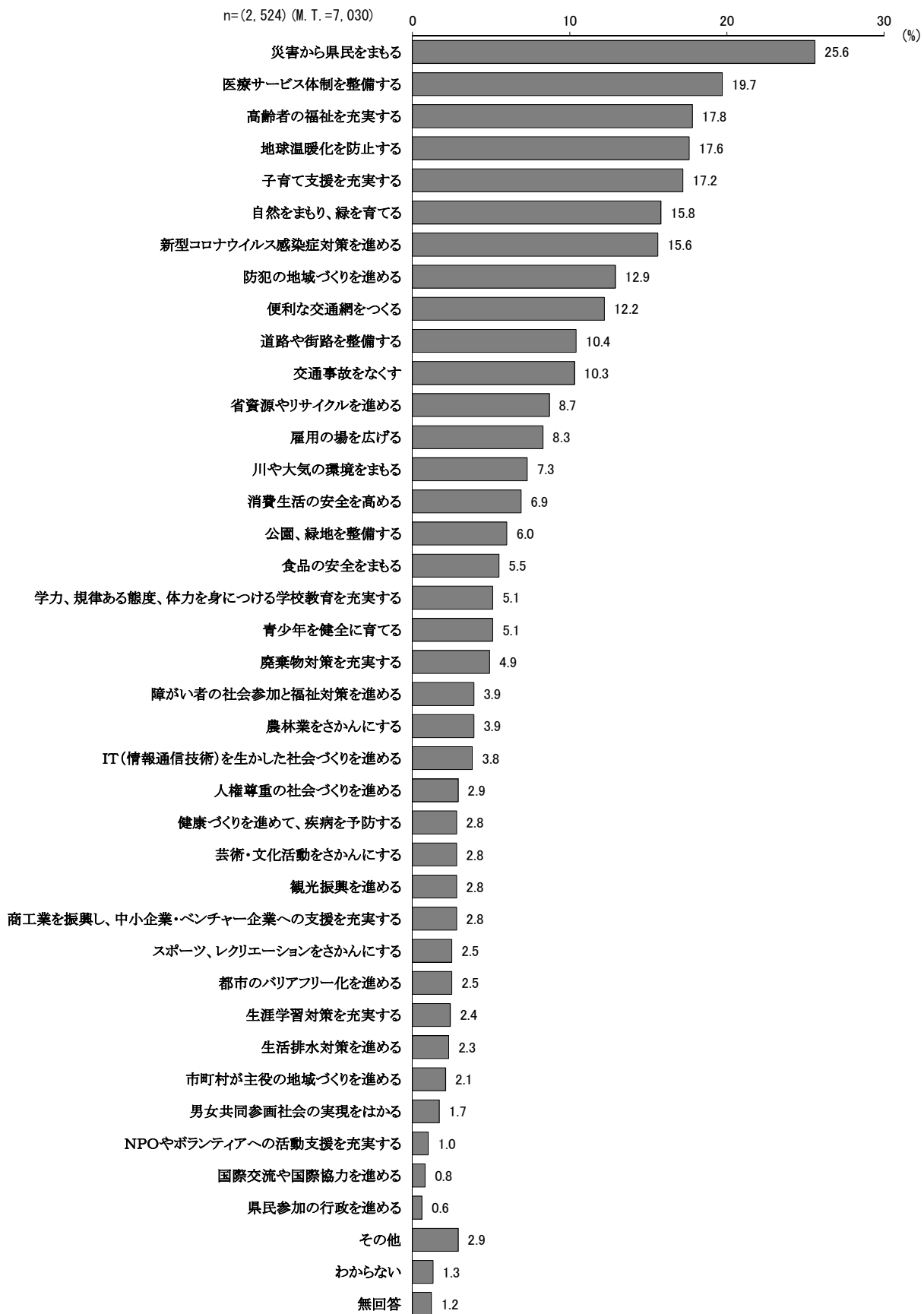
		今 回	前回（令和3年度調査）		増減差
1位	災害から県民をまもる	25.6%	25.0%	(2位)	0.6
2位	医療サービス体制を整備する	19.7	19.8	(3位)	△ 0.1
3位	高齢者の福祉を充実する	17.8	15.6	(4位)	2.2
4位	地球温暖化を防止する	17.6	14.9	(5位)	2.7
5位	子育て支援を充実する	17.2	14.3	(6位)	2.9
6位	自然をまもり、緑を育てる	15.8	13.8	(7位)	2.0
7位	新型コロナウイルス感染症対策を進める	15.6	26.8	(1位)	△ 11.2
8位	防犯の地域づくりを進める	12.9	13.0	(8位)	△ 0.1
9位	便利な交通網をつくる	12.2	11.2	(11位)	1.0
10位	道路や街路を整備する	10.4	11.8	(9位)	△ 1.4

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の令和3年度調査を比べると、前回1位の「新型コロナウイルス感染症対策を進める」が7位に下がり、「災害から県民をまもる」が1位、「医療サービス体制を整備する」が2位となっている。また、「便利な交通網をつくる」は前回11位から順位を2つ上げて9位となっている。

前回調査との増減をみると、「新型コロナウイルス感染症対策を進める」が11.2ポイント減少、「道路や街路を整備する」が1.4ポイント減少している。一方、「子育て支援を充実する」は2.9ポイント増加している。

○「県政」への要望について



【上位10位の属性別比較】

□第1位／災害から県民をまもる

地域別では南部地域（32.2%）で3割強と最も高く、南西部地域（17.9%）で最も低くなっている。
年代別では40歳代（33.3%）が3割強と最も高く、10歳代・20歳代（16.9%）で最も低くなっている。

性・年代別では女性40歳代（36.2%）が3割台半ばを超えて最も多く、男女ともに10歳代・20歳代（各16.8%）で最も低くなっている。

ライフステージ別では、家族成熟期（28.5%）で3割弱と最も高く、家族形成期（20.0%）で最も低くなっている。

□第2位／医療サービス体制を整備する

地域別では北部地域（22.6%）で2割強と最も高く、秩父地域（8.1%）で最も低くなっている。

性別では女性（21.8%）の方が男性（17.8%）よりも4.0ポイント高くなっている。

性・年代別では女性50歳代（28.5%）と男性60歳代（27.3%）と女性60歳代（26.0%）で2割台後半と高く、男性10歳代・20歳代（10.5%）で最も低くなっている。

ライフステージ別では家族成熟期（22.4%）で2割強と最も高く、独身期（14.4%）で最も低くなっている。

□第3位／高齢者の福祉を充実する

地域別では利根地域（22.1%）で2割強と最も高く、秩父地域（10.8%）で最も低くなっている。

性別では男性（19.3%）の方が女性（16.3%）よりも3.0ポイント高くなっている。

性・年代別では、男女ともおおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、男性70歳以上（35.8%）で3割台半ばとなっている。

職業別では無職（計）（26.1%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（26.8%）で2割台半ばを超えて最も高く、家族形成期（1.7%）で最も低くなっている。

□第4位／地球温暖化を防止する

地域別では西部地域（21.2%）で2割強と最も高く、秩父地域（5.4%）で最も低くなっている。

性別では女性（19.8%）の方が男性（14.6%）よりも5.2ポイント高くなっている。

年代別では、おおむね年代が上がるほど割合が高くなっており、70歳以上（25.6%）で2割台半ばと最も高くなっている。

ライフステージ別では高齢期（25.8%）で2割台半ばと最も高く、家族形成期（4.6%）で最も低くなっている。

□第5位／子育て支援を充実する

地域別では南西部地域（22.3%）で2割強と最も高く、利根地域（12.3%）で最も低くなっている。
性別では女性（18.4%）の方が男性（16.2%）よりも2.2ポイント高くなっている。

年代別では30歳代（48.0%）で5割弱と他の年代層を大きく上回って最も高く、50歳代以上になると低くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（63.4%）で6割強と他の層を大きく上回って最も高くなっている。

□第6位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では西部地域（22.8%）で2割強と最も高く、秩父地域（10.8%）で最も低くなっている。
性別では男性（18.7%）の方が女性（13.9%）よりも4.8ポイント高くなっている。

性・年代別では男性10歳代・20歳代（23.2%）で2割強と最も高く、女性40歳代（10.3%）で最も低くなっている。

職業別では自営業・家族従業（計）（22.8%）が2割強と高くなっている。

□第7位／新型コロナウイルス感染症対策を進める

地域別では北部地域（19.5%）で約2割と最も高く、南部地域（12.0%）で最も低くなっている。
性別では女性（16.7%）の方が男性（14.1%）よりも2.6ポイント高くなっている。

年代別では60歳代（18.3%）で2割弱と最も高く、30歳代（9.7%）で最も低くなっている。

性・年代別では女性10歳代・20歳代（22.1%）で2割強と最も高く、男性30歳代（5.5%）で最も低くなっている。

ライフステージ別では高齢期（17.4%）とその他（17.6%）で1割台半ばを超えて高くなっている一方で、家族形成期（7.4%）で最も低くなっている。

□第8位／防犯の地域づくりを進める

地域別では東部地域（17.8%）で1割台半ばを超えて最も高く、秩父地域（5.4%）で最も低くなっている。

性別では女性（13.9%）の方が男性（11.7%）よりも2.2ポイント高くなっている。

年代別では40歳代（19.0%）で約2割と最も高く、70歳以上（7.9%）で最も低くなっている。

ライフステージ別では家族成長前期（19.7%）で約2割と最も高く、高齢期（8.4%）で最も低くなっている。

□第9位／便利な交通網をつくる

地域別では秩父地域（21.6％）で2割強と最も高く、南西部地域（8.9％）で最も低くなっている。
性別では男性（13.8％）の方が女性（11.0％）よりも2.8ポイント高くなっている。

年代別では30歳代（16.3％）で1割台半ばを超えて最も高く、70歳以上（8.5％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性40歳代（20.3％）で2割を超えて最も高く、女性の50歳代（9.3％）と60歳代（8.9％）と男性70歳以上（6.0％）で低くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（16.6％）と独身期（16.1％）で1割台半ばを超えて高く、高齢期（8.4％）で最も低くなっている。

□第10位／道路や街路を整備する

地域別では西部地域（13.9％）で1割強と最も高く、利根地域（7.0％）で最も低くなっている。

性別では男性（11.8％）の方が女性（9.3％）よりも2.5ポイント高くなっている。

年代別では50歳代（15.4％）で1割台半ばと最も高く、70歳以上（6.4％）で最も低くなっている。

性・年代別では男性50歳代（17.5％）で1割台半ばを超えて最も高く、女性70歳以上（6.5％）で最も低くなっている。

ライフステージ別では家族形成期（16.0％）で1割台半ばを超えて最も高く、高齢期（7.2％）で最も低くなっている。

○県政への要望・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	
	調査数	災害から県民をまもる	医療サービス体制を整備する	高齢者の福祉を充実する	地球温暖化を防止する	子育て支援を充実する	自然をまもり、緑を育てる	新型コロナウイルス感染症対策を進める	防犯の地域づくりを進める	便利な交通網をつくる	道路や街路を整備する	交通事故をなくす	省資源やリサイクルを進める	雇用の場を広げる	川や大気 환경을まもる	消費生活の安全を高める	公園、緑地を整備する	食品の安全をまもる	つづける学校教育を充実する	青少年を健全に育てる	廃棄物対策を充実する
	n																				
全体	2,524	25.6	19.7	17.8	17.6	17.2	15.8	15.6	12.9	12.2	10.4	10.3	8.7	8.3	7.3	6.9	6.0	5.5	5.1	5.1	4.9
地域別																					
南部地域	242	32.2	21.5	17.4	12.0	15.3	16.5	12.0	13.2	14.9	12.8	9.1	10.3	10.3	6.2	5.0	7.4	4.1	4.5	2.5	5.4
南西部地域	224	17.9	21.4	17.4	16.5	22.3	19.2	12.9	16.1	8.9	8.5	8.0	12.5	6.7	9.4	7.6	5.4	4.5	5.4	7.1	5.4
東部地域	399	29.3	18.0	20.1	16.3	16.0	12.8	17.8	17.8	11.5	11.3	12.5	7.0	7.8	6.0	6.8	5.3	6.0	4.0	5.3	4.8
さいたま地域	451	28.2	21.1	16.0	18.0	17.3	14.4	16.2	13.7	12.4	10.0	10.6	8.4	9.1	6.4	5.5	8.2	4.7	6.7	5.1	5.3
県央地域	192	24.0	21.9	15.1	15.1	19.8	15.1	13.5	11.5	13.0	8.9	11.5	5.2	7.3	9.4	6.3	5.7	6.3	5.2	5.2	4.2
川越比企地域	288	24.3	17.7	16.7	20.1	18.8	16.0	14.9	10.1	11.1	10.1	11.5	7.6	6.6	10.1	8.3	5.6	5.6	5.2	5.2	2.4
西部地域	259	22.0	18.5	15.4	21.2	16.6	22.8	19.3	9.7	14.7	13.9	7.7	10.4	6.6	6.6	5.4	2.7	6.9	3.9	5.8	6.9
利根地域	244	24.6	19.7	22.1	20.9	12.3	17.2	12.3	9.8	11.5	7.0	9.8	12.7	8.6	8.6	9.8	5.7	4.1	4.1	4.5	5.3
北部地域	159	25.2	22.6	19.5	18.2	20.8	11.3	19.5	11.3	10.7	10.7	10.7	3.8	10.7	4.4	8.2	5.7	6.9	8.8	6.9	3.1
秩父地域	37	18.9	8.1	10.8	5.4	13.5	10.8	13.5	5.4	21.6	10.8	8.1	10.8	21.6	10.8	10.8	8.1	2.7	-	-	10.8
性別																					
男性	1,092	25.7	17.8	19.3	14.6	16.2	18.7	14.1	11.7	13.8	11.8	10.6	9.3	8.2	9.5	5.9	6.7	3.4	4.3	4.7	6.0
女性	1,369	25.9	21.8	16.3	19.8	18.4	13.9	16.7	13.9	11.0	9.3	10.2	8.5	8.5	5.8	7.8	5.4	6.9	5.8	5.6	4.0
年代別																					
18・19歳	35	8.6	14.3	5.7	5.7	31.4	17.1	14.3	28.6	11.4	5.7	31.4	-	5.7	5.7	8.6	-	2.9	8.6	11.4	5.7
20歳代	201	18.4	13.9	4.0	10.0	23.9	17.9	17.9	13.9	16.4	12.9	13.4	8.0	8.5	8.5	8.0	6.5	5.0	5.5	2.0	1.5
【再掲】10歳代・20歳代	236	16.9	14.0	4.2	9.3	25.0	17.8	17.4	16.1	15.7	11.9	16.1	6.8	8.1	8.1	8.1	5.5	4.7	5.9	3.4	2.1
30歳代	300	21.7	15.3	4.0	8.0	48.0	14.3	9.7	13.0	16.3	12.7	11.3	5.7	7.3	7.0	7.7	14.3	6.3	12.0	5.0	2.7
40歳代	378	33.3	18.3	8.2	11.1	25.9	14.0	13.8	19.0	14.8	10.3	13.2	7.4	9.8	5.8	8.5	7.7	3.7	6.9	4.0	2.9
50歳代	456	26.1	23.9	16.9	18.0	7.9	17.3	16.4	16.0	12.9	15.4	9.4	8.8	7.7	8.6	8.1	3.9	5.5	3.1	4.4	5.3
60歳代	492	27.2	26.4	21.7	21.3	11.4	13.6	18.3	10.4	10.2	8.9	8.3	8.9	12.4	7.3	6.1	3.5	4.5	3.0	4.1	7.5
70歳以上	636	24.7	17.0	32.2	25.6	5.8	17.8	16.4	7.9	8.5	6.4	8.3	11.6	5.5	7.5	4.9	4.6	6.9	3.8	7.9	5.8
性・年代別																					
男性／18・19歳	9	-	11.1	-	-	55.6	11.1	-	11.1	11.1	11.1	44.4	-	11.1	11.1	-	-	11.1	22.2	11.1	11.1
20歳代	86	18.6	10.5	5.8	7.0	20.9	24.4	14.0	8.1	18.6	15.1	12.8	14.0	7.0	12.8	8.1	8.1	2.3	4.7	1.2	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	16.8	10.5	5.3	6.3	24.2	23.2	12.6	8.4	17.9	14.7	15.8	12.6	7.4	12.6	7.4	7.4	3.2	6.3	2.1	2.1
30歳代	127	21.3	12.6	3.1	7.9	40.2	15.0	5.5	13.4	18.9	14.2	12.6	3.9	12.6	9.4	9.4	11.0	3.9	11.0	7.1	2.4
40歳代	158	30.4	13.3	7.0	7.6	24.7	19.6	13.3	20.3	20.3	12.7	16.5	7.6	7.0	8.2	8.2	9.5	3.2	5.1	5.1	3.8
50歳代	206	26.7	18.9	13.6	17.0	11.2	17.5	16.0	13.6	17.0	17.5	8.3	7.3	9.2	9.2	5.3	4.4	3.4	1.9	3.4	5.3
60歳代	220	30.0	27.3	27.7	16.4	10.5	15.0	17.3	10.0	11.8	10.0	9.1	10.0	11.4	8.2	5.9	4.5	1.8	0.5	3.2	11.4
70歳以上	285	23.9	16.8	35.8	21.1	6.0	21.8	15.1	7.4	6.0	6.7	7.7	12.6	4.2	10.5	2.8	6.3	4.6	4.9	6.3	6.7
女性／18・19歳	24	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0	20.8	20.8	37.5	12.5	4.2	29.2	-	4.2	4.2	12.5	-	-	4.2	12.5	4.2
20歳代	107	18.7	17.8	2.8	11.2	26.2	13.1	22.4	19.6	15.9	11.2	14.0	3.7	9.3	5.6	8.4	4.7	6.5	5.6	2.8	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	16.8	17.6	3.8	10.7	26.0	14.5	22.1	22.9	15.3	9.9	16.8	3.1	8.4	5.3	9.2	3.8	5.3	5.3	4.6	1.5
30歳代	172	22.1	17.4	4.7	8.1	54.1	14.0	12.2	12.8	14.5	11.6	10.5	7.0	3.5	5.2	6.4	16.9	8.1	12.8	3.5	2.9
40歳代	213	36.2	21.6	8.5	14.1	27.7	10.3	14.1	18.8	11.3	8.5	10.3	7.5	12.2	4.2	8.5	6.1	4.2	8.5	3.3	2.3
50歳代	246	26.0	28.5	19.9	18.7	5.3	17.5	16.7	17.9	9.3	13.4	10.6	10.2	6.5	8.1	10.6	3.7	6.5	3.7	5.3	5.3
60歳代	269	24.9	26.0	17.1	25.3	12.3	11.9	19.0	10.8	8.9	7.8	7.8	8.2	13.4	6.3	6.3	2.6	6.7	5.2	4.8	4.5
70歳以上	336	25.9	17.6	28.9	29.5	5.7	14.9	16.7	7.4	10.1	6.5	8.9	11.3	6.3	5.4	6.8	3.3	8.9	3.0	9.5	5.4
職業別																					
自営業・家族従業(計)	184	25.5	13.6	12.0	22.8	14.7	22.8	12.0	14.7	11.4	10.3	10.9	8.7	7.6	12.5	7.6	8.7	4.3	4.3	6.0	6.0
雇用者(計)	1,336	27.1	19.8	12.3	14.9	20.6	15.8	15.3	13.8	14.1	11.7	11.2	7.7	9.1	7.1	7.8	5.8	5.2	5.8	4.6	3.8
無職(計)	958	23.8	20.8	26.1	20.1	13.6	14.5	17.2	11.3	9.6	9.0	9.2	10.3	7.6	6.7	5.4	5.6	6.1	4.6	5.5	5.9
ライフステージ別																					
独身期	305	20.7	14.4	5.2	10.5	19.7	16.7	15.4	16.4	16.1	10.2	14.4	7.9	9.8	7.9	8.5	5.2	4.9	4.6	3.3	3.3
家族形成期	175	20.0	15.4	1.7	4.6	63.4	15.4	7.4	9.7	16.6	16.0	9.1	2.9	5.1	7.4	8.0	19.4	5.1	11.4	6.9	2.3
家族成長前期	203	24.6	17.2	6.4	10.3	47.8	14.3	12.3	19.7	11.3	11.3	14.8	8.4	6.4	5.4	4.9	12.8	4.9	16.7	4.9	2.0
家族成長後期	164	25.6	22.0	6.7	16.5	22.0	15.9	14.6	18.3	13.4	13.4	12.2	6.1	4.9	8.5	11.6	4.9	9.8	4.3	4.3	3.7
家族成熟期	459	28.5	22.4	20.5	21.4	8.1	15.5	15.9	13.5	12.0	12.9	9.6	9.2	11.8	5.4	5.2	4.6	4.1	3.5	5.0	6.1
高齢期	586	25.3	20.6	26.8	25.8	11.3	15.2	17.4	8.4	8.4	7.2	6.3	10.9	8.2	7.2	5.5	4.8	6.8	4.4	7.5	6.0
その他	632	28.0	20.9	24.5	16.8	4.1	16.9	17.6	12.2	12.8	9.0	11.1	9.2	7.4	8.9	7.6	2.8	4.7	1.9	3.6	5.7

順位		21	23	24	25					29		31	32	33	34	35	36	37	(%)		
	調査数	障がい者の社会参加と福祉対策を進める	農林業をさかんにする	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める	人権尊重の社会づくりを進める	健康づくりを進めて、疾病を予防する	芸術・文化活動をさかんにする	観光振興を進める	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	都市のバリアフリー化を進める	生涯学習対策を充実する	生活排水対策を進める	市町村が主役の地域づくりを進める	男女共同参画社会の実現をはかる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	国際交流や国際協力を進める	県民参加の行政を進める	その他	わからない	無回答
全体	2,524	3.9	3.9	3.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	2.4	2.3	2.1	1.7	1.0	0.8	0.6	2.9	1.3	1.2
地域別																					
南部地域	242	1.7	2.1	5.0	2.9	3.7	2.1	1.7	3.7	0.8	3.3	2.5	1.7	2.1	0.8	1.2	0.4	0.8	3.3	1.2	2.1
南西部地域	224	5.8	2.7	4.5	4.0	3.6	4.5	1.8	3.1	2.7	3.6	2.7	1.3	1.8	2.7	1.3	0.9	0.9	2.7	0.9	0.4
東部地域	399	5.8	3.5	3.8	2.5	2.3	3.5	2.3	3.0	2.5	1.8	2.8	3.3	1.8	1.5	0.8	0.5	-	2.8	1.0	0.5
さいたま地域	451	2.2	4.0	6.0	1.6	2.0	2.9	3.1	3.3	3.1	2.7	3.1	1.8	1.3	1.6	1.3	0.4	0.7	2.9	0.9	1.3
県央地域	192	3.1	3.6	5.2	3.8	3.1	2.1	2.6	1.6	2.6	3.0	2.1	1.6	4.2	2.1	0.5	2.6	0.5	3.1	1.6	1.6
川越比企地域	288	4.9	4.2	2.8	3.8	4.2	2.4	2.4	1.4	2.8	1.0	2.4	4.2	2.8	1.7	1.4	1.4	1.4	2.8	1.0	1.4
西部地域	259	3.5	4.2	0.8	2.7	1.5	3.1	3.1	2.3	3.1	1.9	1.9	1.5	2.3	1.5	1.2	-	-	4.6	1.9	0.8
利根地域	244	2.5	5.3	1.6	3.3	3.3	2.5	5.7	2.9	2.0	2.5	3.3	0.8	2.0	2.0	-	1.2	-	1.6	1.6	1.2
北部地域	159	4.4	5.0	1.9	2.5	2.5	1.3	2.5	2.5	3.8	-	-	3.1	1.3	3.1	0.6	0.6	1.3	1.3	1.3	0.6
秩父地域	37	5.4	5.4	10.8	2.7	-	5.4	2.7	8.1	-	-	-	5.4	5.4	-	2.7	-	2.7	5.4	5.4	2.7
性別																					
男性	1,092	4.1	3.9	5.6	2.9	2.3	2.4	2.8	3.4	3.5	2.3	2.1	2.3	2.3	0.5	0.8	0.7	0.8	3.1	1.3	1.0
女性	1,369	3.4	3.7	2.4	2.8	3.2	3.1	2.8	2.3	1.8	2.7	2.7	2.2	2.0	2.6	1.2	0.9	0.4	2.6	1.2	0.9
年代別																					
18・19歳	35	2.9	2.9	-	5.7	-	5.7	2.9	2.9	8.6	5.7	5.7	-	5.7	11.4	-	-	-	5.7	-	-
20歳代	201	3.0	3.5	10.4	5.0	2.5	6.0	7.5	4.0	4.5	2.5	1.0	0.5	0.5	6.0	0.5	1.0	0.5	2.0	2.5	-
【再掲】10歳代・20歳代	236	3.0	3.4	8.9	5.1	2.1	5.9	6.8	3.8	5.1	3.0	1.7	0.4	1.3	6.8	0.4	0.8	0.4	2.5	2.1	-
30歳代	300	1.7	1.7	6.0	4.3	0.7	2.7	4.7	4.7	2.0	1.7	2.0	1.0	1.7	1.7	0.3	0.3	-	5.7	1.3	-
40歳代	378	4.5	2.4	5.0	1.6	2.1	3.7	1.1	3.4	2.4	1.3	2.9	1.9	0.8	1.6	1.3	0.5	1.3	4.5	1.1	0.5
50歳代	456	5.3	2.4	2.6	2.0	1.8	2.0	3.3	2.4	2.6	3.1	0.9	2.2	1.8	0.2	1.3	1.3	0.2	1.5	2.0	1.5
60歳代	492	3.5	6.1	3.5	2.2	4.1	1.8	2.8	2.6	2.0	2.2	3.3	2.6	3.0	1.6	1.6	0.6	0.6	3.0	0.6	1.0
70歳以上	636	3.9	5.2	1.3	3.1	4.2	2.7	1.1	1.6	2.4	3.1	3.1	3.5	3.0	0.9	0.6	0.9	0.8	1.6	1.1	1.9
性・年代別																					
男性/18・19歳	9	-	-	-	-	-	-	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-
20歳代	86	3.5	3.5	14.0	4.7	2.3	3.5	8.1	5.8	7.0	2.3	2.3	1.2	-	1.2	-	-	-	2.3	3.5	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	3.2	3.2	12.6	4.2	2.1	3.2	7.4	6.3	8.4	4.2	2.1	1.1	-	2.1	-	-	-	2.1	3.2	-
30歳代	127	1.6	2.4	7.9	4.7	0.8	3.1	5.5	5.5	3.1	1.6	1.6	0.8	2.4	0.8	0.8	-	-	4.7	1.6	-
40歳代	158	2.5	3.2	6.3	1.9	1.3	3.2	0.6	5.1	1.3	-	2.5	1.3	0.6	-	-	0.6	1.3	4.4	1.3	0.6
50歳代	206	6.8	1.9	4.9	1.9	0.5	1.0	3.4	3.4	3.4	4.4	1.0	2.9	1.5	-	1.5	1.9	0.5	1.9	1.5	1.9
60歳代	220	4.1	4.5	5.9	2.3	3.6	1.4	2.3	1.8	3.2	1.4	2.3	2.3	4.1	-	1.4	0.5	1.4	3.6	0.9	-
70歳以上	285	4.6	6.3	2.1	3.5	3.9	3.2	1.4	1.8	3.5	2.5	2.8	3.5	3.2	0.7	0.7	0.7	1.1	2.5	0.7	2.1
女性/18・19歳	24	4.2	4.2	-	4.2	-	8.3	4.2	-	4.2	-	8.3	-	8.3	8.3	-	-	-	-	4.2	-
20歳代	107	2.8	1.9	8.4	5.6	2.8	7.5	7.5	2.8	2.8	2.8	-	-	0.9	9.3	0.9	1.9	0.9	1.9	0.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.1	2.3	6.9	5.3	2.3	7.6	6.9	2.3	3.1	2.3	1.5	-	2.3	9.2	0.8	1.5	0.8	2.3	0.8	-
30歳代	172	1.7	1.2	4.1	4.1	0.6	2.3	4.1	4.1	1.2	1.7	2.3	1.2	0.6	2.3	-	0.6	-	6.4	1.2	-
40歳代	213	5.6	1.9	4.2	1.4	2.8	4.2	1.4	1.9	2.8	2.3	2.8	2.3	0.9	2.8	2.3	0.5	1.4	4.2	0.5	0.5
50歳代	246	3.7	2.8	0.8	2.0	2.8	2.8	3.3	1.6	2.0	2.0	0.8	1.6	2.0	0.4	1.2	0.8	-	1.2	2.4	0.8
60歳代	269	3.0	7.4	1.5	2.2	4.5	2.2	3.3	3.3	1.1	3.0	4.1	3.0	2.2	3.0	1.9	0.7	-	2.6	0.4	1.9
70歳以上	336	3.0	4.5	0.6	3.0	4.5	2.1	0.9	1.5	1.5	3.9	3.6	3.3	3.0	1.2	0.6	1.2	0.6	0.9	1.2	1.5
職業別																					
自営業・家族従業(計)	184	2.7	2.7	2.2	1.1	2.7	2.7	2.2	8.7	1.1	2.2	1.6	1.6	2.7	1.1	2.2	-	1.1	2.7	0.5	1.6
雇用者(計)	1,336	3.7	3.3	4.9	2.8	2.6	2.8	3.4	2.8	2.8	2.1	2.5	2.2	1.7	2.0	1.3	0.8	0.7	3.4	1.6	0.4
無職(計)	958	4.3	4.9	2.7	3.2	3.0	2.9	2.0	1.8	2.5	2.9	2.3	2.5	2.6	1.5	0.3	0.9	0.4	2.2	0.8	1.7
ライフステージ別																					
独身期	305	2.3	3.0	8.5	7.2	2.0	5.9	6.2	5.2	4.6	3.3	1.6	1.3	1.3	5.2	0.3	0.7	0.3	4.6	2.6	-
家族形成期	175	2.9	1.7	6.3	2.9	0.6	2.9	5.1	3.4	2.3	1.1	2.3	0.6	2.3	1.7	0.6	0.6	-	3.4	0.6	-
家族成長前期	203	3.0	1.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.5	1.5	0.5	2.0	-	-	2.5	-	-	0.5	4.4	0.5	0.5
家族成長後期	164	4.9	3.0	4.9	-	2.4	1.8	2.4	2.4	2.4	0.6	2.4	2.4	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.8	1.8	0.6
家族成熟期	459	4.1	4.6	2.4	2.8	1.7	2.4	3.3	2.0	3.1	3.1	2.6	2.4	2.0	0.9	1.3	0.9	0.4	2.8	1.1	1.1
高齢期	586	3.1	6.5	2.4	3.1	4.9	1.9	2.0	2.2	2.0	2.4	2.9	3.4	3.4	1.2	1.4	1.0	0.3	1.0	1.2	1.4
その他	632	5.5	3.0	3.0	1.7	3.0	3.2	1.4	2.7	2.1	3.3	2.4	2.7	2.1	1.1	1.1	0.8	1.1	3.3	1.3	2.4

【平成30年度以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、前回の令和3年度の1位の「新型コロナウイルス感染症対策を進める」が順位を6つ下げ7位となった。1位の「災害から県民をまもる」(1位→3位→2位→2位→1位)、2位の「医療サービス体制を整備する」(3位→2位→3位→3位→2位)、3位の「高齢者の福祉を充実する」(2位→1位→5位→4位→3位)、4位の「地球温暖化を防止する」(10位→9位→4位→5位→4位)、5位の「子育て支援を充実する」(4位→4位→6位→6位→5位)、6位の「自然をまもり、緑を育てる」(6位→10位→6位→7位→6位)は前回から順位を1つ上げた。8位の「防犯の地域づくりを進める」(5位→5位→8位→8位→8位)は前回順位を維持している。9位の「便利な交通網をつくる」(8位→8位→9位→11位→9位)は前回から順位を2つ上げた。10位の「道路や街路を整備する」(7位→7位→9位→9位→10位)は前回から順位を1つ下げた。

順位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	災害から県民をまもる 25.1%	高齢者の福祉を充実する 24.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%	災害から県民をまもる 25.6%
2	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	災害から県民をまもる 25.5%	災害から県民をまもる 25.0%	医療サービス体制を整備する 19.7%
3	医療サービス体制を整備する 21.8%	災害から県民をまもる 19.4%	医療サービス体制を整備する 20.3%	医療サービス体制を整備する 19.8%	高齢者の福祉を充実する 17.8%
4	子育て支援を充実する 21.1%	子育て支援を充実する 18.5%	地球温暖化を防止する 17.3%	高齢者の福祉を充実する 15.6%	地球温暖化を防止する 17.6%
5	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 14.9%	子育て支援を充実する 17.2%
6	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 12.9%	子育て支援を充実する 14.3%	自然をまもり、緑を育てる 15.8%
7	道路や街路を整備する 12.7%	道路や街路を整備する 13.4%	子育て支援を充実する 12.9%	自然をまもり、緑を育てる 13.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6%
8	便利な交通網をつくる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.9%	防犯の地域づくりを進める 11.8%	防犯の地域づくりを進める 13.0%	防犯の地域づくりを進める 12.9%
9	交通事故をなくす 12.5%	地球温暖化を防止する 12.7%	道路や街路を整備する 11.8%	道路や街路を整備する 11.8%	便利な交通網をつくる 12.2%
10	地球温暖化を防止する 12.3%	自然をまもり、緑を育てる 12.3%	便利な交通網をつくる 10.0%	交通事故をなくす 11.7%	道路や街路を整備する 10.4%

【上位4位の10年間の推移】

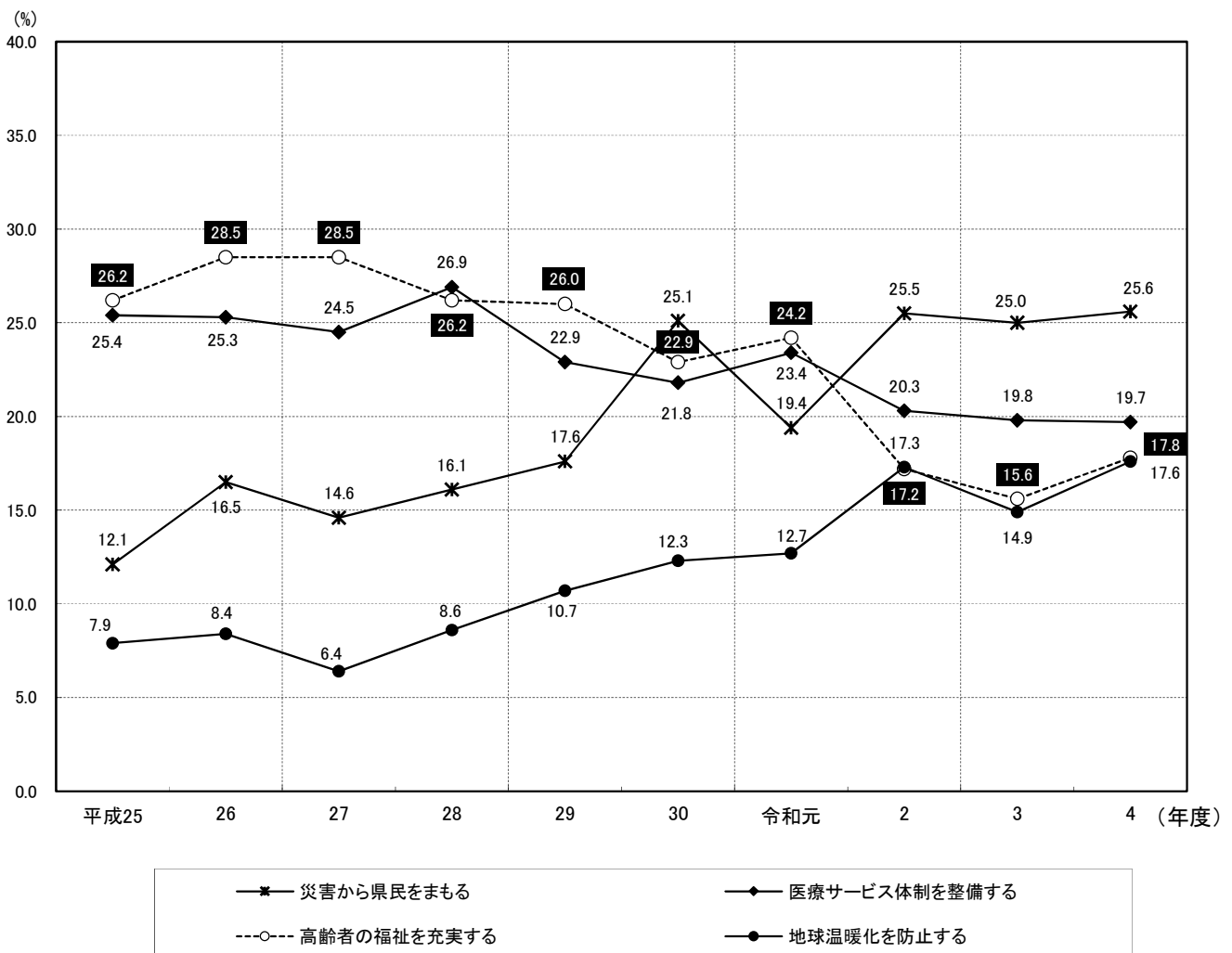
今回調査で上位となった「災害から県民をまもる」、「医療サービス体制を整備する」、「高齢者の福祉を充実する」、「地球温暖化を防止する」の4項目について、平成25年度以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「災害から県民をまもる」は平成29年度までは1割台で推移していたが、平成30年度（25.1%）の2割台半ばまで増加した。令和元年度（19.4%）に1割台後半に減少したが、その後は2割台半ばまで増加して推移している。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成28年度（26.9%）に2割台半ばを超えたが、その後は2割台前半で推移し、前回調査（19.8%）から2割を下回った。

3位の「高齢者の福祉を充実する」は、平成25年度以降2割台後半で推移し、平成30年度（22.9%）の2割台前半から前回調査（15.6%）で1割台半ばまで減少していたが、今回調査（17.8%）では1割台後半まで増加した。

4位の「地球温暖化を防止する」は、平成25年度以降1割未満で推移してきたが、平成29年度（10.7%）に1割台となり令和2年度調査（17.3%）から1割台半ばで推移している。



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別の上位5位】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=242)	災害から県民をまもる 32.2%	医療サービス体制を整備する 21.5%	高齢者の福祉を充実する 17.4%	自然をまもり、緑を育てる 16.5%	子育て支援を充実する 15.3%
南西部地域 (n=224)	子育て支援を充実する 22.3%	医療サービス体制を整備する 21.4%	自然をまもり、緑を育てる 19.2%	災害から県民をまもる 17.9%	高齢者の福祉を充実する 17.4%
東部地域 (n=399)	災害から県民をまもる 29.3%	高齢者の福祉を充実する 20.1%	医療サービス体制を整備する 18.0%	防犯の地域づくりを進める／新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.8%	
さいたま地域 (n=451)	災害から県民をまもる 28.2%	医療サービス体制を整備する 21.1%	地球温暖化を防止する 18.0%	子育て支援を充実する 17.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 16.2%
県央地域 (n=192)	災害から県民をまもる 24.0%	医療サービス体制を整備する 21.9%	子育て支援を充実する 19.8%	地球温暖化を防止する／自然をまもり、緑を育てる／高齢者の福祉を充実する 15.1%	
川越比企地域 (n=288)	災害から県民をまもる 24.3%	地球温暖化を防止する 20.1%	子育て支援を充実する 18.8%	医療サービス体制を整備する 17.7%	高齢者の福祉を充実する 16.7%
西部地域 (n=259)	自然をまもり、緑を育てる 22.8%	災害から県民をまもる 22.0%	地球温暖化を防止する 21.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 19.3%	医療サービス体制を整備する 18.5%
利根地域 (n=244)	災害から県民をまもる 24.6%	高齢者の福祉を充実する 22.1%	地球温暖化を防止する 20.9%	医療サービス体制を整備する 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 17.2%
北部地域 (n=159)	災害から県民をまもる 25.2%	医療サービス体制を整備する 22.6%	子育て支援を充実する 20.8%	高齢者の福祉を充実する／新型コロナウイルス感染症対策を進める 19.5%	
秩父地域 (n=37)	便利な交通網をつくる／雇用の場を広げる 21.6%		災害から県民をまもる 18.9%	子育て支援を充実する／新型コロナウイルス感染症対策を進める 13.5%	

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1,092)	災害から県民をまもる 25.7%	高齢者の福祉を充実する 19.3%	自然をまもり、緑を育てる 18.7%	医療サービス体制を整備する 17.8%	子育て支援を充実する 16.2%
女性 (n=1,369)	災害から県民をまもる 25.9%	医療サービス体制を整備する 21.8%	地球温暖化を防止する 19.8%	子育て支援を充実する 18.4%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 16.7%

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=305)	災害から県民をまもる 20.7%	子育て支援を充実する 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 16.7%	防犯の地域づくりを進める 16.4%	便利な交通網をつくる 16.1%
家族形成期 (n=175)	子育て支援を充実する 63.4%	災害から県民をまもる 20.0%	公園、緑地を整備する 19.4%	便利な交通網をつくる 16.6%	道路や街路を整備する 16.0%
家族成長前期 (n=203)	子育て支援を充実する 47.8%	災害から県民をまもる 24.6%	防犯の地域づくりを進める 19.7%	医療サービス体制を整備する 17.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 16.7%
家族成長後期 (n=164)	災害から県民をまもる 25.6%	子育て支援を充実する／医療サービス体制を整備する 22.0%	防犯の地域づくりを進める 18.3%	地球温暖化を防止する 16.5%	
家族成熟期 (n=459)	災害から県民をまもる 28.5%	医療サービス体制を整備する 22.4%	地球温暖化を防止する 21.4%	高齢者の福祉を充実する 20.5%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.9%
高齢期 (n=586)	高齢者の福祉を充実する 26.8%	地球温暖化を防止する 25.8%	災害から県民をまもる 25.3%	医療サービス体制を整備する 20.6%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.4%
その他 (n=632)	災害から県民をまもる 28.0%	高齢者の福祉を充実する 24.5%	医療サービス体制を整備する 20.9%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.6%	自然をまもり、緑を育てる 16.9%

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (n=35)	交通事故をなくす／子育て支援を充実する 31.4%	防犯の地域づくりを進める 28.6%	自然をまもり、緑を育てる 17.1%	医療サービス体制を整備する／新型コロナウイルス感染症対策を進める 14.3%	
20歳代 (n=201)	子育て支援を充実する 23.9%	災害から県民をまもる 18.4%	自然をまもり、緑を育てる／新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.9%	便利な交通網をつくる 16.4%	
【再掲】 10・20歳代 (n=236)	子育て支援を充実する 25.0%	自然をまもり、緑を育てる 17.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.4%	災害から県民をまもる 16.9%	交通事故をなくす／防犯の地域づくりを進める 16.1%
30歳代 (n=300)	子育て支援を充実する 48.0%	災害から県民をまもる 21.7%	便利な交通網をつくる 16.3%	医療サービス体制を整備する 15.3%	自然をまもり、緑を育てる／公園、緑地を整備する 14.3%
40歳代 (n=378)	災害から県民をまもる 33.3%	子育て支援を充実する 25.9%	防犯の地域づくりを進める 19.0%	医療サービス体制を整備する 18.3%	便利な交通網をつくる 14.8%
50歳代 (n=456)	災害から県民をまもる 26.1%	医療サービス体制を整備する 23.9%	地球温暖化を防止する 18.0%	自然をまもり、緑を育てる 17.3%	高齢者の福祉を充実する 16.9%
60歳代 (n=492)	災害から県民をまもる 27.2%	医療サービス体制を整備する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 21.7%	地球温暖化を防止する 21.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 18.3%
70歳以上 (n=636)	高齢者の福祉を充実する 32.2%	地球温暖化を防止する 25.6%	災害から県民をまもる 24.7%	自然をまもり、緑を育てる 17.8%	医療サービス体制を整備する 17.0%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【男性】 18・19歳 (n=9)	子育て支援を充実する 55.6%	交通事故をなくす 44.4%	都市のバリアフリー化を進める/ 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 22.2%		
20歳代 (n=86)	自然をまもり、緑を育てる 24.4%	子育て支援を充実する 20.9%	災害から県民をまもる/ 便利な交通網をつくる 18.6%		道路や街路を整備する 15.1%
【再掲】 10・20歳代 (n=95)	子育て支援を充実する 24.2%	自然をまもり、緑を育てる 23.2%	便利な交通網をつくる 17.9%	災害から県民をまもる 16.8%	交通事故をなくす 15.8%
30歳代 (n=127)	子育て支援を充実する 40.2%	災害から県民をまもる 21.3%	便利な交通網をつくる 18.9%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	道路や街路を整備する 14.2%
40歳代 (n=158)	災害から県民をまもる 30.4%	子育て支援を充実する 24.7%	防犯の地域づくりを進める/ 便利な交通網をつくる 20.3%		自然をまもり、緑を育てる 19.6%
50歳代 (n=206)	災害から県民をまもる 26.7%	医療サービス体制を整備する 18.9%	自然をまもり、緑を育てる/ 道路や街路を整備する 17.5%		地球温暖化を防止する/ 便利な交通網をつくる 17.0%
60歳代 (n=220)	災害から県民をまもる 30.0%	高齢者の福祉を充実する 27.7%	医療サービス体制を整備する 27.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 17.3%	地球温暖化を防止する 16.4%
70歳以上 (n=285)	高齢者の福祉を充実する 35.8%	災害から県民をまもる 23.9%	自然をまもり、緑を育てる 21.8%	地球温暖化を防止する 21.1%	医療サービス体制を整備する 16.8%
【女性】 18・19歳 (n=24)	防犯の地域づくりを進める 37.5%	交通事故をなくす 29.2%	子育て支援を充実する 25.0%	自然をまもり、緑を育てる/ 新型コロナウイルス感染症対策を進める 20.8%	
20歳代 (n=107)	子育て支援を充実する 26.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.4%	防犯の地域づくりを進める 19.6%	災害から県民をまもる 18.7%	医療サービス体制を整備する 17.8%
【再掲】 10・20歳代 (n=131)	子育て支援を充実する 26.0%	防犯の地域づくりを進める 22.9%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 22.1%	医療サービス体制を整備する 17.6%	交通事故をなくす/ 災害から県民をまもる 16.8%
30歳代 (n=172)	子育て支援を充実する 54.1%	災害から県民をまもる 22.1%	医療サービス体制を整備する 17.4%	公園、緑地を整備する 16.9%	便利な交通網をつくる 14.5%
40歳代 (n=213)	災害から県民をまもる 36.2%	子育て支援を充実する 27.7%	医療サービス体制を整備する 21.6%	防犯の地域づくりを進める 18.8%	地球温暖化を防止する/ 新型コロナウイルス感染症対策を進める 14.1%
50歳代 (n=246)	医療サービス体制を整備する 28.5%	災害から県民をまもる 26.0%	高齢者の福祉を充実する 19.9%	地球温暖化を防止する 18.7%	防犯の地域づくりを進める 17.9%
60歳代 (n=269)	医療サービス体制を整備する 26.0%	地球温暖化を防止する 25.3%	災害から県民をまもる 24.9%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 19.0%	高齢者の福祉を充実する 17.1%
70歳以上 (n=336)	地球温暖化を防止する 29.5%	高齢者の福祉を充実する 28.9%	災害から県民をまもる 25.9%	医療サービス体制を整備する 17.6%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 16.7%

県政への要望 10年間の推移（平成25年度～令和4年度）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%	高齢者の福祉を充実する 26.0%
2	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	医療サービス体制を整備する 22.9%
3	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%	子育て支援を充実する 22.5%
4	防犯の地域づくりを進める 16.9%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	防犯の地域づくりを進める 17.4%	防犯の地域づくりを進める 17.9%	災害から県民をまもる 17.6%
5	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%	防犯の地域づくりを進める 14.7%
6	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 13.6%
7	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.8%
8	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.6%
9	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%	便利な交通網をつくる 12.0%
10	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%	食品の安全をまもる 11.4%
11	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 9.2%	道路や街路を整備する 11.1%	交通事故をなくす 10.5%	交通事故をなくす 9.9%	雇用の場を広げる 10.8%
12		学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.8%	地球温暖化を防止する 10.7%
13	川や大気環境をまもる 8.6%	川や大気環境をまもる 8.7%	青少年を健全に育てる 7.9%	地球温暖化を防止する 8.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.2%
14	地球温暖化を防止する 7.9%	地球温暖化を防止する 8.4%	川や大気環境をまもる 6.6%	川や大気環境をまもる 8.0%	川や大気環境をまもる 8.0%
15	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 7.3%	地球温暖化を防止する/ 公園、緑地を整備する 6.4%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 6.8%
16	省資源やリサイクルを進める 5.9%	省資源やリサイクルを進める 6.6%		公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.8%
17	公園、緑地を整備する 5.8%	消費生活の安全を高める 6.5%	消費生活の安全を高める 6.3%	省資源やリサイクルを進める/ 消費生活の安全を高める 5.2%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 5.5%
18	消費生活の安全を高める 5.1%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 5.9%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 5.6%		消費生活の安全を高める 5.2%
19	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%	公園、緑地を整備する 5.2%	省資源やリサイクルを進める 5.1%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.8%	省資源やリサイクルを進める/ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 4.6%
20	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.3%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.7%	
21	廃棄物対策を充実する/ 障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.7%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.5%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.7%	廃棄物対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%	都市のバリアフリー化を進める 4.3%
22		スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	都市のバリアフリー化を進める 3.4%		廃棄物対策を充実する 3.5%
23	都市のバリアフリー化を進める/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	廃棄物対策を充実する 3.0%	生活排水対策を進める 3.2%	都市のバリアフリー化を進める 3.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.3%
24		都市のバリアフリー化を進める/ 市町村が主役の地域づくりを進める 2.9%	廃棄物対策を充実する 3.1%	生活排水対策を進める/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.9%
25	人権尊重の社会づくりを進める 2.3%		市町村が主役の地域づくりを進める/ 芸術・文化活動をさかんにする/ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6%	生涯学習対策を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.3%	生活排水対策を進める 2.8%
26	農林業をさかんにする 2.2%	生活排水対策を進める 2.8%			市町村が主役の地域づくりを進める/ 人権尊重の社会づくりを進める 2.6%
27	芸術・文化活動をさかんにする 2.1%	人権尊重の社会づくりを進める/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.4%	農林業をさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%
28	観光振興を進める 1.9%			市町村が主役の地域づくりを進める 2.1%	観光振興を進める 2.4%
29	生活排水対策を進める/ 生涯学習対策を充実する/ 市町村が主役の地域づくりを進める 1.8%	農林業をさかんにする 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	農林業をさかんにする/ 市町村が主役の地域づくりを進める 2.0%	農林業をさかんにする 1.9%
30		県民参加の行政を進める 1.7%	観光振興を進める 2.0%		
31	市町村が主役の地域づくりを進める 1.8%	観光振興を進める/ 生涯学習対策を充実する 1.6%	人権尊重の社会づくりを進める 1.6%	観光振興を進める 1.8%	生涯学習対策を充実する 1.8%
32	県民参加の行政を進める 1.4%		男女共同参画社会の実現をはかる/ 県民参加の行政を進める 1.0%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 1.1%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 1.6%
33	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 1.3%	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.9%	県民参加の行政を進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.9%	国際交流や国際協力を進める 1.2%
34	国際交流や国際協力を進める 0.9%				県民参加の行政を進める 1.1%
35	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める/ 国際交流や国際協力を進める 0.8%	国際交流や国際協力を進める 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.8%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.7%
36		国際交流や国際協力を進める 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.6%

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	災害から県民をまもる 25.1%	高齢者の福祉を充実する 24.2%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 37.3%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 26.8%	災害から県民をまもる 25.6%
2	高齢者の福祉を充実する 22.9%	医療サービス体制を整備する 23.4%	災害から県民をまもる 25.5%	災害から県民をまもる 25.0%	医療サービス体制を整備する 19.7%
3	医療サービス体制を整備する 21.8%	災害から県民をまもる 19.4%	医療サービス体制を整備する 20.3%	医療サービス体制を整備する 19.8%	高齢者の福祉を充実する 17.8%
4	子育て支援を充実する 21.1%	子育て支援を充実する 18.5%	地球温暖化を防止する 17.3%	高齢者の福祉を充実する 15.6%	地球温暖化を防止する 17.6%
5	防犯の地域づくりを進める 14.7%	防犯の地域づくりを進める 16.7%	高齢者の福祉を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 14.9%	子育て支援を充実する 17.2%
6	自然をまもり、緑を育てる 13.4%	交通事故をなくす 16.6%	自然をまもり、緑を育てる／ 子育て支援を充実する	子育て支援を充実する 14.3%	自然をまもり、緑を育てる 15.8%
7	道路や街路を整備する 12.7%	道路や街路を整備する 13.4%	子育て支援を充実する 12.9%	自然をまもり、緑を育てる 13.8%	新型コロナウイルス感染症対策を進める 15.6%
8	便利な交通網をつくる 12.6%	便利な交通網をつくる 12.9%	防犯の地域づくりを進める 11.8%	防犯の地域づくりを進める 13.0%	防犯の地域づくりを進める 12.2%
9	交通事故をなくす 12.5%	地球温暖化を防止する 12.7%	道路や街路を整備する／ 11.8%	道路や街路を整備する 11.8%	便利な交通網をつくる 12.2%
10	地球温暖化を防止する 12.3%	自然をまもり、緑を育てる 12.3%	便利な交通網をつくる 10.0%	交通事故をなくす 11.7%	道路や街路を整備する 10.4%
11	食品の安全をまもる 11.9%	雇用の場を広げる 9.6%	川や大気環境をまもる 9.1%	便利な交通網をつくる 11.2%	交通事故をなくす 10.3%
12	雇用の場を広げる 8.6%	食品の安全をまもる 9.3%	交通事故をなくす 8.8%	省資源やリサイクルを進める 7.8%	省資源やリサイクルを進める 8.7%
13	川や大気環境をまもる 8.4%	省資源やリサイクルを進める 8.4%	省資源やリサイクルを進める 7.7%	雇用の場を広げる 7.0%	雇用の場を広げる 8.3%
14	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 7.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.1%	雇用の場を広げる 7.2%	川や大気環境をまもる 6.9%	川や大気環境をまもる 7.3%
15	青少年を健全に育てる 6.7%	川や大気環境をまもる 7.9%	公園、緑地を整備する 6.0%	公園、緑地を整備する 5.7%	消費生活の安全を高める 6.9%
16	省資源やリサイクルを進める／ 消費生活の安全を高める／	青少年を健全に育てる 7.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 5.1%	消費生活の安全を高める 5.1%	公園、緑地を整備する 6.0%
17	公園、緑地を整備する 5.6%	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 4.8%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 4.9%	食品の安全をまもる 5.5%
18	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.5%	青少年を健全に育てる 4.6%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 4.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する／ 5.1%
19	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.7%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 4.9%	食品の安全をまもる 4.2%	青少年を健全に育てる／ 4.3%	青少年を健全に育てる 4.9%
20	廃棄物対策を充実する／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する	廃棄物対策を充実する 4.7%	廃棄物対策を充実する 4.1%	食品の安全をまもる 4.3%	廃棄物対策を充実する 4.9%
21	健康づくりを進めて、 疾病を予防する	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.5%	廃棄物対策を充実する 4.1%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める／ 3.9%
22	都市のバリアフリー化を進める 3.5%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する 3.4%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.9%	障がい者の社会参加と福祉対策を進める 3.7%	農林業をさかんにする 3.9%
23	観光振興を進める／ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	都市のバリアフリー化を進める 3.1%	農林業をさかんにする／ 芸術・文化活動をさかんにする	健康づくりを進めて、 疾病を予防する／ 都市のバリアフリー化を進める 3.4%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 3.8%
24	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.7%	生活排水対策を進める 3.0%	芸術・文化活動をさかんにする 2.8%	都市のバリアフリー化を進める 3.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.9%
25	生活排水対策を進める 2.5%	観光振興を進める 2.9%	人権尊重の社会づくりを進める 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする 3.2%	健康づくりを進めて、 疾病を予防する／ 2.9%
26	農林業をさかんにする 2.3%	芸術・文化活動をさかんにする 2.6%	生活排水対策を進める／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%	人権尊重の社会づくりを進める 2.9%	芸術・文化活動をさかんにする／ 2.9%
27	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める 2.2%	人権尊重の社会づくりを進める 2.5%	生活排水対策を進める／ 健康づくりを進めて、 疾病を予防する 2.4%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする／ 2.3%	観光振興を進める／ 2.5%
28	人権尊重の社会づくりを進める／ 芸術・文化活動をさかんにする	市町村が主役の地域づくりを進める 2.1%	都市のバリアフリー化を進める／ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3%	生活排水対策を進める 2.6%	農林業をさかんにする／ 2.4%
29	市町村が主役の地域づくりを進める 1.9%	農林業をさかんにする 2.0%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.3%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.5%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする／ 2.8%
30	生涯学習対策を充実する 1.6%	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める／ 生涯学習対策を充実する／ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.8%	市町村が主役の地域づくりを進める／ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 1.9%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.3%	都市のバリアフリー化を進める 2.5%
31	国際交流や国際協力を進める 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.8%	観光振興を進める 1.8%	農林業をさかんにする／ 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.4%
32	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力を進める 1.0%	観光振興を進める 1.8%	観光振興を進める 2.1%	生活排水対策を進める 2.3%
33	県民参加の行政を進める 0.8%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	男女共同参画社会の実現をはかる／ 県民参加の行政を進める 1.0%	生涯学習対策を充実する 1.4%	市町村が主役の地域づくりを進める 2.1%
34	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.5%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	生涯学習対策を充実する 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.7%
35	—	国際交流や国際協力を進める 0.6%	国際交流や国際協力を進める 0.8%	国際交流や国際協力を進める／ NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.0%
36	—	—	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7%	—	国際交流や国際協力を進める 0.8%
37	—	—	—	—	県民参加の行政を進める 0.6%

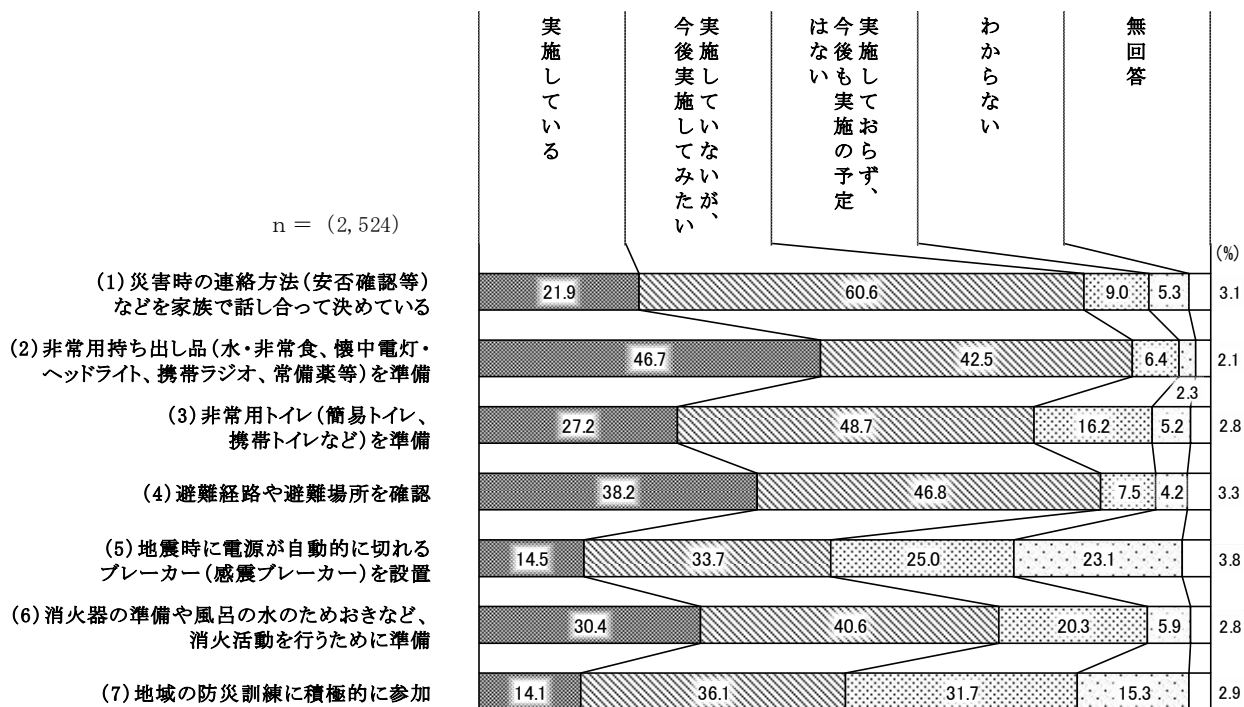
4 大地震に備えた
取組について
(問 17～問 23)

4. 大地震に備えた取組について

(1) 大地震に備えた取組の実施状況

◇「実施している」は非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備が46.7%

問17 あなたの家では、大地震に備えるために、どのような取組を実施していますか。次の(1)から(8)までのそれぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。
(各項目それぞれ〇は1つずつ)



※「(8) その他」については、具体的な取組状況の回答を一部抜粋して記載した(188ページ参照)。

大地震に備えた取組の実施状況は、「実施している」は(2)非常用持ち出し品(水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等)を準備(46.7%)が4割台半ばを超えて最も高く、「実施していないが、今後実施してみたい」は、(1)災害時の連絡方法(安否確認等)などを家族で話し合っている(60.6%)が6割を超えて最も高く、(3)非常用トイレ(簡易トイレ、携帯トイレなど)を準備(48.7%)が5割弱、(4)避難経路や避難場所を確認(46.8%)が4割台半ばを超えて高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は(7)地域の防災訓練に積極的に参加(31.7%)が3割強と最も高く、(5)地震時に電源が自動的に切れるブレーカー(感震ブレーカー)を設置(25.0%)が2割台半ばと高くなっている。

(1) 災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている

「実施している」（21.9%）は2割強、「実施していないが、今後実施してみたい」（60.6%）は6割を超えている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」が2.6ポイント減少し、「実施していないが、今後実施してみたい」が3.5ポイント増加している。

【属性別比較】

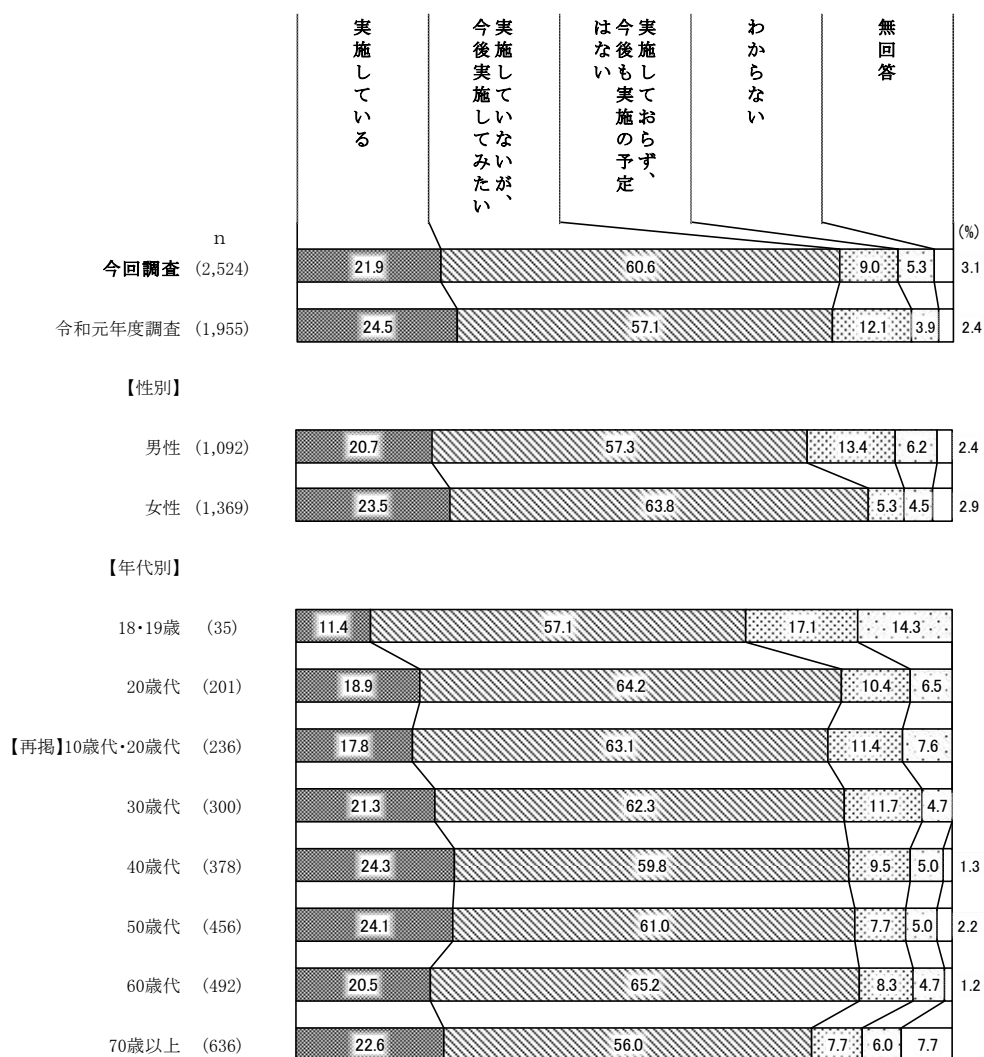
① 性別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性（63.8%）の方が男性（57.3%）よりも6.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施していないが、今後実施してみたい」は60歳代（65.2%）で6割台半ばと最も高く、いずれの年代でも半数を超えている。

○ 「(1) 災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は利根地域（25.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は県央地域（68.2%）と秩父地域（67.6%）で6割台後半と高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性50歳代（30.1%）で3割を超えて最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は女性の30歳代（71.5%）と60歳代（69.1%）で7割前後と高くなっている。

⑤ 職業別

「実施していないが、今後実施してみたい」は雇用者（計）（62.4%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長後期（30.5%）で3割を超えて最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は家族成長前期（66.5%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「（1）災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施する予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	21.9	60.6	9.0	5.3	3.1
地域別						
南部地域	242	24.0	58.3	8.7	5.4	3.7
南西部地域	224	25.0	58.9	9.8	5.4	0.9
東部地域	399	20.6	62.9	8.0	5.0	3.5
さいたま地域	451	23.9	61.6	7.1	4.9	2.4
県央地域	192	17.7	68.2	5.2	7.3	1.6
川越比企地域	288	24.3	59.0	6.9	5.2	4.5
西部地域	259	18.5	61.0	12.0	4.6	3.9
利根地域	244	25.4	54.5	12.3	5.7	2.0
北部地域	159	19.5	59.7	13.8	5.7	1.3
秩父地域	37	8.1	67.6	13.5	8.1	2.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	66.7	11.1	11.1	-
20歳代	86	20.9	62.8	10.5	5.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	20.0	63.2	10.5	6.3	-
30歳代	127	25.2	50.4	18.9	5.5	-
40歳代	158	25.3	55.7	12.7	5.1	1.3
50歳代	206	17.0	59.2	12.6	8.7	2.4
60歳代	220	20.0	60.0	13.2	6.4	0.5
70歳以上	285	19.6	55.8	13.0	5.3	6.3
女性／18・19歳	24	12.5	54.2	16.7	16.7	-
20歳代	107	18.7	67.3	8.4	5.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	17.6	64.9	9.9	7.6	-
30歳代	172	18.6	71.5	5.8	4.1	-
40歳代	213	23.0	64.3	7.0	4.2	1.4
50歳代	246	30.1	62.6	3.7	2.0	1.6
60歳代	269	21.2	69.1	4.5	3.3	1.9
70歳以上	336	25.9	56.0	3.3	6.5	8.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	26.1	50.0	13.6	6.0	4.3
雇用者（計）	1,336	21.8	62.4	9.8	4.9	1.1
無職（計）	958	21.7	60.8	7.0	5.9	4.6
ライフステージ別						
独身期	305	18.4	60.0	14.8	6.9	-
家族形成期	175	24.0	65.1	6.9	4.0	-
家族成長前期	203	22.7	66.5	4.9	4.9	1.0
家族成長後期	164	30.5	57.9	6.1	4.3	1.2
家族成熟期	459	23.5	62.7	9.2	3.5	1.1
高齢期	586	23.4	64.0	5.1	3.4	4.1
その他	632	18.2	53.8	12.3	8.5	7.1

(2) 非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備

「実施している」(46.7%)は4割台半ばを超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(42.5%)は4割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」が4.1ポイント増加し、「実施していないが、今後実施してみたい」が1.4ポイント減少している。

【属性別比較】

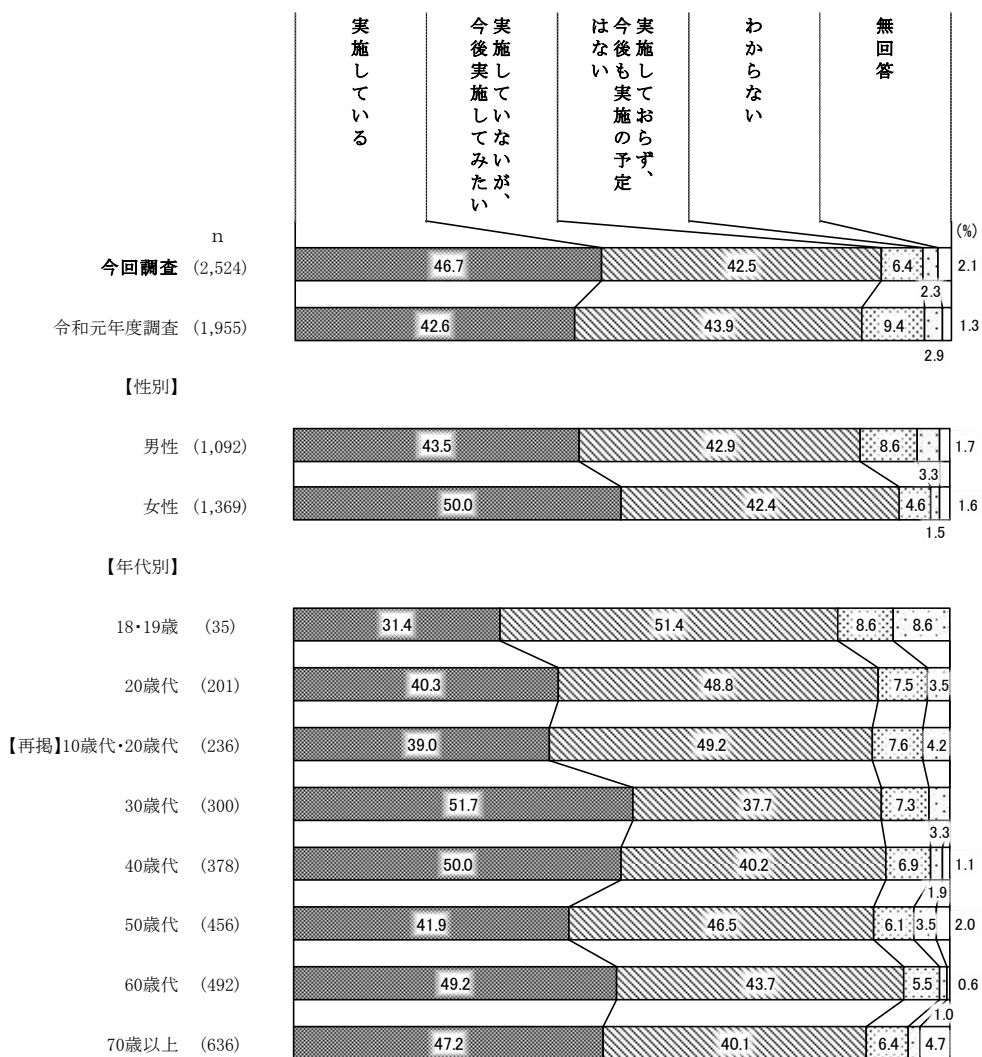
① 性別

「実施している」は女性（50.0%）の方が男性（43.5%）よりも6.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は30歳代（51.7%）で5割強と高くなっている一方で、10歳代・20歳代（39.0%）で最も低く、12.7ポイントの開きがある。

○「(2) 非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は南部地域（55.0%）で5割台半ばと最も高く、さいたま地域（53.0%）、南西部地域（51.8%）で5割強と他の地域に比べて高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は北部地域（52.8%）で5割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性70歳以上（53.6%）で5割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は男性10歳代・20歳代（49.5%）で約5割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（52.2%）で5割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は雇用者（計）（44.3%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族形成期（58.9%）で6割弱と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は独身期（46.2%）で4割台半ばを超えて高くなっている。

○「(2) 非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、 実施してみたい	今後実施しておらず、 実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	46.7	42.5	6.4	2.3	2.1
地域別						
南部地域	242	55.0	35.5	5.8	0.8	2.9
南西部地域	224	51.8	39.3	6.7	1.3	0.9
東部地域	399	43.1	46.4	7.0	2.0	1.5
さいたま地域	451	53.0	37.0	6.4	1.8	1.8
県央地域	192	44.8	45.3	4.2	5.2	0.5
川越比企地域	288	45.1	44.4	5.9	2.4	2.1
西部地域	259	44.8	43.6	5.4	3.1	3.1
利根地域	244	42.2	45.1	8.6	2.5	1.6
北部地域	159	36.5	52.8	6.9	2.5	1.3
秩父地域	37	43.2	32.4	13.5	5.4	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	77.8	-	-	-
20歳代	86	41.9	46.5	7.0	4.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	40.0	49.5	6.3	4.2	-
30歳代	127	51.2	35.4	10.2	3.1	-
40歳代	158	48.1	36.7	11.4	2.5	1.3
50歳代	206	37.4	46.6	7.8	6.3	1.9
60歳代	220	46.8	41.4	9.1	2.3	0.5
70歳以上	285	40.4	46.0	7.4	2.1	4.2
女性／18・19歳	24	37.5	41.7	8.3	12.5	-
20歳代	107	40.2	50.5	7.5	1.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	39.7	48.9	7.6	3.8	-
30歳代	172	52.3	39.5	4.7	3.5	-
40歳代	213	51.6	42.7	3.8	0.9	0.9
50歳代	246	45.9	46.7	4.5	1.2	1.6
60歳代	269	50.9	45.7	2.6	-	0.7
70歳以上	336	53.6	35.4	5.7	1.2	4.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	52.2	34.2	7.6	3.3	2.7
雇用者（計）	1,336	45.4	44.3	7.0	2.4	0.8
無職（計）	958	47.8	42.1	5.4	2.1	2.6
ライフステージ別						
独身期	305	40.7	46.2	8.5	4.6	-
家族形成期	175	58.9	34.9	4.0	2.3	-
家族成長前期	203	49.8	42.9	5.4	1.5	0.5
家族成長後期	164	50.6	37.8	7.3	3.0	1.2
家族成熟期	459	49.7	41.0	6.1	1.3	2.0
高齢期	586	49.3	43.9	5.5	0.3	1.0
その他	632	39.6	43.8	7.3	3.8	5.5

(3) 非常用トイレ（簡易トイレ、携帯トイレなど）を準備

「実施している」(27.2%)は2割台半ばを超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(48.7%)は5割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」が11.0ポイント増加している。

【属性別比較】

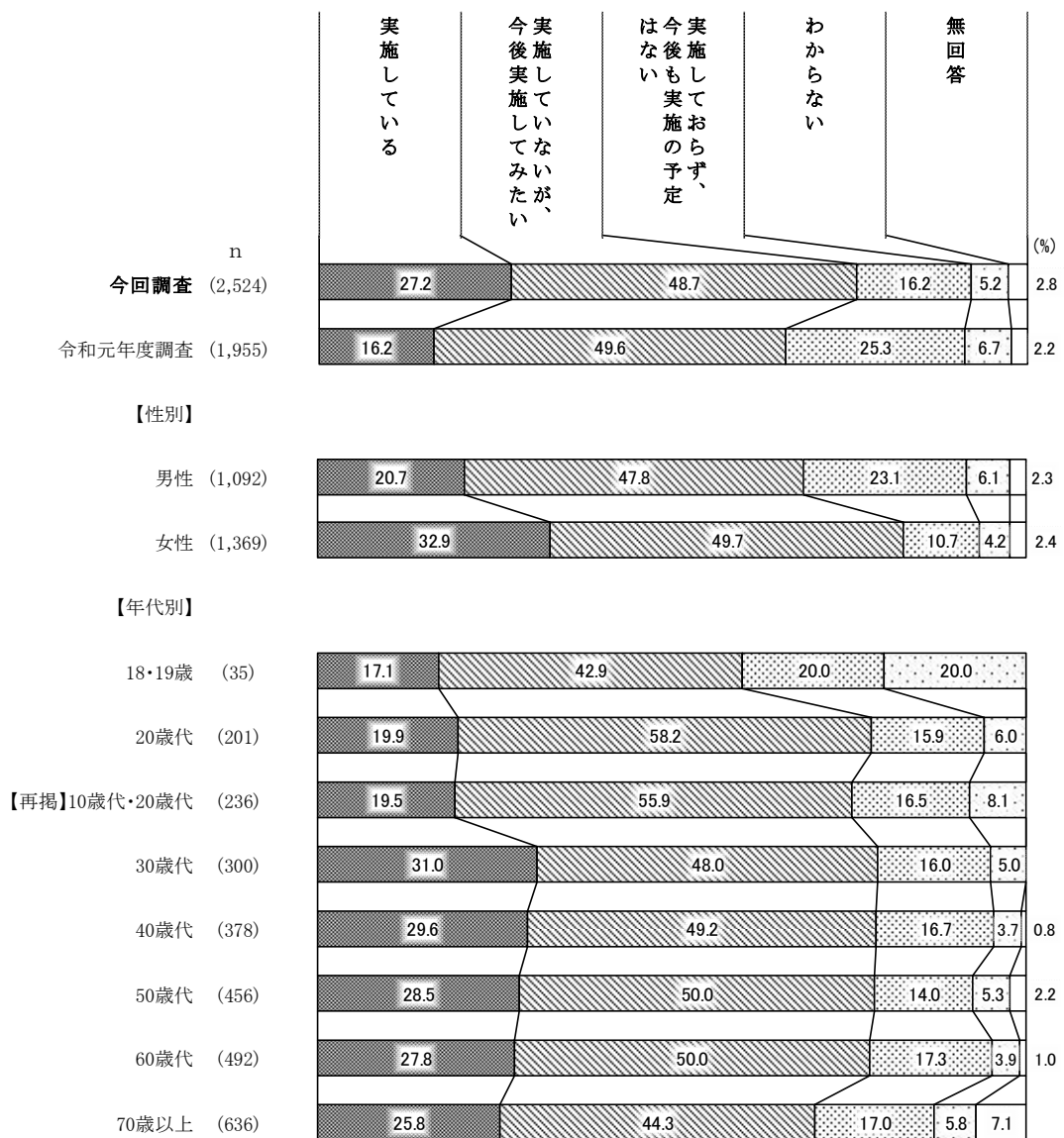
① 性別

「実施している」は女性（32.9%）の方が男性（20.7%）よりも12.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は30歳代（31.0%）と40歳代（29.6%）で3割前後と高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は10歳代・20歳代（55.9%）で5割台半ばと最も高くなっている。

○ 「(3) 非常用トイレ（簡易トイレ、携帯トイレなど）を準備」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」はさいたま地域（34.1%）で3割台半ばと最も高く、南部地域（33.5%）と南西部地域（33.0%）でも3割強と高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は北部地域（58.5%）で6割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性の40歳代（35.7%）と60歳代（35.3%）で3割台半ばと高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は男性10歳代・20歳代（56.8%）と女性10歳代・20歳代（56.5%）で5割台半ばを超えて高くなっている。

⑤ 職業別

「実施していないが、今後実施してみたい」は雇用者（計）（51.1%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長前期（36.5%）と家族形成期（36.0%）で3割台半ばを超えて高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は独身期（55.4%）で5割台半ばと最も高くなっている。

○「(3) 非常用トイレ（簡易トイレ、携帯トイレなど）を準備」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、	実施して おらず、 実施の 予定は ない	わからない	無回答
全体	2,524	27.2	48.7	16.2	5.2	2.8
地域別						
南部地域	242	33.5	45.0	15.7	3.3	2.5
南西部地域	224	33.0	46.4	14.7	4.5	1.3
東部地域	399	28.8	48.9	16.0	3.8	2.5
さいたま地域	451	34.1	43.0	16.2	4.4	2.2
県央地域	192	22.9	52.6	12.5	9.9	2.1
川越比企地域	288	25.0	49.0	15.3	7.3	3.5
西部地域	259	26.6	50.6	14.3	4.2	4.2
利根地域	244	17.6	52.5	23.0	5.3	1.6
北部地域	159	15.7	58.5	18.2	6.3	1.3
秩父地域	37	16.2	51.4	21.6	5.4	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	55.6	11.1	22.2	-
20歳代	86	24.4	57.0	12.8	5.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	23.2	56.8	12.6	7.4	-
30歳代	127	26.8	44.9	23.6	4.7	-
40歳代	158	21.5	46.8	25.3	5.7	0.6
50歳代	206	22.3	48.1	19.4	7.8	2.4
60歳代	220	19.1	46.4	26.8	6.4	1.4
70歳以上	285	16.8	47.4	24.9	5.3	5.6
女性／18・19歳	24	20.8	41.7	16.7	20.8	-
20歳代	107	16.8	59.8	18.7	4.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	17.6	56.5	18.3	7.6	-
30歳代	172	34.3	50.6	9.9	5.2	-
40歳代	213	35.7	51.2	10.3	1.9	0.9
50歳代	246	33.7	52.0	9.3	3.3	1.6
60歳代	269	35.3	52.8	9.3	1.9	0.7
70歳以上	336	33.6	41.7	10.7	6.5	7.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	31.0	42.9	19.6	4.3	2.2
雇用者（計）	1,336	26.6	51.1	16.5	4.8	1.0
無職（計）	958	27.5	47.0	15.4	5.8	4.3
ライフステージ別						
独身期	305	16.7	55.4	20.0	7.9	-
家族形成期	175	36.0	49.7	9.1	5.1	-
家族成長前期	203	36.5	45.3	15.3	2.5	0.5
家族成長後期	164	29.3	47.6	17.1	4.9	1.2
家族成熟期	459	29.8	46.2	17.6	4.1	2.2
高齢期	586	27.5	50.5	15.5	3.8	2.7
その他	632	24.1	46.7	15.8	6.8	6.6

(4) 避難経路や避難場所を確認

「実施している」(38.2%)は4割弱、「実施していないが、今後実施してみたい」(46.8%)は4割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」が2.2ポイント増加している。

【属性別比較】

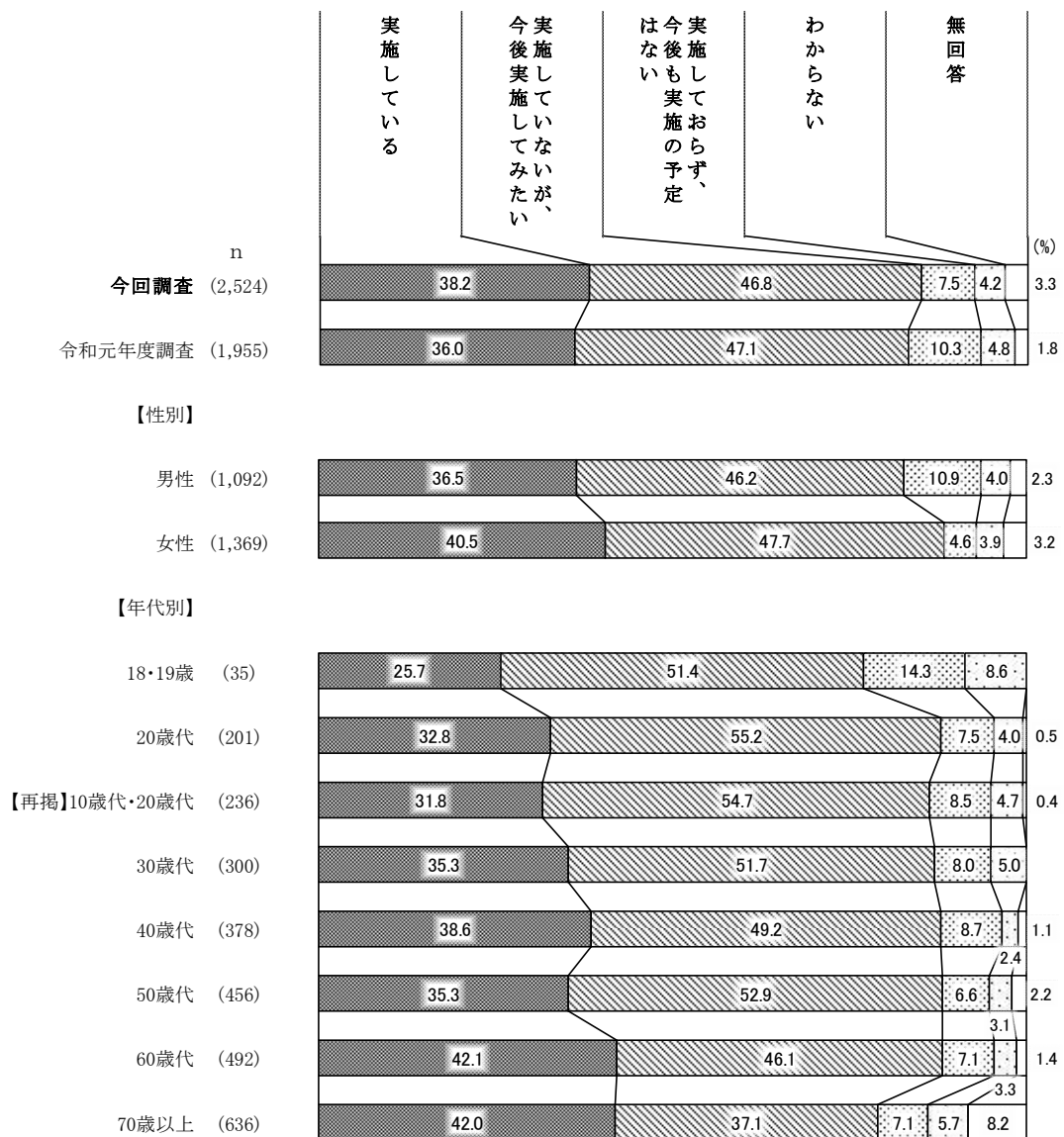
① 性別

「実施している」は女性(40.5%)の方が男性(36.5%)よりも4.0ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は60歳代(42.1%)と70歳以上(42.0%)で4割強と高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」10歳代・20歳代(54.7%)で5割台半ばと最も高くなっている。

○ 「(4) 避難経路や避難場所を確認」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は利根地域（43.4%）とさいたま地域（42.4%）で4割強と高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は北部地域（58.5%）で6割弱と高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性70歳以上（45.2%）で4割台半ばと最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は男性10歳代・20歳代（57.9%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施していないが、今後実施してみたい」は雇用者（計）（52.2%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は高齢期（43.2%）で4割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は独身期（53.8%）から家族成長後期（53.0%）までで5割台と高くなっている。

○ 「(4) 避難経路や避難場所を確認」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施する予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	38.2	46.8	7.5	4.2	3.3
地域別						
南部地域	242	36.4	50.4	7.9	2.1	3.3
南西部地域	224	40.6	45.5	7.1	4.5	2.2
東部地域	399	37.3	46.1	9.5	4.3	2.8
さいたま地域	451	42.4	45.5	6.2	3.3	2.7
県央地域	192	35.4	47.4	6.8	8.3	2.1
川越比企地域	288	37.2	46.9	9.0	2.8	4.2
西部地域	259	36.7	47.1	6.6	4.6	5.0
利根地域	244	43.4	43.0	7.0	4.9	1.6
北部地域	159	31.4	58.5	6.9	1.9	1.3
秩父地域	37	40.5	35.1	8.1	10.8	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	-	-	-
20歳代	86	33.7	57.0	8.1	1.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	33.7	57.9	7.4	1.1	-
30歳代	127	33.9	46.5	15.0	4.7	-
40歳代	158	36.7	45.6	13.9	2.5	1.3
50歳代	206	31.1	51.9	10.2	4.9	1.9
60歳代	220	41.4	42.7	10.5	4.5	0.9
70歳以上	285	38.6	41.4	9.5	4.6	6.0
女性／18・19歳	24	25.0	45.8	16.7	12.5	-
20歳代	107	33.6	54.2	6.5	4.7	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	32.1	52.7	8.4	6.1	0.8
30歳代	172	36.6	55.2	2.9	5.2	-
40歳代	213	40.4	52.1	4.7	1.9	0.9
50歳代	246	39.0	54.1	3.3	1.6	2.0
60歳代	269	43.1	48.3	4.5	2.2	1.9
70歳以上	336	45.2	33.9	5.1	6.5	9.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	38.0	46.2	8.2	4.3	3.3
雇用者（計）	1,336	35.8	52.2	7.8	3.1	1.1
無職（計）	958	42.2	40.4	6.9	5.3	5.2
ライフステージ別						
独身期	305	32.1	53.8	9.8	4.3	-
家族形成期	175	36.0	52.6	8.0	3.4	-
家族成長前期	203	39.9	50.2	4.4	3.9	1.5
家族成長後期	164	36.0	53.0	7.9	1.8	1.2
家族成熟期	459	41.8	45.5	7.0	3.7	2.0
高齢期	586	43.2	41.0	7.0	3.8	5.1
その他	632	34.7	45.6	7.9	5.7	6.2

(5) 地震時に電源が自動的に切れるブレーカー（感震ブレーカー）を設置

「実施している」（14.5%）は1割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」（33.7%）は3割強となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」（25.0%）は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施していないが、今後実施してみたい」が3.0ポイント増加している。

【属性別比較】

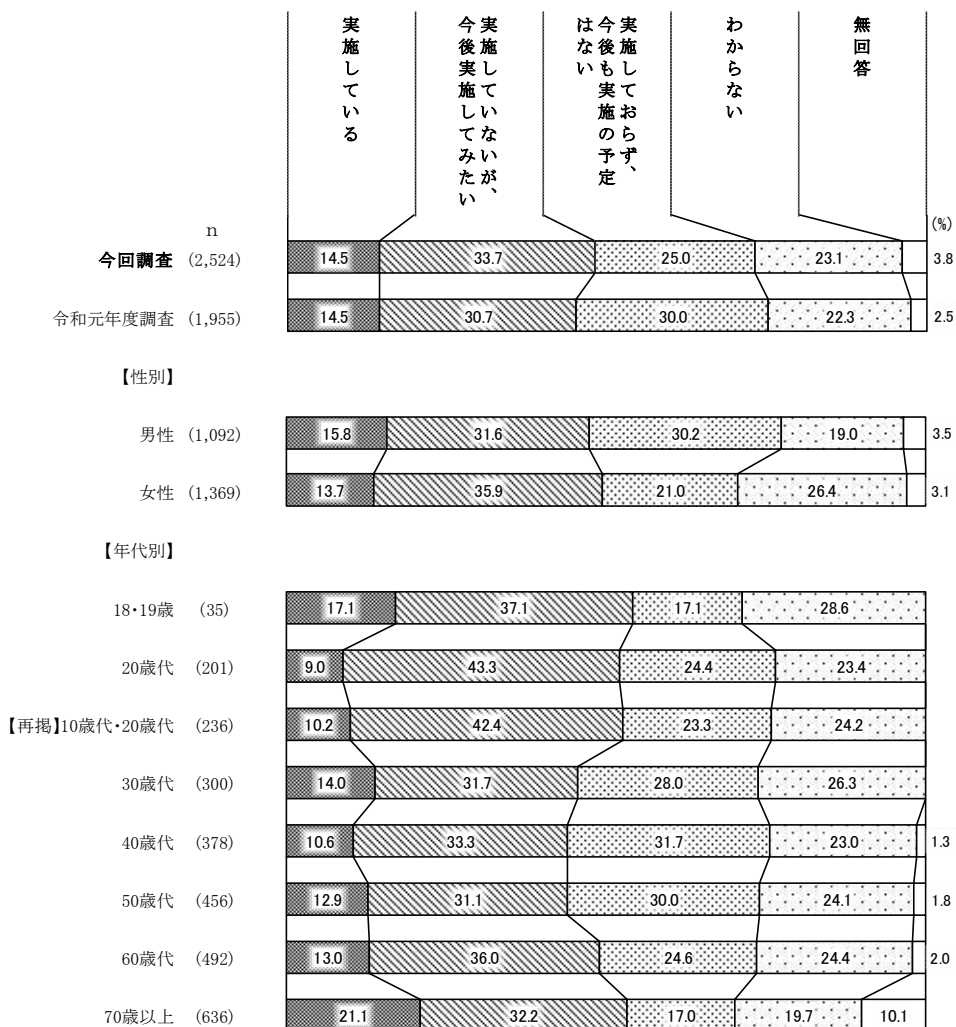
① 性別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性（35.9%）の方が男性（31.6%）よりも4.3ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（30.2%）の方が女性（21.0%）よりも9.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は70歳以上（21.1%）で2割強と最も高くなっている。一方で、「実施していないが、今後実施してみたい」は10歳代・20歳代（42.4%）で4割強と最も高くなっている。

○ 「(5) 地震時に電源が自動的に切れるブレーカー（感震ブレーカー）を設置」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」はさいたま地域（18.8%）で2割弱と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は北部地域（42.1%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男性70歳以上（22.8%）で2割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は女性10歳代・20歳代（46.6%）で4割台半ばを超えて高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は無職（計）（18.2%）で2割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は高齢期（17.1%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は独身期（38.4%）で4割弱と最も高くなっている。

○ 「（5）地震時に電源が自動的に切れるブレーカー（感震ブレーカー）を設置」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、 実施してみたい	今後実施しておらず、 実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	14.5	33.7	25.0	23.1	3.8
地域別						
南部地域	242	13.6	35.1	26.9	20.7	3.7
南西部地域	224	14.3	32.1	28.1	22.3	3.1
東部地域	399	12.8	35.8	24.8	23.1	3.5
さいたま地域	451	18.8	29.9	22.0	25.9	3.3
県央地域	192	13.5	35.4	24.5	22.9	3.6
川越比企地域	288	17.4	30.6	25.7	23.3	3.1
西部地域	259	13.5	34.4	24.7	22.4	5.0
利根地域	244	13.9	33.2	26.2	23.8	2.9
北部地域	159	8.2	42.1	24.5	23.3	1.9
秩父地域	37	8.1	37.8	32.4	16.2	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	44.4	11.1	22.2	-
20歳代	86	14.0	38.4	26.7	20.9	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	14.7	38.9	25.3	21.1	-
30歳代	127	15.0	29.9	31.5	23.6	-
40歳代	158	12.7	29.7	37.3	18.4	1.9
50歳代	206	13.6	28.6	37.4	18.4	1.9
60歳代	220	11.4	34.1	32.3	20.5	1.8
70歳以上	285	22.8	31.2	20.7	15.8	9.5
女性／18・19歳	24	16.7	37.5	16.7	29.2	-
20歳代	107	5.6	48.6	20.6	25.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	7.6	46.6	19.8	26.0	-
30歳代	172	13.4	33.1	25.0	28.5	-
40歳代	213	9.4	36.2	28.2	25.4	0.9
50歳代	246	12.2	33.7	24.0	28.9	1.2
60歳代	269	14.5	37.5	18.6	27.5	1.9
70歳以上	336	19.3	33.3	14.6	23.2	9.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	16.8	36.4	23.4	19.6	3.8
雇用者（計）	1,336	11.7	35.0	28.2	23.8	1.3
無職（計）	958	18.2	31.7	21.2	23.1	5.8
ライフステージ別						
独身期	305	10.8	38.4	26.9	23.9	-
家族形成期	175	15.4	35.4	22.3	26.9	-
家族成長前期	203	13.8	33.5	29.6	22.2	1.0
家族成長後期	164	13.4	33.5	34.1	17.7	1.2
家族成熟期	459	13.7	32.0	27.2	24.2	2.8
高齢期	586	17.1	35.5	18.9	23.5	4.9
その他	632	14.9	30.5	24.8	22.0	7.8

(6) 消火器の準備や風呂の水のためおきなど、消火活動を行うために準備

「実施している」(30.4%)は3割を超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(40.6%)は4割を超えている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、回答分布に大きな差はみられない。

【属性別比較】

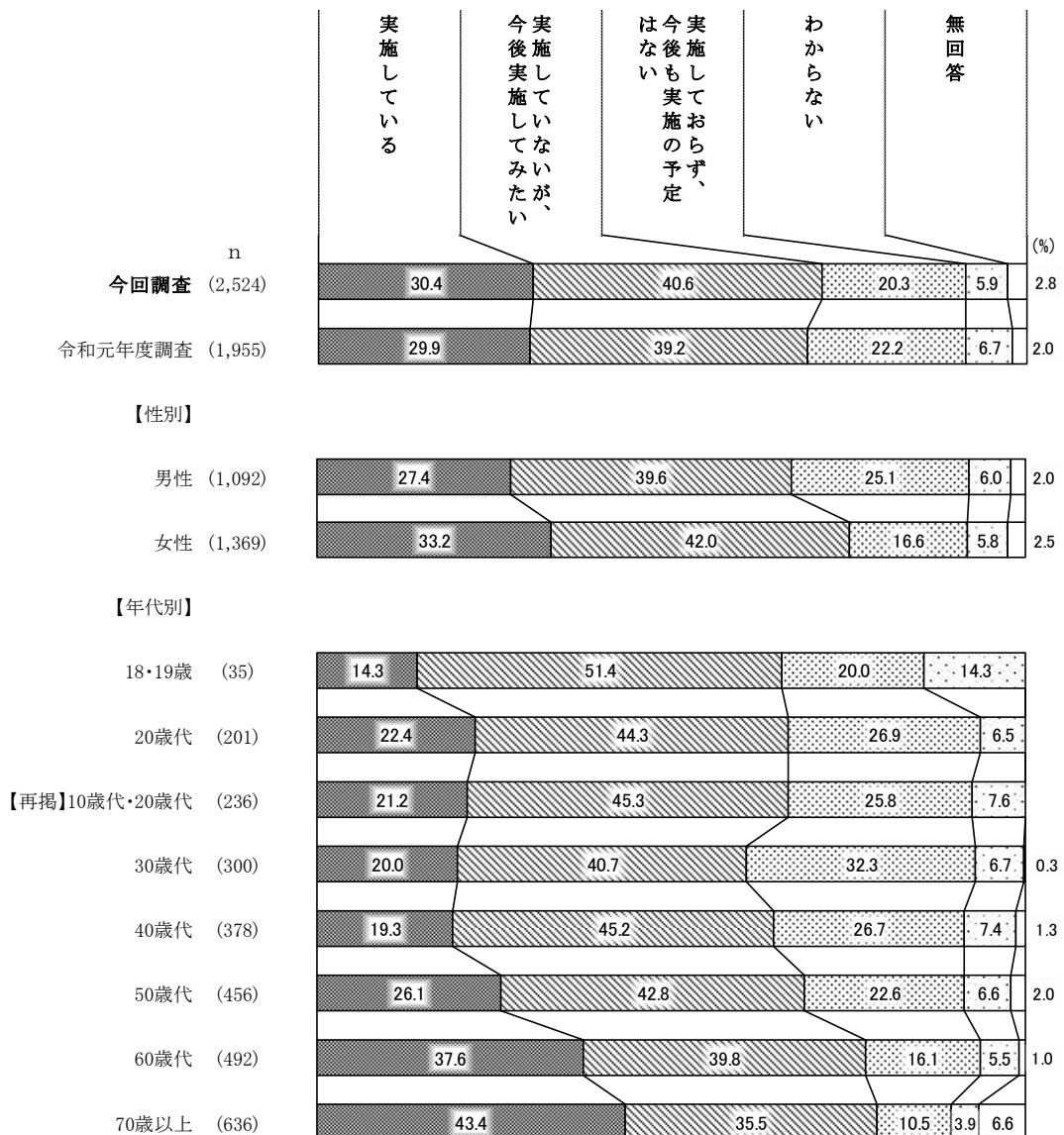
① 性別

「実施している」は女性(33.2%)の方が男性(27.4%)よりも5.8ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は70歳以上(43.4%)で4割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は10歳代・20歳代(45.3%)と40歳代(45.2%)で4割台半ばと高くなっている。

○ 「(6) 消火器の準備や風呂の水のためおきなど、消火活動を行うために準備」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」はさいたま地域（34.6%）で3割台半ばと高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は東部地域（44.9%）で4割台半ばと高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性の70歳以上（45.5%）と60歳代（45.4%）で4割台半ばと高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は女性の40歳代（49.8%）と10歳代・20歳代（49.6%）で約5割と高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（39.1%）で約4割と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は雇用者（計）（43.0%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は高齢期（42.3%）で4割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は家族成長前期（45.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。

○ 「(6) 消火器の準備や風呂の水のためおきなど、消火活動を行うために準備」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、 実施してみたい	今後実施しておらず、 実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	30.4	40.6	20.3	5.9	2.8
地域別						
南部地域	242	31.0	42.1	21.9	2.5	2.5
南西部地域	224	26.8	39.3	26.8	5.8	1.3
東部地域	399	27.3	44.9	21.6	4.3	2.0
さいたま地域	451	34.6	38.8	19.1	4.9	2.7
県央地域	192	29.2	38.0	18.8	12.5	1.6
川越比企地域	288	31.9	37.2	21.2	6.3	3.5
西部地域	259	32.8	43.2	14.3	7.3	2.3
利根地域	244	31.6	39.3	19.3	7.0	2.9
北部地域	159	25.8	42.1	23.3	6.3	2.5
秩父地域	37	29.7	37.8	18.9	5.4	8.1
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	55.6	11.1	22.2	-
20歳代	86	25.6	38.4	33.7	2.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	24.2	40.0	31.6	4.2	-
30歳代	127	19.7	34.6	40.2	5.5	-
40歳代	158	19.0	39.2	32.9	7.6	1.3
50歳代	206	21.4	43.2	26.2	7.3	1.9
60歳代	220	27.7	40.0	23.6	7.3	1.4
70歳以上	285	40.7	38.6	12.3	3.9	4.6
女性／18・19歳	24	16.7	50.0	20.8	12.5	-
20歳代	107	20.6	49.5	21.5	8.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	19.8	49.6	21.4	9.2	-
30歳代	172	20.3	45.3	26.2	7.6	0.6
40歳代	213	19.7	49.8	22.5	6.6	1.4
50歳代	246	30.5	42.7	19.1	6.1	1.6
60歳代	269	45.4	39.8	10.0	4.1	0.7
70歳以上	336	45.5	33.9	9.2	4.2	7.1
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	39.1	36.4	17.9	4.3	2.2
雇用者（計）	1,336	23.8	43.0	25.4	6.5	1.2
無職（計）	958	38.1	38.3	14.1	5.4	4.1
ライフステージ別						
独身期	305	19.7	42.6	28.9	8.5	0.3
家族形成期	175	24.0	42.9	28.0	4.6	0.6
家族成長前期	203	18.2	45.8	28.1	6.9	1.0
家族成長後期	164	25.0	39.6	28.0	6.1	1.2
家族成熟期	459	34.4	39.7	19.4	5.0	1.5
高齢期	586	42.3	39.9	10.2	4.1	3.4
その他	632	28.8	38.8	19.6	7.0	5.9

(7) 地域の防災訓練に積極的に参加

「実施している」(14.1%)は1割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」(36.1%)は3割台半ばを超えている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(31.7%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、大きな差はみられない。

【属性別比較】

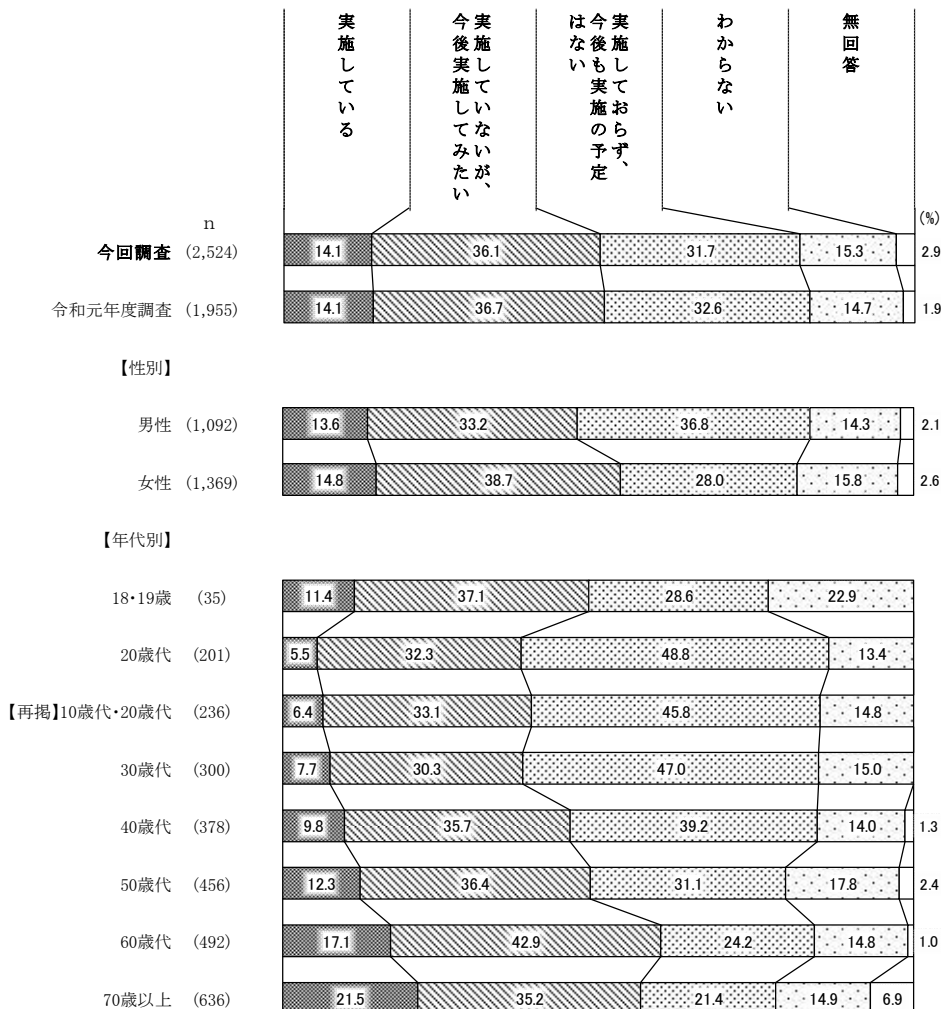
① 性別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性(38.7%)の方が男性(33.2%)よりも5.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上(21.5%)で2割強と最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は60歳代(42.9%)で4割強と最も高くなっている。また、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代(47.0%)と10歳代・20歳代(45.8%)で高くなっている。

○ 「(7) 地域の防災訓練に積極的に参加」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は西部地域（20.8%）で2割を超えて最も高くなっている。一方で、「実施していないが、今後実施してみたい」は秩父地域（45.9%）で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男女ともに70歳以上（女性22.0%、男性21.4%）で最も高くなっている。「実施していないが、今後実施してみたい」は、女性60歳代（45.4%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は、男性30歳代（59.1%）で約6割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（22.8%）で2割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は高齢期（21.0%）で2割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は、独身期（49.8%）で約5割と最も高くなっている。

○ 「(7) 地域の防災訓練に積極的に参加」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	実施していないが、 今後実施してみたい	実施しておらず、 今後の実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	14.1	36.1	31.7	15.3	2.9
地域別						
南部地域	242	14.9	37.2	32.6	12.8	2.5
南西部地域	224	11.6	35.3	39.3	13.4	0.4
東部地域	399	12.3	35.6	33.8	15.3	3.0
さいたま地域	451	12.6	36.4	31.7	16.6	2.7
県央地域	192	7.3	36.5	33.9	20.3	2.1
川越比企地域	288	16.7	34.4	26.4	18.8	3.8
西部地域	259	20.8	35.5	25.9	14.7	3.1
利根地域	244	15.6	36.1	31.6	14.3	2.5
北部地域	159	15.7	37.7	34.6	10.1	1.9
秩父地域	37	13.5	45.9	24.3	10.8	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	22.2	11.1	44.4	-
20歳代	86	10.5	26.7	51.2	11.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	11.6	26.3	47.4	14.7	-
30歳代	127	7.1	25.2	59.1	8.7	-
40歳代	158	10.8	29.7	43.0	15.2	1.3
50歳代	206	6.3	32.5	39.8	18.9	2.4
60歳代	220	16.4	39.5	29.1	14.1	0.9
70歳以上	285	21.4	36.8	23.9	13.0	4.9
女性／18・19歳	24	8.3	41.7	33.3	16.7	-
20歳代	107	1.9	37.4	48.6	12.1	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.1	38.2	45.8	13.0	-
30歳代	172	8.1	33.7	38.4	19.8	-
40歳代	213	8.9	40.4	37.1	12.2	1.4
50歳代	246	17.5	39.8	23.6	17.1	2.0
60歳代	269	17.8	45.4	20.1	15.6	1.1
70歳以上	336	22.0	34.5	19.6	16.4	7.4
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	22.8	32.6	28.3	13.6	2.7
雇用者（計）	1,336	10.4	36.2	37.6	14.4	1.3
無職（計）	958	17.5	37.1	24.6	16.7	4.1
ライフステージ別						
独身期	305	6.9	29.2	49.8	14.1	-
家族形成期	175	7.4	37.1	41.7	13.7	-
家族成長前期	203	11.3	36.0	37.9	13.8	1.0
家族成長後期	164	16.5	31.7	32.9	17.7	1.2
家族成熟期	459	15.9	39.4	28.3	14.4	2.0
高齢期	586	21.0	40.1	20.8	14.5	3.6
その他	632	11.9	34.2	30.2	17.6	6.2

(8) その他

○大地震に備えた取組の実施状況（45件）

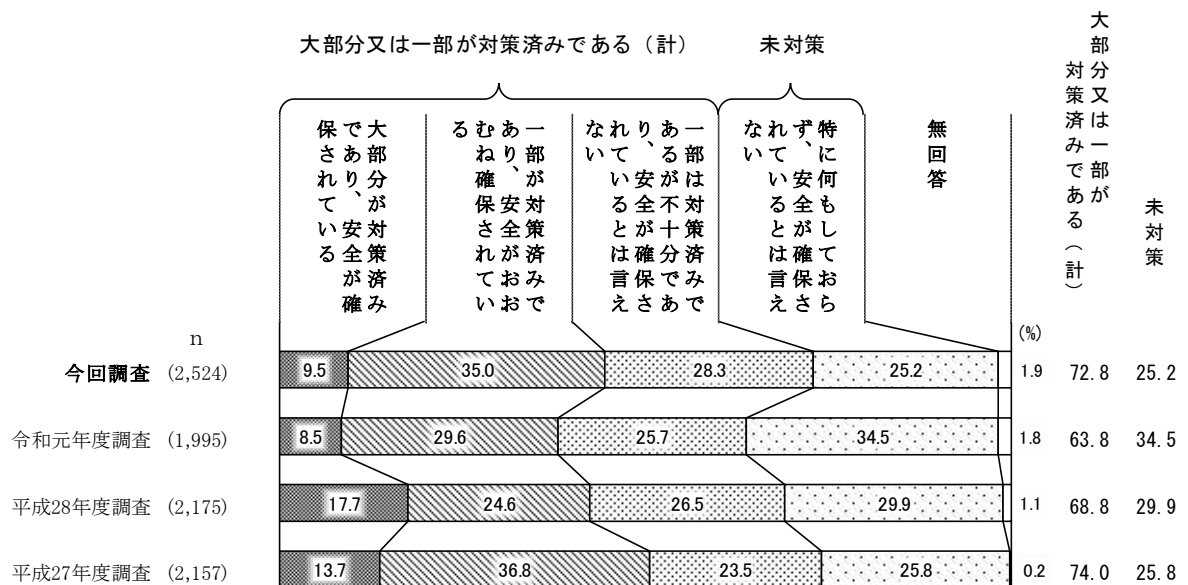
【主な回答（一部抜粋）】

- ・防災センターでの学び。（「実施している」）
- ・夜間の災害時のために、衣類や靴を準備。（「実施している」）
- ・防災テレビ番組を見る。（「実施している」）
- ・地震保険に入る。（「実施している」）

(2) 家具転倒防止対策の実施状況

◇『大部分又は一部が対策済みである（計）』は72.8%

問18 あなたの家では、地震に備えて家具転倒防止対策を実施していますか。（家具類（タンスや食器棚、本棚、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ等）が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫、家具類がない部屋で就寝するなどを実施している場合、対策しているといえます。）（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

自宅での家具転倒防止対策の実施状況は、「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」(25.2%)が2割台半ばとなっている。「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」(9.5%)、「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」(35.0%)、「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」(28.3%)を合わせた『大部分又は一部が対策済みである（計）』(72.8%)が7割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『大部分又は一部が対策済みである（計）』は9.0ポイント増加している。

【属性別比較】

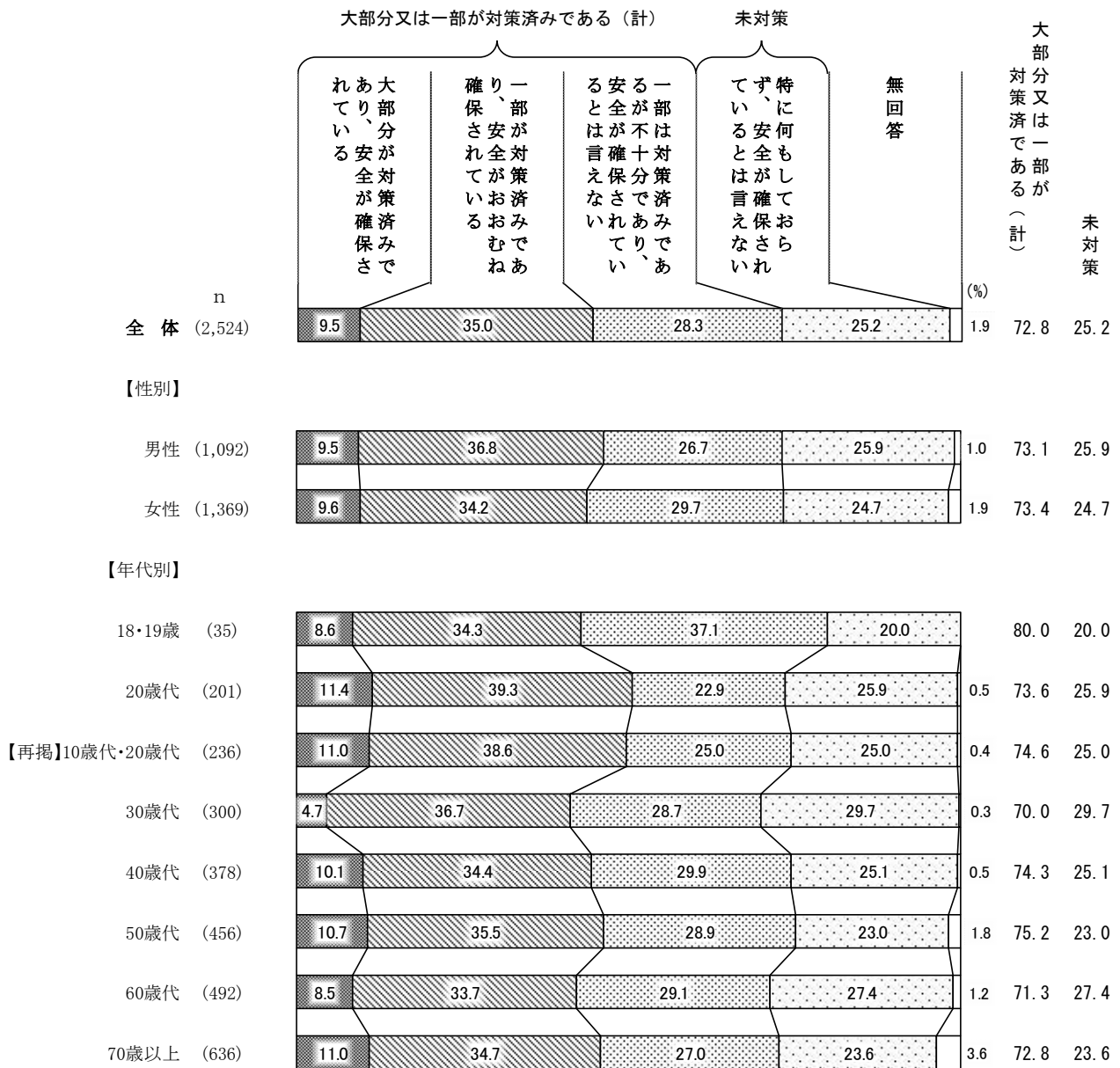
① 性別

「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」は女性(29.7%)の方が男性(26.7%)よりも3.0ポイント高くなっている。

② 年代別

「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」は30歳代(29.7%)で約3割と最も高くなっている。「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」は40歳代(29.9%)と60歳代(29.1%)で約3割と高くなっている。

○家具転倒防止対策の実施状況・性別／年代別



③ 地域別

「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は県央地域（42.7%）で4割強と最も高くなっている。「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」は秩父地域（37.8%）と北部地域（37.1%）で3割台半ばを超えて高くなっている。

④ 性・年代別

「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は男性10歳代・20歳代（45.3%）で4割台半ばと最も高くなっている。「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」は女性30歳代（33.1%）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」は自営業・家族従業（計）（15.2%）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」は家族成長後期（45.1%）で4割台半ばと最も高く、「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」は独身期（29.5%）で約3割と最も高くなっている。

○家具転倒防止対策の実施状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

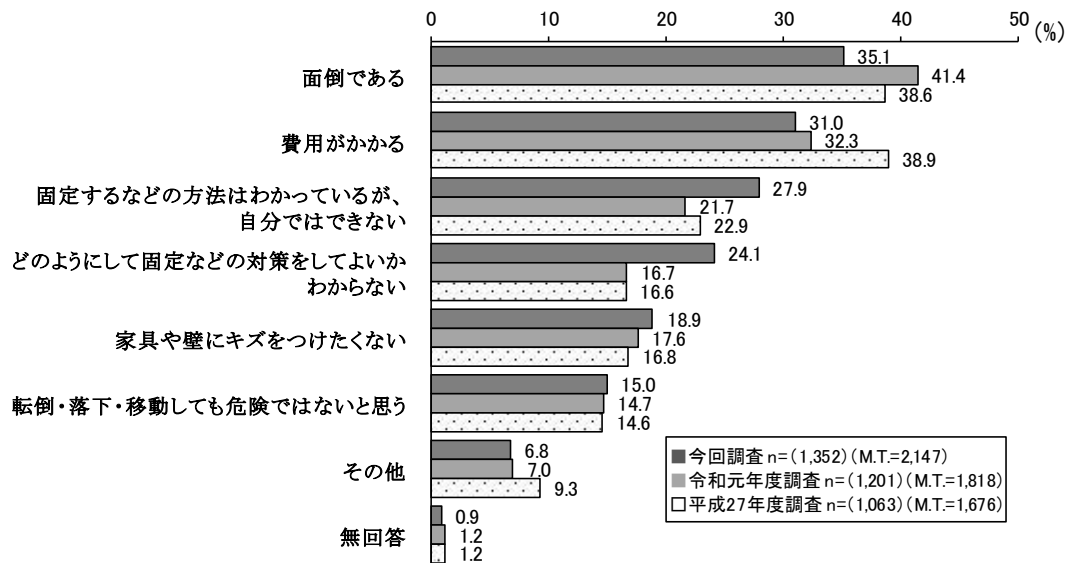
	調査数 n	いり、大部分が対策済みである	大部分が対策済みである	一部が対策済みである	安全が確保されている	安全が確保されていない	安全が確保されていない	安全が確保されていない	無回答	済みである又は一部が対策	未対策
全体	2,524	9.5	35.0	28.3	25.2	1.9			72.8	25.2	
地域別											
南部地域	242	11.6	37.6	28.5	19.4	2.9			77.7	19.4	
南西部地域	224	8.0	37.5	30.4	23.2	0.9			75.9	23.2	
東部地域	399	10.3	33.6	29.3	25.6	1.3			73.2	25.6	
さいたま地域	451	12.6	39.2	27.7	18.8	1.6			79.6	18.8	
県央地域	192	5.7	42.7	30.2	20.8	0.5			78.6	20.8	
川越比企地域	288	12.2	33.7	26.4	26.4	1.4			72.2	26.4	
西部地域	259	7.3	31.3	27.8	32.0	1.5			66.4	32.0	
利根地域	244	7.8	30.3	29.1	29.9	2.9			67.2	29.9	
北部地域	159	4.4	30.8	26.4	37.1	1.3			61.6	37.1	
秩父地域	37	5.4	24.3	21.6	37.8	10.8			51.4	37.8	
性・年代別											
男性／18・19歳	9	33.3	33.3	22.2	11.1	-			88.9	11.1	
20歳代	86	10.5	46.5	20.9	22.1	-			77.9	22.1	
【再掲】10歳代・20歳代	95	12.6	45.3	21.1	21.1	-			78.9	21.1	
30歳代	127	5.5	38.6	29.9	25.2	0.8			74.0	25.2	
40歳代	158	10.1	33.5	31.0	24.7	0.6			74.7	24.7	
50歳代	206	8.7	35.4	25.2	28.6	1.9			69.4	28.6	
60歳代	220	7.3	38.2	27.7	26.4	0.5			73.2	26.4	
70歳以上	285	12.3	34.7	25.3	26.3	1.4			72.3	26.3	
女性／18・19歳	24	-	37.5	41.7	20.8	-			79.2	20.8	
20歳代	107	12.1	34.6	24.3	28.0	0.9			71.0	28.0	
【再掲】10歳代・20歳代	131	9.9	35.1	27.5	26.7	0.8			72.5	26.7	
30歳代	172	4.1	35.5	27.3	33.1	-			66.9	33.1	
40歳代	213	10.3	34.3	30.0	24.9	0.5			74.6	24.9	
50歳代	246	12.2	35.8	32.1	18.7	1.2			80.1	18.7	
60歳代	269	9.7	30.5	29.4	28.6	1.9			69.5	28.6	
70歳以上	336	9.8	35.1	29.5	20.8	4.8			74.4	20.8	
職業別											
自営業・家族従業（計）	184	15.2	34.8	26.1	21.7	2.2			76.1	21.7	
雇用者（計）	1,336	7.5	34.4	30.0	27.5	0.7			71.9	27.5	
無職（計）	958	11.6	36.2	26.3	23.2	2.7			74.1	23.2	
ライフステージ別											
独身期	305	8.9	36.1	25.6	29.5	-			70.5	29.5	
家族形成期	175	6.9	35.4	32.6	24.6	0.6			74.9	24.6	
家族成長前期	203	9.4	39.4	29.1	21.2	1.0			77.8	21.2	
家族成長後期	164	8.5	45.1	27.4	18.3	0.6			81.1	18.3	
家族成熟期	459	10.0	31.4	31.8	25.7	1.1			73.2	25.7	
高齢期	586	9.6	36.5	28.5	23.7	1.7			74.6	23.7	
その他	632	10.3	31.6	25.8	27.5	4.7			67.7	27.5	

(2-1) 家具転倒防止対策を実施していない理由

◇「面倒である」が35.1%で第1位、次いで「費用がかかる」が31.0%

(問18で「3. 一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」または「4. 特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えの方にお伺いします。)

問18-1 あなたの家において、家具類が転倒・落下・移動しないための対策が不十分、または、特に何もしておらず、安全が確保されていない理由は何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

家具転倒防止対策を実施していない理由は、「面倒である」(35.1%)が3割台半ばと最も高く、次いで「費用がかかる」(31.0%)、「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」(27.9%)、「どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない」(24.1%)、「家具や壁にキズをつけたくない」(18.9%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「面倒である」は6.3ポイント減少している。一方で、「どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない」は7.4ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「面倒である」は川越比企地域（45.4%）で4割台半ばと最も高く、「費用がかかる」は西部地域（41.9%）で4割強と最も高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」はさいたま地域（35.2%）で3割台半ばと高くなっている。

② 性別

「面倒である」は男性（40.0%）の方が女性（32.0%）よりも8.0ポイント高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は女性（37.9%）の方が男性（15.1%）よりも22.8ポイント、「どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない」は女性（27.8%）の方が男性（19.3%）よりも8.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「面倒である」は30歳代（44.0%）と10歳代・20歳代（41.5%）で高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は70歳以上（46.0%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「面倒である」は男性10歳代・20歳代（52.5%）で5割強と高くなっている。「費用がかかる」は男女ともに10歳代・20歳代（女性40.8%、男性40.0%）で4割前後と高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は女性70歳以上（60.4%）で6割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「面倒である」は雇用者（計）（37.9%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「面倒である」は家族成長前期（44.1%）と独身期（44.0%）で4割台半ばと高くなっている。「固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない」は高齢期（42.5%）で4割強と最も高くなっている。

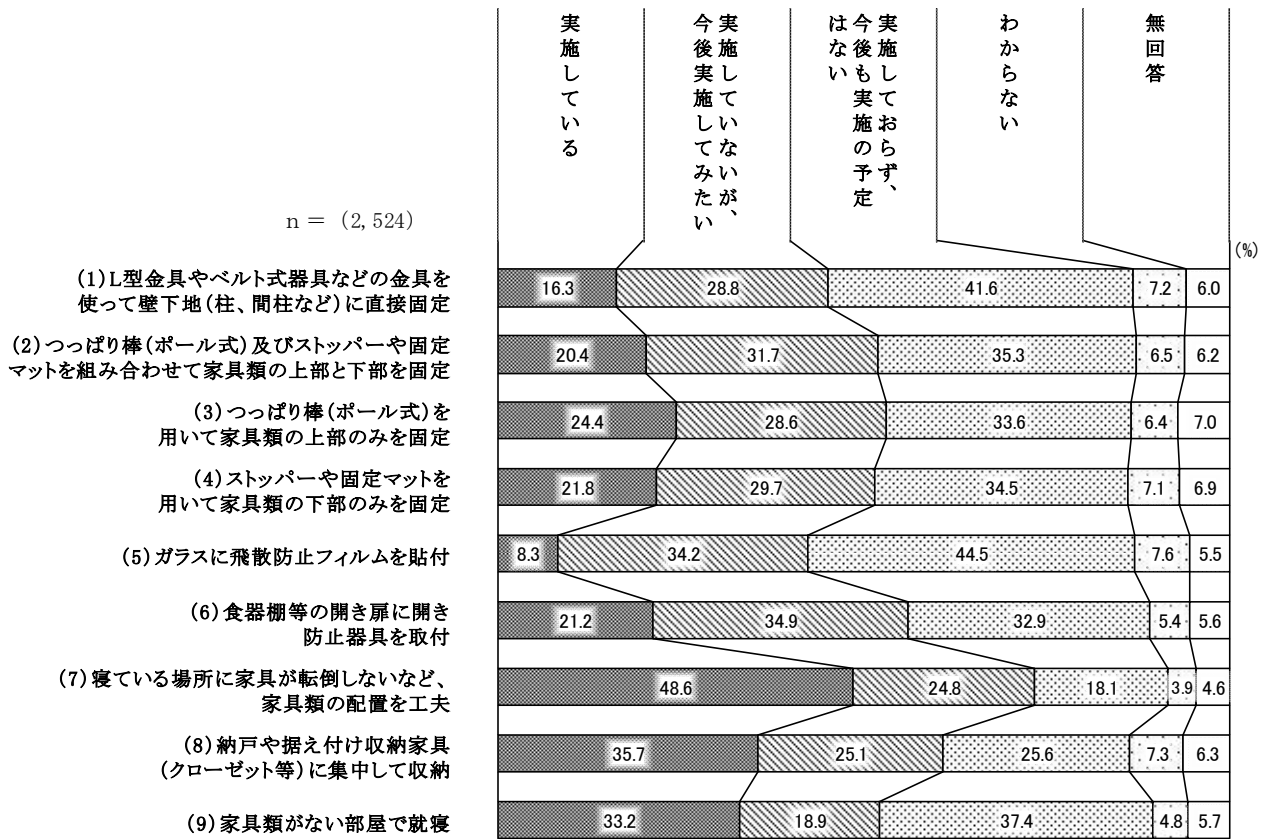
○家具転倒防止対策を実施していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	面 倒 で あ る	費 用 が か か る	で は か つ て い る が 、 自 法 分 は	固 定 す る な ど の 方 法 は	わ か ら な い の を し て よ い か な	ど の よ う に し て 固 定 な	た く な い 家 具 や 壁 に キ ズ を つ け	も 転 倒 ・ 落 下 ・ 移 動 し て は な い と 思 う	そ の 他	無 回 答
全 体	1,352	35.1	31.0	27.9	24.1	18.9	15.0	6.8	0.9		
地域別											
南部地域	116	40.5	27.6	30.2	24.1	17.2	18.1	7.8	-		
南西部地域	120	27.5	23.3	23.3	25.0	25.8	15.8	10.0	0.8		
東部地域	219	28.8	27.9	26.0	25.1	16.4	15.5	7.8	-		
さいたま地域	210	31.9	31.0	35.2	17.6	21.4	14.3	7.6	1.0		
県央地域	98	41.8	29.6	24.5	31.6	32.7	10.2	3.1	-		
川越比企地域	152	45.4	31.6	21.7	25.7	15.1	17.1	6.6	2.6		
西部地域	155	39.4	41.9	31.0	24.5	13.5	14.8	5.2	0.6		
利根地域	144	33.3	33.3	27.1	20.8	17.4	16.0	5.6	1.4		
北部地域	101	34.7	31.7	31.7	25.7	15.8	11.9	5.0	2.0		
秩父地域	22	36.4	36.4	18.2	18.2	22.7	13.6	9.1	-		
性別											
男性	575	40.0	32.5	15.1	19.3	19.8	20.7	8.0	0.7		
女性	744	32.0	29.7	37.9	27.8	18.4	10.8	5.5	0.9		
年代別											
18・19歳	20	50.0	20.0	20.0	40.0	25.0	-	10.0	-		
20歳代	98	39.8	41.8	21.4	28.6	28.6	11.2	5.1	-		
【再掲】10歳代・20歳代	118	41.5	38.1	21.2	30.5	28.0	9.3	5.9	-		
30歳代	175	44.0	38.3	14.9	25.1	26.3	12.6	4.6	-		
40歳代	208	39.4	29.3	14.9	25.0	18.8	12.5	8.2	0.5		
50歳代	237	37.1	38.4	24.9	18.6	20.7	12.2	7.2	0.4		
60歳代	278	29.5	29.1	30.6	23.7	19.8	18.7	6.5	0.7		
70歳以上	322	28.6	21.7	46.0	24.5	9.9	18.6	7.1	2.5		
性・年代別											
男性／18・19歳	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-		
20歳代	37	54.1	43.2	2.7	21.6	16.2	13.5	5.4	-		
【再掲】10歳代・20歳代	40	52.5	40.0	5.0	22.5	17.5	12.5	5.0	-		
30歳代	70	42.9	37.1	10.0	22.9	21.4	14.3	2.9	-		
40歳代	88	40.9	30.7	5.7	21.6	23.9	20.5	9.1	1.1		
50歳代	111	44.1	37.8	11.7	11.7	20.7	18.0	7.2	-		
60歳代	119	39.5	31.1	13.4	18.5	22.7	25.2	7.6	0.8		
70歳以上	147	32.0	26.5	29.9	21.8	14.3	24.5	11.6	1.4		
女性／18・19歳	15	60.0	26.7	13.3	46.7	26.7	-	6.7	-		
20歳代	56	32.1	44.6	35.7	33.9	35.7	8.9	1.8	-		
【再掲】10歳代・20歳代	71	38.0	40.8	31.0	36.6	33.8	7.0	2.8	-		
30歳代	104	44.2	38.5	18.3	26.9	29.8	11.5	5.8	-		
40歳代	117	38.5	28.2	21.4	27.4	14.5	6.8	7.7	-		
50歳代	125	31.2	38.4	36.8	24.8	20.8	7.2	7.2	0.8		
60歳代	156	22.4	26.9	43.6	28.2	17.9	14.1	5.8	-		
70歳以上	169	26.0	16.6	60.4	27.2	6.5	13.6	3.6	3.6		
職業別											
自営業・家族従業（計）	88	34.1	26.1	27.3	20.5	13.6	20.5	5.7	-		
雇用者（計）	768	37.9	34.1	21.0	22.1	22.1	13.4	7.6	0.4		
無職（計）	474	31.4	27.4	38.8	27.4	15.2	16.5	5.7	1.9		
ライフステージ別											
独身期	168	44.0	41.1	18.5	26.8	25.6	10.7	5.4	-		
家族形成期	100	38.0	30.0	17.0	31.0	28.0	11.0	6.0	-		
家族成長前期	102	44.1	34.3	14.7	24.5	25.5	13.7	4.9	1.0		
家族成長後期	75	40.0	40.0	28.0	14.7	24.0	6.7	8.0	-		
家族成熟期	264	34.1	32.2	28.0	18.2	16.7	16.7	7.6	1.1		
高齢期	306	28.4	24.8	42.5	27.1	14.1	17.6	4.2	1.6		
その他	337	32.6	27.9	26.4	24.6	16.0	16.9	9.8	0.9		

(3) 自宅での家具類の転倒・落下・移動による危険防止対策の実施状況

◇「実施している」は寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫が48.6%

問19 あなたの家では、家具類の転倒・落下・移動による危険防止のため、どのような対策を実施していますか。次の(1)から(10)までのそれぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。(各項目それぞれ〇は1つずつ)



※「(10) その他」については、具体的な取組状況の回答を一部抜粋して記載した(214ページ参照)。

自宅での家具類の転倒・落下・移動による危険防止対策の実施状況について、「実施している」は(7)寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫(48.6%)が5割弱と最も高く、次いで(8)納戸や据え付け収納家具(クローゼット等)に集中して収納(35.7%)、(9)家具類がない部屋で就寝(33.2%)が比較的高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は(5)ガラスに飛散防止フィルムを貼付(44.5%)が4割台半ばと最も高く、次いで(1)L型金具やベルト式器具などの金具を使って壁下地(柱、間柱など)に直接固定(41.6%)が4割強と高くなっている。

(1) L型金具やベルト式器具などの金具を使って壁下地（柱、間柱など）に直接固定

「実施している」(16.3%)は1割台半ばを超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(28.8%)は3割弱となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(41.6%)は4割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」が4.7ポイント減少している。

【属性別比較】

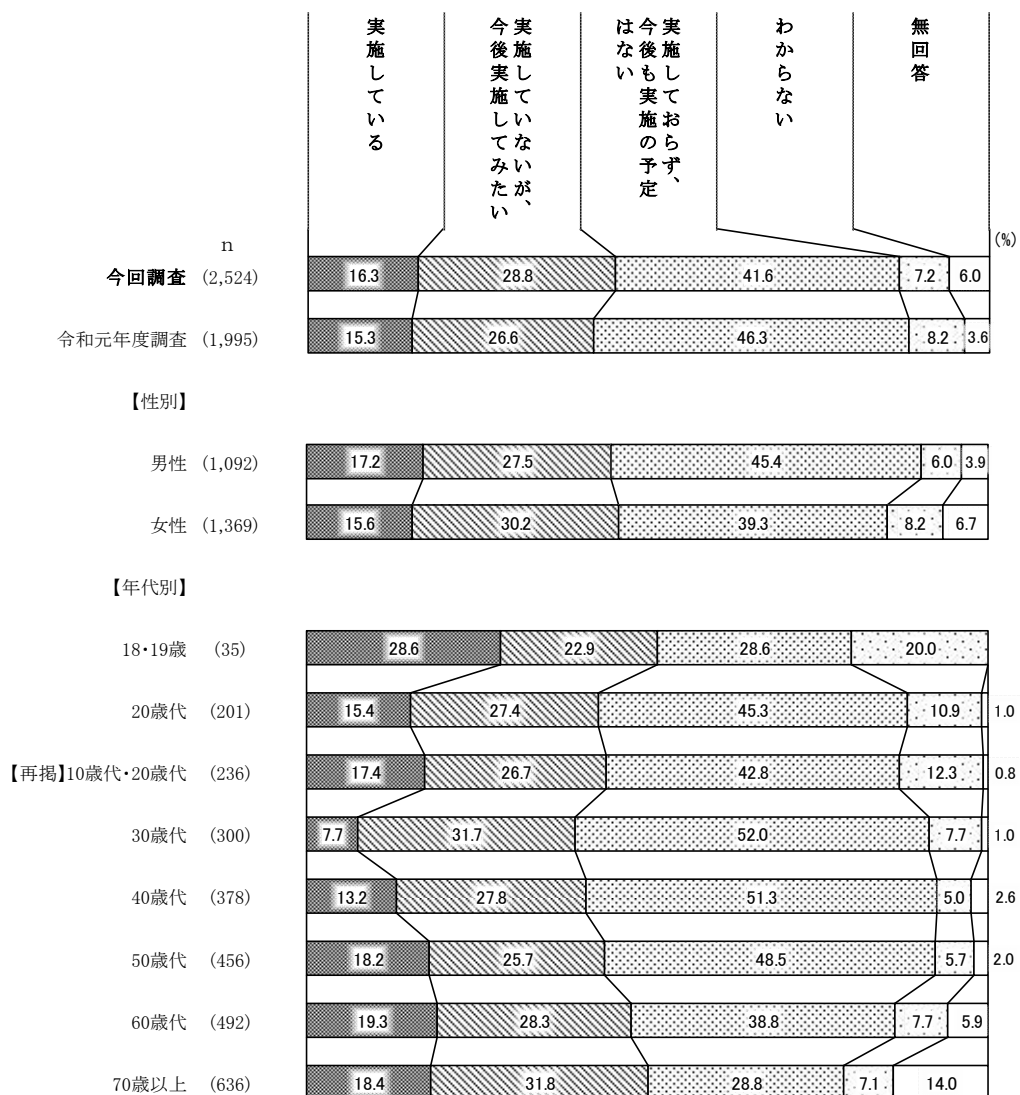
① 性別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（45.4%）の方が女性（39.3%）よりも6.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は60歳代（19.3%）で約2割と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代（52.0%）と40歳代（51.3%）で5割強と高くなっている。

○「(1) L型金具やベルト式器具などの金具を使って壁下地（柱、間柱など）に直接固定」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は利根地域（23.4%）で2割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は南西部地域（49.1%）で約5割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男性の60歳代（22.3%）と70歳以上（21.1%）と女性50歳代（20.3%）で高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性30歳代（58.3%）で6割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（49.2%）で約5割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は家族成長後期（51.8%）と家族成長前期（51.7%）で5割強と高くなっている。

○「(1) L型金具やベルト式器具などの金具を使って壁下地（柱、間柱など）に直接固定」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、 実施してみたい	今後実施しておらず、 実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	16.3	28.8	41.6	7.2	6.0
地域別						
南部地域	242	17.4	28.9	44.6	4.5	4.5
南西部地域	224	11.2	29.9	49.1	6.3	3.6
東部地域	399	17.8	28.1	39.6	7.3	7.3
さいたま地域	451	15.5	26.4	46.6	7.3	4.2
県央地域	192	17.7	27.6	40.1	10.4	4.2
川越比企地域	288	14.6	30.6	38.9	8.3	7.6
西部地域	259	18.1	30.1	39.8	5.4	6.6
利根地域	244	23.4	25.4	39.3	7.0	4.9
北部地域	159	9.4	36.5	38.4	8.2	7.5
秩父地域	37	13.5	29.7	32.4	13.5	10.8
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	11.1	11.1	33.3	-
20歳代	86	15.1	30.2	41.9	10.5	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	17.9	28.4	38.9	12.6	2.1
30歳代	127	4.7	32.3	58.3	4.7	-
40歳代	158	14.6	23.4	55.1	5.1	1.9
50歳代	206	15.5	28.2	49.5	5.3	1.5
60歳代	220	22.3	22.3	47.7	4.1	3.6
70歳以上	285	21.1	30.9	31.9	6.7	9.5
女性／18・19歳	24	25.0	29.2	29.2	16.7	-
20歳代	107	15.9	26.2	48.6	9.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	17.6	26.7	45.0	10.7	-
30歳代	172	9.9	31.4	47.1	9.9	1.7
40歳代	213	12.2	31.9	47.9	5.2	2.8
50歳代	246	20.3	23.6	48.0	6.1	2.0
60歳代	269	16.4	33.1	32.0	10.8	7.8
70歳以上	336	15.8	32.7	26.8	7.7	17.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	22.3	33.7	32.1	4.3	7.6
雇用者（計）	1,336	13.1	28.1	49.2	6.8	2.8
無職（計）	958	19.6	29.1	34.2	8.1	8.9
ライフステージ別						
独身期	305	14.4	25.9	46.9	11.5	1.3
家族形成期	175	10.3	36.0	46.9	6.9	-
家族成長前期	203	10.8	30.5	51.7	5.4	1.5
家族成長後期	164	15.2	28.0	51.8	2.4	2.4
家族成熟期	459	20.7	25.5	43.6	6.3	3.9
高齢期	586	18.3	32.8	31.6	6.5	10.9
その他	632	15.8	26.7	39.7	8.4	9.3

(2) つっぱり棒（ポール式）及びストッパーや固定マットを組み合わせて家具類の上部と下部を固定

「実施している」（20.4％）は2割を超え、「実施していないが、今後実施してみたい」（31.7％）は3割強となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」（35.3％）は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は4.2ポイント減少している。

【属性別比較】

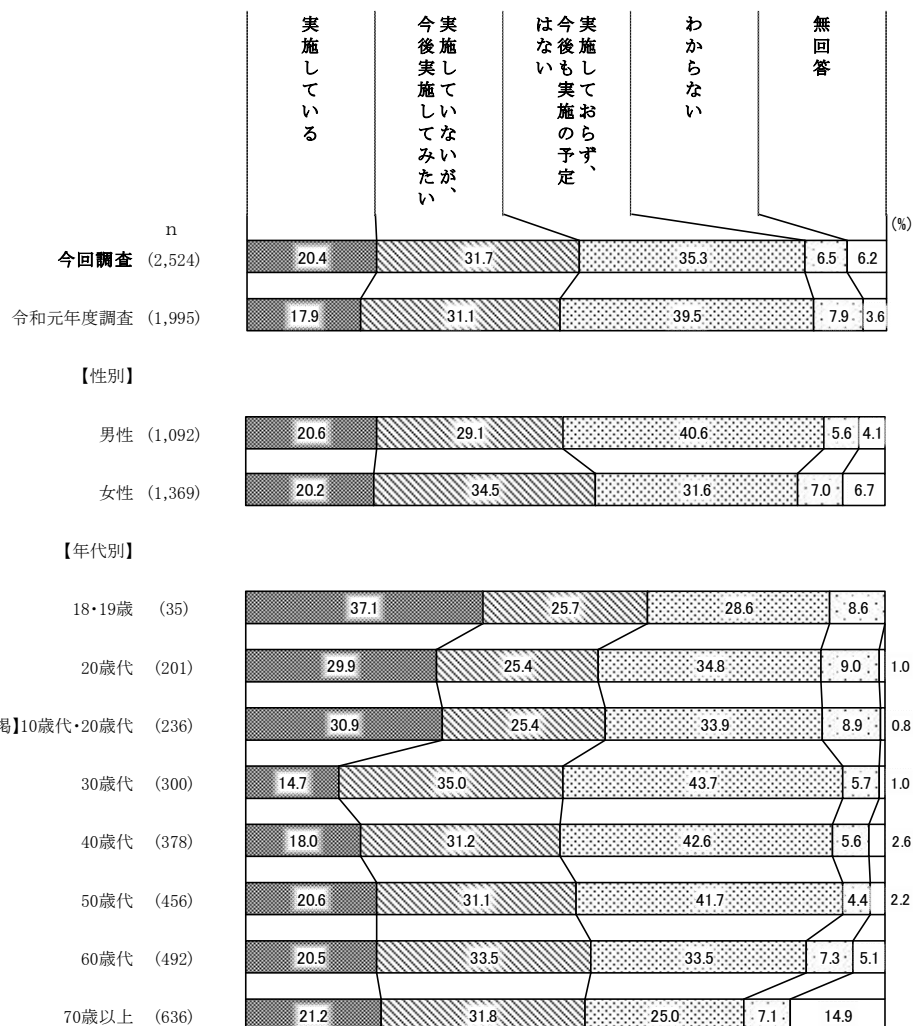
① 性別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（40.6％）の方が女性（31.6％）よりも9.0ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は10歳代・20歳代（30.9％）で3割を超えて最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代（43.7％）から50歳代（41.7％）までで4割強と高くなっている。

○「(2) つっぱり棒（ポール式）及びストッパーや固定マットを組み合わせて家具類の上部と下部を固定」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は南部地域（27.7%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」はさいたま地域（37.9%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男性10歳代・20歳代（37.9%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男女ともに30歳代（男性48.8%・女性40.1%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（40.9%）で4割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長後期（26.2%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「(2) つっぱり棒（ポール式）及びストッパーや固定マットを組み合わせて家具類の上部と下部を固定」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施しない	わからない	無回答
全体	2,524	20.4	31.7	35.3	6.5	6.2
地域別						
南部地域	242	27.7	30.6	33.5	2.5	5.8
南西部地域	224	21.0	31.7	37.5	5.8	4.0
東部地域	399	19.5	32.3	33.8	7.3	7.0
さいたま地域	451	23.1	28.4	37.9	7.3	3.3
県央地域	192	20.8	31.3	35.4	8.3	4.2
川越比企地域	288	19.8	32.6	33.7	6.3	7.6
西部地域	259	21.2	30.1	34.7	6.2	7.7
利根地域	244	16.8	34.8	37.3	5.7	5.3
北部地域	159	11.9	35.8	35.8	8.8	7.5
秩父地域	37	10.8	40.5	32.4	2.7	13.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	66.7	11.1	-	22.2	-
20歳代	86	34.9	20.9	34.9	7.0	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	37.9	20.0	31.6	8.4	2.1
30歳代	127	13.4	35.4	48.8	1.6	0.8
40歳代	158	17.1	27.8	47.5	5.1	2.5
50歳代	206	16.5	28.2	48.1	6.3	1.0
60歳代	220	21.4	28.2	41.8	5.0	3.6
70歳以上	285	22.5	31.2	29.8	6.7	9.8
女性／18・19歳	24	29.2	33.3	33.3	4.2	-
20歳代	107	26.2	30.8	34.6	8.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	26.7	31.3	34.4	7.6	-
30歳代	172	15.1	34.9	40.1	8.7	1.2
40歳代	213	18.3	34.3	38.5	6.1	2.8
50歳代	246	23.6	34.1	36.6	2.8	2.8
60歳代	269	20.1	37.9	26.8	9.3	5.9
70歳以上	336	19.3	33.0	21.7	7.7	18.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	27.7	27.7	30.4	4.3	9.8
雇用者（計）	1,336	18.3	32.3	40.9	5.8	2.7
無職（計）	958	22.2	32.0	29.4	7.5	8.8
ライフステージ別						
独身期	305	25.2	27.5	37.4	8.2	1.6
家族形成期	175	19.4	35.4	39.4	5.7	-
家族成長前期	203	15.8	36.0	41.9	5.4	1.0
家族成長後期	164	26.2	30.5	39.6	1.2	2.4
家族成熟期	459	21.6	30.9	36.2	7.2	4.1
高齢期	586	21.3	34.0	27.1	6.3	11.3
その他	632	16.6	30.1	36.7	7.1	9.5

(3) つっぱり棒（ポール式）を用いて家具類の上部のみを固定

「実施している」（24.4%）は2割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」（28.6%）は3割弱となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」（33.6%）は3割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は2.8ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は5.7ポイント減少している。

【属性別比較】

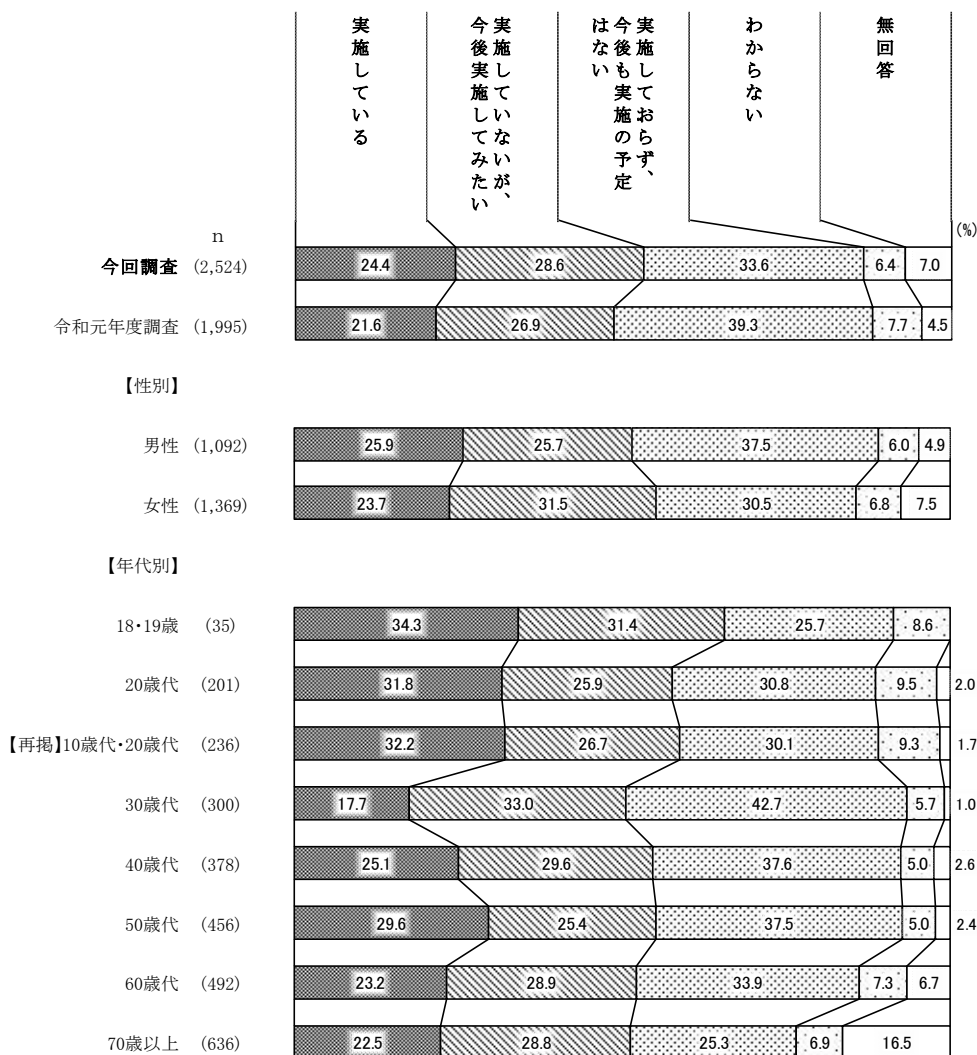
① 性別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（37.5%）の方が女性（30.5%）よりも7.0ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は10歳代・20歳代（32.2%）で3割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代（42.7%）で4割強と最も高くなっている。

○ 「(3) つっぱり棒（ポール式）を用いて家具類の上部のみを固定」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は南部地域（35.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。一方で、「実施していないが、今後実施してみたい」は秩父地域（40.5%）で4割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男性10歳代・20歳代（40.0%）で4割と最も高くなっている。「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男女ともに30歳代（男性44.9%・女性41.3%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（37.6%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長後期（36.0%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

○ 「(3) つっぱり棒（ポール式）を用いて家具類の上部のみを固定」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたいが、	今後実施しておらず、	わからない	無回答
全体	2,524	24.4	28.6	33.6	6.4	7.0
地域別						
南部地域	242	35.1	26.9	29.8	2.9	5.4
南西部地域	224	24.1	29.0	36.2	4.9	5.8
東部地域	399	23.3	28.1	34.3	7.3	7.0
さいたま地域	451	25.7	27.5	35.7	6.9	4.2
県央地域	192	26.6	27.6	31.8	8.9	5.2
川越比企地域	288	22.9	29.9	31.6	6.9	8.7
西部地域	259	22.8	26.6	36.3	6.2	8.1
利根地域	244	23.8	29.9	32.8	6.6	7.0
北部地域	159	16.4	33.3	33.3	8.2	8.8
秩父地域	37	16.2	40.5	24.3	2.7	16.2
性・年代別						
男性／18・19歳	9	55.6	22.2	11.1	11.1	-
20歳代	86	38.4	19.8	32.6	5.8	3.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	40.0	20.0	30.5	6.3	3.2
30歳代	127	18.1	33.9	44.9	2.4	0.8
40歳代	158	28.5	24.7	38.0	6.3	2.5
50歳代	206	25.2	25.7	41.3	6.8	1.0
60歳代	220	24.1	21.4	43.6	5.9	5.0
70歳以上	285	25.3	27.7	28.8	6.7	11.6
女性／18・19歳	24	29.2	33.3	29.2	8.3	-
20歳代	107	28.0	32.7	28.0	10.3	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	28.2	32.8	28.2	9.9	0.8
30歳代	172	16.9	32.6	41.3	8.1	1.2
40歳代	213	23.0	34.3	35.7	4.2	2.8
50歳代	246	32.9	25.6	34.6	3.7	3.3
60歳代	269	22.7	34.9	26.0	8.6	7.8
70歳以上	336	19.9	30.1	23.2	7.4	19.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	28.8	27.7	28.3	4.3	10.9
雇用者（計）	1,336	23.8	29.3	37.6	6.1	3.1
無職（計）	958	24.9	28.2	29.5	7.1	10.2
ライフステージ別						
独身期	305	28.5	27.5	32.8	8.9	2.3
家族形成期	175	18.9	35.4	40.6	5.1	-
家族成長前期	203	26.6	32.5	34.0	6.4	0.5
家族成長後期	164	36.0	23.2	36.6	1.8	2.4
家族成熟期	459	26.4	25.7	36.2	6.5	5.2
高齢期	586	24.1	30.5	27.0	6.7	11.8
その他	632	19.3	27.5	35.3	6.5	11.4

(4) ストッパーや固定マットを用いて家具類の下部のみを固定

「実施している」(21.8%)は2割強、「実施していないが、今後実施してみたい」(29.7%)は約3割となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(34.5%)は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は3.5ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は6.1ポイント減少している。

【属性別比較】

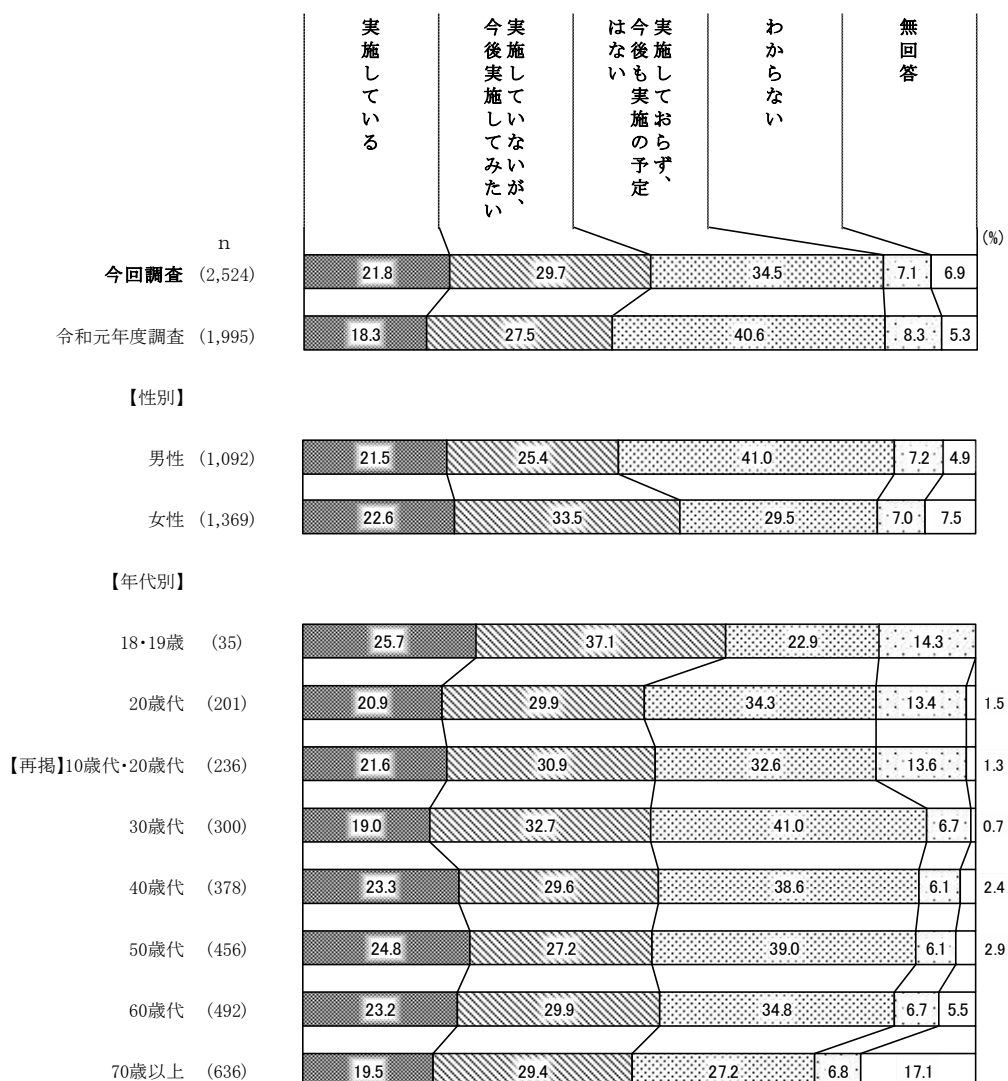
① 性別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性(41.0%)の方が女性(29.5%)よりも11.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代(41.0%)で4割強と最も高くなっている。

○ 「(4) ストッパーや固定マットを用いて家具類の下部のみを固定」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は南西部地域（29.0%）で約3割と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は北部地域（40.3%）で4割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性50歳代（28.5%）で3割弱と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性の30歳代（46.5%）と50歳代（46.1%）で4割台半ばを超えて高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（39.0%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施していないが、今後実施してみたい」は家族形成期（34.9%）で3割台半ばと最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は家族成長後期（41.5%）で4割強と最も高くなっている。

○「（4）ストッパーや固定マットを用いて家具類の下部のみを固定」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施しておらず、今後も実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	21.8	29.7	34.5	7.1	6.9
地域別						
南部地域	242	26.9	28.5	35.5	4.5	4.5
南西部地域	224	29.0	26.8	33.5	4.5	6.3
東部地域	399	20.1	31.6	33.1	9.0	6.3
さいたま地域	451	23.5	28.8	36.6	7.5	3.5
県央地域	192	22.4	30.7	31.8	8.3	6.8
川越比企地域	288	20.8	28.5	31.9	8.7	10.1
西部地域	259	21.2	30.5	33.6	6.2	8.5
利根地域	244	18.9	29.1	38.9	6.6	6.6
北部地域	159	12.6	30.8	40.3	8.8	7.5
秩父地域	37	18.9	37.8	27.0	2.7	13.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	22.2	11.1	22.2	-
20歳代	86	24.4	27.9	31.4	14.0	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	26.3	27.4	29.5	14.7	2.1
30歳代	127	21.3	28.3	46.5	3.1	0.8
40歳代	158	24.7	26.6	41.1	5.7	1.9
50歳代	206	20.9	24.3	46.1	7.3	1.5
60歳代	220	20.9	22.7	45.5	6.8	4.1
70歳以上	285	19.3	25.3	35.4	7.7	12.3
女性／18・19歳	24	20.8	45.8	20.8	12.5	-
20歳代	107	19.6	32.7	36.4	10.3	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	19.8	35.1	33.6	10.7	0.8
30歳代	172	17.4	36.0	36.6	9.3	0.6
40歳代	213	23.0	32.4	35.2	6.6	2.8
50歳代	246	28.5	29.3	33.3	5.3	3.7
60歳代	269	25.3	35.7	26.0	6.7	6.3
70歳以上	336	19.3	33.3	20.8	6.3	20.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	25.0	25.5	33.7	6.0	9.8
雇用者（計）	1,336	20.9	30.8	39.0	6.4	2.9
無職（計）	958	22.8	29.2	29.3	8.4	10.3
ライフステージ別						
独身期	305	20.7	30.5	35.4	11.8	1.6
家族形成期	175	20.0	34.9	38.3	6.9	-
家族成長前期	203	21.7	31.0	39.9	6.4	1.0
家族成長後期	164	23.8	28.7	41.5	2.4	3.7
家族成熟期	459	21.8	28.1	36.8	7.8	5.4
高齢期	586	21.7	32.8	28.2	5.5	11.9
その他	632	22.5	25.9	33.7	7.4	10.4

(5) ガラスに飛散防止フィルムを貼付

「実施している」(8.3%)は1割弱、「実施していないが、今後実施してみたい」(34.2%)は3割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(44.5%)は4割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は2.1ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は6.3ポイント減少している。

【属性別比較】

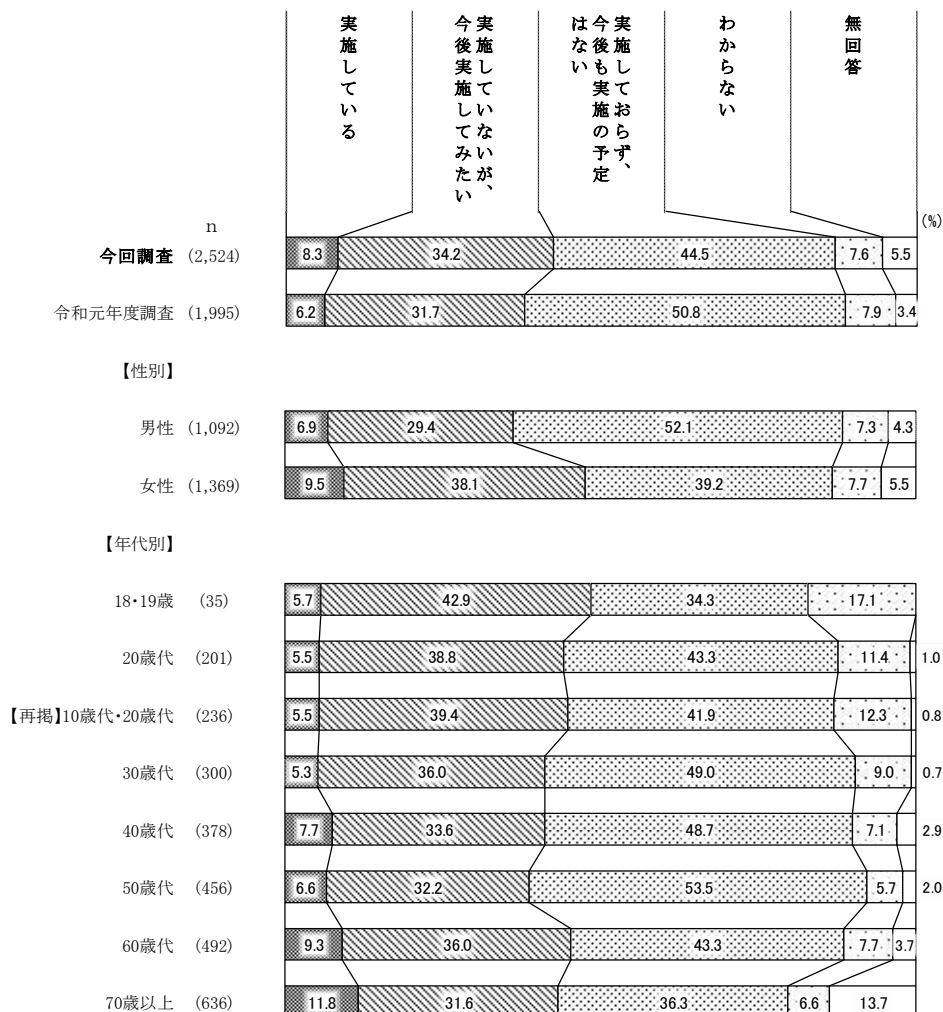
① 性別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性(38.1%)の方が男性(29.4%)よりも8.7ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性(52.1%)の方が女性(39.2%)よりも12.9ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は70歳以上(11.8%)で1割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は50歳代(53.5%)で5割強と最も高くなっている。

○ 「(5) ガラスに飛散防止フィルムを貼付」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施していないが、今後実施してみたい」は北部地域（38.4%）で4割弱と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は南部地域（51.2%）で5割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性10歳代・20歳代（43.5%）で4割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性50歳代（59.7%）で約6割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（49.0%）で約5割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は高齢期（10.9%）で1割を超えて最も高くなっている。一方で、「実施していないが、今後実施してみたい」は独身期（38.7%）で4割弱と最も高くなっている。

○ 「(5) ガラスに飛散防止フィルムを貼付」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施していないが、 実施してみたい	今後実施しておらず、 実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	8.3	34.2	44.5	7.6	5.5
地域別						
南部地域	242	9.5	31.8	51.2	3.3	4.1
南西部地域	224	7.1	35.3	47.3	6.3	4.0
東部地域	399	8.5	32.6	45.9	7.5	5.5
さいたま地域	451	10.2	33.5	46.1	7.5	2.7
県央地域	192	6.3	31.3	47.4	11.5	3.6
川越比企地域	288	9.7	35.1	39.6	8.0	7.6
西部地域	259	5.4	36.3	44.0	7.7	6.6
利根地域	244	8.6	34.4	42.6	9.4	4.9
北部地域	159	6.3	38.4	39.6	8.8	6.9
秩父地域	37	8.1	37.8	32.4	5.4	16.2
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	44.4	33.3	22.2	-
20歳代	86	8.1	36.0	41.9	11.6	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	7.4	36.8	41.1	12.6	2.1
30歳代	127	4.7	32.3	57.5	5.5	-
40歳代	158	6.3	27.2	55.1	8.2	3.2
50歳代	206	4.9	27.2	59.7	7.3	1.0
60歳代	220	6.4	29.1	55.0	6.4	3.2
70歳以上	285	9.8	28.8	43.9	6.7	10.9
女性／18・19歳	24	8.3	41.7	33.3	16.7	-
20歳代	107	2.8	43.9	43.0	10.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.8	43.5	41.2	11.5	-
30歳代	172	5.8	39.0	42.4	11.6	1.2
40歳代	213	8.5	39.0	43.7	6.1	2.8
50歳代	246	8.1	36.2	48.8	4.5	2.4
60歳代	269	11.5	41.3	34.2	8.9	4.1
70歳以上	336	13.7	33.9	30.7	6.8	14.9
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	9.8	32.1	47.8	2.7	7.6
雇用者（計）	1,336	6.2	35.4	49.0	7.0	2.4
無職（計）	958	10.6	33.1	38.7	9.3	8.2
ライフステージ別						
独身期	305	5.2	38.7	43.3	11.8	1.0
家族形成期	175	6.3	35.4	49.7	8.6	-
家族成長前期	203	8.4	35.5	45.8	8.9	1.5
家族成長後期	164	7.9	34.1	50.0	6.1	1.8
家族成熟期	459	7.6	35.3	48.1	5.2	3.7
高齢期	586	10.9	34.8	38.9	6.3	9.0
その他	632	8.5	29.7	44.1	8.1	9.5

(6) 食器棚等の開き扉に開き防止器具を取付

「実施している」(21.2%)は2割強、「実施していないが、今後実施してみたい」(34.9%)は3割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(32.9%)は3割強となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は2.1ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は5.1ポイント減少している。

【属性別比較】

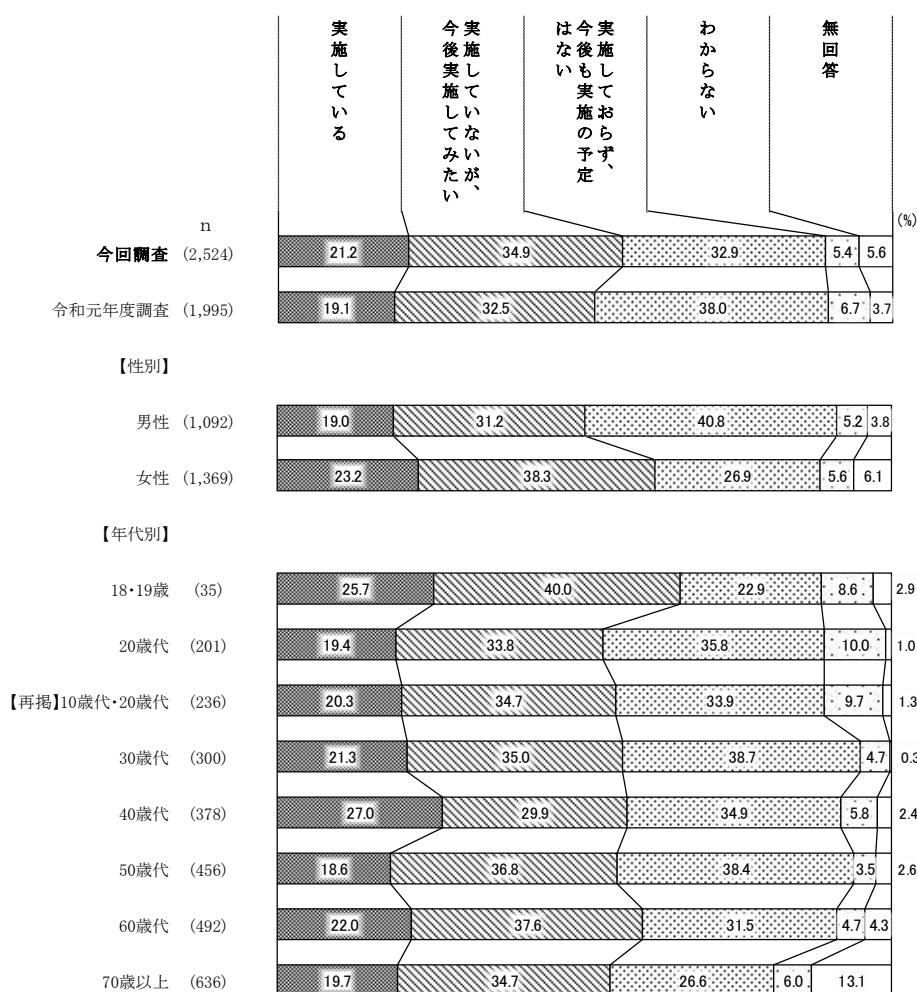
① 性別

「実施していないが、今後実施してみたい」は女性(38.3%)の方が男性(31.2%)よりも7.1ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性(40.8%)の方が女性(26.9%)よりも13.9ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は40歳代(27.0%)で2割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は30歳代(38.7%)と50歳代(38.4%)で4割弱と高くなっている。

○ 「(6) 食器棚等の開き扉に開き防止器具を取付」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施していないが、今後実施してみたい」は秩父地域（48.6%）で5割弱と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男女ともに40歳代（女性29.1%・男性24.7%）で高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性50歳代（46.1%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は雇用者（計）（36.8%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長前期（32.0%）で3割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は独身期（38.0%）で4割弱と最も高くなっている。

○ 「(6) 食器棚等の開き扉に開き防止器具を取付」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたいが、	今後実施しない	わからない	無回答
全体	2,524	21.2	34.9	32.9	5.4	5.6
地域別						
南部地域	242	28.5	28.5	36.0	2.5	4.5
南西部地域	224	26.3	36.2	29.5	4.0	4.0
東部地域	399	22.1	31.8	32.1	7.3	6.8
さいたま地域	451	24.8	34.8	33.5	4.0	2.9
県央地域	192	16.7	40.1	31.8	8.3	3.1
川越比企地域	288	21.2	35.8	30.2	6.6	6.3
西部地域	259	16.6	35.5	35.5	4.6	7.7
利根地域	244	15.2	35.2	38.1	6.1	5.3
北部地域	159	17.0	39.0	32.1	6.3	5.7
秩父地域	37	5.4	48.6	27.0	5.4	13.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	55.6	-	22.2	-
20歳代	86	22.1	29.1	38.4	8.1	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	22.1	31.6	34.7	9.5	2.1
30歳代	127	20.5	33.9	42.5	3.1	-
40歳代	158	24.7	25.9	39.9	7.6	1.9
50歳代	206	17.5	31.6	46.1	3.9	1.0
60歳代	220	19.5	29.5	43.2	4.1	3.6
70歳以上	285	14.7	33.7	37.2	5.3	9.1
女性／18・19歳	24	29.2	33.3	29.2	4.2	4.2
20歳代	107	17.8	39.3	32.7	10.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	19.8	38.2	32.1	9.2	0.8
30歳代	172	22.1	36.0	35.5	5.8	0.6
40歳代	213	29.1	33.3	30.5	4.2	2.8
50歳代	246	19.5	41.5	32.1	3.3	3.7
60歳代	269	24.2	44.2	21.9	5.2	4.5
70歳以上	336	23.5	35.7	18.2	6.8	15.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	25.0	35.3	28.8	2.7	8.2
雇用者（計）	1,336	20.4	35.5	36.8	4.9	2.4
無職（計）	958	21.8	34.4	29.0	6.6	8.1
ライフステージ別						
独身期	305	17.4	33.8	38.0	9.5	1.3
家族形成期	175	23.4	39.4	33.7	3.4	-
家族成長前期	203	32.0	34.0	29.6	3.9	0.5
家族成長後期	164	23.8	37.2	32.9	3.0	3.0
家族成熟期	459	21.6	35.5	35.1	3.7	4.1
高齢期	586	19.8	39.8	26.1	4.9	9.4
その他	632	19.1	29.0	36.1	6.6	9.2

(7) 寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫

「実施している」(48.6%)は5割弱、「実施していないが、今後実施してみたい」(24.8%)は2割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(18.1%)は2割弱となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は6.0ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は5.3ポイント減少している。

【属性別比較】

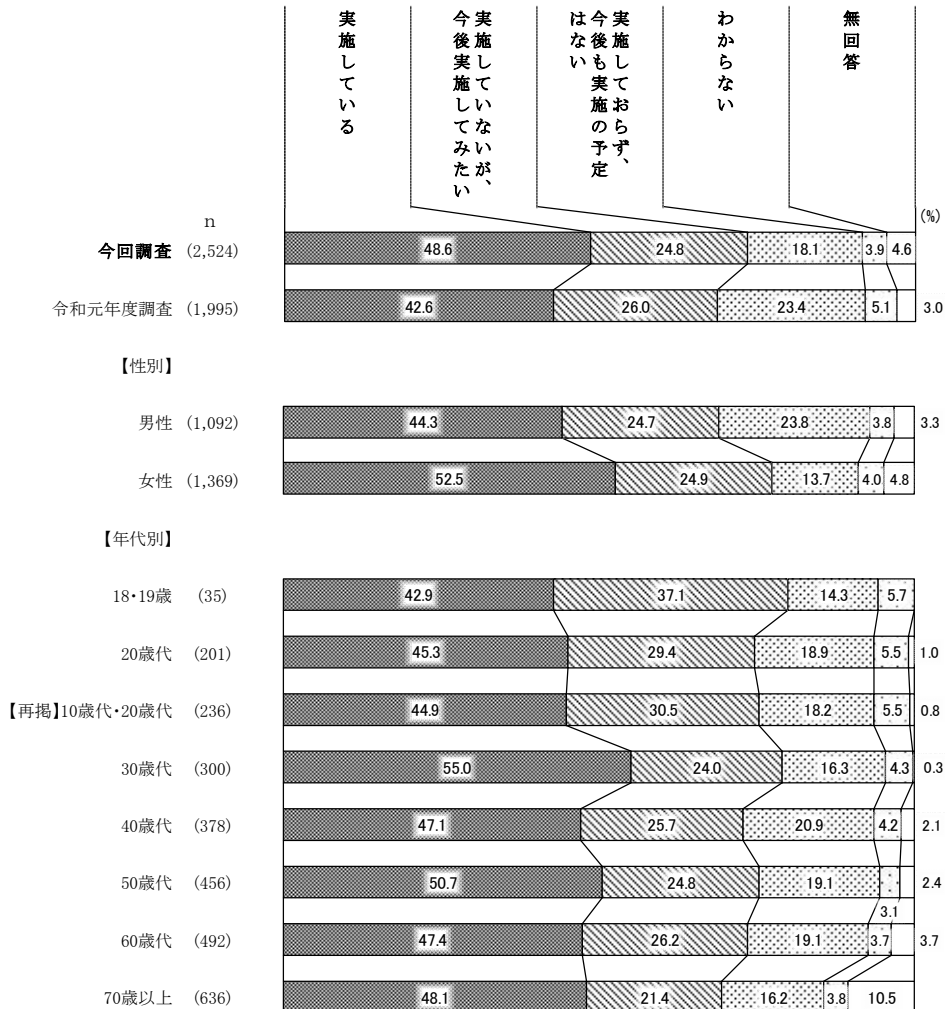
① 性別

「実施している」は女性(52.5%)の方が男性(44.3%)よりも8.2ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性(23.8%)の方が女性(13.7%)よりも10.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は30歳代(55.0%)で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は40歳代(20.9%)で2割を超えて最も高くなっている。

○ 「(7) 寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」はさいたま地域（54.1%）で5割台半ばと最も高く、「実施していないが、今後実施してみたい」は利根地域（29.5%）で約3割と最も高くなっている

④ 性・年代別

「実施している」は男女ともに30歳代（女性58.7%・男性50.4%）で高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性50歳代（29.6%）で約3割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（51.6%）で5割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族成長後期（59.8%）で約6割と最も高くなっている。

○ 「(7) 寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施しておらず、実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	48.6	24.8	18.1	3.9	4.6
地域別						
南部地域	242	50.0	23.1	22.3	1.7	2.9
南西部地域	224	52.2	22.3	20.1	2.2	3.1
東部地域	399	49.6	21.8	18.8	4.0	5.8
さいたま地域	451	54.1	24.8	16.0	2.7	2.4
県央地域	192	51.6	24.5	14.1	7.3	2.6
川越比企地域	288	50.3	24.0	14.2	5.9	5.6
西部地域	259	42.1	27.0	21.2	4.2	5.4
利根地域	244	39.3	29.5	22.1	3.7	5.3
北部地域	159	45.3	28.9	15.1	5.7	5.0
秩父地域	37	37.8	24.3	21.6	2.7	13.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	55.6	33.3	-	11.1	-
20歳代	86	37.2	32.6	20.9	7.0	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	38.9	32.6	18.9	7.4	2.1
30歳代	127	50.4	28.3	19.7	1.6	-
40歳代	158	43.0	24.7	26.6	4.4	1.3
50歳代	206	43.2	22.3	29.6	3.9	1.0
60歳代	220	45.0	25.9	22.7	2.7	3.6
70歳以上	285	44.6	21.1	22.5	4.2	7.7
女性／18・19歳	24	37.5	41.7	16.7	4.2	-
20歳代	107	51.4	28.0	15.9	4.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	48.9	30.5	16.0	4.6	-
30歳代	172	58.7	20.3	14.0	6.4	0.6
40歳代	213	51.2	25.8	16.4	3.8	2.8
50歳代	246	56.9	27.2	10.2	2.4	3.3
60歳代	269	49.1	26.4	16.4	4.5	3.7
70歳以上	336	51.2	21.7	11.3	3.6	12.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	51.6	22.8	16.3	2.2	7.1
雇用者（計）	1,336	49.3	25.1	20.0	3.4	2.2
無職（計）	958	47.2	25.3	16.3	5.0	6.3
ライフステージ別						
独身期	305	46.2	29.2	17.4	6.2	1.0
家族形成期	175	53.7	26.3	17.7	2.3	-
家族成長前期	203	53.2	27.1	14.3	4.9	0.5
家族成長後期	164	59.8	18.9	17.1	1.8	2.4
家族成熟期	459	47.9	25.5	19.4	3.5	3.7
高齢期	586	51.2	23.5	15.0	3.2	7.0
その他	632	42.1	23.7	21.8	4.3	8.1

（８）納戸や据え付け収納家具（クローゼット等）に集中して収納

「実施している」（35.7%）は3割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」（25.1%）は2割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」（25.6%）は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は4.7ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は7.6ポイント減少している。

【属性別比較】

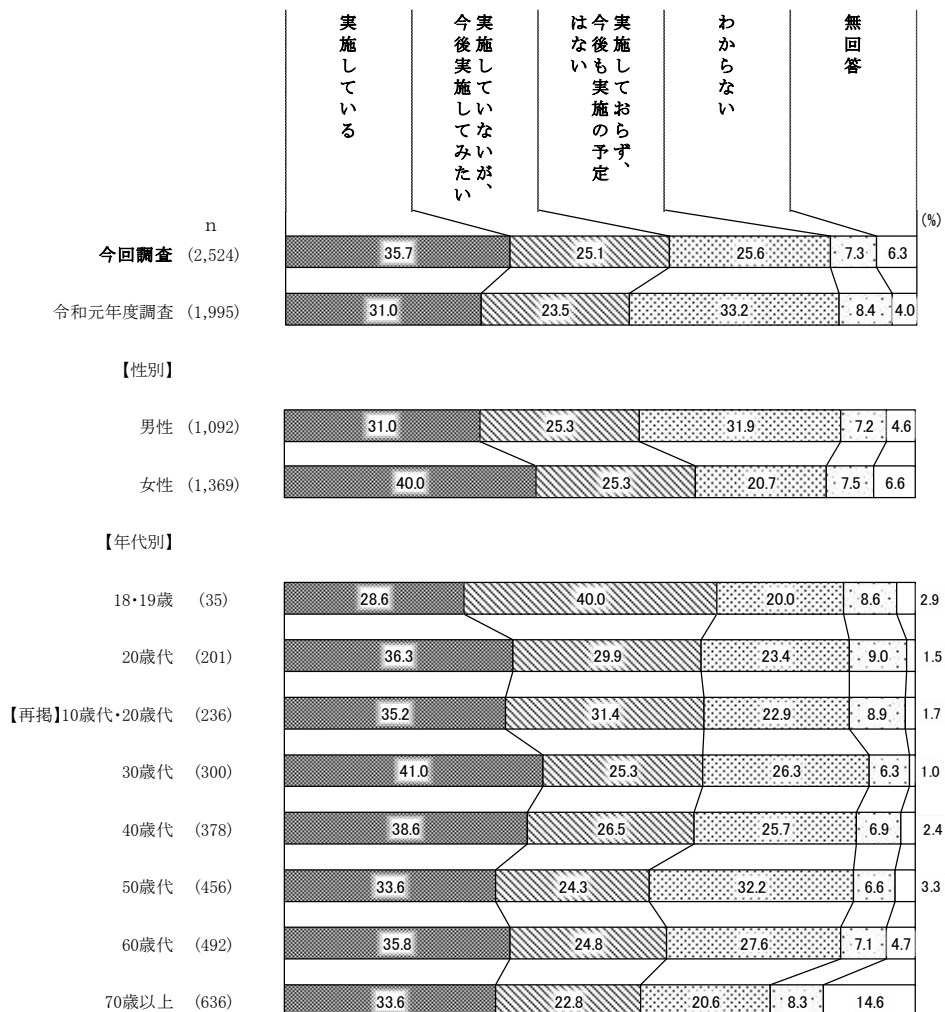
① 性別

「実施している」は女性（40.0%）の方が男性（31.0%）よりも9.0ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（31.9%）の方が女性（20.7%）よりも11.2ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は30歳代（41.0%）で4割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は50歳代（32.2%）で3割強と最も高くなっている。

○ 「（８）納戸や据え付け収納家具（クローゼット等）に集中して収納」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は南西部地域（43.3%）で4割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は秩父地域（43.2%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は女性30歳代（45.9%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（44.6%）で4割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族形成期（48.0%）で5割弱と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は家族成熟期（30.3%）で3割を超えて最も高くなっている。

○ 「(8) 納戸や据え付け収納家具（クローゼット等）に集中して収納」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施しておらず、実施の予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	35.7	25.1	25.6	7.3	6.3
地域別						
南部地域	242	36.0	23.6	31.0	5.4	4.1
南西部地域	224	43.3	26.3	23.7	3.1	3.6
東部地域	399	34.3	24.6	27.6	7.3	6.3
さいたま地域	451	40.6	23.5	25.1	6.9	4.0
県央地域	192	36.5	24.5	20.3	13.0	5.7
川越比企地域	288	42.4	24.7	17.7	8.0	7.3
西部地域	259	27.0	27.8	29.3	7.3	8.5
利根地域	244	26.2	25.0	32.4	9.0	7.4
北部地域	159	37.1	30.2	19.5	8.2	5.0
秩父地域	37	18.9	21.6	43.2	5.4	10.8
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	55.6	-	22.2	-
20歳代	86	31.4	30.2	27.9	8.1	2.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	30.5	32.6	25.3	9.5	2.1
30歳代	127	34.6	26.8	35.4	2.4	0.8
40歳代	158	34.8	24.7	31.0	7.6	1.9
50歳代	206	26.2	21.4	41.3	9.2	1.9
60歳代	220	33.2	24.5	32.3	5.9	4.1
70歳以上	285	29.5	25.6	26.0	8.1	10.9
女性／18・19歳	24	29.2	37.5	25.0	4.2	4.2
20歳代	107	40.2	29.9	19.6	9.3	0.9
【再掲】10歳代・20歳代	131	38.2	31.3	20.6	8.4	1.5
30歳代	172	45.9	23.8	19.8	9.3	1.2
40歳代	213	42.7	28.2	19.7	6.6	2.8
50歳代	246	39.4	27.2	24.8	4.5	4.1
60歳代	269	38.3	24.9	23.8	8.2	4.8
70歳以上	336	37.5	20.5	16.4	8.6	17.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	44.6	18.5	22.8	4.9	9.2
雇用者（計）	1,336	36.0	26.2	28.2	6.8	2.8
無職（計）	958	33.9	25.5	23.1	8.4	9.2
ライフステージ別						
独身期	305	31.1	29.8	27.2	9.5	2.3
家族形成期	175	48.0	27.4	19.4	5.1	-
家族成長前期	203	43.8	27.1	22.7	5.9	0.5
家族成長後期	164	40.9	24.4	26.8	4.3	3.7
家族成熟期	459	34.4	23.7	30.3	7.6	3.9
高齢期	586	38.1	23.2	21.3	7.3	10.1
その他	632	29.3	24.5	27.7	7.9	10.6

（9）家具類がない部屋で就寝

「実施している」（33.2%）は3割強、「実施していないが、今後実施してみたい」（18.9%）は2割弱となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」（37.4%）は3割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「実施している」は2.6ポイント増加し、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は3.0ポイント減少している。

【属性別比較】

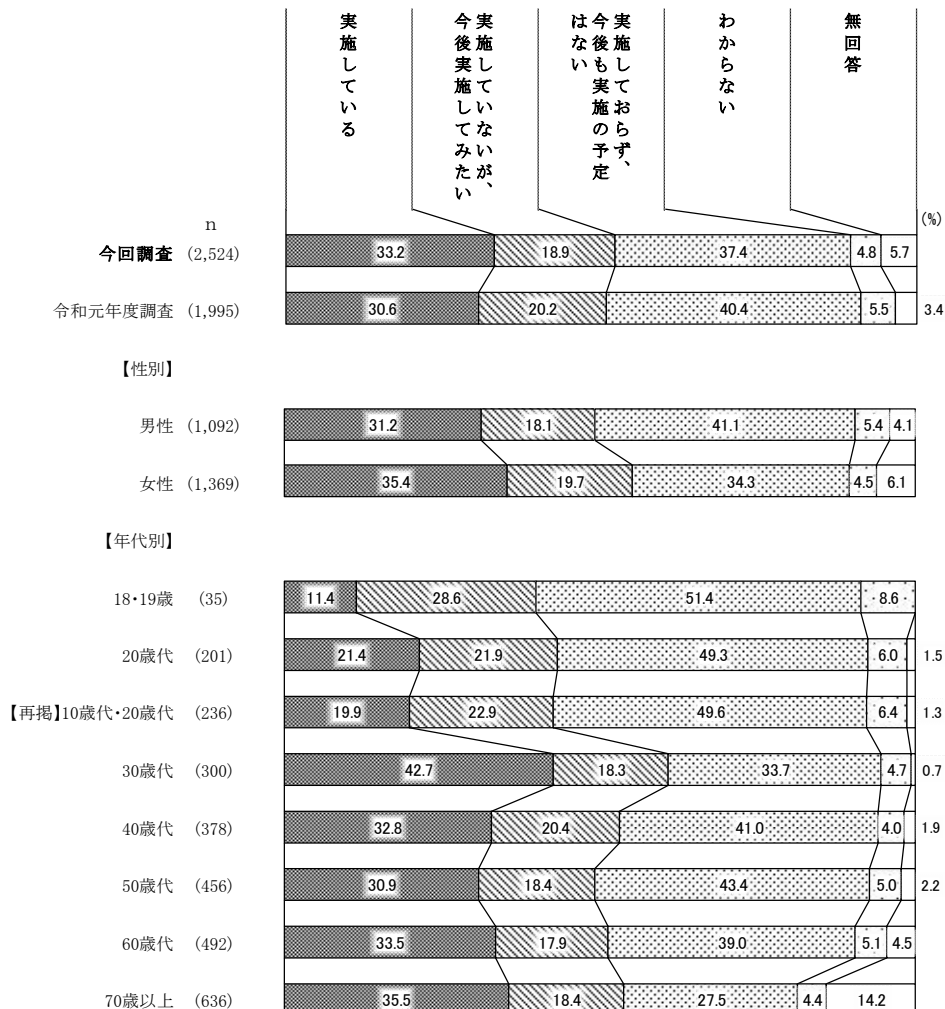
① 性別

「実施している」は女性（35.4%）の方が男性（31.2%）よりも4.2ポイント高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は男性（41.1%）の方が女性（34.3%）よりも6.8ポイント高くなっている。

② 年代別

「実施している」は30歳代（42.7%）で4割強と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は10歳代・20歳代（49.6%）で約5割と最も高くなっている。

○ 「（9）家具類がない部屋で就寝」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

「実施している」は川越比企地域（38.2%）で4割弱と最も高くなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は秩父地域（45.9%）で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「実施している」は男女ともに30歳代（女性44.2%・男性40.9%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「実施している」は自営業・家族従業（計）（38.0%）で4割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「実施している」は家族形成期（51.4%）で5割強と最も高く、最も低い独身期（17.0%）と比べて34.4ポイント高くなっている。

○ 「(9) 家具類がない部屋で就寝」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	実施している	今後実施してみたい	今後実施しておらず、予定はない	わからない	無回答
全体	2,524	33.2	18.9	37.4	4.8	5.7
地域別						
南部地域	242	33.1	19.0	40.5	3.3	4.1
南西部地域	224	33.0	17.4	43.3	2.2	4.0
東部地域	399	34.1	15.3	38.8	6.0	5.8
さいたま地域	451	33.9	18.2	39.0	5.3	3.5
県央地域	192	29.7	19.8	37.0	8.3	5.2
川越比企地域	288	38.2	22.2	28.8	4.9	5.9
西部地域	259	31.7	21.6	36.3	4.2	6.2
利根地域	244	29.1	21.3	38.5	3.7	7.4
北部地域	159	35.8	19.5	33.3	5.0	6.3
秩父地域	37	27.0	8.1	45.9	2.7	16.2
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	44.4	22.2	11.1	-
20歳代	86	22.1	23.3	45.3	5.8	3.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	22.1	25.3	43.2	6.3	3.2
30歳代	127	40.9	19.7	37.0	1.6	0.8
40歳代	158	32.3	18.4	43.7	5.1	0.6
50歳代	206	28.6	18.4	45.1	6.8	1.0
60歳代	220	29.5	14.1	45.0	6.8	4.5
70歳以上	285	32.3	17.9	35.1	4.9	9.8
女性／18・19歳	24	4.2	25.0	62.5	8.3	-
20歳代	107	20.6	20.6	52.3	6.5	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	17.6	21.4	54.2	6.9	-
30歳代	172	44.2	17.4	30.8	7.0	0.6
40歳代	213	34.3	22.1	37.6	3.3	2.8
50歳代	246	32.5	18.7	42.3	3.7	2.8
60歳代	269	36.8	21.2	33.8	3.7	4.5
70歳以上	336	39.6	18.5	20.8	4.2	17.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	38.0	21.2	28.8	4.3	7.6
雇用者（計）	1,336	32.9	19.5	40.4	4.6	2.5
無職（計）	958	32.7	18.1	35.4	5.2	8.7
ライフステージ別						
独身期	305	17.0	20.3	54.1	7.5	1.0
家族形成期	175	51.4	22.3	24.0	1.1	1.1
家族成長前期	203	48.3	21.2	27.1	3.4	-
家族成長後期	164	31.7	22.6	39.0	3.7	3.0
家族成熟期	459	31.2	17.0	41.8	5.7	4.4
高齢期	586	37.4	19.6	30.4	3.6	9.0
その他	632	29.3	16.1	39.1	5.7	9.8

(10) その他

○自宅での家具類の転倒・落下・移動による危険防止対策（32件）

【主な回答（一部抜粋）】

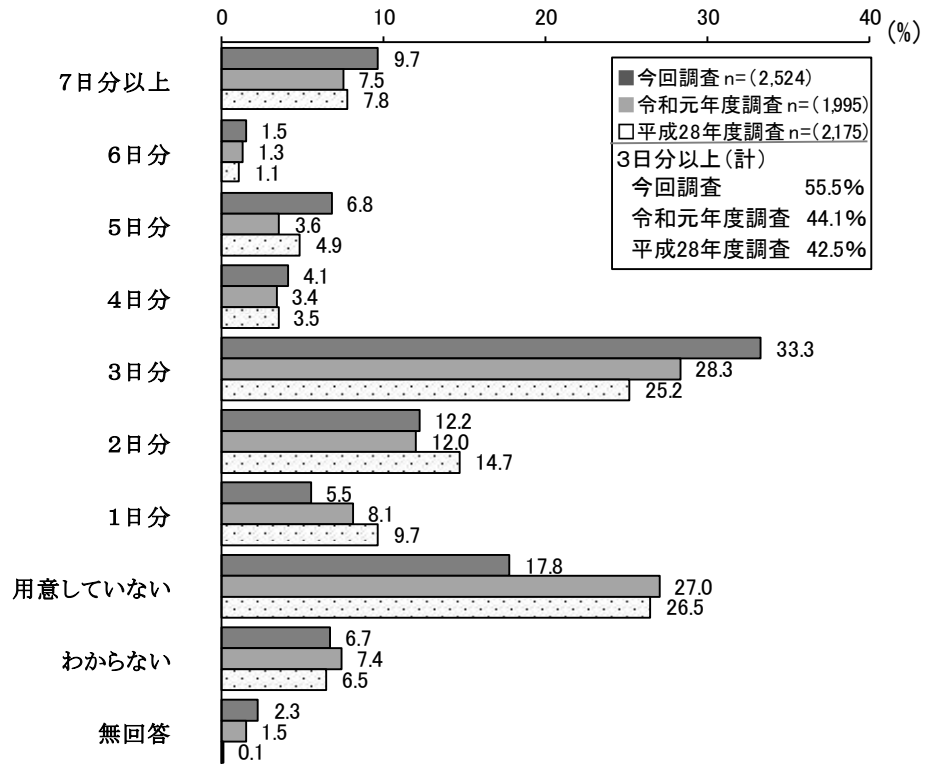
- ・食器棚等、地震があったとき、ドアがロックされドアが開かなくなる。
（「実施している」）
- ・低い家具使用。（「実施している」）
- ・生活は全て家具のない部屋。（「実施している」）
- ・家具の上に物を置かない。（「実施している」）

(4) 災害時に利用可能な備蓄状況

◇『3日分以上(計)』は食料品が55.5%、飲料水が57.6%

問20 あなたの家では、災害時に利用できる食料品及び飲料水を何日分用意していますか。
(各項目それぞれ〇は1つずつ)

■食料品



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時に利用可能な備蓄状況について、食料品は「3日分」(33.3%)が3割強と最も高く、次いで「用意していない」(17.8%)、「2日分」(12.2%)となっている。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日分以上(計)』(55.5%)は5割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、『3日分以上(計)』は11.4ポイント増加し、「用意していない」が9.2ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

『3日分以上（計）』は秩父地域（64.9%）で6割台半ばと最も高く、北部地域（39.6%）で低くなっている。一方で、「用意していない」は北部地域（23.3%）、利根地域（21.7%）で2割強と高くなっている。

② 性別

『3日分以上（計）』は女性（57.3%）の方が男性（54.2%）よりも3.1ポイント高くなっている。

③ 年代別

『3日分以上（計）』は年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、60歳代（63.0%）と70歳以上（62.7%）で6割強と高くなっている。一方で、「用意していない」は10歳代・20歳代（25.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『3日分以上（計）』は女性70歳以上（68.8%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は女性10歳代・20歳代（27.5%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『3日分以上（計）』は自営業・家族従業（計）（64.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、「用意していない」は雇用者（計）（19.2%）で約2割と最も高くなっている。

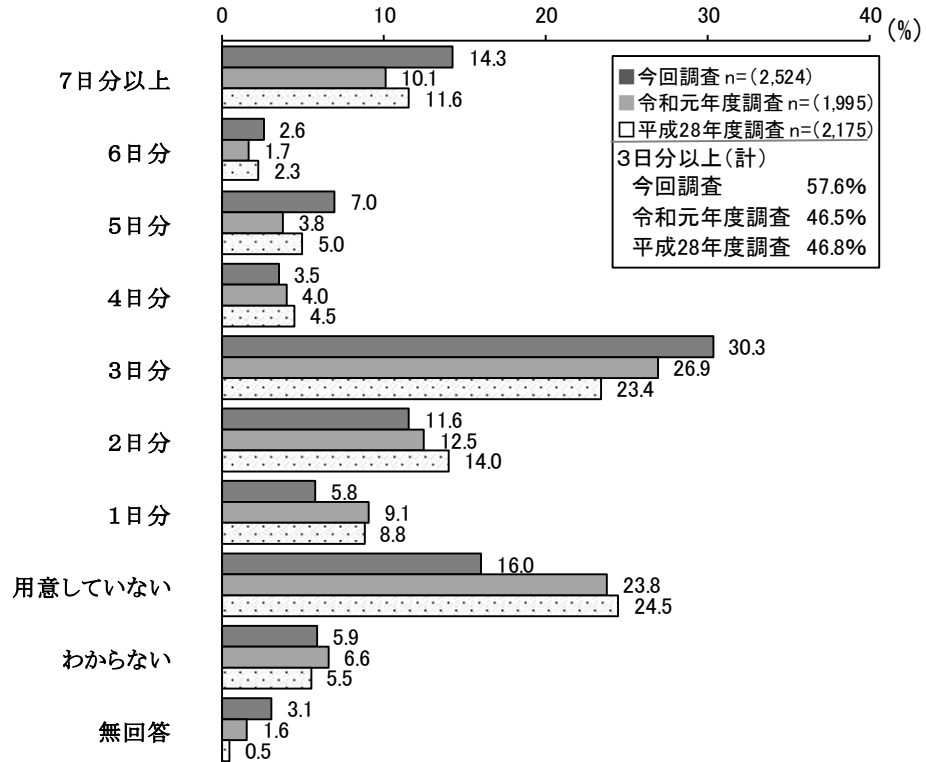
⑥ ライフステージ別

『3日分以上（計）』は高齢期（66.6%）で6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、「用意していない」は独身期（21.6%）で2割強と最も高くなっている。

○災害時に利用可能な備蓄状況（食料品）・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数 n	7日分以上	6日分	5日分	4日分	3日分	2日分	1日分	用意していない	わからない	無回答	3日分以上（計） (%)
全体	2,524	9.7	1.5	6.8	4.1	33.3	12.2	5.5	17.8	6.7	2.3	55.5
地域別												
南部地域	242	11.6	1.2	4.5	5.4	38.4	10.7	2.9	17.8	5.8	1.7	61.2
南西部地域	224	9.8	0.9	9.8	4.0	31.3	12.1	4.9	19.6	6.3	1.3	55.8
東部地域	399	7.8	1.3	7.3	4.8	31.3	12.8	6.8	19.8	6.0	2.3	52.4
さいたま地域	451	8.6	1.8	7.8	4.9	38.4	12.6	6.0	12.9	5.8	1.3	61.4
県央地域	192	12.5	3.6	4.7	2.1	33.9	8.9	7.3	16.1	10.4	0.5	56.8
川越比企地域	288	11.5	1.0	6.3	5.2	33.0	10.4	4.5	17.0	8.0	3.1	56.9
西部地域	259	9.7	1.9	8.1	3.9	31.3	11.6	4.6	18.5	8.5	1.9	54.8
利根地域	244	10.2	1.2	6.1	2.5	32.4	14.8	5.3	21.7	4.1	1.6	52.5
北部地域	159	6.9	0.6	6.3	3.1	22.6	17.6	7.5	23.3	7.5	4.4	39.6
秩父地域	37	13.5	-	5.4	2.7	43.2	8.1	2.7	10.8	8.1	5.4	64.9
性別												
男性	1,092	9.2	1.1	6.2	4.7	33.0	11.6	5.8	20.1	6.7	1.6	54.2
女性	1,369	10.3	1.8	7.5	3.9	33.9	12.9	5.3	16.0	6.6	1.9	57.3
年代別												
18・19歳	35	5.7	-	5.7	2.9	11.4	2.9	2.9	34.3	34.3	-	25.7
20歳代	201	10.9	2.0	5.5	3.5	23.4	7.0	7.0	23.4	16.9	0.5	45.3
【再掲】10歳代・20歳代	236	10.2	1.7	5.5	3.4	21.6	6.4	6.4	25.0	19.5	0.4	42.4
30歳代	300	7.7	1.3	4.0	3.0	31.7	15.3	6.7	20.0	10.0	0.3	47.7
40歳代	378	6.9	1.1	4.5	1.9	35.7	16.4	5.8	19.3	7.7	0.8	50.0
50歳代	456	11.2	0.4	6.8	4.6	32.2	14.3	6.4	16.9	5.7	1.5	55.3
60歳代	492	10.4	1.8	8.1	4.3	38.4	11.0	5.1	16.7	2.6	1.6	63.0
70歳以上	636	11.0	2.2	9.3	6.0	34.3	9.7	4.1	15.1	3.8	4.6	62.7
性・年代別												
男性／18・19歳	9	11.1	-	-	-	22.2	-	11.1	22.2	33.3	-	33.3
20歳代	86	12.8	2.3	5.8	4.7	24.4	8.1	4.7	19.8	16.3	1.2	50.0
【再掲】10歳代・20歳代	95	12.6	2.1	5.3	4.2	24.2	7.4	5.3	20.0	17.9	1.1	48.4
30歳代	127	9.4	2.4	4.7	4.7	30.7	12.6	5.5	21.3	8.7	-	52.0
40歳代	158	7.6	-	3.8	1.9	37.3	17.1	3.8	20.3	7.6	0.6	50.6
50歳代	206	9.2	0.5	4.9	4.9	29.6	14.1	8.3	21.4	6.3	1.0	49.0
60歳代	220	9.5	0.9	8.2	2.7	40.9	10.0	5.5	17.7	3.2	1.4	62.3
70歳以上	285	8.8	1.4	8.1	7.7	30.5	9.1	5.6	20.4	4.6	3.9	56.5
女性／18・19歳	24	4.2	-	8.3	4.2	8.3	4.2	-	33.3	37.5	-	25.0
20歳代	107	10.3	0.9	5.6	2.8	22.4	6.5	8.4	26.2	16.8	-	42.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	9.2	0.8	6.1	3.1	19.8	6.1	6.9	27.5	20.6	-	38.9
30歳代	172	6.4	0.6	3.5	1.7	32.6	17.4	7.6	19.2	10.5	0.6	44.8
40歳代	213	6.6	1.9	4.7	1.9	34.3	16.4	7.5	17.8	8.0	0.9	49.3
50歳代	246	13.0	0.4	8.5	4.5	34.1	14.6	4.9	13.4	4.9	1.6	60.6
60歳代	269	11.2	2.6	8.2	5.6	35.7	11.9	4.8	16.0	2.2	1.9	63.2
70歳以上	336	12.5	3.0	10.4	4.8	38.1	10.4	2.7	10.7	3.3	4.2	68.8
職業別												
自営業・家族従業（計）	184	15.2	1.6	6.5	6.5	34.2	10.9	2.2	15.8	3.8	3.3	64.1
雇用者（計）	1,336	8.1	1.2	5.4	3.0	33.0	15.0	6.9	19.2	7.3	1.0	50.7
無職（計）	958	11.3	1.9	9.1	5.3	33.7	8.7	4.2	16.4	6.7	2.8	61.3
ライフステージ別												
独身期	305	9.5	2.0	4.9	3.0	23.0	9.8	6.2	21.6	19.3	0.7	42.3
家族形成期	175	6.9	1.7	4.6	3.4	37.1	13.7	7.4	18.9	6.3	-	53.7
家族成長前期	203	7.9	-	3.9	3.4	33.0	17.2	5.4	19.7	9.4	-	48.3
家族成長後期	164	9.1	0.6	1.8	3.7	36.6	15.2	7.3	18.3	7.3	-	51.8
家族成熟期	459	9.2	0.4	6.8	4.4	35.9	14.6	6.3	17.0	4.1	1.3	56.6
高齢期	586	10.6	2.9	9.7	5.3	38.1	11.1	3.4	13.7	2.6	2.7	66.6
その他	632	10.9	1.4	7.9	4.0	30.2	10.0	5.5	19.5	5.4	5.2	54.4

■飲料水



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時に利用可能な備蓄状況について、飲料水は「3日分」(30.3%)が3割を超えて最も高く、次いで「用意していない」(16.0%)、「7日分以上」(14.3%)、「2日分」(11.6%)となっている。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日分以上(計)』(57.6%)は5割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「用意していない」が7.8ポイント減少し、『3日分以上(計)』は11.1ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

『3日分以上（計）』は南部地域（64.5%）とさいたま地域（64.1%）で6割台半ばと高く、北部地域（41.5%）で低くなっている。一方で、「用意していない」は北部地域（24.5%）で2割台半ばと高くなっている。

② 性別

『3日分以上（計）』は女性（59.9%）の方が男性（55.9%）よりも4.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

『3日分以上（計）』は年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上（64.8%）と60歳代（64.2%）で6割台半ばと高くなっている。一方で、「用意していない」は10歳代・20歳代（21.2%）で2割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

『3日分以上（計）』は女性70歳以上（70.5%）で7割を超え、男女ともに60歳代（女性64.3%・男性64.1%）で6割台半ばと高くなっている。一方で、「用意していない」は女性10歳代・20歳代（25.2%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

『3日分以上（計）』は自営業・家族従業（計）（69.6%）で約7割と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は雇用者（計）（18.3%）で2割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『3日分以上（計）』は高齢期（68.1%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、「用意していない」は独身期（22.0%）で2割強と最も高くなっている。

○災害時に利用可能な備蓄状況（飲料水）・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

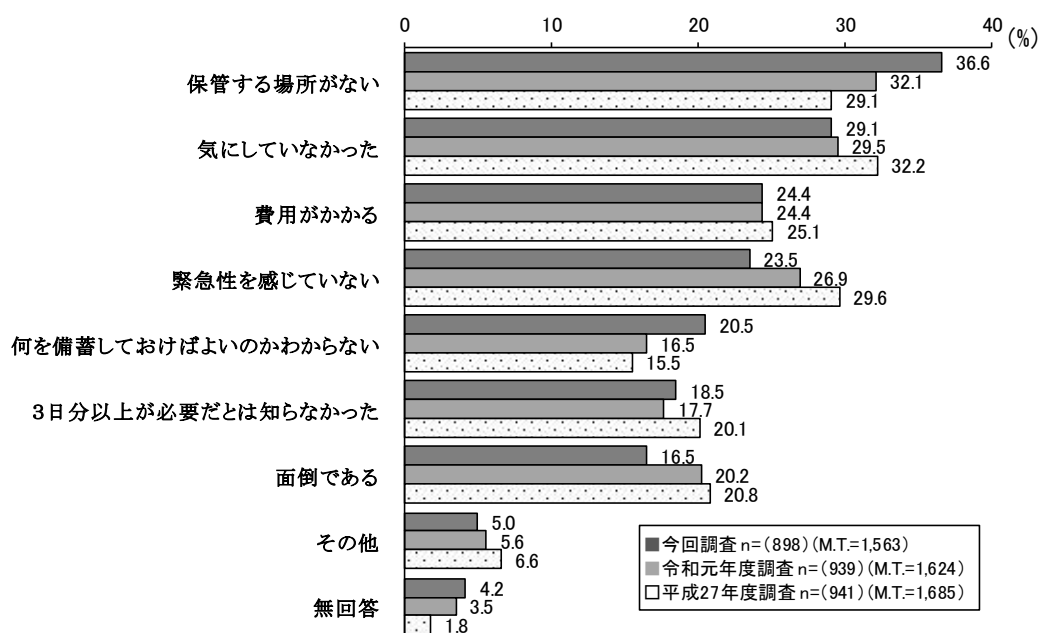
	調査数 n	7 日 分 以 上	6 日 分	5 日 分	4 日 分	3 日 分	2 日 分	1 日 分	用 意 し て い な い	わ か ら な い	無 回 答	3 日 分 以 上 （ 計）
全 体	2,524	14.3	2.6	7.0	3.5	30.3	11.6	5.8	16.0	5.9	3.1	57.6
地域別												
南部地域	242	17.4	2.5	8.3	4.1	32.2	8.7	4.5	15.7	4.1	2.5	64.5
南西部地域	224	15.6	3.6	7.1	3.6	29.5	10.3	8.0	13.8	6.3	2.2	59.4
東部地域	399	12.3	3.3	7.0	3.0	28.6	11.8	7.5	18.3	5.3	3.0	54.1
さいたま地域	451	16.2	1.1	7.5	3.8	35.5	12.0	5.8	11.1	5.8	1.3	64.1
県央地域	192	16.1	3.1	6.8	5.2	27.1	11.5	4.2	14.6	9.4	2.1	58.3
川越比企地域	288	15.3	2.4	5.9	3.5	30.9	10.1	4.2	17.4	7.6	2.8	58.0
西部地域	259	14.3	3.1	7.7	3.1	29.7	10.8	5.4	17.8	5.8	2.3	57.9
利根地域	244	11.5	4.1	7.0	3.3	28.7	15.6	6.6	16.4	3.7	3.3	54.5
北部地域	159	8.8	1.9	6.3	1.3	23.3	15.1	5.0	24.5	6.3	7.5	41.5
秩父地域	37	10.8	-	2.7	2.7	37.8	10.8	8.1	10.8	8.1	8.1	54.1
性別												
男性	1,092	13.5	2.4	6.5	3.1	30.4	11.4	6.0	17.4	6.6	2.7	55.9
女性	1,369	15.2	2.8	7.6	3.9	30.5	11.8	5.8	14.8	5.2	2.6	59.9
年代別												
18・19歳	35	11.4	-	5.7	-	17.1	5.7	5.7	25.7	28.6	-	34.3
20歳代	201	15.4	1.0	4.0	2.5	22.9	9.5	6.5	20.4	16.4	1.5	45.8
【再掲】10歳代・20歳代	236	14.8	0.8	4.2	2.1	22.0	8.9	6.4	21.2	18.2	1.3	44.1
30歳代	300	14.3	1.7	3.3	4.3	27.7	13.7	8.0	19.3	7.0	0.7	51.3
40歳代	378	10.1	2.1	6.1	2.1	33.3	14.3	5.6	18.3	6.9	1.3	53.7
50歳代	456	15.1	1.1	6.4	2.2	31.4	12.9	6.1	17.3	5.3	2.2	56.1
60歳代	492	15.2	2.6	7.1	4.1	35.2	11.6	6.5	11.8	2.6	3.3	64.2
70歳以上	636	15.6	5.2	10.8	4.9	28.3	9.0	4.1	13.7	3.3	5.2	64.8
性・年代別												
男性／18・19歳	9	22.2	-	-	-	22.2	11.1	-	11.1	33.3	-	44.4
20歳代	86	18.6	2.3	4.7	-	26.7	8.1	7.0	14.0	17.4	1.2	52.3
【再掲】10歳代・20歳代	95	18.9	2.1	4.2	-	26.3	8.4	6.3	13.7	18.9	1.1	51.6
30歳代	127	13.4	2.4	4.7	3.9	24.4	15.7	7.1	21.3	7.1	-	48.8
40歳代	158	12.0	1.3	7.0	2.5	32.3	14.6	3.8	18.4	7.6	0.6	55.1
50歳代	206	11.7	1.0	5.3	1.9	29.6	13.6	6.8	22.3	6.3	1.5	49.5
60歳代	220	13.2	1.8	6.4	3.2	39.5	10.5	6.4	11.8	3.2	4.1	64.1
70歳以上	285	14.0	4.6	8.8	4.9	26.7	8.1	6.0	17.2	4.6	5.3	58.9
女性／18・19歳	24	8.3	-	8.3	-	16.7	4.2	8.3	25.0	29.2	-	33.3
20歳代	107	13.1	-	3.7	4.7	19.6	10.3	6.5	25.2	15.0	1.9	41.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	12.2	-	4.6	3.8	19.1	9.2	6.9	25.2	17.6	1.5	39.7
30歳代	172	15.1	1.2	2.3	4.7	30.2	12.2	8.7	18.0	6.4	1.2	53.5
40歳代	213	8.9	2.3	5.6	1.9	33.8	14.1	7.0	18.3	6.1	1.9	52.6
50歳代	246	18.3	1.2	7.3	2.4	32.9	12.6	5.7	13.0	4.1	2.4	62.2
60歳代	269	17.1	3.3	7.8	4.8	31.2	12.6	6.7	11.9	2.2	2.2	64.3
70歳以上	336	16.7	5.7	12.8	5.1	30.4	9.5	2.7	10.4	2.4	4.5	70.5
職業別												
自営業・家族従業（計）	184	21.2	2.2	7.6	2.2	36.4	8.2	3.3	12.0	3.3	3.8	69.6
雇用者（計）	1,336	12.3	1.6	5.2	2.9	30.7	14.1	6.6	18.3	6.2	2.1	52.7
無職（計）	958	16.0	4.0	9.6	4.6	28.8	8.8	5.3	13.5	6.2	3.3	62.9
ライフステージ別												
独身期	305	14.4	0.7	4.6	1.0	20.3	10.5	7.5	22.0	17.4	1.6	41.0
家族形成期	175	14.3	1.7	4.0	6.9	32.0	14.9	6.9	14.3	5.1	-	58.9
家族成長前期	203	11.8	1.0	3.9	3.0	34.0	14.3	6.4	17.7	6.9	1.0	53.7
家族成長後期	164	9.8	0.6	3.7	1.8	37.2	12.2	8.5	19.5	6.7	-	53.0
家族成熟期	459	14.2	3.1	5.2	3.1	34.4	13.9	7.2	12.4	3.3	3.3	59.9
高齢期	586	15.5	3.9	10.6	5.1	32.9	9.9	4.9	11.9	2.2	2.9	68.1
その他	632	15.0	3.3	8.7	3.2	26.1	10.1	3.6	18.5	5.4	6.0	56.3

(4-1) 3日以上の食料品を備蓄していない理由

◇「保管する場所がない」が36.6%

(問20(1)で「6. 2日分」、「7. 1日分」、「8. 用意していない」のいずれかと答えただけの方にお伺いします。)

問20(1)-1 あなたの家で、3日以上の食料品の備蓄をしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

3日以上の食料品の備蓄をしていない理由は、「保管する場所がない」(36.6%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「気にしていなかった」(29.1%)、「費用がかかる」(24.4%)、「緊急性を感じていない」(23.5%)、「何を備蓄しておけばよいかわからない」(20.5%)、「3日以上が必要だとは知らなかった」(18.5%)、「面倒である」(16.5%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「保管する場所がない」は4.5ポイント増加している。一方で、「緊急性を感じていない」は3.4ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「保管する場所がない」は南西部地域（45.1%）で4割台半ばと最も高くなっている。「気にしていなかった」は利根地域（36.3%）で3割台半ばを超えて高くなっている。「費用がかかる」は県央地域（32.3%）で3割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n=8）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「保管する場所がない」は女性（40.4%）の方が男性（32.8%）よりも7.6ポイント高く、「気にしていなかった」は男性（36.7%）の方が女性（23.3%）よりも13.4ポイント高くなっている。

③ 年代別

「保管する場所がない」は30歳代（46.0%）で4割台半ばを超えて最も高く、「気にしていなかった」は70歳以上（37.0%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。「費用がかかる」は50歳代（30.4%）で3割を超えて最も高くなっている。「緊急性を感じていない」は60歳代（33.5%）で3割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「保管する場所がない」は女性50歳代（51.9%）で5割強と最も高くなっている。「気にしていなかった」は男性70歳以上（42.0%）で4割強と最も高くなっている。「費用がかかる」は男女ともに50歳代（女性30.9%・男性30.0%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「気にしていなかった」は自営業・家族従業（計）（43.4%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「保管する場所がない」は家族成長前期（51.2%）で5割強と最も高くなっている。

○3日以上の食料品を備蓄していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／
職業別／ライフステージ別

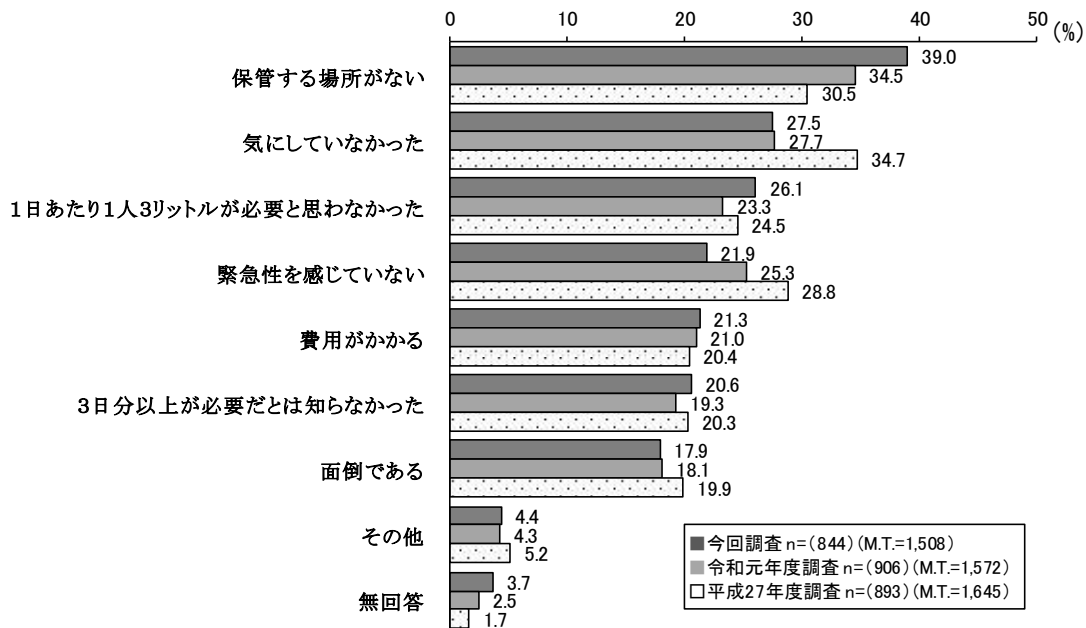
	調査数 n	保管する場所がない	気にしていなかった	費用がかかる	緊急性を感じていない	いのかわかからない	何を備蓄しておけばよ	は3日分以上が必要だと 知らなかった	面倒である	その他	無回答 (%)
全体	898	36.6	29.1	24.4	23.5	20.5	18.5	16.5	5.0	4.2	
地域別											
南部地域	76	43.4	28.9	23.7	22.4	22.4	15.8	25.0	11.8	7.9	
南西部地域	82	45.1	28.0	19.5	19.5	23.2	23.2	15.9	6.1	2.4	
東部地域	157	36.3	29.9	28.7	17.2	19.7	17.2	10.8	5.7	2.5	
さいたま地域	142	39.4	21.1	21.1	20.4	21.1	22.5	16.9	4.9	4.2	
県央地域	62	37.1	32.3	32.3	30.6	27.4	22.6	21.0	-	3.2	
川越比企地域	92	28.3	33.7	20.7	23.9	16.3	18.5	19.6	3.3	4.3	
西部地域	90	36.7	27.8	24.4	23.3	16.7	18.9	17.8	3.3	6.7	
利根地域	102	33.3	36.3	25.5	29.4	17.6	15.7	12.7	3.9	2.0	
北部地域	77	29.9	28.6	24.7	31.2	23.4	11.7	18.2	5.2	5.2	
秩父地域	8	12.5	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	-	12.5	-	
性別											
男性	409	32.8	36.7	23.0	24.9	18.6	20.5	21.3	2.4	3.7	
女性	468	40.4	23.3	25.0	22.4	21.8	17.1	12.6	7.1	4.3	
年代別											
18・19歳	14	14.3	42.9	14.3	35.7	14.3	7.1	14.3	14.3	-	
20歳代	75	38.7	33.3	25.3	12.0	20.0	20.0	10.7	8.0	-	
【再掲】10歳代・20歳代	89	34.8	34.8	23.6	15.7	19.1	18.0	11.2	9.0	-	
30歳代	126	46.0	27.0	25.4	21.4	15.9	19.0	17.5	4.8	2.4	
40歳代	157	33.1	28.0	27.4	19.7	21.0	15.9	21.0	5.1	2.5	
50歳代	171	41.5	21.6	30.4	21.1	20.5	21.1	17.5	4.1	5.3	
60歳代	161	28.6	28.0	24.2	33.5	24.2	19.9	14.9	3.7	6.8	
70歳以上	184	36.4	37.0	16.3	25.5	20.1	17.4	15.2	4.9	4.9	
性・年代別											
男性／18・19歳	3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	
20歳代	28	32.1	39.3	17.9	17.9	21.4	17.9	10.7	7.1	-	
【再掲】10歳代・20歳代	31	32.3	41.9	16.1	19.4	19.4	16.1	12.9	6.5	-	
30歳代	50	44.0	28.0	18.0	18.0	14.0	18.0	24.0	4.0	2.0	
40歳代	65	30.8	41.5	29.2	23.1	21.5	21.5	29.2	3.1	1.5	
50歳代	90	32.2	32.2	30.0	22.2	17.8	24.4	23.3	2.2	4.4	
60歳代	73	21.9	34.2	21.9	32.9	23.3	21.9	21.9	1.4	5.5	
70歳以上	100	37.0	42.0	18.0	28.0	16.0	18.0	15.0	1.0	5.0	
女性／18・19歳	9	11.1	33.3	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	-	
20歳代	44	45.5	31.8	27.3	9.1	20.5	20.5	11.4	6.8	-	
【再掲】10歳代・20歳代	53	39.6	32.1	26.4	13.2	20.8	18.9	11.3	9.4	-	
30歳代	76	47.4	26.3	30.3	23.7	17.1	19.7	13.2	5.3	2.6	
40歳代	89	34.8	19.1	24.7	16.9	20.2	12.4	14.6	6.7	3.4	
50歳代	81	51.9	9.9	30.9	19.8	23.5	17.3	11.1	6.2	6.2	
60歳代	88	34.1	22.7	26.1	34.1	25.0	18.2	9.1	5.7	8.0	
70歳以上	80	36.3	32.5	12.5	23.8	23.8	17.5	16.3	10.0	3.8	
職業別											
自営業・家族従業（計）	53	34.0	43.4	13.2	32.1	15.1	17.0	7.5	1.9	3.8	
雇用者（計）	548	38.5	26.6	26.8	20.6	20.8	17.9	18.2	4.6	3.1	
無職（計）	280	33.9	31.4	21.8	27.9	20.4	20.4	15.4	6.4	5.7	
ライフステージ別											
独身期	115	35.7	39.1	23.5	17.4	11.3	17.4	14.8	7.8	0.9	
家族形成期	70	42.9	24.3	24.3	18.6	22.9	18.6	12.9	1.4	1.4	
家族成長前期	86	51.2	18.6	27.9	24.4	19.8	19.8	18.6	5.8	1.2	
家族成長後期	67	32.8	23.9	28.4	14.9	20.9	20.9	16.4	9.0	1.5	
家族成熟期	174	40.2	25.9	28.7	23.0	23.6	20.1	19.0	4.0	5.2	
高齢期	165	30.3	34.5	18.2	31.5	18.2	17.0	12.7	7.9	3.6	
その他	221	32.6	29.4	23.5	24.9	24.0	17.6	18.6	1.8	8.6	

(4-2) 3日以上の飲料水を備蓄していない理由

◇「保管する場所がない」が39.0%

(問20(2)で「6. 2日分」、「7. 1日分」、「8. 用意していない」のいずれかと答えただけの方にお伺いします。)

問20(2)-1 あなたの家で、3日以上の飲料水の備蓄をしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

3日以上の飲料水の備蓄をしていない理由は、「保管する場所がない」(39.0%)が約4割と最も高く、次いで、「気にしていなかった」(27.5%)、「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」(26.1%)、「緊急性を感じていない」(21.9%)、「費用がかかる」(21.3%)、「3日以上が必要だとは知らなかった」(20.6%)、「面倒である」(17.9%)などとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「保管する場所がない」は4.5ポイント増加している。一方で、「緊急性を感じていない」は3.4ポイント減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「保管する場所がない」は県央地域（50.0%）で5割と最も高くなっている。「気にしていなかった」は川越比企地域（33.0%）と県央地域（32.8%）で3割強と高くなっている。「緊急性を感じていない」は西部地域（30.7%）で3割を超えて最も高くなっている。

※秩父地域（n=11）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「保管する場所がない」は女性（42.7%）の方が男性（34.4%）よりも8.3ポイント高く、「気にしていなかった」は男性（36.2%）の方が女性（20.5%）よりも15.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「保管する場所がない」は30歳代（52.8%）で5割強と最も高くなっている。「気にしていなかった」は70歳以上（35.3%）で3割台半ばと最も高く、「緊急性を感じていない」と「1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった」は60歳代（32.0%・30.6%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「保管する場所がない」は女性30歳代（55.2%）で5割台半ばと最も高くなっている。「気にしていなかった」は男性40歳代（43.1%）で4割強と最も高く、「緊急性を感じていない」は女性60歳代（33.3%）で3割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「保管する場所がない」は雇用者（計）（43.2%）で4割強と最も高く、「気にしていなかった」は自営業・家族従業（計）（39.5%）で約4割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「保管する場所がない」は家族成長前期（56.4%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「気にしていなかった」は高齢期（33.1%）で3割強と最も高くなっている。

○3日分以上の飲料水を備蓄していない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	保管する場所がない	気にして いなかった	1日あたり 1人3リットル あたり1人 3リットル 必要と思 わなかった	緊急性を感じて いない	費用がかかる	3日分以上が 必要だと 知らなかった	面倒である	その他	無回答
全体	844	39.0	27.5	26.1	21.9	21.3	20.6	17.9	4.4	3.7
地域別										
南部地域	70	40.0	27.1	22.9	20.0	27.1	14.3	31.4	8.6	2.9
南西部地域	72	43.1	26.4	29.2	13.9	13.9	27.8	20.8	5.6	2.8
東部地域	150	36.7	27.3	20.0	16.7	23.3	15.3	14.0	4.0	5.3
さいたま地域	130	42.3	23.1	30.0	17.7	15.4	21.5	15.4	6.9	2.3
県央地域	58	50.0	32.8	29.3	19.0	25.9	19.0	25.9	3.4	3.4
川越比企地域	91	29.7	33.0	29.7	28.6	23.1	18.7	15.4	4.4	4.4
西部地域	88	39.8	27.3	27.3	30.7	20.5	27.3	17.0	2.3	2.3
利根地域	94	37.2	23.4	27.7	27.7	17.0	34.0	13.8	-	4.3
北部地域	71	39.4	29.6	19.7	26.8	28.2	11.3	22.5	4.2	2.8
秩父地域	11	18.2	45.5	27.3	27.3	27.3	-	-	9.1	9.1
性別										
男性	381	34.4	36.2	26.2	23.9	21.8	24.7	23.4	3.1	2.4
女性	443	42.7	20.5	26.4	20.8	20.8	17.6	14.0	5.4	4.5
年代別										
18・19歳	13	23.1	30.8	23.1	38.5	15.4	7.7	15.4	7.7	-
20歳代	73	45.2	31.5	19.2	11.0	17.8	13.7	16.4	5.5	5.5
【再掲】10歳代・20歳代	86	41.9	31.4	19.8	15.1	17.4	12.8	16.3	5.8	4.7
30歳代	123	52.8	22.8	27.6	15.4	30.9	21.1	17.1	3.3	0.8
40歳代	144	40.3	25.7	28.5	16.0	22.9	17.4	22.2	2.8	-
50歳代	166	42.8	23.5	23.5	19.9	25.9	20.5	21.7	4.8	4.8
60歳代	147	30.6	25.9	30.6	32.0	19.7	28.6	15.6	3.4	3.4
70歳以上	170	28.8	35.3	25.3	28.8	12.4	20.6	14.7	5.9	7.6
性・年代別										
男性／18・19歳	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
20歳代	25	32.0	44.0	16.0	12.0	16.0	20.0	20.0	8.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	27	33.3	40.7	14.8	14.8	14.8	18.5	22.2	7.4	-
30歳代	56	50.0	25.0	26.8	17.9	28.6	21.4	25.0	3.6	1.8
40歳代	58	32.8	43.1	31.0	20.7	20.7	22.4	27.6	3.4	-
50歳代	88	34.1	34.1	25.0	23.9	25.0	27.3	27.3	2.3	2.3
60歳代	63	30.2	33.3	31.7	30.2	22.2	31.7	23.8	3.2	1.6
70歳以上	89	29.2	41.6	23.6	28.1	16.9	22.5	15.7	2.2	5.6
女性／18・19歳	9	22.2	33.3	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	-
20歳代	45	51.1	26.7	22.2	11.1	17.8	11.1	15.6	4.4	8.9
【再掲】10歳代・20歳代	54	46.3	27.8	24.1	14.8	18.5	11.1	14.8	5.6	7.4
30歳代	67	55.2	20.9	28.4	13.4	32.8	20.9	10.4	3.0	-
40歳代	84	46.4	14.3	27.4	13.1	23.8	13.1	19.0	2.4	-
50歳代	77	53.2	11.7	20.8	15.6	26.0	13.0	15.6	7.8	7.8
60歳代	84	31.0	20.2	29.8	33.3	17.9	26.2	9.5	3.6	4.8
70歳以上	76	27.6	30.3	27.6	31.6	6.6	19.7	14.5	10.5	7.9
職業別										
自営業・家族従業（計）	43	25.6	39.5	27.9	30.2	20.9	20.9	9.3	4.7	4.7
雇用者（計）	521	43.2	24.6	27.3	18.4	23.8	20.7	20.2	3.8	2.5
無職（計）	264	32.2	31.1	23.5	28.4	16.7	20.8	15.5	5.3	5.7
ライフステージ別										
独身期	122	40.2	32.8	23.0	13.1	21.3	19.7	18.9	4.9	2.5
家族形成期	63	55.6	22.2	28.6	15.9	27.0	15.9	11.1	3.2	1.6
家族成長前期	78	56.4	14.1	32.1	17.9	30.8	20.5	23.1	2.6	1.3
家族成長後期	66	47.0	22.7	24.2	16.7	27.3	19.7	15.2	6.1	-
家族成熟期	154	37.7	22.7	28.6	21.4	26.6	21.4	23.4	3.2	5.8
高齢期	157	33.1	33.1	23.6	32.5	14.0	21.7	10.8	7.6	2.5
その他	204	29.4	31.9	25.5	24.5	15.7	21.6	19.6	2.9	6.4

(5) 災害用伝言サービスの体験利用経験

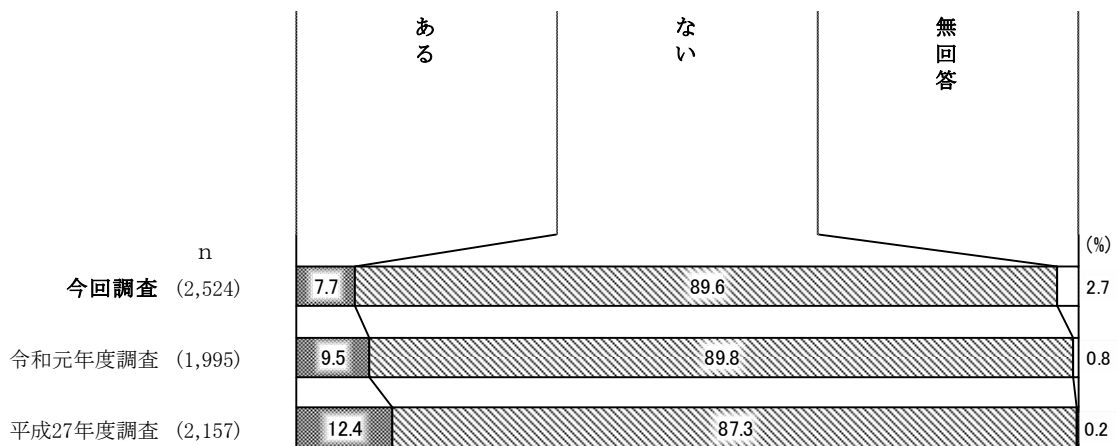
◇「ない」が89.6%

「災害用伝言サービス」は、大規模な災害が発生した場合、被災地への電話がつながりにくくなることから、家族や知人との間での安否確認などを行うために通信事業者が提供しています。NTT東日本が提供する「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板web171」や、携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」「災害用音声お届けサービス」があります。

問21 あなたは「災害用伝言サービス」を体験利用（※）したことがありますか。

(○は1つだけ)

※体験利用日：毎月1日・15日、防災週間（8/30～9/5）、
正月三が日（1/1～3）、防災とボランティア週間（1/15～21）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害用伝言サービスの体験利用経験は「ある」(7.7%)が低く、「ない」(89.6%)が約9割と高くなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「ある」が1.8ポイント減少した。

【属性別比較】

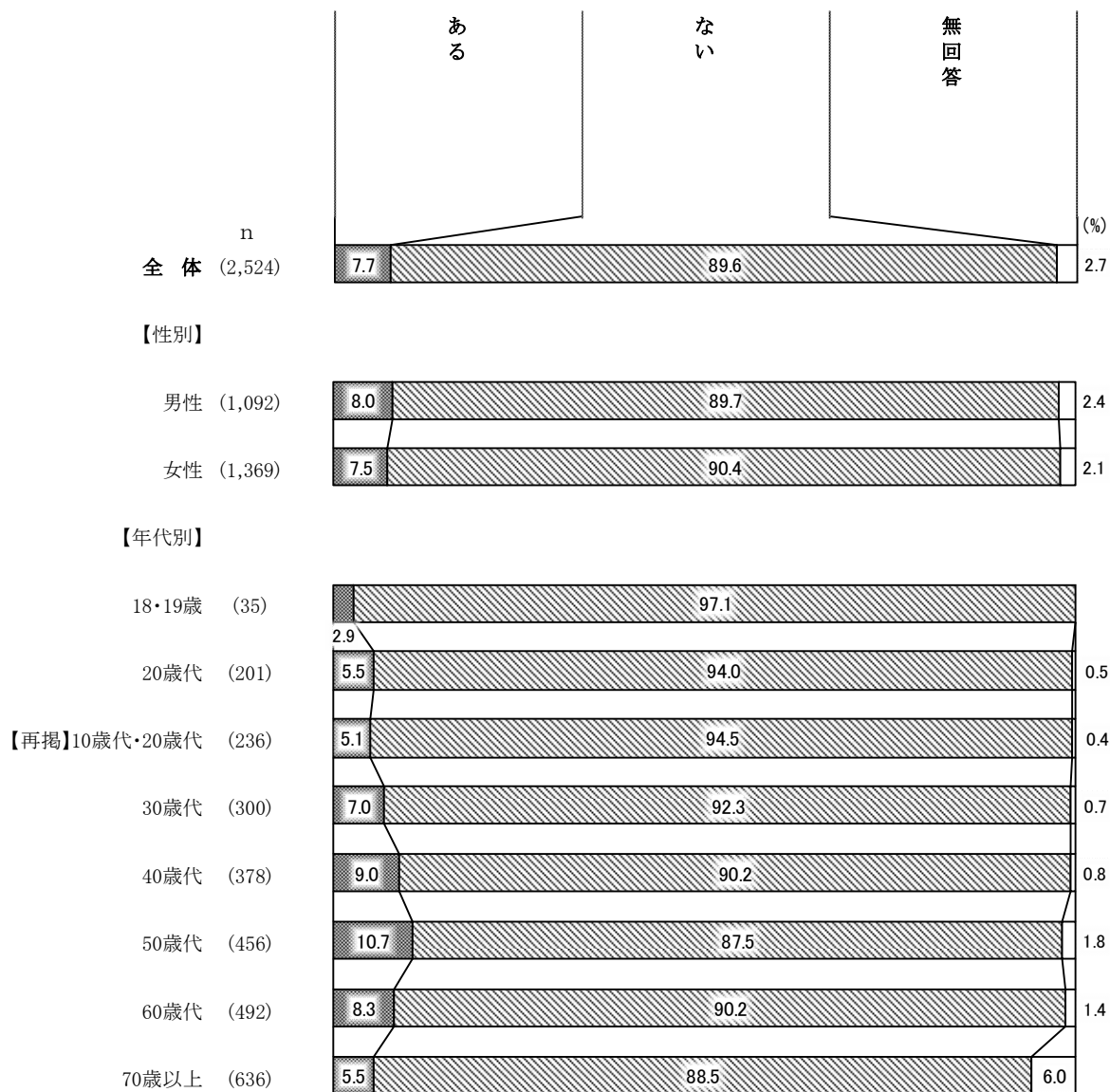
① 性別

性別では大きな差はみられない。

② 年代別

「ある」は50歳代(10.7%)で1割を超えて最も高く、それ以外の年代ではいずれも1割未満となっている。「ない」は10歳代・20歳代(94.5%)で9割台半ばと最も高く、いずれの年代でも8割台後半以上となっている。

○災害用伝言サービスの体験利用経験・性別／年代別



③ 地域別

「ある」は県央地域（9.9%）で約1割と最も高いが、いずれの地域も1割未満となっている。

④ 性・年代別

「ある」は女性の50歳代（11.8%）と40歳代（10.3%）で1割を超えて高いが、それ以外の性・年代ではいずれも1割未満となっている。

⑤ 職業別

「ある」はいずれの職業も1割未満となっている。

⑥ ライフステージ別

「ある」は家族成長後期（15.9%）で1割台半ばと最も高くなっている。

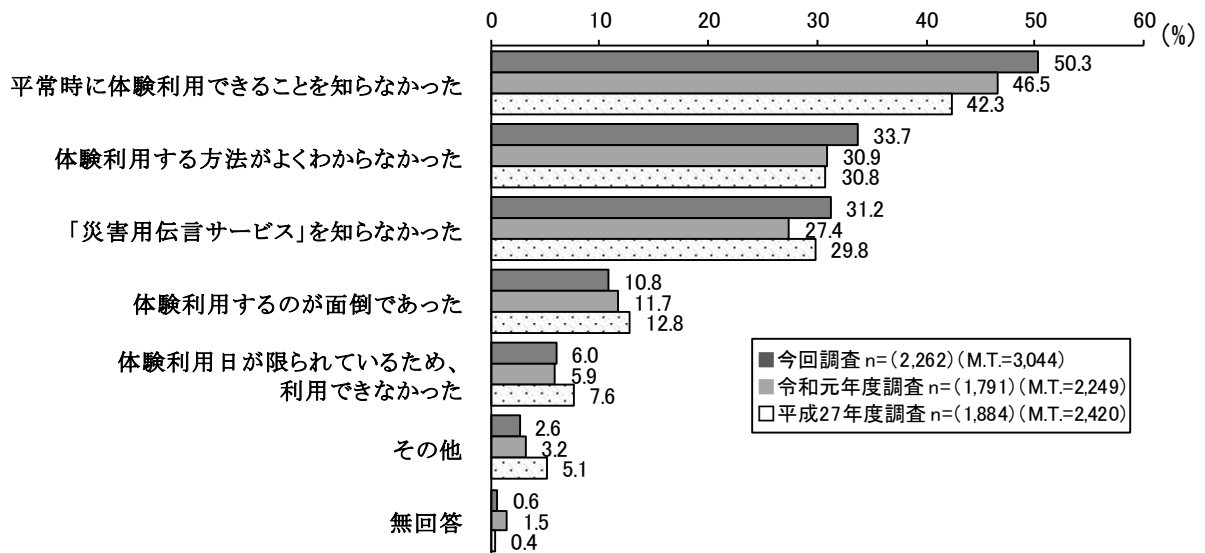
○災害用伝言サービスの体験利用経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
	n			
全体	2,524	7.7	89.6	2.7
地域別				
南部地域	242	7.4	90.1	2.5
南西部地域	224	7.6	91.5	0.9
東部地域	399	8.0	88.7	3.3
さいたま地域	451	7.8	90.7	1.6
県央地域	192	9.9	89.1	1.0
川越比企地域	288	9.0	88.2	2.8
西部地域	259	6.6	90.3	3.1
利根地域	244	7.8	89.8	2.5
北部地域	159	4.4	92.5	3.1
秩父地域	37	5.4	89.2	5.4
性・年代別				
男性／18・19歳	9	-	100.0	-
20歳代	86	9.3	89.5	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	8.4	90.5	1.1
30歳代	127	7.9	92.1	-
40歳代	158	7.0	92.4	0.6
50歳代	206	9.7	88.3	1.9
60歳代	220	8.6	89.5	1.8
70歳以上	285	6.7	87.7	5.6
女性／18・19歳	24	4.2	95.8	-
20歳代	107	2.8	97.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.1	96.9	-
30歳代	172	6.4	92.4	1.2
40歳代	213	10.3	88.7	0.9
50歳代	246	11.8	86.6	1.6
60歳代	269	8.2	90.7	1.1
70歳以上	336	4.5	90.2	5.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	184	7.6	88.0	4.3
雇用者（計）	1,336	8.8	89.7	1.5
無職（計）	958	5.9	91.1	2.9
ライフステージ別				
独身期	305	5.2	93.8	1.0
家族形成期	175	8.6	91.4	-
家族成長前期	203	10.8	88.7	0.5
家族成長後期	164	15.9	83.5	0.6
家族成熟期	459	8.7	89.1	2.2
高齢期	586	7.0	90.4	2.6
その他	632	5.4	88.6	6.0

(5-1) 災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由

◇「平常時に体験利用できることを知らなかった」が50.3%

(問21で「2. ない」と答えた方にお伺いします。)
 問21-1 あなたが「災害用伝言サービス」を体験利用したことがない理由は何ですか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由は、「平常時に体験利用できることを知らなかった」(50.3%) が5割を超えて最も高く、次いで「体験利用する方法がよくわからなかった」(33.7%)、「『災害用伝言サービス』を知らなかった」(31.2%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「平常時に体験利用できることを知らなかった」(3.8ポイント)、「体験利用する方法がよくわからなかった」(2.8ポイント)、「『災害用伝言サービス』を知らなかった」(3.8ポイント)が増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は、秩父地域（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。「体験利用する方法がよくわからなかった」は東部地域（37.3%）と利根地域（37.0%）で3割台半ばを超えて高くなっている。「『災害用伝言サービス』を知らなかった」は利根地域（36.5%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

② 性別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は女性（54.6%）の方が男性（45.5%）よりも9.1ポイント高くなっている。「『災害用伝言サービス』を知らなかった」は男性（35.0%）の方が女性（27.8%）よりも7.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は30歳代（60.6%）で6割を超えて最も高く、「『災害用伝言サービス』を知らなかった」（45.6%）、「体験利用する方法がよくわからなかった」（45.5%）は70歳以上で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は男女ともに30歳代（女性64.2%・男性56.4%）で最も高く、次いで50歳代（女性63.8%・男性50.5%）で高くなっている。「体験利用する方法がよくわからなかった」は女性70歳以上（47.2%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は雇用者（計）（55.0%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「平常時に体験利用できることを知らなかった」は家族形成期（61.9%）で6割強と最も高く、「体験利用する方法がよくわからなかった」は高齢期（44.0%）で4割台半ばと最も高くなっている。

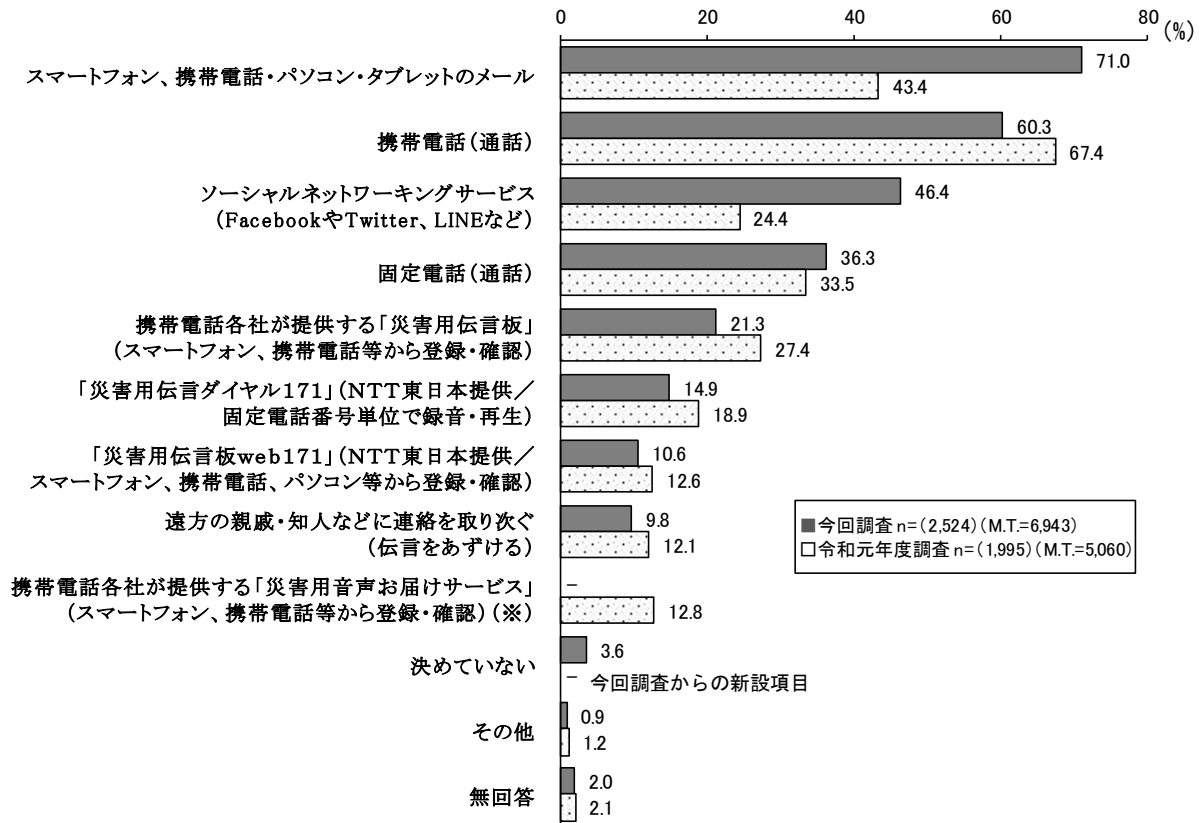
○災害用伝言サービスを体験利用したことがない理由・地域別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	平常時に知らなかつた	体験利用しなかつた	「災害用伝言サービス」を知らなかつた	体験利用するの面倒	体験利用のため、利用できなかった	その他	無回答
全体	2,262	50.3	33.7	31.2	10.8	6.0	2.6	0.6
地域別								
南部地域	218	53.7	32.1	30.7	9.6	6.0	4.1	-
南西部地域	205	46.3	31.7	30.2	11.7	8.8	3.4	-
東部地域	354	48.6	37.3	29.1	10.7	6.5	2.8	0.6
さいたま地域	409	50.6	30.8	30.3	9.5	5.4	1.7	0.7
県央地域	171	48.5	33.9	30.4	14.0	6.4	4.1	1.2
川越比企地域	254	47.6	32.7	35.0	10.6	5.5	1.2	2.0
西部地域	234	56.4	35.0	32.1	9.8	5.1	2.6	0.9
利根地域	219	46.6	37.0	36.5	9.6	4.6	2.7	-
北部地域	147	53.7	32.7	28.6	13.6	4.1	2.0	-
秩父地域	33	57.6	24.2	18.2	18.2	6.1	3.0	-
性別								
男性	979	45.5	34.2	35.0	13.8	5.2	3.0	0.3
女性	1,237	54.6	33.1	27.8	8.6	6.5	2.4	0.8
年代別								
18・19歳	34	29.4	8.8	58.8	8.8	5.9	2.9	-
20歳代	189	51.3	15.3	39.7	7.4	5.8	0.5	-
【再掲】10歳代・20歳代	223	48.0	14.3	42.6	7.6	5.8	0.9	-
30歳代	277	60.6	29.2	21.7	15.5	5.1	1.8	-
40歳代	341	53.1	27.0	21.7	14.4	5.3	2.3	0.3
50歳代	399	57.4	30.6	20.8	11.5	7.0	3.0	-
60歳代	444	52.3	39.0	29.7	9.2	4.5	1.6	0.5
70歳以上	563	37.5	45.5	45.6	8.5	7.3	4.4	2.0
性・年代別								
男性／18・19歳	9	33.3	-	66.7	11.1	-	-	-
20歳代	77	46.8	13.0	40.3	7.8	5.2	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	86	45.3	11.6	43.0	8.1	4.7	-	-
30歳代	117	56.4	30.8	24.8	18.8	0.9	1.7	-
40歳代	146	47.9	29.5	25.3	18.5	2.7	4.1	0.7
50歳代	182	50.5	31.9	26.9	16.5	7.7	2.7	-
60歳代	197	47.7	41.6	34.5	12.7	3.0	1.5	-
70歳以上	250	33.6	42.4	49.2	9.6	8.4	5.2	0.8
女性／18・19歳	23	30.4	13.0	52.2	8.7	8.7	4.3	-
20歳代	104	55.8	18.3	39.4	6.7	4.8	1.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	127	51.2	17.3	41.7	7.1	5.5	1.6	-
30歳代	159	64.2	27.7	19.5	13.2	8.2	1.9	-
40歳代	189	58.7	25.4	18.0	10.6	7.4	1.1	-
50歳代	213	63.8	29.1	16.0	7.0	5.6	3.3	-
60歳代	244	55.7	36.9	25.4	6.6	5.7	1.6	0.8
70歳以上	303	40.9	47.2	42.9	7.9	6.6	4.0	2.6
職業別								
自営業・家族従業（計）	162	44.4	39.5	28.4	11.7	4.3	2.5	-
雇用者（計）	1,199	55.0	29.8	25.8	12.8	6.3	1.5	0.2
無職（計）	873	45.1	37.6	38.8	7.9	6.0	4.0	1.4
ライフステージ別								
独身期	286	51.0	18.2	37.1	10.1	7.0	1.4	-
家族形成期	160	61.9	26.3	25.6	11.9	5.0	1.3	-
家族成長前期	180	57.2	35.6	18.9	15.0	4.4	1.1	-
家族成長後期	137	52.6	29.9	23.4	13.9	9.5	-	-
家族成熟期	409	51.8	34.5	26.2	10.3	4.6	2.9	0.5
高齢期	530	44.2	44.0	41.9	8.1	5.8	2.5	0.9
その他	560	48.4	33.8	29.3	11.8	6.4	4.6	1.3

(6) 災害時の家族や知人の安否確認手段

◇「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」が71.0%

問22 あなたは、災害時に家族や知人の安否を確認する手段として、どのような手段を考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



※「携帯電話各社が提供する「災害用音声お届けサービス」(スマートフォン、携帯電話等から登録・確認)」は令和元年度調査のみの選択肢

※調査方法の変更により令和元年度の結果と単純に時系列比較はできないことに留意

災害時の家族や知人の安否確認手段は、「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」(71.0%)が7割強と最も高く、次いで「携帯電話(通話)」(60.3%)、「ソーシャルネットワーキングサービス(FacebookやTwitter、LINEなど)」(46.4%)、「固定電話(通話)」(36.3%)、「携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」(スマートフォン、携帯電話等から登録・確認)」(21.3%)などとなっている。一方で、「決めていない」(3.6%)は1割未満となっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」(27.6ポイント)、「ソーシャルネットワーキングサービス(FacebookやTwitter、LINEなど)」(22.0ポイント)が増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は南西部地域（75.4%）で7割台半ばと最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は県央地域（64.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「ソーシャルネットワーキングサービス（FacebookやTwitter、LINEなど）」は女性（49.2%）の方が男性（44.5%）よりも4.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は60歳代（77.0%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。「ソーシャルネットワーキングサービス（FacebookやTwitter、LINEなど）」は10歳代・20歳代（75.8%）で7割台半ばと最も高く、年代が上がるほど割合が低くなる傾向がみられる。

④ 性・年代別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は男性の30歳代（78.7%）と60歳代（78.2%）で8割弱と高くなっている。「携帯電話（通話）」は男性30歳代（66.1%）と女性70歳以上（65.5%）で6割台半ばと高くなっている。「ソーシャルネットワーキングサービス（FacebookやTwitter、LINEなど）」は女性10歳代・20歳代（80.2%）で8割を超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は雇用者（計）（74.2%）で7割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール」は家族形成期（77.1%）で7割台半ばを超えて最も高くなっている。「携帯電話（通話）」は家族形成期（64.6%）と高齢期（64.3%）で6割台半ばと高くなっている。

○災害時の家族や知人の安否確認手段・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

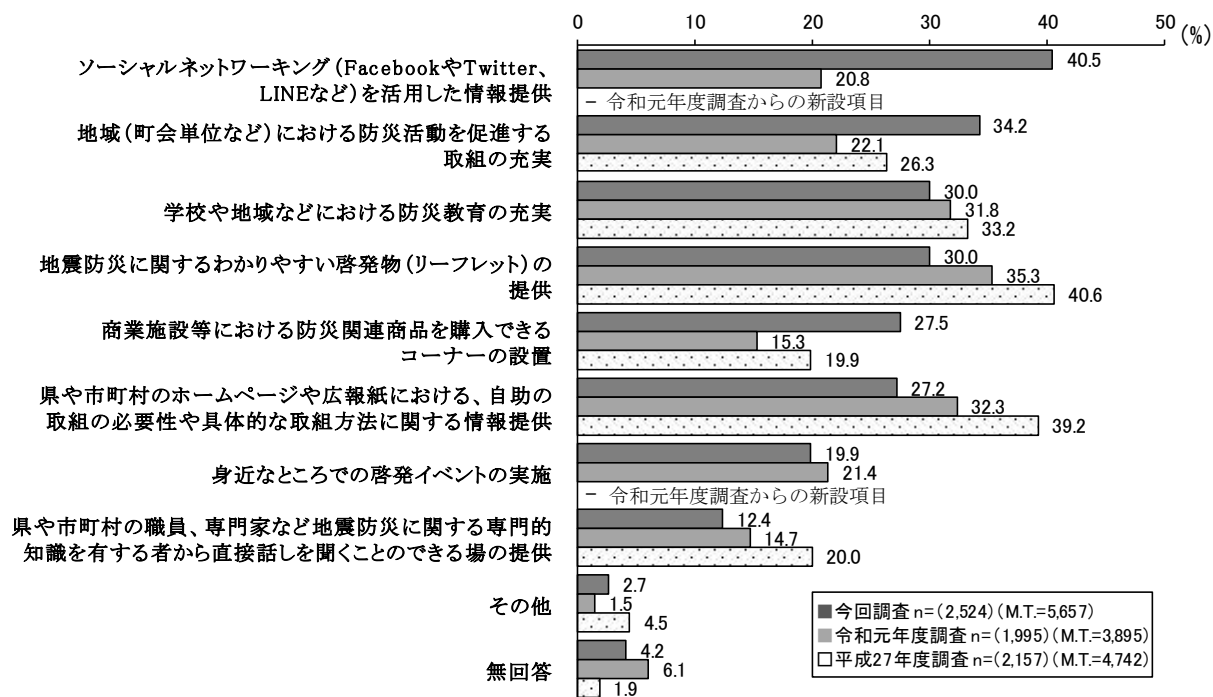
(%)

	調査数	スマートフォン、タブレットのメール	携帯電話（通話）	ソーシャルネットワークやキングサービス、LINEなど	固定電話（通話）	登録・確認 携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」（スマートフォン、携帯電話等から）	再生 東日本提供／固定電話番号単位で録音・再生	東日本提供／固定電話番号単位で録音・再生	「災害用伝言板」等から登録・確認	「災害用伝言板」等から登録・確認	遠方の親戚・知人などに連絡を取り次ぐ（伝言をあげる）	決めていない	その他	無回答
全体	2,524	71.0	60.3	46.4	36.3	21.3	14.9	10.6	9.8	3.6	0.9	2.0		
地域別														
南部地域	242	73.1	59.9	46.3	38.0	21.1	13.6	13.2	13.2	4.1	-	1.7		
南西部地域	224	75.4	60.7	58.0	34.4	25.0	17.4	13.8	12.9	4.0	1.8	0.9		
東部地域	399	66.7	59.4	43.9	36.6	19.8	13.0	10.5	11.0	2.8	1.3	2.0		
さいたま地域	451	74.1	62.5	54.5	35.7	26.2	17.7	10.4	10.0	2.7	0.9	1.6		
県央地域	192	72.9	64.1	49.5	30.2	19.8	14.1	8.9	8.3	3.1	1.0	0.5		
川越比企地域	288	74.3	59.4	45.5	40.6	20.8	14.6	12.5	7.3	4.5	0.3	2.4		
西部地域	259	67.6	59.1	44.0	40.9	19.7	15.1	9.3	11.6	5.0	1.5	2.7		
利根地域	244	69.7	61.1	32.4	39.8	16.8	12.3	8.2	7.0	4.9	-	0.8		
北部地域	159	69.2	56.6	45.3	27.0	21.4	13.8	9.4	6.3	1.9	0.6	3.1		
秩父地域	37	70.3	62.2	35.1	35.1	16.2	13.5	5.4	2.7	5.4	2.7	2.7		
性別														
男性	1,092	73.4	61.4	44.5	35.3	20.4	12.2	9.4	9.6	4.0	0.7	1.7		
女性	1,369	70.6	60.6	49.2	37.5	22.4	17.0	11.8	9.9	3.2	0.9	1.5		
年代別														
18・19歳	35	68.6	60.0	77.1	11.4	2.9	8.6	5.7	5.7	2.9	2.9	-		
20歳代	201	67.2	62.7	75.6	19.9	17.4	15.9	10.0	8.0	3.5	2.0	0.5		
【再掲】10歳代・20歳代	236	67.4	62.3	75.8	18.6	15.3	14.8	9.3	7.6	3.4	2.1	0.4		
30歳代	300	72.7	62.7	68.3	18.0	23.0	15.3	12.0	9.0	4.0	0.3	0.3		
40歳代	378	74.1	61.4	63.2	30.7	25.4	16.1	12.4	13.8	4.2	0.5	0.8		
50歳代	456	70.8	56.6	56.8	32.0	28.7	16.7	12.5	7.0	5.0	1.3	2.0		
60歳代	492	77.0	59.3	38.0	38.2	22.2	15.9	12.6	9.1	2.2	0.2	1.4		
70歳以上	636	66.8	62.3	15.4	57.2	14.9	11.5	6.8	11.3	3.1	1.1	3.5		
性・年代別														
男性／18・19歳	9	66.7	77.8	88.9	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-	-		
20歳代	86	70.9	62.8	73.3	24.4	17.4	14.0	9.3	8.1	3.5	-	1.2		
【再掲】10歳代・20歳代	95	70.5	64.2	74.7	24.2	16.8	13.7	9.5	9.5	3.2	-	1.1		
30歳代	127	78.7	66.1	72.4	19.7	18.1	15.0	6.3	11.0	3.1	-	-		
40歳代	158	76.6	62.7	57.0	29.7	23.4	13.9	10.1	14.6	5.1	1.3	0.6		
50歳代	206	71.8	56.3	50.5	28.2	26.2	11.2	12.1	6.8	5.8	1.0	2.4		
60歳代	220	78.2	64.1	36.4	37.3	20.9	10.9	11.4	8.2	2.7	0.5	1.4		
70歳以上	285	67.7	58.9	17.2	53.0	16.5	11.2	7.0	9.5	3.9	1.1	3.2		
女性／18・19歳	24	75.0	54.2	75.0	8.3	-	8.3	4.2	-	4.2	-	-		
20歳代	107	66.4	64.5	81.3	16.8	17.8	15.9	9.3	8.4	1.9	3.7	-		
【再掲】10歳代・20歳代	131	67.9	62.6	80.2	15.3	14.5	14.5	8.4	6.9	2.3	3.1	-		
30歳代	172	68.0	60.5	65.7	16.9	26.2	15.7	16.3	7.6	4.7	0.6	0.6		
40歳代	213	73.2	60.6	69.0	31.0	26.8	18.3	14.1	12.7	3.8	-	0.9		
50歳代	246	70.3	57.7	62.2	35.8	30.5	21.5	13.0	7.3	4.1	1.6	1.6		
60歳代	269	76.6	56.1	39.8	39.0	23.0	20.1	13.8	10.0	1.9	-	1.5		
70歳以上	336	66.7	65.5	14.3	61.3	14.3	12.2	6.8	12.5	2.7	1.2	3.0		
職業別														
自営業・家族従業（計）	184	69.6	62.5	46.2	35.3	21.2	14.1	12.0	13.0	7.1	-	4.3		
雇用者（計）	1,336	74.2	59.1	57.0	28.1	24.2	15.0	12.2	9.1	3.5	0.8	1.2		
無職（計）	958	68.2	62.7	33.3	48.1	17.5	14.6	8.4	10.3	3.1	1.1	1.9		
ライフステージ別														
独身期	305	68.9	62.0	73.8	22.6	18.7	15.1	9.5	9.2	3.9	1.6	0.7		
家族形成期	175	77.1	64.6	71.4	11.4	21.1	14.9	8.6	7.4	3.4	0.6	-		
家族成長前期	203	69.0	58.6	64.5	24.1	23.6	17.7	15.8	9.4	5.9	1.0	0.5		
家族成長後期	164	74.4	48.8	64.6	30.5	26.2	20.7	10.4	12.2	1.8	1.8	-		
家族成熟期	459	75.6	57.3	47.1	37.3	25.9	17.0	13.5	5.9	2.4	0.7	1.7		
高齢期	586	74.4	64.3	29.0	52.0	17.9	13.8	9.7	11.4	2.4	0.7	1.7		
その他	632	63.8	60.1	31.3	40.0	20.4	11.7	8.9	11.6	5.2	0.6	4.7		

(7) 大地震に備えた自助の取組を進めるために必要な支援

◇「ソーシャルネットワーキング (Facebook や Twitter、LINE など) を活用した情報提供」が 40.5%

問23 あなたは、今後どのような支援があれば、大地震に備えた自助（自分の命は自分で守る）の取組を進めやすいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

大地震に備えた自助の取組を進めるために必要な支援は、「ソーシャルネットワーキング (Facebook や Twitter、LINE など) を活用した情報提供」(40.5%) が4割を超えて最も高く、次いで「地域 (町会単位など) における防災活動を促進する取組の充実」(34.2%)、「学校や地域などにおける防災教育の充実」(30.0%)、「地震防災に関するわかりやすい啓発物 (リーフレット) の提供」(30.0%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和元年度調査と比べて、「ソーシャルネットワーキング (Facebook や Twitter、LINE など) を活用した情報提供」(19.7ポイント)、「地域(町会単位など)における防災活動を促進する取組の充実」(12.1ポイント)、「商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置」(12.2ポイント)が10ポイント以上増加し、その他の項目では減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供」は県央地域（48.4%）で5割弱と最も高く、「地域（町会単位など）における防災活動を促進する取組の充実」は利根地域（39.8%）で約4割と最も高くなっている。

② 性別

「学校や地域などにおける防災教育の充実」は女性（32.8%）の方が男性（26.8%）よりも6.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供」は10歳代・20歳代（70.8%）で7割を超えて最も高く、年代が上がるほど割合が低くなる傾向がみられる。一方で、「地域（町会単位など）における防災活動を促進する取組の充実」は70歳以上（50.5%）で5割を超えて最も高く、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。

④ 性・年代別

「ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供」は女性10歳代・20歳代（74.0%）で7割台半ばと最も高くなっている。「地域（町会単位など）における防災活動を促進する取組の充実」は男女とも70歳以上（男性51.6%、女性50.0%）、「学校や地域などにおける防災教育の充実」は女性30歳代（50.6%）でいずれも5割以上と高くなっている。

⑤ 職業別

「ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供」は雇用者（計）（48.7%）で5割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供」は独身期（68.9%）で7割弱と最も高くなっている。「地域（町会単位など）における防災活動を促進する取組の充実」は高齢期（51.5%）で5割強と最も高くなっている。

○大地震に備えた自助の取組を進めるために必要な支援・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	L I N E (ソーシャルネットワークやTwitter、LINEなど)を活用した情報提供	地域(町会単位など)における防災活動を促進する取組の充実	学校や地域などにおける防災教育の充実	(リーフレット)の提供	地震防災に関するわかりやすい啓発物	商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置	組方法に関する情報提供	ける、自助の取組の必要性や具体的な取	県や市町村のホームページや広報紙にお	身近なところでの啓発イベントの実施	話しを聞くことのできる場の提供	に關する専門的知識を有する者から直接	具や市町村の職員、専門家など地震防災	その他	無回答
全体	2,524	40.5	34.2	30.0	30.0	27.5	27.2	19.9	12.4	2.7	4.2					
地域別																
南部地域	242	47.5	38.4	28.9	30.2	31.8	28.9	18.6	10.7	1.7	2.9					
南西部地域	224	47.3	29.0	31.3	25.9	28.1	22.3	20.5	11.6	4.9	2.7					
東部地域	399	38.6	34.8	28.8	33.1	26.3	29.1	22.3	11.3	1.8	4.8					
さいたま地域	451	42.1	34.6	29.5	32.4	29.5	25.5	19.1	12.6	1.8	2.9					
県央地域	192	48.4	31.3	27.1	26.6	27.1	30.2	15.6	9.9	2.1	3.6					
川越比企地域	288	42.4	32.6	35.4	30.2	27.8	25.7	20.1	13.9	3.8	5.9					
西部地域	259	37.8	37.1	32.8	27.8	25.1	29.3	20.8	13.1	4.2	5.0					
利根地域	244	24.6	39.8	28.3	29.5	25.8	25.8	21.7	13.9	2.9	3.7					
北部地域	159	43.4	28.3	28.9	30.8	22.6	26.4	20.1	15.1	2.5	3.1					
秩父地域	37	27.0	35.1	18.9	29.7	24.3	32.4	16.2	8.1	2.7	2.7					
性別																
男性	1,092	40.8	35.7	26.8	27.7	22.9	27.4	20.2	11.6	3.1	2.9					
女性	1,369	41.1	33.5	32.8	32.3	31.1	27.2	20.1	13.1	2.2	4.2					
年代別																
18・19歳	35	74.3	17.1	60.0	17.1	25.7	14.3	11.4	2.9	2.9	-					
20歳代	201	70.1	16.9	32.8	25.4	31.8	13.9	15.4	5.0	1.5	1.0					
【再掲】10歳代・20歳代	236	70.8	16.9	36.9	24.2	30.9	14.0	14.8	4.7	1.7	0.8					
30歳代	300	58.3	24.3	42.0	27.7	37.0	19.0	19.7	6.3	3.0	0.7					
40歳代	378	50.0	24.6	37.8	27.2	31.0	20.6	17.5	11.1	4.2	1.3					
50歳代	456	48.0	25.4	24.6	36.0	28.1	30.5	18.2	8.1	3.7	2.6					
60歳代	492	33.1	43.7	25.6	36.2	28.3	34.3	21.7	14.4	1.8	2.8					
70歳以上	636	16.0	50.5	24.7	26.3	18.2	31.9	23.4	20.4	1.7	9.7					
性・年代別																
男性／18・19歳	9	77.8	22.2	66.7	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	-	-					
20歳代	86	67.4	17.4	29.1	15.1	22.1	15.1	14.0	1.2	1.2	-					
【再掲】10歳代・20歳代	95	68.4	17.9	32.6	14.7	21.1	16.8	14.7	2.1	1.1	-					
30歳代	127	64.6	18.9	30.7	23.6	34.6	17.3	19.7	8.7	3.1	0.8					
40歳代	158	50.0	29.1	40.5	20.9	24.7	17.1	15.2	11.4	4.4	1.9					
50歳代	206	46.6	27.7	23.3	33.5	18.9	29.6	18.9	7.3	5.8	2.4					
60歳代	220	33.2	45.0	22.7	34.5	25.9	31.4	22.7	13.2	1.8	1.4					
70歳以上	285	17.2	51.6	21.4	27.7	17.9	36.1	24.2	18.2	2.1	7.0					
女性／18・19歳	24	75.0	16.7	62.5	20.8	33.3	4.2	8.3	-	-	-					
20歳代	107	73.8	16.8	34.6	33.6	40.2	13.1	15.9	7.5	0.9	0.9					
【再掲】10歳代・20歳代	131	74.0	16.8	39.7	31.3	38.9	11.5	14.5	6.1	0.8	0.8					
30歳代	172	53.5	27.9	50.6	30.8	39.0	20.3	19.8	4.7	2.9	0.6					
40歳代	213	50.7	21.1	36.6	31.5	35.2	23.5	19.7	10.8	3.8	0.9					
50歳代	246	50.0	24.0	25.6	37.8	35.8	31.3	17.9	8.9	2.0	2.8					
60歳代	269	33.5	42.8	27.9	37.9	30.1	37.2	21.2	15.6	1.9	3.7					
70歳以上	336	15.5	50.0	27.7	25.6	18.8	28.3	23.5	22.9	1.5	10.7					
職業別																
自営業・家族従業(計)	184	44.0	40.8	35.3	27.2	24.5	29.9	21.7	16.3	1.1	3.8					
雇用者(計)	1,336	48.7	26.1	29.2	32.7	31.5	24.4	18.3	8.8	3.1	1.9					
無職(計)	958	29.6	44.5	30.5	27.1	22.4	30.9	22.0	16.6	2.3	6.3					
ライフステージ別																
独身期	305	68.9	18.4	32.1	26.9	34.1	16.4	15.4	4.6	2.0	0.7					
家族形成期	175	55.4	26.3	45.7	26.3	34.9	20.0	19.4	6.9	2.3	1.1					
家族成長前期	203	52.2	25.6	57.6	24.6	30.5	18.7	21.2	7.9	4.9	1.5					
家族成長後期	164	46.3	23.8	32.3	27.4	28.0	21.3	14.0	12.2	3.7	3.0					
家族成熟期	459	42.9	35.1	25.1	34.9	25.9	30.7	23.3	13.7	1.7	2.8					
高齢期	586	23.5	51.5	28.5	30.2	23.0	34.5	24.1	18.6	1.5	5.1					
その他	632	31.2	32.6	19.9	31.0	26.3	29.3	16.9	12.5	4.0	8.2					

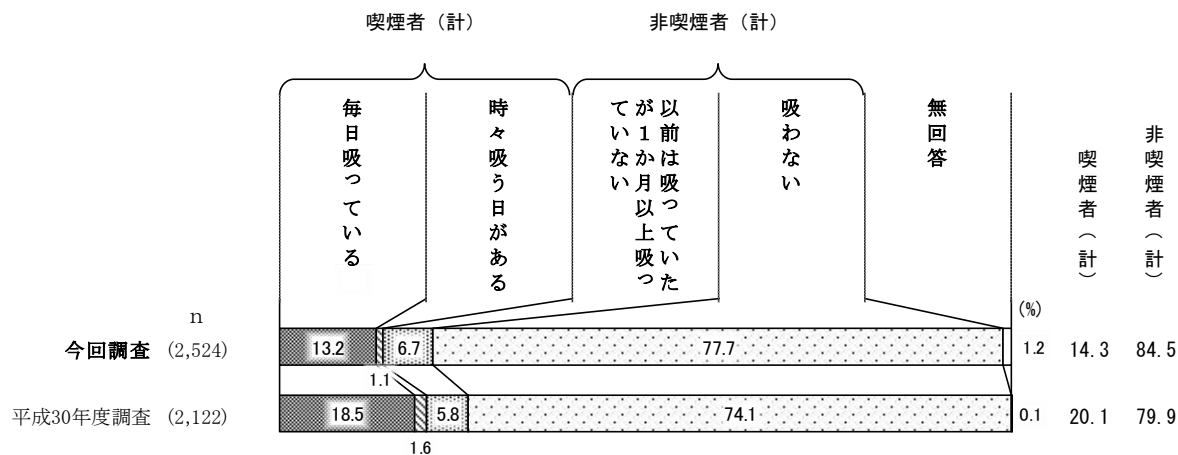
5 受動喫煙防止対策
について
(問 24～問 29)

5. 受動喫煙防止対策について

(1) 喫煙状況

◇『喫煙者（計）』が14.3%、『非喫煙者（計）』が84.5%

問24 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

喫煙状況は、「吸わない」（77.7%）が7割台半ばを超えて最も高くなっている。これに「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」（6.7%）を合わせた『非喫煙者（計）』（84.5%）は8割台半ばとなっている。一方で、「毎日吸っている」（13.2%）と「時々吸う日がある」（1.1%）を合わせた『喫煙者（計）』（14.3%）は1割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、『喫煙者（計）』は5.8ポイント減少している。

【属性別比較】

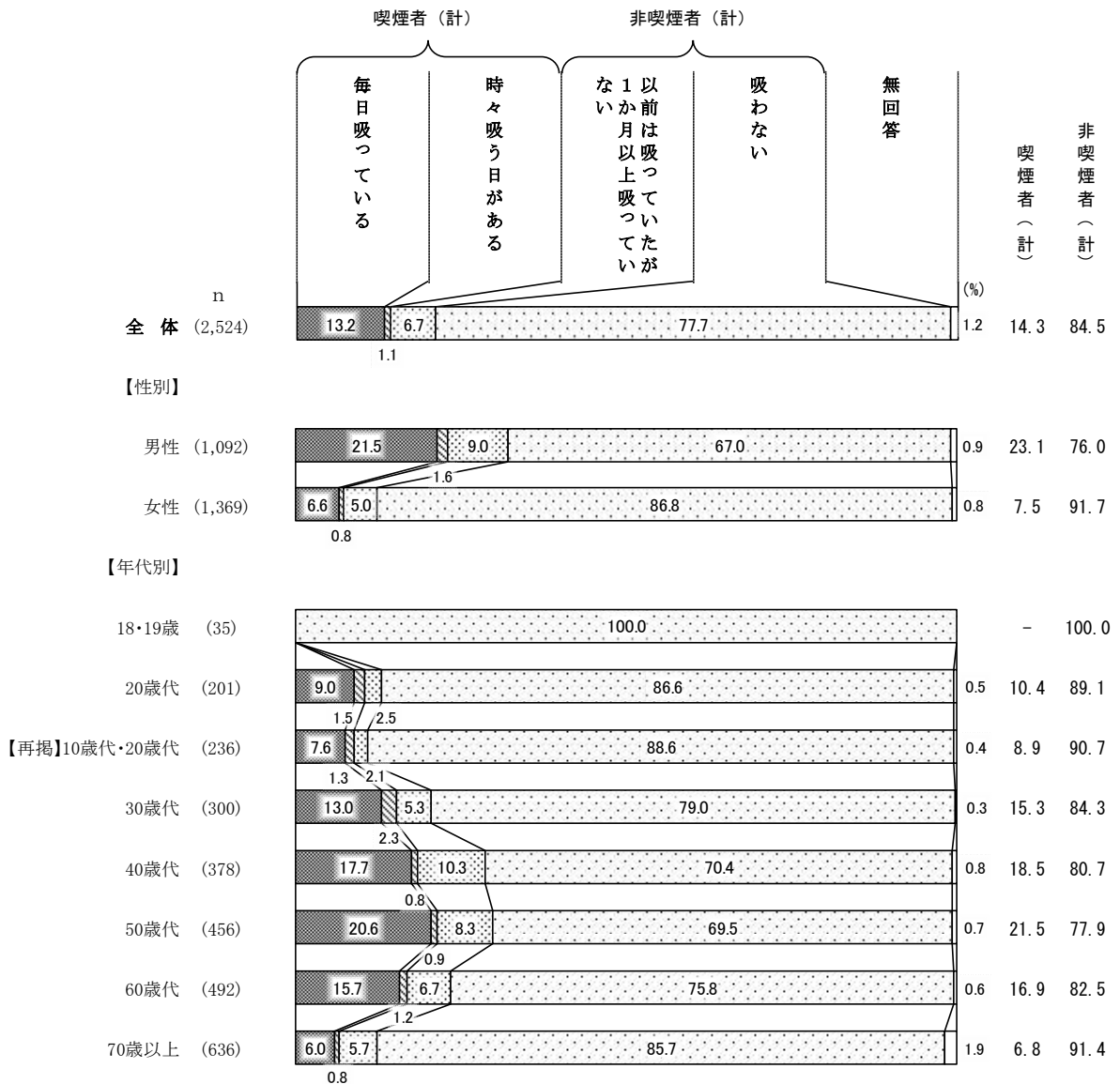
① 性別

『喫煙者（計）』は男性（23.1%）の方が女性（7.5%）よりも15.6ポイント高くなっている。

② 年代別

『喫煙者（計）』は50歳代（21.5%）で2割強と最も高くなっている。一方で、『非喫煙者（計）』はいずれの年代でも7割台後半以上となっており、70歳以上（91.4%）で9割強となっている。

○喫煙状況・性別／年代別



③ 地域別

『喫煙者 (計)』は秩父地域 (21.6%) で2割強と最も高く、さいたま地域 (9.8%) で最も低くなっている。

④ 性・年代別

『喫煙者 (計)』は男性 50 歳代 (34.0%) で3割台半ばと最も高くなっている。一方で、『非喫煙者 (計)』は女性の 10 歳代・20 歳代 (96.2%) と 70 歳以上 (95.5%) で9割台半ばとなっており、女性ではいずれの年代でも8割台後半以上となっている。

⑤ 職業別

『非喫煙者 (計)』は無職 (計) (90.5%) で9割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『非喫煙者 (計)』は高齢期 (93.0%) で9割強と最も高く、その他を除くすべてのライフステージで8割以上となっている。

○喫煙状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

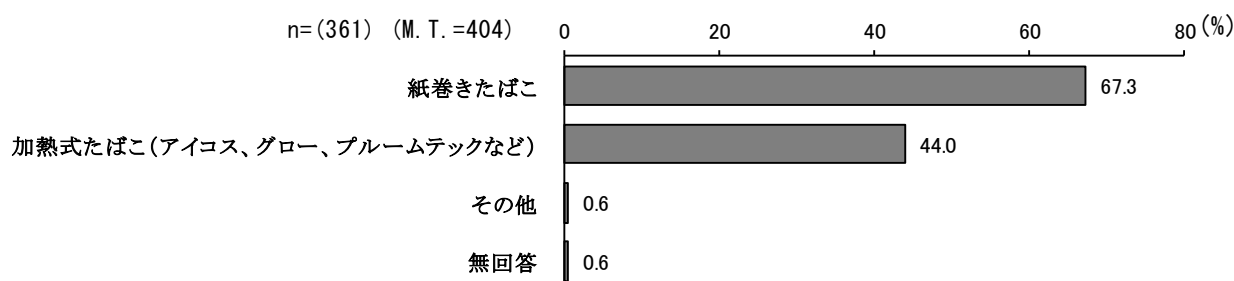
(%)

	調査数 n	毎日吸っている	時々吸う日がある	1か月前は吸っていたが吸っていない	吸わない	無回答	喫煙者(計)	非喫煙者(計)
全体	2,524	13.2	1.1	6.7	77.7	1.2	14.3	84.5
地域別								
南部地域	242	13.2	0.8	11.6	72.7	1.7	14.0	84.3
南西部地域	224	15.6	0.4	5.4	78.1	0.4	16.1	83.5
東部地域	399	16.3	1.8	7.5	73.2	1.3	18.0	80.7
さいたま地域	451	9.1	0.7	5.8	83.8	0.7	9.8	89.6
県央地域	192	11.5	-	6.3	82.3	-	11.5	88.5
川越比企地域	288	10.1	1.4	5.6	81.6	1.4	11.5	87.2
西部地域	259	14.3	1.5	5.8	76.8	1.5	15.8	82.6
利根地域	244	17.2	2.0	6.6	73.4	0.8	19.3	79.9
北部地域	159	14.5	0.6	6.9	77.4	0.6	15.1	84.3
秩父地域	37	18.9	2.7	5.4	73.0	-	21.6	78.4
性・年代別								
男性／18・19歳	9	-	-	-	100.0	-	-	100.0
20歳代	86	17.4	2.3	2.3	77.9	-	19.8	80.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	15.8	2.1	2.1	80.0	-	17.9	82.1
30歳代	127	22.0	3.9	7.1	66.1	0.8	26.0	73.2
40歳代	158	29.1	0.6	10.1	58.9	1.3	29.7	69.0
50歳代	206	33.0	1.0	11.2	54.9	-	34.0	66.0
60歳代	220	24.1	1.4	9.1	65.0	0.5	25.5	74.1
70歳以上	285	8.8	1.4	9.8	77.9	2.1	10.2	87.7
女性／18・19歳	24	-	-	-	100.0	-	-	100.0
20歳代	107	2.8	0.9	1.9	93.5	0.9	3.7	95.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	2.3	0.8	1.5	94.7	0.8	3.1	96.2
30歳代	172	6.4	1.2	4.1	88.4	-	7.6	92.4
40歳代	213	8.9	0.9	10.8	78.9	0.5	9.9	89.7
50歳代	246	9.8	0.8	6.1	82.1	1.2	10.6	88.2
60歳代	269	8.9	1.1	4.5	84.8	0.7	10.0	89.2
70歳以上	336	3.0	0.3	2.4	93.2	1.2	3.3	95.5
職業別								
自営業・家族従業(計)	184	19.6	1.6	6.0	72.3	0.5	21.2	78.3
雇用者(計)	1,336	16.8	1.2	7.3	74.1	0.7	18.0	81.4
無職(計)	958	7.3	0.9	6.2	84.3	1.3	8.2	90.5
ライフステージ別								
独身期	305	9.2	1.6	1.6	87.5	-	10.8	89.2
家族形成期	175	9.7	1.7	9.1	78.3	1.1	11.4	87.4
家族成長前期	203	12.3	1.0	9.9	75.9	1.0	13.3	85.7
家族成長後期	164	15.2	0.6	8.5	74.4	1.2	15.9	82.9
家族成熟期	459	18.1	1.1	7.4	72.5	0.9	19.2	80.0
高齢期	586	5.6	0.5	5.1	87.9	0.9	6.1	93.0
その他	632	19.3	1.4	8.1	68.7	2.5	20.7	76.7

(1-1) 吸っているたばこ製品

◇「紙巻きたばこ」が67.3%

(問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。)
問24-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。(〇はいくつでも)



吸っているたばこ製品は、「紙巻きたばこ」(67.3%)で6割台半ばを超えて最も高く、次いで「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」(44.0%)で4割台半ばとなっている。

【属性別比較】

※下記の吸っているたばこ製品の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「紙巻きたばこ」は川越比企地域(75.8%)で7割台半ばと最も高く、南部地域(47.1%)で最も低くなっている。

② 性別

「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は男性(46.0%)の方が女性(39.2%)よりも6.8ポイント高くなっている。

③ 年代別

「紙巻きたばこ」は70歳以上(93.0%)で9割強と最も高くなっている。一方で、「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は30歳代(67.4%)と40歳代(67.1%)で6割台半ばを超えて高く、年代が上がるほど低くなっている。

④ 性・年代別

「加熱式たばこ(アイコス、グロー、プルームテックなど)」は男性の30歳代(72.7%)と40歳代(70.2%)で7割台前半と高くなっている。

⑤ 職業別

「紙巻きたばこ」は無職(計)(83.5%)で8割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「紙巻きたばこ」は高齢期(91.7%)で9割強と最も高くなっている。

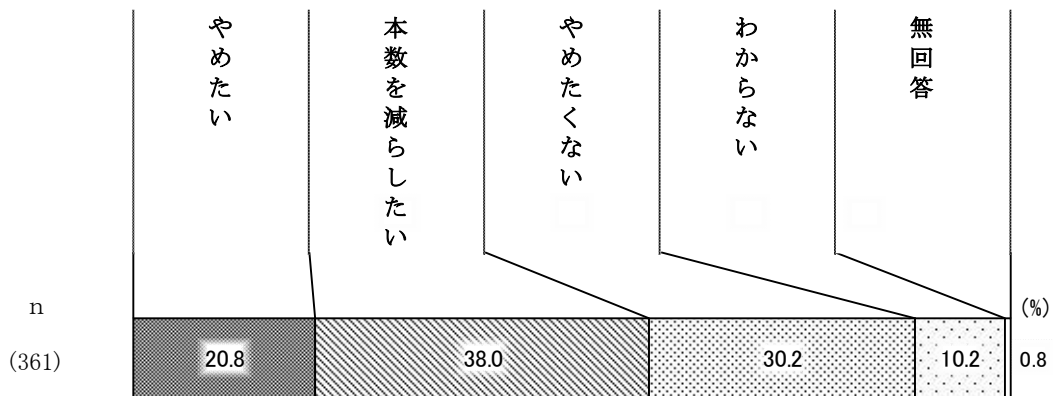
○吸っているたばこ製品・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／
ライフステージ別

	調査数 n	紙巻きたばこ	プ ル ー ム テ ッ ク な ど	加 熱 式 た ば こ （ アイ コス、 グ ロー、 など）	その他	無 回 答
全 体	361	67.3	44.0	0.6	0.6	
地域別						
南部地域	34	47.1	64.7	-	-	
南西部地域	36	66.7	50.0	-	-	
東部地域	72	65.3	45.8	-	-	
さいたま地域	44	68.2	40.9	2.3	2.3	
県央地域	22	72.7	40.9	-	-	
川越比企地域	33	75.8	33.3	-	-	
西部地域	41	65.9	46.3	-	-	
利根地域	47	74.5	34.0	2.1	2.1	
北部地域	24	75.0	37.5	-	-	
秩父地域	8	62.5	50.0	-	-	
性別						
男性	252	68.7	46.0	0.8	0.4	
女性	102	64.7	39.2	-	1.0	
年代別						
18・19歳	-	-	-	-	-	
20歳代	21	52.4	66.7	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	21	52.4	66.7	-	-	
30歳代	46	52.2	67.4	-	-	
40歳代	70	48.6	67.1	1.4	-	
50歳代	98	69.4	43.9	-	1.0	
60歳代	83	79.5	24.1	1.2	-	
70歳以上	43	93.0	9.3	-	2.3	
性・年代別						
男性／18・19歳	-	-	-	-	-	
20歳代	17	58.8	64.7	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	17	58.8	64.7	-	-	
30歳代	33	54.5	72.7	-	-	
40歳代	47	48.9	70.2	2.1	-	
50歳代	70	72.9	42.9	-	1.4	
60歳代	56	76.8	26.8	1.8	-	
70歳以上	29	96.6	10.3	-	-	
女性／18・19歳	-	-	-	-	-	
20歳代	4	25.0	75.0	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	4	25.0	75.0	-	-	
30歳代	13	46.2	53.8	-	-	
40歳代	21	47.6	61.9	-	-	
50歳代	26	65.4	42.3	-	-	
60歳代	27	85.2	18.5	-	-	
70歳以上	11	81.8	9.1	-	9.1	
職業別						
自営業・家族従業（計）	39	69.2	43.6	-	-	
雇用者（計）	240	62.1	52.1	0.8	-	
無職（計）	79	83.5	20.3	-	1.3	
ライフステージ別						
独身期	33	57.6	66.7	-	-	
家族形成期	20	45.0	65.0	-	-	
家族成長前期	27	63.0	59.3	-	-	
家族成長後期	26	46.2	57.7	-	-	
家族成熟期	88	68.2	40.9	1.1	1.1	
高齢期	36	91.7	13.9	-	-	
その他	131	71.0	39.7	0.8	0.8	

(1-2) 禁煙意思

◇「本数を減らしたい」が38.0%

(問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。)
問24-2 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(〇は1つだけ)



禁煙意思については、「本数を減らしたい」(38.0%)が4割弱と最も高く、次いで「やめたくない」(30.2%)が3割を超え、「やめたい」(20.8%)が2割を超えている。

【属性別比較】

※下記の禁煙意思についての【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

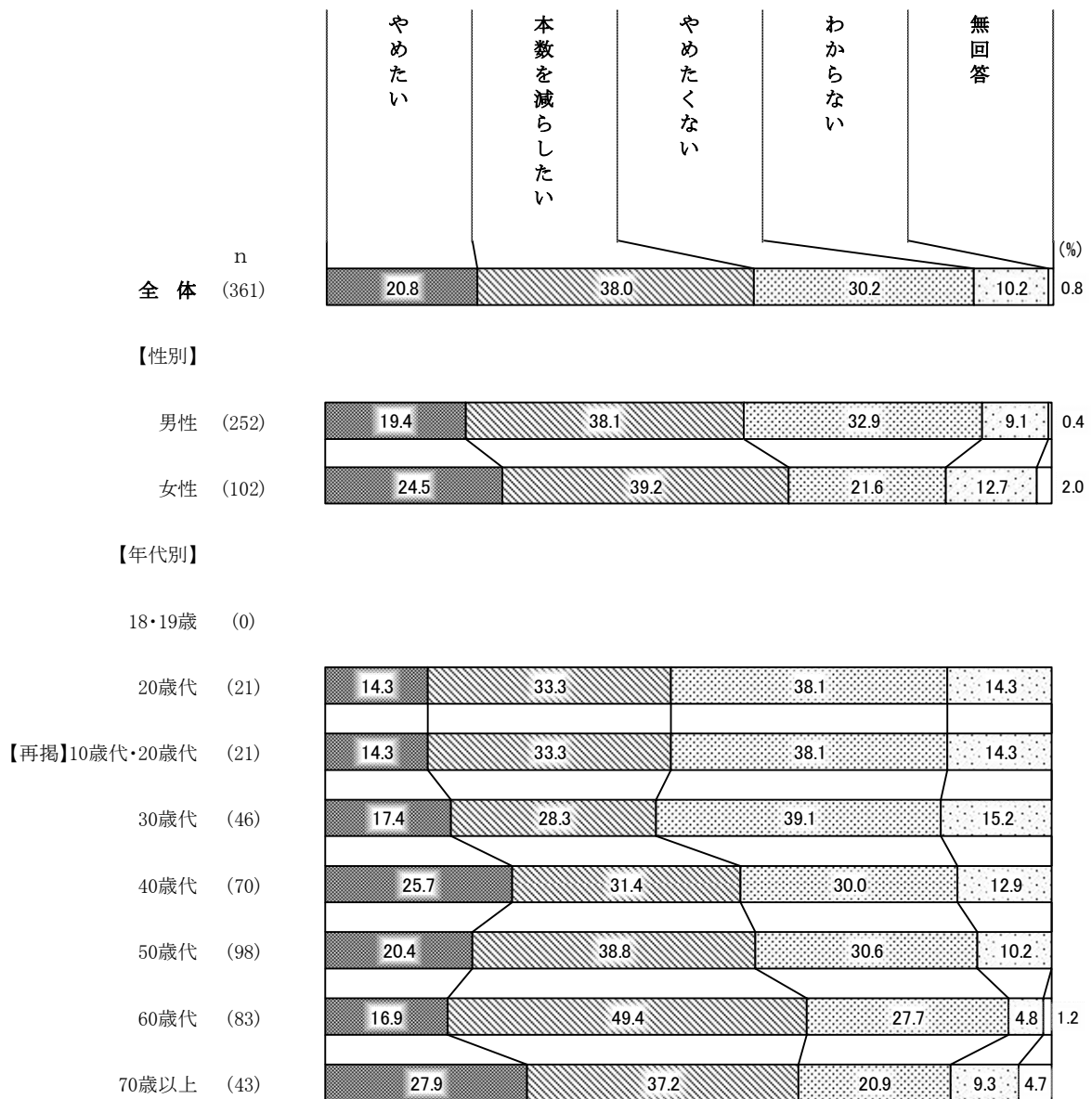
① 性別

「やめたい」は女性(24.5%)の方が男性(19.4%)よりも5.1ポイント高くなっている。一方で、「やめたくない」は男性(32.9%)の方が女性(21.6%)よりも11.3ポイント高くなっている。

② 年代別

「やめたい」は70歳以上(27.9%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで40歳代(25.7%)で2割台半ばと高くなっている。一方で、「やめたくない」は30歳代(39.1%)で約4割と最も高く、年代が上がるほど低くなる傾向にある。

○禁煙意思・性別／年代別



③ 地域別

「やめたい」は利根地域（36.2%）で3割台半ばを超えて最も高く、南部地域（35.3%）で3割台半ばと高くなっている。「やめたくない」は南西部地域（44.4%）で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「やめたい」は男性40歳代（25.5%）で2割台半ばと最も高く、「やめたくない」は男性60歳代（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「やめたい」は自営業・家族従業（計）（25.6%）で2割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「やめたい」は高齢期（30.6%）で3割を超えて最も高く、「やめたくない」は独身期（42.4%）で4割強と最も高くなっている。

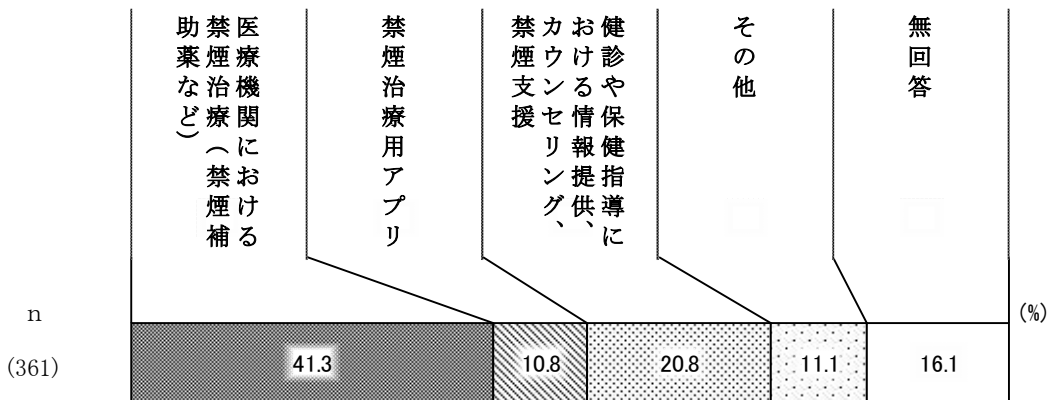
○禁煙意思・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	やめたい	本数を減らしたい	やめたくない	わからない	無回答
	n					
全体	361	20.8	38.0	30.2	10.2	0.8
地域別						
南部地域	34	35.3	38.2	23.5	2.9	-
南西部地域	36	13.9	33.3	44.4	8.3	-
東部地域	72	12.5	40.3	31.9	13.9	1.4
さいたま地域	44	15.9	40.9	29.5	11.4	2.3
県央地域	22	22.7	36.4	27.3	13.6	-
川越比企地域	33	24.2	30.3	30.3	12.1	3.0
西部地域	41	19.5	46.3	24.4	9.8	-
利根地域	47	36.2	29.8	27.7	6.4	-
北部地域	24	16.7	37.5	37.5	8.3	-
秩父地域	8	-	62.5	12.5	25.0	-
性・年代別						
男性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	17	17.6	41.2	29.4	11.8	-
【再掲】10歳代・20歳代	17	17.6	41.2	29.4	11.8	-
30歳代	33	18.2	33.3	33.3	15.2	-
40歳代	47	25.5	31.9	31.9	10.6	-
50歳代	70	17.1	38.6	34.3	10.0	-
60歳代	56	12.5	42.9	39.3	3.6	1.8
70歳以上	29	31.0	41.4	20.7	6.9	-
女性／18・19歳	-	-	-	-	-	-
20歳代	4	-	-	75.0	25.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	4	-	-	75.0	25.0	-
30歳代	13	15.4	15.4	53.8	15.4	-
40歳代	21	28.6	28.6	23.8	19.0	-
50歳代	26	30.8	42.3	19.2	7.7	-
60歳代	27	25.9	63.0	3.7	7.4	-
70歳以上	11	18.2	36.4	9.1	18.2	18.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	39	25.6	41.0	30.8	2.6	-
雇用者（計）	240	18.8	36.7	32.9	11.3	0.4
無職（計）	79	22.8	41.8	22.8	11.4	1.3
ライフステージ別						
独身期	33	12.1	33.3	42.4	12.1	-
家族形成期	20	20.0	35.0	30.0	15.0	-
家族成長前期	27	14.8	33.3	33.3	18.5	-
家族成長後期	26	34.6	23.1	26.9	15.4	-
家族成熟期	88	19.3	35.2	34.1	10.2	1.1
高齢期	36	30.6	50.0	13.9	2.8	2.8
その他	131	19.8	42.0	29.0	8.4	0.8

(1-3) 禁煙するための支援

◇「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」が41.3%

(問24で「1. 毎日吸っている」または「2. 時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。)
 問24-3 あなたが、禁煙するための支援として最も適切だと考えるものはどれですか。
 (〇は1つだけ)



禁煙するための支援として最適なものは、「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」（41.3%）で4割強と最も高く、次いで「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」（20.8%）、「禁煙治療用アプリ」（10.8%）となっている。

【属性別比較】

※下記の禁煙するための支援として最適なものの【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

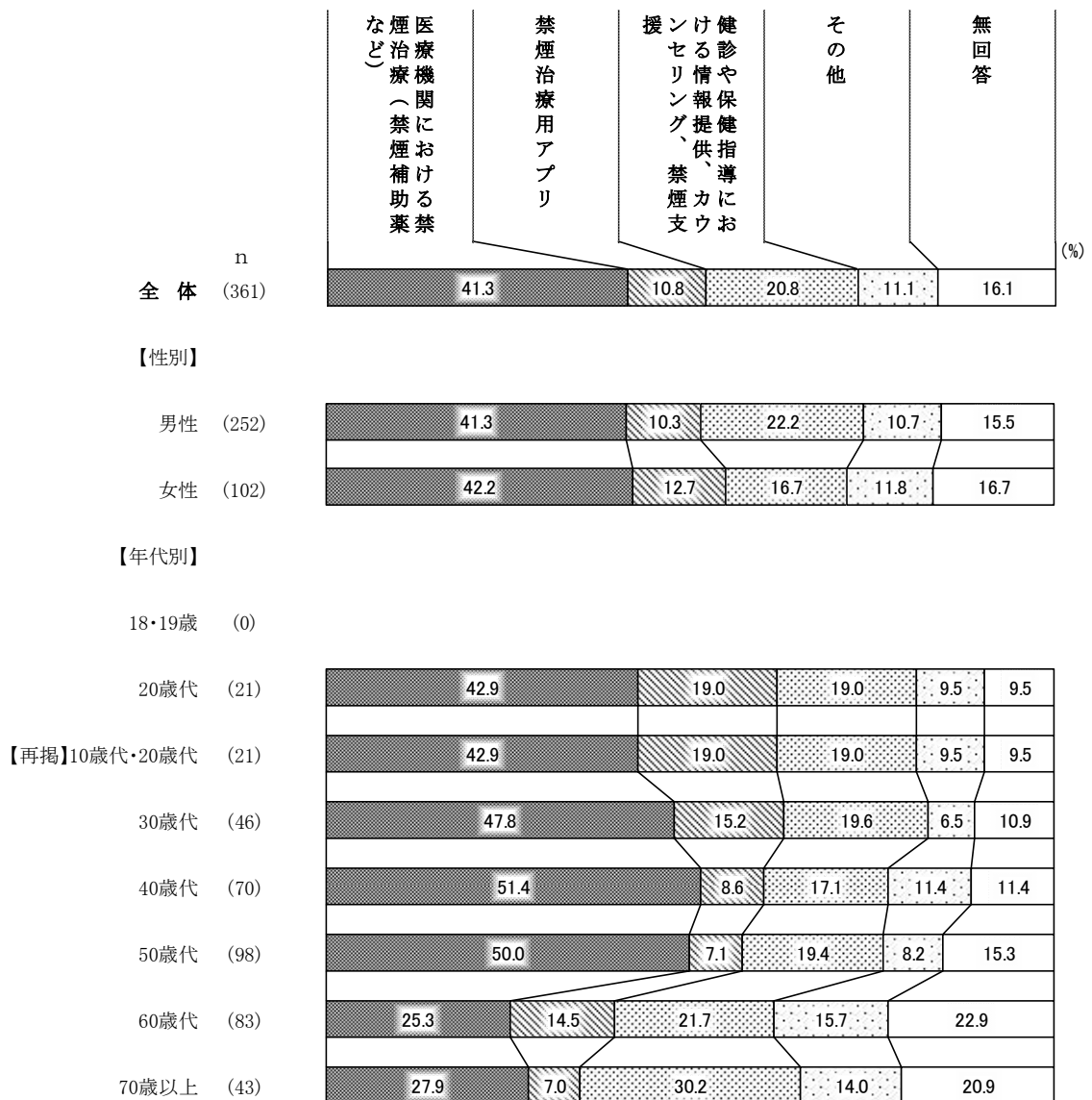
① 性別

「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は男性（22.2%）の方が女性（16.7%）よりも5.5ポイント高くなっている。

② 年代別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は40歳代（51.4%）で5割強と最も高く、60歳代（25.3%）で最も低くなっている。「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は70歳以上（30.2%）で3割を超えて最も高くなっている。

○禁煙するための支援・性別／年代別



③ 地域別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は川越比企地域（48.5%）で5割弱と最も高く、「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は南部地域（29.4%）で約3割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）」は男性の50歳代（51.4%）と40歳代（51.1%）で5割強と高くなっている。「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は男性30歳代（27.3%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「禁煙治療用アプリ」は自営業・家族従業（計）（15.4%）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援」は高齢期（33.3%）で3割強と最も高くなっている。

○禁煙するための支援・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	医療機関における禁煙補助薬など	禁煙治療用アプリ	リンク、禁煙支援	健診や保健指導における情報提供、カウンセリング	その他	無回答 (%)
全体	361	41.3	10.8	20.8	11.1	16.1	
地域別							
南部地域	34	41.2	14.7	29.4	5.9	8.8	
南西部地域	36	38.9	22.2	19.4	11.1	8.3	
東部地域	72	44.4	9.7	19.4	12.5	13.9	
さいたま地域	44	31.8	13.6	22.7	6.8	25.0	
県央地域	22	40.9	4.5	13.6	18.2	22.7	
川越比企地域	33	48.5	3.0	12.1	9.1	27.3	
西部地域	41	43.9	14.6	22.0	7.3	12.2	
利根地域	47	42.6	4.3	23.4	14.9	14.9	
北部地域	24	41.7	8.3	16.7	12.5	20.8	
秩父地域	8	25.0	12.5	37.5	25.0	-	
性・年代別							
男性／18・19歳	-	-	-	-	-	-	
20歳代	17	47.1	17.6	17.6	11.8	5.9	
【再掲】10歳代・20歳代	17	47.1	17.6	17.6	11.8	5.9	
30歳代	33	45.5	15.2	27.3	-	12.1	
40歳代	47	51.1	10.6	17.0	12.8	8.5	
50歳代	70	51.4	4.3	20.0	8.6	15.7	
60歳代	56	21.4	14.3	19.6	17.9	26.8	
70歳以上	29	31.0	6.9	37.9	10.3	13.8	
女性／18・19歳	-	-	-	-	-	-	
20歳代	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	
【再掲】10歳代・20歳代	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	
30歳代	13	53.8	15.4	-	23.1	7.7	
40歳代	21	52.4	4.8	14.3	9.5	19.0	
50歳代	26	50.0	15.4	15.4	7.7	11.5	
60歳代	27	33.3	14.8	25.9	11.1	14.8	
70歳以上	11	18.2	9.1	18.2	18.2	36.4	
職業別							
自営業・家族従業（計）	39	43.6	15.4	17.9	12.8	10.3	
雇用者（計）	240	43.8	10.0	20.8	10.8	14.6	
無職（計）	79	31.6	11.4	22.8	11.4	22.8	
ライフステージ別							
独身期	33	42.4	15.2	24.2	9.1	9.1	
家族形成期	20	55.0	15.0	15.0	5.0	10.0	
家族成長前期	27	51.9	11.1	14.8	11.1	11.1	
家族成長後期	26	57.7	11.5	15.4	7.7	7.7	
家族成熟期	88	35.2	12.5	22.7	12.5	17.0	
高齢期	36	27.8	5.6	33.3	13.9	19.4	
その他	131	41.2	9.2	18.3	11.5	19.8	

(2) 健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度

◇「健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」が45.2%

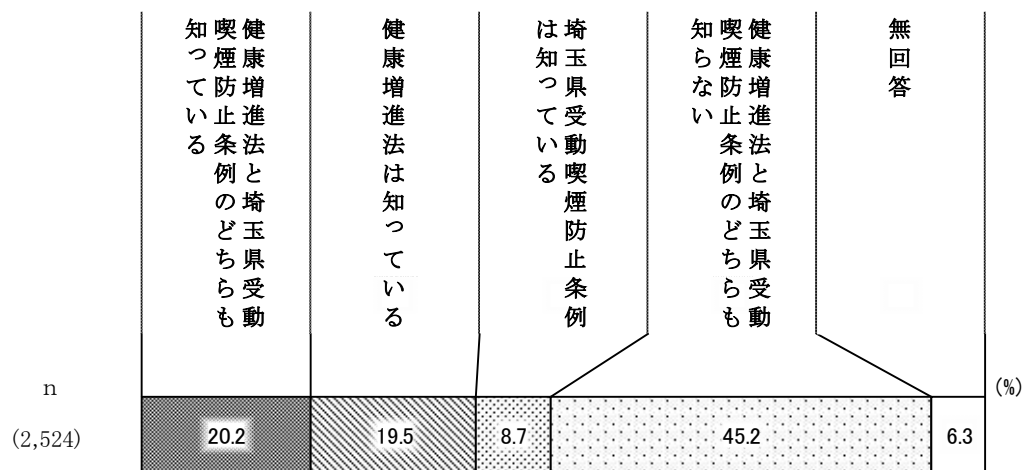
問25 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」を言います。健康増進法（※1）や埼玉県受動喫煙防止条例（※2）では、望まない受動喫煙を防ぐため屋内での喫煙を規制しています。

※1：健康増進法の主な内容：学校、病院、行政機関等の第一種施設は敷地内禁煙。飲食店、事業所、商業施設等の第二種施設は原則屋内禁煙。既存特定飲食提供施設（令和2年4月1日時点で営業し、客席面積100㎡以下かつ資本金5000万円以下の飲食店）は標識の掲示により喫煙が認められる。

※2：埼玉県受動喫煙防止条例の主な内容：既存特定飲食提供施設が喫煙可にできるのは、健康増進法に定められた要件を満たし、かつ、従業員がいない場合又は全ての従業員から書面で承諾を得た場合とする。

あなたは、健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の内容を知っていますか。

（○は1つだけ）



健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度は、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」（45.2%）が4割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」（20.2%）、「健康増進法は知っている」（19.5%）、「埼玉県受動喫煙防止条例は知っている」（8.7%）などとなっている。

【属性別比較】

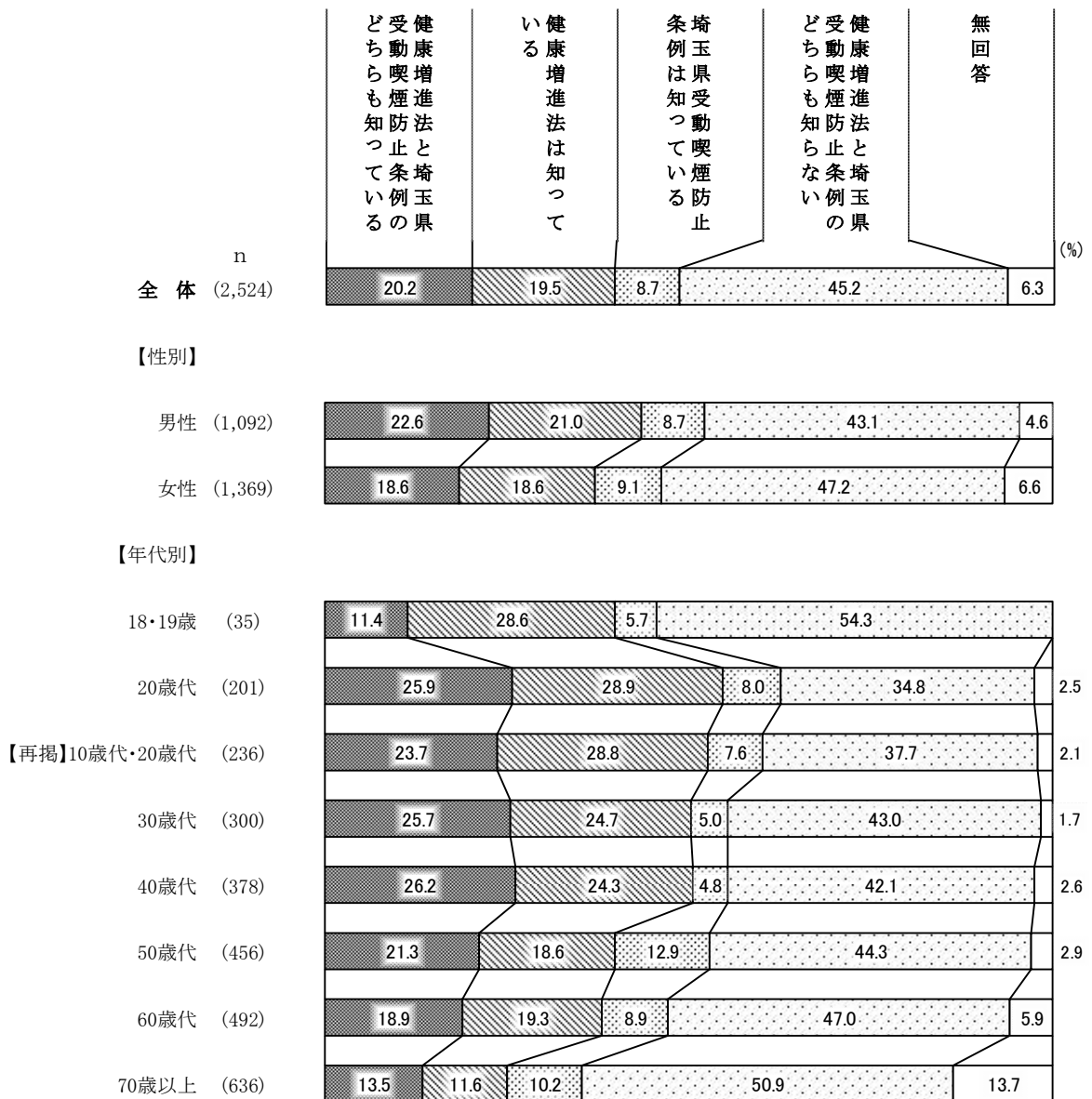
① 性別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は女性（47.2%）の方が男性（43.1%）よりも4.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は70歳以上（50.9%）で5割を超えて最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は40歳代（26.2%）で2割台半ばを超えて最も高く、30歳代（25.7%）で2割台半ばと高くなっている。

○健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度・性別／年代別



③ 地域別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は北部地域（49.1%）で約5割と最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は秩父地域（27.0%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は女性70歳以上（52.1%）で5割強と最も高く、女性10歳代・20歳代（36.6%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は無職（計）（50.9%）で5割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は高齢期（51.5%）で5割強と最も高く、「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている」は家族形成期（30.3%）で3割を超えて最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない」は非喫煙者（計）（48.7%）で5割弱と高く、それ以外のすべての項目で喫煙者（計）が高くなっている。

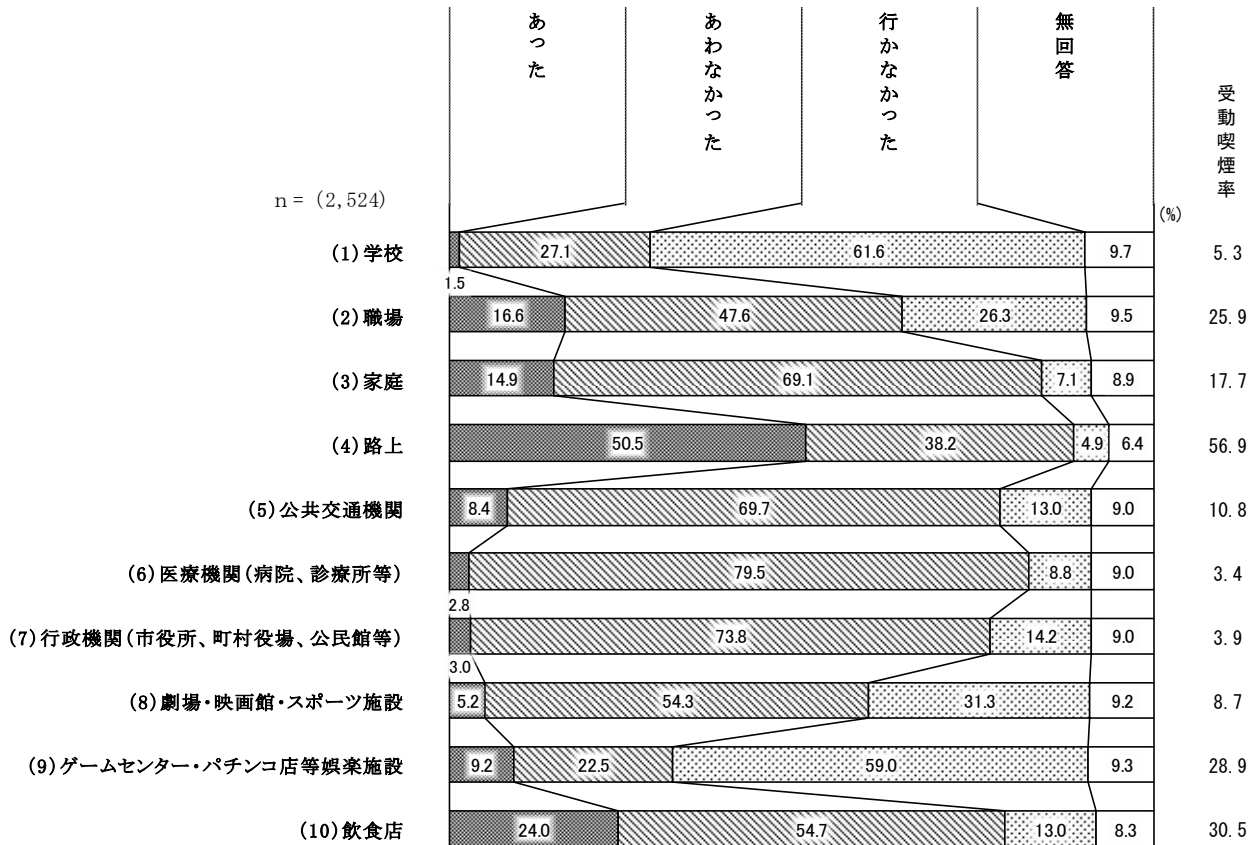
○健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	知って いる	健康 増進 法は 知っ てい る	埼玉 県受 動喫 煙防 止条 例 は知 って い る	健康 増進 法と 埼玉 県受 動喫 煙防 止条 例の どち らも 知ら ない	無 回 答
全体	2,524	20.2	19.5	8.7	45.2	6.3
地域別						
南部地域	242	19.4	19.0	9.9	45.9	5.8
南西部地域	224	23.2	22.8	9.4	40.2	4.5
東部地域	399	19.0	19.8	9.3	46.9	5.0
さいたま地域	451	22.0	20.4	7.3	43.5	6.9
県央地域	192	18.8	21.4	8.3	48.4	3.1
川越比企地域	288	25.0	17.4	9.0	43.4	5.2
西部地域	259	17.8	18.9	8.9	45.9	8.5
利根地域	244	18.0	17.2	9.4	47.5	7.8
北部地域	159	17.0	19.5	8.2	49.1	6.3
秩父地域	37	27.0	21.6	8.1	37.8	5.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	22.2	22.2	55.6	-
20歳代	86	29.1	26.7	7.0	36.0	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	26.3	26.3	8.4	37.9	1.1
30歳代	127	29.1	22.8	3.9	43.3	0.8
40歳代	158	29.7	25.9	4.4	37.3	2.5
50歳代	206	24.3	25.2	11.7	36.9	1.9
60歳代	220	21.8	18.2	8.2	45.5	6.4
70歳以上	285	14.0	14.4	11.6	50.9	9.1
女性／18・19歳	24	16.7	33.3	-	50.0	-
20歳代	107	23.4	29.9	9.3	33.6	3.7
【再掲】10歳代・20歳代	131	22.1	30.5	7.6	36.6	3.1
30歳代	172	23.3	26.2	5.8	42.4	2.3
40歳代	213	24.4	23.5	5.2	44.1	2.8
50歳代	246	19.1	13.4	13.8	50.4	3.3
60歳代	269	16.4	20.1	9.7	48.7	5.2
70歳以上	336	12.5	9.8	9.5	52.1	16.1
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	27.2	13.0	10.9	43.5	5.4
雇用者（計）	1,336	23.1	23.7	8.4	41.6	3.3
無職（計）	958	15.6	15.3	9.0	50.9	9.2
ライフステージ別						
独身期	305	21.6	28.5	7.5	41.3	1.0
家族形成期	175	30.3	22.3	3.4	40.6	3.4
家族成長前期	203	27.1	28.1	3.0	38.4	3.4
家族成長後期	164	22.6	18.9	11.0	45.1	2.4
家族成熟期	459	20.0	17.9	11.5	46.4	4.1
高齢期	586	15.0	15.2	9.0	51.5	9.2
その他	632	19.0	16.8	9.7	44.0	10.6
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	35.7	20.5	12.7	28.5	2.5
非喫煙者（計）	2,132	17.9	19.5	8.2	48.7	5.7

(3) 各施設における受動喫煙の有無

◇「あった」割合は路上が50.5%で第1位、次いで飲食店が24.0%

問26 あなたは、この1年間に、次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで受動喫煙にありましたか。(1)から(10)の「施設」での「状況」を選んでください。
(各施設それぞれ〇は1つずつ)



各施設において受動喫煙に「あった」割合は、(4) 路上(50.5%)が5割を超えて最も高く、次いで(10) 飲食店(24.0%)、(2) 職場(16.6%)、(3) 家庭(14.9%)の順となっている。一方で、「あわなかった」割合は、(6) 医療機関(病院、診療所等)(79.5%)が約8割と最も高く、(7) 行政機関(市役所、町村役場、公民館等)(73.8%)、(5) 公共交通機関(69.7%)、(3) 家庭(69.1%)が7割前後で続いている。

『受動喫煙率』(受動喫煙に「あった」を、「あった」と「あわなかった」の合計で除したもの)で見ると、(4) 路上(56.9%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで(10) 飲食店(30.5%)、(9) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設(28.9%)、(2) 職場(25.9%)、(3) 家庭(17.7%)が続いている。

(1) 学校

施設には「行かなかった」が61.6%と最も高くなっているが、受動喫煙に「あった」割合は1.5%、『受動喫煙率』は5.3%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、『受動喫煙率』は3.0ポイント減少している。

【属性別比較】

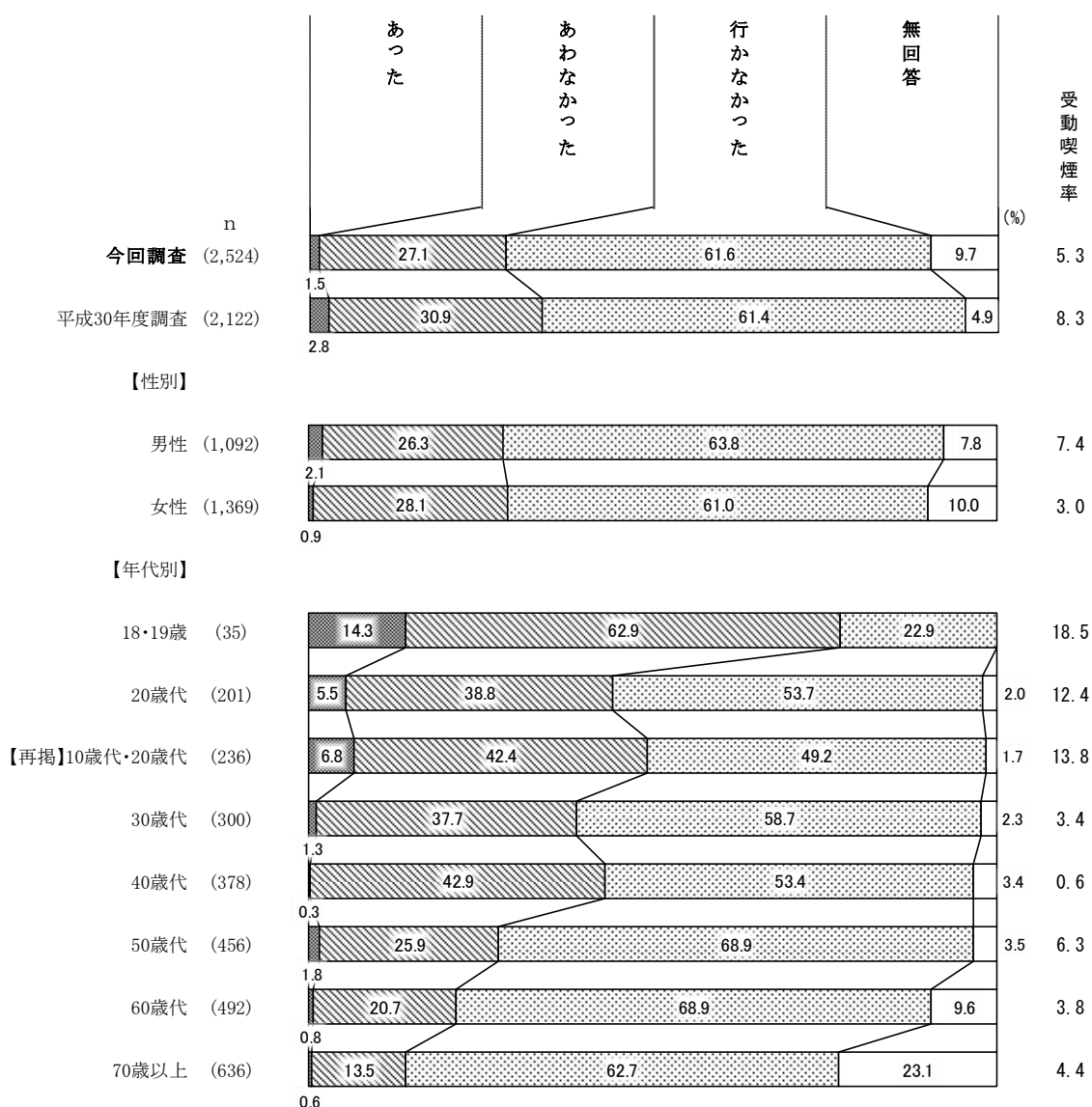
① 性別

『受動喫煙率』は男性(7.4%)の方が女性(3.0%)よりも4.4ポイント高くなっている。

② 年代別

『受動喫煙率』は10歳代・20歳代(13.8%)で1割強と最も高く、それ以外の年代では1割未満となっている。

○ 「(1) 学校」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は川越比企地域（10.0%）で1割と最も高く、それ以外の地域では1割未満となっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性10歳代・20歳代（21.3%）で2割強と最も高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は無職（計）（8.6%）と自営業・家族従業（計）（7.4%）が雇用者（計）（2.6%）と比べ高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（12.5%）で1割強と最も高く、それ以外のライフステージでは1割未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別では、大きな差はみられない。

○ 「(1) 学校」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全体	2,524	1.5	27.1	61.6	9.7	5.3
地域別						
南部地域	242	1.2	27.7	63.2	7.9	4.3
南西部地域	224	2.2	32.6	60.3	4.9	6.4
東部地域	399	1.5	25.3	63.2	10.0	5.6
さいたま地域	451	0.4	29.9	61.6	8.0	1.5
県央地域	192	2.6	28.1	62.0	7.3	8.5
川越比企地域	288	2.8	25.0	61.5	10.8	10.0
西部地域	259	0.4	25.9	61.4	12.4	1.5
利根地域	244	0.4	23.4	63.5	12.7	1.7
北部地域	159	2.5	28.9	60.4	8.2	8.0
秩父地域	37	-	24.3	67.6	8.1	-
性・年代別						
男性／18・19歳	9	11.1	66.7	22.2	-	14.3
20歳代	86	10.5	36.0	51.2	2.3	22.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	10.5	38.9	48.4	2.1	21.3
30歳代	127	2.4	34.6	59.1	3.9	6.4
40歳代	158	0.6	34.8	61.4	3.2	1.8
50歳代	206	2.4	24.3	72.3	1.0	9.1
60歳代	220	1.4	22.7	68.2	7.7	5.7
70歳以上	285	0.4	17.9	62.8	18.9	3.8
女性／18・19歳	24	12.5	62.5	25.0	-	16.7
20歳代	107	1.9	41.1	55.1	1.9	4.3
【再掲】10歳代・20歳代	131	3.8	45.0	49.6	1.5	7.8
30歳代	172	0.6	40.1	58.1	1.2	1.4
40歳代	213	-	49.3	46.9	3.8	-
50歳代	246	0.8	27.2	66.7	5.3	2.9
60歳代	269	0.4	19.3	69.9	10.4	1.9
70歳以上	336	0.9	9.8	64.3	25.0	8.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	2.2	27.2	60.3	10.3	7.4
雇用者（計）	1,336	0.8	30.3	63.5	5.4	2.6
無職（計）	958	2.2	23.3	60.6	13.9	8.6
ライフステージ別						
独身期	305	5.2	36.7	56.4	1.6	12.5
家族形成期	175	0.6	29.7	66.9	2.9	1.9
家族成長前期	203	1.0	67.5	29.1	2.5	1.4
家族成長後期	164	2.4	51.2	40.2	6.1	4.5
家族成熟期	459	0.7	22.4	70.4	6.5	2.8
高齢期	586	0.3	16.6	68.1	15.0	2.0
その他	632	1.6	15.7	66.5	16.3	9.2
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	1.7	28.3	65.9	4.2	5.6
非喫煙者（計）	2,132	1.5	27.3	61.8	9.4	5.2

(2) 職場

受動喫煙に「あった」割合は 16.6%、『受動喫煙率』は 25.9%となっている。

【過去調査との比較】

平成 30 年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は 8.6 ポイント、『受動喫煙率』は 9.8 ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（21.1%）の方が女性（13.2%）よりも 7.9 ポイント高くなっている。

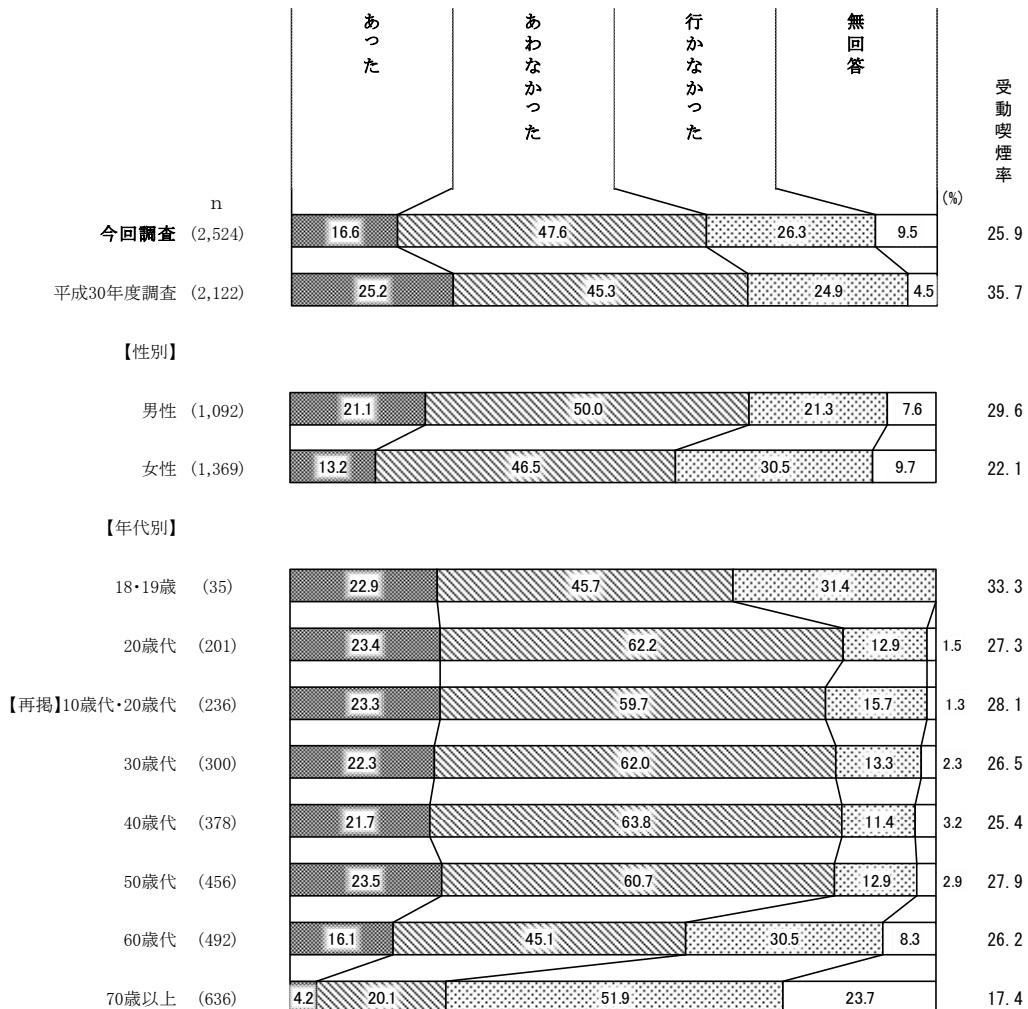
『受動喫煙率』は男性（29.6%）の方が女性（22.1%）よりも 7.5 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 10 歳代・20 歳代（23.3%）から 50 歳代（23.5%）までで 2 割強と高く、70 歳以上（4.2%）で低くなっている。

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（28.1%）と 50 歳代（27.9%）で 2 割台後半と高くなっている。

○ 「(2) 職場」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は秩父地域（35.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性 10 歳代・20 歳代（34.9%）で3割台半ばと最も高く、男性では年代が上がるほど低くなる傾向にある。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は自営業・家族従業（計）（30.1%）が3割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はその他（30.0%）で3割と最も高く、高齢期（16.1%）で最も低くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（42.1%）の方が非喫煙者（計）（22.3%）よりも 19.8 ポイント高くなっている。

○ 「(2) 職場」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全体	2,524	16.6	47.6	26.3	9.5	25.9
地域別						
南部地域	242	18.6	52.5	21.5	7.4	26.2
南西部地域	224	15.2	53.1	26.8	4.9	22.2
東部地域	399	16.5	44.6	28.6	10.3	27.0
さいたま地域	451	15.1	49.4	27.7	7.8	23.4
県央地域	192	18.8	47.4	26.0	7.8	28.3
川越比企地域	288	16.7	49.7	24.0	9.7	25.1
西部地域	259	17.4	42.1	29.3	11.2	29.2
利根地域	244	16.4	43.0	28.7	11.9	27.6
北部地域	159	15.1	52.2	23.9	8.8	22.4
秩父地域	37	27.0	48.6	16.2	8.1	35.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	55.6	22.2	-	28.6
20歳代	86	31.4	57.0	9.3	2.3	35.5
【再掲】10歳代・20歳代	95	30.5	56.8	10.5	2.1	34.9
30歳代	127	29.1	59.1	7.9	3.9	33.0
40歳代	158	27.2	63.3	6.3	3.2	30.1
50歳代	206	28.6	62.6	7.3	1.5	31.4
60歳代	220	21.4	50.0	22.7	5.9	29.9
70歳以上	285	5.3	27.0	48.4	19.3	16.3
女性／18・19歳	24	25.0	41.7	33.3	-	37.5
20歳代	107	18.7	66.4	14.0	0.9	22.0
【再掲】10歳代・20歳代	131	19.8	61.8	17.6	0.8	24.3
30歳代	172	16.9	64.5	17.4	1.2	20.7
40歳代	213	16.9	65.3	14.6	3.3	20.6
50歳代	246	18.7	59.8	17.9	3.7	23.8
60歳代	269	11.9	41.6	36.8	9.7	22.2
70歳以上	336	3.3	14.0	56.5	26.2	19.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	21.7	50.5	18.5	9.2	30.1
雇用者（計）	1,336	25.3	66.5	4.0	4.2	27.5
無職（計）	958	4.1	21.6	59.3	15.0	15.9
ライフステージ別						
独身期	305	24.6	61.6	12.8	1.0	28.5
家族形成期	175	16.6	62.9	17.7	2.9	20.9
家族成長前期	203	21.7	64.0	11.8	2.5	25.3
家族成長後期	164	24.4	64.6	6.1	4.9	27.4
家族成熟期	459	18.5	49.2	25.5	6.8	27.3
高齢期	586	5.8	30.2	48.6	15.4	16.1
その他	632	17.9	41.8	25.0	15.3	30.0
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	33.8	46.5	15.2	4.4	42.1
非喫煙者（計）	2,132	13.9	48.5	28.6	9.1	22.3

(3) 家庭

受動喫煙に「あった」割合は 14.9%、『受動喫煙率』は 17.7%となっている。

【過去調査との比較】

平成 30 年度調査と比べて、「あわなかった」は 6.0 ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は女性（18.0%）の方が男性（11.2%）より 6.8 ポイント高くなっている。

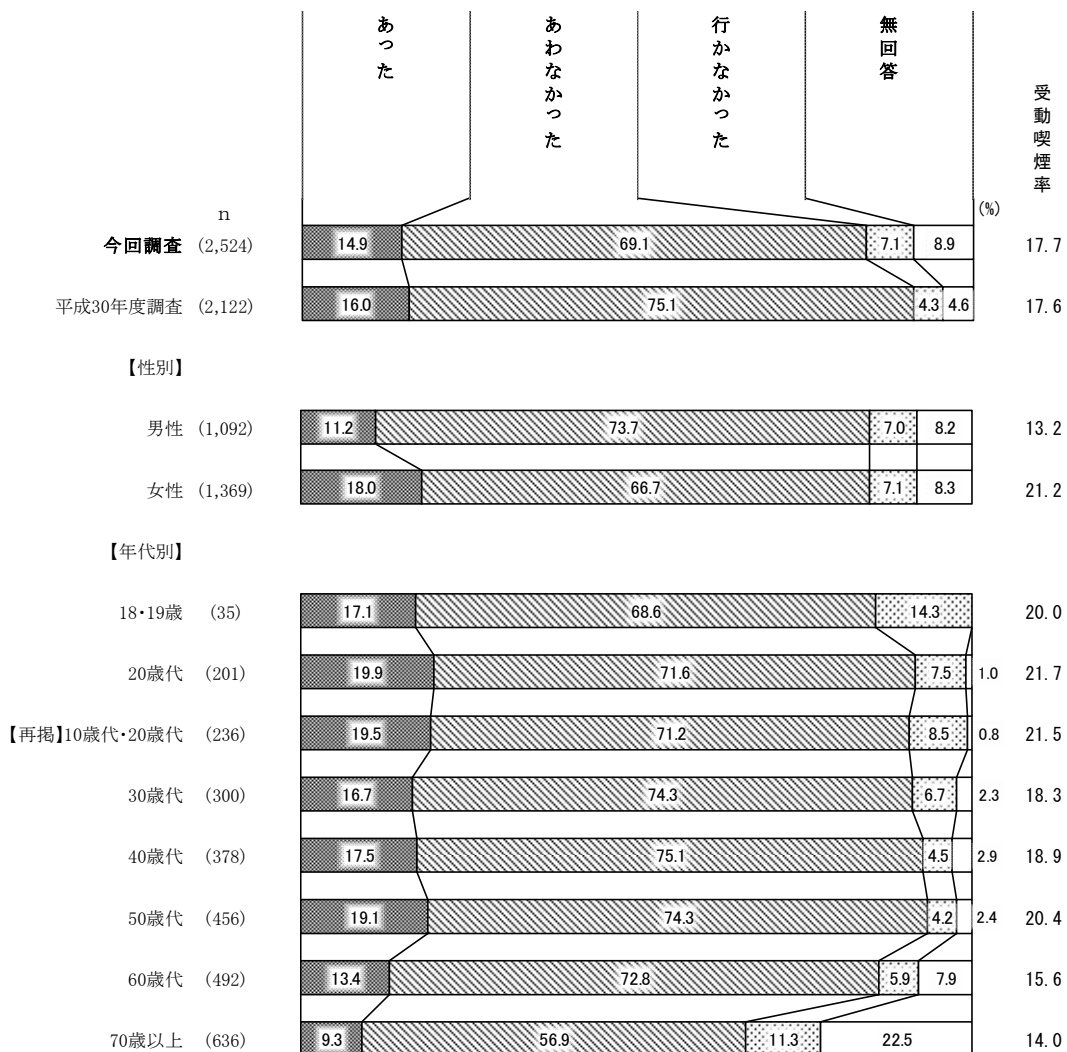
『受動喫煙率』は女性（21.2%）の方が男性（13.2%）よりも 8.0 ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は 10 歳代・20 歳代（19.5%）と 50 歳代（19.1%）で約 2 割と高くなっている。

『受動喫煙率』は 10 歳代・20 歳代（21.5%）で 2 割強と最も高く、50 歳代（20.4%）でも高くなっている。

○ 「(3) 家庭」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は東部地域（24.1%）で2割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性30歳代（25.8%）で最も高く、男性ではすべての年代で2割未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は自営業・家族従業（計）（20.6%）で2割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族成長後期（23.7%）と独身期（22.9%）で2割強と高く、家族形成期（11.9%）で最も低くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（35.0%）の方が非喫煙者（計）（14.5%）よりも20.5ポイント高くなっている。

○ 「(3) 家庭」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	受動喫煙率 (%)
全体	2,524	14.9	69.1	7.1	8.9	17.7
地域別						
南部地域	242	16.9	70.7	5.4	7.0	19.3
南西部地域	224	14.7	74.6	6.3	4.5	16.5
東部地域	399	19.5	61.7	9.8	9.0	24.1
さいたま地域	451	12.2	74.9	4.7	8.2	14.0
県央地域	192	11.5	72.9	7.3	8.3	13.6
川越比企地域	288	14.6	68.8	7.6	9.0	17.5
西部地域	259	12.0	69.5	7.3	11.2	14.7
利根地域	244	14.8	65.6	9.0	10.7	18.4
北部地域	159	17.6	69.2	6.9	6.3	20.3
秩父地域	37	16.2	70.3	5.4	8.1	18.8
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	77.8	22.2	-	-
20歳代	86	16.3	75.6	7.0	1.2	17.7
【再掲】10歳代・20歳代	95	14.7	75.8	8.4	1.1	16.3
30歳代	127	7.1	82.7	5.5	4.7	7.9
40歳代	158	11.4	80.4	5.7	2.5	12.4
50歳代	206	16.0	78.6	3.4	1.9	16.9
60歳代	220	11.8	73.6	6.4	8.2	13.8
70歳以上	285	7.7	61.8	10.9	19.6	11.1
女性／18・19歳	24	20.8	66.7	12.5	-	23.8
20歳代	107	23.4	70.1	5.6	0.9	25.0
【再掲】10歳代・20歳代	131	22.9	69.5	6.9	0.8	24.8
30歳代	172	23.8	68.6	7.0	0.6	25.8
40歳代	213	22.1	70.9	3.8	3.3	23.7
50歳代	246	21.5	71.1	4.9	2.4	23.2
60歳代	269	14.5	72.5	5.6	7.4	16.7
70歳以上	336	10.7	54.2	11.9	23.2	16.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	17.4	66.8	6.0	9.8	20.6
雇用者（計）	1,336	17.1	73.5	5.0	4.4	18.8
無職（計）	958	11.9	64.7	10.3	13.0	15.5
ライフステージ別						
独身期	305	20.7	69.5	8.5	1.3	22.9
家族形成期	175	10.9	80.0	6.9	2.3	11.9
家族成長前期	203	14.3	79.8	3.9	2.0	15.2
家族成長後期	164	22.0	70.7	2.4	4.9	23.7
家族成熟期	459	16.6	70.4	6.8	6.3	19.0
高齢期	586	9.9	66.9	9.0	14.2	12.9
その他	632	14.9	63.3	7.1	14.7	19.0
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	31.6	58.7	4.2	5.5	35.0
非喫煙者（計）	2,132	12.2	71.9	7.7	8.2	14.5

(4) 路上

受動喫煙に「あった」割合は50.5%、『受動喫煙率』は56.9%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は5.2ポイント、『受動喫煙率』は2.1ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

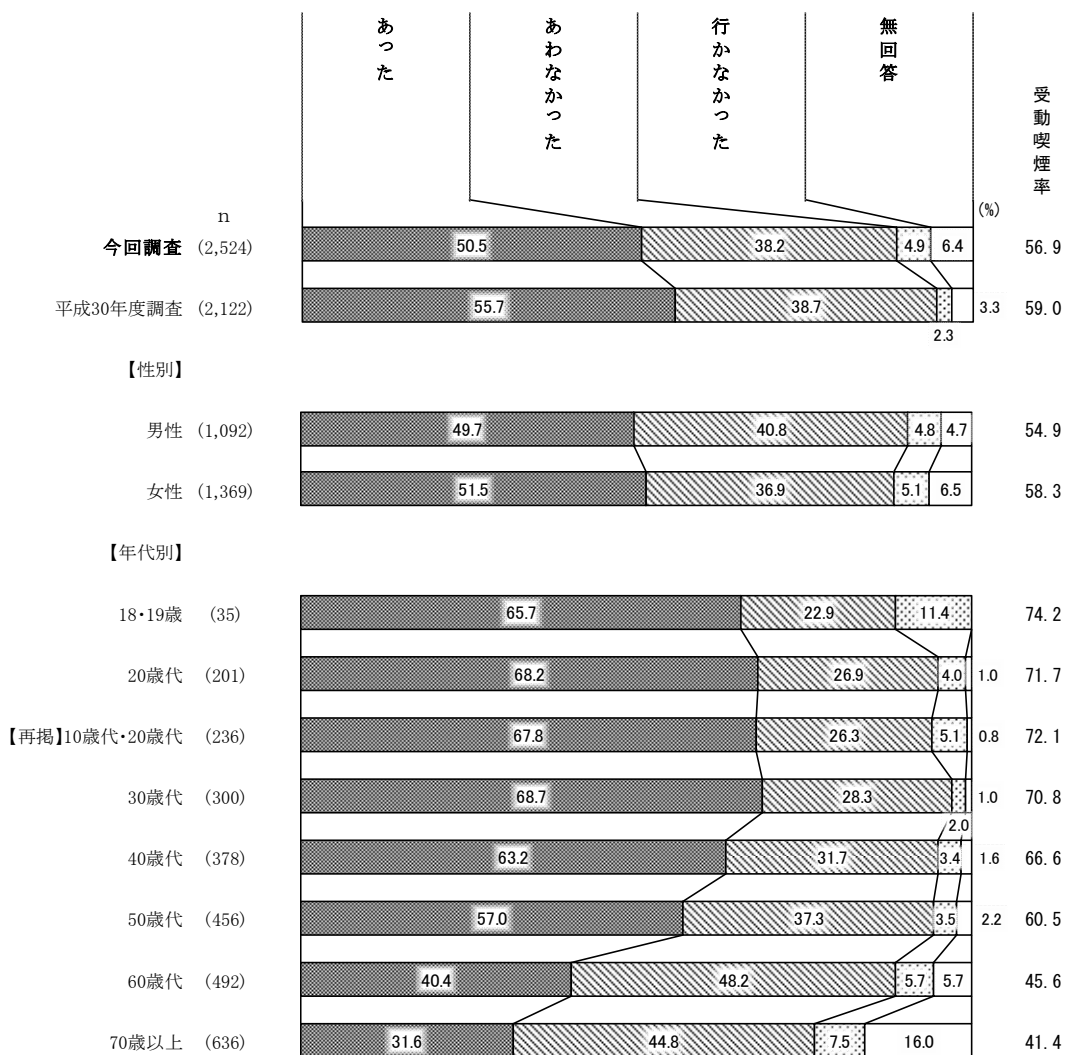
『受動喫煙率』は女性（58.3%）の方が男性（54.9%）よりも3.4ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は30歳代（68.7%）と10歳代・20歳代（67.8%）で6割台半ばを超えて高くなっている。

『受動喫煙率』は10歳代・20歳代（72.1%）で7割強と最も高く、年代が上がるほど低くなっている。

○ 「(4) 路上」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は南部地域（68.8%）と南西部地域（65.9%）で他の地域と比べやや高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性 10 歳代・20 歳代（76.4%）で7割台半ばを超えて最も高く、女性 30 歳代（75.6%）で7割台半ばと高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（62.2%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（72.9%）から家族成長前期（70.9%）までで高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は非喫煙者（計）（58.3%）の方が喫煙者（計）（48.5%）よりも9.8ポイント高くなっている。

○ 「(4) 路上」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	受動喫煙率 (%)
全体	2,524	50.5	38.2	4.9	6.4	56.9
地域別						
南部地域	242	63.6	28.9	2.5	5.0	68.8
南西部地域	224	60.3	31.3	5.4	3.1	65.9
東部地域	399	53.9	33.6	6.5	6.0	61.6
さいたま地域	451	54.3	37.7	2.9	5.1	59.0
県央地域	192	54.7	37.5	3.6	4.2	59.3
川越比企地域	288	46.5	42.4	4.5	6.6	52.3
西部地域	259	46.3	39.8	6.6	7.3	53.8
利根地域	244	36.1	46.3	7.0	10.7	43.8
北部地域	159	35.8	50.9	6.9	6.3	41.3
秩父地域	37	27.0	67.6	2.7	2.7	28.6
性・年代別						
男性／18・19歳	9	77.8	11.1	11.1	-	87.5
20歳代	86	61.6	33.7	3.5	1.2	64.6
【再掲】10歳代・20歳代	95	63.2	31.6	4.2	1.1	66.7
30歳代	127	61.4	34.6	1.6	2.4	63.9
40歳代	158	60.1	33.5	5.1	1.3	64.2
50歳代	206	57.3	37.4	3.9	1.5	60.5
60歳代	220	41.4	49.1	5.9	3.6	45.7
70歳以上	285	35.4	46.7	6.0	11.9	43.2
女性／18・19歳	24	58.3	29.2	12.5	-	66.7
20歳代	107	74.8	20.6	3.7	0.9	78.4
【再掲】10歳代・20歳代	131	71.8	22.1	5.3	0.8	76.4
30歳代	172	73.8	23.8	2.3	-	75.6
40歳代	213	64.8	31.0	2.3	1.9	67.6
50歳代	246	56.5	37.8	3.3	2.4	59.9
60歳代	269	40.1	47.6	5.6	6.7	45.8
70歳以上	336	29.2	44.0	8.9	17.9	39.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	45.7	43.5	4.3	6.5	51.2
雇用者（計）	1,336	58.2	35.4	3.4	3.1	62.2
無職（計）	958	41.8	41.5	7.4	9.3	50.1
ライフステージ別						
独身期	305	68.9	25.6	4.9	0.7	72.9
家族形成期	175	68.0	29.1	1.1	1.7	70.0
家族成長前期	203	68.5	28.1	2.5	1.0	70.9
家族成長後期	164	56.1	37.2	3.7	3.0	60.1
家族成熟期	459	44.4	46.8	4.8	3.9	48.7
高齢期	586	35.3	48.5	6.8	9.4	42.2
その他	632	47.9	34.7	5.4	12.0	58.0
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	43.5	46.3	5.8	4.4	48.5
非喫煙者（計）	2,132	52.3	37.4	4.8	5.4	58.3

(5) 公共交通機関

受動喫煙に「あった」割合は8.4%、『受動喫煙率』は10.8%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あわなかった」は7.8ポイント、『受動喫煙率』は2.1ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

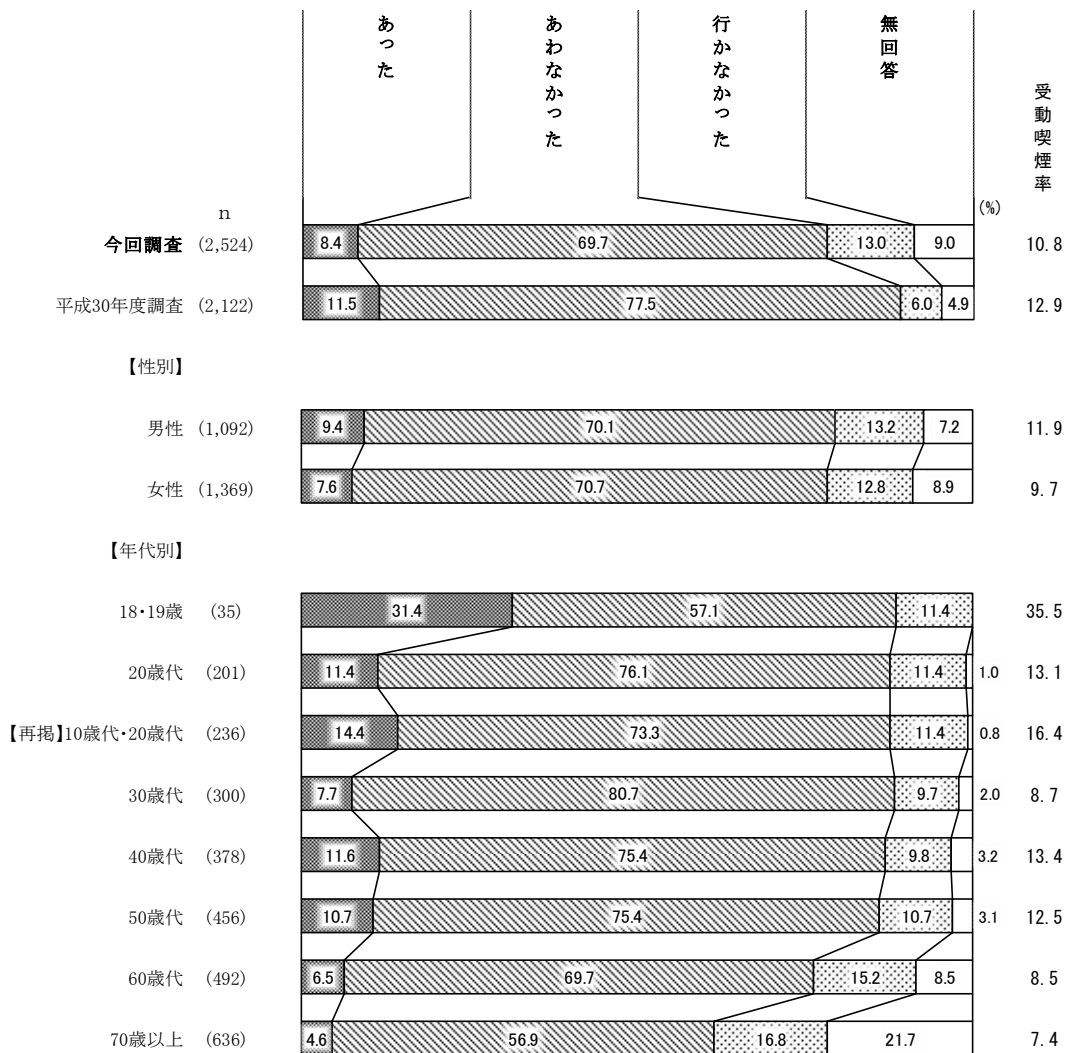
『受動喫煙率』は男性（11.9%）の方が女性（9.7%）よりも2.2ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は10歳代・20歳代（14.4%）で1割台半ばと最も高くなっている。

『受動喫煙率』は10歳代・20歳代（16.4%）で1割台半ばを超えて最も高く、40歳代（13.4%）と50歳代（12.5%）でも1割強と高くなっている。

○ 「(5) 公共交通機関」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

受動喫煙に「あった」は県央地域（10.4%）で1割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男女ともに10歳代・20歳代（男性18.1%、女性14.5%）で高く、男性40歳代（15.2%）でも高くなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（11.7%）で1割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は家族成長前期（15.4%）と独身期（14.7%）とその他（14.0%）で1割台半ばと高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は非喫煙者（計）（11.2%）の方が喫煙者（計）（8.2%）よりも3.0ポイント高くなっている。

○ 「(5) 公共交通機関」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	受動喫煙率 (%)
全体	2,524	8.4	69.7	13.0	9.0	10.8
地域別						
南部地域	242	8.7	76.9	7.9	6.6	10.1
南西部地域	224	8.0	76.8	10.3	4.9	9.5
東部地域	399	9.8	68.7	12.5	9.0	12.5
さいたま地域	451	8.2	75.8	8.6	7.3	9.8
県央地域	192	10.4	68.2	13.0	8.3	13.2
川越比企地域	288	8.7	68.4	13.9	9.0	11.3
西部地域	259	9.7	64.5	15.4	10.4	13.0
利根地域	244	6.1	63.9	17.6	12.3	8.8
北部地域	159	5.7	64.8	22.0	7.5	8.0
秩父地域	37	8.1	56.8	27.0	8.1	12.5
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	44.4	11.1	-	50.0
20歳代	86	12.8	74.4	11.6	1.2	14.7
【再掲】10歳代・20歳代	95	15.8	71.6	11.6	1.1	18.1
30歳代	127	5.5	83.5	7.9	3.1	6.2
40歳代	158	12.7	70.9	13.3	3.2	15.2
50歳代	206	12.1	75.2	11.2	1.5	13.9
60歳代	220	7.7	71.4	15.0	5.9	9.8
70歳以上	285	6.7	58.6	16.1	18.6	10.2
女性／18・19歳	24	20.8	66.7	12.5	-	23.8
20歳代	107	11.2	78.5	9.3	0.9	12.5
【再掲】10歳代・20歳代	131	13.0	76.3	9.9	0.8	14.5
30歳代	172	9.3	78.5	11.0	1.2	10.6
40歳代	213	9.9	79.8	7.0	3.3	11.0
50歳代	246	9.8	75.6	10.6	4.1	11.4
60歳代	269	5.6	69.1	15.2	10.0	7.5
70歳以上	336	3.0	56.8	17.9	22.3	5.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	5.4	67.4	16.8	10.3	7.5
雇用者（計）	1,336	10.1	76.1	9.2	4.6	11.7
無職（計）	958	6.9	62.5	17.5	13.0	9.9
ライフステージ別						
独身期	305	13.1	76.4	9.8	0.7	14.7
家族形成期	175	5.1	84.0	8.0	2.9	5.8
家族成長前期	203	13.3	72.9	11.3	2.5	15.4
家族成長後期	164	7.9	79.3	7.9	4.9	9.1
家族成熟期	459	8.1	71.7	13.7	6.5	10.1
高齢期	586	3.9	64.7	17.2	14.2	5.7
その他	632	10.1	62.0	13.1	14.7	14.0
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	6.4	71.5	18.0	4.2	8.2
非喫煙者（計）	2,132	8.9	70.3	12.3	8.5	11.2

(6) 医療機関（病院、診療所等）

受動喫煙に「あった」割合は2.8%、『受動喫煙率』は3.4%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あわなかった」は4.9ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

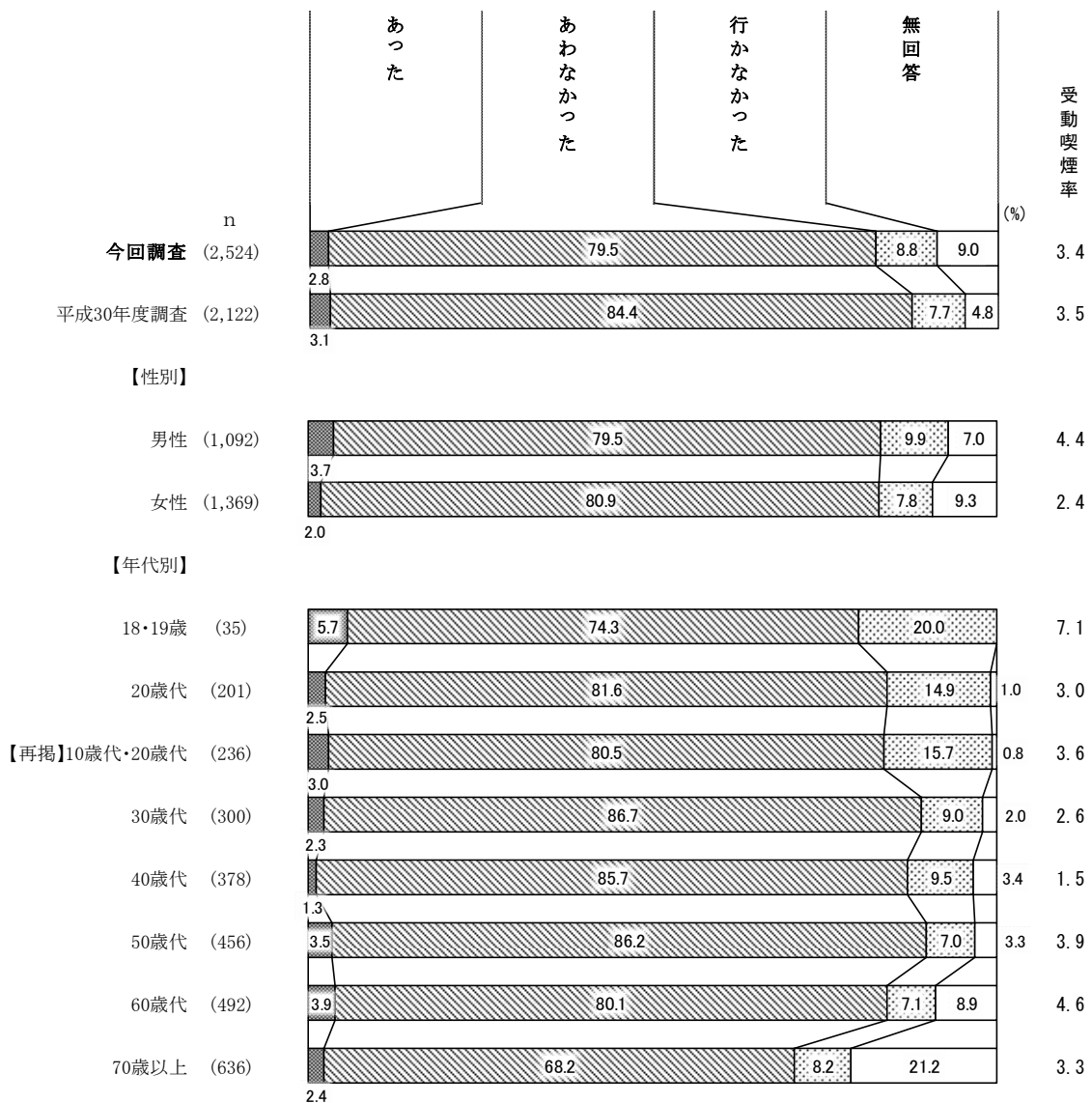
受動喫煙に「あった」は男性（3.7%）の方が女性（2.0%）より1.7ポイント高くなっている。

『受動喫煙率』は男性（4.4%）、女性（2.4%）ともに5%未満となっている。

② 年代別

受動喫煙に「あわなかった」は70歳以上（68.2%）で最も低く、それ以外の年代で8割以上となっており、『受動喫煙率』はすべての年代で5%未満となっている。

○「(6) 医療機関（病院、診療所等）」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』はすべての地域で1割未満となっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』はすべての性・年代で1割未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』はすべての職業で5%未満となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はすべてのライフステージで5%未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（5.2%）の方が非喫煙者（計）（3.1%）よりも2.1ポイント高くなっている。

○「(6) 医療機関（病院、診療所等）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全体	2,524	2.8	79.5	8.8	9.0	3.4
地域別						
南部地域	242	3.3	84.3	5.8	6.6	3.8
南西部地域	224	1.8	85.7	7.1	5.4	2.0
東部地域	399	4.0	75.7	10.5	9.8	5.0
さいたま地域	451	1.3	83.1	7.5	8.0	1.6
県央地域	192	4.2	79.7	8.9	7.3	5.0
川越比企地域	288	2.1	81.9	6.6	9.4	2.5
西部地域	259	1.9	76.8	10.4	10.8	2.5
利根地域	244	5.3	73.0	11.1	10.7	6.8
北部地域	159	1.3	79.2	12.6	6.9	1.6
秩父地域	37	-	83.8	8.1	8.1	-
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	77.8	22.2	-	-
20歳代	86	4.7	79.1	15.1	1.2	5.6
【再掲】10歳代・20歳代	95	4.2	78.9	15.8	1.1	5.1
30歳代	127	1.6	84.3	11.0	3.1	1.8
40歳代	158	2.5	81.6	12.7	3.2	3.0
50歳代	206	4.4	85.9	8.3	1.5	4.8
60歳代	220	5.0	80.0	8.6	6.4	5.9
70歳以上	285	3.5	71.2	8.1	17.2	4.7
女性／18・19歳	24	4.2	75.0	20.8	-	5.3
20歳代	107	0.9	85.0	13.1	0.9	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	1.5	83.2	14.5	0.8	1.8
30歳代	172	2.9	88.4	7.6	1.2	3.2
40歳代	213	-	89.2	7.0	3.8	-
50歳代	246	2.8	86.6	6.1	4.5	3.2
60歳代	269	3.0	80.7	5.9	10.4	3.6
70歳以上	336	1.5	67.3	8.3	22.9	2.2
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	2.2	78.3	9.2	10.3	2.7
雇用者（計）	1,336	2.7	84.2	8.2	4.9	3.1
無職（計）	958	2.9	74.7	9.8	12.5	3.8
ライフステージ別						
独身期	305	2.3	82.0	15.1	0.7	2.7
家族形成期	175	1.1	88.0	8.0	2.9	1.3
家族成長前期	203	3.4	89.2	4.9	2.5	3.7
家族成長後期	164	3.7	84.1	6.7	5.5	4.2
家族成熟期	459	3.3	81.7	8.5	6.5	3.8
高齢期	586	1.5	76.3	7.5	14.7	2.0
その他	632	3.8	72.9	9.0	14.2	4.9
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	4.2	76.5	15.5	3.9	5.2
非喫煙者（計）	2,132	2.6	81.1	7.7	8.6	3.1

(7) 行政機関（市役所、町村役場、公民館等）

受動喫煙に「あった」割合は3.0%、『受動喫煙率』は3.9%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あわなかった」は4.1ポイント、『受動喫煙率』は2.4ポイント減少している。

【属性別比較】

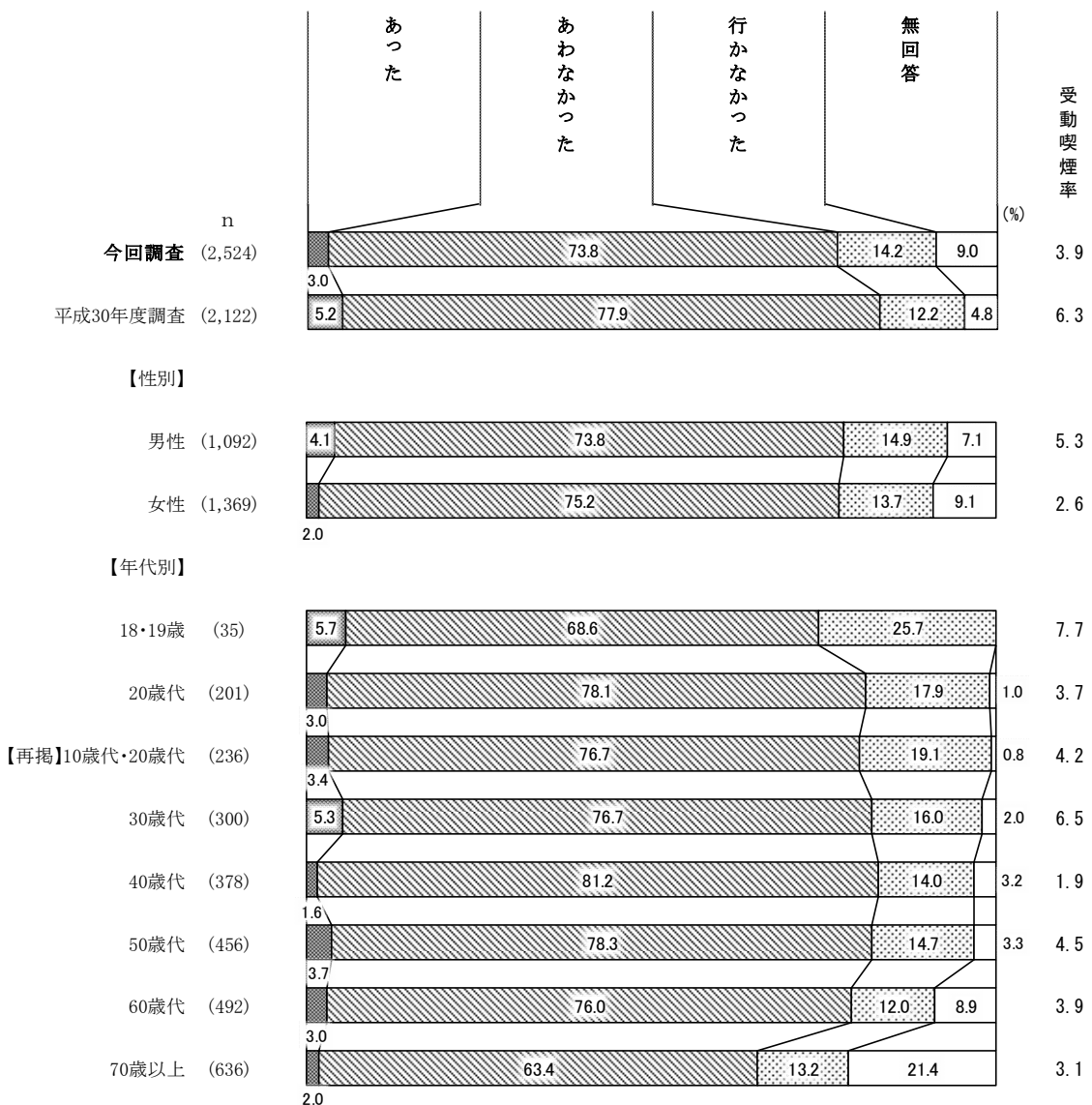
① 性別

『受動喫煙率』は男性（5.3%）の方が女性（2.6%）よりも2.7ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」はすべての年代で1割未満となっており、『受動喫煙率』もすべての年代で1割未満となっている。

○ 「(7) 行政機関（市役所、町村役場、公民館等）」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』はすべての地域で1割未満となっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』はすべての性・年代で1割未満となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』はすべての職業で5%未満となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』はすべてのライフステージで1割未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（5.5%）の方が非喫煙者（計）（3.7%）よりも1.8ポイント高くなっている。

○「(7) 行政機関（市役所、町村役場、公民館等）」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全 体	2,524	3.0	73.8	14.2	9.0	3.9
地域別						
南部地域	242	2.1	78.9	12.4	6.6	2.6
南西部地域	224	2.7	79.0	13.4	4.9	3.3
東部地域	399	3.5	70.2	16.5	9.8	4.8
さいたま地域	451	2.9	77.2	12.4	7.5	3.6
県央地域	192	4.2	73.4	15.1	7.3	5.4
川越比企地域	288	3.5	75.7	11.8	9.0	4.4
西部地域	259	3.1	71.0	15.1	10.8	4.2
利根地域	244	3.7	67.6	16.8	11.9	5.2
北部地域	159	0.6	77.4	15.1	6.9	0.8
秩父地域	37	2.7	70.3	18.9	8.1	3.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	-	66.7	33.3	-	-
20歳代	86	5.8	76.7	16.3	1.2	7.0
【再掲】10歳代・20歳代	95	5.3	75.8	17.9	1.1	6.5
30歳代	127	7.1	72.4	17.3	3.1	8.9
40歳代	158	1.3	81.0	14.6	3.2	1.5
50歳代	206	4.9	78.2	15.5	1.5	5.8
60歳代	220	5.0	76.8	11.8	6.4	6.1
70歳以上	285	2.8	64.2	15.1	17.9	4.2
女性／18・19歳	24	4.2	70.8	25.0	-	5.6
20歳代	107	0.9	80.4	17.8	0.9	1.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	1.5	78.6	19.1	0.8	1.9
30歳代	172	4.1	79.7	15.1	1.2	4.9
40歳代	213	1.4	81.7	13.6	3.3	1.7
50歳代	246	2.8	78.9	13.8	4.5	3.5
60歳代	269	1.5	76.2	11.9	10.4	1.9
70歳以上	336	1.5	64.0	11.9	22.6	2.3
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	3.3	75.5	10.9	10.3	4.1
雇用者（計）	1,336	3.2	77.8	14.1	4.8	4.0
無職（計）	958	2.6	69.3	15.3	12.7	3.6
ライフステージ別						
独身期	305	4.3	73.4	21.6	0.7	5.5
家族形成期	175	2.9	82.9	11.4	2.9	3.3
家族成長前期	203	5.4	83.3	8.9	2.5	6.1
家族成長後期	164	4.3	79.3	11.6	4.9	5.1
家族成熟期	459	3.3	76.0	14.2	6.5	4.1
高齢期	586	1.4	71.8	12.8	14.0	1.9
その他	632	2.7	67.1	15.2	15.0	3.9
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	4.2	71.2	20.2	4.4	5.5
非喫煙者（計）	2,132	2.9	75.2	13.4	8.5	3.7

(8) 劇場・映画館・スポーツ施設

受動喫煙に「あった」割合は5.2%、『受動喫煙率』は8.7%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は5.2ポイント、『受動喫煙率』は6.2ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

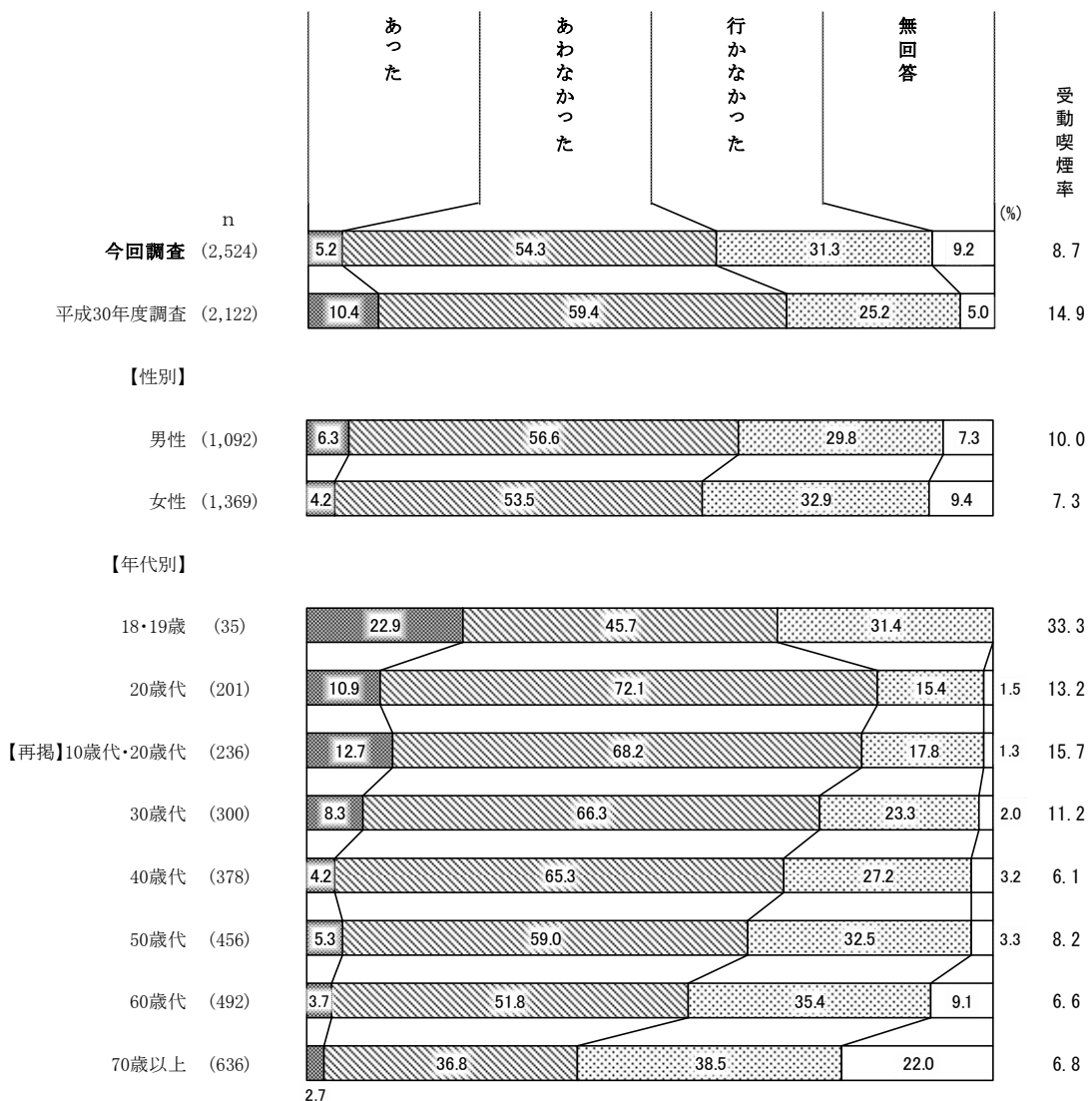
受動喫煙に「あった」は男性(6.3%)の方が女性(4.2%)よりも2.1ポイント高くなっている。

『受動喫煙率』は男性(10.0%)の方が女性(7.3%)よりも2.7ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は10歳代・20歳代(12.7%)で1割強と高く、『受動喫煙率』は10歳代・20歳代(15.7%)で1割台半ばと最も高くなっている。

○ 「(8) 劇場・映画館・スポーツ施設」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は川越比企地域（13.6％）で1割強と最も高く、南西部地域（12.2％）と東部地域（11.3％）と西部地域（10.8％）で1割台前半と続いている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性の10歳代・20歳代（18.8％）で2割弱と最も高く、30歳代（15.1％）でも1割台半ばとなっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者（計）（9.1％）で約1割となっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（15.4％）で1割台半ばと最も高く、それ以外のライフステージでは1割未満となっている。

⑦ 喫煙状況別

喫煙状況別では、大きな差はみられない。

○ 「(8) 劇場・映画館・スポーツ施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あつた	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全体	2,524	5.2	54.3	31.3	9.2	8.7
地域別						
南部地域	242	4.5	64.9	23.6	7.0	6.5
南西部地域	224	8.0	58.0	29.9	4.0	12.2
東部地域	399	6.8	53.4	30.3	9.5	11.3
さいたま地域	451	2.9	58.8	30.6	7.8	4.7
県央地域	192	4.2	56.3	31.8	7.8	6.9
川越比企地域	288	8.0	50.7	31.6	9.7	13.6
西部地域	259	6.2	51.0	31.7	11.2	10.8
利根地域	244	3.7	48.8	34.4	13.1	7.0
北部地域	159	1.3	50.9	40.3	7.5	2.4
秩父地域	37	2.7	40.5	48.6	8.1	6.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	22.2	44.4	33.3	-	33.3
20歳代	86	15.1	70.9	12.8	1.2	17.6
【再掲】10歳代・20歳代	95	15.8	68.4	14.7	1.1	18.8
30歳代	127	11.0	62.2	23.6	3.1	15.1
40歳代	158	4.4	62.0	30.4	3.2	6.7
50歳代	206	6.3	62.1	30.1	1.5	9.2
60歳代	220	3.2	55.9	34.1	6.8	5.4
70歳以上	285	4.6	43.5	33.7	18.2	9.5
女性／18・19歳	24	20.8	45.8	33.3	-	31.3
20歳代	107	8.4	74.8	15.0	1.9	10.1
【再掲】10歳代・20歳代	131	10.7	69.5	18.3	1.5	13.3
30歳代	172	6.4	69.8	22.7	1.2	8.4
40歳代	213	3.8	67.6	25.4	3.3	5.3
50歳代	246	4.1	56.9	34.6	4.5	6.7
60歳代	269	4.1	48.7	36.8	10.4	7.7
70歳以上	336	1.2	31.3	44.0	23.5	3.7
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	3.8	56.0	29.9	10.3	6.4
雇用者（計）	1,336	6.1	61.5	27.6	4.8	9.1
無職（計）	958	4.3	45.2	37.3	13.3	8.6
ライフステージ別						
独身期	305	12.1	66.9	20.0	1.0	15.4
家族形成期	175	5.1	66.9	25.1	2.9	7.1
家族成長前期	203	6.9	71.4	19.2	2.5	8.8
家族成長後期	164	6.7	61.0	26.8	5.5	9.9
家族成熟期	459	4.1	56.0	33.3	6.5	6.9
高齢期	586	2.0	42.8	41.0	14.2	4.6
その他	632	4.6	47.0	32.9	15.5	8.9
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	5.3	56.2	34.1	4.4	8.6
非喫煙者（計）	2,132	5.2	54.8	31.2	8.8	8.7

(9) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設

施設には「行かなかった」が59.0%と最も高くなっており、受動喫煙に「あった」割合は9.2%、『受動喫煙率』は28.9%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は9.9ポイント、『受動喫煙率』は24.9ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（12.1%）の方が女性（7.0%）より5.1ポイント高くなっている。

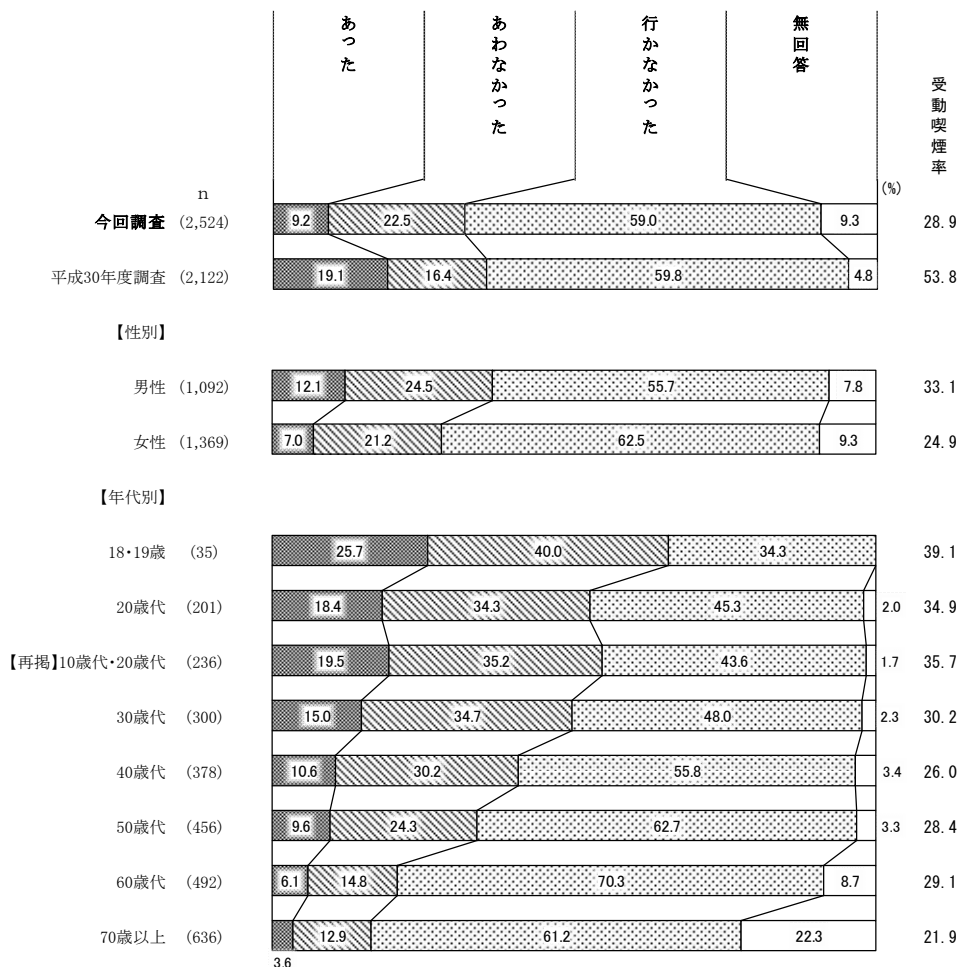
『受動喫煙率』は男性（33.1%）の方が女性（24.9%）よりも8.2ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は10歳代・20歳代（19.5%）で約2割と高く、年代が上がるほど低くなる傾向にある。

『受動喫煙率』は10歳代・20歳代（35.7%）で3割台半ばと最も高く、70歳以上（21.9%）で最も低くなっている。

○ 「(9) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は東部地域(38.2%)で4割弱と最も高く、秩父地域(33.3%)と南西部地域(32.5%)と南部地域(31.6%)で3割強と続いている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は男性の10歳代・20歳代(45.1%)で4割台半ばと最も高く、60歳代(36.7%)と30歳代(36.4%)でも3割台半ばを超えている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は雇用者(計)(30.0%)で3割と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期(38.9%)で4割弱と最も高く、その他(35.7%)でも3割台半ばとなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者(計)(32.9%)の方が非喫煙者(計)(27.8%)よりも5.1ポイント高くなっている。

○「(9) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	(%) 受動喫煙率
全体	2,524	9.2	22.5	59.0	9.3	28.9
地域別						
南部地域	242	12.4	26.9	52.9	7.9	31.6
南西部地域	224	11.6	24.1	60.3	4.0	32.5
東部地域	399	11.8	19.0	59.4	9.8	38.2
さいたま地域	451	6.0	22.6	63.6	7.8	20.9
県央地域	192	9.9	29.7	53.1	7.3	25.0
川越比企地域	288	8.3	21.9	59.7	10.1	27.6
西部地域	259	8.5	21.2	59.5	10.8	28.6
利根地域	244	7.4	20.9	58.6	13.1	26.1
北部地域	159	7.5	24.5	59.7	8.2	23.5
秩父地域	37	5.4	10.8	75.7	8.1	33.3
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	22.2	33.3	-	66.7
20歳代	86	22.1	30.2	45.3	2.3	42.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	24.2	29.5	44.2	2.1	45.1
30歳代	127	18.9	33.1	44.1	3.9	36.4
40歳代	158	10.8	31.0	53.8	4.4	25.8
50歳代	206	14.6	28.2	54.9	2.4	34.1
60歳代	220	10.0	17.3	66.4	6.4	36.7
70歳以上	285	5.6	18.2	57.9	18.2	23.5
女性／18・19歳	24	20.8	45.8	33.3	-	31.3
20歳代	107	16.8	38.3	43.0	1.9	30.5
【再掲】10歳代・20歳代	131	17.6	39.7	41.2	1.5	30.7
30歳代	172	12.2	36.0	50.6	1.2	25.3
40歳代	213	10.8	29.1	57.3	2.8	27.1
50歳代	246	5.3	20.7	69.9	4.1	20.3
60歳代	269	3.0	13.0	74.0	10.0	18.6
70歳以上	336	2.1	8.3	65.5	24.1	20.0
職業別						
自営業・家族従業(計)	184	8.7	22.3	57.6	11.4	28.1
雇用者(計)	1,336	11.3	26.3	57.3	5.0	30.0
無職(計)	958	6.5	18.0	62.4	13.2	26.5
ライフステージ別						
独身期	305	20.0	31.5	46.9	1.6	38.9
家族形成期	175	11.4	39.4	46.3	2.9	22.5
家族成長前期	203	12.8	38.4	46.3	2.5	25.0
家族成長後期	164	7.9	24.4	62.2	5.5	24.5
家族成熟期	459	6.1	19.8	67.5	6.5	23.5
高齢期	586	2.9	13.0	70.0	14.2	18.3
その他	632	10.4	18.8	55.2	15.5	35.7
喫煙状況別						
喫煙者(計)	361	14.4	29.4	51.2	5.0	32.9
非喫煙者(計)	2,132	8.3	21.7	61.2	8.8	27.8

(10) 飲食店

受動喫煙に「あった」割合は24.0%、『受動喫煙率』は30.5%となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、受動喫煙に「あった」は27.7ポイント、『受動喫煙率』は25.5ポイント減少している。

【属性別比較】

① 性別

受動喫煙に「あった」は男性（26.7%）の方が女性（22.2%）より4.5ポイント高くなっている。

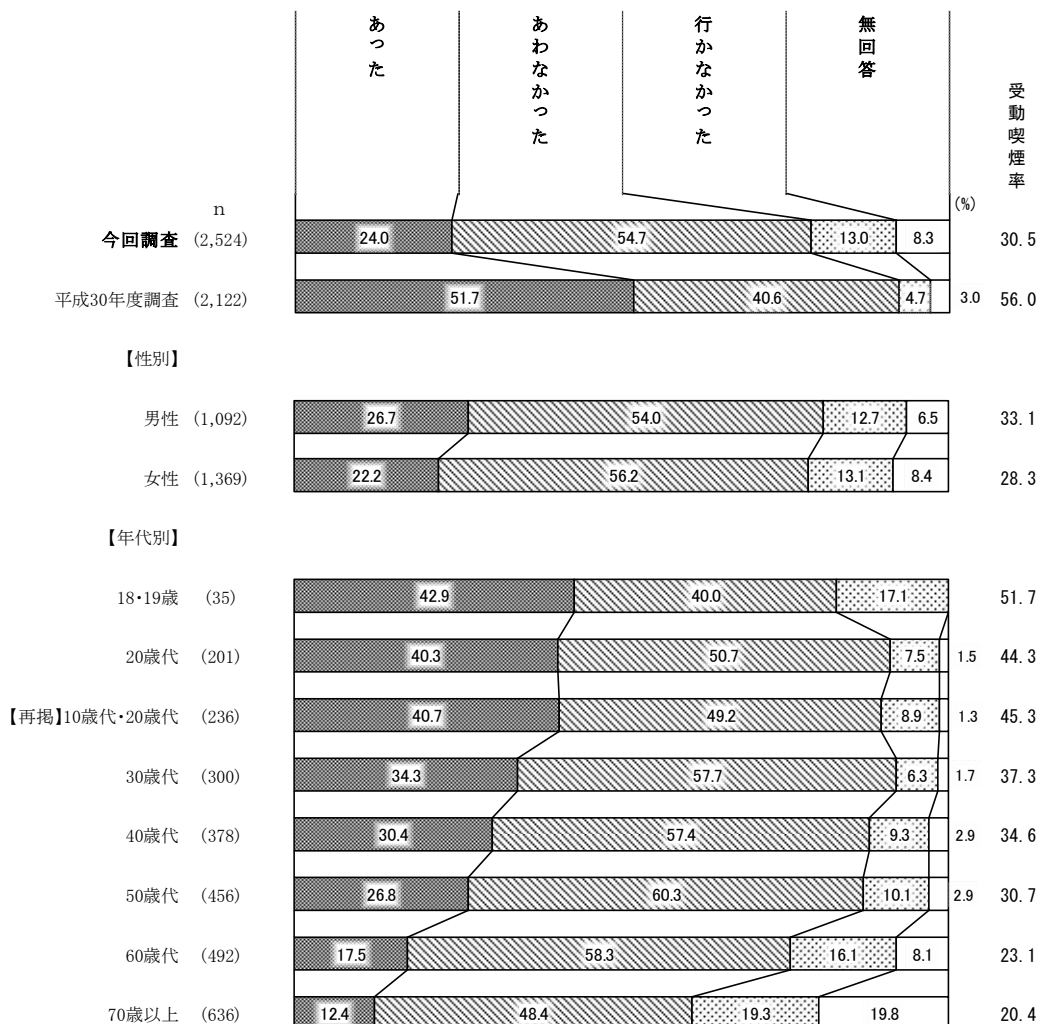
『受動喫煙率』は男性（33.1%）の方が女性（28.3%）よりも4.8ポイント高くなっている。

② 年代別

受動喫煙に「あった」は10歳代・20歳代（40.7%）で4割を超え、年代が上がるほど低くなっている。

『受動喫煙率』は10歳代・20歳代（45.3%）で4割台半ばと最も高く、30歳代（37.3%）でも3割台半ばを超えている。

○ 「(10) 飲食店」・性別／年代別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

③ 地域別

『受動喫煙率』は南西部地域（34.9%）で3割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

『受動喫煙率』は女性 10 歳代・20 歳代（48.7%）で5割弱と最も高く、男性 10 歳代・20 歳代（41.2%）でも4割強となっている。

⑤ 職業別

『受動喫煙率』は自営業・家族従業（計）（35.4%）と雇用者（計）（34.0%）で無職（計）（23.2%）と比べ高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『受動喫煙率』は独身期（47.4%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

『受動喫煙率』は喫煙者（計）（33.3%）の方が非喫煙者（計）（30.0%）よりも3.3ポイント高くなっている。

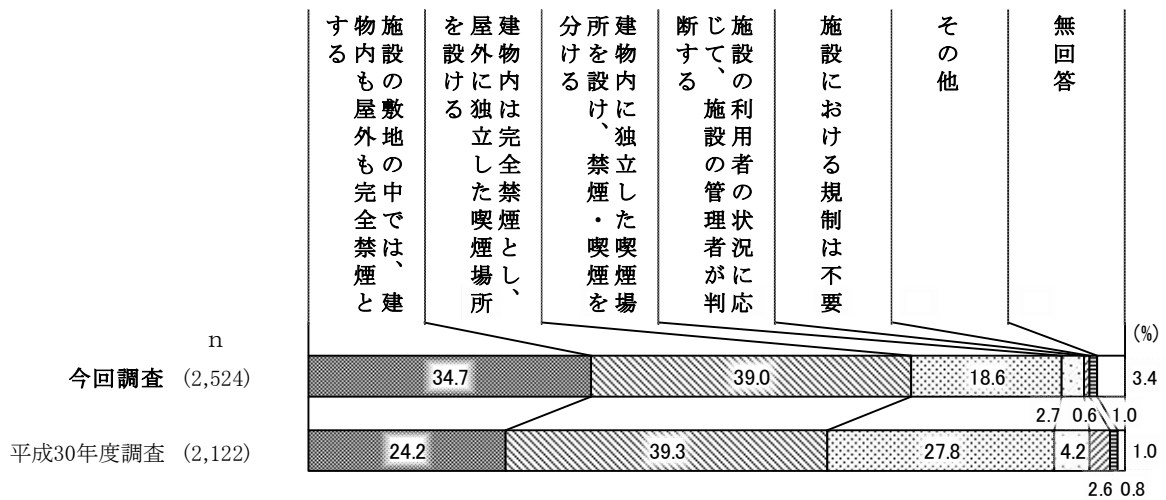
○ 「(10) 飲食店」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	あった	あわなかつた	行かなかつた	無回答	受動喫煙率 (%)
全体	2,524	24.0	54.7	13.0	8.3	30.5
地域別						
南部地域	242	28.1	55.8	8.7	7.4	33.5
南西部地域	224	29.0	54.0	12.5	4.5	34.9
東部地域	399	26.3	51.4	12.8	9.5	33.9
さいたま地域	451	24.6	57.9	11.3	6.2	29.8
県央地域	192	26.6	54.7	12.5	6.3	32.7
川越比企地域	288	21.9	57.3	12.8	8.0	27.6
西部地域	259	22.4	52.5	14.7	10.4	29.9
利根地域	244	19.3	51.2	17.6	11.9	27.3
北部地域	159	16.4	64.2	14.5	5.0	20.3
秩父地域	37	16.2	59.5	18.9	5.4	21.4
性・年代別						
男性／18・19歳	9	44.4	33.3	22.2	-	57.1
20歳代	86	36.0	54.7	8.1	1.2	39.7
【再掲】10歳代・20歳代	95	36.8	52.6	9.5	1.1	41.2
30歳代	127	33.1	56.7	7.1	3.1	36.8
40歳代	158	29.1	55.1	12.7	3.2	34.6
50歳代	206	34.0	56.3	8.3	1.5	37.6
60歳代	220	22.3	56.4	15.5	5.9	28.3
70歳以上	285	17.5	49.1	17.5	15.8	26.3
女性／18・19歳	24	37.5	45.8	16.7	-	45.0
20歳代	107	45.8	46.7	5.6	1.9	49.5
【再掲】10歳代・20歳代	131	44.3	46.6	7.6	1.5	48.7
30歳代	172	34.9	58.7	5.8	0.6	37.3
40歳代	213	31.9	58.7	6.6	2.8	35.2
50歳代	246	20.7	63.8	11.8	3.7	24.5
60歳代	269	13.8	60.2	16.7	9.3	18.6
70歳以上	336	8.6	48.8	21.1	21.4	15.0
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	28.3	51.6	10.9	9.2	35.4
雇用者（計）	1,336	29.7	57.8	8.1	4.4	34.0
無職（計）	958	15.8	52.3	20.3	11.7	23.2
ライフステージ別						
独身期	305	42.3	46.9	9.5	1.3	47.4
家族形成期	175	33.7	60.0	4.0	2.3	36.0
家族成長前期	203	28.1	62.1	7.9	2.0	31.1
家族成長後期	164	29.3	57.3	9.8	3.7	33.8
家族成熟期	459	18.5	62.7	12.4	6.3	22.8
高齢期	586	13.7	56.7	17.4	12.3	19.4
その他	632	23.4	46.4	16.0	14.2	33.6
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	27.1	54.3	13.9	4.7	33.3
非喫煙者（計）	2,132	23.8	55.6	13.0	7.6	30.0

(4) 不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策

◇「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」が 39.0%

問27 あなたが「不特定多数の人が利用する施設（※）」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ）
 ※「不特定多数の人が利用する施設」とは、問26（6）～（9）のような施設です。



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策は、「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」（39.0%）が約4割と最も高く、次いで「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」（34.7%）、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」（18.6%）となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は10.5ポイント増加している。

【属性別比較】

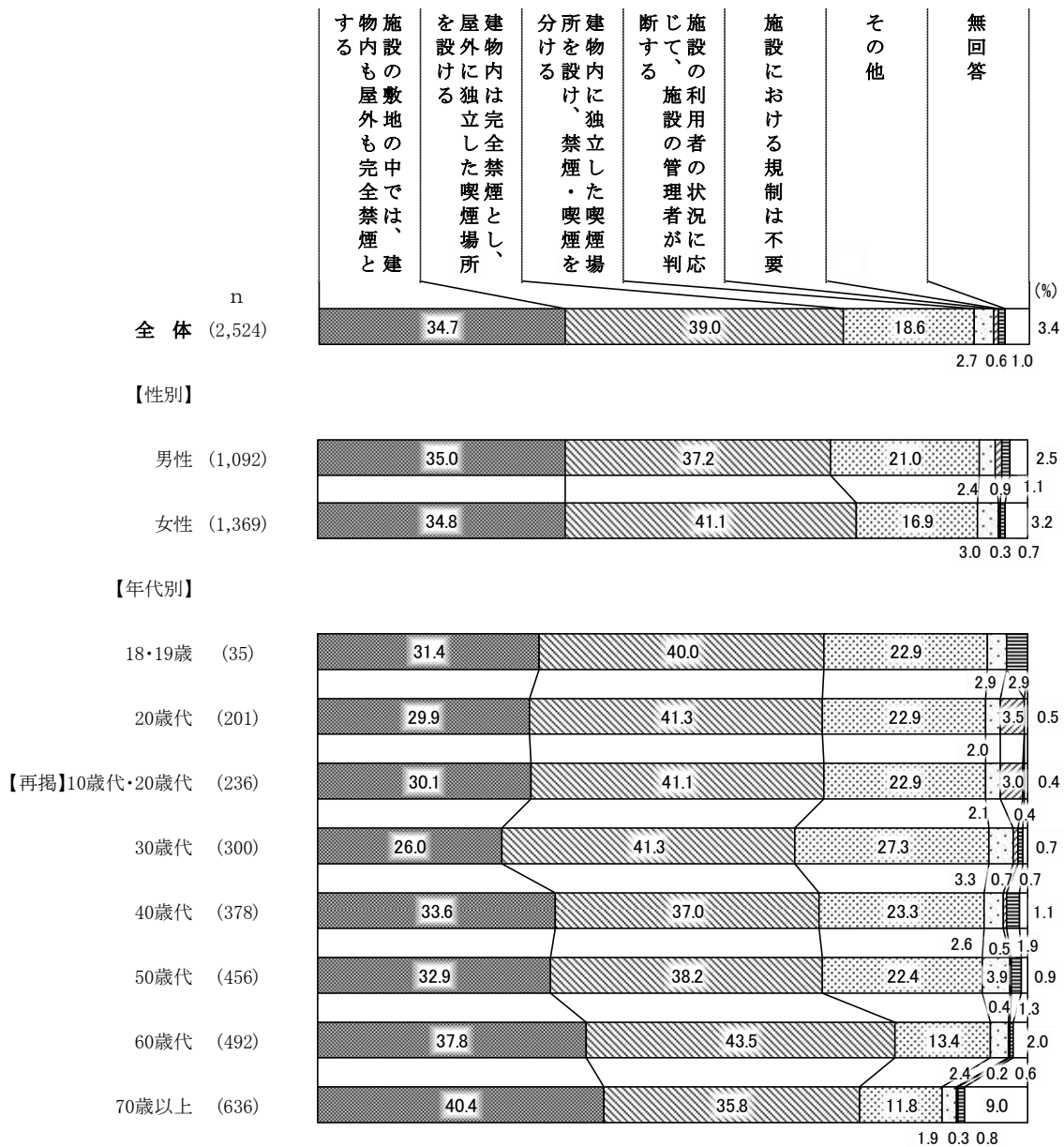
① 性別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性（41.1%）の方が男性（37.2%）よりも3.9ポイント高くなっている。一方で、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は男性（21.0%）の方が女性（16.9%）よりも4.1ポイント高くなっている。

② 年代別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は60歳代（43.5%）で4割強と最も高くなっている。「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は70歳以上（40.4%）で4割を超えて最も高くなっている。

○不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は南部地域（43.8%）、東部地域（42.6%）で4割強と高くなっている。「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は北部地域（42.8%）で4割強と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性 60 歳代（49.8%）で約5割と高くなっている。「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は男女ともに 70 歳以上（女性 41.7%、男性 40.4%）と男性 60 歳代（40.5%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は無職（計）（38.0%）で4割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は独身期（41.3%）、「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は高齢期（41.1%）でそれぞれ4割強と高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は非喫煙者（計）（39.3%）で約4割と最も高く、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は喫煙者（計）（41.8%）で4割強と最も高くなっている。

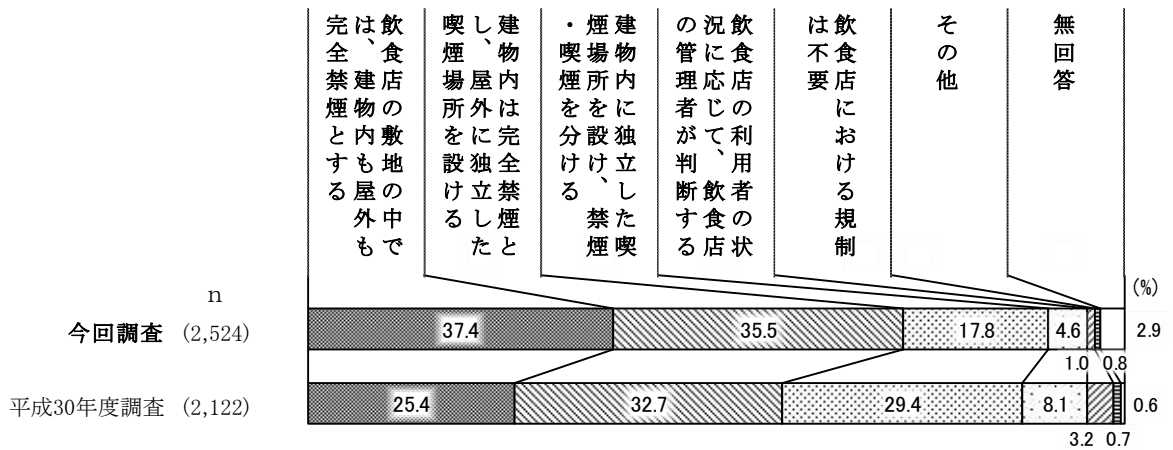
○不特定多数が利用する施設における受動喫煙防止対策・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	建物内も屋外も完全禁煙とする	施設内に独立した喫煙場所を設ける	建物内に完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける	建物内に禁煙・喫煙を分ける	施設の利用者の状況が判断する	施設における規制は不要	その他	無回答
全体	2,524	34.7	39.0	18.6	2.7	0.6	1.0	3.4	
地域別									
南部地域	242	31.8	43.8	17.4	2.1	0.4	0.8	3.7	
南西部地域	224	31.3	40.6	20.1	2.7	1.8	1.8	1.8	
東部地域	399	28.3	42.6	21.8	3.0	-	0.8	3.5	
さいたま地域	451	37.3	33.9	20.2	4.0	0.9	0.9	2.9	
県央地域	192	38.0	38.5	18.8	0.5	1.0	0.5	2.6	
川越比企地域	288	33.7	40.3	18.4	2.4	0.3	1.4	3.5	
西部地域	259	35.9	41.7	14.7	2.7	0.4	0.8	3.9	
利根地域	244	38.1	36.9	17.6	2.0	1.2	1.2	2.9	
北部地域	159	42.8	35.2	15.1	3.1	-	-	3.8	
秩父地域	37	37.8	32.4	21.6	5.4	-	2.7	-	
性・年代別									
男性／18・19歳	9	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	
20歳代	86	30.2	38.4	26.7	1.2	3.5	-	-	
【再掲】10歳代・20歳代	95	30.5	37.9	27.4	1.1	3.2	-	-	
30歳代	127	25.2	37.8	29.1	5.5	-	0.8	1.6	
40歳代	158	31.0	32.9	28.5	2.5	1.3	1.9	1.9	
50歳代	206	33.0	35.0	26.2	1.9	1.0	2.4	0.5	
60歳代	220	40.5	35.9	19.1	2.7	0.5	-	1.4	
70歳以上	285	40.4	41.4	8.8	1.4	0.7	1.1	6.3	
女性／18・19歳	24	29.2	45.8	20.8	4.2	-	-	-	
20歳代	107	29.9	44.9	20.6	1.9	1.9	-	0.9	
【再掲】10歳代・20歳代	131	29.8	45.0	20.6	2.3	1.5	-	0.8	
30歳代	172	26.7	44.2	25.6	1.7	1.2	0.6	-	
40歳代	213	35.2	40.4	19.2	2.8	-	1.9	0.5	
50歳代	246	32.9	40.7	19.5	5.7	-	-	1.2	
60歳代	269	35.3	49.8	8.9	2.2	-	1.1	2.6	
70歳以上	336	41.7	31.8	14.0	2.4	-	0.6	9.5	
職業別									
自営業・家族従業（計）	184	34.8	33.7	22.8	3.3	1.1	0.5	3.8	
雇用者（計）	1,336	32.3	39.3	22.5	3.1	0.7	1.0	1.0	
無職（計）	958	38.0	40.2	12.9	2.2	0.4	0.8	5.4	
ライフステージ別									
独身期	305	27.5	41.3	25.2	3.3	2.0	0.7	-	
家族形成期	175	30.3	40.0	23.4	2.9	0.6	1.1	1.7	
家族成長前期	203	34.5	38.9	21.7	-	1.0	3.0	1.0	
家族成長後期	164	37.8	36.0	17.7	5.5	0.6	1.2	1.2	
家族成熟期	459	34.0	40.3	19.4	3.9	-	0.7	1.7	
高齢期	586	41.1	39.8	12.6	1.9	0.3	0.2	4.1	
その他	632	33.1	36.7	18.4	2.4	0.6	1.3	7.6	
喫煙状況別									
喫煙者（計）	361	10.5	39.1	41.8	3.9	2.5	0.6	1.7	
非喫煙者（計）	2,132	39.3	39.5	14.9	2.5	0.3	1.0	2.4	

(5) 飲食店における受動喫煙防止対策

◇「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」が37.4%

問28 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

飲食店における受動喫煙防止対策は、「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」(37.4%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」(35.5%)、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」(17.8%)となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は12.0ポイント増加している。

【属性別比較】

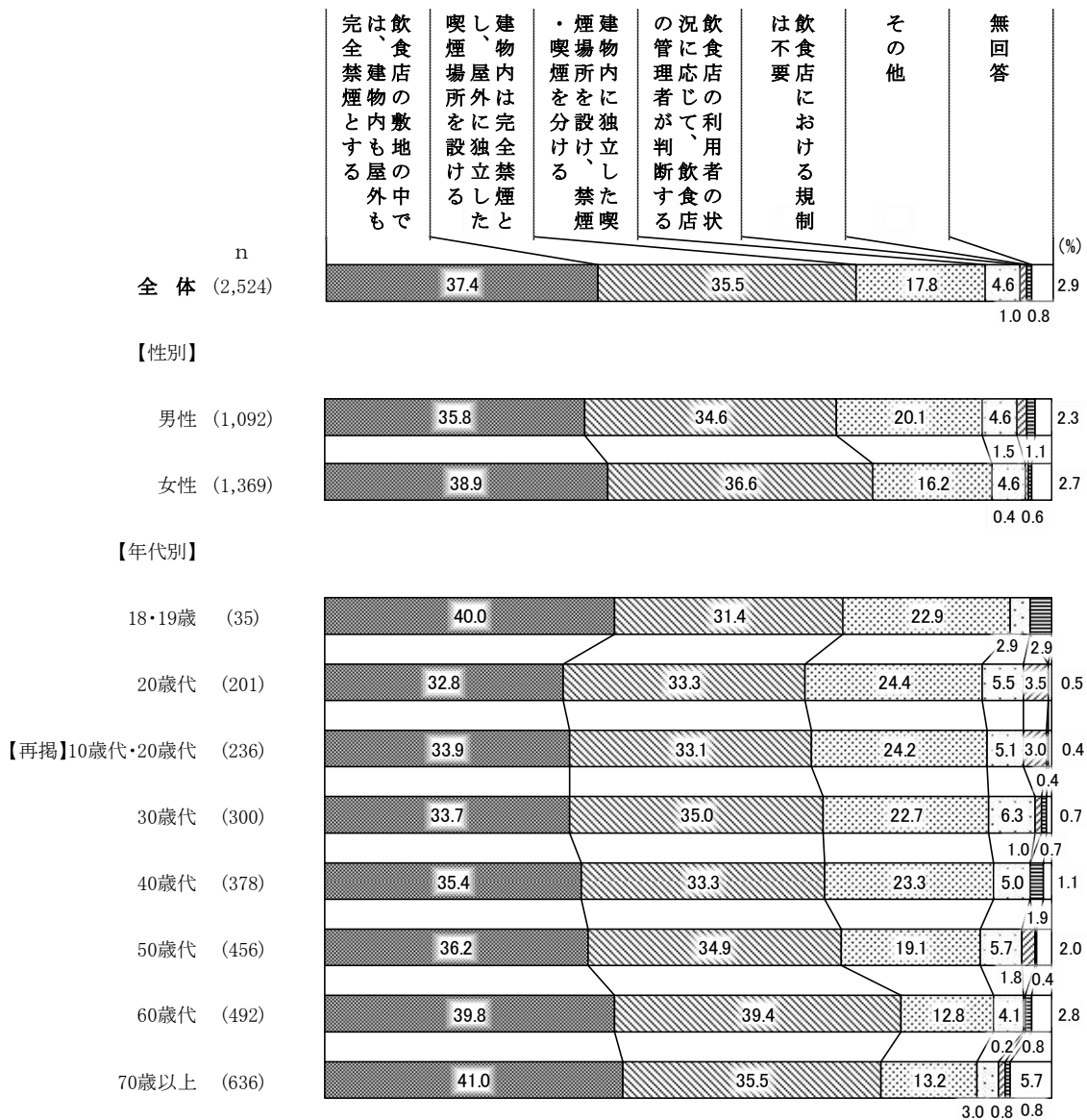
① 性別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は女性(38.9%)の方が男性(35.8%)よりも3.1ポイント高くなっている。一方で、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は男性(20.1%)の方が女性(16.2%)よりも3.9ポイント高くなっている。

② 年代別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は70歳以上(41.0%)で4割強と最も高く、年代が上がるほど高くなる傾向にある。「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は60歳代(39.4%)で約4割と最も高くなっている。

○飲食店における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は北部地域（42.8%）で4割強と最も高くなっている。「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は秩父地域（40.5%）で4割を超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は女性 70 歳以上（42.0%）で4割強と最も高くなっている。「建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける」は女性 60 歳代（40.1%）で4割を超えて最も高くなっている。「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は男性 10 歳代・20 歳代（29.5%）で約3割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は無職（計）（41.9%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は高齢期（42.3%）で4割強と最も高く、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は独身期（25.6%）で2割台半ばと高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする」は非喫煙者（計）（41.9%）で4割強と最も高く、「建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける」は喫煙者（計）（37.4%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

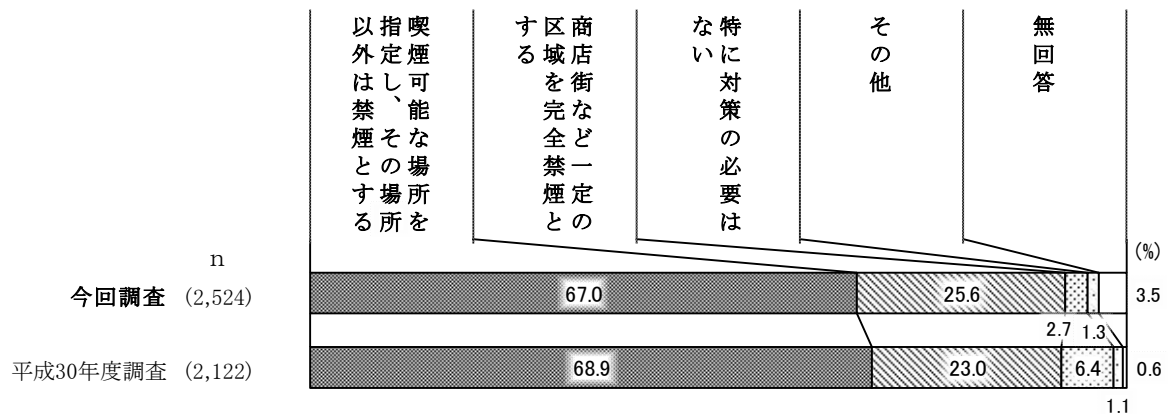
○飲食店における受動喫煙防止対策・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	と建物内も屋外も完全禁煙とする	飲食店の敷地内では、建物内に独立した喫煙場所を設ける	建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける	建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける	が判断する	飲食店の利用者の管理状況に	要飲食店における規制は不	その他	無回答
全体	2,524	37.4	35.5	17.8	4.6	1.0	0.8	2.9		
地域別										
南部地域	242	33.5	36.0	19.8	5.0	1.7	0.4	3.7		
南西部地域	224	33.5	36.2	17.0	8.0	1.3	1.8	2.2		
東部地域	399	31.8	36.6	21.8	6.0	0.5	1.0	2.3		
さいたま地域	451	39.2	32.6	19.7	4.4	0.7	1.1	2.2		
県央地域	192	39.6	38.0	17.7	2.6	1.6	-	0.5		
川越比企地域	288	38.2	36.1	16.0	3.8	0.7	1.0	4.2		
西部地域	259	40.9	34.7	15.4	4.6	0.8	0.4	3.1		
利根地域	244	40.6	33.2	17.6	3.3	2.0	-	3.3		
北部地域	159	42.8	39.6	12.6	2.5	-	0.6	1.9		
秩父地域	37	37.8	40.5	8.1	5.4	-	5.4	2.7		
性・年代別										
男性／18・19歳	9	44.4	22.2	33.3	-	-	-	-		
20歳代	86	33.7	26.7	29.1	4.7	4.7	-	1.2		
【再掲】10歳代・20歳代	95	34.7	26.3	29.5	4.2	4.2	-	1.1		
30歳代	127	30.7	31.5	26.0	9.4	1.6	0.8	-		
40歳代	158	31.6	31.0	27.2	6.3	-	2.5	1.3		
50歳代	206	32.0	33.0	23.8	5.3	2.4	1.0	2.4		
60歳代	220	39.5	38.6	15.0	3.6	0.5	0.9	1.8		
70歳以上	285	40.7	38.6	11.9	1.8	1.4	1.1	4.6		
女性／18・19歳	24	37.5	37.5	20.8	4.2	-	-	-		
20歳代	107	33.6	40.2	20.6	4.7	0.9	-	-		
【再掲】10歳代・20歳代	131	34.4	39.7	20.6	4.6	0.8	-	-		
30歳代	172	35.5	37.8	20.3	4.1	0.6	0.6	1.2		
40歳代	213	38.0	34.7	20.7	4.2	-	1.4	0.9		
50歳代	246	39.4	36.6	15.4	6.1	0.8	-	1.6		
60歳代	269	40.1	40.1	10.8	4.5	-	0.7	3.7		
70歳以上	336	42.0	33.3	14.3	3.9	0.3	0.6	5.7		
職業別										
自営業・家族従業（計）	184	35.9	33.7	15.8	8.7	1.1	0.5	4.3		
雇用者（計）	1,336	34.5	35.7	21.3	4.9	1.0	0.9	1.6		
無職（計）	958	41.9	36.0	13.8	3.5	0.7	0.8	3.2		
ライフステージ別										
独身期	305	33.4	32.5	25.6	5.6	2.0	0.7	0.3		
家族形成期	175	37.7	32.0	20.0	6.9	1.1	1.1	1.1		
家族成長前期	203	38.9	33.5	21.2	3.4	0.5	1.5	1.0		
家族成長後期	164	37.8	36.6	17.1	6.1	0.6	0.6	1.2		
家族成熟期	459	37.0	36.8	18.1	5.4	0.4	0.2	2.0		
高齢期	586	42.3	37.7	12.5	2.2	0.3	0.7	4.3		
その他	632	34.5	35.1	17.2	5.1	1.6	1.3	5.2		
喫煙状況別										
喫煙者（計）	361	11.4	36.3	37.4	8.3	3.3	1.1	2.2		
非喫煙者（計）	2,132	41.9	35.7	14.6	3.9	0.5	0.8	2.5		

(6) 屋外における受動喫煙防止対策

◇「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」が67.0%

問29 あなたは、商店街など人通りの多い屋外の場所における喫煙に対し、どのような受動喫煙防止対策が進むことを望みますか。(〇は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

屋外における受動喫煙防止対策は、「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」(67.0%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」(25.6%)、「特に対策の必要はない」(2.7%)となっている。

【過去調査との比較】

平成30年度調査と比べて、「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」は2.6ポイント増加している。

【属性別比較】

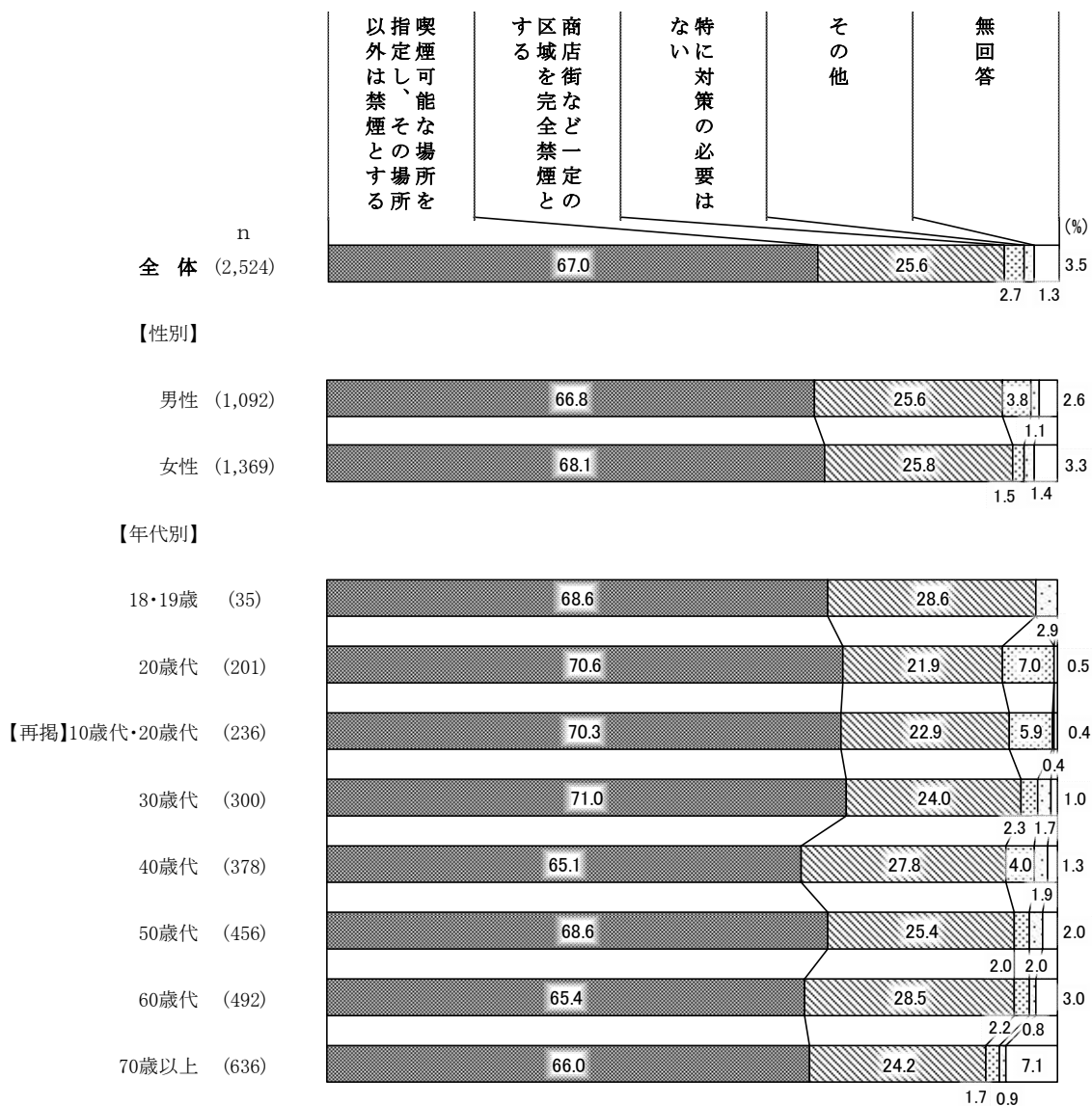
① 性別

「特に対策の必要はない」は男性(3.8%)の方が女性(1.5%)よりも2.3ポイント高くなっている。

② 年代別

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」は30歳代(71.0%)と10歳代・20歳代(70.3%)で7割台前半と高くなっている。

○屋外における受動喫煙防止対策・性別／年代別



③ 地域別

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」は秩父地域（78.4%）で8割弱と最も高くなっている。「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」はさいたま地域と西部地域（各29.3%）で約3割と高くなっている。

④ 性・年代別

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」は女性の30歳代（73.8%）と10歳代・20歳代（71.8%）、男性10歳代・20歳代（73.7%）で7割強と高くなっている。「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」は男性60歳代（30.0%）で3割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別では、大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」は独身期（71.1%）と家族形成期（70.9%）で7割台前半と高くなっている。

⑦ 喫煙状況別

「喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする」は喫煙者（計）（73.4%）で7割強と高くなっている。「商店街など一定の区域を完全禁煙とする」は非喫煙者（計）（27.5%）で2割台半ばを超えて高くなっている。

○屋外における受動喫煙防止対策・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別／喫煙状況別

	調査数 n	煙し、喫煙と する その場 所 以 外 を 指 定 禁 定	を 商 店 街 な ど 一 定 の 区 域 と す る	特 に 対 策 の 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答
全 体	2,524	67.0	25.6	2.7	1.3	3.5
地域別						
南部地域	242	65.7	25.6	2.9	2.5	3.3
南西部地域	224	65.6	25.0	4.5	2.2	2.7
東部地域	399	69.9	22.3	3.8	0.8	3.3
さいたま地域	451	64.3	29.3	2.0	1.8	2.7
県央地域	192	69.8	25.5	2.1	0.5	2.1
川越比企地域	288	68.4	23.3	3.1	1.7	3.5
西部地域	259	64.1	29.3	2.3	0.4	3.9
利根地域	244	67.2	25.8	2.9	-	4.1
北部地域	159	69.2	26.4	0.6	1.3	2.5
秩父地域	37	78.4	16.2	-	2.7	2.7
性・年代別						
男性／18・19歳	9	77.8	22.2	-	-	-
20歳代	86	73.3	16.3	9.3	-	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	73.7	16.8	8.4	-	1.1
30歳代	127	66.9	27.6	3.9	1.6	-
40歳代	158	64.6	26.6	7.0	0.6	1.3
50歳代	206	69.9	22.3	3.4	2.4	1.9
60歳代	220	65.0	30.0	2.3	0.9	1.8
70歳以上	285	64.9	26.3	2.1	0.7	6.0
女性／18・19歳	24	70.8	29.2	-	-	-
20歳代	107	72.0	26.2	1.9	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	71.8	26.7	1.5	-	-
30歳代	172	73.8	21.5	1.2	1.7	1.7
40歳代	213	65.3	28.6	1.9	2.8	1.4
50歳代	246	67.9	28.0	0.8	1.6	1.6
60歳代	269	66.2	27.1	1.9	0.7	4.1
70歳以上	336	67.6	22.9	1.5	1.2	6.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	184	65.8	23.9	4.9	1.1	4.3
雇用者（計）	1,336	67.3	26.3	3.1	1.6	1.7
無職（計）	958	67.8	25.1	1.8	0.9	4.4
ライフステージ別						
独身期	305	71.1	23.0	4.6	0.7	0.7
家族形成期	175	70.9	23.4	2.3	2.3	1.1
家族成長前期	203	66.0	28.1	2.0	3.0	1.0
家族成長後期	164	67.1	28.0	2.4	1.2	1.2
家族成熟期	459	69.3	25.7	1.7	0.4	2.8
高齢期	586	67.2	25.1	1.4	1.0	5.3
その他	632	62.3	26.3	4.1	1.6	5.7
喫煙状況別						
喫煙者（計）	361	73.4	15.8	7.8	0.6	2.5
非喫煙者（計）	2,132	66.3	27.5	1.7	1.4	3.0

6 県立図書館の将来像
に関するニーズにつ
いて

(問 30～問 32)

6. 県立図書館の将来像に関するニーズについて

(1) 県立図書館の利用状況

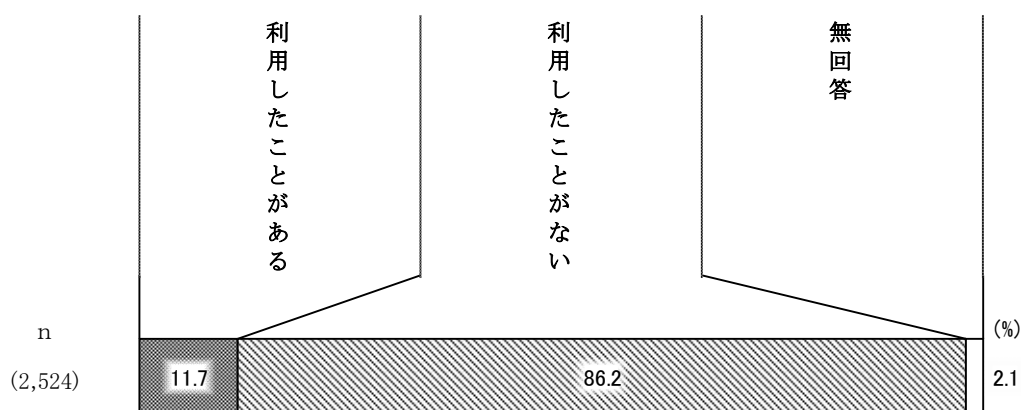
◇「利用したことがない」が86.2%

県立図書館の将来像に関するニーズについておたずねします。

埼玉県立図書館は令和4年度で創立100周年を迎えます。現在、県立熊谷図書館と県立久喜図書館の2館と県立文書館の1階に浦和分室を設置しています。

埼玉県教育委員会では、時代の要請に応じた県立図書館の在り方や機能等を検討し、新たな埼玉県立図書館の将来像や基本方針等を取りまとめた「新埼玉県立図書館基本構想」の策定を進めています。

問30 あなたはこれまでに県立図書館（県立熊谷図書館、県立熊谷図書館浦和分室及び県立久喜図書館をいう。以下同じ）を利用したことがありますか。（○は1つだけ）



県立図書館の利用状況は、「利用したことがない」（86.2%）が8割台半ばを超えて高く、「利用したことがある」（11.7%）となっている。

【属性別比較】

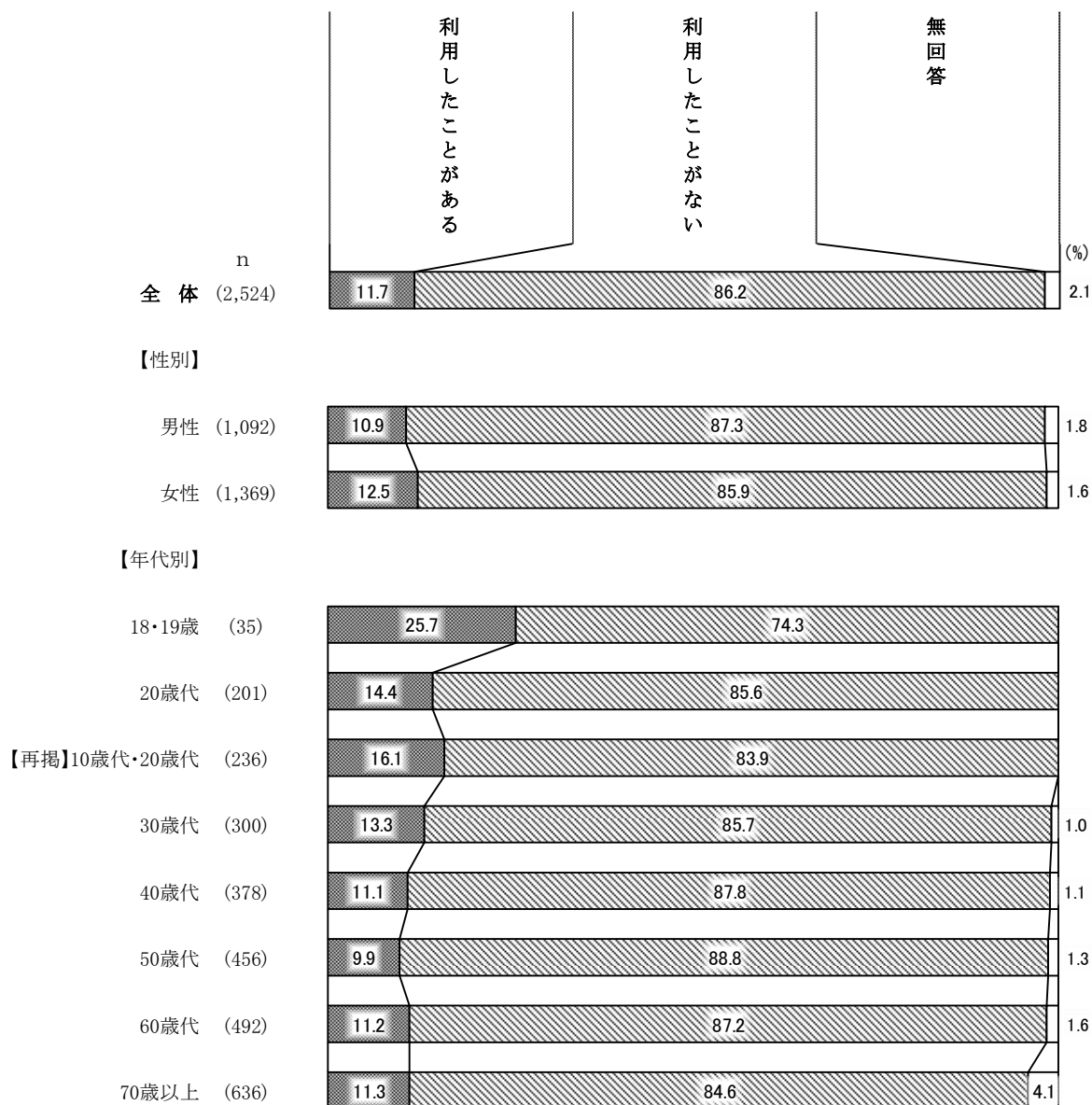
① 性別

県立図書館を「利用したことがある」は女性（12.5%）の方が男性（10.9%）よりも1.6ポイント高くなっている。

② 年代別

県立図書館を「利用したことがある」は10歳代・20歳代（16.1%）が1割台半ばを超えて最も高くなっている。

○県立図書館の利用状況・性別／年代別



③ 地域別

県立図書館を「利用したことがある」は北部地域（27.0%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

県立図書館を「利用したことがある」は女性10歳代・20歳代（18.3%）で2割弱と最も高くなっている。

⑤ 職業別

職業別では、大きな差はみられない。

⑥ ライフステージ別

県立図書館を「利用したことがある」は家族成長後期（16.5%）と独身期（16.1%）で1割台半ばを超えて高くなっている。

○県立図書館の利用状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

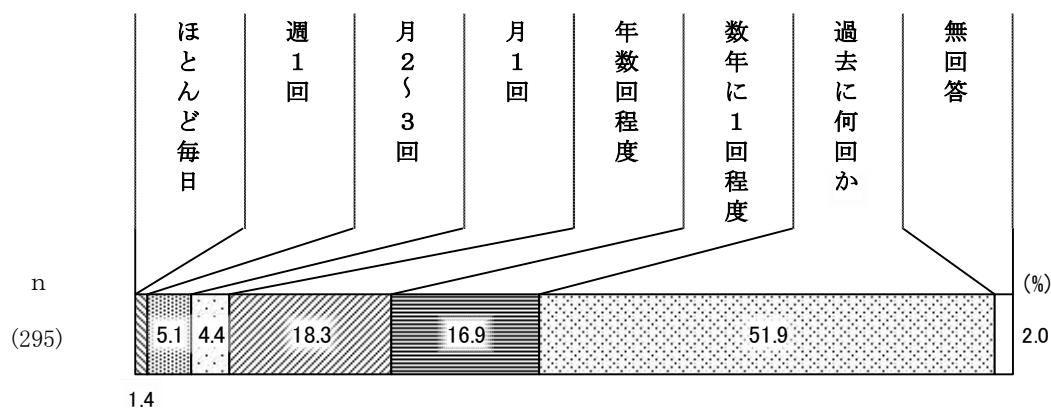
	調査数 n	利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2,524	11.7	86.2	2.1
地域別				
南部地域	242	9.5	87.6	2.9
南西部地域	224	7.1	90.6	2.2
東部地域	399	6.8	90.7	2.5
さいたま地域	451	12.2	86.3	1.6
県央地域	192	9.4	90.1	0.5
川越比企地域	288	10.8	86.8	2.4
西部地域	259	7.3	90.7	1.9
利根地域	244	23.4	75.0	1.6
北部地域	159	27.0	72.3	0.6
秩父地域	37	8.1	89.2	2.7
性・年代別				
男性／18・19歳	9	33.3	66.7	-
20歳代	86	11.6	88.4	-
【再掲】10歳代・20歳代	95	13.7	86.3	-
30歳代	127	14.2	85.0	0.8
40歳代	158	9.5	89.2	1.3
50歳代	206	10.2	88.3	1.5
60歳代	220	9.1	90.0	0.9
70歳以上	285	10.9	84.9	4.2
女性／18・19歳	24	20.8	79.2	-
20歳代	107	17.8	82.2	-
【再掲】10歳代・20歳代	131	18.3	81.7	-
30歳代	172	12.8	86.0	1.2
40歳代	213	12.2	86.9	0.9
50歳代	246	9.3	89.4	1.2
60歳代	269	13.0	84.8	2.2
70歳以上	336	12.2	85.1	2.7
職業別				
自営業・家族従業（計）	184	12.0	85.3	2.7
雇用者（計）	1,336	11.8	86.9	1.3
無職（計）	958	11.6	86.4	2.0
ライフステージ別				
独身期	305	16.1	83.6	0.3
家族形成期	175	12.0	86.9	1.1
家族成長前期	203	14.3	84.7	1.0
家族成長後期	164	16.5	82.9	0.6
家族成熟期	459	10.2	87.8	2.0
高齢期	586	9.9	87.0	3.1
その他	632	10.1	86.6	3.3

(1-1-1) 県立図書館の利用頻度

◇「過去に何回か」が51.9%

(問30で「1. 利用したことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問30(1)-1 あなたは県立図書館をどのくらいの頻度で利用しますか。(〇は1つだけ)



県立図書館の利用頻度は、「過去に何回か」(51.9%)が5割強と最も高く、次いで「年数回程度」(18.3%)、「数年に1回程度」(16.9%)、「月2〜3回」(5.1%)などとなっている。

【属性別比較】

※下記の県立図書館の利用頻度の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数(n数)が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

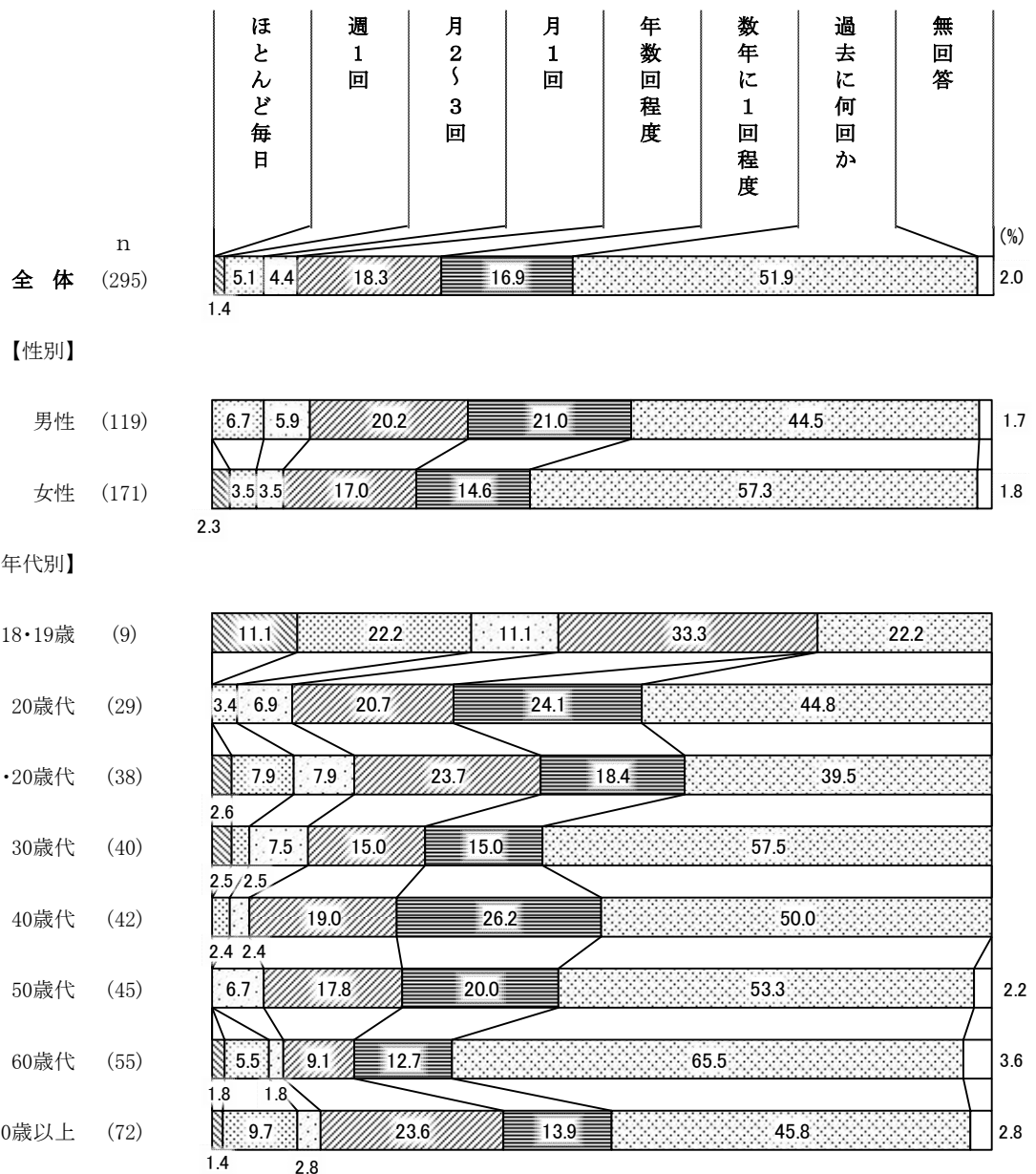
① 性別

「過去に何回か」は女性(57.3%)の方が男性(44.5%)よりも12.8ポイント高くなっている。

② 年代別

「過去に何回か」は60歳代(65.5%)が6割台半ばと最も高くなっている。「数年に1回程度」は40歳代(26.2%)が2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○県立図書館の利用頻度・性別／年代別



③ 地域別

「過去に何回か」は利根地域（59.6%）で約6割と最も高くなっている。

④ 性・年代別

「過去に何回か」は女性 60 歳代（74.3%）で7割台半ばと最も高くなっている。

⑤ 職業別

「過去に何回か」は雇用者（計）（55.4%）で5割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「過去に何回か」は家族成熟期（59.6%）とその他（59.4%）で約6割と高くなっている。

○県立図書館の利用頻度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数 n	ほとんど毎日	週1回	月2～3回	月1回	年数回程度	数年 に1回程度	過去に何回か	無回答
全体	295	-	1.4	5.1	4.4	18.3	16.9	51.9	2.0
地域別									
南部地域	23	-	-	4.3	8.7	4.3	17.4	60.9	4.3
南西部地域	16	-	-	12.5	18.8	25.0	25.0	12.5	6.3
東部地域	27	-	-	11.1	3.7	18.5	11.1	51.9	3.7
さいたま地域	55	-	3.6	7.3	7.3	16.4	18.2	47.3	-
県央地域	18	-	-	-	-	16.7	33.3	50.0	-
川越比企地域	31	-	-	3.2	-	22.6	16.1	54.8	3.2
西部地域	19	-	-	-	-	36.8	15.8	42.1	5.3
利根地域	57	-	3.5	3.5	3.5	17.5	12.3	59.6	-
北部地域	43	-	-	4.7	2.3	18.6	18.6	53.5	2.3
秩父地域	3	-	-	-	-	-	-	100.0	-
性・年代別									
男性／18・19歳	3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
20歳代	10	-	-	10.0	-	10.0	50.0	30.0	-
【再掲】10歳代・20歳代	13	-	-	15.4	-	15.4	38.5	30.8	-
30歳代	18	-	-	5.6	5.6	16.7	11.1	61.1	-
40歳代	15	-	-	-	6.7	26.7	33.3	33.3	-
50歳代	21	-	-	-	14.3	19.0	14.3	52.4	-
60歳代	20	-	-	10.0	-	15.0	20.0	50.0	5.0
70歳以上	31	-	-	9.7	6.5	22.6	19.4	38.7	3.2
女性／18・19歳	5	-	20.0	-	20.0	40.0	-	20.0	-
20歳代	19	-	-	-	10.5	26.3	10.5	52.6	-
【再掲】10歳代・20歳代	24	-	4.2	-	12.5	29.2	8.3	45.8	-
30歳代	22	-	4.5	-	9.1	13.6	18.2	54.5	-
40歳代	26	-	-	3.8	-	11.5	23.1	61.5	-
50歳代	23	-	-	-	-	17.4	26.1	52.2	4.3
60歳代	35	-	2.9	2.9	2.9	5.7	8.6	74.3	2.9
70歳以上	41	-	2.4	9.8	-	24.4	9.8	51.2	2.4
職業別									
自営業・家族従業（計）	22	-	-	9.1	-	13.6	31.8	45.5	-
雇用者（計）	157	-	0.6	3.8	5.1	16.6	16.6	55.4	1.9
無職（計）	111	-	2.7	6.3	4.5	22.5	14.4	47.7	1.8
ライフステージ別									
独身期	49	-	2.0	6.1	8.2	18.4	14.3	51.0	-
家族形成期	21	-	4.8	4.8	4.8	19.0	19.0	47.6	-
家族成長前期	29	-	-	-	3.4	17.2	27.6	51.7	-
家族成長後期	27	-	-	3.7	11.1	22.2	22.2	33.3	7.4
家族成熟期	47	-	-	2.1	4.3	12.8	17.0	59.6	4.3
高齢期	58	-	-	13.8	-	22.4	12.1	48.3	3.4
その他	64	-	3.1	1.6	3.1	17.2	15.6	59.4	-

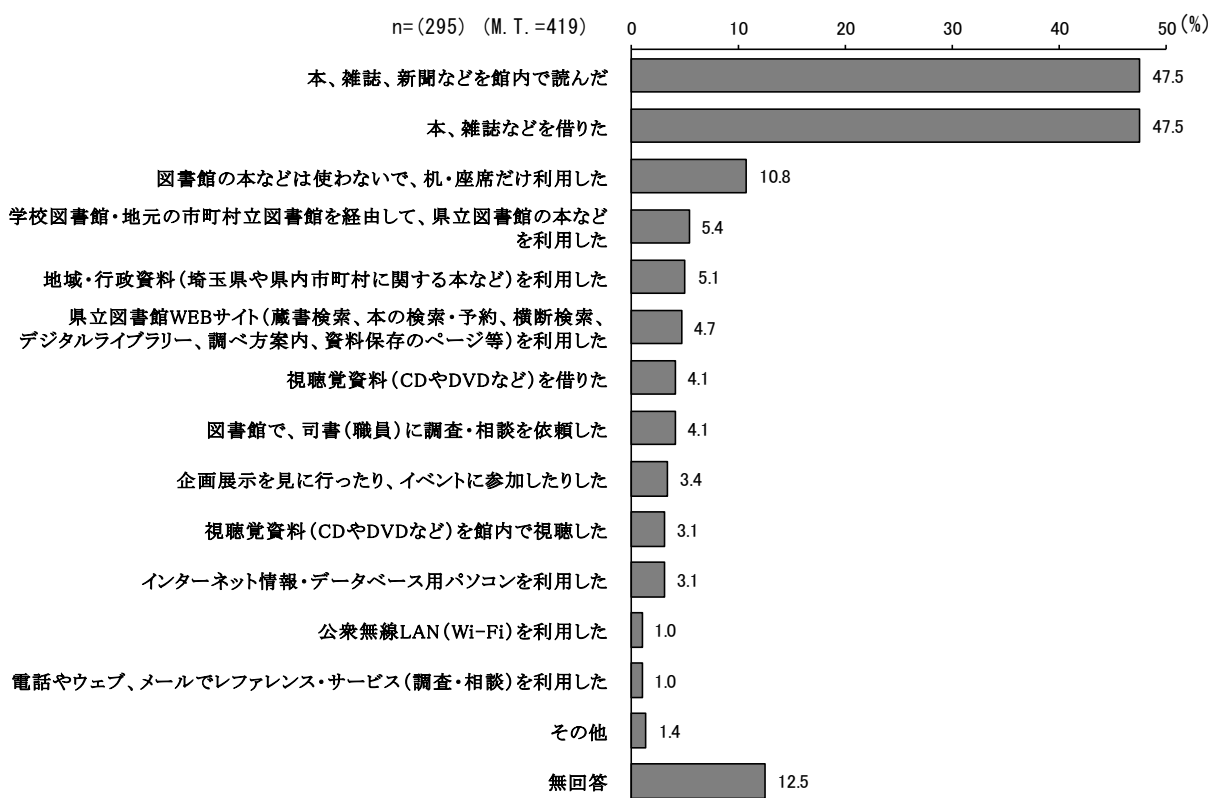
(1-1-2) 県立図書館の利用の仕方

◇「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」、「本、雑誌などを借りた」が47.5%

(問30で「1. 利用したことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問30(1)-2 あなたは県立図書館をどのように利用しましたか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



県立図書館の利用の仕方は、「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」と「本、雑誌などを借りた」(各47.5%)で4割台半ばを超えて高くなっている。次いで「図書館の本などは使わないで、机・座席だけ利用した」(10.8%)、「学校図書館・地元の市町村立図書館を経由して、県立図書館の本などを利用した」(5.4%)、「地域・行政資料(埼玉県や県内市町村に関する本など)を利用した」(5.1%)、「県立図書館WEBサイト(蔵書検索、本の検索・予約、横断検索、デジタルライブラリー、調べ案内、資料保存のページ等)を利用した」(4.7%)などとなっている。

【属性別比較】

※下記の県立図書館の利用の仕方の【属性別比較】は、各属性別層の回答者数（n数）が30に満たない場合は分析の対象外としていますので留意が必要です。

① 地域別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」は利根地域（54.4%）で5割台半ばと最も高く、「本、雑誌などを借りた」は北部地域（53.5%）で5割強と最も高くなっている。

② 性別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」は男性（56.3%）の方が女性（42.1%）よりも14.2ポイント高くなっている。一方で、「本、雑誌などを借りた」は女性（52.6%）の方が男性（42.0%）よりも10.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」は50歳代（57.8%）、「本、雑誌などを借りた」は30歳代（57.5%）で5割台半ばを超えてそれぞれ最も高くなっている。

④ 性・年代別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」は男性70歳以上（51.6%）で5割強と最も高く、「本、雑誌などを借りた」は女性70歳以上（56.1%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」（51.0%）と「本、雑誌などを借りた」（49.0%）は雇用者（計）で5割前後と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「本、雑誌、新聞などを館内で読んだ」は家族成熟期（51.1%）と独身期（51.0%）で5割強と高くなっている。

○県立図書館の利用の仕方・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	本、雑誌、新聞などを館内で読んだ	本、雑誌などを借りた	図書館の本などは使わないで、机・座席だけ利用した	学校図書館・地域の市町村立図書館を經由して、県立図書館の本などを利用した	地域・行政資料（埼玉県や県内市町村に関する本など）を利用した	県立図書館WEBサイト（蔵書検索、本の検索・予約、横断検索、デジタルライブラリー、調べ方案内、資料保存のページ等）を利用した	視聴覚資料（CDやDVDなど）を借りた	図書館で、司書（職員）に調査・相談を依頼した	企画展示を見に行ったり、イベントに参加したりした	視聴覚資料（CDやDVDなど）を館内で視聴した	インターネット情報・データベース用パソコンを利用した	公衆無線LAN（Wi-Fi）を利用した	電話やウェブ、メールでレファレンス・サービス（調査・相談）を利用した	その他	無回答	(%)
全体	295	47.5	47.5	10.8	5.4	5.1	4.7	4.1	4.1	3.4	3.1	3.1	1.0	1.0	1.4	12.5	
地域別																	
南部地域	23	47.8	69.6	4.3	-	13.0	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3
南西部地域	16	50.0	43.8	12.5	-	-	-	-	-	6.3	-	-	6.3	-	6.3	-	12.5
東部地域	27	33.3	48.1	11.1	3.7	11.1	3.7	7.4	7.4	3.7	3.7	-	-	3.7	3.7	18.5	
さいたま地域	55	52.7	50.9	5.5	10.9	5.5	7.3	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	-	-	-	-	12.7
県央地域	18	44.4	38.9	-	5.6	-	11.1	-	11.1	-	-	5.6	-	5.6	-	-	22.2
川越比企地域	31	41.9	48.4	6.5	3.2	3.2	6.5	-	9.7	6.5	3.2	3.2	3.2	3.2	-	-	9.7
西部地域	19	42.1	36.8	15.8	5.3	-	-	-	-	-	5.3	5.3	-	-	-	-	15.8
利根地域	57	54.4	40.4	15.8	5.3	3.5	5.3	3.5	5.3	3.5	1.8	5.3	1.8	-	1.8	14.0	
北部地域	43	46.5	53.5	20.9	4.7	4.7	2.3	14.0	2.3	4.7	4.7	4.7	-	-	2.3	7.0	
秩父地域	3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
性別																	
男性	119	56.3	42.0	10.1	4.2	4.2	3.4	7.6	5.0	2.5	4.2	3.4	2.5	0.8	-	11.8	
女性	171	42.1	52.6	11.7	6.4	5.3	5.3	1.8	3.5	4.1	2.3	2.3	-	1.2	2.3	12.3	
年代別																	
18・19歳	9	55.6	44.4	22.2	-	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
20歳代	29	41.4	58.6	13.8	3.4	3.4	-	3.4	-	-	3.4	3.4	3.4	-	-	-	6.9
【再掲】10歳代・20歳代	38	44.7	55.3	15.8	2.6	10.5	2.6	5.3	-	-	2.6	2.6	2.6	-	-	-	7.9
30歳代	40	42.5	57.5	22.5	12.5	5.0	7.5	5.0	2.5	2.5	-	2.5	2.5	2.5	-	-	5.0
40歳代	42	54.8	50.0	16.7	2.4	2.4	7.1	4.8	2.4	2.4	2.4	-	2.4	-	-	-	2.4
50歳代	45	57.8	46.7	-	-	4.4	4.4	4.4	4.4	-	2.2	8.9	-	-	-	-	8.9
60歳代	55	47.3	32.7	16.4	7.3	3.6	-	1.8	1.8	5.5	1.8	-	-	-	1.8	20.0	
70歳以上	72	41.7	50.0	1.4	6.9	5.6	6.9	4.2	9.7	6.9	5.6	4.2	-	2.8	4.2	19.4	
性・年代別																	
男性／18・19歳	3	100.0	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	10	40.0	40.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	-	20.0
【再掲】10歳代・20歳代	13	53.8	38.5	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-	7.7	7.7	-	-	-	-	15.4
30歳代	18	44.4	50.0	22.2	11.1	-	5.6	11.1	5.6	5.6	-	5.6	5.6	-	-	-	-
40歳代	15	60.0	60.0	13.3	-	-	-	6.7	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-
50歳代	21	66.7	42.9	-	-	-	-	9.5	4.8	-	4.8	4.8	-	-	-	-	9.5
60歳代	20	60.0	25.0	20.0	5.0	10.0	-	5.0	5.0	5.0	5.0	-	-	-	-	-	20.0
70歳以上	31	51.6	41.9	3.2	3.2	3.2	9.7	9.7	9.7	3.2	6.5	3.2	-	3.2	-	-	19.4
女性／18・19歳	5	40.0	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
20歳代	19	42.1	68.4	21.1	-	-	-	5.3	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	24	41.7	66.7	20.8	-	4.2	-	8.3	-	-	4.2	-	-	-	-	-	4.2
30歳代	22	40.9	63.6	22.7	13.6	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	9.1
40歳代	26	50.0	46.2	19.2	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	-	-	-	3.8
50歳代	23	52.2	52.2	-	-	8.7	8.7	-	4.3	-	-	8.7	-	-	-	-	8.7
60歳代	35	40.0	37.1	14.3	8.6	-	-	-	-	5.7	-	-	-	-	-	2.9	20.0
70歳以上	41	34.1	56.1	-	9.8	7.3	4.9	-	9.8	9.8	4.9	4.9	-	2.4	7.3	19.5	
職業別																	
自営業・家族従業（計）	22	45.5	50.0	9.1	-	4.5	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	-	-	-	-	-	4.5
雇用者（計）	157	51.0	49.0	15.3	6.4	2.5	3.8	3.8	3.2	2.5	1.9	2.5	1.3	0.6	0.6	9.6	
無職（計）	111	44.1	45.0	5.4	4.5	8.1	3.6	3.6	5.4	4.5	3.6	3.6	0.9	1.8	2.7	17.1	
ライフステージ別																	
独身期	49	51.0	53.1	22.4	8.2	10.2	4.1	4.1	2.0	2.0	2.0	2.0	4.1	2.0	-	-	2.0
家族形成期	21	38.1	61.9	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8	-	-	4.8	4.8	-	-	-	-	9.5
家族成長前期	29	44.8	44.8	13.8	3.4	6.9	3.4	6.9	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	3.4
家族成長後期	27	55.6	40.7	11.1	3.7	-	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	-	-	-	14.8
家族成熟期	47	51.1	48.9	10.6	4.3	4.3	2.1	-	2.1	2.1	2.1	2.1	-	-	2.1	14.9	
高齢期	58	43.1	43.1	3.4	5.2	3.4	1.7	3.4	5.2	6.9	1.7	1.7	-	1.7	3.4	20.7	
その他	64	46.9	45.3	6.3	6.3	4.7	6.3	4.7	7.8	3.1	6.3	6.3	-	1.6	1.6	15.6	

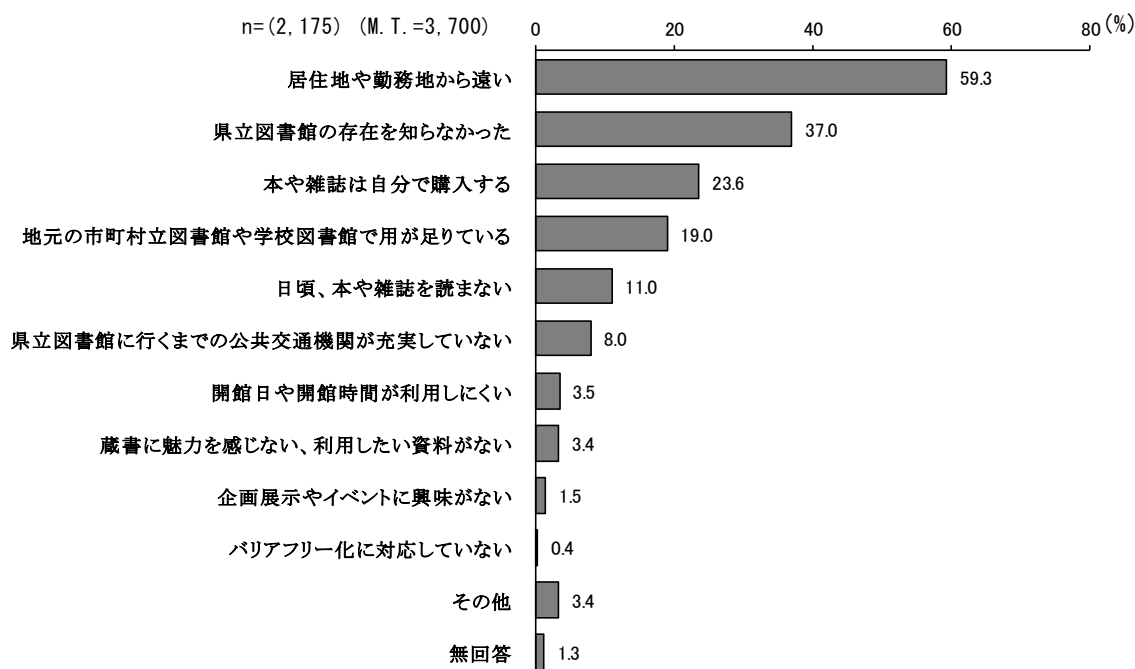
(1-2) 県立図書館を利用しない理由

◇「居住地や勤務地から遠い」が59.3%

(問30で「2. 利用したことがない」とお答えの方にお伺いします。)

問30(2) あなたが県立図書館を利用しない理由を教えてください。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



県立図書館を利用しない理由は、「居住地や勤務地から遠い」(59.3%)が約6割と最も高くなっている。次いで「県立図書館の存在を知らなかった」(37.0%)、「本や雑誌は自分で購入する」(23.6%)、「地元の市町村立図書館や学校図書館で用が足りている」(19.0%)、「日頃、本や雑誌を読まない」(11.0%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「居住地や勤務地から遠い」は南西部地域(71.9%)で7割強と最も高く、「県立図書館の存在を知らなかった」は南部地域(45.8%)で4割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「居住地や勤務地から遠い」は女性(63.8%)の方が男性(54.1%)よりも9.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「居住地や勤務地から遠い」は60歳代(63.4%)で6割強と最も高く、「県立図書館の存在を知らなかった」は40歳代(45.5%)で4割台半ばと最も高くなっている。

④ 性・年代別

「居住地や勤務地から遠い」は女性 30 歳代（70.3%）で7割を超えて最も高く、「県立図書館の存在を知らなかった」は女性 40 歳代（47.6%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

「居住地や勤務地から遠い」は雇用者（計）（62.2%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「居住地や勤務地から遠い」は家族成長前期（70.3%）で7割を超えて最も高くなっている。

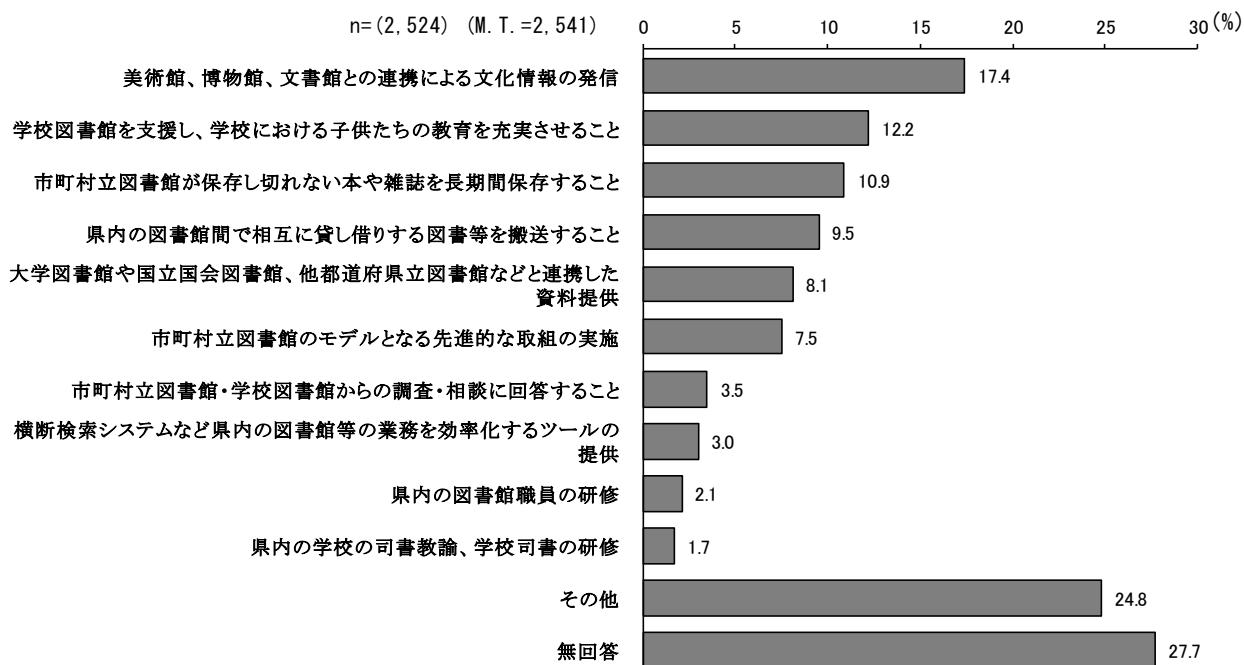
○県立図書館を利用しない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	居住地や勤務地から遠い	県立図書館の存在を知らなかった	本や雑誌は自分で購入する	地元図書館で用が足りていない	日頃、本や雑誌を読まない	県立図書館が充実していない	開館日や開館時間が利用しにくい	蔵書に魅力を感じない、利用したい資料がない	企画展示やイベントに興味が無い	バーニアフリー化に対応していない	その他	無回答
	n												(%)
全体	2,175	59.3	37.0	23.6	19.0	11.0	8.0	3.5	3.4	1.5	0.4	3.4	1.3
地域別													
南部地域	212	62.7	45.8	22.6	19.3	6.6	8.5	3.8	2.8	-	0.5	5.2	-
南西部地域	203	71.9	37.4	22.2	16.3	6.4	7.4	3.0	3.9	1.0	0.5	3.0	0.5
東部地域	362	60.8	37.6	23.5	18.5	12.4	6.9	3.3	3.0	1.9	-	3.9	0.8
さいたま地域	389	49.6	35.0	28.0	20.1	9.0	4.4	3.3	2.8	1.3	-	3.3	1.3
県央地域	173	58.4	41.6	22.5	22.0	15.0	7.5	3.5	4.0	1.2	0.6	2.9	-
川越比企地域	250	66.8	39.2	26.0	18.4	10.4	11.6	4.0	2.4	2.0	0.4	3.2	1.2
西部地域	235	67.2	38.7	16.2	16.6	12.8	11.5	1.7	2.1	0.9	1.3	4.3	3.0
利根地域	183	48.6	31.1	27.3	23.5	15.8	8.7	5.5	4.4	3.3	0.5	1.1	2.7
北部地域	115	47.8	23.5	21.7	20.0	13.0	7.0	6.1	7.0	2.6	-	4.3	1.7
秩父地域	33	57.6	27.3	15.2	15.2	9.1	6.1	-	12.1	3.0	-	-	-
性別													
男性	953	54.1	38.1	22.5	15.9	12.5	7.1	4.1	3.8	2.3	0.2	3.1	1.3
女性	1,176	63.8	36.3	24.5	21.9	9.5	8.7	3.1	3.1	0.9	0.3	3.7	1.3
年代別													
18・19歳	26	53.8	42.3	11.5	19.2	23.1	3.8	-	15.4	-	-	-	-
20歳代	172	53.5	39.5	19.2	12.8	14.5	2.9	3.5	5.2	0.6	1.2	1.7	-
【再掲】10歳代・20歳代	198	53.5	39.9	18.2	13.6	15.7	3.0	3.0	6.6	0.5	1.0	1.5	-
30歳代	257	60.7	44.0	15.2	12.5	11.7	4.3	3.9	6.2	1.9	-	1.9	-
40歳代	332	62.3	45.5	18.4	13.3	10.5	5.1	4.2	2.4	0.9	-	2.1	-
50歳代	405	59.8	38.0	20.7	14.1	11.6	5.2	4.4	3.0	1.7	-	3.2	-
60歳代	429	63.4	35.0	28.2	21.2	7.2	9.6	3.7	3.5	1.9	0.5	4.2	1.2
70歳以上	538	55.2	28.1	31.2	29.9	11.7	13.8	2.2	1.9	1.7	0.7	5.2	4.1
性・年代別													
男性／18・19歳	6	50.0	33.3	33.3	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-
20歳代	76	46.1	39.5	15.8	7.9	21.1	1.3	1.3	3.9	-	-	-	-
【再掲】10歳代・20歳代	82	46.3	39.0	17.1	7.3	19.5	1.2	1.2	4.9	-	-	-	-
30歳代	108	47.2	42.6	15.7	13.0	14.8	2.8	4.6	6.5	3.7	-	-	-
40歳代	141	60.3	42.6	19.9	9.9	10.6	4.3	4.3	2.8	0.7	-	2.8	-
50歳代	182	53.3	38.5	25.3	8.2	14.8	3.8	7.1	4.4	3.3	-	2.7	-
60歳代	198	58.6	38.9	20.7	18.2	9.6	11.1	4.5	5.1	3.0	0.5	4.0	1.5
70歳以上	242	53.3	32.2	28.1	27.7	10.7	12.0	2.1	1.2	2.1	0.4	5.4	3.7
女性／18・19歳	19	57.9	42.1	5.3	26.3	31.6	5.3	-	15.8	-	-	-	-
20歳代	88	62.5	40.9	22.7	18.2	9.1	4.5	4.5	5.7	1.1	-	2.3	-
【再掲】10歳代・20歳代	107	61.7	41.1	19.6	19.6	13.1	4.7	3.7	7.5	0.9	-	1.9	-
30歳代	148	70.3	45.3	14.9	12.2	9.5	5.4	3.4	6.1	0.7	-	3.4	-
40歳代	185	64.9	47.6	16.8	16.2	10.3	5.9	4.3	2.2	1.1	-	1.6	-
50歳代	220	64.5	38.2	17.3	19.1	9.1	6.4	2.3	1.8	0.5	-	3.6	-
60歳代	228	67.1	31.1	34.2	24.1	5.3	8.3	3.1	2.2	0.9	0.4	4.4	0.9
70歳以上	286	57.0	24.8	33.9	32.2	11.2	15.4	2.4	2.4	1.4	0.7	5.2	4.5
職業別													
自営業・家族従業（計）	157	51.6	33.8	35.7	15.9	13.4	4.5	3.2	2.5	1.9	-	2.5	3.2
雇用者（計）	1,161	62.2	40.0	19.3	14.0	11.0	5.7	4.6	4.0	1.6	0.2	2.8	0.1
無職（計）	828	56.8	33.5	27.5	26.3	10.7	11.4	1.9	2.9	1.4	0.6	4.5	2.3
ライフステージ別													
独身期	255	57.6	37.3	20.0	13.3	12.2	4.7	4.3	7.5	2.0	0.4	2.4	-
家族形成期	152	54.6	48.7	13.2	11.8	14.5	3.3	3.3	4.6	-	0.7	0.7	-
家族成長前期	172	70.3	51.7	8.1	16.9	8.1	4.1	2.9	1.7	0.6	-	1.2	-
家族成長後期	136	61.8	39.7	18.4	14.7	7.4	7.4	5.1	2.2	2.2	0.7	2.9	1.5
家族成熟期	403	63.8	30.3	22.8	20.3	12.7	7.7	2.7	3.2	2.5	0.2	3.0	0.7
高齢期	510	59.2	34.5	31.8	29.8	10.4	12.0	2.4	1.4	1.6	0.4	4.7	1.4
その他	547	53.9	35.5	27.4	14.4	10.8	8.8	4.6	4.0	1.1	0.4	4.6	3.1

(2) 知っている県立図書館のサービス

◇「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」が17.4%

問31 あなたが知っている県立図書館のサービスを選んでください。
次の中からあてはまるものをすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



知っている県立図書館のサービスは、「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」(17.4%)が1割台半ばを超えて最も高く、次いで「学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること」(12.2%)、「市町村立図書館が保存し切れない本や雑誌を長期間保存すること」(10.9%)、「県内の図書館間で相互に貸し借りする図書等を搬送すること」(9.5%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」は川越比企地域（19.8%）と北部地域（19.5%）で約2割と高くなっている。「学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること」は川越比企地域（14.9%）と県央地域（14.6%）で1割台半ばと最も高くなっている。

② 性別

「学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること」は女性（14.6%）の方が男性（9.7%）よりも4.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」は60歳代（20.3%）が2割を超えて最も高くなっている。「学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること」は10歳代・20歳代（17.8%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

④ 性・年代別

「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」は男性10歳代・20歳代（21.1%）と女性の60歳代（20.8%）と70歳以上（20.2%）で2割台前半と高くなっている。

⑤ 職業別

「学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること」は自営業・家族従業（計）（14.1%）で1割台半ばと最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信」は高齢期（20.5%）で2割を超えて最も高くなっている。

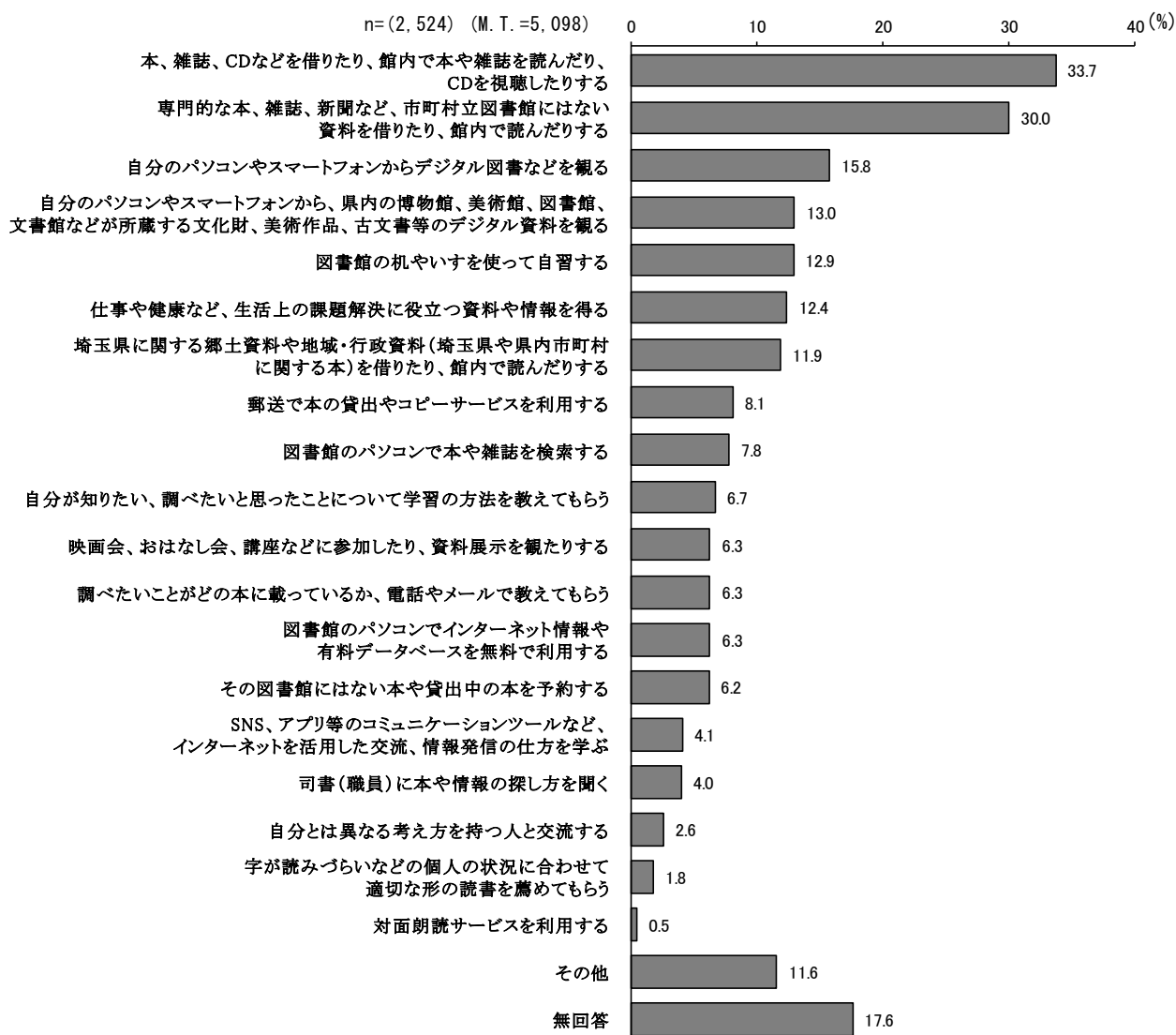
○知っている県立図書館のサービス・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	信の連携による文化情報の発信	美術館、博物館、文書館と充実にあわせること	学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を	存続させること	市町村立図書館が長期保存し切れない本や雑誌を	市町村立図書館が相互に貸し借りする図書等を搬送する	県内の図書館間で相互に貸し借りする図書等を搬送する	どと連携した資料提供	大学、図書館や国立国会図書館、他道府県立図書館など	市町村立図書館のモデルとなる先進的な取組の実施	市町村立図書館・学校図書から調査・相談に回答すること	市町村立図書館の業務を効率化するツール等の提供	横断検索システムなど県内の図書館等との業務を効率化する	県内の図書館職員の研修	県内の学校の司書教諭、学校司書の研修	その他	無回答
全体	2,524	17.4	12.2	10.9	9.5	8.1	7.5	3.5	3.0	2.1	1.7	24.8	27.7					
地域別																		
南部地域	242	18.2	8.3	12.0	8.7	7.4	8.3	4.1	2.9	0.8	1.7	26.9	26.0					
南西部地域	224	17.4	10.7	8.5	8.5	5.4	6.3	3.1	1.8	2.2	2.7	31.7	25.9					
東部地域	399	13.8	13.3	7.0	9.8	7.5	8.0	4.3	3.5	2.0	1.3	29.6	27.3					
さいたま地域	451	18.8	11.5	11.5	11.1	11.1	7.5	3.8	3.1	1.8	1.8	20.6	28.6					
県央地域	192	16.7	14.6	14.6	13.0	8.9	6.3	4.2	3.1	1.6	1.6	19.8	25.5					
川越比企地域	288	19.8	14.9	13.9	7.6	8.7	6.9	3.5	2.4	2.4	2.1	22.6	25.7					
西部地域	259	17.4	11.2	7.3	5.8	7.3	7.3	2.7	2.3	3.5	0.8	28.2	30.5					
利根地域	244	18.9	12.7	13.5	11.5	7.0	9.4	3.7	5.3	2.0	1.6	25.0	25.8					
北部地域	159	19.5	13.8	10.7	10.7	8.8	8.2	1.3	3.1	3.1	1.9	18.9	27.0					
秩父地域	37	8.1	13.5	16.2	8.1	2.7	-	-	-	-	-	27.0	32.4					
性別																		
男性	1,092	17.9	9.7	10.9	9.2	8.2	8.3	3.6	3.2	1.7	1.6	28.2	23.9					
女性	1,369	17.2	14.6	10.8	9.9	8.1	6.6	3.4	2.9	2.3	1.7	22.6	29.5					
年代別																		
18・19歳	35	17.1	20.0	25.7	8.6	5.7	2.9	5.7	8.6	5.7	2.9	11.4	14.3					
20歳代	201	19.4	17.4	10.4	9.0	14.4	7.0	5.0	5.0	2.0	1.5	23.4	16.9					
【再掲】10歳代・20歳代	236	19.1	17.8	12.7	8.9	13.1	6.4	5.1	5.5	2.5	1.7	21.6	16.5					
30歳代	300	15.7	16.0	10.0	11.3	7.0	4.0	4.7	3.7	2.0	3.0	29.3	17.7					
40歳代	378	12.2	10.8	10.1	9.5	7.4	6.1	4.0	2.9	2.4	2.4	34.4	19.6					
50歳代	456	16.2	10.3	11.2	9.4	6.8	7.2	2.9	3.9	1.5	1.3	28.3	26.1					
60歳代	492	20.3	12.8	11.2	9.6	10.0	8.3	2.2	2.2	2.8	1.4	25.0	25.0					
70歳以上	636	19.7	10.4	10.5	9.1	6.8	9.9	3.6	1.9	1.6	1.1	16.2	42.8					
性・年代別																		
男性／18・19歳	9	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1	-					
20歳代	86	22.1	18.6	9.3	10.5	17.4	7.0	5.8	4.7	2.3	1.2	18.6	12.8					
【再掲】10歳代・20歳代	95	21.1	18.9	12.6	10.5	16.8	6.3	6.3	4.2	3.2	2.1	17.9	11.6					
30歳代	127	18.9	8.7	7.9	12.6	7.9	7.1	6.3	3.9	0.8	3.9	29.9	13.4					
40歳代	158	12.7	10.8	8.9	7.6	3.8	5.1	6.3	3.2	2.5	2.5	39.2	17.1					
50歳代	206	15.0	9.2	13.1	8.7	6.8	7.8	1.5	4.9	1.9	1.9	33.0	21.8					
60歳代	220	19.1	7.3	11.8	9.5	10.9	10.5	1.4	1.8	1.8	0.9	31.8	19.1					
70歳以上	285	20.0	8.4	10.2	8.4	6.7	10.2	3.2	2.5	1.1	0.4	18.6	41.8					
女性／18・19歳	24	20.8	20.8	20.8	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	4.2	-	8.3	20.8					
20歳代	107	15.9	16.8	10.3	8.4	12.1	6.5	3.7	5.6	-	0.9	28.0	20.6					
【再掲】10歳代・20歳代	131	16.8	17.6	12.2	7.6	10.7	6.1	3.8	6.1	0.8	0.8	24.4	20.6					
30歳代	172	13.4	21.5	11.0	10.5	6.4	1.7	3.5	3.5	2.9	2.3	29.1	20.9					
40歳代	213	11.3	10.8	10.3	10.8	9.9	6.6	2.3	2.8	2.3	2.3	30.5	21.6					
50歳代	246	17.5	11.4	9.8	10.2	6.5	6.5	3.7	3.3	1.2	0.8	24.8	29.3					
60歳代	269	20.8	17.5	10.8	9.7	9.3	6.3	3.0	2.6	3.7	1.9	19.7	29.7					
70歳以上	336	20.2	12.5	11.3	9.8	7.1	9.8	4.2	1.5	2.1	1.8	14.3	42.0					
職業別																		
自営業・家族従業（計）	184	18.5	14.1	12.5	7.6	6.5	7.6	3.8	3.3	0.5	1.1	24.5	29.9					
雇用者（計）	1,336	17.2	12.3	10.9	10.0	8.1	7.0	3.6	3.5	2.4	2.0	28.2	21.6					
無職（計）	958	18.1	12.3	10.8	9.5	8.6	8.2	3.4	2.4	1.9	1.3	20.7	33.6					
ライフステージ別																		
独身期	305	17.0	15.4	13.8	11.8	11.5	6.2	5.6	6.9	3.0	3.6	24.3	13.4					
家族形成期	175	17.1	16.0	9.7	8.6	7.4	5.1	4.0	1.1	0.6	-	26.3	22.9					
家族成長前期	203	12.3	15.3	7.4	10.3	7.4	4.9	2.0	3.0	2.0	2.5	35.0	21.7					
家族成長後期	164	15.9	7.9	8.5	8.5	7.3	9.1	6.1	5.5	4.3	4.3	23.8	23.2					
家族成熟期	459	16.1	13.1	10.9	9.2	8.5	8.5	1.7	2.4	2.0	0.7	25.5	25.9					
高齢期	586	20.5	12.8	12.6	9.2	7.7	8.0	3.4	1.5	2.0	1.2	18.4	35.8					
その他	632	17.7	8.7	9.8	9.3	7.3	7.9	3.5	2.8	1.6	1.4	27.1	32.8					

(3) 県立図書館で利用したいサービス

◇「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」が33.7%

問32 あなたが県立図書館で利用したいサービスを選んでください。次の中からあてはまるものをすべてを選んでください。(〇はいくつでも)



県立図書館で利用したいサービスは、「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」(33.7%)で3割強と最も高くなっている。次いで「専門的な本、雑誌、新聞など、市町村立図書館にはない資料を借りたり、館内で読んだりする」(30.0%)、「自分のパソコンやスマートフォンからデジタル図書などを観る」(15.8%)、「自分のパソコンやスマートフォンから、県内の博物館、美術館、図書館、文書館などが所蔵する文化財、美術作品、古文書等のデジタル資料を観る」(13.0%)などとなっている。

【属性別比較】

① 地域別

「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」は利根地域（40.6%）と県央地域（39.6%）で4割前後と高くなっている。

② 性別

「自分のパソコンやスマートフォンからデジタル図書などを観る」は男性（17.8%）の方が女性（14.8%）よりも3.0ポイント高くなっている。

③ 年代別

「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」は10歳代・20歳代（53.0%）で5割強と最も高く、年代が上がるほど低くなっている。

④ 性・年代別

「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」は男女ともに10歳代・20歳代（男性54.7%、女性54.2%）で5割台半ばと最も高く、年代が上がるほど低くなる傾向にある。

⑤ 職業別

「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」は雇用者（計）（38.0%）で4割弱と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする」は独身期（48.2%）と家族形成期（47.4%）で高く、「専門的な本、雑誌、新聞など、市町村立図書館にはない資料を借りたり、館内で読んだりする」も独身期（40.7%）と家族形成期（40.0%）で4割以上と高くなっている。

○県立図書館で利用したいサービス・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	33.7	30.0	15.8	13.0	12.9	12.4	11.9	8.1	7.8	6.7	6.3	6.3	6.2	4.1	4.0	2.6	1.8	0.5	11.6	17.6	
全体	2,524	33.7	30.0	15.8	13.0	12.9	12.4	11.9	8.1	7.8	6.7	6.3	6.3	6.2	4.1	4.0	2.6	1.8	0.5	11.6	17.6	
地域別																						
南部地域	242	36.8	29.8	16.5	14.0	13.6	15.3	15.3	9.1	11.2	5.4	6.6	7.0	6.6	4.5	3.7	5.0	3.3	1.7	-	10.3	12.8
南西部地域	224	29.0	30.8	21.0	16.5	14.3	10.3	9.8	9.8	5.8	5.4	4.5	4.9	5.8	5.4	4.5	4.0	2.7	0.9	0.4	11.2	17.4
東部地域	399	33.8	24.6	16.3	13.0	11.3	11.0	9.3	8.8	8.5	8.3	5.5	5.8	5.8	6.5	4.0	4.3	2.3	2.0	0.3	15.5	19.3
さいたま地域	451	35.5	33.7	16.2	14.6	14.4	12.2	12.4	9.3	6.4	5.6	6.7	6.4	6.7	8.0	4.9	2.4	2.0	1.3	1.1	9.5	16.4
県央地域	192	39.6	29.2	16.1	12.5	12.0	13.5	10.4	5.7	11.5	7.8	7.8	8.3	7.3	7.8	6.3	5.2	5.2	1.0	-	8.3	13.5
川越比企地域	288	31.3	32.6	14.2	13.5	12.5	12.5	16.0	6.9	7.3	10.1	8.3	7.3	6.6	6.6	3.8	5.9	2.8	3.8	0.7	12.2	19.1
西部地域	259	27.4	29.7	17.0	14.3	10.4	8.5	7.7	7.3	6.2	5.8	4.6	4.6	5.8	3.5	4.6	1.9	2.7	1.9	0.4	16.6	18.1
利根地域	244	40.0	33.6	11.5	9.0	15.6	15.2	13.9	6.6	9.0	4.5	7.4	7.0	7.8	8.2	2.0	4.9	1.2	2.5	0.8	10.7	19.3
北部地域	159	32.7	30.8	13.2	8.2	14.5	15.7	13.2	6.9	7.5	9.4	6.3	6.3	2.5	5.0	2.5	4.4	3.1	-	-	7.5	12.6
秩父地域	37	21.6	18.9	24.3	8.1	2.7	13.5	10.8	8.1	-	-	5.4	2.7	10.8	-	2.7	-	-	-	-	16.2	27.0
性別																						
男性	1,092	34.2	29.9	17.8	13.3	12.1	10.8	13.2	6.1	6.7	5.1	5.3	5.0	6.6	4.2	3.7	3.2	2.7	0.5	0.1	13.3	15.6
女性	1,369	34.0	30.8	14.8	13.1	13.7	13.7	11.0	9.7	8.8	8.0	7.3	7.2	6.2	7.9	4.5	4.8	2.6	2.8	0.9	10.3	18.2
年代別																						
18・19歳	35	45.7	31.4	20.0	8.6	45.7	8.6	20.0	8.6	8.6	8.6	11.4	5.7	11.4	8.6	20.0	2.9	11.4	-	-	2.9	-
20歳代	201	54.2	42.3	23.4	17.4	31.3	15.4	7.0	14.4	13.9	6.5	7.5	8.0	10.0	9.5	5.5	3.5	4.5	0.5	1.0	6.5	3.0
【再掲】10歳代・20歳代	236	53.0	40.7	22.9	16.1	33.5	14.4	8.9	13.6	13.1	6.8	8.1	7.6	10.2	9.3	7.6	3.4	5.5	0.4	0.8	5.9	2.5
30歳代	300	44.0	39.3	24.0	15.7	20.3	14.3	8.3	10.3	11.0	7.0	10.7	5.3	8.7	8.7	4.0	4.7	3.3	0.3	-	7.0	4.7
40歳代	378	39.7	35.4	19.3	14.0	18.0	11.6	13.0	12.4	10.8	6.3	8.5	6.3	6.6	7.7	2.9	3.2	3.2	1.1	0.5	11.4	6.6
50歳代	456	36.8	36.4	20.6	15.6	11.2	12.9	13.2	7.2	10.1	6.4	4.2	5.5	8.6	6.6	5.5	2.9	2.6	1.5	0.7	11.6	11.2
60歳代	492	27.6	26.2	14.6	15.4	7.9	11.2	13.6	5.9	4.9	6.9	6.1	6.1	5.3	5.1	3.9	4.5	2.0	2.6	0.2	15.7	18.1
70歳以上	636	21.2	17.5	5.3	6.4	3.9	11.9	12.1	4.9	3.3	6.9	4.2	7.1	2.7	3.8	2.8	5.0	1.4	3.0	0.8	13.4	38.4
性・年代別																						
男性／18・19歳	9	55.6	44.4	11.1	11.1	44.4	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	-	-	-	-
20歳代	86	54.7	39.5	23.3	14.0	26.7	11.6	4.7	8.1	5.8	-	7.0	7.0	12.8	3.5	3.5	-	3.5	-	1.2	7.0	1.2
【再掲】10歳代・20歳代	95	54.7	40.0	22.1	13.7	28.4	11.6	8.4	8.4	6.3	1.1	9.5	7.4	12.6	5.3	5.3	1.1	5.3	-	1.1	6.3	1.1
30歳代	127	42.5	40.9	29.9	16.5	20.5	12.6	7.1	7.1	11.0	8.7	8.7	4.7	8.7	7.1	3.9	3.9	5.5	-	-	6.3	2.4
40歳代	158	38.6	30.4	20.9	15.2	19.6	11.4	13.9	7.0	10.1	3.8	7.6	3.8	5.7	3.2	3.2	2.5	3.8	-	-	12.7	5.7
50歳代	206	39.3	36.4	20.4	13.6	10.2	13.6	17.5	7.3	9.2	7.8	3.9	3.4	8.3	4.9	5.8	1.9	3.4	0.5	-	11.7	10.2
60歳代	220	28.6	26.8	16.8	15.9	6.4	9.1	13.2	4.5	4.5	6.4	4.1	4.5	6.4	4.1	2.7	3.2	1.8	0.9	-	19.5	16.4
70歳以上	285	21.8	18.9	8.1	8.1	4.6	8.8	14.0	4.9	2.8	2.8	3.2	6.7	3.2	2.8	2.5	4.9	0.4	0.7	-	15.4	35.1
女性／18・19歳	24	45.8	29.2	25.0	8.3	50.0	8.3	8.3	8.3	8.3	4.2	4.2	4.2	12.5	4.2	16.7	-	-	-	-	-	-
20歳代	107	56.1	44.9	25.2	20.6	35.5	17.8	7.5	20.6	19.6	10.3	8.4	9.3	8.4	14.0	7.5	6.5	4.7	0.9	0.9	5.6	4.7
【再掲】10歳代・20歳代	131	54.2	42.0	25.2	18.3	38.2	16.0	7.6	18.3	17.6	9.9	7.6	8.4	9.2	12.2	9.2	5.3	5.3	0.8	0.8	4.6	3.8
30歳代	172	45.3	38.4	19.2	15.1	20.3	15.7	9.3	12.8	11.0	5.8	12.2	5.2	8.7	9.9	4.1	5.2	1.7	0.6	-	7.6	6.4
40歳代	213	40.4	39.9	18.3	13.6	16.9	12.2	12.7	16.9	11.3	8.0	9.4	7.5	7.5	10.8	2.8	3.8	2.8	1.9	0.9	9.9	7.5
50歳代	246	35.0	35.8	21.1	17.5	11.8	12.2	9.3	6.5	11.0	5.3	4.5	6.5	8.9	8.1	4.9	3.7	2.0	2.0	1.2	11.8	11.8
60歳代	269	27.1	26.0	13.0	15.2	9.3	12.6	14.1	7.1	5.2	7.4	7.8	7.4	4.5	5.9	4.8	5.6	2.2	4.1	0.4	12.6	19.0
70歳以上	336	21.4	16.7	3.3	5.1	3.3	14.6	11.0	4.8	3.9	10.7	5.1	7.7	2.4	4.8	3.3	5.4	2.4	5.1	1.5	11.3	40.5
職業別																						
自営業・家族従業（計）	184	27.2	28.8	16.8	16.3	9.8	14.7	16.3	9.8	8.2	7.1	8.7	4.9	9.2	6.5	5.4	7.1	2.7	3.3	-	9.8	19.6
雇用者（計）	1,336	38.0	34.7	19.8	15.0	15.6	13.3	10.9	8.5	9.4	6.0	6.7	5.5	7.2	6.8	4.1	3.9	2.8	0.7	0.4	10.6	9.7
無職（計）	958	29.6	24.7	10.9	10.1	9.9	10.9	12.8	7.4	5.5	7.7	5.6	7.9	4.6	5.5	3.9	3.7	2.4	3.0	0.8	13.7	26.4
ライフステージ別																						
独身期	305	48.2	40.7	24.9	16.4	31.8	14.1	8.5	12.1	13.8	7.2	7.2	6.6	12.5	10.2	6.9	4.6	4.9	-	0.7	7.5	2.6
家族形成期	175	47.4	40.0	21.7	16.0	20.6	15.4	9.1	11.4	9.1	8.6	15.4	5.1	5.7	8.0	4.0	2.3	4.6	-	0.6	5.1	5.7
家族成長前期	203	43.3	38.9	19.7	13.8	16.7	12.3	11.8	10.3	10.3	4.9	10.8	6.9	3.9	6.4	3.4	4.4	2.5	1.5	0.5	7.9	5.9
家族成長後期	164	39.0	34.8	22.6	17.1	18.3	7.9	15.2	9.1	11.6	3.7	5.5	6.1	6.1	4.9	3.7	3.7	2.4	2.4	0.6	10.4	10.4
家族成熟期	459	27.9	30.1	16.1	13.9	7.4	13.1	13.9	7.8	6.3	5.9	3.5	6.1	4.8	6.3	5.0	3.3	2.6	1.3	0.7	13.7	16.8
高齢期	586	23.2	20.6	10.4	11.1	4.8	11.8	12.5	5.1	3.8	7.5	5.1	7.8	4.3	5.1	2.7	4.8	1.5	3.4	0.5	13.7	29.7
その他	632	32.3	26.6	11.7	10.4	10.4	11.9	11.4	7.1	7.4	7.3	5.4	5.1	7.1	4.9	3.6	4.0	2.1	1.9	0.3	13.6	23.1

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査 調査票

(令和4年7月 / 調査実施主体：埼玉県)

御回答にあたってのお願い

回答方法は“郵送”または“インターネット”のいずれかをお選びいただけます。

【郵送で回答する場合】

- ・ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。(○は1つだけ)の質問では、当てはまる選択肢の番号1つを囲むように○印をつけてください。例)①
また、(○はいくつでも)や(○は3つまで)などの複数回答可の質問では、当てはまる選択肢の番号すべて、または指定の数を選び、番号を囲むように○印をつけてください。
- ・ お答えが「その他」に当てはまる場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ 御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要/宛先は調査実施機関)に入れ、令和4年7月29日(金)までにポストに投函してください。
(お名前や御住所の記入は不要です)

【インターネットで回答する場合】

回答用ID : _____ パスワード : _____

- ・ 別紙「令和4年度埼玉県政世論調査オンライン回答の御案内」を御覧ください。

【回答期限(郵送・インターネット共通)】

令和4年7月29日(金)

○お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について/県調査担当部署】

- ・ 埼玉県 県民生活部 県民広聴課 広聴・知事への提案担当
- ・ 電話：048-830-2850 (平日 8:30~17:15)

【調査票の記入方法・締め切りなどについて/調査実施機関】

- ・ 株式会社サーベイリサーチセンター 静岡事務所
- ・ 電話：054-260-5123 (平日 9:00~18:00)

※「調査票・単純集計表」の集団母数について

特にサンプル数の表記のない設問は、全数ベース（n=2,524）で集計しており、集計母数の記載（n=2,524）を割愛した。なお、一部の該当設問については、設問ごとにその設問の集計母数を表記した。

I 生活意識について

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。

お宅の暮らし向きは、今年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。
（○は1つだけ）

1.3 楽になった	29.6 少し苦しくなった	44.1 変わらない	1.0 無回答
3.7 少し楽になった	18.9 苦しくなった	1.4 わからない	

（問1で「少し苦しくなった」または「苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。）

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

n=1,224

52.5 賃金などの収入が増えない、または減った	10.4 結婚、出産、病気など特別な出費が増えた
12.3 失業、退職、病気などで働き手が減った	11.8 金利が低い
3.9 事業などの経費が増えた	25.9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた
52.5 家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた	9.4 その他
12.8 教育費が増えた	0.6 特になし
24.3 家や自動車、家電などの支出が増えた	0.4 わからない
31.6 税金や保険料などの支払いが増えた	0.2 無回答

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。

（○は1つだけ）

0.1 上の上	28.4 中の上	14.2 下の上	15.2 わからない
2.1 上の下	34.2 中の下	4.8 下の下	0.9 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。（○は1つだけ）

2.9 大変満足している	36.1 やや不満である	5.0 わからない
44.1 まあ満足している	10.3 大変不満である	1.6 無回答

問4 次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

	大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	わからない	無回答
(1) 自分や家族の健康について	7.7	51.2	28.2	9.2	2.1	1.6
(2) 近所や職場での人間関係について	5.7	61.5	19.4	4.1	7.2	2.3
(3) 家庭内の夫婦・親子関係について	19.1	54.1	15.3	3.7	5.3	2.4
(4) 収入や預貯金など経済的な面について	2.2	29.8	39.5	23.0	3.9	1.6
(5) 精神的な充実感について	4.7	45.7	32.4	10.6	5.1	1.5

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。(○は1つだけ)

12.2 魅力を感じる	6.7 魅力を感じない
46.6 どちらかといえば魅力を感じる	11.8 わからない
20.9 どちらかといえば魅力を感じない	1.8 無回答

(問5で「魅力を感じる」または「どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問5-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=1,484

38.0 山、川などの自然が豊か	22.6 地域の人の良さや優しさ
14.6 魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある	8.6 魅力的な街並み、歴史的建造物がある
10.2 魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある	9.4 埼玉県のスポーツチーム
61.2 道路や交通の便がよい	6.7 埼玉県出身の歴史上の人物、著名人
78.8 住みやすさ	4.6 埼玉県のご当地キャラクター
11.0 埼玉県産の食材や特産品	7.3 その他
5.9 埼玉県の郷土料理やご当地グルメ	- 無回答

II 日常生活について

問6 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、地域社会活動(※)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

※地域社会活動とは、例えば以下のような活動です。SNSやWeb会議システムを活用したオンラインでの参加も含まれます。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールや清掃活動等、町内会や自治会の活動 ・地域のイベント・祭事等への参加 ・PTA活動や子供会の活動 ・障がい者や高齢者のための活動 ・青少年健全育成のための活動 ・みどりや川の再生活動など環境保全の活動 ・子ども食堂やフードバンクへの寄付、募金などの活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSや地域新聞、掲示板等を活用した地域情報の発信活動 ・子育てサロンや高齢者サロン等、地域サロンへの参加 ・趣味や経験を通じた地域のクラブ・サークル活動への参加 ・生涯学習や市(町)民大学への参加 ・その他、地域活動やボランティア・NPO・寄付活動、地域とつながり交流する活動 |
|--|--|

35.8 ある	→ 問6(2)へ	62.6 ない	1.6 無回答
---------	----------	---------	---------

(問6(1)で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

(1)-1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで)

n=1,581

29.0 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない	26.3 興味がない
11.0 団体・活動についての情報が得られない	7.0 その他
28.5 参加するきっかけが得られない	8.0 特になし
10.5 参加したいと思う団体や活動がない	1.6 わからない
16.6 新型コロナウイルス感染症により活動ができない	1.7 無回答

(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動(※)を行ったことがありますか。(○は1つだけ)
(趣味、クラブ・サークル活動、体験教室、習い事などで行う活動も含まれます。)

※文化芸術活動とは、例えば以下のような分野での活動です。インターネット上で行う活動も対象です。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、クラシック、楽器演奏など) ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など) ・写真(風景、人物写真など) ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など) ・生活文化(書道、茶道、華道、盆栽など) ・国民娯楽(囲碁、将棋など) | <ul style="list-style-type: none"> ・舞踊(バレエ、ダンス、よさこいなど) ・伝統芸能(和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域のお祭りなど) ・演劇(現代劇、ミュージカルなど) ・演芸(落語、漫談、漫才など) ・伝統工芸、文化財の継承・保存 ・映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 |
|--|--|

27.6 ある	69.7 ない	2.7 無回答
---------	---------	---------

(問6(2)で「ない」とお答えの方にお伺いします。)

(2) - 1 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)

n=1,760

<p>31.4 仕事や育児、介護、学業等が忙しくて時間がない</p> <p>32.2 新型コロナウイルス感染症で活動できない、感染が心配</p> <p>19.3 費用がかかる</p> <p>8.5 参加できる団体やイベントがない</p> <p>8.9 活動するための場所や施設が身近にない</p>	<p>1.9 適切な指導者や講師がない</p> <p>35.0 活動するきっかけがない</p> <p>12.9 どこで情報を得たらいいかわからない</p> <p>15.5 文化芸術活動に関心がない</p> <p>6.9 その他</p> <p>1.1 無回答</p>
--	--

(3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞したことがありますか。(○は1つだけ)

34.8 ある	61.2 ない	4.0 無回答
---------	---------	---------

(問6(3)で「ある」とお答えの方にお伺いします。)

(3) - 1 あなたは、この1年間に、インターネット配信による文化芸術活動の鑑賞を行ったことがありますか。(○は1つだけ)

n=879

50.4 ある	48.9 ない	0.7 無回答
---------	---------	---------

問7 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

あなたは、この1年間に、散歩やウォーキング、軽い体操や日常生活の中で意識的に体を動かすことなどははじめ、スポーツ・レクリエーション活動(※)をしましたか。

(○は1つだけ)

※スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 散歩・ウォーキング(ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む)、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操(軽い体操・ラジオ体操を含む)、ヨガ・バレエ、登山(トレッキングを含む)、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング(筋力・その他運動器具を使った運動)、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス(フォークダンス、民謡踊りを含む) バーチャルスポーツ(体の動きを伴うコンピューターゲーム) など |
|---|

67.6 した	→ 問7-1へ	30.7 していない	→ 問7-2へ	1.7 無回答
---------	---------	------------	---------	---------

(問7で「した」とお答えの方にお伺いします。)

問7-1 それはどのくらいの頻度でしたか。(○は1つだけ)

n=1,706

41.6 週に3回以上	22.9 週に1回程度	10.6 月に1~3回程度	0.3 無回答
21.2 週に2回程度		3.5 年に数回程度	

(問7で「していない」とお答えの方、または問7-1で「月に1~3回程度」もしくは「年に数回程度」とお答えの方にお伺いします。)

問7-2 週に1回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

n=1,015

16.0 運動やスポーツは好きでないから	13.7 病気や障がいなど身体的に不安があるから
39.7 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから	1.6 指導者がいないから
9.8 仲間がいないから	21.4 機会がなかったから
20.4 体力が衰えたから	6.4 その他
16.3 費用がかかるから	10.7 特に理由はない
11.3 身近に場所や施設がないから	2.4 無回答

問8 消費生活についておたずねします。

(1) あなたは、この1年間に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭った、または嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1.1 訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある
16.0 経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある
24.1 訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった
54.2 訪問販売等の勧誘を受けたことがない
4.7 無回答

(2) あなたは、契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター(または、消費生活相談窓口)を知っていますか。(○は1つだけ)

47.3 名前も、行っていることも知っている
37.5 名前は知っているが、何を行っているかは知らない
13.2 名前も何を行っているところかも知らない
2.0 無回答

問9 エスカレーターの利用についておたずねします。

(1) あなたは、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例(以下「条例」という。)」で、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定していることを知っていますか。(○は1つだけ)

51.4 条例も、利用者の義務が規定されていることも知っている
16.4 条例は知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない
20.8 条例は知らないが、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことは知っている
10.1 条例も、エスカレーターを立ち止まった状態で利用しなければならないことも知らない
1.3 無回答

(2) あなたは、この1年間に、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の(1)から(4)までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。(各施設それぞれ○は1つずつ)

	歩日常的に利用した	歩どちらから利用した	利立ち止まった	利立ち止まらなかつた	利用していない	無回答
(1) 駅	6.2	13.2	25.6	34.4	16.9	3.8
(2) 百貨店や大規模商業施設などの小売店舗	2.7	5.6	27.5	52.9	7.7	3.7
(3) ホテルなどの宿泊施設	1.5	1.9	14.9	30.5	44.0	7.2
(4) 行政機関の庁舎や図書館などの公共施設	1.9	2.9	15.7	34.2	39.2	6.1

問10 食品の安全性についておたずねします。

あなたは、食品の安全性に不安がありますか。(○は1つだけ)

13.6 非常にある	15.8 どちらともいえない	8.0 ほとんどない
45.2 多少ある	15.0 あまりない	2.4 無回答

問11 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまでを選んでください。(○は3つまで)

39.9 県広報紙「彩の国だより」	45.9 市町村の広報紙
2.9 県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉」 (テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)	24.9 新聞の記事
1.9 県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉」 (FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)	26.0 テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)
9.1 県ホームページ	2.9 ミニコミ紙やタウン紙
0.6 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)	1.2 ケーブルテレビ・コミュニティFM
0.1 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)	17.4 インターネット(4~10以外)
1.7 埼玉県庁 Twitter(ツイッター)	0.3 県庁・県の地域機関から直接 (窓口、出前講座等)
2.4 埼玉県庁 LINE(ライン)	0.4 市町村から直接(窓口、出前講座等)
2.1 埼玉県スマートフォンアプリ 「ポケットブックまいたま」	11.8 自治会・婦人会・老人会などの回覧
13.0 市町村ホームページ	7.3 口コミ
	2.5 その他
	2.7 無回答

※「テレビ・ラジオのニュース(2、3以外)」は、「2. 県政広報テレビ番組『いまドキッ!埼玉』(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」、「3. 県政広報ラジオ番組『朝情報★埼玉』(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」を除くテレビ・ラジオのニュースを指す。

※「インターネット(4~10以外)」は、「4. 県ホームページ」、「5. 埼玉県庁 YouTube(ユーチューブ)」、「6. 埼玉県庁 Facebook(フェイスブック)」、「7. 埼玉県庁 Twitter(ツイッター)」、「8. 埼玉県庁 LINE(ライン)」、「9. 埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」、「10. 市町村ホームページ」を除くインターネットを指す。

問12 県の広報紙、広報テレビ番組やラジオ番組についておたずねします。

(1) あなたは、県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)

14.1 毎回読んでいる	41.8 ときどき読んでいる	9.5 「彩の国だより」を知らない
7.4 ほとんど読んでいる	25.0 読んだことがない	2.1 無回答

(2) あなたは、「彩の国だより」にどのような記事を期待しますか。(〇はいくつでも)

24.9 県の主要計画(5か年計画など)の解説	53.2 県が実施するイベントの紹介
35.4 県の施策の紹介	50.5 県内の観光地等の紹介
21.0 県が実施する講演・講習の紹介	5.0 その他
	6.3 無回答

(3) あなたは、県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」を見たことがありますか。(〇は1つだけ)

0.2 毎回見ている	10.2 ときどき見ている	40.0 番組を知らない
0.6 ほとんど見ている	46.9 見たことがない	2.1 無回答

(4) 県政広報テレビ番組「いまドキッ!埼玉(テレビ埼玉/土曜朝8:30~9:00)」は、放送後、埼玉県庁 YouTubeに掲載しています。

あなたは、番組のYouTube動画を見たことがありますか。(〇は1つだけ)

- 毎回見ている	2.8 ときどき見ている	44.1 YouTubeに掲載していることを知らない
0.4 ほとんど見ている	50.5 見たことがない	2.3 無回答

(5) あなたは、県政広報ラジオ番組「朝情報★埼玉(FM NACK5/月~金曜朝8:15~8:25)」を聞いたことがありますか。(〇は1つだけ)

0.5 毎回聴いている	6.4 ときどき聴いている	45.1 番組を知らない
0.8 ほとんど聴いている	45.2 聴いたことがない	1.9 無回答

(6) あなたは、県の広報テレビ・ラジオ番組で、どのような内容を見たり聴いたりしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

26.6 県が行っている施策の紹介	36.3 旬のもの(食べ物・農産物)
49.0 観光情報(花・歴史名所・施設等)	33.7 あまり知られていないような情報
43.0 お祭り・イベント情報	5.0 その他
	6.9 無回答

問13 現在、「生物多様性」の保全という、地球上のさまざまな生物やそれらが生息・生育できる環境を守る取組が進められています。また、もともとその地域にいなかったのに、人間によって他の地域から入ってきたアライグマやカミツキガメなど種々の「外来生物」により、地域固有の生物の生態系や自然環境に影響を与える問題が起きています。

(1) あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

25.0 言葉の意味も含めて知っている	30.9 知らない
42.2 言葉は聞いたことがある	1.9 無回答

(2) あなたは、「外来生物」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

74.2 言葉の意味も含めて知っている	3.9 知らない
20.2 言葉は聞いたことがある	1.7 無回答

問 14 気温が高く日差しが強い日に「光化学スモッグ」という現象が発生することがあります。光化学スモッグに触れると、喉が痛い、目がチカチカするなどの健康被害を引き起こすおそれがあります。光化学スモッグの発生を抑制するためには、原因物質のひとつである「揮発性有機化合物（VOC）」の削減が必要です。

(1) あなたは「光化学スモッグ」について知っていますか。(○は1つだけ)

7.2 詳しく内容を知っている	28.1 名前は聞いたことがある	1.5 無回答
60.3 ある程度内容を知っている	2.9 知らない	

(2) あなたは「揮発性有機化合物（VOC）」について知っていますか。(○は1つだけ)

2.5 詳しく内容を知っている	29.8 名前は聞いたことがある	1.7 無回答
16.3 ある程度内容を知っている	49.8 知らない	

(3) VOCは、シンナーのように常温で蒸発しやすい有機化合物の総称で、スプレー、塗料、接着剤、芳香剤、防虫剤、化粧品、ガソリンなど、多くの身近な製品に含まれています。この1年間に、家庭でのVOC削減に取り組んだことはありますか。次の中から取り組んだことがあるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

21.6 塗料やスプレーなどについて、使い切れる量の製品を選ぶ
7.1 塗料などについて、水性塗料などVOCの含有量が少ない製品を選ぶ
27.7 塗料などは、使用する時以外ふたを閉める
36.5 スプレーなどは、必要以上に噴射せず、適正量を使用する
1.7 自動車に給油する時に、大気環境配慮型ガソリンスタンドe→AS（イーアス）を利用する
1.0 その他
41.1 <u>取り組んだことはない</u>
2.7 無回答

(問14(3)で「取り組んだことはない」とお答えの方にお伺いします。)

(3) - 1 家庭でのVOC削減に取り組んでいない理由は何ですか。(○はいくつでも) n=1,038

60.2 VOC自体を知らないから	13.8 実際の効果がわからないから
42.8 詳しく知らないので取り組めないから	3.5 家庭で取り組む必要はないから
0.9 国や自治体がやるべきことだから	8.2 興味がないから
1.5 取組に伴い、利便性が低下するから	0.8 大気汚染はあまりないから
0.5 取組に伴い、費用がかかるから	3.9 その他
	0.4 無回答

問 15 新型コロナウイルス感染症についておたずねします。

(1) あなたは、御自分が新型コロナウイルス感染症に感染するのではないかという不安を感じていますか。(○は1つだけ)

28.8 とても不安を感じている	12.6 どちらとも いえない	10.8 あまり不安を感じていない
44.8 少し不安を感じている		1.5 まったく不安を感じていない
		1.6 無回答

問 15 (1) - 1 へ

問 15 (1) - 2 へ

(問15(1)で「とても不安を感じている」または「少し不安を感じている」とお答えの方にお伺いします。)

(1) - 1 あなたは、なぜ、不安を感じるのですか。(〇はいくつでも) n=1,856

68.6 感染力が強いから	22.4 県境を越えて人が往来しているから
42.8 新しい感染症だから	8.2 店舗への休業要請が解除されたから
53.0 有効な治療薬の開発が進んでいないと思うから	4.3 学校の授業等が再開されたから
52.5 重篤な状態になったり、死に至る場合があるから	10.6 その他
37.2 医療提供体制が十分に整っていないと思うから	1.0 特に理由はない・なんとなく
25.2 検査体制が十分に整っていないと思うから	0.3 無回答

(問15で「あまり不安を感じていない」または「まったく不安を感じていない」とお答えの方にお伺いします。)

(1) - 2 あなたは、なぜ、不安を感じないのですか。(〇はいくつでも) n=310

28.1 重篤な状態になったり、死に至る可能性は低いから	9.4 医療提供体制が整っているから
44.2 ウイルスに対して気を付ける注意点がわかってきたから	7.7 検査体制が整っているから
11.3 自分が感染することはないと考えているから	6.1 有効な治療薬の開発が進んでいるから
18.4 かぜの一種と考えているから	37.4 ワクチン接種が進んでいるから
	12.9 その他
	10.0 特に理由はない・なんとなく
	1.3 無回答

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する県の広報についておたずねします。

あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する次の県のCM等の広報を見たり聴いたりしたことがありますか。見たり聴いたりしたことがあるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

21.8 埼玉県テレビCM	14.0 埼玉県のウェブ広告
6.6 埼玉県のラジオCM	59.0 見たことがない、聴いたことがない
	5.0 無回答

Ⅲ 県政への要望について

問16 埼玉県政への要望についておたずねします。

県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。（○は3つまで）

- 8.7 省資源やリサイクルを進める
- 17.6 地球温暖化を防止する
- 15.8 自然をまもり、緑を育てる
- 7.3 川や大気環境をまもる
- 4.9 廃棄物対策を充実する
- 10.3 交通事故をなくす
- 25.6 災害から県民をまもる
- 6.9 消費生活の安全を高める
- 12.9 防犯の地域づくりを進める
- 10.4 道路や街路を整備する
- 2.3 生活排水対策を進める
- 6.0 公園、緑地を整備する
- 12.2 便利な交通網をつくる
- 2.5 都市のバリアフリー化を進める
- 3.8 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める
- 17.8 高齢者の福祉を充実する
- 3.9 障がい者の社会参加と福祉対策を進める
- 17.2 子育て支援を充実する
- 19.7 医療サービス体制を整備する
- 2.8 健康づくりを進めて、疾病を予防する
- 5.5 食品の安全をまもる
- 1.7 男女共同参画社会の実現をはかる
- 2.9 人権尊重の社会づくりを進める
- 2.4 生涯学習対策を充実する
- 5.1 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する
- 5.1 青少年を健全に育てる
- 3.9 農林業をさかんにする
- 2.8 観光振興を進める
- 2.8 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する
- 8.3 雇用の場を広げる
- 2.1 市町村が主役の地域づくりを進める
- 0.6 県民参加の行政を進める
- 1.0 NPOやボランティアへの活動支援を充実する
- 2.8 芸術・文化活動をさかんにする
- 2.5 スポーツ、レクリエーションをさかんにする
- 0.8 国際交流や国際協力を進める
- 15.6 新型コロナウイルス感染症対策を進める
- 2.9 その他
- 1.3 わからない
- 1.2 無回答

IV 大地震に備えた取組について

問17 あなたの家では、大地震に備えるために、どのような取組を実施していますか。次の（１）から（８）までのそれぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。

（各項目それぞれ○は１つずつ）

	実施している	実施していないが、今後実施してみたい	実施しては、今後も実施の予定はない	わからない	無回答
（１）災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている	21.9	60.6	9.0	5.3	3.1
（２）非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備	46.7	42.5	6.4	2.3	2.1
（３）非常用トイレ（簡易トイレ、携帯トイレなど）を準備	27.2	48.7	16.2	5.2	2.8
（４）避難経路や避難場所を確認	38.2	46.8	7.5	4.2	3.3
（５）地震時に電源が自動的に切れるブレーカー（感震ブレーカー）を設置	14.5	33.7	25.0	23.1	3.8
（６）消火器の準備や風呂の水のためおきなど、消火活動を行うために準備	30.4	40.6	20.3	5.9	2.8
（７）地域の防災訓練に積極的に参加	14.1	36.1	31.7	15.3	2.9
（８）その他（※）	1.7	0.9	0.9	7.5	89.0

※「家具類の固定」「水・食料の備蓄」「災害用伝言サービスの体験利用」については除きます。（問18～問23で別途お答えいただきます。）

問18 あなたの家では、地震に備えて家具転倒防止対策を実施していますか。（家具類（タンスや食器棚、本棚、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ等）が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫、家具類がない部屋で就寝するなどを実施している場合、対策しているといえます。）

（○は１つだけ）

9.5 大部分が対策済みであり、安全が確保されている
35.0 一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている
28.3 一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない
25.2 特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない
1.9 無回答

（問18で「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」または「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」とお答えの方にお伺いします。）

問18-1 あなたの家において、家具類が転倒・落下・移動しないための対策が不十分、または、特に何もしておらず、安全が確保されていない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

n=1,352

24.1 どのようにして固定などの対策をしてよいかわからない	35.1 面倒である
27.9 固定するなどの方法はわかっているが、自分ではできない	31.0 費用がかかる
18.9 家具や壁にキズをつけたくない	15.0 転倒・落下・移動しても危険ではないと思う
	6.8 その他
	0.9 無回答

問19 あなたの家では、家具類の転倒・落下・移動による危険防止のため、どのような対策を実施していますか。次の（1）から（10）までのそれぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。（各項目それぞれ○は1つずつ）

	実施している	たいが、今後実施してみたい	ない後実施の予定は	わからない	無回答
（1）L型金具やベルト式器具などの金具を使って壁下地（柱、間柱など）に直接固定	16.3	28.8	41.6	7.2	6.0
（2）つっぱり棒（ポール式）及びストッパーや固定マットを組み合わせて家具類の上部と下部を固定	20.4	31.7	35.3	6.5	6.2
（3）つっぱり棒（ポール式）を用いて家具類の上部のみを固定	24.4	28.6	33.6	6.4	7.0
（4）ストッパーや固定マットを用いて家具類の下部のみを固定	21.8	29.7	34.5	7.1	6.9
（5）ガラスに飛散防止フィルムを貼付	8.3	34.2	44.5	7.6	5.5
（6）食器棚等の開き扉に開き防止器具を取付	21.2	34.9	32.9	5.4	5.6
（7）寝ている場所に家具が転倒しないなど、家具類の配置を工夫	48.6	24.8	18.1	3.9	4.6
（8）納戸や据え付け収納家具（クローゼット等）に集中して収納	35.7	25.1	25.6	7.3	6.3
（9）家具類がない部屋で就寝	33.2	18.9	37.4	4.8	5.7
（10）その他	1.1	0.5	1.6	6.5	90.2

問20 あなたの家では、災害時に利用できる食料品及び飲料水を何日分用意していますか。（各項目それぞれ○は1つずつ）

	7日分以上	6日分	5日分	4日分	3日分	2日分	1日分	用意していない	わからない	無回答
（1）食料品	9.7	1.5	6.8	4.1	33.3	12.2	5.5	17.8	6.7	2.3
（2）飲料水	14.3	2.6	7.0	3.5	30.3	11.6	5.8	16.0	5.9	3.1

問20（2）－1へ

（問20（1）で「2日分」～「用意していない」のいずれかと答えた方にお伺いします。）
問20（1）－1 あなたの家で、3日以上の食料品の備蓄をしていない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

n=898

18.5 3日分以上が必要だとは知らなかった	16.5 面倒である
20.5 何を備蓄しておけばよいのかわからない	29.1 気にしていなかった
36.6 保管する場所がない	23.5 緊急性を感じていない
24.4 費用がかかる	5.0 その他
	4.2 無回答

(問20(2)で「2日分」～「用意していない」のいずれかと答えた方にお伺いします。)

問20(2)－1 あなたの家で、3日以上の飲料水(1日あたり1人3リットル)の備蓄をしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) n=844

20.6 3日以上が必要だとは知らなかった	17.9 面倒である
26.1 1日あたり1人3リットルが必要と思わなかった	27.5 気にしていなかった
39.0 保管する場所がない	21.9 緊急性を感じていない
21.3 費用がかかる	4.4 その他
	3.7 無回答

「災害用伝言サービス」は、大規模な災害が発生した場合、被災地への電話がつながりにくくなることから、家族や知人との間での安否確認などを行うために通信事業者が提供しています。NTT東日本が提供する「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板web171」や、携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」「災害用音声お届けサービス」があります。

問21 あなたは「災害用伝言サービス」を体験利用(※)したことがありますか。(○は1つだけ)

※体験利用日：毎月1日・15日、防災週間(8/30～9/5)、正月三が日(1/1～3)、防災とボランティア週間(1/15～21)

7.7 ある	89.6 <u>ない</u>	2.7 無回答
--------	----------------	---------

(問21で「ない」と答えた方にお伺いします。)

問21－1 あなたが「災害用伝言サービス」を体験利用したことがない理由は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

n=2,262

31.2 「災害用伝言サービス」を知らなかった	6.0 体験利用日が限られているため、利用できなかった
50.3 平常時に体験利用できることを知らなかった	
33.7 体験利用する方法がよくわからなかった	2.6 その他
10.8 体験利用するのが面倒であった	0.6 無回答

問22 あなたは、災害時に家族や知人の安否を確認する手段として、どのような手段を考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

46.4 ソーシャルネットワーキングサービス (Facebook や Twitter、LINE など)
71.0 スマートフォン、携帯電話・パソコン・タブレットのメール
14.9 「災害用伝言ダイヤル171」(NTT東日本提供/固定電話番号単位で録音・再生)
10.6 「災害用伝言板web171」(NTT東日本提供/スマートフォン、携帯電話、パソコン等から登録・確認)
21.3 携帯電話各社が提供する「災害用伝言板」(スマートフォン、携帯電話等から登録・確認)
60.3 携帯電話(通話)
36.3 固定電話(通話)
9.8 遠方の親戚・知人などに連絡を取り次ぐ(伝言をあずける)
3.6 決めていない
0.9 その他
2.0 無回答

問23 あなたは、今後どのような支援があれば、大地震に備えた自助（自分の命は自分で守る）の取組を進めやすいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

40.5	ソーシャルネットワーキング（FacebookやTwitter、LINEなど）を活用した情報提供
30.0	学校や地域などにおける防災教育の充実
34.2	地域（町会単位など）における防災活動を促進する取組の充実
27.2	県や市町村のホームページや広報紙における、自助の取組の必要性や具体的な取組方法に関する情報提供
12.4	県や市町村の職員、専門家など地震防災に関する専門的知識を有する者から直接話しを聞くことのできる場の提供
30.0	地震防災に関するわかりやすい啓発物（リーフレット）の提供
19.9	身近なところでの啓発イベントの実施
27.5	商業施設等における防災関連商品を購入できるコーナーの設置
2.7	その他
4.2	無回答

V 受動喫煙防止対策について

問24 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つだけ）

13.2	毎日吸っている	6.7	以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	77.7	吸わない
1.1	時々吸う日がある			1.2	無回答

▶（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。（○はいくつでも） n=361

67.3	紙巻きたばこ	0.6	その他
44.0	加熱式たばこ（アイコス、グロー、プルームテックなど）	0.6	無回答

▶（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-2 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。（○は1つだけ） n=361

20.8	やめたい	30.2	やめたくない	0.8	無回答
38.0	本数を減らしたい	10.2	わからない		

▶（問24で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方にお伺いします。）

問24-3 あなたが、禁煙するための支援として最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ） n=361

41.3	医療機関における禁煙治療（禁煙補助薬など）
10.8	禁煙治療用アプリ
20.8	健診や保健指導における情報提供、カウンセリング、禁煙支援
11.1	その他
16.1	無回答

問 25 受動喫煙とは、「室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」を言います。健康増進法（※1）や埼玉県受動喫煙防止条例（※2）では、望まない受動喫煙を防ぐため屋内での喫煙を規制しています。

※1：健康増進法の主な内容：学校、病院、行政機関等の第一種施設は敷地内禁煙。飲食店、事業所、商業施設等の第二種施設は原則屋内禁煙。既存特定飲食提供施設（令和2年4月1日時点で営業し、客席面積100㎡以下かつ資本金5000万円以下の飲食店）は標識の掲示により喫煙が認められる。

※2：埼玉県受動喫煙防止条例の主な内容：既存特定飲食提供施設が喫煙可にできるのは、健康増進法に定められた要件を満たし、かつ、従業員がいない場合又は全ての従業員から書面で承諾を得た場合とする。

あなたは、健康増進法や埼玉県受動喫煙防止条例の内容を知っていますか。（○は1つだけ）

20.2 健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知っている
19.5 健康増進法は知っている
8.7 埼玉県受動喫煙防止条例は知っている
45.2 健康増進法と埼玉県受動喫煙防止条例のどちらも知らない
6.3 無回答

問 26 あなたは、この1年間に、次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）などで受動喫煙にありましたか。（1）から（10）の「施設」での「状況」を選んでください。

（各施設それぞれ○は1つずつ）

	あった	あわなかった	行かなかった	無回答
（1）学校	1.5	27.1	61.6	9.7
（2）職場	16.6	47.6	26.3	9.5
（3）家庭	14.9	69.1	7.1	8.9
（4）路上	50.5	38.2	4.9	6.4
（5）公共交通機関	8.4	69.7	13.0	9.0
（6）医療機関（病院、診療所等）	2.8	79.5	8.8	9.0
（7）行政機関（市役所、町村役場、公民館等）	3.0	73.8	14.2	9.0
（8）劇場・映画館・スポーツ施設	5.2	54.3	31.3	9.2
（9）ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	9.2	22.5	59.0	9.3
（10）飲食店	24.0	54.7	13.0	8.3

問 27 あなたが「不特定多数の人が利用する施設（※）」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ）

※「不特定多数の人が利用する施設」とは、問26（6）～（9）のような施設です。

34.7 施設の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする
39.0 建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける
18.6 建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける
2.7 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する
0.6 施設における規制は不要
1.0 その他
3.4 無回答

問 28 あなたが「飲食店」において、受動喫煙を防止するために最も適切だと考えるものはどれですか。（○は1つだけ）

- 37.4 飲食店の敷地の中では、建物内も屋外も完全禁煙とする
- 35.5 建物内は完全禁煙とし、屋外に独立した喫煙場所を設ける
- 17.8 建物内に独立した喫煙場所を設け、禁煙・喫煙を分ける
- 4.6 飲食店の利用者の状況に応じて、飲食店の管理者が判断する
- 1.0 飲食店における規制は不要
- 0.8 その他
- 2.9 無回答

問 29 あなたは、商店街など人通りの多い屋外の場所における喫煙に対し、どのような受動喫煙防止対策が進むことを望みますか。（○は1つだけ）

- 67.0 喫煙可能な場所を指定し、その場所以外は禁煙とする
- 25.6 商店街など一定の区域を完全禁煙とする
- 2.7 特に対策の必要はない
- 1.3 その他
- 3.5 無回答

VI 県立図書館の将来像に関するニーズについて

県立図書館の将来像に関するニーズについておたずねします。

埼玉県立図書館は令和4年度で創立100周年を迎えます。現在、県立熊谷図書館と県立久喜図書館の2館と県立文書館の1階に浦和分室を設置しています。

埼玉県教育委員会では、時代の要請に応じた県立図書館の在り方や機能等を検討し、新たな埼玉県立図書館の将来像や基本方針等を取りまとめた「新埼玉県立図書館基本構想」の策定を進めています。

問 30 あなたはこれまでに県立図書館（県立熊谷図書館、県立熊谷図書館浦和分室及び県立久喜図書館をいう。以下同じ）を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

11.7 利用したことがある 86.2 利用したことがない 問30(2)へ 2.1 無回答

▶(問30で「利用したことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問30(1) - 1 あなたは県立図書館をどのくらいの頻度で利用しますか。（○は1つだけ） n=295

- ほとんど毎日	5.1 月2～3回	18.3 年数回程度	51.9 過去に何回か
1.4 週1回	4.4 月1回	16.9 数年に1回程度	2.0 無回答

▶(問30で「利用したことがある」とお答えの方にお伺いします。)

問30(1) - 2 あなたは県立図書館をどのように利用しましたか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも） n=295

- | | |
|------------------------------------|---|
| 47.5 本、雑誌、新聞などを館内で読んだ | 4.1 図書館で、司書（職員）に調査・相談を依頼した |
| 47.5 本、雑誌などを借りた | 1.0 電話やウェブ、メールでレファレンス・サービス（調査・相談）を利用した |
| 5.1 地域・行政資料（埼玉県や県内市町村に関する本など）を利用した | 5.4 学校図書館・地元の市町村立図書館を経由して、県立図書館の本などを利用した |
| 3.1 視聴覚資料（CDやDVDなど）を館内で視聴した | 4.7 県立図書館WEBサイト（蔵書検索、本の検索・予約、横断検索、デジタルライブラリー、調べ案内、資料保存のページ等）を利用した |
| 4.1 視聴覚資料（CDやDVDなど）を借りた | 3.4 企画展示を見に行ったり、イベントに参加したりした |
| 3.1 インターネット情報・データベース用パソコンを利用した | 1.4 その他 |
| 1.0 公衆無線LAN（Wi-Fi）を利用した | 12.5 無回答 |
| 10.8 図書館の本などは使わないで、机・座席だけ利用した | |

(問 30 で「利用したことがない」とお答えの方にお伺いします。)

問30 (2) あなたが県立図書館を利用しない理由を教えてください。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

n=2,175

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 37.0 県立図書館の存在を知らなかった | 1.5 企画展示やイベントに興味がない |
| 59.3 居住地や勤務地から遠い | 19.0 地元の市町村立図書館や学校図書館で
用が足りている |
| 3.5 開館日や開館時間が利用しにくい | 23.6 本や雑誌は自分で購入する |
| 8.0 県立図書館に行くまでの公共交通機関が充実
していない | 11.0 日頃、本や雑誌を読まない |
| 0.4 バリアフリー化に対応していない | 3.4 その他 |
| 3.4 蔵書に魅力を感じない、利用したい資料がない | 1.3 無回答 |

問 31 あなたが知っている県立図書館のサービスを選んでください。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 17.4 美術館、博物館、文書館との連携による文化情報の発信 |
| 7.5 市町村立図書館のモデルとなる先進的な取組の実施 |
| 8.1 大学図書館や国立国会図書館、他都道府県立図書館などと連携した資料提供 |
| 12.2 学校図書館を支援し、学校における子供たちの教育を充実させること |
| 10.9 市町村立図書館が保存し切れない本や雑誌を長期間保存すること |
| 2.1 県内の図書館職員の研修 |
| 1.7 県内の学校の司書教諭、学校司書の研修 |
| 9.5 県内の図書館間で相互に貸し借りする図書等を搬送すること |
| 3.0 横断検索システムなど県内の図書館等の業務を効率化するツールの提供 |
| 3.5 市町村立図書館・学校図書館からの調査・相談に回答すること |
| 24.8 その他 |
| 27.7 無回答 |

問 32 あなたが県立図書館で利用したいサービスを選んでください。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 33.7 本、雑誌、CDなどを借りたり、館内で本
や雑誌を読んだり、CDを視聴したりする | 4.0 司書(職員)に本や情報の探し方を聞く |
| 30.0 専門的な本、雑誌、新聞など、市町村立図
書館にはない資料を借りたり、館内で読ん
だりする | 7.8 図書館のパソコンで本や雑誌を検索する |
| 11.9 埼玉県に関する郷土資料や地域・行政資
料(埼玉県や県内市町村に関する本)を
借りたり、館内で読んだりする | 6.2 その図書館にはない本や貸出中の本を予約する |
| 12.4 仕事や健康など、生活上の課題解決に役
立つ資料や情報を得る | 1.8 字が読みづらいなどの個人の状況に合わせて
適切な形の読書を薦めてもらう |
| 12.9 図書館の机やいすを使って自習する | 0.5 対面朗読サービスを利用する |
| 6.3 映画会、おはなし会、講座などに参加し
たり、資料展示を観たりする | 6.3 図書館のパソコンでインターネット情報や有
料データベースを無料で利用する |
| 2.6 自分とは異なる考え方を持つ人と交流する | 15.8 自分のパソコンやスマートフォンからデジタ
ル図書などを観る |
| 6.7 自分が知りたい、調べたいと思ったこと
について学習の方法を教えてください | 13.0 自分のパソコンやスマートフォンから、県内
の博物館、美術館、図書館、文書館などが所蔵
する文化財、美術作品、古文書等のデジタル資
料を観る |
| 4.1 SNS、アプリ等のコミュニケーションツ
ールなど、インターネットを活用した交流、
情報発信の仕方を学ぶ | 8.1 郵送で本の貸出やコピーサービスを利用する |
| | 6.3 調べたいことがどの本に載っているか、電話
やメールで教えてください |
| | 11.6 その他 |
| | 17.6 無回答 |

VII フェースシート

御意見をお伺いすることは以上で終わりですが、最後に、統計解析に必要な事項をお伺いいたします。

F 1 【性別】※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。(○は1つだけ)

43.3 男性	54.2 女性	2.5 無回答
---------	---------	---------

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。(○は1つだけ)

1.4 18・19歳	5.2 30～34歳	7.7 45～49歳	10.2 60～64歳	1.0 無回答
4.0 20～24歳	6.7 35～39歳	8.4 50～54歳	9.3 65～69歳	
3.9 25～29歳	7.3 40～44歳	9.7 55～59歳	25.2 70歳以上	

F 3 【職業】あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

5.3 自営業主	16.7 無職の主婦・主夫	1.8 無回答
1.9 家族従業(家業手伝い)	3.1 学生	
37.3 勤め(全日)	18.2 その他の無職(年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人)	
15.6 勤め(パートタイム)		

▶(F 3で「自営業主」または「家族従業(家事手伝い)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-1 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=184

6.0 農林漁業	32.6 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)
57.1 商工・サービス業	4.3 無回答

▶(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-2 あなたの働き方は、次のどちらですか。(○は1つだけ) n=1,336

54.4 正社員、正規職員	14.0 無回答
31.6 非正社員(派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど)	

▶(F 3で「勤め(全日)」または「勤め(パートタイム)」とお答えの方にお伺いします。)

F 3-3 あなたのお仕事の内容は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,336

7.8 経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上)
23.7 専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など)
23.1 事務職(事務員、オペレーターなど)
11.8 生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など)
18.3 販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など)
12.1 その他
3.1 無回答

F 4 【県内居住地】あなたは、埼玉県のどの地域にお住まいですか。（○は1つだけ）

9.6 南部地域（川口市、蕨市、戸田市）
8.9 南西部地域（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）
15.8 東部地域（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）
17.9 さいたま地域（さいたま市）
7.6 県央地域（鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町）
11.4 川越比企地域（川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）
10.3 西部地域（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）
9.7 利根地域（行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）
6.3 北部地域（熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町）
1.5 秩父地域（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町）
1.1 無回答

F 5 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。（○は1つだけ）

0.9 1年未満	4.8 5年～10年未満	16.2 20年～30年未満
2.3 1年～3年未満	4.6 10年～15年未満	61.6 30年以上
2.9 3年～5年未満	5.3 15年～20年未満	1.2 無回答

F 6 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。（○は1つだけ）

45.0 はい（埼玉県）	52.1 いいえ（埼玉県外）	2.9 無回答
--------------	----------------	---------

（F 6で「いいえ（埼玉県外）」とお答えの方にお伺いします。）

F 6-1 あなたの出身県（または出身国）はどちらですか。（○は1つだけ） n=1,316

4.4 北海道	5.2 神奈川県	0.5 京都府	0.4 愛媛県
1.8 青森県	4.6 新潟県	1.7 大阪府	0.2 高知県
1.7 岩手県	0.7 富山県	2.0 兵庫県	1.4 福岡県
2.1 宮城県	0.8 石川県	0.2 奈良県	0.5 佐賀県
2.3 秋田県	0.5 福井県	0.2 和歌山県	0.8 長崎県
2.0 山形県	0.6 山梨県	0.2 鳥取県	0.6 熊本県
3.8 福島県	2.5 長野県	0.5 島根県	0.6 大分県
3.3 茨城県	0.7 岐阜県	0.8 岡山県	0.6 宮崎県
2.7 栃木県	2.1 静岡県	1.1 広島県	1.2 鹿児島県
3.8 群馬県	2.1 愛知県	0.8 山口県	0.7 沖縄県
2.9 千葉県	0.3 三重県	0.3 徳島県	0.5 海外
32.7 東京都	0.3 滋賀県	0.2 香川県	0.3 無回答

F 7 【家族人数】いま一緒に暮らしている御家族は、あなたを含めて何人ですか。

（○は1つだけ）

12.8 1人（単身）	25.1 3人	6.3 5人	1.3 7人以上
32.7 2人	18.4 4人	2.0 6人	1.3 無回答

F 8 【結婚】あなたは結婚していますか。次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

23.3 未婚	→ F 9へ	64.8 既婚・有配偶	10.3 既婚・離死別	1.5 無回答
---------	--------	-------------	-------------	---------

（F 8で「既婚・有配偶」または「既婚・離死別」とお答えの方にお伺いします。）

F 8-1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。（○は1つだけ） n=1,897

19.9 1人	15.3 3人	0.4 5人以上	11.6 子どもはいない
49.3 2人	2.4 4人		1.1 無回答

（F 8-1で「1人」～「5人以上」のいずれかをお答えの方にお伺いします。）

F 8-1-1 お子さんはそれぞれの段階ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（○はいくつでも）

n=1,656

7.7 0～3歳	2.0 短大生・専門学校生	2.4 無回答
6.0 4歳以上で小学校入学前	8.3 大学生・大学院生	
12.7 小学生	39.4 学校教育終了・未婚	
7.9 中学生	44.6 学校教育終了・既婚	
7.4 高校生	3.7 その他	

F 9 【家族形態】お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

13.5 単身	50.2 二世帯世帯（親と子）	2.1 その他
25.9 夫婦のみ	6.9 三世帯世帯（親と子と孫）	1.4 無回答

F 10 【居住形態】お宅のお住まいは、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

65.8 持家（一戸建）	0.7 社宅・公務員住宅など給与住宅
15.9 持家（分譲マンションなど集合住宅）	0.2 住み込み、寮、寄宿舎など
12.2 民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	0.4 その他
3.9 UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート	0.8 無回答

長時間にわたり御協力いただきまして、ありがとうございました。
 お手数ですが、記入漏れなどが無いことを御確認いただいた上で、
 同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、なるべく早めに
 ポストに御投函くださいますようお願いいたします。
 なお、返信用封筒には、御住所やお名前は書かないでください。

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和 43 年度から世論調査を実施しており、今回が 58 回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。
- 平成 27 年度までは、満 20 歳以上の方を調査対象として実施しており、平成 28 年度以降は満 18 歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法として、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施しており、令和 2 年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

世論調査実施状況

(参考資料)

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉ロシアンム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいくづくり、人と環境にやさしいサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%
51	平成27年度	7月3日～26日	生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.9%
52	平成28年度	7月8日～31日	生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	72.5%
53	平成29年度	7月7日～31日	生活意識、日常生活、シニアの社会参加、性的少数者(LGBT)、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.3%
54	平成30年度	7月6日～31日	生活意識、日常生活、定住意向、受動喫煙防止対策、社会貢献活動における寄附、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.7%
55	令和元年度	7月5日～31日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組について、生涯現役に向けた定年後の準備、就労希望等について、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	66.5%
56	令和2年度	8月8日～28日	生活意識、日常生活、住みよさ、新型コロナウイルス感染症への不安、環境への関心と行動、川の再生、県政への要望	5,000	郵送法	56.7%
57	令和3年度	7月9日～30日	生活意識、日常生活、定住意向、新型コロナウイルス感染症への不安、共生社会、エスカレーターの利用、県政への要望	5,000	郵送法	55.3%
58	令和4年度	7月8日～29日	生活意識、日常生活、大地震に備えた取組、受動喫煙対策、県立図書館の将来像に関するニーズ、県政への要望	5,000	郵送法	50.5%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料1部を下記の担当課へ送付願います。

令和4年度

埼玉県政世論調査

令和4年11月発行

埼玉県県民生活部県民広聴課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」